

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

# 日本美術年鑑

昭和 49 年 (1973. 1—12)  
版  
昭和 50 年 (1974. 1—12)

美術研究所

NATIONAL INSTITUTE OF ART RESEARCH

12—53 UENO-PARK, TAITO-KU. TOKYO

## 序

日本美術年鑑は、東京国立文化財研究所美術部、即ち、美術研究所が計画し、従事している美術に関する調査研究事業の一つで、昭和11年以来発行をつづけ、すでに40年、今年ここに昭和49・50年版を上梓する運びとなった。

近年、各地において、公、私立の美術館が新設され、特に画廊の増加は夥しいものがある。さらにデパートも加わり、それらが総べて休みなしに美術展を開いているのが現状で、展覧会だけでも尨大な数にのぼっている。美術年鑑の編集に当って、これら、すべてを調査し記録を収集するのは殆ど困難な状態となっている。

その上、昨年度は、予算上の理由によりやむなく発行を断念したが、年鑑の重要性を思い、本年漸やく49年・50年版の2年分を合せ、出版することとなった次第である。

前述のような展覧会活動や研究、出版等、活発な美術界の現象を反映させるには、限られた予算、限られた編集機能をもってしては困難に近く、さらに2年分を圧縮編集しなければならないため、可成りの省略を余儀なくされた。

従って、美術文献目録のみは広範囲に亘っての採録を意図したが、年史、展覧会、物故者欄については、出来るだけ記載も簡潔とし、とくに展覧会については主要展の記載にとどめ、図版は、すべて省いた。

この年鑑の編集は、従来通り、当研究所美術部第2研究室が担当し、さらに、第1研究室、資料室および庶務課の諸員の援助によるところが多い。

編集に当っては、諸官庁、美術関係の公私機関をはじめ、学者、作家諸氏の御援助を煩わしている。殊に、文化庁、国立美術館・博物館、各地の美術団体、新聞社、美術館、画廊、研究所、学校等の御援助に待つところが少くない。また、大蔵省印刷局は、この年鑑の体裁上困難な印刷を今年も快諾された。ここに、これら諸機関に対し深く感謝の意を表する。

昭和50年12月

東京国立文化財研究所

美術部長 岡 畏三郎

## 凡 例

1 本年鑑は、昭和48・49年の各1月から同年12月に至る各1年間の美術界の主要な出来事を掲載した。

1 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。

なお従来掲載してきた上記期間中に発表された注目すべき作品の写真図版は本年版に限り中止した。

1 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫塑、工芸、書、および建築に限っている。絵画のうち、日本画と洋画の区別は困難な場合もあるが、ほぼ慣例に従った。建築と工芸はわれわれの注意をひく範囲にとどめ、書は古美術に限った。

1 人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。

1 美術展覧会の欄は、展覧会名、日付、場所の順に略記したが、場所が東京の場合にすべてこれを略し、デパートの場合には日本橋の高島屋・三越の日本橋を省略した。

1 美術文献目録については項目の初めに凡例を記した。

## 目次

序.....	1	現代美術・西洋美術.....	78
凡例.....	3	東洋古美術.....	126
目次.....	4	単行図書.....	143
昭和48年美術界年史.....	1	美術文献目録(昭和49年).....	149
昭和49年美術界年史.....	5	定期刊行物所載文献.....	149
昭和48年主要美術展覧会.....	8	現代美術・西洋美術.....	149
昭和49年主要美術展覧会.....	39	東洋古美術.....	202
美術文献目録(昭和48年).....	77	単行図書.....	218
凡例.....	77	物故者(昭和48年).....	226
目次.....	77	物故者(昭和49年).....	256
定期刊行物所載文献.....	78		

## 昭和48年美術界年史

## 1 月

- 山種美術館賞 第2回山種美術館賞は候補作37点のなかから、大賞に石田武『林』、優秀賞に小山硬『天草』、小嶋悠司『群像』が選ばれた。
- 東京国立博物館所蔵名品展 東京国立博物館ではその創立100年記念事業のひとつとして、この100年の間に同館の所蔵に帰した作品の中から各時代にわたる重要作品を選び、「東京国立博物館所蔵名品展」を6日から2月11日まで開催した。

## 2 月

- 平櫛田中賞 第2回平櫛田中賞は、国画会会員堀川恭に決定した。
- 九州歴史資料館一般公開 昨年4月に開設された福岡県立九州歴史資料館が24日から開館記念の展示を行った。同館は、その重要な事業として大宰府史跡の発掘調査を県教育委員会から引き継いでいる。
- シカゴ美術館浮世絵名品展 リッカー美術館では24日から3月18日まで、シカゴ美術館のクレアンス・バッキンガム・コレクションの蔵品約200点を公開した。同展は3月24日から4月15日まで京都国立近代美術館でも開催された。

## 3 月

- 安井賞 第16回安井賞は、谷本重義「二人老人」に決定した。
- 北京で北斎展 日中文化交流協会、中日友好協会等の協力で13日から25日まで北京の中国美術館で北斎展が開催された。なお、4月11日から23日まで上海展

も開催された。

- 平川廃寺発掘調査 昭和41年はじめてその存在が明らかにされた京都府城陽市平川廃寺の発掘が同市教育委員会によって進められていたが、8日その調査結果が発表された。今回の調査では塔基壇東側に金堂跡が確認された。
- 陽明門の修理終了 日光東照宮の国宝陽明門の修理が9日終わり、26日に完工式が行われた。今回の修理は50年ぶりのもので昭和44年から進められていたもの。なお今回の修理中、門東西の彫刻後部に「梅に錦花鳥図」、「松鶴図」が発見された。これは宝暦修理時、狩野祐清によって描かれたものである。
- 宗像大社秘宝展 宗像大社の一の宮と称せられ、古代祭祀の島として知られる沖の島は、昭和29年以来数次の発掘調査が行われて2万点以上の遺宝が発見されたが、今回その1、2次発掘調査によって得られた遺宝のうちから100余点が2日から14日まで京都市藤井大丸で公開された。
- 藝術選奨 第23回芸術選奨文部大臣賞の美術部門で、洋画家野口弥太郎「那智の滝」が、13日決定した。
- 文化財の新指定 今回指定された物件は、美術工芸品では国宝2件(絵画・工芸各1件)、重要文化財65件で、うち絵画16件、彫刻7件、工芸品17件、書跡18件、考古7件となっている。また建造物関係では29件が重要文化財に指定された。
- 人間国宝 文化財保護審議会は、23日重要無形文化財保持者(各個指定一人間国宝)として、美術部門では型絵染の鎌倉芳太郎を決定した。
- 梅原竜三郎仏勲章受領 洋画家梅原竜三郎は、仏国政府より我国の文化勲章にあたるコマンドール勲章を授与され、26日伝達式が行われた。

## 4 月

- 古代オリエント・ギリシア展 ドイツ民主共和国ベルリン国立博物館所蔵の古代オリエント・ギリシア関係の遺品から選ばれた80点が3日から5月20日まで東京国立博物館で公開された。同展は5月29日から7月15日まで京都国立博物館でも開催された。

- 富岡鉄斎展 歿後50年にあたり、鉄斎29歳から89歳までの絵画、書など300点による遺作展が、7日から5月6日まで京都国立博物館で開催された。
- ピカソ死去 世界の巨匠として、日本にも多くの影響をもたらしたパブロ・ピカソが8日南仏ムージャンの自宅で91才で死去した。死因は心臓マヒという。
- 日本芸術院賞 第29回日本芸術院賞並びに恩賜賞が決定した。美術部門はつぎの通り。恩賜賞一野村守夫。院賞一大山忠作(日本画)。進藤武松(彫刻)。佐野猛夫(工芸)。宮本竹巡(書)
- 日本漫画家協会賞 日本漫画家協会の第二回漫画賞は、大賞が畑田國男「宇宙船ノア」と決定した。
- 朝鮮の絵画展 「日本にある高麗・李朝の作品」というテーマのもとに、高麗・李朝の絵画100点が、大和文華館で26日から5月27日まで展示された。
- 経塚遺宝展 昭和45年に起工、昨年末に完工した新陳列館(本館)の落成を記念し、奈良国立博物館では29日から5月27日まで全国に分布する代表的経塚の出土遺品1200点を、出土地域別、遺品種類別に展示公開した。

## 5 月

- 仁和寺展 3日から14日まで上野松坂屋で弘法大師誕生1200年を記念して仁和寺展が開かれ、国宝「阿弥陀如来座像」、同「孔雀明王画像」など75点が公開された。
- 富士美術館開館 静岡県富士宮市の日蓮正宗創価学会の総本山大石寺境内に財団法人「富士美術館」が完成、5日から一般公開された。
- 日本建築学会大賞 このほど昭和47年度日本建築学会賞が決まった。大賞一浜田稔東大名誉教授(都市防災における火災工学の発展に対する貢献)長倉康彦都立大教授(小中高校の設計計画に関する研究)なお作品の該当はない。学会賞=論文一鈴木嘉吉奈良国立文化財研究所建造物室長の「奈良時代寺院僧房の研究」。
- 文春漫画賞 第19回文芸春秋漫画賞の受賞者が22日夜の選考委員会で、馬場のぼる(「バクサン」と「11匹のねことあほうどり」)、小林治雄(「ヒトクチ漫画」)に決定した。
- 日本芸術大賞に加山又造 第5回新潮三賞(新潮文芸振興会主宰)が31日夕、東京・赤坂のホテルオークラで行なわれた選考会の結果、日本芸術大賞には、新制作協会日本画部会員加山又造(先鋭な時代感覚を反映して出発し、特に屏風の制作に多様な展開を示す画業に対して)に決まった。

## 6 月

- 彫刻の森美術館大賞展 第1回展が3日から11月30日まで開催され、40作家44点のなかから、山本衛士「山景」の大賞、速水史郎、河口竜夫、篠田守男、土谷武の優秀賞が決定した。
- 黒田清輝展 歿後50年を記念して油彩、素描130点による遺作展が7日から7月8日まで鎌倉近代美術館で開催された。なおこのあと、福岡(文化会館7/31—8/19)、鹿児島(市立美術館8/25—9/9)、名古屋(文化会館9/15—9/23)、京都(市立美術館9/28—10/11)を巡回した。
- 中華人民共和国出土文物展 日中国交正常化を記念して東京・京都国立博物館で、中華人民共和国の出土文物展が開かれた。新中国成立後めざましい発見が続けている考古学的発掘調査の成果から選ばれた長沙馬王堆一号墓出土品、徐州漢墓の銀縷玉衣等213点に、章懷太子、懿德太子墓壁画模写等参考品、補助資料を加えた展観は人々の注目を集めた。(東京展6/9—7/29、京都展8/11—9/30)

## 7 月

- 東京芸術大学の海外調査団 文部省の助成金による調査団として、「東京芸大イタリア初期ルネッサンス壁画・建築調査団」(団長・摩寿意善郎美術学部長、隊員・平山郁夫助教授以下6名の模写班を含む13名)が3日日本を出発した。8月末まで2か月にわたりアッシジのサンフランチェスコ寺院壁画・建築の調査、研究を行なう。

## 8 月

- 難波宮跡・平城宮跡の買上げ 文化庁は24日大阪市難波宮跡の民有地、奈良市平城京跡の未買収地域を大阪市、奈良県に地方債を発行させて先行取得し買収することを決定した。地価の急騰により年度毎の予算で買収するこれまでの方式では保存地買収が困難となったため、新たな方式がとられることになったもの。

○八角円堂の遺構発掘 六勝寺研究会、鳥羽離宮跡調査研究所の手で進められている醍醐寺子院跡発掘調査により、現場から平安末期の八角円堂基壇、礎石が発見された。同堂は史料に記されているが存在が確かめられなかった八角堂と考えられ、重源の関与も考えられる重要な遺構である。

## 9 月

○「国立国際美術館」 大阪・千里丘陵の万国博会場跡地に残る万国博美術館が「国立国際美術館」(仮称)として“復活”することが6日、本決まりになった。「万博美術館利用問題調査会」(主査・河北倫明京都国立近代美術館長)の報告に基づいて文化庁が正式に決めたもので、同庁は50年度開館をめざし、来年度に予算化して要求、具体的な設立準備に取りかかる。

○長野市が野外彫刻賞 都市景観の中へ彫刻をとりいれていく試みが、各地方都市で盛んだが、長野市がこのほど野外彫刻賞を設置した。選考委員会(委員長土方定一)を設けて、前年度の優秀作品から選んで同市が買い上げていこうというもの。当面35点ぐらいを予定。第1回受賞者は柳原義達「道標(はと)」・土谷武「石と鉄」・矢崎虎夫「雲水」。

○虎塚古墳彩色壁画発見 8月中旬から発掘調査が進められていた茨城県虎塚古墳で12日彩色壁画が発見された。この壁画は玄室壁面に白土地下・赤色顔料で幾何学文様、武具、船などを描いたもので、ほぼ完全な状態で発見された。

○盗難美術品特別手配 警察庁は14日、ICPO(国際刑事警察機構)から特別手配のあった盗難美術品12点(ロートレック作「マルセル」、端光山清水寺蔵「十一面観世音菩薩像」を含む)について国内における徹底的捜査を指示した。

○広田松繁氏コレクション寄贈記念展 本年1月、東京国立博物館に広田松繁より寄贈された中国陶磁を中心とするコレクションから300余点が選ばれ、同館東洋館特別陳列室で公開された。

○アメリカの日本作家展 海外で活躍する日本作家展シリーズとしてアメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジルで活躍している日系作家を含む34作家の作品によって開催された。京都国立近代美術館26日～11月4日。

○「モナ・リザ」の日本公開決まる 訪仏中の田中首相とポンピドー大統領は28日会談し、ルーヴル美術館所蔵、レオナルド・ダ・ヴィンチ作「モナ・リザ」の日本における公開を正式に決定した。

## 10 月

○中原悌二郎賞 第4回中原悌二郎賞は高橋清の作品

「人No.13」、優秀賞は篠田守男「テンションとコンプレッション」、一色邦彦「ひびき」にそれぞれ与えられた。

○特別展「日本の染織」 飛鳥奈良時代以降、各時代にわたる日本の染織の特別展観が16日から11月25日まで東京国立博物館で開かれた。同展には米国にある日本近世染織の「故野村正治郎コレクション」も特別出品された。なお、このコレクションはこのほど文化庁による買上げが決定した。

○ルソー作『熱帯』 昨年末ニューヨーク、メトロポリタン美術館から売りに出されていたルソーの傑作『熱帯』が日動画廊を通じて商社の三井物産が購入していたことが明らかとなった。同作品はいずれ国立西洋美術館に寄託され一般に公開される。

○名作浮世絵展 プロシア文化財国立美術館のベルリン東洋美術館が所蔵する浮世絵版画224点が公開された。東京展=10月18日～23日・池袋東武百貨店、宇都宮展=10月25日～30日・東武宇都宮百貨店

○浄土教絵画展 京都国立博物館では秋の特別展として10日から11月11日まで浄土教絵画の展覧を行った。なお敦煌出土の遺品(ギメ美術館所蔵)も同時に特別公開された。

○高松塚古墳の入室調査と保存対策 11日から18日まで文化庁、高松塚古墳保存対策調査会による保存対策調査及び保存施設工事の事前調査が行われた。また14日には壁画修復部会が奈良国立博物館で開かれ、壁画は現状のまま保存し、修復にはアクリル樹脂を使用し剝落を防止するという方針を決定した。

○文化勲章、文化功労者 本年度の美術関係の文化勲章受章者は建築家の谷口吉郎、文化功労者には彫刻家の沢田政広が決定、30日発表された。

## 11 月

○香雪美術館開館 朝日新聞の創始者故村山龍平のコレクションからの寄贈品(重文15点を含む)を中心とした香雪美術館が開館し6日から12月2日まで「開館記念名品展」が開かれた。

○三井寺秘仏特別開扉 三井寺(園城寺)に伝わる国宝「不動明王画像(黄不動)」同「新羅明神像座像」同「五部心観」など32件が8日から20日まで横浜高島屋で公開された。

○美術関係者に菊池寛賞 第21回菊池寛賞が美術評論家土方定一に与えられた。鎌倉近代美術館長としての卓抜な企画力による業績に対するもので、美術関係者の同賞受賞は初めてのことである。

○日本芸術院会員 26日、本年度の会員補充選挙の開

票が行われ、美術関係では日本画家の奥田元宋が新会員に選ばれた。

- 新指定の文化財 今回新たに建造物23件39棟が重要文化財に指定された。そのうちわけは洋風建築1件、民家21件、その他1件である。
- 「虎塚古墳」など史跡指定 文化財保護審議会は記念物関係文化財として9月に発見された東日本の装飾古墳「虎塚古墳」など5件を指定、30日発表した。

## 12 月

- 建仁寺禅居庵本堂全焼 5日、建仁寺山内寺院の1つ

禅居庵本堂が全焼した。しかし「摩利支天堂」や近くにある重文「勅使門」は類焼をまぬがれた。また本堂の重文「松竹梅図」襖12面は京都国立博物館に寄託してあったため無事。京都では今年になって、方広寺大仏殿(3月28日)、東大谷本願庫裏(8月19日)などが火災に遭っている。

- 盗難の観音像発見 昨年9月盗難にあつて以来行方のわからなかった清水寺(島根県安来市)の重要文化財・十一面観音立像(木造・平安時代)が12日兵庫県尼崎市で発見された。
- はにわ展 東京国立博物館では13日から3月18日まで特別展「はにわ展」を開き、はにわの優品108点を公開展示した。



## 昭和49年美術界年史

## 1 月

- デパート等における国宝・重文の公開禁止 文化庁は文化財の万全な保護を期すため、14日付けで2月1日以降国宝、重要文化財指定美術工芸品のデパート等臨時施設における公開を許可しないこととした。
- 法然上人絵伝公開 東京国立博物館では浄土宗開宗800年を機に7日から3月10日まで知恩院蔵国宝「法然上人絵伝」48巻の特別展観を行った。現存絵巻中にその浩瀚さをほころぶ法然上人絵伝が2期に分けて全巻公開され注目を集めた。
- エジプト古代王朝遺跡発掘 早稲田大学古代エジプト調査委員会は昨年末よりエジプトのマルカタへ第3次調査隊を派遣していたが、今月中旬ツタンカーメン王墓で知られる「王家の谷」近くで、第18王朝前後と目される建物跡を発見した。

## 2 月

- 平櫛田中賞 第三回平櫛田中賞は、江口遇に決定した。

## 3 月

- ティグリス・ユーフラテス文明展 イラク国立博物館所蔵のメソポタミア遺品219点が1日から4月14日まで東京国立博物館で公開された。以後、名古屋、金沢、岡山、札幌を巡回。
- 安井賞 第17回安井賞に絹谷幸二「アンセルモ氏の肖像」が4日決定した。
- 新指定の文化財 今回新たに指定をうけた物件は美術工芸品では高松塚古墳壁画を含む国宝4件(絵画1件、書跡2件、考古1件)と重要文化財68件(絵画19件、彫刻9件、工芸13件、書跡20件、考古7件)である。また建造物関係では17件40棟が重要文化財に指定された。
- 西独で現代日本美術展 西ドイツ・デュッセルドルフの市立美術館では、5月に「日本の美術伝統と現代」と

いう展覧会を開くことになり、そのためJ・ハルテン館長が来日、作品の選定に当たった。

- 芸術選奨 昭和48年度芸術選奨文部大臣賞美術部門に、彫刻家佐藤忠良「帽子・あぐら」、建築家横文彦「代官山集合住宅」が、また文部大臣新人賞は、陶芸家加守田章二「刻文壺」が決定した。
- 重要無形文化財保持者認定 文化財保護審議会は、29日重要無形文化財保持者(人間国宝)に、美術部門では髹漆家赤地友哉を認定した。
- セザンヌ展 国内と欧米10ヶ国から集められたセザンヌの油彩画61点、水彩画27点、デッサン40点、版画10点、からなる本格的なセザンヌ展が30日から5月25日のあいだ東京・上野の国立西洋美術館で開催された。主催・国立西洋美術館、読売新聞社。

## 4 月

- 高松塚古墳壁画の模写公開 昨年来前田青邨の総監修のもとで進められてきた高松塚古墳壁画の模写が完成し、28日から5月25日までの奈良国立博物館での公開を皮切りに岡山県立博物館、九州歴史資料館、仙台市立博物館、東京国立博物館で一般公開された。
- 日本芸術院賞 日本芸術院では9日昭和48年度(第30回)恩賜賞、院賞の受賞者を内定、美術部門では恩賜賞に猪原大華(日本画)、芸術院賞に木下繁(彫塑)、前川国男(建築)が選ばれた。
- アンドリュウ・ワイエス展 克明な写実主義の現代アメリカの人気作家、アンドリュウ・ワイエスの展覧会が6日から5月19日まで東京国立近代美術館で開催されて注目を集めた。
- 「モナ・リザ」展 昨年9月に正式決定をみた「モナ・リザ」展は、20日から6月10日まで上野の東京国立博物館で開催され、同時に国立科学博物館では「科学者レオナルド・ダ・ビンチ」展が開かれた。
- 迎賓館完成 旧赤坂離宮を改修した迎賓館落成式が23日各界名士参列の下に盛大に挙行された。
- 仏像と像内納入品展 奈良国立博物館では仏像とその像内に奉納された舍利、願文などの像内納入品51体分を選び28日から5月26日まで特別展を開催した。

## 5 月

- 日本国際美術展 中断していたが第11回展として再出発、アメリカのスーパー・リアリズムを中心として21作家36点とヨーロッパの部は同傾向の版画8作家13点、国内部門は「複製・映像時代のリアリズム」をテーマとして10日から30日まで東京都美術館で開催された。
- 「創画会」結成 新制作協会の日本画部会員全員37名がこのほど退会届を出し、25日、東京・八重洲口の鉄道会館で開かれた同協会の総会で正式に受理された。退会した全員は新団体「創画会」として活動を行うことになった。

## 6 月

- 東大寺大仏殿修理起工 国宝東大寺大仏殿の昭和の大修理が正式に着工されることとなり、4日起工式が行われた。今回の修理は「明治大修理」以来約60年ぶりのこと。
- 第6回日本芸術大賞 第6回「三大新潮賞」の受賞者はさきごろ決まっていたが、20日、東京・赤坂のホテル・オークラで、その贈呈式が行われた。今回の日本芸術大賞は流政之（彫刻による都市建築との新空間の創造に対して）が受けた。
- 日本のガラス展 29日から7月28日まで神奈川県立近代美術館において、古代から現代に至るガラスの造型325点が展示された。

## 7 月

- 梅原龍三郎が秘蔵の美術品を寄贈 洋画家の梅原龍三郎が秘蔵の美術品をこのほど東京・上野の国立西洋美術館と東京国立博物館に寄贈した。西洋美術館には、ルノワールの油絵「横たわる浴女」、ドガのバスレル画「背中を拭く女」、ピカソの油絵「アトリエのモデル」と「男と女」、ギリシャ時代キクラデスの大理石彫刻「ヴァイオリン型の女」など3点の計7点で、同美術館では早速、29日に特別展示、翌日から一般公開した。また国立博物館には、重要文化財の紙本墨書「釈迦宝殿」など6点である。

- 雪村展 31日から9月1日まで雪村の特別展観が東京国立博物館で開かれた。室町時代末期、東国で活躍した画僧雪村の作品と共に、その画風を追った雪関、雪洞等の作品も同時に展示された。

## 8 月

- 京の社寺名宝展 京都国立博物館はその創立85周年記念展「京の社寺名宝展」を開き、24日から9月23日まで京都の社寺の所蔵する名宝約135点(国宝54件、重文78件を含む)が公開展示された。
- 法隆寺宝物館記念展示 昭和39年9月に開館した東京国立博物館法隆寺宝物館が開館10周年をむかえ、記念展示を行い、「48体仏」「聖徳太子・二王子画像」「聖徳太子絵伝」などの品々を19日から10月6日まで公開した。
- 第18回シエル美術賞 “絵画における写実の意味の再認識”をテーマに、約5百名、1千点の応募作品を審査の結果、次の受賞者がこのほど決まった。1等=高村登志夫「絵画B、C」・2等=齊藤吾朗「記念撮影その1、3」・3等=松井和弘、井上徹雄、田崎徹。
- 第2回長野市・野外彫刻賞 昨年度からはじめられた野外彫刻賞の受賞者がこのほど決まった。加藤昭男「母と子」、高田博厚「水浴」、流政之、保田春彦の4名で、後二者はこれから制作する。

## 9 月

- 「ヨーロッパ絵画名作展」 ドイツ民主共和国との国交樹立を記念してドレスデン国立美術館所蔵品による「ヨーロッパ絵画名作展」が国立西洋美術館で21日より11月24日まで開催された。
- 銅鐸鋳型発見 今月末、大阪府茨木市の東奈良遺跡で銅鐸鋳型が原型のまま発掘された。同遺跡からは去年11月、鋳型の破片が発掘され、さらに今年5月には銅戈の鋳型片、ふいごの部分などが発掘されている。

## 10 月

- 沖縄の工芸展 京都国立近代美術館は1日から11月17日まで15世紀以降の沖縄の染織、陶磁、漆器の展覧会を行った。
- 中原悌二郎賞 第5回中原悌二郎賞は柳原義達「道標・鳩」、優秀賞は加藤昭男「月に飛ぶ」、木村賢太郎「ひそかな笑い」に授与された。

- 絵巻展** 東京国立博物館では10日から11月24日まで絵巻の特別展を開いた。わが国の主要作品に加え、クリーヴランド美術館からも2件が出品され、平安時代末期から近代に至る絵巻物の代表作125件が内容別に展示され、好評を博した。
- 神々の美術展** 京都国立博物館は10日から11月10日まで、神道関係美術の特別展を開き、絵画・彫刻・書跡・工芸177件を展示した。
- 群馬県立近代美術館の開館** 群馬県による明治百年記念事業の一環で、高崎市岩鼻町にある“群馬の森”の中核として建設されたもので、17日開館した。開館記念展として、第一部門・湯浅一郎、山口薫、福沢一郎の作品展、第二部門・近代日本画秀作展を開催した。設計は磯崎新、KK環境計画による。
- 北川桃雄賞** 美術評論家の故北川桃雄基金による第1回受賞は、大仏殿昭和大修理と、由水常雄の「ガラス工芸研究に対して」と決定、それぞれ賞金が贈られた。
- 文化勲賞・文化功労者** 本年度の美術関係の文化勲賞受賞者に日本画家の杉山寧、橋本明治の二人と、文化功労者に仏教考古学の石田茂作が選ばれ、25日発表された。
- アンディ・ウォーホル展** アメリカの特異な造型作家アンディ・ウォーホルのわが国における最初の個展が31日から11月12日まで大丸東京店で開催された。30日ウォーホルも来日した。

## 11 月

- 北九州市立美術館開館** 同市戸畑区の高見丘陵に地上4階、地下2階、延べ約1900平方メートル、4つの

展示室と図書室、講堂ほかを備えて完成し、3日開館した。開館記念展として「中華人民共和国漢唐壁画」展を12月1日まで開催する。設計・磯崎新。

- 日本芸術院会員** 本年度の会員補充選挙において美術関係では、水彩画の小堀進、彫刻の富永直樹、工芸の帖佐美行が選ばれた。
- 初期南画展** 23日から12月17日まで奈良県立美術館において「初期南画の展開」をテーマとした展覧会が催された。

## 12 月

- 新都美術館運営について要求書** 既成美術団体に所属しない画家たちによる都立新美術館問題対策協議会は、16日佐藤文男都教育長に対して新美術館の運営に関する7項目におたる要求書を手渡した。
- 中尾山古墳は八角形古墳** 奈良県明日香村の史跡・中尾山古墳を調査していた榎原考古学研究所は24日同古墳周囲が八角形に整備され、墳丘も八角形に築成されたものであることを確認した。
- 安土城天守閣の全容解明** 名古屋工大教授・内藤昌氏は静嘉堂文庫の池上家文書から天守指図を発見、考証の結果、なぞとされていた安土城天守閣の指図であることを解明、このほど天守閣復元図を完成させた。

# 主要美術展覧会

〔現代美術〕

1 月

- アンソール展 1-28 京都国立近代美術館
- 13回印象の作品展 1-6月8 堂本美術館
- サントリー73年展 2-28 サントリー美術館
- 日展日本画受賞作家新作展 4-9 銀座・松屋
- 文明のあけぼの「シルクロード美術展」 4-9 東急本店
- 橋本関雪展 4-17 京王
- 特別展「今日の日本画」 4-2月25 山種美術館

出品目録

- 午後(マンティニアによる) 青山 亘 幹
- 野ほとけ曼荼羅 穂 月 明
- 滄港の花 池田 幹 雄
- 遠い日 石黒 直 子
- 林 石田 武
- 花鳥風月論 稲垣 三 郎
- マンゴの木 入江 西 一郎
- 晨雪譜 岩 沢 重 夫
- 鳴 上 村 淳 之
- 金烏・蟾蜍 ヒキガエル 大野 俣 嵩
- 天草 小 山 硬
- 霜 加 倉 井 和 夫
- インド 鎌 倉 秀 雄
- ユーカーラ-雪降る頃 川 井 坦
- 人の子は 川 端 健 生
- わかれの日 小 泉 淳 作
- 群像 小 嶋 悠 司
- 古代の幻想-落日 小 林 恒 火 子

- 地の華-凍結した夜- 佐々木 裕 久
- 宵 塩 見 仁 朗
- 映 鈴 木 至 夫
- 飛 天 関 口 正 男
- 雪 の 精 田 島 な ず 美
- 野 宴 竹 内 浩 一
- 脈 - 渦 館 岡 豊 照
- 緑 譜 田 沢 俊 夫
- 土 土 屋 礼 一
- あやとり-自然との対話- 鳥 屋 尾 安 亮
- 豆 と 猫 西 内 利 夫
- 叢 西 真
- 狂言-花子 長 谷 川 青 澄
- ア パ ー ト 晶 中 光 享
- 風 景 浜 田 昇 児
- 初 秋 路 傍 林 潤 一
- 汀 正 井 和 行
- こうしていると 松 本 文 子
- 池 映 若 木 山
- 兆 下 田 義 寛
- 凍 林 松 尾 敏 男
- 杉本健吉新平家物語挿絵展 4-7 大阪・阪急
- 4回行動美術新人選抜展 5-11 紀伊国屋画廊
- ヨーロッパの日本作家 5-2月1 東京国立近代美術館
- 沖縄の焼物 5-28 京都府総合資料館
- 4回昭和会受賞作家展 6-15 日動サロン
- 創立100年記念東京国立博物館所蔵名品展 6-2月11 東京国立博物館
- 4回女流画家合同展 6-24 東急日動画廊
- 1回竹内晟個展 8-13 パピエ画廊
- 梅原龍三郎・熊谷守一巨匠二人展 8-20 ギャラリー・ためなが

- 朝妻治郎 Pastel 展 8-21 藤好画廊
- ビュフェ、シャガール、ミロのリトグラフ展 8-13 丸善画廊
- 15回藝会日本画展 9-15 高島屋
- 舟越保武デッサン展 9-27 ギャラリー・オカベ
- 現代彫刻展 9-21 三越
- 日本画の系譜「先生と弟子」展 9-28 東京セントラル美術館
- 狂熱-その宿命の画家スーチン展 10-31 吉井画廊新館
- 龍村美術織物展 11-16 京都・大丸
- 彼末宏展 12-17 サエグサ画廊
- 西八郎・西さだ子展 15-20 日本画廊
- 広瀬義男個展 15-20 ギャラリー21
- 塗師祥一郎新作展 15-25 ギャラリー・かねだ
- 現代ヨーロッパ作家-リトグラフ展 15-21 大阪・阪急
- 八駿会展 16-20 スルガ台画廊
- 佐々木邦彦遺作素描展 16-21 京都府ギャラリー
- 24回荻野康児個展(聖堂を主題として) 16-21 高島屋
- 19世紀ヨーロッパ大理石彫像特集 16-21 三越
- 島田章三展 16-27 サエグサ画廊
- 世界の染織展 16-2月11 大阪・大阪市美術館
- アンドレ・コタボ展 17-27 日動画廊
- 牛島憲之20年対比展 17-31 大阪・フジカワ画廊
- 「ウィルデンシュタイン東京」開設披露展 18-3月16 ウィルデンシュタイン東京

岡田三郎助油彩展 19—24 銀座・松屋  
 内山懸個展 19—24 日本橋・東急  
 1 回手代木克信個展 22—2月3 彩壺堂サロン  
 フランス・ミンナート展 22—2月3 日本画廊  
 22回刑部人油絵展 23—28 三越  
 サルバドール・ダリリトグラフィ展 23—28 三越  
 院展受賞作家新作展 25—30 銀座・松坂屋  
 上原卓・平川敏夫2人展 25—30 京都・大丸  
 中川一政展 25—30 大阪・松坂屋  
 バカダーレ個展 (マリオ・バカダーレ) 26—31 東急日動画廊  
 知求会春季展 28—2月3 地球堂ギャラリー  
 三上隆彦油絵展 30—2月4 三越ギャラリー・アネックス  
 三上正寿日本画展 (奥の細道を描く) 30—2月4 伊勢丹  
 アンドレ・ポーシャン展 (生誕100年記念) 30—2月11 三越

2 月

25回立軌展 1—11 東京セントラル美術館  
 8回昭和会展 1—15 日動サロン  
 東京国際版画ビエンナーレ展 1—3月15 京都国立近代美術館  
 近代日本版画のあけぼの展 2—7 銀座・松屋  
 野島青茲展 2—7 銀座・松屋  
 原勝四郎展 3—21 大阪・梅田近代美術館  
 回想の清方展 (その1) 3—3月11 サントリー美術館  
 独立美術京都作家展 3—10 京都市美術館

15の主題と変奏(第1週)(あかね画廊主催展) 5—11 あかね画廊  
 マベ・マナブ展 6—3月3 徳間美術サロン・真善美画廊  
 畝村直久彫刻展 (没後10周年記念) 6—11 三越  
 木田金次郎展 9—14 東急日本橋店  
 堂本印象展 11—3月11 京都市美術館  
 15の主題と変奏(第2週)(あかね画廊主催展) 12—18 あかね画廊  
 ジャコモ・バッラ展 12—24 東京画廊  
 彫刻の俊英たち展 12—24 フジテレビギャラリー  
 小柳秀太郎作品展 13—25 東京セントラルサロン  
 ナウ・アメリカン・アート (イラストレーションをこえて または ミュータントたちの美術展) 13—3月31 東京セントラル美術館  
 白士会日本画展 16—21 銀座・松屋  
 宗重喜久子展 16—23 日動サロン  
 堀口泰造テラコッタ彫刻展 16—26 日本橋画廊  
 福本章油絵展 16—24 日動サロン  
 清水登之展 17—3月25 栃木県立美術館  
 出品目録  
 油 彩  
 酒 場 1918  
 横 浜 夜 景 1925  
 支 那 街 1922  
 ブロクター座前 シ  
 私 の 家 庭 シ  
 アイスクリームパビリオン シ  
 チャイルド洋食店 1923  
 親 子 像 シ  
 ウッドストック肉屋裏庭 シ  
 バリ地下鉄切符売 1924  
 バリの床屋 シ  
 活 動 写 真 シ

街 の 掃 除 夫 1925  
 メリーゴーラウンド シ  
 兵隊と僧侶(トレド郊外) シ  
 踊 鉄 シ  
 水兵の居るカフェー 1926  
 主婦と下男 シ  
 生 家(秋) 1927  
 生 家(春) 1933  
 支 那 街 1928  
 歯 科 医 シ  
 葉 を 売 る 男 シ  
 分 譲 地 1929  
 大 麻 取 穫 シ  
 父 の 庭 1930  
 地 に 生 る シ  
 地 に 憩 ふ シ  
 池 畔 シ  
 若 樵 夫 シ  
 乳 母 シ  
 夏 朝 1931  
 植木屋の家族 シ  
 山麓の家族 シ  
 陶土の丘 シ  
 母 子 像 シ  
 芋 畑 シ  
 薪 農 家 の 庭 1933  
 幼 女 像 シ  
 蛙 と 樽 シ  
 炉 辺 1934  
 蒙古風景(高原・女・馬) 1935  
 戦 蹟(1) 1937  
 戦 蹟(2) シ  
 更 生 1940  
 南 国 海 辺 1942  
 昭南セレーター浮ドック シ  
 南国の青年 1944  
 その他  
 デッサン (6点)  
 水 彩 (60点)  
 26回アンデパンダン展 18—3月2 都美術館  
 伊藤朝彦・大野修展(企画展) 19—3月3 日本画廊  
 吉原英雄展 19—3月3 南天子画廊  
 田中一光個展 19—24 大阪・ブチ・イマバシ

昭和48年主要美術展覧会(2・3月)

平柳中展 20—3月25 東京国立  
近代美術館  
姉ごころ 1907  
無<sup>な</sup>矣<sup>いた</sup> 〃  
維摩一黙 1911  
尋牛 1913  
灰袋子 〃  
落葉 〃  
さつきごろ 〃  
禾山笑 1914  
醉吟行 〃  
裸婦倚像 1916  
森の書 1917  
烏有先生 1919  
転生 1920  
良寛来 1930  
岡倉天心先生胸像 1931  
源頼朝像 1934  
浅野長勲公寿像 1935  
霊亀随 〃  
霊亀随 1936  
平安老母 〃  
三井高福公像 1937  
鏡獅子試作頭 1938  
試作鏡獅子 1939  
烏有先生 1941  
鶴<sup>へ</sup> 1942  
島守 1943  
慶典読書奉仕 1944  
燈下萬葉 1948  
西山遣遙 1957  
鏡獅子試作 1958  
鏡獅子 〃  
五浦釣人 1962  
ウォーナー像 1970  
日月星辰・高山辰雄展 20—25 高  
島屋  
深谷徹油絵展 20—25 高島屋  
茂木弘行彫刻展 24—3月7 現代  
彫刻センター  
ベルナル・ビュッフ展 27—3  
月4 三越  
南政善油絵展(人物を描いて40年)  
27—3月4 三越  
5回潮展 27—3月4 銀座・三越  
平川勇個展 27—3月4 高島屋  
村田勝四郎彫刻展(野鳥・少年) 27  
—3月4 三越

ザッキン回顧展 27—3月14 伊勢  
丹

3 月

恵俊彦展 1—10 日本橋画廊  
水谷淳油絵個展 1—20 ギャラ  
リー・ジェイコ  
大和文華館所蔵名品展 1—4月22  
大和文華館  
7回松永敏太郎展 2—8 四方宜  
画廊  
芸術院賞受賞記念・高田誠展(14回  
県民ギャラリー) 2—11 埼玉  
会館第3展示室  
春の特別展・一對のこころ展(前期)  
3—4月1 山種美術館  
23回一線美術展 3—16 都美術  
館  
開館記念・富本憲吉展 4—4月22  
奈良県立美術館  
33回美術文化展 4—16 都美術館  
16回新協展 5—16 都美術館  
17回新槐樹社展 5—16 都美術館  
山県寿夫展 5—31 ギャラリー・  
ユニバース  
加守田章二作陶展 6—11 高島  
屋  
上永井正個展 6—11 高島屋  
中村貞以日本画展 6—11 三越  
3回彫刻家と画家の対話・人物デッ  
サン展 10—20 現代彫刻センター  
ブリアンションとその周辺展 10—  
25 吉井画廊新館  
山田康雄木彫展 12—17 パビエ画  
廊  
桑原巨守彫刻展 12—17 三越  
山本正油絵展 12—17 三越  
関根伸夫展 12—24 東京画廊  
酒見恒平不孤展 12—24 彩壺堂分  
室  
田畑一作彫刻展 16—21 銀座・松  
屋  
8回穹展 17—24 日動サロン(梅  
津五郎、菅野矢一、所栄次、西田

亨、日野耕之祐、平松謙、広瀬  
功、深谷徹)  
26回示現会展 18—31 都美術館  
25周年記念三軌会展 18—31 都美  
術館  
不動茂弥展(企画展) 19—24 日本  
画廊  
1回集団デルタ展 19—24 アー  
ト・プラザ  
原口典之展(画廊企画) 19—25 田  
村画廊  
進藤善個展 19—31 京王梅田画廊  
銀座店・彩壺堂サロン  
日美の流れ展(日本美術学校) 20—  
4月1 東京セントラル美術館  
ブラック・アーティスト、ロマー・ペ  
アデン展 20—4月1 伊勢丹  
春の特別展・はたらく風俗 20—5  
月6 サントリー美術館  
奥龍之介展 20—29 銀座美術館  
二重作龍夫油絵展(100余点・ベニス  
を画く'73) 20—25 三越  
矢柳剛版画展 25—4月2 日動サ  
ロン  
土井俊泰作品展(東京展) 26—31  
彩壺堂分室  
松村禎夫個展 26—31 地球堂ギャ  
ラリー  
7回東方美術展 27—4月2 上野  
の森美術館  
20回記念サンシュマン展 27—4月  
1 高島屋  
木本晴三作品展 27—4月8 東京  
セントラルサロン  
4回閃光会日本画展 27—4月1  
三越  
3回松籙会日本画展 30—4月4  
銀座・松屋  
棟方志功蘭奢待頌展 30—4月4  
東急日本橋店

4 月

- 錦木昌弥展 2-7 あかね画廊  
 麻生三郎デッサン展 2-7 南天  
 子画廊  
 23回モダンアート展 2-19 都美  
 術館  
 西野久子新作展 2-30 ギャラ  
 リー・プロイセン  
 サルヴァドール・ダリ展(馬を主題  
 に) 3-8 高島屋  
 ヨーロッパ現代作家版画展 3-8  
 高島屋  
 28回春の院展 3-8 三越  
 寺田春弼新作油絵展 3-9 兜屋  
 画廊  
 松島正幸展 3-9 日動サロン  
 斉藤清墨絵展 3-14 ギャラリー  
 おかべ  
 59回光風会展 3-19 都美術館・  
 上野の森美術館  
 春の特別展・一對のこころ展(後期)  
 3-29 山種美術館  
 7回女流陶芸展 4-9 京都市美  
 術館  
 現代洋画精鋭12人展 6-11 東急  
 日本橋店  
 山家初枝彫刻展 7-14 現代彫刻  
 センター  
 鉄斎展 7-5月6 京都国立博物  
 館

出品目録

掛幅・額装

- 叡山雪景図 1幅 1864  
 烟霞幽情図 シ  
 水墨百亀図 シ 1867  
 菖蒲図 シ  
 茶仙陸羽像 シ  
 八幡天降図 シ  
 花瓶図 シ 1869  
 花卉図 シ  
 越溪観楓図 シ  
 雪中牡丹図 シ 不詳  
 三津浜魚市図 シ 1875  
 漁楽図 シ 1876

- 大田垣蓮月像 1幅 1877  
 群盲評古図 シ 1884  
 和氣公画像 シ 1886  
 青緑山水図 シ 1890  
 楠妣庵図 シ 1894  
 野亭遊客図 シ  
 天窟神楽図 シ  
 乙寶寺縁起 2幅 1895  
 旧蝦夷風俗 3幅 不詳  
 鷄 1幅 1897  
 洛西太秦牛祭図 シ 不詳  
 源頼光討賊図 シ 1899  
 盆踊図 2幅 不詳  
 十六羅漢図 1幅 1903  
 勾白字詩七絶 シ 不詳  
 梅溪放棹図 シ 1905  
 阿弥陀仏像 シ  
 十六応真画像 シ 1906  
 普陀落山観世音菩薩 2幅 不詳  
 像  
 老子度関・陸羽煮茶 2幅 1907  
 図  
 北野大茶湯図 1面 不詳  
 鮮魚図 1幅 1910  
 江山招隠図 シ  
 寒月照花・梅花満開 2幅 1911  
 図  
 王石谷草堂図 1幅  
 万里尋親図 シ 不詳  
 松鶴図 シ 1912  
 夏景山水図 シ 1912  
 葛仙移居図 シ  
 蘭亮修禊図 シ 1913  
 祝寿書画 2幅 1914  
 安楽窩図 1幅  
 三千歳図 シ  
 鹿門帰隠図 1面 1915  
 碧桃寿鳥図 1幅 1916  
 十牛図意図 シ  
 大江捕魚図 シ 1916  
 松葉谷化城之図 シ 不詳  
 松柏山水図 シ 1917  
 大国主・事代主御神 2幅  
 影  
 遠山雪景図 1面  
 和合万福図 1幅  
 王元之竹楼記図 シ  
 聚沙為塔図 1面  
 東坡飯院図 1幅  
 掃蕩俗塵図 シ  
 寄情丘壑図 シ

- 天賜吉慶図 1幅  
 煙雲供養幀 3幅 1918  
 群僊高会図 1幅  
 三老吸酢図 シ  
 鍾馗嫁妹図 1面  
 東山花雨図 1幅  
 阿倍仲麻呂在唐詠和 2幅 不詳  
 歌図  
 層巒穩舞図 シ  
 仙縁奇偶図 シ 1919  
 墨面白蓮図 シ  
 釈尊出山図 シ  
 武陵桃源図 シ  
 雲壑靈院図 シ  
 観世音菩薩像 シ  
 魚籃観音像 シ  
 純是君子図 シ 1919  
 小點大胆図 シ 1920  
 福祿寿会図 シ  
 福祿寿図 シ  
 撥雲尋道図 シ  
 紙雛図 シ  
 浮島原晴景図 シ  
 賢母教導図 シ  
 花桜人武士図 シ  
 漁夫快酔図 シ  
 天鈿女命神楽舞図 シ  
 間遊戯図 シ  
 魚籃観世音像 シ  
 教祖渡瀛図 シ  
 観世音菩薩像 シ  
 化城喻品図 シ  
 蓬萊群僊会図 シ  
 東坡謁仏印図 シ  
 渴水喫霞図 シ  
 大国主大神影図 シ  
 漁邨暮雨図 シ  
 漁夫大獵図 シ  
 笑傲煙霞図 シ  
 思逸山居図 シ 1921  
 溪居清適図 シ  
 追儼図 シ  
 瞽盲摸象図 シ 1921  
 雲關石門図 シ  
 菖蒲献上図 シ  
 吉野乃面影図 シ  
 南山宝刹図 シ  
 撥雲尋道図 シ  
 東坡安蔬図 シ  
 守愚捕拙図 シ

昭和48年主要美術展覧会(4月)

魁星図賛 1幅  
 帝者師太公望釣魚図 〃  
 呂仙人洞賓図 〃  
 蘇子会友図 〃  
 心織筆耕図 〃  
 教祖渡海図 〃  
 伏魔大帝関雲長像 〃  
 布袋和尚図 〃  
 吉慶福兆図 〃 1922  
 羅漢図 1面  
 前赤壁図 1幅  
 赤壁四面図 〃  
 後赤壁図 〃  
 魁星閣図 〃  
 心遊仙境図 〃  
 三尊窟靈蹟図 〃  
 普陀落山觀世音菩薩像 〃  
 青龍起雲図 〃  
 嫦娥奔月図 〃 1923  
 普陀落山觀世音菩薩像 〃  
 西王母図 〃  
 閨窓脩竹図 〃  
 瓢中快適図 〃  
 武陵桃源・瀛洲神境図 2幅  
 水郷清趣図 1幅  
 仁和梵宮図 〃  
 蓬丘僊境図 〃  
 扶桑神境図 〃  
 甘谷菊叢図 〃  
 朱梅図 〃  
 松芝不老図 〃 1924  
 新年言志図 〃  
 梅華書屋図 〃  
 山輝水媚図 〃  
 勝景掌覽図 〃  
 閑居避塵図 〃  
 鍾馗降福図 〃  
 弘法大師在唐遊歴図 〃  
 陸羽茶癖図 〃  
 艤槎図 〃  
 巖栖十八羅漢囲碁図 〃  
 一休訪蓮如图 〃  
 西湖全景図 〃  
 水墨清趣図 〃  
 二僊授受図 〃 1924  
 千歳桃図 〃  
 普陀落山觀世音菩薩像 〃

山色連天図 1幅  
 維摩居士像 〃  
 瀛洲僊境図 〃  
 榮啓期図 〃  
 二神会舞図 〃  
 富而不驕図 1面  
 富士山図 〃  
 山紫水明処図 〃  
 卷子  
 堺県行幸道筋官幣大社御陵位置図巻 1巻 1877  
 堺県行在所御飾付画卷 〃  
 大鳥神社神幸図巻 〃 1878  
 和氣清唐朝臣図巻 〃 不詳  
 大雅軼事図巻 〃 1888  
 耶馬溪図巻 〃 不詳  
 十便十宜帖 1帖 1891  
 利市三倍図巻 2帖 1904-5  
 十年研鍊帖 1帖 1907  
 静観楽事帖 〃 1914  
 模石濤東坡詩意画冊 〃  
 北窓画談図巻 〃  
 墨癖余筆帖 〃 1917  
 画帖東坡談 〃 1918  
 不盡山画叢 1巻 1920  
 林羅山詩稿画帖 2帖 1922  
 貽咲墨戲帖 1帖 1923  
 扇子  
 扇子 10本  
 新年雪図 關風七月図 蔬菜図 濯足萬里図 對山清話図 鴨湾懷古図 雨窓図 旭光照波図 芙蓉図 墨梅図  
 扇子 9本  
 歸樵図 西湖遠眺図 迪古録意図 瓜図 連壑絶頂図 蘭亭真景図 播種図 和歌賛図 富而不驕図  
 扇子 5本  
 富士山図 竹石図 寒鴉叫飢図 菽図 加茂清蔭図  
 扇子 2本  
 東坡石鈔図 樂此幽居図  
 扇子 2本  
 金銀泥絵 東山学舎図  
 扇子 2本  
 山水図 蔬菜図  
 扇子 梅図 1本  
 扇子 牧童図 1幅  
 扇子 歳寒二友図 〃

障屏  
 書画貼交屏風 1双 不詳  
 富嶽絶頂図 1隻 1976  
 群僊祝寿図 4面 不詳  
 旧蝦夷風俗図 1双 1896  
 富士山図 〃 1898  
 武陵桃源・蓬萊僊境図 〃 1904  
 富士遠望・寒霞溪図 〃 1905  
 松芝剛勁・柏樹仙鹿図 〃  
 妙義山・澗入丁図 〃 1906  
 椿石図 1基 不詳  
 瀑布山水図 2面 1908  
 白梅椿図 〃  
 松藤・桜花図 〃  
 青緑山水図 1双 1912  
 阿倍仲麻呂明州望月 円通大師吳門隱栖 〃 1914  
 四君子絵図 1隻 1919  
 書蹟  
 落款手本 1冊 不詳  
 火用慎書 1幅 不詳  
 心煦十方書 1面 不詳  
 澄心得妙観書 〃 不詳  
 萬歳書 1幅 1915  
 光照十方書 1面 不詳  
 祝寿聯 2面 1920  
 知足門書 1面 不詳  
 前赤壁賦書 3冊 1922 1924  
 放光閣書 1面 1923  
 自詠和歌書 〃  
 波切不動尊書 1幅  
 慈眼視衆生書 1面 1924  
 書翰  
 書翰 蓮月尼宛 慶応元年 6月 日付  
 〃 富岡春子宛 明治5年 5月24日付  
 〃 富岡春子宛 明治10年 1月 6日付  
 〃 惠光院宛 (年記不詳) 5月29日付  
 〃 角田栗堂宛 明治41年 6月17日付  
 〃 金剛峯寺宛 大正10年 5月24日付  
 〃 佐々木信綱宛 大正12年 8月15日付



余技・遺愛品	
余 技	
聯掛 松竹梅靈芝絵料紙文庫 松芝	
不老絵文台 双寿千年絵染付煎茶碗	
狸香合 蓮絵染付茶碗 鉄斎春子	
合作手造茶碗 四君子絵桐印篋筒	
松絵釜 竹詩画団扇 酒壺	
遺愛品	
印肉入 印矩 硯盆 毛筆 矢立	
水指 小刀 丸硯 筆舟 筆洗 枕	
形袍 眼鏡	
吉原治良展 7—5月6 神奈川県	
立近代美術館	
出品目録	
手とカード	1930頃
繩をまとう男	1931
図 説	1934
作 品	1934頃
作 品	1935頃
作 品	シ
作 品 A	1936
作 品	シ
火 山	1943
涙を流す顔	1949
作 品	1961
作 品	1963頃
作品(白地に黄円)	1963
作品(黒地に黄土円)	1966
白 い 円	1967
作品(黒地に白丸)	シ
作品(白地に黒縦一)	シ
作品(黒地に白い点の円)	シ
鱈とチューリップ	1928
土 瓶と魚類	シ
芦屋川の見える静物	シ
手 桶の菖蒲	シ
朝 顔等	シ
黒い帽子の自画像	シ
手と朝顔	1930頃
トンボと果物	1931頃
貝がらと魚	シ
魔屋とボート	シ
今津にて	1931
彫刻と花と鳥	シ
犬 と 雁	1931頃
犬 と 花	シ
潜水夫と犬	シ
帆 柱	1931
麦稈帽子と仕事着A	1931頃
麦稈帽子と仕事着B	シ

風 景 A	1932頃
風 景 B	シ
風 景 C	シ
風 景 D	シ
作 品	1934頃
作 品	シ
作 品	シ
作 品	シ
作 品	シ
作 品	シ
作 品 (3)	1934
帆 柱	1935
作 品 (ロ)	シ
作 品	1935頃
作 品	シ
作 品	シ
作 品	シ
作 品	シ
作 品	1935
作 品	1935頃
作 品	1935
作 品 (イ)	シ
作 品 (ロ)	1936
作 品	1936頃
作 品	シ
作 品	シ
作 品	1935~40頃
作 品	シ
夜, 卵, 雨	1937
作 品	1937頃
作 品	1938
菊 菊	1942
鳥 と 女	1942頃
鳥 と 少女	1948頃
鳥 と 少年	1949
鳥 と 人間	シ
涙を流す顔	シ
鳥 と 少女	1950
少女と七羽の鳥	シ
少 女 と 鳥	1952頃
作 品	1952
群 像	1952頃
猫 と 魚	シ
作 品	シ
作 品	1952
作 品	シ
作 品	1953頃
原 始	シ
作 品	シ
作 品	1953
作 品	1954頃
作 品	1957

作 品	1959
作 品	1959頃
作 品	シ
作 品	1960
作 品	1960頃
作 品	シ
作 品	1961
作 品	1962頃
作 品	シ
作 品	シ
Untitled	1963
The White Circle On	シ
The Red	
作 品 B	1964
作品(黒地に白円)	1966
作品(白地に黒横一)	1967
作品(黒地に白円)	1968
作 品 A	1971
作 品 B	シ
作 品 C	シ
作品(黒地に白円)	シ
作品(黒地に白四角)	シ
作 品	シ
作品(黒地に細いロ)	シ
作 品	シ
作 品	シ
作 品	シ
作 品	シ
作 品	シ
スケッチ 16点 題名 制作年代共	
に不明	
ウンダーリヒ版画展 9—21 ギャ	
ラリープリントアート	
川崎小虎作品展(ミニチュアによる)	
10—15 高島屋	
清水鍊徳近作展 10—15 高島屋	
山下新太郎水彩・デッサン展 10—	
16 フジカワ画廊東京店	
田辺穰展 10—17 日動サロン	
焰一人渡仏念秀作展 10—30 サ	
ロンドウボナ	
8 回日春展 13—18 銀座・松屋	
3 回日彫展 13—5月3 都美術館	
栃木県内美術の現況展 15—5月27	
栃木県立美術館	
鍋島紀雄展 16—28 吉井画廊	
菅原安男 芸大退官記念展 16—28	
芸大陳列館	

昭和48年主要美術展覧会(4月)

大沢昌助作品展 16—28 彩壺堂サ  
ロン・彩壺堂分室  
田中繁吉個展 17—22 高島屋  
パンリアル春季展 17—22 京都府  
立文化芸術会館  
12回日本現代工芸美術展 17—22  
高島屋  
15回十二展 18—25 日動サロン  
(浮田克躬、尾崎正章、大津鎮  
雄、北村巖、田中春弥、中谷龍  
一、広瀬功、藤島燐、三橋文雄、  
本山唯雄、渡辺祐一郎)  
島内きみ展 18—28 日動サロン  
浅井忠回顧展 18—29 千葉・  
ニューナラヤ  
1回現代彫刻センター展 18—5月  
12 現代彫刻センター  
島谷晃個展 20—5月1 欽和画廊  
現代ユーゴスラビア美術展 21—6  
月3 東京国立近代美術館  
39回東光会展 22—5月8 都美術  
館  
50回春陽会展 22—5月8 都美術  
館  
47回国画会展 22—5月8 都美術  
館  
6回永田力個展 23—5月2 南天  
子画廊  
マツタ銅版画展 23—5月2 ギャ  
ラリー・プリントアート  
山口蓬春古陶写生展 24—5月4  
壺中居  
山口蓬春遺作展 24—5月6 高島  
屋  
出品目録  
洛南之巻(晩秋) 卷物 大正12  
六題(雨聲)  
木場風景 額装  
秋二題 屏風  
三熊野的那智の 掛幅  
御山  
浄境閑寂  
緑庭  
山路  
帰漁  
潮音  
春秋遊宴

雪中武者掛幅 昭和4  
扇面流し屏風 5  
遠雷 額装  
波野 (写真だ  
け掲載) 6  
雨季 (写真だ  
け掲載) 7  
雨市場冬 7  
市暖冬 8  
春野 10  
黄白 11  
秋夜 11  
午 睡 13  
竹秋南 14  
秋南 15  
残山 17  
山濤 22  
榻上 23  
榻上 24  
矢車 25  
夏印 25  
茄 26  
浜青 26  
初梅 27  
椿夏 27  
望郷 28  
卓上 28  
青沼新 29  
花籠 29  
海老 29  
池畔 30  
盤中 30  
冬菜 30  
向日葵 30  
まり藻と花 30  
鯨とピーマン 31  
鯛 31  
籠中春花 31  
百合花 31  
首夏 31  
芍薬 32  
梅 32  
留園 33  
留園 33  
ペルシャの鉢 33  
月明 35  
桃 35

秋新瓶 額装 昭和36  
冬花 37  
春瓶 37  
瓶花 37  
洩れ日 38  
池冬 38  
冬瓶 39  
唐壺芍薬 39  
蒼翠 39  
夏庭 40  
庭魚藻花洗 40  
椿赤絵と染付 41  
池菊 41  
月明 42  
紅葉 42  
向日葵 43  
首夏 43  
紅白梅 44  
瓶花子 45  
芥の花物 45  
夏静 46  
模写  
慈恩大師像 掛幅  
北条氏康像  
北野天神縁起絵  
巻  
藤堂高虎夫人座  
像  
鶉(銭舜举)  
春日権現験記 卷物  
一遍上人絵伝  
宋元摹影 画帖  
三雲祥之助・小川マリニ人展 24—  
5月6 東京セントラルサロン  
所蔵品による欧米の陶芸展 24—5  
月20 京都国立近代美術館  
福本章展 26—5月5 日動サロン  
25回中央美術協会展 27—5月3  
上野の森美術館  
渡辺武夫油絵展 30—5月6 三越

高橋忠弥油絵展 30—5月6 三越  
 5回轉石会彫刻展 30—5月6 高島屋(菊地一雄、佐藤忠良、菅原安男、高田博厚、早川巖一郎、舟越保武、本郷新、柳原義達、吉田芳夫)  
 シャガール展 30—5月6 高島屋

5 月

岡田又三郎油絵展 1—6 池袋・三越  
 11回依岡慶樹展 1—14 ギャラリー・ジェイコ  
 3回桐弘史郎油絵個展 3—8 小田急  
 19世紀ヨーロッパ風景画展 3—9 東急本店  
 日本板画院近作展 3—9 東急日本橋店  
 1回写実画壇展 4—9 上野の森美術館  
 コンラッド・メイリ遺作展 6—12 日動サロン  
 庫田發展 7—19 芸大陳列館  
 9回主体美術展 7—20 都美術館  
 ベリクレ・ファッツィーニ展 8—13 高島屋  
 クロード・ヴナル展 8—13 高島屋  
 6回臥龍会展 8—13 高島屋(梅原龍三郎、熊谷九寿、香月泰男、庫田發、久保守、杉本健吉)  
 高田力蔵油絵展 8—13 三越  
 福沢一郎展(地獄への誘い) 8—20 東京セントラル美術館  
 現代日本美術展(現代美術20年の展望) 10—30 都美術館  
 出品目録  
 洋画  
 頭と胴体3個 1964 麻生 三郎  
 ある群像 3 1970 〃  
 作品 〃 阿部 展也  
 作品 1968 荒川 修作  
 WORK80 & 81 1963 磯辺 行久

WORK 1964 磯部 行久  
 黄いろい水 1968 糸園和三郎  
 黒い水 〃 〃  
 東方の光 1957 今井 俊満  
 GHOST PLAN No. 2 1971 宇佐美圭司  
 GHOST PLAN; CRACK 1972 〃  
 冬 日 1957 牛島 憲之  
 水 辺 1972 〃  
 萌 1971 宇治山哲平  
 童 1972 〃  
 構 1973 〃  
 蝶 1959 海老原喜之助  
 雨 の 日 1963 〃  
 雪の発電所 1956 岡 鹿之助  
 バンジー 1972 〃  
 聞 く 1961 岡田 謙三  
 ゴッホ像(ゴッホタイムマシーンより) 1967 岡本信次郎  
 若い闘争 1962 岡本 太郎  
 明日の神話 1968 〃  
 三つの黒 1958 オノサト・トシノブ  
 六枚の巴 1971 〃  
 雪 1963 香月 泰男  
 日本海 1972 〃  
 ONE THING VIETNAM 1965 河原 温  
 赤と黒 1964 菅井 汲  
 髪を洗う 1971 斎藤 真一  
 みさお替女の悲しみ(越後替女日記より) 1970 〃  
 鬼 1957 斎藤 義重  
 ベンチ 1968 〃  
 きっこう 1961 杉全 直  
 流通 3 1972 〃  
 構 原 1955 須田国太郎  
 ある建築家の肖像 1956 〃  
 世界の壁 1967 高松 次郎  
 PERSPECTIVE BENCHES 〃  
 プラインドを降す男 1959 鳥海 青児  
 青いカーテン 1965 鶴岡 政男  
 射 的 1957 〃  
 涙 1968 〃  
 聖火千里行 1964 中村 宏

飛行する蒸気機関車 1969 中村 宏  
 梳る女 1949 林 武  
 ノートルダム 1960 〃  
 埋葬 1957 福沢 一郎  
 春木万華 1969 藤田 吉香  
 日月麗天 1971 〃  
 人間波動粒子100の丸 1970/71 前田 常作  
 インド旅行シリーズ・チベット寺院幻想 〃 〃  
 黒い線 1962 村井 正誠  
 黒い記録 1963 〃  
 作品 1964 元永 定正  
 NYU NYU 1971 〃  
 白亜に刻む 1954 山口 薫  
 千手(黒夫人)像 1957 〃  
 かたち 1954 山口 長男  
 捲 1965 〃  
 歌麿心中 1966 山下 菊二  
 聖車 1971 〃  
 白い円 1967 吉原 治良  
 限定項 1972 李 禹煥  
 鳥寄せ 1954 脇田 和  
 木のある庭 1971 〃  
 日本画  
 黒い舞妓 1972 石本 正  
 横臥裸婦 1970 〃  
 仙 1965 岩橋 英遠  
 山(金扇銀斧) 1966 〃  
 惑 溺 〃 大島 哲以  
 鳥儒激戦 1967 〃  
 面構え(豊太閣と黒田如水) 1970 片岡 球子  
 歌 麿 1972 〃  
 冬 1957 加山 又造  
 天の川 1968 〃  
 枯葉 1963 工藤 甲人  
 地の手と目 1964 〃  
 寂 照 1966 近藤 弘明  
 霊 光 1967 〃  
 白い夢 1969 下田 義寛  
 仔馬と少年 1970 〃  
 瀬戸内海 1965 高山 辰雄  
 凍 1967 〃  
 源平合戦絵巻 1964 中村 正義  
 白夜光 1966 東山 魁夷  
 樹 焰 1964 平川 敏夫

昭和48年主要美術展覧会(5月)

日本美術院血脈図	1965	平山 郁夫	オリンピック	1964	福井良之助	無 題	1972	土谷 武
ガンジスの夕べ	1970	シ	漂 流	1965	シ	黄 駝	1956	豊福 知徳
新 雪		福田平八郎	登利加羊渡の柵	1973	棟方 志功	円筒を斜めに通り抜けるもう一つの円筒	1970	堀内 正和
花の習作	1961	シ	千 載 の 柵	シ	シ	耳	1965	三木 富雄
原爆の図、第14部 からす	1972	丸木 位里(丸木 俊)	日本板画碑原校画の柵—地水火風空—	シ	シ	耳	1972	シ
狭 霧 野	1970	山本 丘人	東京国際版画ビエンナーレ	1971	横尾 忠則	作品1967 No. 1	1967	宮脇 愛子
炎 炎 桜 島	1956	横山 操	ビートルズ	1973	シ	蟻の城 No. 1	1960	向井 良吉
溶 鋳 炉	シ	シ	シ ー ソ ー	1968	吉原 英雄	勝利者の椅子	1964	シ
版 画			一 人 住 い	1970	シ	タラップいろはには……	1967	村岡 三郎
レインボー北斎コンポジション	1970	巖 嘸	彫刻・立体			頁 1	1971	八木 一夫
ふくろ う	シ	池田満寿夫	作 品 1 2 3	1972	吾妻兼次郎	頁 3	シ	シ
彼女の会話	シ	シ	WERK—No. 6	1969	飯田 善国	Musee de l'Homme	1970	保田 春彦
現在位置—存在(A)	1971	木村 光佑	スパイラル—登る光	1972	伊藤 隆道	黒 人 の 女	1955	柳原 義達
現在位置—存在(C)	シ	シ	ERECT I O N BALL	シ	井上 武吉	座 る 女	1960	シ
關のコンポジション	1970	黒崎 彰	死者のふね	1961	江口 週	道標(カラス)	1968	シ
失なわれた楽園 No. 5	1972	シ	QUALITY No. 10	1973	榎倉 康二	C の 関 係	1965	山口 勝弘
平 原	1965	駒井 哲郎	時みてるマリア	1965	掛井 五郎	サインボール	1968	シ
食卓にて	1971	シ	メキシコのトルソー	1969	シ	髪	1971	山本 豊市
作 品 C	1968	永井 一正	石 と 光	1971	河口 龍夫	無 題	1968	湯原 和夫
作 品 AC	1969	シ	14の部分からなる円錐体	1972	シ	不 快 な 門	1972	シ
日記68年8月22日	1968	野田 哲也	24の部分からなる円筒体	シ	シ	犬から出る水蒸気	1968	若林 奮
日記“1970年5月8日”ニューヨークで	1970	シ	23の部分からなる六面体	シ	シ	33回日本画院	10—22	都美術館
日記“1970年5月22日”ニューヨークで	シ	シ	エーゲ海にささぐ	1970	木内 克	42回朝日会	10—22	都美術館
アカシヤの老樹	1954	長谷川 潔	祈 り	1954	木村賢太郎	オリент美術展	11—16	東急本店
木製の小鳥と玻璃玉の静物	1959	シ	自動車が出た時	1965	シ	店		
メキシコの鳩	1966	シ	表面から表面へ	1972	小清水 漸	ユトリロ・ブラマンク特別展示会	11—19	日動画廊
ぶどうの房	1969	浜口 陽三	帽子・夏	シ	佐藤 忠良	奥村土牛展	11—23	東急本店
26のさくらんぼ	1971	シ	T 393	1970	篠田 守男	田辺栄次郎展	13—20	日動サロン
初年兵哀歌(歩哨)	1954	浜田 知明	T 412	1972	シ	斎藤義重展(1回)(1935年~1940年前後)	14—23	東京画廊
副校長D氏像	1956	シ	T & C 4123	シ	シ	鉄鶏会展(画廊開設記念)	14—28	アン画廊
フランドル伯城	1970	シ	空 相—立 木	シ	関根 伸夫	イサム・ノグチ彫刻展	14—6月9	南画廊
霊歌・太郎(A)	1968	秀島由己男	空 相—つ ぼ	シ	シ	田畑弘作品展	14—19	北辰画廊
「太郎」「花子」石牟礼道子・秀島由己男詩画集「天の魚」より	1973	シ	ひとと TLAL-OC	1968	高橋 清	大島哲以展	15—20	三越
「樹」	シ	シ	ひと No. 14	1973	シ	バーナード・リーチ作品展	15—20	三越
飛天挽歌	1962	深沢 幸雄	動物園	1971	高山 登	岩田藤七展	15—20	高島屋
ボードレール「悪の華」より《月の悲しみ》	1971	シ	周波数37306505	1965	多田 美波	鈴木政夫石彫展	15—27	東京セントラルサロン
凝固した愛	1962	福井良之助	儀 式	1972	建畠 覚造	巨匠ブルデル展	15—26	フジカワ画廊東京店
			アラーム	シ	シ			
			マイナー・アート A, B, C	1967	田中信太郎			
			旗	1972	土谷 武			

日本の土俗面 15—6月24 サン  
トリー美術館  
山口薫作品回顧鑑賞展(芸大山口教  
室、大学院出身者作品展) 16—26  
サエグサ画廊  
大河内信敬回顧展 17—22 銀座・  
松坂屋  
12回独立選抜展 17—23 都美術館  
林敬二個展 17—26 ギャラリーセ  
ンタービル6階  
岡野浩二展 18—28 日本橋画廊  
モネ展(印象派100年光と色彩の交  
響) 19—6月26 京都市美術館  
走泥社展(春季展) 20—27 伊勢丹  
名村定志個展 21—26 日本画廊  
近藤直行個展 21—26 ギャラリー  
21  
庫田發新作展 21—31 日動画廊  
森田英二油絵展 21—6月2 現代  
画廊  
彩青会展 21—6月2 彩壺堂サロ  
ン  
レジェ展(彫刻) 21—6月2 現代  
彫刻センター  
小林哲夫滞欧作展 21—30 日動サ  
ロン  
加倉井和夫個展 22—26 兼素洞  
小堀進水彩画展 22—27 三越  
20回日府展 22—30 都美術館  
'73自由美術5月展 24—30 都美  
術館  
斎藤義重展(2回)(1940年頃~1955  
年前後) 24—6月2 東京画廊  
39回旺玄会 24—6月5 都美術館  
改組4回第一展 24—6月5 都美  
術館  
猪熊弦一郎(文化会館所蔵品展・5)  
24—6月24 香川県文化会館  
舟越保武彫刻展 24—29 大丸  
霜田大次郎造園彫刻展 25—30 東  
急本店  
吉原治良展 26—6月24 京都国立  
近代美術館  
中島一雄彫刻展 28—6月2 日本  
画廊  
雲道人遺作展(書画・篆刻の巨星)  
28—6月2 日本洋画商ホール  
3回星方展 28—6月3 銀座アー  
トギャラリー(小島弘、木津一夫、

北村脩、北川薫、吉野純、矢形  
勇、鳥居雅隆、大久保実雄)  
松尾敏男新作展 29—6月3 三越  
佐藤大寛墨彩画展 29—6月3 三  
越  
堀川恭彫刻展(第2回平櫛田中賞受  
賞記念) 29—6月3 高島屋  
和田徹展 30—6月8 日本橋画廊

6 月

42回JAN美術展 1—6 日本  
橋・東急  
27回女流画家協会展 1—13 都美  
術館  
仲田好江展 1—14 吉井画廊新館  
「描かれた女」展(東京展) 1—17  
日動サロン  
出品目録

カーミュ夫人像 1875 クロード・  
—76 モネ  
ヴィナスと愛 1870 ボール・セ  
—73 ザンス  
洗濯女たち 1882 エドガー・  
ドガ  
踊り子 シ  
女のトルソー 1888 ヴィンセン  
ト・ヴァン・  
ゴッホ  
バラ色のくつ エドワー  
ル・マネ  
午睡 あずまや  
ポントワーズ 1881 カミーユ・  
にて ビサロ  
水 浴 シ  
牧童女・牛と羊 1886 ピエール=  
—87 オーギュス  
ト・ルノー  
赤いスカートをはいた女と話す  
浴女 シ  
ヨカस्ता 1895 シ  
湯あがりの女 1930 ピエール・  
ボナール  
アトリエの裸婦 エドワー  
ル・ヴエイ  
ヤール

踊り子 アンリ・ド  
ッ・トゥー  
ルーブ・ロ  
ートレック  
若い女の像 1915 ジョルジュ  
ユ・ルオー  
踊り子と道化の  
パレード シ  
ふたりの女 シ  
坐せる女 1939 アンリ・マ  
チス  
フレンチカンカ  
ン 1901 パブロ・ピ  
カソ  
胸だす女 シ  
聖体拝受の少女 1927 カイム・ス  
ーチン  
婦人像 シ  
ヴィテブスクの 1924 マルク・ジ  
眺め —26 ャガール  
画家と若い女 シ  
婦人像(C・D夫  
人) シ  
女と愛犬 1932 マリー・ロ  
ーランサン  
花を持つ婦人  
帽子を被った娘  
の像 シ  
ふたり キース・ヴ  
ァン・ドン  
ゲン  
緑の女 1927 ジュール・  
パスキン  
ベッドに坐る婦  
人 シ  
仰臥裸婦 1924 レオナー  
ル・フジタ  
仰臥裸婦 1931 シ  
裸婦 1956 シ  
メキシコの女  
少女 1973 モイズ・  
キスリング  
梅原龍三郎  
若夫婦と幼児 シ 北川 民次  
少女 シ 林 武  
海女 シ 脇田 和  
婦人像 1972 小磯 良平  
夫人像 1973 糸園和三郎  
女と人形達 シ 児玉 幸雄  
美妓舞姿 シ 鬼頭鍋三郎  
裸婦 シ 原 精一  
画室 シ 宮本 三郎  
二人裸婦 野口彌太郎  
赤い帽子 シ 田村孝之介  
地中海を唱うミ  
ルバ シ 香月 泰男  
海の誕生 シ 鷹山 宇一  
黄色い女 シ 大沢 昌助

昭和48年主要美術展覧会(6月)

帽子の少女	1973	織田 広喜
舞 妓	1973	伊藤 清永 森 芳雄 朝井閑右衛門
画廊創立記念中川一政新作展	1—30	大阪画廊梅谷
画業60年・北川民次回顧展	1—6	日本橋・東急 出品目録 メキシコ時代
日本婦人の肖像	1929	
メキシコ・イスタシウワ ル山(白い女)	1930	
画家の肖像	1931	
女の像	シ	
老人	1932	
タスコの山 A	1934	
タスコの山 B	シ	
女	1935	
二人の女	シ	
帰 国 後		
タスコの祭日	1937	
メキシコ三童女	シ	
ランチェロの唄	1938	
メキシコ静物	シ	
見物(メキシコ)	シ	
浴 み	1939	
作文を書く少女	シ	
南国の花	1940	
岩山に茂る	シ	
赤津陶工の家	1941	
芸 者	シ	
海 への道	1942	
農 漁の凶	1943	
鋳 士の凶	シ	
農 園の夢	シ	
家族 写真	シ	
風 景	1944	
戦 後		
重 荷	1946	
風 景	シ	
地にうごめく	1947	
雑草の如くⅠ(三人の女)	シ	
画家の自画像	1948	
画家と娘	シ	
瀬戸の工場	シ	
古風な教育家	1949	
雑草の如くⅢ(裸婦)	シ	
姉 弟	シ	
花	1950	

夏の小川	1950	
森 の 泉	シ	
か ま ど	シ	
ひばりの丘	1951	
二人の平和な少女	1952	
かまどと働く人々	シ	
少女とキリギリス	シ	
瀬戸の工場裏	シ	
三河花祭りの鬼	1953	
降 霊 術	シ	
女のつどい	1954	
メキシコ・サン・ミグエル 寺院展望	1955	
ハラッパの街角	シ	
メキシコ市場の一隅	1956	
タコス寺院	シ	
採 土 場	1957	
花 嫁	シ	
寺院の前の人々	シ	
ファンダンゴⅠ	1958	
ファンダンゴⅡ	シ	
母 子 像	1959	
砂 の 工 場	シ	
蝗 の 群 れ	シ	
白 と 黒	1960	
客 人	シ	
赤いオイルタンク	シ	
ある日の楽園	1961	
果物売りの母子像	シ	
ブ ー ケ	シ	
工 場	シ	
花 と 煙 突	シ	
工 場 B	シ	
花	1962	
画家の家族	シ	
変 圧 器	シ	
空 席	1963	
母子家族像	シ	
労働者の家族	シ	
砂礫置場の母子	1964	
哺 育	シ	
平和な闘争	シ	
三人の女客	シ	
花	シ	
二十年目の悲しみの夜	1965	
草花とキリギリス	シ	
花 と 幼 女	1966	
陶 工 た ち	シ	
食 後	シ	
瀬戸風景	1967	

メキシコ三姉妹	1967	
アトリエの母子	1968	
母 子 像	1969	
夏の宿題	1970	
女 医	シ	
バラと静物	1971	
太陽の花	シ	
母 子 像	シ	
花	シ	
女の群れ	シ	
白百合と人	シ	
花	1972	
花	1973	
四月の花	シ	
69回太平洋展	1—13	都美術館
今村輝久個展	2—23	第七画廊
22回創型会彫塑展	3—15	都美術館
1回彫刻の森美術館大賞展	3—	
11月30 彫刻の森美術館		
出品目録		
空間への弓状の	1972	江口 週
かたち		
水の中の太陽一	シ	原 武典
72		
物 性 I	シ	原口 典之
无	シ	速水 史朗
作 品	シ	シ
道 元	シ	細川 宗英
た ね	シ	五十嵐芳三
塀の内外Ⅱ	シ	池田 宗弘
The Outer Space Test Box	シ	井上 武吉
何処へ行けばよいのか	シ	石黒 鑄二
業 (ごう)	シ	一色 邦彦
エロスの凝縮による戯装(日常ともうひとつの日常の交換と)	シ	伊藤 公象
待 合 室	1968	岩野 勇三
ベテスダの池にて	1972	掛井 五郎
焰 と 土	シ	加藤 昭男
コ・オペレイツⅢ	シ	河田 博子
15の部分かなる円錐体	シ	
18の部分かなる六面体	シ	河口 竜夫
24の部分かなる円筒体	シ	
ユーゲ海に棒ぐ	シ	木内 克
作 品 A	1971	清水九兵衛

スッポンボン	1972	最上 寿之	裸体男・半身	1889	砂 浜 乾 魚	1897
スットンキョウ	シ	シ	裸体女・全身	シ	母 子	シ
貯蔵していくこ と<音>	シ	村岡 三郎	裸 婦・全 身	シ	犬	シ
燃 え る	シ	中島 一雄	画室の一隅	シ	湖 畔	シ
相対する2つの 正三角錐	シ	小田 襄	自 画 像	シ	両 国 橋 の 月	シ
脱—無 時 間	シ	大西 清澄	画室にての久米氏像	シ	母 の 像	1896—8
風景の外側	シ	重村 三雄	自 画 像	シ	父の像(黒田清綱肖像)	シ
四人の陽炎	シ	進藤 裕	針 仕 事	1890	富士六景(連作6点)	1898
テンションとコン プレッション	シ	篠田 守男	ア ト リ エ	シ	湘 南 風 景	1899
414+415	シ	シ	パ リ ー 風 景	シ	少 女	シ
テンション4124	シ	シ	編 物	シ	黒田清兼肖像	1904
マ ス ク	シ	澄川 喜一	羊を抱く少女	シ	芍 薬	シ
帆	シ	住谷 正巳	読 書	1890—1	庭 の 雪	1905
記念撮影	シ	鈴木 実	落 葉	1891	湘南の海水浴	1908
馬	シ	鈴木 治	郊 外 読 書	シ	鉄 砲 百 合	1909
考	シ	空 充秋	ブレハの村童	シ	溪 流	シ
人 No. 13	シ	高橋 清	ブレハの少女	シ	桂公肖像(画稿)	1910
ドッキング(空 間の無限の脱 皮) No. 3	シ	田中 米吉	枯 野 原	1891頃	婦 人 肖 像	1911
Go—Go	1971	建畠 覚造	ブレハの少女	シ	菊 花 図	1912
閉じられた泡沫	1970	シ	七 面 鳥	1891—2	赤き衣を着たる女	シ
ハーモニー II	1972	富樫 一	赤 髪 の 少 女	1892	木 苺	シ
作 品	シ	土谷 武	婦 人 図(厨房)	シ	裸 体 習 作	シ
ダブル・ピーマ ン	シ	山口 牧生	草 つ む 女	シ	清 水 寺 の 秋	1913
山景(中間領域、 二つの箱、逆ピ ラミッド接触)	シ	山本 衛士	婦人背立エチュード	シ	ダ リ ヤ	シ
托 鉢	1971	矢崎 虎夫	西 洋 婦 人 像	シ	浜 の 夕 映	シ
Spiral—700	1972	脇田愛二郎	グ レ ー の 風 景	シ	引 汐 ・ 上 汐 ・ 入 江 (連 作3点)	シ
沢田俊一個展(画廊企画)	4—10	あかね画廊	残 雪	1892頃	雲(連作6点)	1914—21
斎藤義重展(3回)(1955年前後～ 1960年前後)	4—13	東京画廊	泊 り 舟	1893	も る る 日 影	1914
15回友人会油絵展	5—10	高島屋	舞 妓	シ	自 画 像	シ
イタリア彫刻三人展	5—10	高島屋	夏 木 立	1894	海 岸	シ
コンパクト・ギャラリー日英版画10 人展(4回)	6—26	ギャラリー ワタリ	東久世伯肖像	シ	葡 萄	シ
23回新興美術院	7—19	都美術館	昼 寝	シ	桜島爆発図(連作6点)	シ
○黒田清輝展	7—7月8	神奈川 県立近代美術館	遣 遙 図	1895	跡見刀自肖像	1915
出品目録			菊 圃	シ	庭のバラの木	1915頃
油 彩			横浜本牧の景	1896	虞 美 人 草	1917
田 舎 家	1888		昔語り下絵(構図2)	シ	平 河 町 の 庭	シ
裸体女・後半身	1889		昔語り下絵(僧)	シ	風 景(海)	シ
祈 禱	シ		昔語り下絵(舞妓)	シ	風 景	1918
			昔語り下絵(仲居)	シ	栗 拾 ひ	1917—8
			昔語り下絵(男)	シ	温 室 花 壇	1918
			昔語り下絵(舞妓)	シ	嵐	1919
			大磯鳴立庵	シ	叢	シ
			波打際の岩	シ	案 山 子	1920
			箱根双子山	シ	グラデオラス	シ
			樺山資紀像	シ	つ つ ぢ	1921
			秋の山路	1896頃	石 楠 花	シ
			昔語り下絵(仲居肖像)	1897	稲 荷 神 社	1922
			久米桂一郎肖像	シ		
			大原海岸	シ		
			自 画 像	シ		

昭和48年主要美術展覧会(6月)

薔薇	1923
紅葉	シ
雪	シ
挹芳園	シ
梅林	1924
秋の庭園	
芙蓉	
○パステルデッサン	
裸婦習作	1887
少年	1888
裸婦習作	シ
裸体習作	シ
裸婦習作	シ
観覧席の婦人(写生帖4)	シ
女の顔	1889
椅子による女	シ
編物をする女	1890頃
雪景	シ
ジュラルメ風景(写生帖8)	1891
ブレハの少女(写生帖9)	シ
夏図画稿(女の顔)	1892
夏図画稿(傘持つ女)	シ
日清戦争従軍スケッチ	1894
昔語り図画稿(舞妓半身像)	1896
昔語り図画稿(仲居半身像)	シ
昔語り図画稿(柴荊娘全身像)	シ
昔語り図画稿(柴荊娘半身像)	シ
湖畔婦人	1901
湖畔の風	シ
森の中	1910
花野図画稿	1917
参考作品	
レンブラント羽根帽子をかぶった自画像模写	1888
レンブラントトゥルプ博士の解剖図模写	1889
ルイニキリスト降誕模写	1892
高山辰雄、山本丘人、杉山寧新作展	
12—20 兼素洞	
12回十柯会展 12—22 上野の森美術館(安藤信哉、江藤哲、大内田茂士、笹岡了一、阪倉直暢、笹鹿彪、中谷龍一、西尾善積、日野耕之祐、安武芳男、柳瀬俊雄)	

戦後日本美術の展開・抽象表現の多様化 12—7月29 東京国立近代美術館	
出品目録	
戦前からの継承および具象から抽象への移行	
異影	1953 川口 軌外
円	1954 〃
元祿	1957 岡田 謙三
聴	1961 〃
作品 A	1954 山口 長男
構成	1955 〃
鬼のささやき(女)	〃 山口 正城
雷心	1959 〃
朱の中の朱	1955 荒井 竜男
牧場	〃 難波田竜起
天体の運行	1956 〃
黄色	〃 村井 正誠
うしろ姿	〃 〃
赤い輪	1954 瑛 九
午後(虫の不在)	1958 〃
夜明け	1948 岡本 太郎
森の掟	1950 〃
いき	1960 津高 和一
仮象	1959 杉山 寧
椏	1962 〃
水芭蕉曼陀羅	1966 佐藤 多持
金と黒のコラージュ	1958 大野 俣嵩
飛翔への抵抗	1964 下村良之介
家族(アレゴリーNo. 2)	1948 恩地孝四郎
孤独(リリックNo. 11)	1949 〃
防空壕のおとぎばなし	1956 山口 源
不漁の予感	〃 〃
円舞(終曲のない踊り)	1953 品川 工
フォルム	1954 〃
風	1972 篠田 桃紅
捨	1957 井上 有一
鳥	1959 笠置 季男
作品 C	1955 長野 隆業
作品	1954 植木 茂
コの記号66—7	1966 野水 信
生長の形態 No. 1	1954 昆野 恒
平和	1955 木村賢太郎
球を抱く弧	1969 江口 週

抽象表現主義の抬頭

青の跡	1959 齋藤 義重
作品 2	1963 〃
青い陽	1961 難波田竜起
結晶天	1965 佐藤 敬
火の鳥	1960 高井 貞二
作品 UZ	1965 岡部 繁夫
キッコウに憑かれて(A)	1960 杉全 直
作品	1961 元永 定正
作品 66—1	1966 〃
天慧星拵命三郎(水滸伝豪傑の内)	1964 白髪 一雄
作品	1962 今井 俊満
作品	1971 田中 敦子
窓	1959 萩原 英雄
石の花(赤)	1960 〃
森	1959 齋藤 寿一
三つの枯葉	〃 〃
花・沈黙 B	1960 加納 光於
星・反芻学 I	1962 〃
歩く壁	1966 辻 晋堂
ヘリクレサムトランス	1956 小野 忠弘
蟻の城	1960 向井 良吉
貌	1955 建畠 覚造
メキシコの遺跡(鳩の巣による)	1959 毛利武士郎
間	1962 井上 武吉
抽象表現主義以降の諸局面	
a—反芸術的傾向	
卵・コンパクトオブジェ	1968 中西 夏之
無題	1960 荒川 修作
無題	〃 〃
耳	1972 三木 富雄
b—ハード・エッジとオブ・アート	
ベンチ	1967 齋藤 義重
黒地に白	1965 吉原 治良
作品	1962 オノサト・トシノブ
R	3 1971 阿部 展也
朝のオートルート	1964 菅井 汲
アダムとイヴ	1963—67 巖 嘯
作品 3	1976 永井 一正
作品 A	1968 〃
c—立体	
球の切り方	1970 堀内 正和
作品 B	1971 清水九兵衛



ミラー・オン・ザ・コンストラクション No. 2 1969 飯田 善国  
 Phase Space 6943 1969 多田 美波  
 STRUTTURA '67 II 1967 豊福 知徳  
 MU-S 99 1963 吾妻兼治郎  
 ユニヴァース 1968 山口 勝弘  
 作品 No.12 1967-68 湯原 和夫  
 National Museum-アンテ・スパツィー・エターテム後期 1969 保田 春彦  
 テンションとコンプレッション C351 1966 篠田 守男  
 トテチテター 1970 最上 寿之  
 ハート・モビール 1967 田中信太郎  
 d-その他  
 オリーブ 1970 川端 実  
 Confusion and Order 1964 猪熊弦一郎  
 人間誕生 No.10 1963 前田 常作  
 惑星 B 1972 堂本 尚郎  
 位相 4 1968 関根 伸夫  
 位相 13 1968  
 谷本重義個展 14-21 紀伊国屋画廊  
 斎藤義重展(4回)(1960年前後~1965年頃) 14-23 東京画廊  
 16回新象展 15-27 都美術館  
 61回日本水彩展 15-27 都美術館  
 20周年記念新美術協会展 16-26 都美術館  
 2回小栗正作品展 18-30 彩壺堂分室  
 現代日本の本の装幀展 18-7月7 武蔵野大美術資料図書館  
 間所紗織展 19-24 東京セントラル美術館  
 5回相原求一朗展 19-28 日動サロン  
 2回彫刻新人展(新制作展受賞記念) 20-30 現代彫刻センター  
 清川泰次新作個展(白の世界) 20-7月20 好文画廊  
 斉白石展 21-26 帝国ホテル  
 26回創造美術展 21-7月3 都美術館  
 18回雨晴会展 25-30 兼素洞  
 斎藤義重展(5回)(1965年前後~1972

年) 25-7月5 東京画廊  
 9回樗会日本画展 26-7月2 高島屋  
 中本達也展「岩の声」まで 26-7月8 東京セントラル美術館  
 清川泰次新作個展(白の世界) 27-7月7 第七画廊  
 29回現展 28-7月10 都美術館  
 53回朱葉展 28-7月10 都美術館  
 45回新構造展 28-7月10 都美術館  
 23回新興美術院展 29-7月5 京都市美術館  
 画業60年・北川民次回顧展 30-7月15 大阪・梅田近代美術館  
 特別陳列・袱紗(ふくさ) 30-8月5 サントリー美術館

7 月

10回太陽展 1-15 第一会場・日動画廊、第二会場・日動サロン  
 香川の近代彫刻(文化会館所蔵品展・6) 1-9月2 香川県文化会館  
 4回韻展 1-11 都美術館  
 川口精六個展 2-7 ギャラリー21  
 2回雷会 2-7 ギャラリー・ヤエス  
 田島征彦版画展 2-7 ギャラリー・プリントアート  
 増谷直樹展 2-11 日本橋画廊  
 高山道雄展 2-14 彩壺堂サロン  
 須田寿個展 3-7月15 東京セントラルサロン  
 斎藤義重展(6回)(1973年の新作を中心に) 6-21 東京画廊  
 土田麦僊・その人と芸術(前期) 6-29 山種美術館

出品目録

龍 明治37年  
 清 暑 38年  
 悒 40年頃  
 罰 41年  
 春 雨  
 髪 明治44年  
 島の女 45年  
 散 華 大正3年  
 四季風景

大原女 大正4年  
 梅ヶ畑村  
 伊豆の風景  
 春禽趁晴図草稿 大正6年  
 早春の伊豆  
 伊豆の海 6年頃  
 湯女 7年  
 湯女小下絵 7年頃  
 三人の舞妓 8年  
 舞妓  
 春 9年  
 桃 10年頃  
 蘇州城外斜陽 10年  
 馬拉加的船着き場  
 巴里の少女習作 11年  
 オリーブの老樹  
 エルクラム附近  
 スペインの少女  
 パトヴァ掘割岸にて  
 舞妓 12年  
 春宵舞妓  
 美人草  
 蔬菜 13年  
 舞妓  
 都おどりの宵  
 林檎  
 立てる舞妓  
 俱舍曼茶羅模写 大正3年  
 ポンベイ壁画模写 11年  
 舞妓素描  
 写生帖  
 素描  
 ヴェトイユ風景 大正11年  
 ルノアールの庭  
 聖グレゴリオの広場  
 聖シスト寺  
 ベニスの夜  
 羅馬のある街角  
 雨後のベスピオ  
 羅馬にて  
 マリアの顔  
 仏国所見 12年  
 大原女  
 舞妓 13年  
 舞妓林泉  
 舞妓林泉草稿  
 舞妓林泉小下絵  
 大原村 14年

昭和48年主要美術展覧会(7月)

美人草	大正14年	蒼	1967	岩田 久利	連鎖するかたち	1972	鈴木 雅也
鶉	〃 15年	氷 華	1970	〃	(ある対話を求めて)	〃	〃
蛙と鱈	〃	薨 (いらか)	1972	〃	Linking Form	〃	〃
大原女	昭和2年	干 支	1972	今井 政之	類化するかたち	〃	〃
朝顔	〃 3年	鳴 想	〃	〃	虚視空間	1973	〃
山茶花	〃 3年頃	本 阿 弥	1973	〃	テクスチュア	〃	滝川みづほ
罌粟	〃 4年	木地キンマ喰籠	1967	太田 儋	070773	〃	〃
大原女	〃 5年	籃胎キンマ八角喰籠	1972	〃	方 輪	1967	田辺 小竹
蓮華	〃	籃胎キンマ盛器	1973	〃	シュパンヌク	1971	〃
明粧稿	〃	作品 A	1972	大室 周子	芯	〃	〃
明粧草稿	〃	彫漆水文菓子器	〃	音丸 淳	信楽の土による	〃	〃
笠と鮎	〃 6年頃	堆 漆 平 棗	〃	〃	(5つの作品)	1972	辻 協
甜瓜	〃 6年	夫のかたみ	〃	小名木陽一	“漢”相馬の山土	〃	〃
菊	〃	L夫人のために	〃	〃	による長方盤	1973	〃
黄蜀葵	〃 7年	花嫁に捧ぐ	〃	〃	禁断の木の実	〃	坪井明日香
山茶花	〃 8年	釉裏金彩黄釉壺	〃	小野 珀子	歓楽の木の実	〃	〃
山牀	〃	釉裏金彩青釉壺	〃	〃	脱げたカップ	〃	〃
燕子花草稿	〃 9年	釉裏金彩黄釉鉢	1973	〃	作 品	1972	中野 光雄
朝顔	〃	釉裏金彩黄釉鉢	〃	〃	色刷りのステア	〃	中村 錦平
舞妓	〃 10年	作品 72-A	1972	加藤 清之	トメント	〃	〃
芍薬	〃	作品 72-B	〃	〃	土 び ん	1973	〃
茄子	〃 10年頃	作品 72-C	〃	〃	カ ッ プ	〃	〃
白梅に雀	〃	作 品	〃	加藤 裕英	喪失の街	1970	西村 忠
舞妓	〃	有明(ありあけ)	〃	〃	機械人間	〃	〃
燕子	〃	A	1973	〃	Age	〃	〃
芍薬	〃	有明(ありあけ)	〃	〃	化 石	1971	〃
舞妓	〃	B	〃	〃	作品 73-1	1973	林 秀行
芥子古画模写	大正14年頃	白搔落壺	1972	木村 盛伸	作品 73-2	〃	〃
舞妓素描	〃	深 鉢	1973	〃	作品 73-3	〃	〃
写生帖	〃	鉄 絵 扁 壺	〃	〃	スカルプチュア	〃	〃
24回流会展	7-14 兼素洞(梅原龍三郎、奥村土牛、安田毅彦、前田青邨、福田平八郎、小糸源太郎)	現代鴉天狗	1972	久保田繁雄	ア・ウエイト	1969	平松 保城
13回忘花展	9-14 フジカワ画廊東京店(青山義雄、飯島一次、牛島憲之、岡鹿之助、織田広喜、小糸源太郎、鈴木信太郎、田村一男、中谷泰、林武、藤井二郎、脇田和)	K氏への贈物	1973	〃	錫 う つ わ	1970	〃
児玉三鈴日本画展	9-15 三越	戦国 の 庭	〃	〃	装 身 具	1970-73	〃
水野以文水彩画展	9-15 三越	塩地拭漆文机	1972	黒田 乾吉	終りのない風景	1972	藤岡 蕙子
現代工芸の鳥瞰展	10-8月12 京都国立近代美術館	塩地拭漆座机	1973	〃	備 前 鉢	1971	藤原 雄
出品目録	〃	楡 拭 漆 盆	〃	〃	備 前 壺	1973	〃
Work '72-D	1972 麻田 脩二	メ ッ セ ー ジ	1972	鯉江 良二	備 前 壺	〃	〃
Work '72-E	〃	証 言	1973	〃	よじのぼる・すべる・ころがる・もぐりこむ作品	〃	堀内 紀子
キンマ陽炎盆	1973 磯井 正美	銀杏釉刷毛目鉢	〃	高鶴 元	華	1971	益田 芳徳
キンマそよ風色紙箱	〃	灰 釉 皿	〃	〃	白 い 陰	1972	〃
		薬 釉 壺	〃	〃	四 角 な 鉢	〃	〃
		竹のあかり(スタンド)	1972	近藤 昭作	変貌する蓋物	1973	〃
		竹のあかり(ペンダント)	1973	〃	練 上 げ 鉢	〃	松井 康成
		律	1971	鈴木 爽司	練上げ鉢	〃	〃
		新玉(あらたま)	〃	〃	練上げ石垣文筒花器	〃	〃
		碧 韻	1972	〃	練上げ花器	〃	〃
					藍形染着「綾」	1972	松原 与七

藍形染着「矢羽根」 1972 松原 与七  
 長板中形着尺裏変り 1973 シ  
 海 1972 宮永 理吉  
 三角の四角 (A) 1973 シ  
 三角の四角 (B) シ シ  
 彩文土器 1972 森 陶岳  
 彩文土器 1973 シ  
 訪問着波文様「遙」(はるか) 1972 森口 邦彦  
 訪問着網代文様 シ シ  
 訪問着青梅文 1973 シ  
 太古の生命 1971 森野 泰明  
 海 碧 1972 シ  
 73の3 1973 シ  
 Work 72-11 1972 安原 喜孝  
 Work (試作) 73-6 1973 シ  
 Work 73-7 シ シ  
 花籃秋風 1967 柳下 昌珩  
 花 籃 1972 シ  
 渦文盛籃 1973 シ  
 岡義実新作油絵展 12-17 小田急  
 1回明日をにう日本画の精鋭10人展 12-17 小田急  
 中村一郎自選展 13-23 日本橋画廊  
 若林奮デッサン・彫刻展 14-29 神奈川県立近代美術館  
 天野三郎展 16-23 日動サロン  
 鈴木良三油絵展 17-22 三越  
 全関西美術展 21-30 大阪市立美術館  
 寺内萬治郎展 21-9月9 埼玉県立博物館  
 染木煦・シルクロードの思い出と幻想展 24-30 日動サロン  
 涼月展 (彫刻) (個展形式によるグループ展) 27-8月1 池袋・西武 (池田宗弘、島野重人、中島一雄、長橋阿久於)  
 10回榎会油絵展 31-8月5  
 正田壤個展 31-8月7 日動サロン

8 月

土田麦僊・その人と芸術(後期) 1-26 山種美術館

村井正誠展 4-26 神奈川県立近代美術館  
 鐵斎展 6-18 吉井画廊新館  
 9回秋の日府展 7-12 三越  
 仏教美術彫刻展(20周年記念) 7-12 三越  
 新収蔵作品展示 7-9月5 東京国立近代美術館  
 両角修版画展 8-15 日動サロン  
 荒井映延個展 8-15 日動サロン  
 青木繁素描展—その知られざる世界 10-28 パシフィック・ギャラリー  
 仏跡ポロブドール展 10-15 東急本店  
 北美東京展 13-18 日本画廊  
 新樹会展 14-19 三越  
 沢田正太郎個展 14-19 高島屋  
 5回十騎会(油絵)展 14-19 高島屋  
 榊原紫峰遺作展 14-19 高島屋  
 出品目録  
 絶 筆「干柿」 1970  
 群 猿 1910  
 白 梅 1915  
 赤 松 1919  
 奈 良 の 森 1920  
 雪 柳 白 鷺 図 1924  
 仔 山 羊 1926  
 蓮 池 1926  
 蓮 花 白 鷺 図 1926  
 白 鷺 1926  
 獅 子(下図) 1927  
 獅 子 1927  
 冬 朝 1928  
 青 梅 鶺 鴒 1929  
 雪 中 孤 鹿 図 1930  
 白 鷹 1930  
 雪 中 鷹 1930  
 叭 哥 鳥 1932  
 野 梅 群 雀 1932  
 お し ど り 1932  
 雪 中 双 鳩 1933  
 白 菊 大 和 鶺 鴒 1933  
 白 椿 1934

柿 に 栗 鼠 1936  
 五月頃の雨 1938  
 深 秋 1938  
 双 鶴 図 1940  
 池 畔 の 小 禽 1940  
 松 竹 梅 1940  
 ほ た ん 1940  
 柳 叭 々 鳥 1941  
 墨 竹 叭 々 鳥 1942  
 霜 の 朝 1942  
 雪 空 1946  
 晩 秋 1952  
 柿 に 群 禽 1952  
 猫 1955  
 池 畔 鶴 鶺 鴒 1960  
 初 秋 1960  
 梅 花 群 禽 1962  
 桔 梗 1963  
 汀 1964  
 池 畔 1965  
 松 に 小 禽 1967  
 秋 晴 1967  
 紅 梅 1967  
 柿 1967  
 白 梅 1967  
 古 枯 1967  
 墨 梅 1967  
 鶺 鴒 花 に 虫 1967  
 冬 の 柿 1968  
 白 梅 1969  
 イタリア・ルネサンスのブロンズと素描展 18-10月14 国立西洋美術館  
 16回十一会展 20-25 銀座ヤマト画廊  
 沢野水纒展 20-30 日本洋画商ホール  
 サルバトーレ展 20-31 姫路画廊 銀座ルーム  
 竹谷富士雄展 20-31 ギャラリー ためなが  
 小野州一版画展・海辺にて 20-9月8 吉井画廊本館  
 13回能彫刻会展 21-26 三越  
 23回独立10人の会 21-28 高島屋

昭和48年主要美術展覧会(8・9月)

上田臥牛展 21—28 日動サロン  
 2回長流会展(川合玉堂生誕百年記念) 24—29 小田急  
 グラフィック・イメージ'73 24—  
 9月16 京都国立近代美術館  
 星裏一版画展 24—29 東急本店  
 黒田清輝展 25—9月9 鹿児島市  
 立美術館  
 12回'73国際形象展 28—9月2  
 三越  
 現代工芸の鳥瞰展 28—9月16 東  
 京セントラル美術館  
 樹展 29—9月8 あかね画廊(吉  
 井忠、大野五郎、糸園和三郎、寺  
 田政明)  
 モダンアート彫刻展 30—9月4  
 渋谷・西武  
 内田光之助展 30—9月6 日動サ  
 ロン  
 瑛九とデモクラート展 31—9月16  
 大阪・梅田近代美術館

9 月

2回笠間芸術の村作品展 東京展  
 1—10 東急日動画廊  
 58回院展 1—20 都美術館  
 28回行動美術展 1—20 都美術館  
 伊藤隆道+本沢和雄 ライティング  
 エンバイラメント展 1—30 世  
 田谷・西武インテリア・ゾン2  
 58回二科展 1—20 都美術館  
 ジャコメッティ展 1—18 池袋・  
 西武  
 オディロン・ルドン展 1—30 神  
 奈川県立近代美術館  
 明治時代の彫刻(近代日本彫刻の胎  
 動) 2—30 奈良県立美術館  
 近代日本の版画展 2—16 栃木県  
 立美術館  
 10回上田貞一個展 3—9 銀座ア  
 ートギャラリー  
 新匠会会員・会友展 4—9 東京  
 セントラル・サロン  
 横山操の回顧 4—10月7 山種美  
 術館

出品目録  
 カラガンダの印象 1950  
 カザフスタンの女 1951  
 ブランコ(スケッチ) 1955  
 舞 妓 1956  
 時 化 1957  
 塔 1958  
 犬 吠 1958  
 朔 原 1959  
 網 1959  
 潮 来 の 夕 1960  
 M A D O(窓) 1960  
 暁 富 士 1960  
 富 士 雷 鳴 1961  
 マンハッタン(アメリ  
 カ五題の内) 1962  
 晴 る 日 1962  
 雪 原 1963  
 海 1963  
 伊 豆 富 士 1963  
 遠きノートルダム 1965  
 祇王寺の秋 1965  
 凱旋門 1965  
 天 壇 1966  
 紅 白 梅 1966  
 茜 山 水 1966  
 暁 富 士 1966  
 親不知夜雨(越路十景  
 の内) 1968  
 越前雨晴(シ) 1968  
 佐渡秋月(シ) 1968  
 蒲原落雁(シ) 1968  
 間瀬夕照(シ) 1968  
 上越暮雪(シ) 1968  
 弥彦晴嵐(シ) 1968  
 出雲崎晚鐘(シ) 1968  
 能生帰帆(シ) 1968  
 立山黎明(シ) 1968  
 風 渡 る 1968  
 奥入瀬の秋 1968  
 T O K Y O 1968  
 遠 富 士 1968  
 清 雪 富 士 1969  
 朝 霧 1969  
 冬富士(富士八景の内) 1969  
 紅葉富士 1969  
 む さ し 野 1970  
 雪 富 士 1971  
 清 雪 富 士 1971  
 む さ し 野 1972

1973  
 茜 1973  
 峽 1973  
 絶 筆(未完) 1973  
 杉村悖倫展 7—14 日動サロン  
 渡部慧展 7—18 日本橋画廊  
 18回日本山林美術展 8—12 豊島  
 区民センター展示場  
 李禹煥展 10—22 東京画廊  
 フサロ展 10—22 ギャラリー・た  
 めなが  
 マン・レイ展 10—25 南天子画廊  
 キュビズムの画家たち展 10—29  
 南画廊  
 朝倉響子展 10—29 ギャラリー・  
 ユニバース  
 ベナンツォ・クロチェッティ展 10  
 —29 現代彫刻センター  
 門脇俊一障壁画展 11—16 三越  
 米倉爰墨絵展(草枕をテーマに) 11  
 —16 三越  
 5回第三文明展 11—16 三越  
 日本水彩画会々員展 11—16 三  
 越  
 石川滋彦作品展(海・船・港) 11—  
 23 東京セントラルサロン  
 織田一磨回顧展(前期) 14—30 リ  
 ッカー美術館  
 竹内栖鳳展 15—26 京成百貨店  
 出品目録  
 芙 蓉 明治14年  
 池塘浪静—新古美術 明治20年  
 会 1920  
 富 士 1920  
 春 郊 帰 牧 明治26年  
 平家鷲声逃亡 明治27年  
 帰 去 来 明治29年  
 観 花 明治30年  
 雪 中 群 鴉 明治35年頃  
 秋 声 明治41年頃  
 アレタ立に—第 明治42年  
 3回文展  
 散 作 華一二 明治43年  
 画 人 大正12年  
 画 具 昭和5年  
 金 色 界 大正13年  
 醉 興 1924  
 重 文 斑 猫 1924  
 御物 和 暖 1924

昭和48年主要美術展覧会(9月)

鮎(青花魚)	大正14年	写生 鮎	大正8年	洗濯屋(オー・プチ・ソ ミュール)	1925
海	シ	写生 支那風景	大正10年	酒場(オ・カーヴ・ブ ルー)	シ
蹴 鴨 宿 合	大正15年	写生 仔 猪	昭和13年	居酒屋(カーヴ・ドュ・ ヴェー・シャトー)(裏 面・教会堂)	シ
宿 鴨 宿 合	シ	小下絵 主基斎田風 俗絵屏風	大正3年	レ・ジュ・ド・ノエル	シ
南 支 風 色	シ	画稿 絵になる最初	大正2年	絵 具 箱	シ
江 南 風 光	昭和2年	画稿 蹴 合	昭和4年	休 息	シ
つ つ 月	シ	画稿 蛙と蜻蛉	昭和9年	壁	シ
お ぼ ろ	昭和3年	画稿 酒匂川の朝	昭和10年	ホテルのある通り	シ
う な 辺	シ	画稿 草相撲	昭和11年	エッフェル塔の見える通 り	シ
吟 風 寒	昭和5年	画稿 兎		メーゾン・ルージュ	シ
春 獅 子	昭和6年頃	画稿 家 鴨		パリ歩道スケッチ	シ
潮 来 風 情	昭和6年	画稿 柿に小禽	昭和15年	デュメニル・ビール	シ
紅 来 風 情	昭和8年頃	書 風 竹	シ	広告のある門	シ
潮 来 風 情	昭和10年頃	書 狂 狗 逐 雷	シ	テレピン油のある静物	シ
豚 清 露 水	昭和10年	書 浮 瓜 沈 李	シ	ぶどうと洋梨(裏面・自 画像)	シ
潮 来 小 田 城 外	昭和11年	書 毫 端 春 色	シ	人 形	シ
千 代 風	昭和12年	佐伯祐三展(ある画家の生涯と芸術 展) 15-10月14 兵庫県立近代 美術館		パリ店頭風景	1925頃
城 外 風	昭和5年	出品目録		蟹	1926
宝 船 嫁	シ	自 画 像	1915	新 橋 風 景	シ
花 惜 春 鶉	昭和6年	扇を持つ婦人像	1922頃	下 落 合 風 景	シ
晚 浪 紫 燕	昭和8年	米子夫人像	1923頃	滞 船(1)	シ
銀 蛙 と 蜻 蛉	シ	彌 智 子 像	1924	滞 船(2)	シ
花 竹 野 雀	昭和9年	バレットを持つ自画像	1924頃	滞 船(3)	シ
風 炉 辺	シ	雪 景	シ	ラ・コルダートル街	
酒 勾 川 の 朝	昭和10年	バリの街遠望	シ	パ リ 郊 外	1926
秋 の 一 日	シ	子 供 の 顔	シ	モンバルナス附近	1927
松 魚 郷	シ	オーヴェール風景	シ	モンバルナスの古い道	シ
水 艶 陽	昭和15年	オ ニ ー 風 景	シ	広告(アン・ジュノー)	シ
残 し ぐ る る 池 郷	シ	パ リ 雪 景	シ	路 と 広 告	シ
眠 海 幸 山 幸	昭和16年	ク ラ マ ー ル	1924	パ リ 街 景	シ
模写・写生・小下絵・画稿・書	シ	ク ラ マ ー ル の 午 后	シ	オプセルヴァトワール附 近	シ
模写 鳥羽僧正筆鳥 獣戯画「流籠図」	明治21年	村 役 場(1)	シ	テラスの広告(オテル・ デュ・マルシェ)	シ
模写 相阿弥筆「水 墨山水図」	明治22年	教会(裏面・バリの裏街)	1925	カフェのテラス(1)	シ
模写 芸阿弥筆「唐 瓜と胡蝶図」	シ	風景(裏面・窓際の裸婦)	シ	カフェのテラス(2)	シ
模写 雪舟筆「山水 長巻」	明治23年	レストラン	シ	ガス灯と広告	シ
写生 風 景	明治27年	ヴオージラルの家	シ	新 聞 屋	シ
写生 裸 婦	明治42年	カミヨン(運送屋)	シ	場 末 の 街	シ
		村 役 場(2)	シ	広告(ヴェルダン)	シ
		村 役 場(3)	シ	街 角 の 広 告	シ
		バリの裏街	シ	共 同 便 所	シ
		村の教会堂	シ	店 頭 風 景	1927頃
		パリ15区街	シ	サン・タンヌ教会	1928
		ノートルダム寺院(裏面・ オーヴェール風景)	シ	靴 屋(職人)	シ
		ノートルダム寺院	シ	納 屋	シ
		夜のノートルダム寺院 (裏面・立てる自画像)	シ		

昭和48年主要美術展覧会(9月)

街はずれの寺	1928
工場	シ
モラン風景	シ
煉瓦焼場	シ
ホテルの裏庭	シ
黄色いレストラン	シ
モランのレストラン	シ
郵便配達夫(全身像)	シ
郵便配達夫(半身像)	シ
ロシアの少女	シ
扉	シ
寺院	シ
モランの寺(1)	シ
モランの寺(2)	シ
モランの寺(3)	シ
モランの寺(4)	シ
村の風景	シ
村と丘(1)	シ
村と丘(2)	シ
風景・教会	
少女	
エッフェル塔の見える通	1925
ササン・フランチェスコ聖	1926
堂	
裸婦	1928頃
風景	
銀座風景	
風景	
裸婦	
人物・動物	
自画像	
彫刻3人展	17-22 日本画廊
2回三國慶一木彫個展	17-22 中央公論画廊
5回草草会展	17-23 地球堂ギャラリー
イタリア現代彫刻三人展	18-23 三越
春陽会会員展	18-30 東京セントラル美術館
米坂ヒデノリ彫刻展	20-25 高島屋
蓮田脩吾郎展	20-25 高島屋
井上悟展	20-29 彩壺堂サロン
日本橋画廊20周年記念展	20-10月
1 日本橋画廊	
山下摩起水墨画展	20-10月8 大阪・画廊梅谷

大阪の洋画遺作25人展(明治から昭和)	20-10月14 大阪・梅田近代美術館
光安浩行回顧展	21-26 銀座・松屋
5回野上魏個展	21-26 小田急
35回一水会展	22-10月10 都美術館
37回新制作協会展	22-10月10 都美術館
19回一陽展	22-10月10 都美術館
立体作品と素描	25-29 養清堂画廊
菊地一雄彫塑展	25-30 三越
20回日本伝統工芸展	25-10月7
高田誠記念作品・新作品展	25-10月3 第一会場、日動サロン 第二会場・日動画廊
アメリカの日本作家	26-11月4 京都国立近代美術館

出品目録

きわめて通俗的な物語<版画のたのめイヴェント一虹のグラス>あるいはくそれから嘯嘯氏は虹によって酔っぱらった>(38点シリーズ)	1973 嘯嘯
魚・ディオラマ(立体版画)	1971 池川 司郎
無題・素描 1	1973 シ
無題・素描 2	シ
セブンティーン	シ 池田満寿夫
のピラミッド	
ストリング	シ
セブンティーン	シ
フィッシング	シ
プレゼント	シ
宇宙的な帽子	シ
<7つの大罪>による 1	シ
<7つの大罪>による 2	シ
<7つの大罪>による 3	シ
風景CX	1972 猪熊弦一郎
風景GT	シ
風景BY	シ

風と樹	1972 伊原 通夫
自走彫刻	シ
光の塔	1973 シ
ライサン	シ 大竹登美江
ガッシュ	シ
アフターエイト	シ
シュンヨウ	シ
入江	シ 岡田 謙三
オレンヂ	シ
金と銀	シ
パサデナ・ファントム	1971 金光 松美
余震、ヴァレン	
タインデー、	
ジョージ・ワシ	1971 シ
ントンの誕生	
日、銀行の休日	
自画像	1972 シ
内部の風景	シ
N.Y.-J.T.73-7	1973 川島 猛
青の中の形	1972 川端 実
赤の中の形	シ
作品 No.72-E-1・トルソ	シ 岸 正豊
作品 No.72-H-1・頭部	シ
作品 No.73-B-2・頭部	1973 シ
作品 No.73-D-1・人物習作	シ
作品 No.73-D-2・人物習作	シ
壁紙	1971 木村利三郎
石化した手袋(40点シリーズ)より	シ キヨオカロイ
作品(メタリック・ブルーとメタリック・ピンクの12枚パネル)	1970 桑山 忠明
ブルー・ペインティング No.4	1973 近藤 竜男
グレー・ペインティング No.11	シ
グリーン・ペインティング No.8	シ
無題 1	シ 酒井 和也
無題 2	シ
無題 3	シ
モーターサイクル・ママ	シ 篠原有司男
思い出の美しい季節	1970 白井 昭子
枯葉	1972 シ
月への旅行	シ

日の光の中で	1972	白井 照子	十 辺 形一黄	1973	福井 延光	伊藤慶之助近作展	1—6	フジカ
くずれていく雲	1973	シ	石 と 影 1	1972	堀内ポール	ワ画廊東京店		
真夜中の星	シ	シ	石 と 影 2	シ	シ	白髪一雄展 (1回展)(12年間の作		
摩天楼のかなた	シ	シ	石 と 影 3	1973	シ	品から) 1—9 東京画廊		
彩られた鳥	1972	高井 貞二	石 と 影 4	シ	シ	脇田愛二郎展 1—13 南天子画廊		
窓 No.2	シ	シ	版画集<寂寥>—			アイズビリ展 1—13 ギャル		
グレーのコンボ	シ	シ	ヘンリー・ディ	1971	松原 直子	リー・ためなが		
ジション	シ	シ	ヴィッド・ソ			4 回版画グラン・プリ展 1—15		
ラカンドン族1	シ	竹田鎮三郎	ロー作「ウォル			東急日動画廊		
ラカンドン族2	シ	シ	デン」による			5 回現代日本彫刻展一形と色 1—		
イグワナの国	1973	シ	ウォルデンの池			11月10 宇部市野外彫刻美術館		
ミステカ族の国	シ	シ	(表紙)			出品目録		
婦 人	1972	土木 真澄	寂 寥	シ	シ	MARILYN MON-	飯田 善国	
サムライ	シ	シ	斉 美	シ	シ	ROE		
旗	1973	シ	雨 の 静 穂	シ	シ	(ステンレススチール)		
ネガチーブの空	シ	豊田 豊	冬 の 池	シ	シ	(ナイロンロープ)		
間	シ	シ	冬 の 色	シ	シ	淡 洸 一色 邦彦		
人間と無限空間	シ	シ	秋 色	シ	シ	(アルミニウム・鉄)		
関係	シ	シ	風 松	シ	シ	空間への黄色いアーチ 江口 週		
空間陰と空間陽	シ	シ	春 の 訪 門 者	シ	シ	(木、鉄)		
の関係	シ	シ	ソ ロ ー	シ	シ	円 と 方 形 小田 襄		
平行でない平行	1973	シ	取 穫	シ	シ	(ステンレススチール)		
の空間			作 品 A	1973	マベマナブ	異相のコンポジション 加藤 常明		
7 つ の 物 体	1972	中川 直人	作 品 B	シ	シ	(アルミニウム、ス		
油 さ し	シ	シ	作 品 C	シ	シ	テンレススチール、		
白 い 天 使	1973	シ	無 題 I	1972	皆島 万作	鉄)		
シルヴァー・	シ	中里 齊	無 題 II	1973	シ	立 方 体 河口 龍夫		
ヴォーテックス	シ	シ	無 題 III	シ	シ	(コンクリート)		
シルヴァー・	シ	シ	砂 漠 の 道	シ	村田實史雄	作 品 B 川口 政宏		
ヴォールト	シ	シ	ピラミッドの祭	シ	シ	(ステンレススチー		
シルヴァー・	シ	シ	典			ル、鉄)		
ヴァルブレイン	シ	シ	森 と イ ン コ	シ	シ	RELATION 木村 光佑		
シルヴァー・	シ	シ	遺跡の夜明け	シ	シ	(ステンレススチー		
ヴェロシティ	シ	シ	パ レ ン ケ	1972	村田 博	ル、アクリル樹脂)		
饗 養 文 2 面	シ	中里 齊	カ バ ー の 夢	シ	シ	1973年夏 日下部濱江		
シルコン・カー	シ	シ	松本英一郎個展 (退屈な風景)			(強化プラスチック)		
バイドの饗養文	シ	シ	27—10月2 渋谷・西武			ス、真鍮		
眼 の 城	1968~72	新妻 実	21回川合修二作陶展 27—10月2			香具山は敵傍を愛しと		
砂 の 柱	1973	シ	高島屋			耳成と相争ひき神代よ		
城 塞	シ	シ	カッパドキヤの壁画模写展 27—10			りかくにあるらし		
証言 No.1 (乾	シ	ニシザワ	月11 武蔵野美大美術資料図書館			(陶器)		
山嶺)	シ	ルイス	4 回平沢喜之助油絵展 28—10月			作品8・73「場」 栄 利秋		
証 言 No.2	シ	シ	3 小田急			(木、鉄)		
証 言 No.3	シ	シ				T&C 4211 篠田 守男		
証 言 No.4	シ	シ				(アルミニウム、真		
作 品 132	シ	樋口 シン				鍮、ステンレスス		
作 品 169	シ	シ				チール)		
作 品 183	シ	シ				FEELNG-LOVE 鈴木 啓子		
作 品 189	シ	シ				(強化プラスチック)		
作品199(6点シ	シ	シ				ス、白那知石)		
リーズ) A~F	1973	シ	秋季特別展・アブリケ・モーラ展			空 相 一 環 関根 伸夫		
八 辺 形一赤	シ	福井 延光	(パナマ・サンブラス島の民芸)			(鉄、強化プラスチック)		
九 辺 形一青	シ	シ	1—15 神戸・小原流芸術参考館			クス、ステンレスス		

10 月

昭和48年主要美術展覧会(10月)

Intimidad 1973 (石)	高橋 清
水と空気の接面 (発泡ポリエチレン)	多田 美波
PIANISSIMO (スチール)	田中信太郎
マネの「草上の昼食」に 捧げる (アルミニウム、砲金)	田辺 武
挑発しあう形 (石、鉄)	土谷 武
メンタルスペース、キ ューブ '73 (アクリル樹脂、白色 セメント)	野崎 悠子
あまのじゃく	速水 史朗
(スウェーデン産黒みか げ、スウェーデン産イ ンペリアルレッド)	
液 体 (アクリル樹脂、オイ ル)	原口 典之
Green Belt (I) (ステンレススチー ル、鉄)	福田喜美子
二ツの形をもった一つ の立体(A)、二ツの形 をもった一つの立体 (B) (強化プラスチック)	福田 繁雄
PLAN-1 (黒タイル、ステンレ ススチール)	松田 昭雄
"73.7.26午後2時36分 (in Osaka) (敷石、ボール他(シ ルクプリント))	村岡 三郎
段階のある風景	保田 春彦
ASSISI—うすべに色の街	
TODI—古いれんが色の街 (ステンレススチー ル、コンクリート)	
Mountain scape (鉄、クローム)	山本 衛士
黄色と黒色による彫刻 (鉄)	湯原 和夫
立方体に内在する、三 個の等しいピラミッド (ベニヤ板、アクリル ミラー)	吉本 直貴
河野通紀展 1—6 大阪・西美会 倶楽部	
織田一磨回顧展(後期) ッカー美術館	2—14 リ

現代彫刻20展 2—14 東京セント ラル美術館	
秋の特別展・大正の心と美展 2— 11月18 サントリー美術館	
12回名作展 青木繁・中村彝 3— 14 岡山県総合文化センター	
西垣武雄個展 4—10 日動サロン	
4回瀧の会展 4—10 日動サロン (糸園和二郎、田中忠雄、今泉篤 男、西垣武雄、島あふひ、山田菊 枝)	
原勝四郎展 6—28 神奈川県立鎌 倉近代美術館 出品目録	
人 物 1914	
風 景	シ
静 物 1920	
自画像デッサン 1920頃	
裸 婦 1921	
女 の 顔	シ
女の顔デッサン	シ
草原の乙女	シ
自 画 像 1921頃	
風 景	シ
風 景 1922	
裸婦デッサン	シ
裸婦デッサン	シ
天 神 崎 1926	
淡 雪 1927	
高 尾 山 1928	
裸 婦 1930	
裸 婦	シ
母 子 像	シ
裸 婦	シ
裸 婦	シ
高 尾 山 1931	
海 岸 風 景	シ
画 工 像 1932	
バ ラ 1933	
陽 子 像 1933頃	
母 子 像 1934	
婦 人 像	シ
画 工 像	シ
画 工 と 其 婦 1935	
瀬 戸 風 景	シ

グラスポート 1935	
静 物	シ
化粧 粧	1935頃
綱 不 知 崎	シ
三 壺	シ
静 海 物 辺	シ
海 岸 景 像	シ
風 景 景 像	1936
婦 人 景 像	シ
海 岸 風 景 像	シ
自 画 段 壁 像	シ
三 風 少 女 景 像	1937
海 岸 風 景	シ
青 シ ャ ッ	1938
網 不 知 崎	シ
バ バ ラ ラ	1938頃
バ バ ラ ラ	シ
バ バ ラ ラ	シ
風 莫 港 湾	1939
小 海 道	1940
道 所 不 知 物	1940頃
番 網 静 巴 網 休 静 朝 陽 青 疎 風 裸 白 少 江 裸 白 風	1941
鼻 知 物	シ
知 息 物	シ
知 息 物	1942
知 息 物	1943頃
知 息 物	1944
知 息 物	1945
曉 ラ 像	シ
陽 子 像	1945頃
瓶 の 花 林 景	シ
風 景 景 像	シ
風 景 景 像	1946
風 景 景 像	1947頃
風 景 景 像	1948
風 景 景 像	シ
風 景 景 像	1949頃
風 景 景 像	シ
風 景 景 像	1950
風 景 景 像	シ
風 景 景 像	シ
風 景 景 像	1950頃



昭和48年主要美術展覧会(10月)

風 津 良 の 海 辺	1950頃	バ ラ	日本の染織展 16—11月25 東京国立博物館
風 津 良 の 海 辺	1951	白 浜 風 景	土田麦僊展 16—28 東京セントラル美術館
風 津 良 の 海 岸 風 景	1951頃	婦 人 像	31回 パンリアル展 17—26 京都市美術館
風 津 良 の 海 岸 風 景	1952	江 津 良 風 景	小出檜重展(油絵・ガラス絵) 17—27 京王梅田画廊銀座店
樹 蔭 習 作	シ	海 辺(江津良港)	近代の椅子展 17—11月17 武蔵野美大美術資料図書館
樹 蔭 習 作	シ	バ ラ と み か ん	青木大乗水墨画発表展 18—23 高島屋
婦 人 像	1953	あ じ さ い	和気史郎(油彩)・谷口明子(能面)二人展(東京展) 18—24 フジカワ画廊東京店
海 辺 傍	シ	番 所 鼻	宇治山哲平・坂本善三 2 人展 18—28 北九州市立八幡美術館
路 海 辺	シ	雲 の ある 風 景	山本亜稀個展(地中海の旅) 19—26 日動サロン
江 津 良 の 海 景	1953頃	自 画 像	林鶴雄滞欧作品展 19—26 日動サロン
海 海 辺	1954	風 景(麦畑)	ジャコメッティ展 20—11月25 兵庫県立近代美術館
海 海 辺	シ	円 月 島	狩野芳崖とフェノロサ展 21—30 伊勢丹
海 海 静 物	1955	バ ラ	4回グループ遙展 22—28 銀座アートギャラリー
海 海 静 物	1955頃	バ ラ	澤田政廣展(彫刻60年の歩み) 23—28 三越
静 物	シ	風 景	母 子 像 1920
江 津 良 物	シ	夾竹桃スケッチ	銀 河 の 夢 1924
老 人 像	1956	木 蓮 スケッチ	太 陽 に 向 っ て 1925
田 辺 湾 遠 望	シ	芥 子 スケッチ	白 日 夢 1927
海 海 辺	1957	芍 薬 スケッチ	白 鳳 1929
自画像デッサン	1957頃	橋本関雪名作展 6—11月4 大阪市立美術館	白 夜 飛 星 1931
バ ラ	シ	25回 清水六兵衛新作展 9—14 三越	吉 祥 天 1932
風 景	1958	関野準一郎・北岡文雄二人展 11—16 高島屋	白 光 1934
老 人 像	シ	荻太郎展 11—18 日動サロン	光 明 仏 身 1936
自 画 像	シ	白髪一雄展(2回展)(12年間の作品から) 11—27 東京画廊	善 魔 魚 身 1937
草 紅 葉	1959	27回 ニ紀展 12—30 都美術館	火 星 鳥 身 1937
老 人(自画像)	シ	41回 独立展 12—30 都美術館	春 風 1939
番 所 鼻	シ	池田満寿夫版画展 12—27 東急日本橋店	紅 衣 笛 人 1940
田 辺	シ	73 自由美術展・拒否 12—30 都美術館	護 持 結 身 1938
自画像デッサン	シ	明治・大正・昭和(前期)(館藏品による) 13—11月18 山種美術館	阿 弥 陀 1941
風 景	1959頃	川口軌外展 13—11月4 和歌山県立近代美術館	神 通 1943
裸 婦	シ	深澤孝哉個展 15—24 日動画廊	救 世 太 子 1943
菊 花	1960	佐分真展 15—27 パシフィック・ギャラリー	う づ め の 命 1946
静 物	1960頃	2回 建築とともにある彫刻展 15—11月10 晴海・日本建築センター	赤 童 子 1946
静 物	1961		
海 海 辺	シ		
バ ラ	シ		
バ ラ	1961頃		
バ ラ	シ		
向 日 葵	シ		
裸 婦	シ		
向 日 葵	1962		
静 物	1963		
裸 婦			
風 景			

釈迦誕生	1949
五木の精	1951
三華	1952
大聖不動明王	1955
黄泉のしこめ	1956
レダ	1958
曼珠沙華	1959
海に立つおとたちばな姫	シ
道標	シ
キリスト	シ
疵つける武人	1960
魚を持つ女	1961
このはなさくや姫	1964
隠者	1963
稜風	1965
救世に立ちあがる釈迦	1966
蝶と遊ぶ	1967
金剛王菩薩	1968
人魚	1969
不動明王	シ
文殊菩薩	1971
華(はな)	シ
カルラ	1973
竹取物語絵巻刊行記念・前田青邨展	23—28 三越
田中阿喜良油絵展	23—28 三越
ギリシア・エトルスク美術展	25—26 大丸
神保豊木彫展	25—30 高島屋
中川一政近作展	25—11月10 吉井画廊新館
3回水谷淳油絵個展	26—31 小田急
平井一男個展	26—11月4 文芸春秋画廊
鴨居玲展	27—11月4 日動サロン
牧野邦夫展	27—11月4 日本橋画廊
台湾の民具	27—1974年1月31 埼玉県立博物館
張替真宏個展	29—11月4 銀座ヤマト画廊
秦森康屯近作展	29—11月17 アン画廊
森清治郎油絵展	30—11月4 三越
吉本弘作品展	30—11月11 東京セントラルサロン

11 月

4回六彫展	1—15 現代彫刻センター(菊地一雄、佐藤忠良、高田博厚、舟越保武、本郷新、柳原義達)
佐伯祐三展	1—25 香川県文化会館
5回日展	1—12月6 都美術館
9回都民美術展	2—7 東急日動画廊
東山魁夷・白い馬の見える風景展	2—7 銀座・松屋
デ・キリコによるデ・キリコ展	2—12月16 神奈川県立近代美術館
出品目録	
油絵	
母の像	1911
不安な美神たち	1925
考古学者たち	1927
部屋の中の神殿	シ
部屋の中の古代彫像	1932
水浴びする女たち	1934
パリのアトリエでの自画像	1935
豹の外套を着た肖像(イサベラ)	1940
アレクサンドロスの上陸	1942
植民地のマネキン人形	1943
裸の自画像	1945
ルジャエロとアンジェリカ	1946
ヘクトールとアンドロマケー	シ
青い衣服を着た自画像	1947
黒いぶどう	シ
風景の中の果物	シ
神秘的な岩	1948
17世紀の衣服を着た自画像	シ
チューリップ	1949
二人の友のめぐり合い	1953
古代のアップピア街道	1954
錠兜	シ
カストール	1955
ポリュデケース	シ
慰める人	1958
白鳥	シ

赤い手袋	1958
森のなかの馬	シ
夢—アリアドネーと塔(帆)	シ
イタリア広場への引越	1959
し	
二つの仮面	シ
銀の器のある静物	1962
シ	
ディオスクロイの頭のある形而上的室内	シ
シ	
ヒッポリュトスとその仲間	1963
陽光にむかう馬	1964
ヴェネチア—アリアルト橋	1965
シ	
イタリア広場—大競技場	シ
シ	
放蕩息子の帰宅	シ
神秘的な浴場(低い差し掛け屋根)	1967
シ	
ヴェネチア—サンジョルジオ島	シ
シ	
トロイアの前のヘクトールとアンドロマケー	1968
シ	
ビスケットのある形而上的室内	シ
シ	
城のそばの古代の馬	シ
シ	
花	シ
谷間の家具(絨氈のある)	シ
シ	
エブドメロスの出発	シ
シ	
ダビデの手	シ
シ	
神秘的な浴場の午後	シ
シ	
剣闘士の訓練	シ
シ	
ライオンへの剣闘士の戦い	シ
シ	
オレステースの孤独	シ
シ	
オデュッセウスの帰還	シ
考古学者たち“過去の探索者たち”	1969
シ	
ユーピテルへの敬意	シ
シ	
オレステースの後悔	シ
シ	
バラティノ丘の剣闘士	シ
シ	
吟遊詩人	シ
シ	
ボールとなめくじのある形而上的室内	シ
シ	
オレステースとピュラデース	シ
シ	
リンゴ	シ
シ	
春の悲しみ	1970
シ	
アテネ	シ
シ	
疲れた吟遊詩人	シ
シ	
アリアドネーの憂うつ	1971
シ	
偉大な形而上学者	シ

瞑想する人	1971	巫女たち	1969	森田恒友展	5-17	ギャラリーキヤ エス
神秘的な情景	シ	ペーネロペーとテレー マコス	シ	フィニー版画展(サロン開設記念)	5-17	朝日国際アートサロン
広場に映える太陽	シ	孤独な詩人	シ	石井鶴三遺作寄贈作品展	5-24	東京芸大陳列館
形而上的室内の死んだ 太陽	シ	オルベウス	シ	アール・ヌーヴォー版画特集	6-11	三越
夏の午後	シ	考古学者たち	シ	杉本健吉油絵展	6-11	三越
神秘的なきざしの現れ	シ	植民地のマネキン人形	シ	中村彝展(没後50年記念)	6-18	日動サロン
沈黙の対話(三角形)	1973	慰める人	シ	イタリア・ルネッサンス・ヴェネツ ィア派名作展	8-20	大丸
デッサン・水彩		ヘクトールとアンドロ マケー	シ	三浦勝治油絵個展(第二次シルク ロードを描く)	9-14	小田急
イサの肖像	1935	ガニューメーデースとそ の馬	シ	3回鼎会屏風展	9-14	銀座・松 屋
煉獄のダンテ	1950	アイアース	シ	長森聰展・平田勝規展	9-19	日 本橋画廊
港のある形而上的室内	1967	偉大な形而上学者	シ	世界の巨匠棟方志功華厳展	9-14	日本橋東急
オイディプースとス フィンクス	1968	リトグラフ・エッチング		オリビア・フィッシャー・リュート ケ版画展	9-14	日本橋東急
幻のバラ	1970	貴族とブルジョワ	1969	近代日本美術史におけるバリと日本	10-12月16	京都国立近代美術 館
太陽の車	シ	エブドロメスの帰還	シ	服部三郎オルフェ展	12-17	ギャ ラリープリントアート
煖炉のなかの太陽	シ	オレステースとピュラ デース	シ	土井邦晃作品展	12-24	彩壺堂サ ロン
城への帰還	シ	孤独な騎士	1970	セザンヌからシャガールまで・近代 巨匠の名作展(3回)	12-24	ギャ ラリー・ためなが
アポロとチューリップ	シ	考古学者たち	シ	斎藤真成・堀内規次・中西勝3人展	(東京展) 13-18	東京セントラ ル美術館
神秘的な動物	シ	ヘクトールとアンドロ マケー	シ	4回日動展	13-22	日動画廊
夢の思い出	シ	東方の友	シ	中村徳三郎作品展	13-25	東京セ ントラルサロン
リビュラの眺望	シ	イタリア広場	シ	豊田寿生油絵展	14-18	三越
ファンタスティックな デッサン	1971	陽光にむかう馬	シ	ジャコモ・マンズー展	14-12月23	東京国立近代美術 館
ヴェネチアのエブドメ ロス	シ	海辺の馬	シ	万葉花・岡信孝展	15-20	高島 屋
瞑想する人	シ	アレクサンドロス大王 の馬ピチエファロ	シ	小野竹喬素描展	16-21	銀座・松 屋
美神の秘密	1972	太陽と海	1970			
炎のなかの馬	シ	夏の午後	1971			
マンハッタンの謎	シ	虹	シ			
すべての人と一つの不 思議なオブジェ	シ	神秘的な川	シ			
女神ミネルヴァと神秘 的なオブジェ	1973	太陽の神殿	シ			
白い馬	シ	赤い布をつけた馬	シ			
オレステース	シ	工場のある形而上的室 内	シ			
花	シ	闘技場の剣闘士	シ			
話する美神たち	シ	不安な美神たち	1972			
美神の朝 彫刻	シ	アリアドネーの憂うつ	シ			
不安な美神たち	1968	神殿と廃墟と馬	シ			
画家	シ	剣闘士	シ			
ヘクトールとアンドロ マケー	シ	父テベレ	シ			
吟遊詩人	1963	江戸以前・版本挿絵文化史展	5-10			
銀の吟遊詩人	1968	10 国立国会図書館				
考古学者たち	シ	伊藤継郎新作展	5-10			
古代の馬	1969	画廊銀座店				
悲しみのミーノータウ ロス	シ	鈴木満新作展(東京展)	5-11			
ヒッポリュトス	シ	画廊				
美神たち	シ					

昭和48年主要美術展覧会(11月)

露谷虹児展(堀口大学・露谷虹児「虹の花粉」出版記念 16—21 小田急	
京の百景展 16—30 京都府総合資料館	
藤井二郎個展 19—23 フジカワ画廊東京店	
泉茂版画展“measure” 19—30 ギャラリープリントアート	
20年の100人展(養清堂画廊20周年記念) 19—12月1 養清堂画廊	
豊秋半二水墨長巻展 20—25 三越	
熊野俊一滞欧作品展 20—25 三越	
ロビンソン・コレクションを中心に、フランス名作展 20—12月2 日動サロン	
明治・大正・昭和・三代の秀作(後期) 20—12月23 山種美術館	
マルボロー名品展 21—23 渋谷・マルボロー鳥居ファインアート K・K	
高井寛二展・阿部平臣展 21—12月1 日本橋画廊	
25回 白寿会絵画展 22—27 高島屋	
没後五十年記念・中村彝展 22—12月5 茨城県立美術館	
出品目録	
油 彩	
ランプのある室内(裏面・河辺の風景) 1907頃	
風 景	シ
裸 婦 習 作	1908
雪	シ
木 立 風 景	1909
巖 <御物>	シ
帽子を被る自画像	シ
帽子を被る自画像	1909頃
ある老婆	シ
海辺の村(白壁の家)	1910
リンゴと瓶のある静物	1910頃
風 景	1911
女 (少女)	シ
女	シ
麦藁帽子の自画像	シ
風 景	1912
自 画 像	シ

自 画 像	1912
自 画 像	シ
静物(花と果物)	シ
多湖実敏氏像	シ
I氏巖父の肖像	1913
I氏母堂の肖像	シ
少 女	シ
帽子を被る少女	シ
牛乳瓶のある静物	シ
婦 人 像	1913頃
少年像(相馬安雄氏像)	シ
少 女 裸 像	1914
少 女	シ
少 女 習 作	シ
少 女 習 作	1914頃
静 物	シ
静 物	シ
大 島 風 景	1915
大 島 風 景	シ
大 島 風 景	シ
幼 児	シ
ア ネ モ ネ	シ
静 物	シ
梅雨の頃(裏面・窓辺の風景)	1915頃
田中館博士の肖像	1916
裸 体	シ
落合のアトリエ	シ
自 画 像	シ
静 物(花)	シ
花	シ
静 物	シ
バ ラ	1916頃
新 宿 郊 外	シ
西巻時太郎氏像	1917
静 物	シ
青い壺と花	シ
ダリヤの静物	1917頃
鳥籠のある庭の一隅	1918
平 磯 海 岸	1919
静 物(ダリヤ)	シ
静 物	シ
静 物	1919頃
目 白 風 景	1920
男の顔(河野氏像)	シ
エロシエンコ氏像	シ
横 顔	シ
椅子によれる女	1920頃
コスモスのある静物	1921
自 画 像	シ
婦 人 像	1922頃

婦 人 像	1922頃
自 画 像	1923
自 画 像	シ
自 画 像	シ
髑髏のある静物	シ
髑髏を持てる自画像	シ
増子喜一郎氏像(未完成)	1923頃
中村春二像	1924頃
老 母 像 習 作	1924
老 母 像 下 図	シ
老 母 像	シ
静 物(花)	シ
花	シ
カルピスの包み紙のある静物	シ
室田義文氏像	シ
静 物(絶筆)	シ
バステル・デッサン	
人体デッサン	1908
自 画 像	1913—4
少 女 像	1914頃
少 年	シ
大 島 風 景	1915
海 辺	1915頃
自 画 像	1915
庭 の 一 隅	1916
少 女 立 像	1916頃
犬	シ
静 物	1918
二人の裸婦	1918—9
母 子 像	1919頃
海 草 採 り	シ
女 の 顔	1920
目 白 の 冬	シ
自 画 像	1921
血を吐く男	シ
自 画 像	1922
中原悌二郎像	シ
裸 婦	1922—3
髑髏の静物	1923
髑髏のある静物	シ
髑髏のある静物	シ
髑髏を持てる自画像	シ
参 考 作 品	
ルノアール風景画模写	1920
ルノアール泉模写	シ
絹谷幸二作品展 26—12月8 彩壺堂サロン彩壺堂分室	
藤松博展 26—12月8 南天子画廊	
田中忠雄教授作品展 26—12月8	

武蔵野美術大学美術資料図書館  
 平塚運一版画展 27—12月2 三越  
 中国現代絵画展(1930年代を中心に)  
 27—12月9 東京セントラル美  
 術館  
 ルオー・パッション展 27—12月25  
 出光美術館  
 サントリー '74展・新収蔵品を中心  
 に 27—19 74年1月27 サント  
 リー美術館  
 小島俊男油絵展 29—12月4 高島  
 屋  
 20回田村耕一陶展 29—12月4 高  
 島屋

12 月

櫃田伸也個展 1—10 大阪・梅田  
 画廊三番街店  
 児玉幸雄展 3—10 日動サロン  
 田辺三重松遺作水彩素描展 3—10  
 日動画廊  
 小原稔展・大歳克衛展 3—13 日  
 本橋画廊  
 寺田政明展 3—12 フジキ画廊別  
 館  
 西洋の版画のあゆみ展 3—15 東  
 京芸術大学芸術資料館  
 15回双杉会展 4—8 兼素洞  
 関西能彫展 5—10 三越  
 京都伝統陶芸家協会展 6—12 高  
 島屋  
 藤原啓父子展(藤原啓、雄、恭助)  
 6—12 高島屋  
 12回日本童画家協会展 7—12 東  
 急日本橋店  
 昭和48年度・新制作日本画部受賞作  
 家展 8—13 銀座・松屋  
 普門暁回顧展 8—1974年1月20  
 奈良県立美術館  
 出品目録  
 鹿 1962  
 舞 妓  
 紫 の 滝 1962~3  
 初 夏  
 裸 婦  
 魂 の 叫 び 1963頃  
 萬物すべて土にかえる  
 デッサン 1 1961

デッサン 2 1961  
 シ 3  
 シ 4  
 シ 5  
 シ 6  
 シ 7  
 シ 8  
 シ 9 1962  
 シ 10  
 シ 11  
 シ 12  
 シ 13  
 シ 14  
 シ 15  
 シ 16  
 シ 17  
 シ 18  
 シ 19  
 シ 20  
 シ 21  
 シ 22  
 シ 23  
 シ 24  
 シ 25  
 シ 26  
 シ 27  
 シ 28  
 シ 29  
 シ 30  
 シ 31 1962  
 シ 32  
 シ 33  
 シ 34 1962  
 シ 35 1963  
 シ 36  
 シ 37  
 シ 38  
 シ 39  
 シ 40 1964  
 シ 41  
 シ 42  
 シ 43 1964  
 シ 44  
 シ 45  
 シ 46  
 シ 47  
 シ 48  
 木 蓮  
 俱利伽羅龍幻想(下絵) 1965  
 一 華 観 音 1966

精霊よどこへ行く(ベ  
 トナム) 1966  
 死から生へ(ベトナム) A  
 シ B  
 シ C  
 シ D  
 シ E  
 舞踊(石井漢の死をき  
 きて)  
 澗 甘露 法 雨 1967  
 天 女 1967頃  
 二 上 山  
 龍 神 1968  
 牡 丹 1966~71  
 瀧  
 男 と 女  
 躍 動 する 女  
 原 爆  
 幻 想 A  
 シ B  
 シ C  
 精 女  
 花 が 開 く  
 煙からの幻想  
 街 飛 魚  
 精 樹 1  
 シ 2  
 悪 夢  
 開 く  
 う れ ひ  
 闘  
 華 厳 の 瀧  
 ま う  
 菩 薩  
 尋牛夜話(7枚)  
 十一面千手観音  
 当 麻 蹶 速  
 二十五菩薩(うち10枚)  
 化 粧 1918  
 ト ル ソ  
 裸 婦 座 像 1962~3  
 マ ス ク  
 カ チ ュ ー シ ャ  
 自 画 像 1966~71  
 スケッチブック  
 17回中央公論秋季展 10—15 中央  
 公論画廊(上村松篁、小倉遊亀、  
 小野竹喬、高山長雄、西山英雄、  
 橋本明治、前田青邨、森田沙伊、

安田鞆彦、山本丘人)

- 4回燦々会展 10-20 日動画廊(伊藤清永、児玉幸雄、大沢昌助、高田誠、織田広喜、鷹山宇一、北川民次、原精一、庫田毅、脇田和)
- 37回大潮会展 10-26 都美術館
- 国画会版画展 11-16 東京セントラル美術館
- 濱田庄司作陶展 11-17 三越
- 11回レアリテ展 11-18 日動サロン(大久保泰、島村三七雄、西山真一、藤本東一良、山下大五郎)
- 25回年末・日本美術家連盟展 14-18 銀座・松坂屋
- 石井義雄展 14-23 フジキ画廊別館
- 世界のアート・ポスター展(その2) 15-1974年3月17 香川・高松市白梅会館展示室
- 今井俊満作品展 18-24 三越
- 新谷琇紀彫刻新作展 18-31 三越
- 藤本能道作陶展 20-25 高島屋
- 日展・院展受賞作家日本画展 20-26 東急日本橋店
- 大シベリア博 21-74年5月6 後楽園競技場
- キリシタン美術の再発見・西洋と日本の出会い 22-74年2月3 京都国立近代美術館
- フランス・リヨン染型展 26-31 高島屋

<古美術>

1 月

- 文楽と歌舞伎展 1-2月28 大阪市立博物館
- ミイラ仏と出羽三山秘宝展 2-15 高崎市・スズラン百貨店
- 郷土の考古展4「かながわの歴史時代」 3-10 横浜・有隣堂本店
- 特別陳列「宮曼荼羅」 4-2月4 京都国立博物館
- 特別陳列「和歌懐紙と連歌懐紙」 4-2月25 京都国立博物館
- 特別陳列「高台寺蒔絵」 4-2月11 京都国立博物館
- 久能山東照宮秘宝・徳川歴代將軍展 4-9 阪神大阪店
- 春期特別展 4-2月18 刀剣博物館
- 第57回特別展「日本の祭」 4-2月4 大阪市立博物館
- 館蔵やきもの展 4-28 石川県美術館
- 徳川十五代甲冑と刀剣展 4-10 井筒屋八幡支店
- 戦国武将武器甲冑名宝展 4-17 福岡・岩田屋
- 能装束・能面・香道具展 5-4月1 大倉集古館
- 江戸の年末年始風景展 5-27 リッカー美術館
- 松永記念館所蔵茶道具展 5-29 椿山荘美術館
- 六波羅蜜寺展 5-23 小田急本店
- 永楽焼歴代展 5-14 京都府立総合資料館
- 東洋の漆工 5-2月25 大和文華館
- 風景版画展 5-20 浜松市美術館
- 創立百年記念「東京国立博物館所蔵名品展」 6-2月11 東京国立博物館
- 東洋の色絵陶磁展 6-3月25 出光美術館
- 世界の染織展 6-2月11 大阪市立美術館

- 逸翁追慕「白梅忌展」 6-3月21 逸翁美術館
- 仏像展 7-3月25 高輪美術館
- 阿波の古代寺院展 8-3月31 徳島県博物館
- 佐賀県の歴史と文化展 8-3月31 佐賀県立博物館
- 冬季展 9-3月15 畠山記念館
- ベルシア陶器の変遷展 13-3月25 瀛翠美術館
- 絵馬と扁額 13-3月18 香川県文化会館
- 密教美術名宝展 17-28 高島屋本店
- インド細密画展 18-23 大丸東京店
- 徳川歴代將軍の秘宝展といけ花展 18-22 神戸・山陽百貨店
- 聖僧即身仏と出羽三山秘宝展 19-2月4 福知山市・さとう百貨店
- 特別展「関東の鉄佛」 20-2月18 埼玉県立博物館
- インド細密画展 26-31 阪急本店
- 中国三千年美の美展 30-2月4 三越本店

2 月

- ご誕生800年記念「親鸞聖人展」 1-13 大丸東京店
- 山川コレクション名品展 3-25 石川県美術館
- 特別陳列「十三重石塔納入遺物」 6-3月4 京都国立博物館
- 弘法大師御誕生1200年記念「密教美術名宝展」 6-18 高島屋大阪店
- ご誕生800年記念「親鸞聖人展」 9-14 近鉄四日市店
- 文化財が語る北九州の歴史展 9-14 小倉・井筒屋
- 浪華人物志「大阪の画家」 11-3月10 大阪市立博物館
- みちのくの神秘「ミイラ仏と出羽三山秘宝展」 13-25 三越松山店
- 日向の古美術展 13-3月11 宮崎県総合博物館

特別展観「はにわ」13—3月18 東京国立博物館  
 ポロブドール展 20—3月1 東京・三菱自動車ショールーム  
 ご誕生800年記念「親鸞聖人展」22—27 大丸大阪店  
 飛鳥展 23—3月7 近鉄阿倍野店  
 シカゴ美術館浮世絵名品展 24—3月18 リッカー美術館  
 九州歴史資料館開館記念展 24—4月8 福岡県立九州歴史資料館  
 茨城の考古展 24—3月25 茨城県立県民文化センター

3 月

五島美術館優品展 1—4月29 五島美術館  
 特別陳列「石山寺縁起」1—4月1 京都国立博物館  
 ひな人形展 1—21 京都府総合資料館  
 所蔵品名品展 1—4月22 大和文華館  
 高岡金工の歴史展と明治・大正の商家展 1—5月31 高岡市立博物館  
 宗像大社秘宝展 2—14 京都・藤井大丸  
 石川県に所在する国・県指定文化財展 3—25 石川県美術館  
 日本刀展 5—24 神戸市立南蛮美術館  
 山口県の仏教美術展「中世の鰐口」13—21 山口県立山口博物館  
 地獄・極楽「恐山展」15—21 松坂屋上野店  
 春季展「中国陶磁」15—22 白鶴美術館  
 岡山県の歴史と文化 16—10月4 岡山県立博物館  
 第35回展「秋成」19—6月30 天理ギャラリー  
 琳派の異才「渡辺始興展」18—4月11 京都市立美術館  
 第58回特別展「法華経の美術」18—

4月20 大阪市立博物館  
 特別展「はたらく風俗」20—5月6 サントリー美術館  
 神護寺宝特別公開 20—25 三越本店  
 岡山県立博物館春季展 20—4月29 岡山県立博物館  
 みちのくの秘宝「ミイラ仏と出羽三山秘宝展」20—4月1 三越高松店  
 仏教美術展 24—5月30 藤田美術館  
 シカゴ美術館浮世絵名品展 24—4月15 京都国立近代美術館  
 日光伝統工芸美術展 26—5月31 日光東照宮宝物館  
 古代中近東・地中海考古の美術展 27—4月1 三越本店  
 茶道美術展 —27 正木美術館  
 戦国三傑展 28—4月4 西武静岡店  
 弘法大師ご誕生1200年記念「密教美術名宝展」30—4月4 福岡・岩田屋

4 月

ふるさとの食器 1—29 神奈川県立博物館  
 特別陳列「書と料紙装飾」1—5月27 京都国立博物館  
 特別陳列「中国の染織—伝法衣—」1—5月27 京都国立博物館  
 春季展「蕪村展」1—6月10 逸翁美術館  
 水墨画と漢の土偶展 1—9月29 正木美術館  
 茶碗展「唐物・和物・島物」1—5月27 滴翠美術館  
 紅毛美術展 1—5月25 神戸市立南蛮美術館  
 徳川十五代甲冑と刀剣展 1—8 徳島・つば美屋百貨店  
 会津文化財展 1—49年3月31 若松城天守閣内郷土博物館  
 新指定国宝・重要文化財特別展観 3—15 東京国立博物館  
 ドイツ民主共和国ベルリン国立博物

館所蔵「古代オリエント・ギリシャ展」3—5月20 東京国立博物館  
 ご誕生800年記念「親鸞聖人展」5—17 大丸京都店  
 飛鳥展 6—11 近鉄四日市店  
 特別展「鉄斎」7—5月6 京都国立博物館  
 善光寺絵伝展 8—5月20 長野県信濃美術館  
 信濃の考古資料展 8—49年3月25 長野県信濃美術館  
 大徳寺茶道具と茶陶展 12—17 大丸京都店美術部  
 国盗り物語りをめぐる戦国の武将たち「斎藤道三展」13—18 名鉄百貨店  
 聖僧即身仏と出羽三山秘宝展 13—18 山形・丸久松坂屋  
 弘法大師ご誕生1200年記念「密教美術名宝展」14—5月5 香川県文化会館  
 酒田の古絵図 16—30 木間美術館  
 春季展「信長と安土」17—5月6 滋賀県立近江風土記の丘資料館  
 庄内伝来名刀展 17—5月9 致道博物館  
 飛鳥展 19—24 広島市・福屋  
 茶道名宝展 20—5月1 五島美術館  
 秘蔵品あつめて「名刀中の名刀展」20—26 松屋本店  
 信濃の名刀展 21—5月6 日本民俗資料館  
 親鸞聖人御誕生800年「本願寺秘宝展」22—5月3 大和新潟店  
 春季特別展「朝鮮の絵画—日本にある高麗李朝の作品—」26—5月27 大和文華館  
 国盗り物語をめぐる戦国の武将たち「斎藤道三展」26—5月1 大丸大阪店  
 石川県の絵画優品展 28—5月13 石川県美術館  
 近世の蒔絵—文房具— 28—5月27 大阪市立美術館  
 新館落成記念「経塚遺宝展」29—5月27 奈良国立博物館

5 月

文人画展 1—30 出光美術館  
 第59回特別展「丹後の文化財」 1—  
 6月10 大阪市立博物館  
 日本文人画展—初期文人画— 1—  
 30 BSN新潟美術館  
 仁和寺名宝展 3—14 松坂屋上野  
 店  
 国盗り物語をめぐる戦国の武将たち  
 「斎藤道三展」 3—8 大丸神戸  
 店  
 特別展「吉川親方コレクション展」  
 5—6月3 奈良県立美術館  
 親鸞聖人御誕生800年「本願寺秘宝  
 展」 6—15 東急長野店  
 中国・朝鮮古陶磁展 8—13 三越  
 大阪店美術部  
 房総の北斎展 —10 千葉県立上総  
 博物館  
 御誕生1200年記念「弘法大師美術展」  
 11—23 天満屋岡山店  
 特別展観「鎗金と沈金」 15—6月17  
 東京国立博物館  
 日本の土俗面展 15—6月24 サン  
 トリー美術館  
 国盗り物語をめぐる戦国の武将たち  
 「斎藤道三展」 17—22 大丸東京  
 店  
 前田利家展 19—6月17 石川県美  
 術館  
 古丹波古陶展 22—27 阪急本店美  
 術部  
 ドイツ民主共和国ベルリン国立博物  
 館所蔵「古代オリエント・ギリシ  
 ア展」 29—7月15 京都国立博  
 物館  
 中国陶磁展 31—7月29 大和文華  
 館

6 月

米国巡回日本陶磁百選展 1—17  
 東京国立博物館  
 肉筆浮世絵展 1—7月1 出光美  
 術館  
 中国清朝名画展 1—30 本間美術  
 館

吉川親方コレクション展 6—8月  
 26 奈良県立美術館  
 南部家の遺宝展 6—25 致道博物  
 館  
 家康と遠江展 8—18 静岡・松菱  
 弘法大師御誕生1200年記念「密教美  
 術名宝展」 8—20 名鉄百貨店  
 全国大名家名刀展 8—13 そごう  
 神戸店  
 芙蓉手展 8—7月15 滴翠美術館  
 埼玉の社寺宝物展—比企地方— 9  
 —7月8 埼玉会館郷土資料館  
 日中国交正常化記念「中華人民共和  
 国出土文物展」 9—7月29 東  
 京国立博物館  
 日本の漆芸 14—7月31 根津美術  
 館  
 蒲湘八景展 16—7月11 秋田市美  
 術館  
 夏季やきもの展「京焼の鑑賞」 17—  
 9月23 逸翁美術館  
 特別陳列「小袖と人形」 20—7月8  
 大阪市立博物館  
 夏季特別展「染付と文人画展」 21—  
 9月10 金沢・中村記念館  
 親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750  
 年慶讃「本願寺秘宝展」 21—16  
 広島市・福屋  
 中国地方の古陶「古備前と龜山」 22  
 —7月29 五島美術館  
 親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750  
 年慶讃「本願寺秘宝展」 29—7月  
 10 愛媛県立美術館  
 袱紗展 30—8月5 サントリー美  
 術館

7 月

夏季展 1—9月15 崑山記念館  
 特別陳列「藤原時代の互当文様 そ  
 の1」 3—29 京都国立博物館  
 陶片展—古陶磁とその完器— 7—  
 9月9 出光美術館  
 明治の東京錦絵展 8—22 高輪美  
 術館  
 親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750  
 年慶讃「本願寺秘宝展」 13—22  
 三越高松店

加賀工芸展 14—9月9 石川県美  
 術館  
 郷土の先覚者書画展 14—8月10  
 佐賀県立博物館  
 第60回特別展「イネの伝来と弥生の  
 墓」 15—8月31 大阪市立博物  
 館  
 長沙とその周辺展 16—10月31 天  
 理ギャラリー  
 特別展「上野の古墳文化展」 17—8  
 月31 群馬県立博物館  
 円空・木喰展 20—8月14 小田急  
 本店  
 大名家名刀展 22—8月12 BSN  
 新潟美術館  
 版画展「天龍・浜松と浜名湖」 24—  
 8月8 浜松市美術館

8 月

特別展観「鏡像と懸仏」 1—9月30  
 東京国立博物館  
 三斎と有楽展 1—9月30 五島美  
 術館  
 特別陳列「能装束」 1—9月30 京  
 都国立博物館  
 中国古代珠数の名品展 1—7 松  
 坂屋大阪店美術部  
 日本近世の絵画 1—10月7 大和  
 文華館  
 芭蕉280年忌記念展「芭蕉と蕪村」  
 1—31 本間美術館  
 荘内神社宝物展 1—23 致道美術  
 館  
 名刀展 3—12 富山県民会館美術  
 館  
 近江の茶陶展 4—30 琵琶湖文化  
 館  
 東北を描いた浮世絵展 4—30 秋  
 田市美術館  
 特別陳列「広重—東海道五十三次」  
 8—9月2 東京国立博物館  
 高麗青磁・李朝白磁・現代陶芸展  
 9—13 大丸本店美術部  
 特別陳列「吉備路」 11—9月23 サ  
 ントリー美術館  
 日中国交正常化記念「中華人民共  
 和国出土文物展」 11—9月30 京  
 都国立博物館



特別陳列「宋元画と禅院額字」 11—  
9月30 京都国立博物館  
第22回日本美術刀剣保存協会全国大  
会「特別出品展」 25—26 京都会  
館2階会議室  
浮世絵展「金沢八景・今と昔」 31—  
金沢文庫  
まんだらの世界「密教美術展」 31—  
9月12 愛媛・いよてつそごう

9 月

書跡展 1—30 根津美術館  
装束と小袖展 1—23 徳川美術館  
近世の瀬戸展 1—30 大阪市立美  
術館  
佐太神社宝物展 1—16 島根県立  
博物館  
日本金工史展 2—23 長野県信濃  
美術館  
第5回日本名刀展 2—23 本間美  
術館  
伝統に生きる京の家元展 6—11  
大丸東京店  
尾張徳川家に伝わる大名茶の湯展  
8—25 小田急本店  
武将と茶道—消息と茶器— 8—10  
月14 滴翠美術館  
郷土作家秀作展 8—23 富山県民  
会館美術館  
特別陳列「館蔵名品展」 9—30 大  
阪市立博物館  
にしん漁撈—漁夫とその生活— 11  
—10月31 札幌・北海道開拓記念  
館  
中国古陶逸品展 13—18 大丸京都  
店美術部  
信貴山秘宝展 13—18 松坂屋名古屋  
店  
親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750  
年慶讃「本願寺秘宝展」 13—26  
熊本日日新聞社3階・4階ホール  
私のコレクション 13—10月16 秋  
田市美術館  
仙厓展 14—10月10 出光美術館  
秋季展「中国の古代青銅器」 15—11  
月25 白鶴美術館  
紀伊風土記の丘資料館開館3周年記  
念特別展「装身具展」 15—11月11  
和歌山県立紀伊風土記の丘資料館

荘内仏教美術展 15—30 致道博物  
館  
石川県の指定文化財展 16—10月24  
石川県美術館  
寄贈広田松繁氏コレクション展—東  
洋陶磁その他— 22—10月14 東  
京国立博物館  
近世の屏風—光琳作楓樞図屏風を中  
心に— 22—10月20 東京芸術大  
学芸術資料館  
墨跡展 22—11月28 藤田美術館  
まんだらの世界「密教美術展」 25—  
10月7 三越広島店  
第4回熱田神宮文化史展「熱田と信  
長・秀吉」 29—10月28 熱田神  
宮宝物館  
来山500年記念特別展「雪舟」 28—  
10月21 山口県立山口博物館  
北九州の社寺名宝展 28—10月3  
小倉・井筒屋  
水戸徳川家展 29—10月28 徳川美  
術館  
親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750  
年慶讃「本願寺秘宝展」 29—10月  
10 大分・トキワ文化ホール  
近世屏風名作展 30 大倉集古館

10 月

秋季展 1—12月15 畠山記念館  
第11回展覧「水墨画と縄文弥生文化」  
1—49年3月28 正木美術館  
逸翁生誕百年・新館竣工記念「館蔵  
名品百選展」 2—12月23 逸翁  
美術館  
岡山県の中世—中世文書を中心とし  
た— 2—11月17 岡山県立博物館  
大福田寺宝物展 3—28 桑名市立  
文化美術館  
秋の優品展 4—28 五島美術館  
近世の瀬戸展 4—28 根津美術館  
所蔵名品展 5—12月23 大倉集古  
館  
海の正倉院・沖ノ島「宗像大社国宝  
展」 5—14 大分文化会館  
阿波の仏画と仏具展 6—12月23  
徳島県博物館  
弘法大師御誕生1200年記念「密教美  
術名宝展」 6—28 仙台市博物  
館

サントリー美術館百選展 7—28  
島根県立博物館  
歌舞伎美展 10—16 松坂屋銀座店  
特別展「浄土教絵画」 10—11月11  
京都国立博物館  
特別展「長船の名刀」 10—11月25  
大阪市立博物館  
寛永の名筆展—三藐院・光悦・松花  
堂を中心に— 10—11月11 大和  
文華館  
長谷川コレクション展 10—28 B  
SN新潟美術館  
「清恵庵」の茶室開き展 10—14 佐  
賀県立博物館南側清恵庵茶室  
装飾古墳壁画展 13—11月4 佐賀  
県立博物館  
信長と秀吉展 14—11月11 大阪城  
天主閣  
禅林墨蹟展 14—11月4 本間美術  
館  
特別展「日本の染織」 16—11月25  
東京国立博物館  
大房総展—その風土と歴史— 16—  
28 千葉・ニューナラヤデパート  
神戸新聞社創立15周年記念「播磨の  
国の秘宝展」 18—22 神戸・山  
陽百貨店  
クリシタン関係遺品展—東京国立博  
物館所蔵長崎奉行所収納品を中心  
とする— 20—11月11 長崎県立美  
術博物館  
狩野芳崖とフェノロサ展 21—30  
伊勢丹新宿店  
蔵骨器の歴史 21—11月11 元興寺  
極楽坊資料館  
中国の書展 24—11月12 致道博物  
館  
鎌倉彫展 26—11月15 鎌倉国宝館  
細川家と桃山文化展 26—31 熊  
本・鶴屋百貨店  
秋の特別展「正倉院展」 28—11月  
11 奈良国立博物館  
紅毛美術展 29—11月24 神戸市立  
南蛮美術館  
山水展 30—12月2 根津美術館

11 月

昭和蘭亭記念展 1—12月2 五島  
美術館

昭和48年主要美術展覧会(古美術—11・12月)

豊田の歴史一万年展 1—14 豊田市郷土資料館  
 秋季特別展「丹波の茶陶と懐石名品展」 1—12月2 兵庫県陶芸館  
 瀬川美術館開館記念展 1—12月9 瀬川美術館  
 ベルシア古陶器展 1—6 大丸大飯店美術部  
 第3回岩手の文化財展 1—5 岩手県立図書館集会所  
 弘法大師御誕生1200年記念「密教美術名宝展」 2—11月13 大和新潟店  
 日本のうつつわ—縄文から明治まで— 3—12月2 神奈川県立博物館  
 近世の瀬戸展 3—12月2 徳川美術館  
 桑名市文化財展 3—28 桑名市立文化美術館  
 古墳時代の文化 3—11月23 琵琶湖文化館  
 瀬戸内海歴史民俗資料館開館記念展 3—16 瀬戸内海歴史民俗資料館  
 和漢書道名蹟展 4—10 日本書道美術館  
 江戸以前版本挿絵文化史展 5—10 国立国会図書館  
 三井寺秘仏特別開扉 8—20 横浜高島屋  
 近世異端の芸術展—若冲・蕭白・蘆雪— 9—21 そごう大坂店  
 信貴山秘宝展 9—14 近鉄上本町店  
 兵庫の仏教美術展 9—11月21 そごう神戸店  
 仏教文化展—親鸞聖人生誕800年— 9—28 富山市立郷土博物館  
 円覚寺展 10—49年2月 沖縄県立博物館  
 館蔵名品展 14—12月16 大和文華館  
 浅草今昔祭展 15—20 東武百貨店  
 日蓮聖人入山700年記念「身延山秘宝展」 15—20 阪神百貨店  
 風景花鳥のガラス絵展 17—12月23 浜松市美術館  
 法灯国師展 17—12月9 和歌山県立博物館  
 原始古代装身具展 17—12月9 長崎県立美術博物館

第3回岩手名刀展 24—28 岩手県民会館  
 チベット・ネパールの仏画展 26—12月15 銀座・東京画廊  
 サントリー'74展—新収蔵品を中心に— 27—49年1月27 サントリー—美術館

12 月

第37回展「旅道中—地図と資料—」 1—49年2月28 天理ギャラリー  
 特別陳列「薬師如来と十二神将」 1—28 奈良国立博物館  
 特集「水墨山水画」 5—49年2月3 東京国立博物館  
 特別陳列「私たちの考古学—東日本の縄文文化」 5—23 大阪市立博物館  
 茶道具取合せ展 8—49年2月27 五島美術館  
 国宝三大馬具展 8—26 五島美術館  
 日本の伝統「大和絵展」 9—49年2月3 徳川美術館  
 特別陳列「野村正治郎コレクション—小袖類」 13—49年3月31 東京国立博物館  
 案—脇窯も併せて— —16 滴翠美術館  
 仏教美術展 19—49年2月3 大和文華館  
 キリシタン美術の再発見—西洋と日本の出会い— 22—49年2月3 京都国立近代美術館  
 特別展「日本の甲冑」 30—49年1月27 熱田神宮宝物館

# 昭和49年主要美術展覧会

1 月

5 回日展日本画受賞作家新作展 4

—9 銀座・松屋

アメリカの日本作家展 5—2月17

東京国立近代美術館

出品目録

きわめて通俗的な物語<版画のためのイヴェント>虹のグラス>あるいは<それら響嘯氏は虹によって酔っぱらった>(38点シリーズ) 1973 響 嘯

魚・ディオラマ(立体版画) 1971 池川 司郎

無題・素描 1 1973 〃 〃

無題・素描 2 〃 〃

セブンティーンのパラミッド 1973 池田満寿夫

ストリング 〃 〃

セブンティーン 〃 〃

フィッシング 〃 〃

プレゼント 〃 〃

宇宙的な帽子 〃 〃

<7つの大罪>による 1 〃 〃

<7つの大罪>による 2 〃 〃

<7つの大罪>による 3 〃 〃

風景 CX 1972 猪熊弦一郎

風景 GT 〃 〃

風景 BY 〃 〃

風と樹 1972 伊原 通夫

自走彫刻 〃 〃

光の塔 1973 〃 〃

ライサン 1973 大竹登美江

ガッシュウ 〃 〃

アフターエイト 〃 〃

シュンヨウ 〃 〃

入江 1973 岡田 謙三

オレンヂ 〃 〃

金と銀 〃 〃

パサデナ・ファントム 1971 金光 松美

余震、ヴァレンティンデー、ジョージ・ワシントンの誕生日、銀行の休日 1971 金光 松美

自画像 1972 〃 〃

内部の風景 〃 〃

N. Y.—J. T. 73.7 1973 川島 猛

青の中の形 1972 川端 実

赤の中の形 〃 〃

作品No. 72—E—1・トルソ 1972 岸 正豊

作品No. 72—H—1・頭部 〃 〃

作品No. 73—B—2・頭部 1973 〃 〃

作品No. 73—D—1・人物習作 〃 〃

作品No. 73—D—2・人物習作 〃 〃

壁紙 1971 木村利三郎

石化した手袋(40点シリーズ)より 1971 キヨオカロイ

作品(メタリック・ブルーとメタリック・ピンクの12枚パネル) 1970 桑山 忠明

ブルー・ペインティングNo. 4 1973 近藤 竜男

グレー・ペインティングNo. 11 〃 〃

グリーン・ペインティングNo. 8 〃 〃

無題 1 1973 酒井 和也

無題 2 〃 〃

無題 3 〃 〃

モーターサイクル・ママ 1973 篠原有司男

思い出の美しい季節 1970 白井 昭子

枯葉 1972 〃 〃

月への旅行 〃 〃

日の光の中で 〃 〃

くずれていく雲 1973 〃 〃

真夜中の星 〃 〃

摩天楼のかなた 〃 〃

彩られた鳥 1972 高井 貞二

窓 No. 2 〃 〃

グレーのコンポジション 〃 〃

ラカンドン族 1 1972 竹田鎖三郎

ラカンドン族 2 〃 〃

イグワナの国 1973 〃 〃

ミステカ族の国 〃 〃

婦人 1972 土木 真澄

サムライ 〃 〃

旗 1973 〃 〃

ネガチーブの空間 1973 豊田 豊

人間と無限空間関係 〃 〃

空間陰と空間陽の関係 〃 〃

平行でない平行の空間 〃 〃

7つの物体 1972 中川 直人

油さし 〃 〃

白い天使 1973 〃 〃

シルヴァー・ヴォータックス 1973 中里 齊

シルヴァー・ヴォールト 〃 〃

シルヴァー・ヴァルブレイン 〃 〃

シルヴァー・ヴェロシティ 〃 〃

饗養文 2面 〃 〃

シルコンカーパイドの饗養文 〃 〃

眼の城 1968—72 新妻 実

砂の柱 1973 〃 〃

城塞 〃 〃

証言No. 1(乾山頌) 1973 ニシザワルイス

証言No. 2 〃 〃

証言No. 3 〃 〃

証言No. 4 〃 〃

作品 132 1971 樋 ロシン

作品 169 〃 〃

作品 183 1972 〃 〃

作品 189 〃 〃

作品 199(6点シリーズ) A—F 1973 〃 〃

入辺形—赤 〃 福井 延光

九辺形—青 〃 〃

十辺形—黄 〃 〃

石と影 1 1972 堀内ポール

石と影 2 〃 〃

昭和49年主要美術展覧会(1・2月)

石と影 3 1973 堀内ポール  
 石と影 4 シ シ  
 版画集<寂寥>ヘンリー・デイヴィッド・ソロー作「ウォルデン」による  
 ウォルデンの池 1971 松原 直子  
 (表紙)  
 寂 寥 シ シ  
 斉 美 シ シ  
 雨 シ シ  
 冬の静 穂 シ シ  
 冬の池 シ シ  
 秋色 シ シ  
 風 シ シ  
 松 シ シ  
 春の訪問者 シ シ  
 ソロ シ シ  
 収穫 シ シ  
 作品 A 1973 マベマナブ  
 作品 B シ シ  
 作品 C シ シ  
 無題 I 1972 皆島 万作  
 無題 II 1973 シ シ  
 無題 III シ シ  
 砂漠の道 1973 村田 實史雄  
 ピラミッドの祭典 シ シ  
 森とインコ シ シ  
 遺跡の夜明け シ シ  
 バレンケ 1972 村田 博  
 カバーの夢 シ シ  
 画集出版記念・大沢昌助展 7-19  
 ギャラリー・ためなが  
 5回八樹会展 7-19 日動画廊  
 (梅原竜三郎、小林和作、小糸源太郎、林武、野口弥太郎、高島達四郎、中川一政、香月泰男)  
 「墨彩画の歩み」川崎小虎展 11-16  
 銀座松屋 11-20 北辰画廊  
 岡本唐貴展 14-26 パシフィック  
 ギャラリー  
 奥村土牛素描展 18-23 銀座・松屋  
 木内克新作テラコッタ展<定本・木内克>刊行記念 18-2月5 現代彫刻センター  
 25回荻野康児個展 24-29 高島屋

2 月

9回昭和会展 1-15 日動サロン  
 (青木正枝、天春永次、飯泉俊夫、石野守一、井上奉国、岩島雅彦、江浦進、遠藤彰子、小国重美、恩田静子、桐生照子、久木元薫、工藤和男、国分純子、斎藤研、島田勝吾、清水菰子、清水良治、築島謙有、能登房之、原裕治、日高頼子、古川泰司、松田松雄、峯田敏郎、峯田義郎、三引良一、村山孝夫、山本亜稀、湯沢正臣、横田歌子、依田邦子、昭和会賞・湯沢正臣、林武賞・峯田義郎、優秀賞・桐生照子、山本亜稀)

瑛丸リトグラフ展 2-23 本間美術館

13回県展選抜展 3-9 都美術館  
 AY-O展 4-15 南画廊

特別陳列「回想の清方その二」 5-3月21 サントリー美術館

初冬の花 昭和10年  
 一葉 昭和15年  
 藤懸博士像 昭和16年  
 大蘇芳年像 年代不詳  
 寮の春雨 昭和17年  
 夏の女客 昭和8年  
 雪月花意 大正9年  
 涼 昭和15年頃  
 嫁ぐ人 明治40年  
 曲亭馬琴 明治40年  
 襟おしろい 大正13年  
 舞妓 昭和5年  
 銀座金沢亭 大正10年頃  
 滝野川観楓 昭和5年  
 深沙大王 明治37年  
 金色夜叉 年代不詳  
 小説家と挿絵画家 昭和26年  
 端午の節句 年代不詳  
 矢の根 昭和3年  
 池の藤波 年代不詳  
 少年 昭和21年~24年  
 絵日記 大正8年~大正12年  
 夏の思い出 大正初期  
 目黒の栢葉 昭和8年

註文帖 昭和2年  
 草花のスケッチ 昭和25年頃  
 写生帖 大正元年  
 手描き衣 紅梅模様打掛と下絵 昭和7年  
 シ 納戸地扇面模様綴 年代不詳  
 シ 羽二重地波に紅葉模様 年代不詳  
 シ あじさい露草模様綴 年代不詳  
 デザイン 「鶯娘」素踊り衣裳と下絵 年代不詳  
 シ 黒地千鳥模様江戸樓と下絵 年代不詳  
 シ 黒地桜波模様絵羽織と下絵 年代不詳  
 デザイン 小紋裂 年代不詳  
 シ 年代不詳  
 籾木家の印半纏 年代不詳  
 清方画伯自著単行本 画伯装幀  
 築地川(昭和9年) 銀砂子(昭和9年、これは小村雪岱装幀) 櫻春記(昭和12年) 御濠端(昭和13年) 芦の芽(昭和13年) こしかたの記(昭和16年) 四季しのぶ草(昭和16年) 東なまり(昭和18年) 道中硯(昭和18年) 連翹(昭和18年) 柳小紋(昭和18年)  
 一以上 特別陳列一  
 1回大須賀力彫刻展 7-12 高島屋  
 26回立軌展 9-17 東京セントラル美術館  
 アンセルモ・アンセルミ展 13-28 フジテレビギャラリー  
 加藤昭男彫刻展 15-28 現代彫刻センター  
 上野の森85年の歩み展(洋画) 19-3月3 東京セントラル美術館  
 明治・大正・昭和に生きた長崎の物語画家100人展 23-3月24 長崎県立美術博物館  
 13回大調和展 25-3月3 都美術館  
 近代作家の回顧・新海竹蔵・福田豊四郎 26-3月21 東京国立近代美術館  
 福田豊四郎 出品目録  
 題名 制作年 形状  
 Date  
 雪のきた国 1925 軸

故山新秋	1926	四曲屏風
雪の一日	1928	額四面
山湖遊行巻	1929	画卷
早苗曇り	1930	額
五月山湯	1933	二曲屏風
福田薬局	1934	額
田園七曜集のうち 1)木精 2)土拓く 3)日瑠	1934	額三面
陸中の人	1934	額
夏の郷	1934	二曲屏風
六月の森	1936	二曲屏風
佐渡	1937	額
樹氷	1937	六曲屏風
涛	1938	四曲屏風
蒙疆	1939	二曲屏風
鴉	1940	六曲一双屏風
山脈(からす)	1941	二曲屏風
戦争絵巻のうち 2点	1942	(画卷) —43
秋田のマリヤ	1948	三曲屏風
踊る娘達	1949	四曲屏風
海女	1950	二曲屏風
沼	1951	額
山河	1951	額
愛	1952	額
月夜	1954	四曲屏風
齒朶	1955	額
滝	1955	四曲屏風
滝	1957	額
氷原	1958	額
うみ猫岩礁	1958	四曲屏風
梅	1962	額
山脈	1962	四曲屏風
雪にひそむ家	1962	額
冬の夜の家族たち	1962	額
ふるさとへ帰る	1964	四曲屏風
太陽を告げる	1968	額
雪国	1968	四曲屏風
平原	1969	額
池心坐主・暮蓮坐主	1970	額
<スケッチ類>		
大同石仏	1939	
自画像	1940, 1941	
月夜	1954	
滝	1955	
あした来る人 (新聞挿絵)	1954	

彫刻50年高田博厚展	28—3月5高	
島屋		
出品目録		
古在由美	ブロンズ	1927
小山富士夫	シ	1928
マルセル・マルティネ	シ	1931
フーロン夫人	シ	シ
アラン	シ	1932
ロマン・ロラン夫人	シ	シ
アンドレ	シ	1933
女優のマスク	シ	1934
若い女	シ	1936
女のトルソ(カテドラル)	石	1937
アンリエット	シ	1938
中原中也(試作)	ブロンズ	1958
女のトルソ	シ	1958
ミシェル・アルコス夫人	石	1959
高村光太郎	ブロンズ	シ
大内兵衛	シ	シ
岩波茂雄	シ	1960
佐藤春夫	シ	シ
松永安左衛門(試作)	シ	シ
マハトマ・ガンジー	石	シ
ジャン・コクトー	ブロンズ	1961
憩う	シ	シ
武者小路実篤	シ	シ
ポール・シニャック	シ	シ
水浴	シ	シ
小さいトルソ	シ	シ
バレリーナ	シ	シ
ロマン・ロラン	シ	シ
海	シ	1962
美しきエミー(I)	シ	シ
美しきエミー(I)	シ	シ
美しきエミー(II)	シ	1963
女のトルソ	シ	シ
緒方富雄	シ	シ
女の大トルソ	シ	1964
女のトルソ	石	1965
うずくまれるトルソ	ブロンズ	1966
臥るトルソ	シ	シ
梅原龍三郎	ブロンズ	1967
臥るトルソ	シ	シ
川端康成	シ	シ

ポーレット	石	1968
女のトルソ	ブロンズ	シ
谷川徹三	シ	シ
志賀直哉	シ	シ
西田幾多郎	シ	シ
シャルル・ヴィルドラック	シ	シ
ナ	ナ	シ 1969
見上げるトルソ	シ	シ
パラスのトルソ	石	シ
臥る女	ブロンズ	シ
水浴	石	シ
高橋元吉(頭部)	ブロンズ	1970
宮沢賢二	シ	1971
裸婦立像	シ	シ
エチュード No. I	シ	1972
エチュード No. II	シ	シ
エチュード No. III	シ	シ
エチュード No. IV	シ	シ
富岡鐵斎	シ	シ
宮崎博士像	シ	シ
若い日本の女	シ	1973
横たわる女	シ	シ
女のトルソ	シ	シ
男のトルソ	シ	シ
女のトルソ	シ	シ
男のトルソ	シ	シ
裸婦立像	シ	シ
女のマスク	シ	シ
石坂泰三(完成像)	シ	シ
石坂泰三 No. 2	シ	シ
若い女	シ	1974
萩原朔太郎	シ	シ
ジョルジュ・ルオー像素描	シ	シ

3 月

小山田二郎水彩展	1—30	FUM
A・ギャラリー		
京都近代工芸秀作展	1—31	
京都府立総合資料館		
ゴヤからピカソ—スペイン版画の全貌展	2—24	奈良県立美術館

昭和49年主要美術展覧会(3月)

豊田勝秋回顧展 2—24 久留米市・石橋美術館	裏面に《母の肖像》 肖像(画家の妹?)	1869—70 1866—67	ベルヴェの家 草にねころぶ少年(セザンヌの息子)	1890頃 シ
9回神奈川県美術展 2—17 県立近代美術館・県立博物館	黒人シピオン 林間の空地	1867頃 シ	水浴の男たち 果物と皿	シ シ
34回美術文化展 4—16 都美術館	ゾラの家での朗読	1869—70	立っている裸婦	シ
横尾忠則版画展 4—16 南天子画廊	殺害	1870頃	チューリップの花瓶	1890—92
上野の森85年の歩み展(日本画) 5—17 東京セントラル美術館	ポール・アレクシスとエミール・ゾラ	シ	《カード遊び》のための習作	シ
'74ハンガリー絵画展 5—10 三越	小川	1872—75	しょうが壺と砂糖容れと果物	1890—93
18回新樹樹社展 5—16 都美術館	魚取り、七月の日	1875頃	シャトー・ノワールのマリアの家	1895頃
17回新協美術展 5—16 都美術館	ジャ・ド・ブッフアの茂み	1875—76	樹蔭の流れ	1895—1900
17回安井賞展 5—13 池袋・西武	ジャ・ド・ブッフアのマロニエと納屋	1876頃	頭蓋骨のピラミッド	1898—1900
9回神奈川県美術展 7—12 横浜・高島屋	ジャ・ド・ブッフアの泉水	シ	アンブロワーズ・ヴォラルの肖像	1899
近代日本のあけぼの(「解体新書」刊行200年記念・シーボルト長崎開塾150年記念) 10—4月14 大阪市立博物館	三人の浴女	1876—77	ミルク容れのある静物	1900頃
椿貞雄遺作展 11—23 彩堂サロン	草上の昼食	シ	庭にある花瓶	1900—04
4回彫刻家と画家の対話 人物デッサン展 15—25 現代彫刻センター	摘取り ヴィクトル・ショケの肖像	シ 1877	人形をもつ少女	1902—04
27回示現会展 18—31 都美術館	花模様の敷物の上の花 瓶	1877頃	水浴の女たち	1902—06
白日会五十年記念展 18—31 都美術館	倒れた果物籠	1878頃	本をもつ婦人	シ
26回三軌会展 18—31 都美術館	りんごと菓子	1877—79	ティーポットのある静物	シ
平塚運一版画展(画業六十年記念) 19—24 三越	ヴィナスとキュービッド	1878頃	河畔(フォンテヌブロー付近?)	1904頃
小磯良平作「迎賓館赤坂離宮」壁画特別展観 23—27 京王	東からみたレスタック湾	1878—79	シャトー・ノワールとサント・ヴィクトワール山	1904—06
特別展・舞妓の美—日本の抒情と造形 23—4月29 山種美術館	エトワールの尾根とピロン・デュ・ロワ	シ	坐る農夫	シ
1回カラ・プランニングセンターサロン展 色と形の相互作用(透明性)、バザルリの作品から 25—4月17 カラ・プランニングセンターサロン	ムラン付近の眺め	1879頃	中折帽をかぶった自画像	1904—06頃
物故巨匠を回視 吉田博「風景小品」展 28—4月6 日動画廊	白い皿の梨	1879—80	水 彩	
セザンヌ展 30—5月25 国立西洋美術館	りんごとナブキン	シ	道	1867
出品目録	暗青色の花瓶	1880頃	切 通 し	1870頃
油 彩	画家の息子の肖像	シ	草上の昼食	1875頃
妹マリー・セザンヌの肖像 1866—67	愛の争い	シ	永遠の女性	1877頃
	曲り道	1881頃	田園の合奏(ジョルジョーネによる)	1878頃
	画家の息子と赤い肘かけ椅子	1881—85	女性の勝利	1880—85
	アッタンヴィルの果樹園	1882	セザンヌ夫人とあじさい	1885頃
	パリの屋根	1882頃	ゼラニウム	シ
	縞模様の服をきたセザンヌ夫人	1883—85	カーテン	シ
	セザンヌ夫人の肖像	シ	ガルダヌス、古い橋	1885—86
	ル・トロネ街道沿いの木と家	1885—86	木の習作	1887—89
	さくらんぼと桃	1885—87	茶碗とさくらんぼ	1890頃
	裸婦(レダ)	シ	松と岩	シ
	私有地サン・ジョゼフの眺め(貧者の丘)	1888—90	聖ジョルジョ(ドナテロロによる)	シ
	曲った木	シ	木の間がくれの橋	1892—95
			壁の前の木々	1895頃
			りんごと壺とコップ	1895—98
			水に映る木	1896頃

木々	1900頃
舟にて	1900-06頃
デ・ローヴから見たサント・ヴィクトワール山	1902-06
デ・ローヴから見たエクス風景	シ
水辺の葉の落ちた木	1904頃
フォンテーヌブロー宮	1904-05
デ・ローヴから見たエクスの大聖堂	1904-06
庭師ヴァリエ	1906頃
ジャ・ド・ブッフアン風景	
男の裸体習作	1862
二人の男、棺にすがる女	1866-67
少女	1867-70
暴行	1869-72
鉛筆	
浴女とドラクロワ作品のスケッチ	1869-72
木の下の人々	1871-74
医師ガシエの肖像	1873
空想的情景	1873頃
カミーユ・ピサロ	シ
三人の浴女	1874-78
レダと白鳥	1877-82
洗面用具	1879-82
眠る子供	1880頃
セザンヌ夫人	シ
家具(椅子の脚)と息子の顔	1880-81
パリのパンテオン	1880-82
自画像	1882-83
奴隷(ミケランジェロによる)	1883-86
木々と家	シ
画家の息子の立像	1885頃
木と囲いの壁	1885-88
水に入る男	1886-89
ビュジェ作といわれるキュビッド	シ
人体筋肉標本、室内の椅子	1887-90
セザンヌ夫人	1888-91
木と田舎家	1888-92
戸外の花	1890頃
横笛を吹く牧神(コワズヴォクスによる)	1890-93
腕を組む農夫	1890-94
休息するヘラクレス(ビュジェによる)	シ
岩と木	シ

休息するヘラクレス(ビュジェによる)	1890-94
ボワロー・デブレオー(ジラルドンによる)	1892-95
葉の落ちた木の習作	シ
木のある風景	シ
木々	シ
カード遊びをする人	1892-96
うずくまるヴィナス(古代作品による)	1894-97
暖炉の置時計の習作	1895-98
ティトゥス帝の胸像	1900頃
エッチング	
ギョーマンと首吊り	1873
少女の顔	シ
少女の顔	シ
農家の入口、レミ通り	シ
リトグラフ	
水浴の男たち(小)	1897
水浴の男たち(小)	シ
水浴の男たち(小)	シ
水浴の男たち(大)	1897-99
自画像	1898-1900
水浴の男たち(大)	1890-1900

●参考出品

セザンヌの最後のバレット	1906
--------------	------

4 月

三尾公三新作展 1-30 FUMA ギャラリー	
24回モダンアート展 1-19 都美術館	
42回日本版画協会展 1-19 都美術館	
33回創元展 2-19 都美術館	
「モローとその弟子たち」展 4-23 池袋東武	
アーキベンコ展 5-24 フジテレビ ギャラリー	
阿部展也回顧展 6-28 神奈川県立近代美術館	
出品目録	
榎本和子像 1943 油 彩	
Night 1947 油 彩	
芽 1948 油 彩	
飢 え 1949 油 彩	
生 誕 1949 油 彩	
飢 え 1950 油 彩	

魚食い河童	1952	油彩
インドの女	1953	シ
作品・白	1958	エンコステイック
作品・ピンク	シ	シ
花子	1959	シ
CONVERSATION OF JAPAN	1960	シ
WHITE SCRIPT・D	シ	シ
WHITE SCRIPT・E	シ	シ
SHADOW: SETTING SUN	シ	シ
GARDEN	シ	シ
FLOWRING STONE	シ	シ
WHITE SCRIPT B	シ	シ
作品	シ	シ
GIARDINO SOTTO LA PIOGGIA	1961	シ
SCRITTURA SCONOSCIUTA	シ	シ
SCRITTURA SCONOSCIUTA	シ	シ
QUI CERA UN UOMO	シ	シ
作品	シ	シ
ONCE UPON A PLANET	シ	シ
作品	シ	シ
作品	シ	コルク・コラージュ
ECHO・PINK	シ	エンコステイック
GOOD BY	シ	シ
SCRITTURA IN BIANCO	シ	シ
作品	1962	シ
作品	シ	シ
作品	シ	シ
作品	シ	シ
作品	シ	シ
作品	シ	シ
作品	シ	シ
作品	シ	エンコステイック
作品	シ	シ
作品	シ	シ
作品	1963	シ
作品	シ	シ
SCRITTURA IN BIANCO	シ	シ

昭和49年主要美術展覧会(4月)

作品名	年	材料	作品名	年	材料	作品名	年
SCRITTURA IN BIANCO	1963	エンコステイック	作 品	1970	アクリル塗料	ブラウン・スイス牛の牧場	1957
SCRITTURA BIANCO	シ	シ	作 品	シ	シ	川の入江	1958
作 品・O	1964	シ	R・23	シ	シ	船 曳 き 場	シ
ECHO GIALLO	シ	シ	R・49	シ	シ	粉 ひ き 小 屋	1959
ECHO HA	シ	シ	作 品	シ	シ	冬 の 蜂 の 巣	シ
ECHO・WHITE	シ	アクリル塗料	作 品	シ	シ	卵 の は か り	シ
ECHO・C	シ	シ	White Shadow	シ	シ	ト ム と 娘	シ
作 品	シ	シ	R・2	1971	シ	ゼ ラ ニ ウ ム	1960
S PT WBR	1965	エンコステイック	R・3	シ	シ	仔 牛	シ
R・5	シ	アクリル塗料	R・14	シ	シ	牛 乳 か ん	シ
R・10	シ	シ	作品(コラージュ)	1967	シ	五 月 の 日	シ
R・11	1966	シ	シ (シ)	シ	シ	堰 (せき)	シ
R・12	シ	シ	シ (シ)	1968	シ	遠 雷	1961
R・14	シ	シ	R・28	1970	紙・アクリル塗料	眠 り	シ
R・15	シ	エンコステイック	ニ ュ ー ヨ ー ク	1963	オガクズと卵型	野いちごをつむ人	シ
R・16	1967	シ	インド婦人像	1954	シ	永遠の心尽くし	シ
R・12	シ	アクリル塗料	Tail Song	1945	シ	穀 物 倉	シ
R・29	シ	エンコステイック	春	シ	シ	洗 濯 も の	シ
BLUE ISLAMIT	1968	アクリル塗料	ユーゴスラビア	1959	シ	こ け も も	シ
HORIZON	シ	シ	古城図	シ	シ	チェスター郡の人	1962
作 品	シ	シ	木炭デッサン	1949	シ	屋 根 裏 部 屋	シ
EARTH	シ	シ	アンドリュー・ワイエス展	6-5	シ	まきストーヴ	シ
GEMINI (2点)	シ	シ	月19 東京国立近代美術館	シ	シ	彼女の部屋	1963
GERMI	シ	シ	出品目録	シ	シ	祭 り の 日	シ
GERMINI LAK R3	シ	エンコステイック	黒 が も 撃 ち	1941	シ	毛 皮 の 帽 子	シ
R・4	1969	アクリル塗料	春 の 花	1943	シ	しまりすジョージの住み家	シ
R・2	シ	エンコステイック	マザー・アーチーの教会	1945	シ	バ ケ ッ	シ
R・34	1970	シ	1946年の冬	1946	シ	シダー酒用のりんご	シ
R・15	シ	アクリル塗料	海からの風	1947	シ	流 れ 者	1964
R・47	シ	シ	「からすが飛んでいった」	1949-50	シ	風 下	1965
R・6	シ	シ	ドゥヴァーを下って	1950	シ	納屋のつばめ	シ
R・5 (LAKE)	シ	シ	北 の 岬	シ	シ	ひとりごと	シ
R・19	シ	シ	踏みつけられた草	1951	シ	海 の 嵐	シ
R・2	シ	シ	遙か彼方に	1952	シ	へぎ板の灰かご	シ
R・3	シ	シ	雪まじりの風	1953	シ	遙かなるニードハム	1966
EARTH R1	シ	シ	からすの群れ	シ	シ	マ ガ の 娘	シ
R・30	シ	シ	人里離れて	シ	シ	ガニング・ロックスの思い出	シ
R・13	シ	シ	貝 が ら	シ	シ	流 域	シ
			月 曜 日 の 朝	1955	シ	泉からのひき水	1967
			ニコラス	シ	シ	フランス風のまき髪	シ
			白くさらされたかに	シ	シ	霜がれたりりんご	シ
			アラソ	シ	シ	エ プ ロ ン	シ
			焼 き 栗	1956	シ	歩哨のように	1968
			トム・クラーク	シ	シ	アルヴァロとクリスティーナの家	シ
			ベ ッ ド	シ	シ	浮 氷	シ
			ロープと鎖	シ	シ	ウィラードの上着	シ
						私 の 姉	シ



黒人	1969
薄氷	シ
おとめ	シ
凍りかけた池	シ
ケルナー牧場の夕暮れ	1970
森かげで	シ
田舎の婚礼	シ
もみの森	シ
アンナ・ケルナー	1971
ちん入者	シ
老船員	シ
氷雨あらし	シ
ケルナー夫妻	シ
ウィル	シ
からすの巣	シ
ひき白	1972
鷹の木	1973
悪夢	シ
鯨の骨	シ
藤岡一個展 8—13	資生堂ギャラリー
「月映」版画展 8—17	ギャラリー21
レオノール・フィニ展 12—11月12	ガレリア・グラフィカ
読売・現代彫刻10人展 12—17	池袋・西武
吉田政次遺作展 13—5月6	和歌山県立近代美術館
日彫展 15—5月3	都美術館
吾妻兼治郎展 16—27	現代彫刻センター
長崎絵展 17—27	和光
13回日本現代工芸美術展 18—23	高島屋
9回日春展 19—24	銀座・松屋
梅原龍三郎展 19—24	銀座・松屋
モナリザ展 19—6月10	東京国立博物館
40周年記念東光展 22—5月8	都美術館
48回国画会展 22—5月8	都美術館
51回春陽展 22—5月8	都美術館
清水多嘉示展—作品集 出版記念	23—28 三越
小野具定展 25—30	高島屋
黒田清輝展 25—5月12	新潟県美

術博物館  
 科学者レオナルド・ダ・ビンチ展  
 27—7月31 国立科学博物館  
 前田寛治とその仲間(昭和初期の  
 フォーヴ15人) 28—5月19 鳥  
 取県立博物館(木下孝則、小島善  
 太郎、佐伯祐三、里見勝蔵、前田  
 寛治、伊原宇三郎、木下義謙、児  
 島善三郎、須田国太郎、中野和高、  
 中山巍、野口弥太郎、林重義、林  
 武、宮坂勝)

5 月

山崎省三展 1—25 パシフィック  
 ギャラリー  
 開館1周年記念展 2—6月25 富  
 士美術館  
 長谷川三郎回顧展 3—28 西宮市  
 大谷記念美術館  
 出品目録

大根	1922~23
チュイルリー公園の朝	1930
聖フランシス	1931
ギリシャの首	シ
野外合奏	1932
百合	1932~33
アダムの誕生	1934
イザの誕生	シ
誘惑	シ
追放	シ
アダムの労働	シ
麦藁帽子の婦人像	シ
室内風景	シ
無題(青の静物)	1934~36
緑の静物	1936
蝶の軌跡	1937
金唐草錦(下絵)	1940
苺	1943
幽	シ
玄	シ
桜落葉	1946
湖のほとりにて(1)	1948
シ (2)	シ
無題(石器時代土偶による)	シ
鳥	1949
モダンアートフェア	1951
自然	1953
シ	シ

静物(花)	
円筒	
静物(オレンジ)	
菊	
まつたけ	
瓦模様	
朱	
婦人	
ヌード	
春夏秋冬	
作品	
いろは	
夜の風景	
夜汽車	
郊外風景	
柿とすすき	
矢羽根	
サンフランシスコ風景	
作品	
テニスコート	
つばめ	
作品	
明治京都日本画壇の巨匠 今尾景年	
回顧展 5—31 京都府立総合資	
料館	
三代西遊像図	1855
猿群図	1860
恵比須大黒図	1864
生々百物図	1885
四時花木群虫図	シ
雪中水車図	シ
群仙図	1886
(8曲屏風)	
深山群猿図	1888
足立美術館蔵	
孔雀図	シ
(6曲屏風)	
伎芸戸図	1890
蕉陰双鶏図	1891
(6曲屏風)	
猿猿図	1893
東京国立博 物館蔵	
遊鯉図	シ
京都国立博 物館蔵	
泰西孔雀図	1897
芙蓉鴛鴦図	シ
月下笠置山図	1899
足立美術館 蔵	
春山花鳥図	1900
春園双孔雀図	1901
足立美術館 蔵	
牧童図	シ

昭和49年主要美術展覧会(5月)

鳳 凰 図 1901  
 群 鹿 図 シ  
 月に杜鵑 図 1902  
 四時花鳥 図 1903  
 (6曲屏風)  
 高雄溪流秋景 図 1905  
 牡丹小禽 図 シ  
 (四季花鳥の内)  
 白桃鸚哥 図 シ  
 (四季花鳥の内)  
 能楽草紙洗小町 図 1910  
 江 邨 春 色 図 シ  
 松 柏 延 齡 図 シ  
 寒 月 群 鴨 図 シ  
 不老富貴群禽 図 1911  
 豊 穂 双 鶴 図 シ  
 老松臚月雉子 図 1912  
 青 梅 小 蝶 図 シ  
 躍 鯉 図 シ  
 松 間 臚 月 図 シ 東京国立博  
 物館蔵  
 細 鼓 図 1913  
 秋 園 錦 鷄 図 シ  
 松間紅楓群禽 図 シ  
 御 物 花 鳥 図 1915 宮内庁蔵  
 (6曲屏風)  
 皇風浴六合 図 1916  
 仙 島 双 鶴 図 シ  
 瀑 布 図 シ  
 古 木 木 菟 図 シ  
 寒 月 双 鴨 図 シ  
 老松寿帯鳥 図 1920  
 吉 野 春 景 図 シ  
 葉桜白頭鳥 図 シ  
 紅 葉 群 禽 図 1921  
 秋 野 群 鶉 図 シ  
 雨 後 漁 舟 図 シ  
 達磨大師像 図 シ  
 蓬 萊 仙 境 図 1922  
 祇 園 神 輿 図 シ  
 松 間 桜 花 図 1923  
 山 茶 巧 婦 鳥 図 シ  
 蓬 萊 仙 境 図 1924  
 蓬 萊 山 図 シ  
 深 山 雨 後 図 1924  
 松 鶴 図 シ  
 吹 雪 鴛 鴦 図 シ  
 泰西美人唱歌 図 シ  
 日 本 ア ル プ ス 図 シ  
 桜 花 鴉 図 シ  
 風 雨 歸 漁 図 シ  
 (絶筆)

竹 雀 図  
 (6曲屏風)  
 臚 月 図  
 青 楓 瀑 布 図  
 群 鶉 図  
 (6曲屏風)  
 漁 舟 図  
 松 鶴 図  
 雪 景 図  
 (2曲屏風)  
 老松孔雀 図  
 秋 池 水 禽 図  
 荷 荷 栗 鼠 図  
 雪 中 老 松 鴨 図  
 松 上 孔 雀 図  
 (6曲屏風)  
 田 家 梅 花 図  
 瀑 布 小 禽 図  
 深 山 瀑 布 図  
 芦 辺 水 禽 図  
 (6曲屏風)  
 新 緑 瀑 布 図  
 桜 花 鳴 鶴 図  
 橋 弁 慶 山 図  
 孔 雀 図  
 (6曲屏風)  
 小 鼓 図  
 池 畔 三 日 月 図  
 臚 月 芦 雁 図  
 三 社 図  
 養 老 瀑 布 図  
 晴 峽 明 月 図  
 桜 花 鳴 鹿 図  
 老 松 鴛 鴦 図  
 桜 花 子 雀 図  
 海 辺 松 図  
 芦 雁 図  
 (6曲屏風)  
 案 山 子 図  
 武 蔵 野 図  
 春 溪 桜 花 図  
 臚 月 山 桜 図  
 春 野 雛 図  
 親 子 雉 子 図  
 老 松 孔 雀 図  
 鯉 猫 図  
 木 枯 双 鴉 図  
 織 月 薊 狸 図  
 秋 野 群 鶉 図  
 鶉 図  
 琉 水 運 河 図 1895  
 (草稿)

ぼらの精 図  
 (草稿)  
 瑞 龍 図(草稿) 1905  
 千歳松 図(草稿) 1915  
 写 生 帖 25冊  
 写 生 帖 1巻  
 画 帖 1冊  
 花鳥画譜 31枚  
 習 画 帖 7冊  
 舞 扇 4本  
 団 扇 5本  
 茶 道 具  
 絵 画 道 具  
 落 款  
 印 譜  
 鉄 齊 筆「養素齋」  
 シ「寒月群  
 鴨図賛」  
 弔 詞  
 賛 詞  
 鉄 齊 作 印  
 「養素齋」  
 ベルメール版画展 6—11 ギャラ  
 リー21  
 キリスト教美術展Ⅱ 6—13 日動  
 サロン  
 画業六十年記念・向井潤吉環流展  
 7—19 東京セントラル美術館  
 10回主体美術展 7—20 東京都美  
 術館  
 近代彫刻の夜明けデスビオ展 7—  
 21 現代彫刻センター  
 未発表の遺作による香月 泰 男 展  
 9—21 高島屋  
 加藤栄三遺作展 10—15 銀座・松  
 屋  
 雷 神 昭和40年  
 月 響 昭和23年  
 フィレンツェの夜明け 昭和43年  
 荒 磯 昭和42年  
 空 昭和33年  
 飛 驒 昭和45年  
 流 離 の 灯 昭和46年  
 草花 図 屏風一曲一双 昭和22年  
 谿 音 シ  
 風 光 る 昭和24年  
 高 原 シ  
 鮎 昭和26年  
 草 炎 シ  
 笹 シ

昭和49年主要美術展覧会(5月)

沼のある風景	昭和27年	花と鳥	昭和39年	渚	昭和37年
山桜苑	昭和28年	馬椿	シ	双馬	昭和39年
春磐梯	シ	緑蔭の鳥	昭和40年	金の鯉	昭和41年
(春の池)	昭和29年	馬と岬	シ	冬の太陽	シ
碧湖	シ	渚を走る馬	シ	シャルトル	昭和42年
重桜	昭和30年	冬の太陽	昭和41年	ペルージア	シ
紅葉に鳩	シ	鯉	シ	アッシジの夜	シ
石庭	昭和31年	飛天	シ	溪流	昭和43年
風千鳥	シ	卓上静物	シ	インド所見	シ
石庭秋	シ	烟雨夜	昭和42年	ヒマラヤ	シ
篝火庭	シ	星の町	シ	インド舞踊	シ
春鮎池	昭和32年	古城の町	シ	ネパール風景	シ
鉄線花物	シ	月昇る	昭和43年	笛を吹く少年	シ
静月流の鶴	シ	フィレンツェの空	シ	祇園祭	昭和44年
渚桔梗	昭和33年	カプリの印象	シ	高山春祭	昭和45年
鶴線花鳥	シ	涼風漁火	シ	山頂の花火	シ
鉄海	昭和34年	丹頂(釧路の原野)	シ	秩父夜祭	シ
青い壺	シ	ヒマラヤの花	昭和44年	初荷	シ
シリアの壺	シ	熱国の旅	シ	子獅子の少年(山王祭)	シ
鶴虹芍薬	昭和35年	夏雨	シ	桜の庭	シ
蘭	シ	飛驒の春	シ	奥飛驒枳杖岳	昭和46年
BANTING(牛)	シ	刻(とき)	シ	流灯	シ
笱泉の仔蒲	昭和36年	獅子舞	シ	長良川	シ
花菖蒲	シ	涼(総がらみ)	昭和45年	修二会	シ
鮎ばら	シ	烟雨の中	シ	流離	シ
虹松魚飼	昭和37年	鶴飼驟雨	シ	岩田専太郎を偲ぶ遺稿展	10-15
鶯ばら	シ	濤中の富士	シ	小田急	
熱帯の花	昭和38年	虹立つ	シ	43回期日会展	10-22 都美術館
涼鯉	シ	明けゆく富士	シ	岡鹿之助展	10-22 渋谷・東急本店
夜雨み	昭和39年	暮雪	昭和46年	滞船	昭和2年
ませ	シ	明けゆく富士	シ	遊蝶花	昭和14年
桔梗	シ	素描	昭和40年	雪の発電所	昭和26年
馬	シ	雷神大下図及び参考素描	昭和24年	群落(廃墟のある)	昭和31年
		鶴匠の家	昭和30年	森の館	昭和48年
		蹲踞	シ	自画像	大正13年
		月を待つ	シ	信号台	大正15年
		竜安寺	昭和31年	堀割	昭和2年
		篝火	シ	入城	昭和4年
		篝火草稿	シ	積雪	昭和6年
		南瓜	昭和32年	聖堂	昭和10年
		竜安寺月夜	シ	積雪(地藏尊のある雪の山)	昭和18年
		泉の仔	シ	水源	昭和23年
		鉄線花	昭和33年	橋	シ
		ウミネコの島	シ	観測所	昭和26年
		鯛	昭和34年	壊されなかつた礼拝堂	昭和28年
		矢羽の皿	昭和35年	燈台	昭和29年
		松魚	昭和37年		

昭和49年主要美術展覧会(5月)

礼拝堂 昭和29年  
 波止場 シ  
 三色すみれ シ  
 祝いの花籠 昭和30年  
 発電所 昭和31年  
 雪の牧場 昭和32年  
 山麓花楼 昭和33年  
 望楼 昭和35年  
 石造りの家 昭和35年  
 粉ひき場 昭和36年  
 赤い花 昭和37年  
 群落(雪) シ  
 群落(B) シ  
 群落(A) シ  
 粉ひき場 昭和38年  
 群落 昭和38年  
 聖堂 シ  
 赤い花 シ  
 たき火 シ  
 グロキシニヤとアザレ シ  
 ア 昭和39年  
 林 昭和39年  
 家屋再建 昭和39年  
 林間の城 昭和39年  
 丘 昭和39年  
 花 昭和39年  
 献花 昭和39年  
 無線中継所 昭和40年  
 かわはぎ 昭和40年  
 塔 昭和40年  
 小村の礼拝堂 昭和41年  
 水辺の城 昭和41年  
 礼拝堂 昭和41年  
 廃僧院 昭和41年  
 献花 昭和41年  
 海の防塞 昭和41年  
 花と廃墟 昭和41年  
 粉ひき場 昭和41年  
 灯台 昭和42年  
 三色堇 昭和42年  
 城 昭和42年  
 三色すみれ 昭和42年  
 運河塞 昭和42年  
 城 昭和42年  
 水辺の城 昭和43年  
 パンジー 昭和43年  
 献花 昭和43年

三色堇 昭和43年  
 村の礼拝堂 シ  
 日ぐれの城 昭和44年  
 雪 シ  
 雪 シ  
 石づくりの家 シ  
 城 昭和45年  
 朝の城 昭和45年  
 古跡 シ  
 小さいシャトー シ  
 館 シ  
 古城 昭和46年  
 水辺の城 昭和46年  
 雪の城 昭和46年  
 礼拝堂 昭和46年  
 城 昭和47年  
 灯台 昭和47年  
 村の発電所 昭和47年  
 三色堇 昭和47年  
 塞 昭和47年  
 三色すみれ 昭和47年  
 古城 昭和47年  
 渠 昭和48年  
 灯台 昭和48年  
 城 昭和48年  
 城 昭和48年  
 風景 昭和48年  
 聖堂 昭和48年  
 森の館 昭和48年  
 11回日本国際美術展 10-30 都美  
 術館  
 19回新世紀展 10-20 都美術館  
 34回日本画院展 10-22 都美術館  
 ボナール・ヴェイヤール・ルーセル  
 展 16-6月22 ウィルデンスタ  
 イン・東京  
 ヘンリー・ムアによるヘンリー・ム  
 ア展 18-6月16 鎌倉近代美術  
 館  
 彫刻  
 腕を上げている女  
 横たわっている女  
 マスク  
 横たわっている人体  
 コンポジション  
 横たわっている人体  
 コンポジション  
 横たわっている人体  
 直彫りの作品

二つのフォルム  
 弦のある人体  
 横たわっている人体  
 横たわっている人体  
 母と子  
 横たわっている人体  
 横たわっている人体  
 弦のある人体  
 横たわっている人体：  
 片腕  
 横たわっている人体：  
 蛇  
 三つの尖端  
 ヘルメット  
 聖母と幼児キリスト  
 家 族  
 横たわっている人体  
 横たわっている人体  
 横たわっている人体  
 家 族  
 横たわっている人体  
 揺り椅子 No.1  
 立っている人体  
 横たわっている人体  
 直立する内と外のフォ  
 ルムのための原型  
 横たわっている人体の  
 ための原型  
 横たわっている人体  
 山羊の野  
 ヘルメットの頭と肩  
 はしご背の椅子による母と子  
 母と子  
 葉のフォルムの人体  
 No.3  
 葉のフォルムの人体  
 No.4  
 衣裳をまとった横たわ  
 っている人体  
 横たわっている人体  
 No.6  
 タイム-ライフ社のス  
 クリーンのための原型  
 王妃の手のための習作  
 王と王妃  
 盾を持つ戦士  
 頭：線条  
 ユネスコ本部(パリ)の  
 横たわっている人体の  
 ためのマケット  
 曲った障壁を背にして  
 腰をおろしている人体  
 ためのマケット  
 人体の断片=トルソ

足をくんで腰かけている女

障壁の前の三つのモチーフ No. 1

鳥

母と子：アーチ

障壁を背にして腰かけている二つの人

ヘルメットの頭 No. 3

二つにわかれた横たわっている人体 No. 3

横たわっている母と子

七分身の人体

大きくしたフォルム

大きなトルソ：アーチ

二つにわかれているナイフの刃のための原型

石の記念碑のための原型

三つにわかれた横たわっている人体 No. 2  
橋桁

噛みあっているフォルムのための原型

月 = 首

アトム の 断片

日時計のための原型

三つの方向をもったかたちのための原型  
No. 1：尖頭

三つの方向をもったかたちのための原型  
No. 2：射手

二つにわかれている彫刻 No. 7：パイプ

内部のフォルム

二重の楕円のためのマケット

トルソ

三つにわかれている背骨のための原型

AからEまで直立しているモチーフ

紡垂のかたち

とがったトルソ

建築的なプロジェクト

二つにわかれている尖頭：頭蓋骨

二つにわかれた横たわっている人体のための原型：尖頭

動物のフォルムのための原型

アーチ形の丘のための原型

版画

肖像についての瞑想

立っている人体

横たわっている八つの人体

直立のモチーフ

鳥のモチーフ

大きな横たわっている人体と小さなモチーフ

赤一青と黄のモチーフ

横たわっている人体とトルソ

黄と赤による横たわっている二つの人体

黄と緑による横たわっている二つの人体

横たわっている八つの人体

赤と黄による二つのフォルム

橙と黄による三つのフォルム

彫刻のためのアイデア

風景の中の彫刻のためのアイデア

丘のフォルムをもつ彫刻のためのプロジェクト

象の頭蓋骨

作品 I

作品 II

作品 III

作品 IV

作品 V

作品 VI

作品 VII

作品 VIII

作品 IX

作品 X

作品 XI

作品 XII

作品 XIII

作品 XIV

作品 XV

作品 XVI

作品 XVII

作品 XVIII

作品 XIX

作品 XX

作品 XXI

作品 XXII

作品 XXIII

作品 XXIV

作品 XXV

作品 XXVI

作品 XXVII

作品 XXVIII

作品 A

作品 B

作品 C

作品 D

作品 E

横たわっている人体

海を背景にした横たわっている人体

横たわっている人体、立っている人体、家族

空を背景にした横たわっている人体

しまのある背景に横たわっている二つの人体

横たわっている二つの人体

横たわっている人体のグループ

連作ストーンヘンジ

バランスのとれた楣石

サルセンと楣石

空にそびえる

環の内側

刻み目のある石

倒された巨人

雨に洗われた石

見張り

巨人の頭

光の裂け目

キュクロープス

月明の闇

腕と胴体

月明の瀬

暗黒の洞窟

ストーンヘンジ A

ストーンヘンジ B

ストーンヘンジ C

ブリントン周辺の個人的な関係ロ

パート・シンガー光画(写真)展

20-26 京都ギャラリー紅  
花とヴェネチア・三岸節子展 21-26 三越

21回日府展 22-30 都美術館

改組第5周年記念・第一展 24-6月5 都美術館

40回旺玄展 24-6月5 都美術館

アンドリュウ・ワイエス展(京都展)  
25-6月30 京都国立近代美術館

昭和49年主要美術展覧会(5・6月)

74 現代ソビエト絵画展(豊かなるロシアの大地) 28—6月2 三越  
 第3回平櫛田中賞受賞記念・江口週彫刻展 30—6月4 高島屋  
 徳岡神泉遺作展 31—7月14 東京国立近代美術館  
 海老 明治44年  
 晩秋 大正5年  
 筒井 筒 大正6年  
 狂女 大正8年頃  
 蓮 大正11年頃  
 椿 大正11年頃  
 芥子 大正13年  
 後雨 後 昭和2年  
 蕭条 昭和3年  
 罌粟 昭和8年  
 麦 昭和9年  
 菖蒲 昭和14年  
 芋 函 昭和18年  
 西瓜 昭和18年  
 伊予蜜柑 昭和20年  
 赤松 昭和22年  
 芥子 昭和23年  
 鯉 昭和25年  
 柿 昭和26年  
 池 昭和27年  
 畠 昭和27年  
 柳 昭和28年  
 流れ 昭和29年  
 菖蒲 昭和29年  
 小松 昭和29年  
 薄菜 昭和30年  
 の花 昭和30年  
 赤松 昭和31年  
 枯葉 昭和33年  
 蕉 昭和33年  
 筍 昭和33年  
 玉梅 昭和33年  
 虞美人草 昭和34年  
 刈田 昭和35年  
 加茂茄子 昭和35年  
 山つっじ 昭和35年  
 仔鹿 昭和36年  
 鳥 昭和36年  
 椿 昭和36年  
 青林檎 昭和36年  
 鷹 昭和37年  
 豆 昭和38年

熊 筍 昭和38年  
 静物 昭和38年  
 雨 昭和39年  
 晨 昭和39年  
 櫃 鳥 昭和40年  
 薄 昭和41年  
 緋 鯉 昭和41年  
 慈光 昭和42年  
 池 昭和42年  
 紫陽花 昭和44年  
 閑野 昭和45年  
 麗 昭和46年  
 富士山(未完)

6 月

28回女流画家協会展 1—13 都美術館  
 70回記念太平洋展 1—13 都美術館  
 8回女流陶芸展 2—9 京都市美術館  
 22回光陽会展 7—19 都美術館  
 24回新興展 7—19 都美術館  
 加山四郎遺作展 9—16 日動サロン  
 木村光佑版画と立体展 10—29 FUMA ギャラリー  
 62回日本水彩画会展 15—27 都美術館  
 17回新象展 15—27 都美術館  
 21回新美術協会展 16—26 都美術館  
 難波田龍起自選展 18—7月13 フジテレビギャラリー  
 27回創造美術展 21—7月3 都美術館  
 エルンスト「博物誌」展 24—7月6 ギャラリー-21  
 3回青山義雄展 25—7月10 吉井画廊  
 11回太陽展 26—7月10 日動サロン、日動画廊  
 49年度日本芸術大賞展 27—7月2 伊勢丹  
 54回朱葉会展 28—7月10 都美術館  
 第30回記念現展 28—7月10 都美術館

46回新構造展 28—7月10 都美術館  
 日本のガラス展・古代から現代まで 29—7月28 鎌倉近代美術館  
 古墳時代  
 ガラス管玉(島根県安来市荒島町造山古墳出土) 4 th C.  
 ガラストンボ玉(香川県仲多度郡多度津町出土) 5 th C.  
 ガラス釧(京都府中郡大宮町三重古墳出土) 5 th—6 th C.  
 ガラス勾玉(岡山県邑久郡長船町西須恵出土) 5 th—6 th C.  
 ガラス勾玉(岡山県邑久郡邑久町山田庄出土) 6 th C.  
 ガラス小玉、丸玉(兵庫県姫路市奥山出土) 6 th C.  
 ガラス勾玉、菅玉(佐賀県東松浦郡浜玉町玉島出土) 6 th C.  
 ガラス勾玉(兵庫県城崎郡中筋村出土) 6 th—7 th C.  
 ガラス勾玉、菅玉、小玉(熊本県山鹿地方裝飾古墳出土) 6 th—7 th C.  
 ガラス玉(北海道上川郡発寒町発寒遺跡出土) 9 th—13th C.  
 ガラス玉、石玉、化石勾玉(北海道江別市江別遺跡出土)  
 わらび手刀、はじ器杯(北海道恵庭市出土)  
 奈良・平安・鎌倉・室町時代  
 重文 ガラス玉類(元興寺塔址土壇出土) 奈良時代  
 国宝 金地螺鈿毛抜形大刀 平安時代  
 瑠璃鈕付銅板打物製経筒 平安後期  
 銅製合子及ガラス製珠玉金銅水滴(伝 和歌山県出土経塚遺物ノ内) 平安後期  
 重文 於美阿志神社石塔納入供養具 平安後期  
 瑠璃灯籠 平安後期  
 重文 碧瑠璃舍利壺(木造地藏菩薩立像内ノ納入品) 鎌倉初期  
 伝 福岡県出土 ガラス製経筒 鎌倉初期  
 国宝 玉佩 室町時代  
 江戸時代  
 長崎系  
 藍ガラスちろり H.17.0  
 藍ガラスちろり H. 9.0

藍ガラス瓢形瓶	H. 20.0	切りガラス碗	D. 13.0	切りガラス八角鉢	L. 20.0
紫ガラス瓢形瓶	H. 20.0	切りガラス紅皿	D. 9.0	切りガラス蓋付碗	H. 12.5
紫ガラス瓶	H. 26.0	切りガラス角形三段重	H. 19.5	切りガラス蓋物	H. 9.0
紫ガラス瓶	H. 23.5	切りガラス丸形三段重	H. 20.0	緑切りガラス大碗	D. 12.0
紫ガラス瓶	H. 21.7	切りガラス三重盃・稜 花縁盃台	D. 65, 7, 9, 10, 0	緑切りガラス碗	H. 6.0
青ガラス鶴首瓶	H. 22.3	切りガラス三重盃・角 形盃台	D. 5.6, 7.1, 8.5	紅切りガラス碗	H. 6.0
黄ガラス鶴首瓶	H. 23.0	切りガラス水注	H. 7.0	藍切りガラス碗	D. 9.2
卦文ガラス瓶	H. 18.0	菊形ガラス蓋物	H. 12.0	藍切りガラス碗	D. 7.8
紫ガラス草花文方瓶	H. 13.0	菊形ガラス小鉢	D. 10.5	藍切りガラス向付	H. 5.7
藍ガラス十角鉢	H. 15.6	麻ノ葉ガラス皿	D. 14.0	黄切りガラス向付	H. 5.7
緑ガラス鉢	D. 18.0	ビードロ細工釣灯籠	H. 150.0	切りガラス大皿	D. 41.0
紫ガラス鉢	D. 18.0	ビードロ嵌め込み刀掛	H. 41.0	切りガラス皿	L. 28.0
ガラス鉢	D. 18.0	紫ガラス枕	L. 30.0	切りガラス長方形皿	L. 28.0
ギヤマン彫鉢	H. 12.8	ビードロ櫛 4	L. 13.0	紅切りガラス花卉文皿	D. 18.4
黄ガラス菊形蓋物	H. 12.2	ビードロ櫛 1	L. 15.6	紅切りガラス三筋文皿	D. 15.0
網文ガラス蓋物	H. 12.5	ビードロ簪 5	L. 13.0~19.0	紅切りガラス皿	D. 15.0
緑ガラス葡萄唐草文蓋物	D. 9.0	ビードロ簪 16	L. 13.0~19.0	紅切りガラス	D. 9.0
緑ガラス菊形蓋物	H. 12.0	ビードロ筭 4	L. 13.0~19.0	切りガラス小皿	D. 14.2
黄ガラス筒向付	H. 9.4	ビードロ筭・中 差 6	L. 13.0~19.0	藍切りガラス脚付坏	H. 12.5
黄ガラス菊形皿	D. 13.5	北海道アイヌ・タマサ イ(首飾)		藍切りガラス脚付坏	H. 17.3
緑ガラス菊形皿	D. 13.5	北海道アイヌ・タマサ イ(首飾)		藍切りガラス脚付坏	H. 11.0
紫ガラス徳利	H. 20.0	北海道アイヌ・タマサ イ(首飾)		紫紺切りガラス脚付坏	H. 10.6
青白ガラス徳利・盃・ 盃台	H. 19.7 H. 4.6 H. 5.1	北海道アイヌ・タマサ イ(首飾)		切りガラス高脚蓋物	H. 22.8
青緑ガラス霞文盃	H. 4.0	北海道アイヌ・タマサ イ(首飾)		紅菊花文切りガラス丸 形三段重	H. 20.5
青緑ガラス亀甲文盃	H. 3.8	北海道アイヌ・タマサ イ(首飾)		紅菊花文切りガラス丸 形三段重	H. 16.5
黄ガラス菊形盃	H. 3.5	北海道アイヌ・タマサ イ(首飾)		紅切りガラス三段重	H. 20.0
青緑ガラス六角盃	H. 4.0	北海道アイヌ・タマサ イ(首飾)		切りガラス四方形三段 重	H. 22.5
紺ガラス六角盃	H. 6.8	北海道アイヌ・タマサ イ(首飾)		切りガラス四段重	H. 25.0
ギヤマン彫盃	H. 5.0	北海道アイヌ・シトキ (胸飾)		切りガラス薬瓶	H. 10.7
青ガラス油壺	H. 7.0	樺太アイヌ・シトキ (胸飾)		切りガラス薬瓶	H. 7.5
ガラス櫛筭	L. 12.0	北海道アイヌ・ニンカ リ(耳飾)		切りガラス文房具 一式	H. 12.5 CTC
大阪・江戸系		北海道アイヌ着物		切りガラス雑道具一式	
藍ガラス金彩梅文蓋付 碗	H. 8.2	薩摩系		佐賀系	
黄ガラス輪花鉢	D. 17.9	切りガラスちろり	H. 15.8	猫足のガラス小鉢	H. 7.5
灯籠ガラス酒器	H. 21.5	紅切りガラス栓付瓶	H. 24.3	ガラス金魚鉢	H. 31.5
菊花文ガラス酒瓶・牡 丹文盃	H. 11.7	紅切りガラス栓付瓶	H. 24.3	ガラス十二角コップ	H. 9.2
唐草文ガラス三重盃	D. 8.8	藍切りガラス栓付瓶	H. 28.2	ガラス絵	
鉤手ガラス急須	H. 8.0	藍切りガラス栓付瓶	H. 25.5	紅毛女人海辺舞踊図	
紫ガラス水滴	L. 5.7	切りガラス栓付瓶	H. 9.8	オランダ人男女海辺道 遙図	
切りガラス瓢形瓶	H. 43.0	藍切りガラス瓶	H. 20.0	オランダ船図	
紫切りガラス蓋物	H. 5.8	藍切りガラス船形鉢	L. 17.0	異国城廓秋景図	
紫切りガラス小鉢	D. 9.5	切りガラス藍丸文鉢	H. 9.0	笛をもつ紅毛人	
切りガラス稜花縁大鉢	D. 22.5	紅切りガラス鉢	D. 11.8	おろしや船と和蘭パッ ティラ図	
黄切りガラス鉢	D. 20.0	縞紅切りガラス小鉢	D. 7.7	牡丹と錦鶏鳥	
切りガラス蓋物	H. 9.0	切りガラス鉢	L. 24.2		

昭和49年主要美術展覧会(6月)

家のある風景  
伊呂尾崎の景  
隅田川待乳山遠望  
猫と火鉢に寄る女  
かんだしをさす女  
文持つ乙女  
美人画  
清水寺の景  
唐人のいる庭園風景  
松林仏閣図  
洋傘をさす女  
蓮と白鷺  
役者絵

ガラス絵を利用した工芸品

オランダ船図のある硯  
屏  
ガラス絵をはめた輪島  
塗椀  
ガラス絵をはめた菓子  
鉢  
ガラス絵をはめた提重  
箱  
紅毛男女のガラス絵を  
はめた覗眼鏡  
ガラス絵をはめたソバ  
猪口  
ガラス絵重箱  
ガラス棒虫籠  
洋犬ガラス絵煙草盆

明治時代

紅切子ガラス鉢(明治  
14年、第2回内国勸業  
博覧会出品・宮垣秀次  
郎作)  
紅切子ガラス鉢  
金赤切子ガラス粟文蓋  
物  
紅珊瑚白捻筋入ガラス  
筆筒(工作分局硝子製  
造所品川工場製)  
青白鼠捻筋文ガラス筆  
筒(工作分局硝子製  
造所品川工場製)  
黄ガラス瓢形瓶  
菊水文ガラス大皿  
紅ぼかし緑ガラス鉢  
紅鬘ガラス摺草花文鉢  
紅鬘ガラス千筋文鉢  
青ガラス乳鉢  
赤ガラス乳鉢  
ガラス乳鉢  
ガラス杯  
ガラス盃

型吹ガラス亀甲文コッ  
プ  
型吹ガラス霞文コップ  
押型ガラス皿  
ガラスランプ  
ガラスランプ  
ガラスランプ  
手燭ランプ 5種  
ガラス筆筒  
ガラスオパール杯  
ガラス氷入れ  
大正時代  
紅ガラス鉢  
黄ガラス鉢  
草花文ガラス蓋付湯呑  
ガラス杯  
氷入れ  
裾藍ぼかしコップ

昭和以降現在まで

菊桐鳳凰文ガラス大花  
瓶  
とんぼ玉平ガラ  
ス鉢・円光 1935 岩田 藤七  
とんぼ玉手ガラ  
ス花器 1937 シ  
ガラス平鉢 1937 シ  
金箔入ガラス花  
器 1938 シ  
ガラス水槽 1950 シ  
ガラス花器・氷  
の花 1956 シ  
ガラス花器・群  
像 1960 シ  
ガラス壁面装  
飾・コロラート 1961 シ  
三彩ガラス鉢 1965 シ  
ガラス花器・御  
堂 1967 シ  
ガラス鉢・長崎  
を偲ぶ 1971 シ  
ガラス花器・交  
叉 1974 シ  
ガラス花器 1974 シ  
ガラス花器・貝 1974 シ  
ガラス花器・十  
字 1974 シ  
クリスタル飾皿 1928 各務 鏡三  
草花文花器 1948 シ  
クリスタル花器 1954 シ  
クリスタル鉢 1955 シ  
クリスタル飾鉢 1959 シ  
クリスタル花器 1970 シ  
クリスタル鉢 1971 シ  
クリスタル大鉢 1971 シ

クリスタル花器 1972 各務 鏡三  
クリスタル花器 1972 シ  
クリスタル花  
器・神話 1973 シ  
クリスタル孔雀  
文花器 1974 シ  
クリスタル花  
器・飛天の図 1974 シ  
クリスタル花器 1974 シ  
オブジェ"古代  
生命の復活" 1968 青野 武市  
クリスタルオブ  
ジェ 1971 シ  
オブジェ"舞" 1974 浅原千代治  
オブジェ 1974 淡島 雅吉  
ティーカップ 1974 石井 康治  
鉢 1974 シ  
花器"二つの顔" 1956 一噌 元治  
ガラスブロック 1974 シ  
ベリール皿 1960 伊藤 幸雄  
ステムウェア 1971 猪股 義郎  
スタンドグラス 1972 岩崎 隆  
ガラスパネル  
"花の宴" 1971 岩田 糸子  
ガラスパネル  
"胡城" 1972 シ  
花器"シリヤの  
海" 1972 岩田 久利  
花器 1974 シ  
花器 1970 江頭 源一  
花器 1974 シ  
鉢 1974 江副 行昭  
冷茶セット 1974 シ  
灰皿 1974 大中 繁明  
灰皿 1974 シ  
オブジェ"アル  
ルカン" 1974 大宮 希敏  
花器 1974 シ  
カップソーサー 1972 小田 洋晴  
向付鉢 1969 河合 祥子  
向付鉢とり鉢 1969 シ  
花器 1971 各務 満  
花器 1974 シ  
シャンデリア 1973 笠谷 真人  
テーブルウェア 1973 柏原 宏行  
タンブラー 1971 上山 俊一  
皿"あられ" 1964 河上恭一郎  
タンブラー"石  
庭" 1969 シ  
オブジェ 1974 岸川 利徳  
インテリアアク  
セサリー 1974 シ  
オブジェ 1973 木村 四郎



ガラスパネル	1974	久保木二郎
壁面装飾	1974	久保木みどり
壁面装飾	1974	シ
切子皿	1970	小林 英夫
花器	1974	シ
オブジェ"青のフォルム"	1972	小林 貢
オブジェ"青のフォルム"	1974	シ
花器	1974	後藤哲次郎
花器	1974	シ
スペースシリーズ	1973	佐藤 信泰
テーブルウェア"マリオ"	1973	シ
オブジェ	1966	佐藤万里子
オブジェ	1974	シ
器鉢	1971	柴崎信太郎
鉢	1973	シ
ステムウェア	1973	菅沢 利雄
デスク用具	1973	シ
キャンディーボックス	1973	高井 昭
皿	1973	シ
オブジェ	1972	高木 茂
花器	1974	シ
吹奏管	1974	竹内 洪
強化ガラスタンブラー	1971	竹内 伝次
組皿	1971	シ
オブジェ	1974	田中 常男
オブジェ	1974	シ
24才	1973	谷 祥一
ウオーターセット	1973	玉田 敏弘
インテリアエレメント	1974	シ
テーブルウェア	1970	東条 衛
テーブルウェア	1971	シ
花器"霜明"	1970	永井 清司
花器	1974	シ
角皿	1973	中山 勝
花器	1974	野沢 秀敏
花器	1971	橋本 力
オブジェ	1973	シ
花器"雪窓"	1971	浜松 幸雄
洋酒セット	1973	シ
花器	1973	房前 洋次
花器	1964	藤田 喬平
飾篋	1973	シ
鉢	1970	船木 俊帆

テーブルウェア	1969-73	船越 三郎
デスク時計	1974	シ
オブジェ"重い蓋"	1972	益田 芳徳
オブジェ"沈黙"	1974	シ
オブジェ	1973	松浦 松夫
オブジェ	1974	シ
鉢	1974	丸山 良治
オブジェ	1974	シ
花器"海"	1957	山本 曠
花器"渦紋"	1967	シ
器	1974	横山 尚人
照明具	1974	シ

7 月

5回韻展(前衛美術会)	1-11	都 美術館
高松塚古墳壁画模写展	2-7	東京国立博物館
張大千畫展	2-14	東京セントラル美術館
明治の石版画展(19世紀日本のリトグラフ)	2-28	浜松市美術館
戸張孤雁展	6-25	パシフィック・ギャラリー
夏目利政遺作展	15-20	日本画廊
中野四郎遺作彫刻展	18-25	日動サロン
松本弘二遺作展	20-8月4	佐賀県立博物館
富岡鉄斎展	24-9月1	大和文華館
21回日本陶彫会展	25-30	銀座・松屋
15人の写真家	26-9月1	東京国立近代美術館(荒木経惟、北井一夫、沢渡朔、篠山紀信、高梨豊、田村シゲル、内藤正敏、中平卓馬、新倉孝雄、橋本照嵩、深瀬昌久、森山大道、柳沢信、山田脩二、渡辺克巳)

8 月

美術史にのこる「回想の画家」展	3-10	日動サロン(高橋由一、浅井忠、青木繁、中川八郎、柳敬助、黒田清輝、中村彝、彭城貞徳、
-----------------	------	--

萬鉄五郎、石橋和訓、山本森之助、加藤静児、湯浅一郎、田口省吾、小出楯重、佐伯祐三、東城鉦太郎、児島虎次郎、岸田劉生、長原孝太郎、前田寛治、板倉鼎、岡田三郎助、丸山晚霞、平岡権八郎、青山熊治、森田恒友、川村清雄、三岸好太郎、満谷国四郎、栗原忠二、佐分真、鹿子木孟郎、中村不折、藤島武二、永地秀太、正宗得三郎、白滝幾之助、和田英作、須田国太郎、清水敦次郎、安宅安五郎、上野山清貢、石井柏亭、内田巖、甲斐仁代、中沢弘光、石川寅治、小杉未醒、金山平三、五味清吉、跡見泰、津田正周、三宅克己、橋本邦助、清水良雄、木村荘八、赤城泰舒、吉岡憲、安井曾太郎、富田温一部、中野和高、宮坂勝、山下新太郎、島崎鶴二、寺内萬治郎、原勝四郎、宮本恒平、岡見富雄、児島善三郎、石川欽一郎、清水登之、熊岡美彦、野口謙蔵、牧野虎雄、今関啓司、大野隆徳、小林萬吾、矢崎千代二、林俊衛、浜田葆光、今西中通、北島浅一、北蓮蔵、南薫造、吉田博、太田喜二郎、斎藤豊作、近藤光紀、鍋井克之、三田康、鈴木誠、海老原喜之助、川口軌外、栗原信、和田三造、田中佐一郎、藤田嗣治、田辺至、中村研一、鶴田吾郎、森田元子、山口薫、大河内信敬、宮田重雄、長谷川昇、木下孝則、大久保作次郎、加山四郎、高間惣七、香月泰男、矢島堅士、田辺三重松、坂本繁二郎、耳野卯三郎、黒田重太郎、足立源一郎、中川紀元、島野重之		
黒田清輝展	3-28	秋田市美術館
新樹会展	6-11	三越
解体新書出版二百年記念・洋学二百年記念展	13-18	三越
マチスと野獣派展(東京展)	15-9月24	渋谷・西武
グラフィック・イメージ'74	20-9月19	京都国立近代美術館
人間国宝をしのぶ加藤土師萌陶業展	22-27	高島屋
中村研一遺作展	24-9月2	日動サロン

昭和49年主要美術展覧会(8・9月)

出品目録	
風景	1920頃
涼しきひま	1921
裸体	1928
鏡を持つ女	シ
パリ郊外	1928頃
花	シ
アデン	1937
海	1938
昭南のわが宿	1942
婦人像	1947
窓の辺	シ
栗の花	シ
婦人坐像	1948
秋の花	シ
白いブルーズ	シ
静物	1948頃
婦人像	1949
夏裸体	1950
長崎	シ
木静	1950頃
静婦人像	1950頃
画室	1951
裸婦	1951頃
裸婦	シ
裸婦	1952
裸体	シ
裸婦	1952頃
画室	1953
立てる裸婦	シ
裸体	1954
伊豆白浜	シ
静物	1955
窓の像	シ
ハノンモック	1956
裸体	1957
朝居	1958
家画像	シ
自画	シ
緑の中	1959
びわ	シ
風景	1959頃
静物	シ
庭の静物	1960
冬の静物	シ
湖畔	1960頃

港	物	1960頃
静	景	シ
風景	居	1960—61
家	春	1961
早	ラ	1962
パ	シ	シ
北風	景	シ
台	中	1962頃
籠	科	シ
蓼	景	シ
風	科	シ
蓼	物	1962頃
静	景	1962—63
水上	庭	1963
夏	像	シ
婦人	像	シ
庭	陰	1963頃
木	木	シ
緑	樹	シ
庭	家	1964
夏の	体	1964頃
裸	体	シ
裸	体	1965
イタリアの	壺	シ
裸	体	1967
ばら	絶筆	シ

9 月

- 59回院展 1—20 都美術館
- 59回二科展 1—20 都美術館
- 29回行動美術展 1—20 都美術館
- 13回'74国際形象展 3—12 三越
- 2回現代彫刻20 3—15 東京セントラル美術館(朝倉響子、伊藤隆道、井上武吉、尾川宏、小島広志、佐藤忠良、澤田政広、篠田守男、関根伸夫、多田美波、建島寛造、堀口泰造、峯孝、向井良吉、保田春彦、柳原義達、山本常一、山本豊市、吉村益信、淀井敏夫)
- 山下摩起展 3—29 兵庫県立近代美術館
- 東京国際具象絵画ビエンナーレ展 6—18 渋谷・東急本店
- 湯原和夫展 7—28 東京画廊
- 幕末の洋風画家・大久保一丘展 7—10月6 浜松市美術館

出品目録	
真人図	絹本着色・額
シ	絹本着色
シ	シ
シ	絹本着色・額
シ	シ
シ	シ
シ	紙本着色
シ	絹本着色・額
シ	紙本着色
蘭館より港内を望む図	絹本着色・額
蘭高森観好	紙本着色
高森観好	絹本着色・額
葵朱達子	絹本着色
孔寿老比	紙本着色
恵漁	絹本着色
萬	紙本着色
韓信の股くぐり	絹本着色
東布美	絹本着色
百曉	絹本着色
富富	絹本着色・額
富富	絹本着色
富士越の童	絹本着色
富富	紙本着色
日の出群鶴	絹本着色
千羽鶴	シ
鶴	紙本着色
親鶴	絹本着色
桜花と雉子	板戸着色・4枚
軍牡丹	紙本着色
菊	絹本着色
山雪	紙本着色
中風	シ
花鳥	絹本着色
楓と	紙本着色
松に	鷹

花鳥図 紙本着色  
 菊と鳴子猪  
 野馬  
 狗  
 猿  
 虎  
 鹿  
 馬  
 弁慶 額紙本着色  
 花鳥図巻  
 一信花鳥図巻  
 一信下絵図巻  
 一岳諸鳥写生図譜  
 亀 紙本着色・扇面  
 寿算 紙本墨書  
 富士 木版画  
 供物  
 美人  
 或る画家の生涯とその作品・山本敬輔遺作展 8-16 姫路市文化センター  
 橋本明治自選展 12-17 高島屋  
 木村武山展 14-30 茨城県立美術館  
 出品目録  
 高倉帝蔵鳥行幸図 明治29年  
 貴紳観桜図 33-34年  
 小楠公 36年頃  
 雪 37-39年  
 日本武尊 39-40年  
 伊邪那岐・伊邪那美命 40年  
 出関之図 40年  
 小督 40年  
 阿房劫火 40年  
 祇王祇女 41年  
 鍾馗出狐図 大正1-2年  
 鳥甘橘・鶯に山鳩 3年  
 山鳩 3年  
 飛天音 3年  
 観音 3年  
 寿老 2-3年  
 阿弥陀如来 3年

小春 大正3年  
 黒猫 3-4年  
 花鳥図屏風 4-5年  
 扇面散らし図屏風 5年  
 不動上人 5年  
 法然上人 6年  
 白菊之図屏風 6-7年  
 紫陽花 7年  
 梨花孔雀 8-9年  
 晚秋(無実果とおしどり) 9年  
 秋草之図 9-10年  
 降魔 10年  
 青木葉 10年  
 秋草之図 11年  
 晚秋(紅葉に鷹) 12-14年  
 松に鶴 14年  
 観音 昭和6-7年  
 不動明王 9年  
 英姿 10年  
 寒山拾得 10-11年  
 不動明王 11年  
 虚空蔵菩薩 13年  
 成道釈迦 15年  
 聖観音 15年頃  
 釈迦と十六羅漢 15年頃  
 薬師如来 15年頃  
 胎蔵界大日如来座像 16年頃  
 秋景 16年頃  
 虚空蔵菩薩 16年頃  
 群鶴図屏風 17年  
 <参考出品>  
 阿弥陀如来(模写) 明治34-35年  
 勢至菩薩( ) 35年  
 不動明王( ) 昭和2年頃  
 日蓮上人(画稿) 10年  
 阿房劫火(下図) 明治40年  
 孔雀明王( ) 43年  
 法然上人( ) 大正6年  
 弥陀来迎( ) 8年  
 阿弥陀如来( )  
 日蓮上人( )  
 孔雀之図( )  
 厨子(大日如来像安置) 花鳥習作  
 画帖 (13歳頃)

木内克彫刻展 15-29 日動サロン  
 開館二周年記念・大阪祭参加 伊谷賢蔵遺作展 17-10月6 大阪・梅田近代美術館  
 キュービズムの彫刻展 19-10月9 現代彫刻センター(オシップ・ザッキン、パブロ・ガルガロ、アンリ・ローランス、ジョセフ・クザッキ、ジャック・リブシット)  
 田村一男展 20-29 東京セントラル美術館  
 彫刻60年木内克展 20-10月2 銀座・松屋  
 出品目録  
 犬 ブロンズ 1925  
 女の顔 テラコッタ 1929  
 よりかかる女 1930年頃  
 猫 1930年頃  
 裸婦 彩釉陶 1930年頃  
 女の顔 ブロンズ 1930  
 坐裸婦 1935  
 裸婦坐像 テラコッタ 1946年頃  
 鷲 ブロンズ 1949  
 アクルピ 1949  
 足をあげる女 1950  
 手をつく女 1950  
 うさぎ 1950年頃  
 坐裸婦 1952  
 裸婦 テラコッタ 1953  
 裸婦 ブロンズ 1953  
 見つけたポーズ 1954  
 おとこ 1954  
 人魚(レリーフ) 1954  
 坐裸婦 1956  
 坐裸婦 1956  
 裸婦 1956  
 猫 テラコッタ 1957  
 裸婦 ブロンズ 1957  
 手をつく 1957  
 裸婦立像 1957  
 裸婦立像 1957  
 手をつく女 石膏原形 1957  
 手のあるトルソ 1958  
 すわる 1958  
 トルソ 石膏原形 1959



裸	婦	テラコッタ	1974
素	描		
裸	婦	鉛筆・水彩	1949
裸	婦	墨・水彩	1950
裸	婦	墨	シ
裸	婦	シ	シ
裸	婦	鉛筆	シ
裸	婦	鉛筆	1951
裸	婦	鉛筆・水彩	シ
裸	婦	シ	1952
裸	婦	シ	1953
裸	婦	シ	1954
裸	婦	水彩	1958
裸	婦	パステル	シ
裸	婦	鉛筆・水彩	1959
裸	婦	シ	シ
裸	婦	パステル	1960
裸	婦	シ	1961
裸	婦	鉛筆・水彩	1962
裸	婦	パステル	シ
裸	婦	シ	シ
裸	婦	鉛筆	1963
裸	婦	鉛筆・水彩	1964
裸	婦	シ	1965
裸	婦	パステル	1967
裸	婦	コンテ	1970
裸	婦	パステル	シ
裸	婦	シ	1971
裸	婦	シ	1972
裸	婦	シ	1973
裸	婦	シ	シ
裸	婦	水性インク	1974
裸	婦	パステル	シ
裸	婦	シ	シ
裸	婦	シ	シ

百武兼行・久米桂一郎・岡田三郎助  
三人展 21—10月23 佐賀県立博物館

出品目録

百武兼行	北イングランド	1873	油彩、画布
風景			
風景			シ
母子			シ
風景		1876	シ

風景	風景		油彩、画布
風景	風景		シ
イングランド風景		1876	油彩、紙
富士遠望	図	シ	油彩、画布
楽器を持つ男			油彩、板
向島風景			油彩、紙
古城趾	図	1878	油彩、画布
古城趾	図	シ	シ
(下図)			
ブルガリアの女		1879	油彩、画布
マンダリンを持つ少女			シ
海	辺	1879	シ
老婦人像			シ
タンバリンを持つ少女			シ
自画像	像		油彩、板
タンバリンを持つ女			油彩、画布
石膏像	像物		シ
人(習作)			油彩、画布
朗姫	像	1880	シ
画室			シ
男半身像			シ
イタリア風景			シ
少女像			シ
臥裸婦			シ
少女像			シ
老婦人像			油、画布
婦人像			油彩、画布
仏国戦士	図	1882	油、画布
仏国兵士	図	シ	油彩、板
(下国)			
天山風景			油彩、画布
風景			鉛筆、紙
人物と馬			シ
素描裸婦			紙、木炭
(少女)			
素描男裸体			木炭、紙
素描仏国兵士	図		鉛筆、紙
風景			シ
その他素描参考資料数点			
久米桂一郎			
ルイニ原画模写			油彩、画布
ベリニ			シ
ルイニ			シ
(小鬼に葡萄)			
静物			シ
睡蓮			油彩、板
男裸体			油彩、画布
(習作)			

寒林枯葉		1891	油彩、画布
ブレハ島		シ	シ
フランス風景		シ	油彩、板
フランス風景		シ	油彩、画布
羊飼		シ	シ
林檎拾い		シ	シ
泊船場		シ	油彩、板
造船場		シ	シ
晩秋		1892	シ
道			シ
長田秋濤氏像		1892	シ
ゼーブル橋畔		シ	シ
教会堂		シ	シ
グレーの風景		1892	シ
姉の像		1893	油彩、パステル
祖母像		シ	油彩、板
清水寺		シ	油彩、画布
清水秋景	図	シ	シ
河原		シ	油彩、画布
祖母像		シ	シ
加茂川の新緑		シ	シ
夏の夕暮		1894	油彩、画布
秋景		1895	シ
秋景下	図		油彩、板
婦人像			シ
少女像			シ
肖像			油彩、画布
海			油彩、板
小代為重氏像		1898	油彩、画布
網干		1898	油彩、板
風景			油彩、画布
三津浜風景		1930	水彩、紙
労働			木炭、紙
素描石膏像		1886	シ
素描裸婦		シ	紙、木炭
男裸体		シ	シ
素描坐せる裸婦		1886	シ
立てる裸婦			シ
素描バリ風景			キャンパス鉛筆
水彩小品			水彩、鉛筆
(4図)			
素描裸婦			シ
黒田清輝筆久米桂一郎像		1897	板、油彩
黒田清輝筆画室にての久米氏像		1889	キャンパス油彩
岡田三郎助			

昭和49年主要美術展覧会(9・10月)

女の肖像	1898	油彩、画布
ファルギエール	1899	
セース河畔の上流	シ	油彩、画布
ムードンの夕暮	シ	シ
臥裸婦	1900	シ
西洋婦人像	シ	
レンブラント自画像模写	シ	
少年	シ	
バラの少女	シ	油彩、画布
遣遙	シ	
紅衣夫人	1907	
萩草図	1908	油彩、画布
雑草図	1909	シ
婦人像	シ	シ
大隈侯夫人像	シ	シ
婦人像	シ	シ
雪景	1913	シ
若き娘の顔	シ	シ
海辺裸婦	1914	シ
髪梳く女	1915	シ
水浴の前	1916	シ
バラ野	1917	シ
髪を梳く	1918	
髪を梳く(下絵)		コンテ、紙
支那絹の前	1920	油彩、画布
バテラ	1926	油彩、紙
薔薇	1931	
満州記念	1933	油彩、板
少女(習作)	1934	油彩、画布
信州杵掛にて	1935	
婦人半身像(下絵)	1936	パステル、紙
志賀高原琵琶池	1937	油彩
坐裸婦	シ	シ
婦人像		
裸婦		
水辺の柳		
冠をつけた女の像		
桃の林		
フランスの風景		パステル
婦人像		
帆船掛舟(裸婦)		
鶏		油彩、画布
素描少女		紙、鉛筆
裸婦		コンテ、紙

少女二人	色鉛筆、紙
月見草	ペン、水彩紙
素描フランス風景	1897 1901 コンテ、紙
素描街頭スケッチ	鉛筆、ペン 紙
素描立てる裸婦	コンテ、紙
髪を梳る裸婦	シ
素描樹間の道	シ
津川岩越国境	鉛筆、紙
36回一水会展	22—10月10 都美術館
1回創画展	22—10月10 都美術館
38回新制作協会展	22—10月10 都美術館
現代メキシコ美術展	22—11月4 東京国立近代美術館
創立20周年記念一陽会展	22—10月10 都美術館
4回神戸須磨離宮公園現代彫刻展	28—11月10 神戸市須磨離宮公園
出品目録	
(1) 野外展示	
まわる曲線のリング	ステンレス 伊藤 隆道
開く石	花崗岩 上田 弘明
海への指標	木・石 江口 週
大空のための椅子	ステンレス 大西 清澄
風景の領域	ステンレススチール 小田 襄
阿 呷	花崗岩・鉄 加藤 常明
作品 I	ステンレス・鉄・樹脂 川口 政宏
AFFINITY.D	アルミ 清水九兵衛
表面から表面へ	信楽粘土 小清水 漸
親和1974	白御影石 高橋 清
支配者の像1974	アクリルアルミ 多田 美波
変身	石 速水 史朗
HORSE AND ES-ROH	FRP・鉄 福田 繁雄
軌跡	陶器 藤本敬八郎
風の道化師	鉄 真板 雅文
休息の座	花崗岩 増田 正和
街の一隅・閉ざされた祠	石・ステンレススチール 保田 春彦

風になびくモコモコ	アルミ鋳造	安原 喜武
股間の鳥一サドル	黒御影石	山口 牧生
弁 天	真 鍮	山田 建烈
空から都市へ	鉄・ステンレス	山本 衛士
ねじれた関係	黒御影石	山本 哲三
彫刻一必然性によるかたち	鏡面ステンレス・鉄	湯原 和男
咬み合う立方体	ステンレススチール・鉄	堀内 正和
小品展示		
積道	層 1974	向井 良吉
標鳩	シ	柳原 義達
霞ヶ浦夏	シ	一色 邦彦
霞ヶ浦秋	シ	
存在—stone of stones	シ	
存在—石から石	シ	河口 龍夫
存在—垂石	シ	
ひそかな笑い	シ	
片方の靴	シ	木村賢太郎
作品 S1	シ	
作品 S2	シ	木村 光佑
T&C420X	1971—74	
T397	1970	篠田 守男
T&C4304	1974	
WAX	シ	下谷 千尋
指舌穴沈帽	1972 1973	
むと	シ	土谷 武
と	1974	
と	シ	
Dog Dog	1974	福岡 道雄
立方体の偏位	シ	宮脇 愛子
風景	シ	山口 勝弘
SPIRAL	シ	
リーズA	シ	
SPIRAL	シ	脇田愛二郎
リーズB	シ	
SPIRAL	シ	
リーズC	シ	
10 月		
5回版画グランプリ展	1—10 日	
動サロン(坂爪厚生、矢柳剛、高柳裕、多賀新、東谷武美、井堂雅夫、大沢泰夫、岡田行夫、小川正明、小口益一、小原信博、加藤れい子、木村まさゆき、小林清子、小本章、桜井幸造、桜井尚、佐々木英夫、柴田昌一、白井正二、白		

木俊之、白田緑、高橋勲、高羽賢一、田島征彦、田辺和郎、辻憲、手島圭三郎、寺田伸子、西田知子、原田一昭、星野美智子、本田和久、松川幸寛、宮藤涼一、望月詩子、山田光造、渡辺満)

21回日本伝統工芸展 1—13 三越秋の特別展「日本のキリシタン美術」  
1—11月10 サントリー美術館

フランシスコ・ザビエル像  
フランシスコ・ザビエルの書簡  
フランシスコ・ザビエル伝

御物 南蛮人渡来図屏風  
南蛮屏風  
南蛮屏風  
南蛮堂図扇面 狩野元秀筆

重文 天正遣欧使節記  
天正遣欧使節肖像画  
国宝 ポルトガル国印度副王信書  
重文 ロザリオの聖母と四聖人  
聖母子  
悲しみの聖母  
親指のマリア  
マリア十五玄義図(写し)  
聖母子  
聖母子と聖アンナ  
南海観音  
救世主像  
キリスト磔刑像入り蒔絵籠  
厨子入十字架キリスト像  
重文 十字架像  
聖ベトロ  
聖ミカエル(写し)  
聖女カタリナ  
三聖人図  
重文 ドチリーナ・キリシタン(吉利支丹版) 1592年  
重文 ドチリーナ・キリシタン(吉利支丹版) 1600年  
サカラメンタ提要(吉利支丹版) 1605年  
グレゴリオ13世伝

銅版画 セビリアの聖母  
銅版画 聖母子と聖アンナ  
程子 墨苑  
銅版画 聖母子(バラの聖母)  
銅版画 聖母子  
銅版画 十字架上のキリスト  
銅版画 聖三位と聖家族  
銅版画 聖ドミニクス  
銅版画 聖ドロテア(木枠入)  
銅版画 キリストの生涯(付版画帖)  
1573年、ローネ刊行のキリストの生涯を描いた銅版画37枚と後に貼込まれた版画12枚からなる。  
天主の十誡  
はじめに3枚の銅版画があり、次に「デウス授給る十ヶ条の事」とあり、十誡が記されている。  
着色銅版画 聖霊降臨(桐・クルス蒔絵小箱入)  
銅版画 教会暦祝日図絵  
萩蒔絵螺鈿聖餅箱  
秋草蒔絵螺鈿聖餅箱  
葡萄蒔絵螺鈿聖餅箱  
七宝繫蒔絵螺鈿聖餅箱  
聖餅箱  
重文 ローマ教皇パウロ5世像  
重文 ローマ市公民権証書  
重文 祭服  
祭服(カズラ)  
襟垂帯(ストラ)  
腕帛(マニブルム)  
祭服の上に十字架をさげる紐  
祭服の下につける白衣の紐  
重文 祭壇の敷物  
祭壇掛  
祭壇掛  
聖体布(コルポラル)  
聖体布(コルポラル)  
聖体布(コルポラル)  
聖体布(コルポラル)  
聖体布入れ  
聖櫃掛(聖杯掛け)

聖櫃掛  
手ふき  
祭爵用袋及聖櫃鍵  
聖体器掛上部  
ヒックス  
ろうそく立  
爵蓋  
祭壇石  
祭壇石入れの袋  
重文 壁掛  
祭壇後方の壁掛  
重文 レリカリオ  
重文 テカ及び袋  
御聖体入れ  
聖遺物入れ  
遺物入れ  
メダイ 無原罪の聖母  
重文 十字架及びメダイ(ロザリオの聖母)  
重文 メダイ残欠  
メダイ アンジの聖フランシスコ  
メダイ 聖ドミニコ  
メダイ  
メダイ(貝製)  
メダイ入れ  
浮彫キリスト像(鮑貝製)  
木版浮彫彩色 聖母子像  
昭和42年、大分県坂の市町丹生小厚出土  
青銅製浮彫 ピエタ  
二十六聖人記念館蔵  
昭和37年、長崎市片淵町の竹藪より発見、イタリア製  
銅牌(エッチェ・ホモ)  
銅牌(無原罪の聖母)  
重文 ロザリオ  
ロザリオ  
ロザリオ  
ロザリオ  
長崎県北松浦郡平戸村字神崎宇津野江ツワ仏檀掃除之際位牌中ヨリ発見。と記録されている。  
重文 マント  
重文 印章  
重文 短剣  
重文 短剣  
重文 鞍  
重文 鞍  
重文 鏡

昭和49年主要美術展覧会(10月)

十 字 架  
 十 字 架  
 十 字 架  
 十 字 架  
 スカブラリオ  
 聖 絵 用 額 縁  
 ホスチス切り(?)  
 ホスチアを焼くもの  
 (パテナ?)  
 苦業用の鞭打ち組  
 拍 子 木  
 御サミ返事のこと  
 ラテン語和訳書  
 祈 り 本  
 黙 想 書  
 聖人の祝日表  
 聖人の祝日表  
 仏教に関する書  
 仏教に関する書  
 キリスト教聖人伝  
 キリシタン心得書  
 キリシタン教訓書  
 切支丹法服諸器物目録  
 立原翠軒著  
 サトウ公使書簡等  
 マリア観音像  
 マリア観音像  
 マリア観音像  
 石造マリア観音像(山口大司教の旧蔵)  
 掛 物  
 西洋婦人図  
 婦女弾琴図  
 西洋人物図  
 デルフト天使図Ⅲ  
 1633年(寛永10)頃、藩主松浦隆信が  
 輸入したものと伝えられる。  
 観 音 図  
 天地創造図 石川大浪  
 筆  
 青 衣 観 音  
 ヒポクラテス 石川孟  
 高筆  
 魚 藍 観 音  
 大浦天主堂透視図  
 大浦天主堂平面図  
 大浦天主堂穹隆天井中  
 心飾拓本  
 大浦天主堂プティジャン  
 ソン教墓誌銘拓本  
 大浦天主堂マリア祭壇  
 正面図

大浦天主堂マリア像側  
 面  
 大浦天主堂マリア像銘  
 文拓本  
 ド・ロ神父持参中国製  
 木版画  
 天国の鍵を受けるペト  
 ロ  
 ド・ロ神父作 版木  
 ド・ロ神父作 木版画  
 ド・ロ神父作 木版画  
 ド・ロ神父 出版物  
 ロザリオ記録  
 沖繩の工芸 1—11月17 京都国立  
 近代美術館  
 作陶五十年記念・清水六兵衛作品集  
 1—6 三越  
 3回池田満寿夫版画展 Y氏のコレ  
 クション 4—10 日本橋・東急  
 秋田蘭画展 4—11月3 秋田市美  
 術館  
 出品目録  
 小田野直武  
 蓮 花 絹 本 着 色  
 不 忍 池 シ  
 唐 子 シ  
 写生帖(他4冊) 紙 本 着 色  
 唐太宗・花鳥 絹 本 着 色  
 中国人物 絹 本 墨 画  
 洋人調馬 絹 本 着 色  
 鷺 シ  
 岩に牡丹 シ  
 富 獄 子 シ  
 獅 子 シ  
 風 景 シ  
 笹に白兔 シ  
 恵比須・大黒 シ  
 鱒 紙 本 着 色  
 雷 魚 シ  
 秋 菊 絹 本 着 色  
 牡 丹 シ  
 鷹 シ  
 芍薬花籠 シ  
 燕子花 紙 本 着 色  
 少女愛犬 シ  
 松に鷹 シ  
 伝小田野直武  
 牡丹に風景 シ  
 南 蛮 人 シ

渡 唐 天 神 紙 本 着 色  
 小田野直武 シ  
 神農像(日本画) シ  
 大威徳(シ) 板 地 着 色  
 明王  
 樹下美(シ) 紙 本 着 色  
 人  
 栢 榴(シ) シ  
 立美人(シ) シ  
 山 水(シ) 紙 本 墨 画  
 天 神(シ) 紙 本 着 色  
 牡丹に雉子 シ  
 草 花 絹 本 着 色  
 内窓の中の僧・ 紙 本 着 色  
 虎  
 花 鳥 金 屏 風 一 曲  
 作者不詳  
 品海帰帆 絹 本 着 色  
 佐竹曙山 シ  
 椿に文鳥 シ  
 燕子花に西洋ハ シ  
 サミ シ  
 紅 蓮 シ  
 竹に椿 シ  
 湖山風景 紙 本 着 色  
 燕子花にナイフ 絹 本 着 色  
 竹に文鳥 シ  
 写生帖(他2冊) 紙 本 着 色  
 (一部絹本)  
 雪中老松 絹 本 着 色  
 竹 シ  
 蝦蟇仙人 シ  
 岩に牡丹 シ  
 岩に蘭 シ  
 松に唐鳥 シ  
 鍾馗(日本画) シ  
 寒山(シ) シ  
 鶺鴒(シ) 紙 本 墨 画  
 達磨(シ) シ  
 鸚 鵡 紙 本 着 色  
 手桶草花 絹 本 着 色  
 岩と花 シ  
 写生・蝶(宋画) 紙 本 着 色  
 同(シ) シ  
 渡 唐 天 神 シ  
 蘭語印の手紙 紙 本 墨 書  
 佐竹義躬  
 桜 花 絹 本 着 色  
 紅 梅 椿 シ  
 松にこぶし 絹 本 着 色  
 岩に牡丹 シ



岩に白百合 紙 本 着 色  
 松にこぶし シ  
 岩に芙蓉 シ  
 松 シ  
 桜の小禽 絹 本 着 色  
 花と燕鳥 シ  
 花鳥 シ  
 えにしだ・他9 紙 本 着 色  
 点 シ  
 荻津勝孝 絹 本 着 色  
 荻津勝孝夫妻像 シ  
 土崎湊(日本画) シ  
 絵巻 シ  
 張良・韓(双幅) シ  
 信 シ  
 秋田風(日本画) シ  
 俗絵巻 シ  
 武 人 絹 本 着 色  
 田代忠国 絹 板 着 色  
 紅毛童子 絹 板 着 色  
 千将莫邪 絹 板 着 色  
 唐刀鍛冶図 絹 本 着 色  
 馬 絹 本 着 色  
 岩に牡丹 絹 本 着 色  
 円窓美人 絹 本 着 色  
 田代忠国 絹 本 着 色  
 佐竹義躬 絹 本 着 色  
 小田野直林 絹 本 着 色  
 紅毛波瑠器 紙 本 着 色  
 太原老憲 絹 本 着 色  
 藤原美承 絹 本 着 色  
 円窓美入 絹 紙 本 着 色  
 古木小禽・椿 絹 紙 本 着 色  
 牡丹吉人 絹 紙 本 着 色  
 菅原寅仙 絹 紙 本 着 色  
 人々善羊 絹 本 着 色  
 丹雲 絹 本 着 色  
 渡月橋(真景帖) 紙 本 墨 画  
 など 美 濃 判 子  
 中仙道風景 美 濃 判 子  
 山 水 美 濃 判 子  
 '74第三文明展 4-17 上野の森  
 美術館  
 町田曲江遺作展(郷土作家シリーズ)  
 5-11月4 長野県信濃美術館  
 出品目録  
 仏陀の光 明治40年  
 竹取物語 大正4年

三 大 門  
 五十鈴の川上  
 天の安河原  
 九官鳥  
 若き鹿と孔雀  
 浄化  
 摩訶摩瑜利  
 天平美人  
 夏の朝  
 鳥小舎  
 なきさ  
 東天鴻基  
 暮白雪雉  
 白子守り水車  
 観音菩薩  
 観音菩薩  
 羅漢写經  
 出山积居  
 維摩居士  
 成膩色迦王  
 迦林七賢人  
 竹呂 巖  
 支那の水汲み女  
 羊つかい  
 三保の松高山  
 高社と妙高月  
 千曲の夕々々  
 碧高層の秋  
 霧原の渡雪  
 暮冬の朝陽禽  
 夕春梅雨に藤鶯  
 春花紫日花顔  
 柿白馬雪  
 洗静中馬動  
 鯉色 紙  
 資 料 簡紙  
 書手

大正4年  
 大正6年  
 大正7年  
 大正10年  
 大正14年  
 昭和2年  
 昭和5年  
 昭和5年  
 昭和5年  
 昭和7年  
 昭和8年  
 昭和14年  
 昭和28年  
 昭和34年

印 譜 集  
 印 章  
 スケッチブック  
 矢 立  
 道 中 籠  
 勲 章・位 記  
 近代日本の文人画展 5-11月3  
 神奈川県立近代美術館  
 4回セントラル現代陶芸展 8-20  
 東京セントラルサロン  
 28回二紀会展 12-30 都美術館  
 42回独立展 12-30 都美術館  
 37回自由美術展 12-30 都美術館  
 脇田和作品展(1960~1974) 15-27  
 東京セントラル美術館  
 32回パンリアル展 16-25 京都市  
 美術館  
 開館記念展・第1部館蔵代表洋画展  
 第2部近代日本画秀作展 17-11  
 月10 群馬県立近代美術館  
 出品目録  
 日本画  
 空山流水 1931 磯部 草丘  
 萌 春 1951 シ  
 山 峡 1952 シ  
 雲 去 来 1954 シ  
 残 雪 1956 シ  
 夏 眺 清 涼 1958 シ  
 朝 洗 心 1960 シ  
 洗 山 瀑 声 1962 シ  
 空 山 瀑 氷 1963 シ  
 霧 春 隣 1965 シ  
 達 磨 図 室町時代 雪 舟  
 夏竹に雀図 江戸時代 一条 和尚  
 鈴鹿山画 賛 シ 卯観 子笠  
 拾得 図 シ 遂 翁  
 画 賛 シ 小林 一茶  
 支那婦人 図 シ 谷 文晁  
 秋花秋実 図 シ 田能村竹田  
 円窓町娘 図 シ 菊川 英山  
 美人 図 渡辺 華山  
 花鳥 図 金井 鳥洲  
 美人 図 喜多 女  
 達磨 図 雪 信  
 猿 図・鹿 図 江戸時代 岡本 秋暉

昭和49年主要美術展覧会(10月)

市原野の図	幕末 明治	春日 光親	椅子によれる女	1916	湯浅 一郎	Slam lords r- ich on our m isery	1965	福沢 一郎
高時宴舞の図	シ	シ	ある日の画室		シ	うごめく群れ	シ	シ
鑑師の図	シ	シ	いねむり (椅子によれる)	1918	シ	デモ	シ	シ
あびす講の図	シ	シ	男 幼 児		シ	ビルの谷間	シ	シ
羽衣の図	シ	シ	誦 経	1920	シ	使徒習作	1966	シ
山水図	シ	児玉 果亭	マクラメ・レー スを編む女		シ	ダヴィンチによ る試作	1967	シ
シ		新井 洞巖	乳をふくませる 女	1925	シ	牧 神	1970	シ
舞妓図		竹久 夢二	朝 の 庭		シ	ニンフと牧神	シ	シ
法隆寺金堂壁画 模写		大塚 椿山	刺 繡 する 人	1925	シ	牧神とニンフ	シ	シ
		寒山拾得図	室 内 婦 人	1930	シ	シ	シ	シ
洋 画			(T.Murakami による模写) 男 子裸像		シ	ニンフと牧神	シ	シ
海辺のテント	1960	山口 薫	洋装婦人肖像		シ	バッカス達	シ	シ
白樺林の馬と池	1967	シ	緑衣横臥婦人像	1931	山口 薫	バッカス達	シ	シ
鑑 と 矢	1960 頃	シ	和 服 の 女	1934	シ	ドルメンにつど う	シ	シ
動物園の風景	1925 頃	シ	残 雪 の 木 々	1949	シ	バッカス達	1971	シ
海岸の風景	シ	シ	孤 独 者 の す ま い	1955	シ	追われる亡者達	1970	シ
風 景	1927 頃	シ	嘘 発 見 器	1930	福沢 一郎	蜘蛛になったア ラーニエ	シ	シ
パリの画室から	1932	シ	他 人 の 恋	シ	シ	ダンテ暗闇の森 へ	1971	シ
寝 た 裸 婦	1932 頃	シ	科 学 美 を 盲 目 に する	シ	シ	地獄門(右側部 分)	シ	シ
神 話	シ	シ	無 敵 の 力	シ	シ	地獄門(左側部 分)	シ	シ
足をあげている 裸婦	1934 頃	シ	定 め な き 世 に 定 め な き さ よ じ ょ ろ も 明 日 は 誰 が 身 の 事 なら ぬ か は	1931	シ	ネッソの背にの るダンテとヴィ ルジリオ	シ	シ
裸 女	1935	シ	敗 戦 群 像	1948	シ	飛翔する悪魔	シ	シ
ブルターニュの 回想	1947	シ	虚 脱	シ	シ	妖鳥アルピエ	シ	シ
クリスタル壺	1948	シ	顔	1955	シ	氷にとざされた 亡者達	シ	シ
月と道産子	1967	シ	水 瓜 を 持 っ た 男	シ	シ	なぜ貯めるのだ なぜ消費んだ	シ	シ
しのぶ鑑	シ	シ	森 の 人 間 達	シ	シ	アリナータ	シ	シ
金環蝕の若駒	1968	シ	狩 猟	1956	シ	白痴の愛 あや こ	1955	山口 薫
丸沼のほとり	1967	神保 和幸	メキシコの花火	シ	シ	水田を飛ぶカー チス式軽飛行機	1964	シ
漁 家	1898	湯浅 一郎	鳥	1957	シ	竹の林と娘の顔	1966	シ
海 辺 遣 遙	1900	シ	祈 り	1958	シ	無 題	シ	福沢 一郎
立 葵	シ	シ	創 成	1959	シ	妙 義 山	1945	椿 貞雄
海 女	1902	シ	黒 人 聖 歌	1962	シ	林 の 幻 影	1953	山口 薫
モデル午睡	1903	シ	レ ダ	シ	シ	黄 の と も え	1969	オノサト トシノブ
画 室	シ	シ	祝 祭	1963	シ	山口薫肖像	シ	宮本 三郎
徒然(つれづれ)	1904	シ	サヴァンナの彼 方	シ	シ	書	シ	シ
巫 女	1905	シ	よき天使・悪し き天使	1965	シ	万葉歌一首	1950	大沢 雅休
マルス(ベラス ケスの模写)	1906 -09 頃	シ	投 票	シ	シ	深 山 大 沢	1951	シ
西洋婦人編物	1909 頃	シ	ハ - レ ム	シ	シ	鑑 戸	シ	シ
パリのアトリエ にて	シ	シ	あ え ぐ 群 像	シ	シ	万葉歌二首	シ	シ
裸 婦	1912	シ	黒い煽動者	シ	シ			
尹 玉 葉	1913	シ	プラカードを持 つ女	シ	シ			



昭和49年主要美術展覧会(10・11月)

吉原遊郷図 巻 物 琳 派 和歌入り 卯の 花図屏風 騎馬図「仙仏奇 楽」より 歌 仙 絵 けしの花 図 秋 草 図 へちま 図 斉官女 図 萩 図 藤 図 鷺 図 歌 仙 絵 富士山 図 朝顔 図 杜 鵑 図 芙蓉 画 賛 菊 枝 図 秋草に月 図 梅の図 扇面 鹿の図 扇面 朝顔 図 屋形舟 図 美人 図 柳図、楓図 2 幅対 南 画 寒山拾得 図 山水 図 群魚 図 花鳥 図 菊 図 扇面 飲中八仙 図 2 幅対 菊図・蘭図 2 幅対 山水 図 山中訪隠 図 夏晩独釣 図 山水 図 山水 図 山水 図 山水 図	柳花堂 本阿弥光悦 書伝 宗達 画 俵屋 宗達 本阿弥光悦 宗 雪 伊年印 尾形 宗謙 尾形 光琳 尾形 乾山 狩野安信画 尾形乾山賛 立林 何帛 深紅 芦舟 中村 芳中 酒井 抱一 鈴木 其一 彭城 百川 服部 南郭 寒葉 齊 大島 芙蓉 池 大雅 池 玉瀾 皆川 淇園 浦上 玉堂 龜田 鵬斉 岡田米山人 青木 木米 藤木 鉄石	山 水 図 近世洋風画等 青 インコ 図 富士山 図 時計 図 馴 象 図 鯉 図 仏 画 十王図第三番 制吒迦童子 図 文殊菩薩 図 出山釈迦 図 中国墨蹟 法 語 梅 雨 詩 尺 牘 日本の墨蹟・ 消息・詩歌 記 録 切 源 氏 外 題 二 行 書 (雲 閑) (常 慈) 読 永 平 録	富岡 鉄斎 円山 応挙 司馬 江漢 亜欧堂田善 葛飾 北齊 藤原 1364 僧真季 室町時代 狩野 正信 雪深 等沢 南宋時代 蘭溪 道隆 一山 一寧 明時代 中峰 明本 見心 千巖 元長 藤原 定家 明惠 上人 山崎 宗鑑 南北朝時代 虎関 師鍊 乾峰 士曇 室町時代 一休 宗純 桃山時代 春屋 宗園 海山 元珠 江戸時代 沢庵 書画 松花堂 隠元 隆琦 翠 巖 白幽子 白隠 慧鶴 寂 巖 慈雲 尊者 三浦 梅園 良 寛 中院 道村	室町時代 飯尾 宗祇 桃山時代 武野 紹鷗 千利休 近衛三藐院 後陽成天皇 本阿弥光悦 鳥丸 光広 小堀 遠州 松花堂昭乗 千宗旦 松尾 芭蕉 江岑 宗左 疎 安 源 俊頼 伝藤原家信 鳥丸 光広 良 寛 中院 通村 高山辰雄・山本丘人・杉山寧新作展 18-26 兼素洞 原勝四郎展 19-26 日動サロン 東北の美術(特別展・地方文化シ リーズ2東北) 19-11月17 埼 玉県立博物館 7 回北海道秀作美術展 19-11月3 北海道立美術館 18回知求会展 24-30 赤坂・翔雲 画廊 ゾンネンシュテルン展 25-11月9 大阪・画廊・梅谷 近代日本美術巨匠100人展 26-11 月6 愛知県美術館 浜田庄司・目と手展 26-12月1 栃木県立美術館 アンディ・ウォール展 31-11月 12 大丸 11 月 棟方志昂「昂展」 1-6 日本橋・ 東急
--	---	---	--	--

近代日本風土派洋画名作展 1—24

大阪市立美術館

6回日展 1—12月6 都美術館

芹沢銚介の五十年—作品と周辺の品々

2—13 岡山・天満屋

出品目録

- 伊曾保物語六曲屏風 昭和7年
- 杓子菜文藍地袖のれん ≧ 4年
- 静岡四季図二曲屏風 ≧ 8年
- 蔬果文四曲屏風 ≧ 5年
- 桃ざくろ図カルトン ≧
- 野草図袖座布団 ≧ 8年
- 柳文金茶地色模様袖帯 ≧ 6年
- 松竹梅文渡木おやり地夜具地 ≧ 8年
- 竹に花文袖帯 ≧
- 草花文緑地袖帯 ≧
- 松竹梅掛軸 ≧ 12年
- 月刊「工芸」帙(第1巻、第6巻用)袖型染 ≧ 6年  
≧ 12年
- 月刊「工芸」表紙(創刊号12号69号70号)木綿型染 ≧ 6年以降
- わそめゑかたり ≧ 11年
- 絵本どんきほうて ≧
- 壺屋のろくろ師 図黄土地掛軸 ≧ 8年
- 沖縄女三人掛軸 ≧ 14年
- 四季文茶地麻風呂先屏風 ≧ 11年
- 机辺静物図カルトン(裏) ≧ 15年
- 机辺静物図カルトン(表) ≧
- 菱型花図藍地カルトン ≧ 10年
- 丸文藍地カルトン ≧ 15年
- 紅型小襖 ≧ 10年
- 丸紋伊呂波色模様八曲屏風 ≧ 15年
- 小間絵散らし摺り伏せ袖着尺 ≧ 13年
- 小川紙漉村地白袖帯 ≧ 18年
- 花文版染茶地袖帯 ≧ 10年
- 小間絵散らし藍地袖座布団 ≧ 13年
- 苗代川窯掛額 ≧ 14年
- 益子風物図掛軸 ≧
- 沖縄絵図掛軸 ≧
- 沖縄風物図掛額 ≧ 13年

特装木 法然上人絵伝

昭和16年

- 観音像掛額 ≧ 22年
- 私家本 諸職道具紋つくし ≧ 13年
- 私家本 紙を造る人達 ≧ 25年
- 染紙 李朝の品々 ≧ 23年
- ねじり文緑地袖壁掛 ≧ 21年
- 花模様雫色袖帯 ≧ 27年
- 組み文えんじ麻飾布 ≧ 21年
- 結び文桃色縮緬帯 ≧ 27年
- 幾何文朱地袖壁掛 ≧
- 山並模様地白袖帯 ≧ 29年
- 幾何文六曲屏風 ≧ 26年
- 四季図藍地色模様二曲屏風 ≧ 29年
- 苗代川文水色地袖着物 ≧ 30年
- 竹波文地白差し分け着物 ≧ 24年
- 沖縄風物文地白藍取り木綿着物 ≧ 29年
- 宝づくし文緑地袖布団地 ≧ 32年
- 水の字藍地麻のれん ≧ 30年
- 三階松藍地麻のれん ≧ 18年
- 笏文茶地麻部屋着 ≧ 33年
- 伊達けら図袖壁掛 ≧ 34年
- 菱 図 袖 壁 掛 ≧
- いろは文錆朱地黄土掛け御召着物 ≧ 29年
- 立木文黒地袖着物 ≧ 41年
- 山々模様水色地色入り縮緬着物 ≧ 40年
- いろは文紫地花入り袖布団 ≧ 36年
- 短冊文地白山繭飾布 ≧ 35年
- 機道具文地白山繭飾布 ≧
- 嬰文地白袖飾布 ≧
- 赤玉藍玉絞り染木綿飾布 ≧
- 摺りぼかし木綿カーテン地 ≧ 37年
- かめだれ文木綿カーテン地 ≧ 38年
- 津村四季文地白色入り縮緬着物 ≧ 42年
- 布模様地白藍形芭蕉布部屋着 ≧ 34年
- 鯛泳ぐ模様藍地袖部屋着 ≧ 39年
- 沖縄笠団扇模様福木地部屋着 ≧ 35年
- 文字文地白藍染麻部屋着 ≧ 46年

十三妹挿絵集 昭和39年

- 極楽から来た挿絵集 ≧
- 装幀 百鬼園隨筆 ≧ 8年
- 装幀 可否道 ≧ 38年
- 装幀 庶民烈伝 ≧ 45年
- 装幀 武田泰淳中国小説集 ≧ 48年
- 縄文藍どり芭蕉布着物 ≧ 49年
- 太陽文藍地木綿帯 ≧ 30年
- モザイク文地白色入り縮緬着物 ≧ 43年
- 竹牡丹文赤地麻部屋着 ≧ 40年
- 貝尽し文地白色入り縮緬着物 ≧ 39年
- 立木文黄地袖帯 ≧ 41年
- 漁具模様地白藍形芭蕉布着尺 ≧ 33年
- いろは模様もえぎ墨さし六曲屏風 ≧
- 李朝黒地二曲屏風 ≧ 45年
- ねじり文朱地木綿のれん ≧
- 天の字藍地木綿のれん ≧ 40年
- うちわ絵 魚・雨・杉 ≧ 33年
- うちわ絵 つた ≧ 34年
- ちうわ絵 柳 ≧ 28年
- 愛染明王茶地掛軸 ≧ 22年
- 涅槃図色入り掛軸 ≧ 43年
- いろは文差し分け屏風 ≧ 48年
- 法然上人浄土宗開宗八百年記念
- 知恩院莊嚴飾布(知恩院総本山・知恩院承認済) ≧ 49年
- 表紙構成 四本貴資(赤玉藍玉絞り染木綿飾布)
- 誰が袖屏風
- 新当流剣道秘伝書
- 四条流饗御膳
- 奈良絵本 残欠
- 諸国絵馬いろいろ
- 各地方古製羽子板と三春人形
- 郷土玩具群
- 大津絵
- 大津絵
- 長崎絵
- 横浜絵
- 泥絵二種
- 朝鮮古版画

昭和49年主要美術展覧会(11月)

朝鮮民画文字絵	
西欧 ガラス 絵	
メキシコのイコン	
板張羊皮紙古画	
エジプト板画断片	
西欧の古書	
各国の古書	
各国の小品	
英国の椅子 大小	
西欧の椅子	
西欧の机と椅子	
オーストリアの衣裳櫃と各国の染織品	
コプト裂(織と印捺)	
アフリカの押型貫頭衣と草ビロード	
台湾の衣服	
アイヌの衣服	
東北の野良着	
着物各種	
筒描模様の裂	
馬の飾布	
山形の棕櫚蓑その他	
儉儉と車箆筒	
能登の大こね鉢	
総漆の器物	
曲物櫃と菊皿と片口	
朱塗絵の文庫の蓋と食籠	
総漆酒器	
李朝螺鈿篋と盆	
絵高麗蓋物	
容器各種	
ベルシャの硝子瓶	
益子の山水土瓶	
瀬戸の草文石皿	
中国染付釉裏紅山水文皿	
イスパノモレスク鳥文皿	
ピザンチン線彫文鉢	
縄文土器・壺	
タイの先史彩文土器	
中国彩陶の壺	
土俗面	
各国の古道具	
梵字掛軸	
横山大観展 2-25 広島県立美術館	
出品目録	
模写 孔雀明王	1895

模写 観音猿鶴図 三幅対	1895
猿廻し	1892
武蔵野	1895
寂静	1896
無我	1877
飛泉(菱田春草と合作 双幅のうち)	1901
秋の夕(菱田春草と合作 双幅のうち)	シ
曳舟	シ
隠棲	1902
巖上の両雄(下村観山と合作)	1907
菊慈童	シ
牧童	1908
水鏡	シ
楼閣山水(双幅)	1912
五柳先生(六曲一双)	シ
雨声	1915
瀟湘入景(八幅)	1916
巖子陵	1917~21
宇治川絵巻2巻	1919
山窓無月	シ
一文字霊峰図	1925
叭々鳥	1926
秩父霊峰春暁	1928
彼南所見	1930
シンガポール所見	シ
五浦の月	1935
東海の浜	1937
曙色	1930~39
鶉	1939
シ	シ
日本美術院の歌	
冬の海(海に因む十題のうち)	1940
輝く大入瀬	1941
神州之正気(六曲一双)	1940代後半
正気放光	1942
富士図(六曲一双)	1945
瑞祥	1940~47
四時山水	1947
蓬萊山	1948
春の夕	1949
寿	1951
或る日の太平洋(16幅)	1952
霊峰飛鶴	1953
富士に桜	1952

中秋の月	1953
水温む	1954
漁火	シ
不二(絶筆)	1957
大観先生像	
聖山南風筆	昭和32
安田鞞彦筆	昭和33年頃
小林古径筆	昭和16
生誕100年記念・上村松園展 1-23 京都市美術館	
出品目録	
人生の花	明治32年
人粧	明治33年頃
姉妹3人	明治36年
遊女亀遊	明治37年
長夜影	明治40年
月の影	明治41年
虫の音	明治42年
人形つかい	明治43年
花見	シ
螢	大正2年
娘深雪	大正3年
舞仕度	シ
花がたみ	大正4年
月蝕の宵	大正5年
焰	大正7年
楊貴妃	大正11年
待月	大正15年
新春	昭和4年
新母	昭和5年
青春	昭和7年
眉	昭和9年
苑	昭和9年頃
序の舞	昭和10年
雪月花	昭和11年
草紙洗小町	昭和12年
初雪	シ
灯鼓の音	昭和13年
砧	シ
つれづれ	昭和13年頃
風雪	昭和14年
鼓の音	シ
若夕	昭和15年
晴しんし	シ
賞	昭和16年
秋	シ
	昭和17年

雪		昭和17年	
晩		昭和18年	
朝	秋	シ	
静		シ	
新	蝋	シ	
献	灯	昭和19年	
雪	中美人	昭和21年	
深	き秋	昭和23年	
スケッチ・縮図帖			
特別展「昭和の洋画—戦前の動向」			
3—27 京都市美術館			
出品目録			
馬		1938	巖 光
鳥		1940	シ
静	物	1941	シ
蝶		1942	シ
梢	のある自画像	1944	シ
郷	愁	1938	浅原 清隆
多	感な地上	1939	シ
ア	トリエ	1933	飯田 操朗
祭	・ニワトリ	1935	シ
キ	ューバ島の反	1933	石垣栄太郎
抵	抗	1937	シ
K.	K. K.	シ	シ
流	れの部分	1933	伊藤久三郎
振	子	1937	シ
風	景	1926	井上長三郎
静	物	1935	シ
白	布を纏える	1928	伊原宇三郎
室	内群像	1928	シ
テ	レーズの像	1931	内田 巖
イ	ギリスの女	シ	シ
坐	裸婦	1933	梅原龍三郎
松	と波	1938	シ
雲	中天壇	1940	シ
紫	禁城	シ	シ
眼	りの理由	1936	瑛 九
二	人の女	1927	海老原喜之助
雪	山と樵	1930	シ
芸		1936	シ
告	別	1929	大月 源二
滞	船	1927	岡 鹿之助
積	雪(地藏尊の ある雪)	1943	シ
工	場へ(復原図)	1929	岡本 唐貴
小	林多喜二死面	1933	シ
雪	の山	1940	小川原 脩
大	北海道	1941	シ

農	夫の家族	1932	川上 律江
ス	プニール	シ	川口 軌外
少	女と貝殻	1934	シ
無	題	1935	シ
赤	津陶工の家	1941	北川 民次
南	国の花	シ	シ
海	への道	1942	シ
章	表	1937	北脇 昇
探	索者	1938	シ
眼	られぬ夜のた めに	シ	シ
戯	画ダンスホー ル	1930	木村 荘八
階	段の裸婦	1929	国吉 康雄
ス	ケート	1931	シ
誰	かが私のポス ターを破った	1943	シ
類	祭 図	1931	小糸源太郎
惜	春 賦	1932	シ
卓	上の静物	1928	小出 楯重
民	族病理学(折 り)	1937	小牧源太郎
多	義 図 形	1940	シ
カ	ーニユの小橋	1927	児島善三郎
レ	ースをきる女	昭和 初期	シ
無	衣の女	1932	シ
モ	ラン風景	1928	佐伯 祐三
靴	屋	シ	シ
郵	便配達夫	シ	シ
午	後	1932	佐分 真
Co	mposition	1926	坂田 一男
N	ature Mo- rte	大正 末期 ~ 昭和 初期	シ
熟	稲	1927	坂本繁二郎
自	像	1923 ~ 1930	シ
壁	画下 図	1943	シ
歯	科 医	1928	清水 登之
山	麓の家族	1932	シ
跛	行	1937	杉全 直
轍		1938	シ
グ	レコイベリア の首	1931	須田国太郎
少	女	1934	シ
村		1937	シ
筆	石 村	1938	シ
芳	働 者	1930	須山 計一
信	州の畑	1936	鳥海 青児
北	京天壇	1941	シ

赤	色衣を着けた る婦人	1927	中野 和高
大	根と小娘	1933	中山 巖
ブ	ラウダを持つ 蔵原惟人	1928	永田 一脩
夜	のテラス	1930	野口弥太郎
フ	レンチカンカ ン	1932	野口弥太郎
門		シ	シ
内	田伯肖像	1937	野田 英夫
バ	ス 内	シ	シ
メ	リーゴーラン ド	シ	シ
ブ	ルックリン郊 外	シ	シ
都	会	1939	シ
風	景		
青	の 静 物	1934 ~36	長谷川三郎
蝶	の 軌 跡	1937	シ
田	端 電 信 所	1926	長谷川利行
風	景	1928	シ
襲	光氏の肖像	1929	シ
岸	田 国 士 像	1931	シ
夜	景	1935	シ
四	人の裸婦	1935	シ
蜃	気 楼	1940	浜田 浜雄
無	題	C. 1940	シ
裸	婦	1931	林 武
裸	婦	1936	シ
三	十才の自画像	1928	福沢 一郎
マ	イディア	1931	シ
死	に対する生命 の勝利	1930	藤田 嗣治
公	園の雪	1940	シ
赤	い帽子の少女	1926	前田 寛治
ベ	ッドの裸婦	1928	シ
新	緑 風 景	1929	シ
街		1938	松本 竣介
街		C. 1940	シ
郊	外	1940	シ
橋		1941	シ
ニ	コライ堂の通 り	C. 1941	シ
婦	人 像	1941	シ
ニ	コライ堂	C. 1941	シ
運	河	C. 1942	シ
五	人の家族		シ
ニ	コライ堂遠望	1928	三岸好太郎
海	と 射 光	1934	シ

昭和49年主要美術展覧会(11月)

雲の上を飛ぶ蝶	1934	三岸好太郎	ディンドーはキスの小部屋へ行く	1974	作品B-7	1973
ウルバン	1937	村井 正誠	○アルバリー、ジョン・ロデリック		作品B-12	1974
CITE	1938	シ	青の神秘	1973	作品C-1	シ
モ デ ル	1933	安井曾太郎	深い茶色	シ	○ファンプストン、ロドニー・アーサー	
柿	1937	シ	盾	シ	ゼナー近くの家—早春のコンウォール	1974
女 と 犬	1940	シ	○青山光佑		都市風景 No. 2	シ
黒 曜 石	1937	山口 薫	絵画思考—光の知覚現象	1974	都市風景—ピムリコの冬	シ
蝸 壺 など	1939	シ	絵画思考—四つのヴァリエーション	シ	○ホーレ、ソムナス	
人	C. 1930	山口 長男	○アーチアンカ、プリーチャ		傷 20	1972
庭	1936	シ	無 題 1	シ	傷 21	シ
形態第3番フォトグラム	1937	山口 正城	無 題 2	シ	傷 22	シ
習 作	1941	シ	無 題 3	シ	○井田 照一	
作品(イ)	1935	吉原 治良	○バルデシン、ジョージ		“The spy surrounds the spy”—Box	1974
作品	1936	シ	階段の演技者	1973	Conception box	シ
ヨーロッパの危機	1936	米倉 寿仁	演技者たち	1974	Orange sister	シ
1回豊福知徳展	5-16	東京画廊	戸口のひと	シ	○上 矢 津	
矢崎虎夫彫刻展	5-10	三越	○パーカー、ジョージ		ブラック・アウトクロップ-2	シ
川上澄生名作展	6-12月15	リッカー美術館	運動靴	1973	ブラック・アウトクロップ-3	シ
小山富士夫作陶十年展	7-9	壺中居	ロックンロールのスター	1974	ブラック・アウトクロップ-3	シ
河井寛次郎遺作展	8-13	小田急	もしもあなたが本当の彼女を知ったら	シ	○コンカクル、イッティ	
桜田精一自選展	8-22	アートサロン銀座ノバ	○張 義		決定 I	1973
5回日動展(創業47周年)	9-20	日動画廊	誌	シ	決定 II	シ
陳列館改装記念展	11-12月14	東京芸大陳列館	九 朱	シ	均 等	シ
福沢一郎展(厭離穢土・欣求浄土)	12-24	東京セントラル美術館	門	シ	○金 丘 林	
大伴二三弥作品展(ステンドグラス)	12-24	東京セントラルサロン	○鄭 燦 昇		帷 巾	1974
中村正義個展(顔の自伝)	13-22	ギャラリー・ヤエス	木 の 線A	シ	座 布 団	シ
鳥海青児展	14-12月 8	大阪・梅田近代美術館	木 の 線B	シ	○木村 秀樹	
9回東京国際版画ビエンナーレ展	16-1975. 1月12	東京国立近代美術館	木 の 線C	シ	えんぴつ2-1	シ
●第1地域/アジア、オーストラリア、ニュージーランド			○クリーヴィン、パリー		えんぴつ2-2	シ
○アルパノ、ライムンド・R			跳び込み台の二少女	1973	えんぴつ2-3	シ
ペンギン・オラゲラのボディ・プリントの本	1974		変 装	シ	○ナイト、ウォレン	
砂に足をしるせ	シ		凌 辱	1974	第14次元を通過	シ
			○クラターバック、ジョック		母を讃える	シ
			噴 水	1973	すべて自立するものに	シ
			聖アンドレアの罪 No. 1	シ	○コック、ユー・プア	
			聖アンドレアの罪 No. 2	シ	“明確な幻想”シリーズ-2	1973
			○クーラハン、ケイト		“1+1=1”シリーズ-4	シ
			緑 (へり)	1972	道教的組合わせ	シ
			移 民 No. 1	1974	○李 禹 煥	
			移 民 No. 2	シ	一回目二回目三回目(A)	1974
			○ドローブリッジ、ジョン		一回目二回目三回目(B)	シ
			赤 い 雲	1972	始めから終りまで	シ
			大きな風景	1973		
			窓	シ		
			○海老原 暎			



○リースワン、ヴィブーン		MEMO	1974	“世界地図”下図部分	1972
色の調和 No. 5	1973	鉛筆—74—Ⅲ	シ	コラム No. 1(不思議なパン)	1973
色の調和 No. 9	シ	○横尾忠則		7つの“SOMBA”	シ
色の調和 No.10	シ	版画集「聖シャンバラ」より		○ファヨー、ヤン	
○梁 巨 廷		土 其 天	シ	Csik B 4/20	シ
偶 然	シ	土 其 人	シ	Csik C 4/20	シ
空 積	シ	火 其 地	シ	Csik D 4/20	シ
連 接	シ	○吉田克朗		○ハンヌラ、シモ	
○ロン、ティエン・シー		Work“45”	シ	偉大なる時	1972—73
まだ、だが起る	シ	○ザリーナ		田園風景	シ
死霊が我らを笑っている	シ	春によせる詩	シ	神秘的な観察者たち	シ
舌から落ちた卵	1974	無 題	シ	○フンデルトワッサー、フリーデン	
○ルツ、アルトゥーロ・R		家族の肖像	シ	スライヒ	
エンボスメントⅠ	1972	●第2地域/ヨーロッパ、アフリカ、中近東		緑の力 作品690	1972
エンボスメントⅡ	1973	○アルヴィアーニ、ジェトトリオ		版画集「緑の涙」より、春雨はかなたに 作品692A	シ
エンボスメントⅢ	シ	スペクトル“青への浸透”1	1972—73	メドウマン作品728	1974
○マドック、ビー		スペクトル“青への浸透”2	シ	○イオネスク、ヴァレンティン・Th	
投 影	1972	スペクトル“青への浸透”3	シ	停止した時—車室	1973
影	1973	○バイエレ、トマス		停止した時Ⅳ	シ
白 い 影	1974	リミニの港Ⅰ	1974	○クラフト、イヴォンス	
○ミテルマン、アラン		リミニの港Ⅱ	シ	形と空間SⅡ No.29z	1974
無 題 1	1972	○ブルウィッツ、ニルス		形と空間SⅡ No.32z	シ
無 題 2	シ	巖気楼Ⅰ：潮のさす区域	シ	形と空間SⅡ No.35b	シ
無 題 3	シ	巖気楼Ⅱ：ぶらんこ—ヘロルド湾	シ	○クチュロヴァ、アレナ	
○ニースン、ジョン		巖気楼Ⅲ：消える遊歩道—インド洋	シ	海 遊 び	1972 1974
結び目9	シ	○カストロ、ロルデス		上 空	シ
森の火車	シ	影絵植物誌—トマト	1973	○ラーホビーチ、アンドジェイ	
太陽と雨3	1973	影絵植物誌—マデイラの誇り	シ	私 自 身 Ⅰ	1974
○二村裕子		影絵植物誌—朝顔	シ	私 自 身 Ⅱ	シ
ZONE 74—10—26Ⅰ	1974	○チリダ、エデュワルド		私 自 身 Ⅲ	シ
ZONE 74—10—26Ⅱ	シ	AIKAITZ	1972	○ラービン、レオンハルド	
ZONE 74—10—26Ⅲ	シ	CAU	シ	創 造 Ⅰ	1974
○野田哲也		HAS ALCA	1973	創 造 Ⅱ	シ
日記：1973年10月25日	シ	○ドワスネ、ジャン		○ルギンビュール、ベルンハルト	
日記：1974年6月22日	シ	セラヴィ散文詩集によせて	シ	KABIO 1	1973
日記：1974年9月1日	シ	無 題	1974	歩く男(第1版)	1974
○センバーグズ、ジャン		交 差	シ	歩く男(第2版)	シ
丘	1973	○ディオハンディ		○マラジュ、アドリアナ	
窓	1974	無 題 1	シ	ス ズ キ	1973
オレゴン大学女子会館	シ	無 題 2	シ	え に し だ	シ
○島 州 一		無 題 3	シ	遺 体 安 置 所	1974
シートとふとん	シ	○ファールシュトレーム、オイヴィンド		モレレ、フランソワ	
○ショマリー、アルバー				0°、90°の線の網目、 間隔75mmと85mm	1972
ピンぼけ	1973			172°の角度をもった 平行線	1973
雪だるま	シ				
○鈴鹿芳康					
焦 点	1974				
○若江漢字					
PRINT	シ				

昭和49年主要美術展覧会(11月)

0°、30°、90°の線の網目	1973	○ヴェリチコヴィッチ、ウラディミール		署名 2	1973
○オーマン、ヴァレンティン		図版K/sによる資料と記録	1974	署名 3	シ
FR. 28. 12. 1973 I	シ	跳ぶ男/E.Muybridgeによる	シ	○カサノバ、テレサ	
FR. 28. 12. 1973 II	シ	誕生 図版M/s	シ	聖像破壊 1	1972
FR. 28. 12. 1973 III	シ	○ヴィント、マレ		聖像破壊 2	シ
○ライネル、アールスルフ		バルコニー	1973	○デミルヒアン、ホルヘ	
私の祈り	1972-73	門 II	1974	女は女	シ
自画像	シ	木と建物	シ	“ピエタ”への反逆	シ
顔をかくす	シ	○フォステル、ヴォルフ		主人の声に耳をかさない	シ
○リヒター、ゲルハルト		ハプニング“カルヴァリオ”	シ	○ディアス、アントニオ	
色面(色の順列組合わせ)	1974	Berlin-Fever	シ	芸術的イラスト—社会戦略(モデル)	1973
○スパカル、ルイジ		Fluxus	シ	○ディクソン、ジュニファー	
トリエステのカルソ	1972	○ヴィナー、ゲルト		肉体感覚:貝殻、ピニール	1974
リジェラの殉教者に捧ぐ	シ	ニューヨークの谷間	1972	肉体感覚:口	シ
鉄の門	1974	ペンシルヴァニア鉄道	シ	肉体感覚:乳房、髪、口	シ
○シュテイ、ミロスラヴ		ホボケンのフェリポート	シ	○ダイン、ジム	
セリグラフ 74 I	シ	第3地域/南北アメリカ		弁髪(第1版)	1973
セリグラフ 74 II	シ	○アルカンタラ、ペドロ		ランボー、和紙の上の錬金術	シ
○シュシュコ、フェリクス		倒れた男 No. 1	1973	5本の絵筆(第6版)	シ
一週間の8日間、又は6×4+24cm <sub>2</sub> の印刷物—アート・ボックス No.5	1973-74	倒れた男 No. 2	1974	○エステス、リチャード	
“FIRE(火)”の6つの側面—アート・ボックス No.6	1974	倒れた男 No. 3	シ	無題 1	1972
○テランダー、パー・グナ		○バリオス、アルバロ		無題 2	シ
男	1972	新聞による大衆版画1	シ	無題 3	シ
家族	シ	新聞による大衆版画2	シ	○フラスコニ、アントニオ	
石の上の男	1973	○ベデル、ジャック		歌 I	1974
○ティリヤー、ウィリアム		燃える老婆 1	シ	歌 II	シ
強烈な力	1974	燃える老婆 2	シ	歌 III	シ
クロッシェ	シ	燃える老婆 3	シ	○ギリアム、サム	
風景	シ	○ベネディト、ルイス・フェルナンド		波	1972
○ティルスン、ジョー		人造魚の設計図 1	1974	火	シ
命名と語源	1973	人造魚の設計図 2	シ	ナイール	シ
海神オセアヌスとその妻テティス	シ	○ボノミ、マリア		○ゴメス、ファン・カルロス	
青い鞆の不可解な法則	シ	我らの眺	1973	ヴァリエーションII少女	1974
○ティンゲリー、ジャン		考古学	シ	悲しみと愛をもって	シ
無題 1	1972	万物の母、大地	シ	郷愁	シ
無題 2	1972、1973	○ブラウン、ヘルマン		○グッドウィン、ベティ	
混沌 a、b	1973、1974	収穫の重み	1974	2枚のチョコッキ	1972
○ヴァザルリ、ヴィクトル		プサンの絵のある静物 I	シ	ボイスのチョコッキ(第2版)	シ
ゲシュタルト—緑	1971-72	プサンの絵のある静物 II	シ	つぶれたチョコッキ	シ
V.P.102(VEGA POK)	1972	○カムニツァー、ルイス		○ルヴィン、レ	
アルバム“謎”より	1974	署名 1	1973	ペビーの入江Y.R.B.B.	1973
ONDOCTO-FA				ジョン・コブランの手紙	1974
				時の試練	シ

○ルウィット、ソル	
無 題 1	1973
無 題 2	シ
無 題 3	シ
○マンゴールド、ロバート	
無 題 1	シ
無 題 2	1973—74
無 題 3	シ
○マザウェル、ロバート	
無 題 1	1973
無 題 2	シ
無 題 3	1974
○オペラール、パプロ	
貴人の年代記 1	シ
貴人の年代記 2	シ
貴人の年代記 3	シ
○大竹登美江	
作 品 A	シ
作 品 B	シ
作 品 C	シ
○ボンス、イサベル	
壁に映る青い影	シ
ハネムーン	シ
接 吻	シ
○ボルテル、リリアナ	
無 題 I	1973
無 題 II	シ
無 題 III	シ
○ラミレス=アマジャ、アルノルド	
猛獣使いの自画像	シ
パンチョ・ロペスに捧ぐ I	シ
パンチョ・ロペスに捧ぐ II	シ
○ラウシェンバーク、ロバート	
破 く 1	1972
破 く 2	シ
○ラジョ、オマル	
ヌードピリア XXIV	1973
ヌードピリア XXX	シ
ヌードピリア XXX	シ
○ローダ、ファン・アントニオ	
信心深い死者たちの恍惚-3	シ
信心深い死者たちの恍惚-9	1974
信心深い死者たちの恍惚-11	シ
○ロンベルグ、オスヴァルド	
風 景 I	1973
風景の反復	シ

中 断	1975
○ライマン、ロバート	
無 題 1	1972
無 題 2	シ
無 題 3	シ
○セギ、アントニオ	
魔法使いの目	シ
歴史の標本	シ
大いなる収穫	シ
○ソニアー、キース	
ビデオ・スチール・スクリーン III	1973
ビデオ・スチール・スクリーン V	シ
○ソト、ヘスース・ラファエル	
ARAYA No.1	1974
ARAYA No.2	シ
ARAYA No.3	シ
○ウリブル、ニコラス	
きりんとパンナム・ビル	シ
7つの着色法	シ
○ワイリー、ウィリアム・T	
Moon Mullings	1972
隠れ場所よありがとう	シ
小さな隠れ場所	1973
○セラヤ、ダニエル	
ファイルと記載 I	1974
ファイルと記載 II	シ
ファイルと記載 III	シ
原勝郎展 16—12月15 神奈川県立近代美術館	
出品目録	
パリの街	1933
モンマルトル	1935
街(フランス)	シ
建物(シ)	シ
セーヌ河畔	シ
セーヌ河畔	シ
建物(フランス)	1936
風景(フランス)	1937
パリの街角	シ
風景(フランス)	シ
教 会	1938
教会のみえる風景	シ
橋(ベルギー)	シ
風景(ベルギー)	シ
パスツール通り	シ
テームズ河畔	シ
風 景	1939
ケイ・ケラマン	シ

枯木のある風景	滞欧時代
木の建物	シ
街灯のある風景	シ
建物(フランス)	シ
夫人像	シ
村の樹(フランス)	シ
窓	シ
パリの街	シ
パリの街角	シ
田舎の教会	シ
街	シ
風 景	シ
静物(りんご)	シ
ノートルダム寺院	シ
村(フランス)	シ
建物(フランス)	シ
建物(フランス)	シ
横向きの夫人像	シ
郊外の村	シ
村の家	シ
村の教会	シ
パリの街	1948
丘と畑	シ
丘	シ
丘と畑	シ
丘と畑(A)	シ
田園風景	1949
コーモーひき	シ
洋 梨(A)	シ
早 春	シ
洋 梨	シ
田 園(A)	シ
初 秋	シ
静 物(柿)	1950
丘と畑	1951
りんご畑	1953
森(A)	1955
森(B)	シ
森	シ
森	シ
森(C)	シ
森(D)	シ
風 景(B)	シ
山(B)	シ
京 橋	シ
丘	シ
山	シ
隣りの家	シ
樹	シ
山	シ

昭和49年主要美術展覧会(11・12月)

樹 1955  
 橋と建物 シ  
 村道 シ  
 椅子と花 1956  
 田園(B) 1958  
 丘と畑(C) シ  
 川岸 1960  
 風景(C)(野猿峠) 1963  
 樹 年代不詳  
 丘 シ  
 森林 シ  
 林 シ  
 畑 シ  
 畑 シ  
 静物(洋梨と壺) シ  
 木のある風景 シ  
 果物 シ  
 壺のある静物 シ  
 畑 シ  
 森林 シ  
 森 シ  
 ぶどう シ  
 果物 シ  
 田園風景 シ  
 農村 シ  
 山 シ  
 山 シ  
 山魚林 シ  
 樹樹樹 シ  
 樹樹樹 シ  
 裸婦 シ  
 樹樹樹 シ  
 静物 シ  
 樹樹樹 シ  
 果物 シ  
 池森 シ  
 山樹山 シ  
 山樹山 シ  
 池と空物 シ  
 静物 シ  
 森 シ  
 山丘 シ

田園風景 年代不詳  
 田園風景 シ  
 森 シ  
 農家 シ  
 山 シ  
 樹 シ  
 山 シ  
 山 シ  
 花と果物 シ  
 風景 景 シ  
 風景 景 シ  
 山 シ  
 風景 景 シ  
 静物(絶筆) 1966  
 風景(素描・油彩) 1931  
 三田康遺作展 18—22 資生堂ギャラリー  
 2回豊福知徳展 18—30 東京画廊  
 特別展示・前田青郵作「細川ガラシ  
 ャ夫人像」(ヴァチカノ現代美術館  
 に寄贈) 19—12月1 東京国立近  
 代美術館  
 松本竣介遺作展 20—12月20 渋谷  
 キッド・アイラック・コレクション  
 ・ギャラリー  
 青山義雄新旧対比展(東京展) 25—  
 30 フジカワ画廊東京展  
 村井正誠教授作品展 25—12月7  
 武蔵野美術大学美術資料図書館  
 熊谷守一近作展 27—12月7 ギャラ  
 リー・ムカイ  
 柳原義達展(東京展) 27—12月14  
 現代彫刻センター  
 赤毛の女 1956 ブロンズ  
 黒人の女 シ シ  
 バルザックのモ  
 デルたりし男 1957 シ  
 立女 シ シ  
 鳩をもつ女 1958 シ  
 女の首 シ シ  
 道標 = 鳩 1962 シ  
 猫 1965 シ  
 道標 = 鴉 1967 シ  
 道標 = 鴉 1968 シ  
 道標 = 鳩 1972 シ  
 道標 = 鳩 シ シ  
 道標 = 鳩 1973 シ  
 道標 = 鳩 シ シ  
 道標 = 鳩 シ シ  
 道標 = 鳩 シ シ  
 道標 = 鳩 1974 シ

道標 = 鳩 1974 ブロンズ  
 道標 = 鳩 シ シ  
 デッサン 20点

12 月

若尾和呂展 3—15 東京セントラ  
 ル美術館  
 ドレスデン美術館所蔵・ヨーロッパ  
 絵画名作展 3—1975・1月26  
 京都国立博物館  
 G・ルオー・ミゼレーレ展 5—21  
 アートサロン銀座ノバ  
 1回陶芸秀作展 9—14 和光  
 ウォルター・オルナー展 9—28  
 ギャラリー・エステル  
 白樺派とその周辺—書画展 9—30  
 吉井画廊  
 38回大潮会展 10—26 都美術館  
 開館記念・北九州市立美術館所蔵品  
 展 14—1975・1月19 北九州市  
 立美術館  
 日和崎尊夫自選展 23—30 ギャラ  
 リー・ヤエス

## 〈古美術〉

## 1 月

- 新春特別名刀展 4—2月17 刀剣博物館  
 特別陳列「十二天画像」 4—2月11 京都国立博物館  
 特別陳列「神像と狛犬」 4—3月10 京都国立博物館  
 キリシタン美術の再発見—西洋と日本の出会い 4—2月3 京都国立近代美術館  
 王朝文化の華「百人一首展」 4—11 三越大阪店  
 毛利輝元公三百八十年「広島城開府記念展」 4—9 天満屋広島店  
 能装束・能面・刀剣・近代名士書跡展 5—3月31 大倉集古館  
 松永記念館茶道名品展 5—29 椿山荘美術館  
 特別陳列「文楽と歌舞伎」 5—2月28 大阪市立博物館  
 異国風俗版画展—みたと長崎・横浜・神戸— 5—27 神戸市立南蛮美術館  
 仏教の美術展 5—2月3 大和文華館  
 ローマ・エトルスクの壺と彫刻 6—2月11 大阪市立美術館  
 早春白梅展 6—3月24 逸翁美術館  
 茶器茶掛展 8—20 根津美術館  
 冬季展 8—3月15 畠山記念館  
 京焼の名陶展 11—3月24 滴翠美術館  
 古丹波を中心とした県内陶器展 11—31 兵庫県陶芸館  
 マヤ文明の秘宝展 12—27 伊勢丹新宿店  
 桃山窯茶陶展 15—20 三越大阪店  
 新遺跡出土資料展 20—2月8 佐賀県立博物館  
 特別展「中世のよらい—威毛の美—」 26—2月24 奈良県立美術館  
 山口県の仏教美術展「仏教彫刻」 26—2月17 山口県立山口博物館  
 ほとけの里「国東秘宝展」 26—2月

## 5 小倉・井筒屋

## 2 月

- 東寺百合文書展 1—21 京都府立総合資料館  
 江戸時代の洋風版画展 1—24 神戸市立南蛮美術館  
 日本の古代版画展—浮世絵以前の世界— 2—27 浜松市美術館  
 特別展「日本刀剣のあゆみ」 2—24 宮崎県総合博物館  
 新収蔵品展 2—3月30 山形県立博物館  
 特別陳列「回想の清方 その二」 5—3月21 サントリー美術館  
 描線の美展 5—3月17 山種美術館  
 日本の陶磁展 6—3月17 大和文華館  
 特別展観「法然上人絵伝」 7—3月10 東京国立博物館  
 ベルリン国立博物館所蔵名作浮世絵展 9—18 リッカー美術館  
 大名の婚礼調度展 9—3月17 徳川美術館  
 特別陳列「唐津—その美と歴史—」 10—3月31 京都国立博物館  
 特別陳列「鞍馬寺の経塚遺宝」 10—3月10 京都国立博物館  
 中国古陶磁展 19—4月14 出光美術館  
 考古・民俗展 20—9月15 沖縄県立博物館  
 日本古美術展—くらしの中の美— 23—3月24 茨城県立美術博物館  
 沢庵展—沢庵とその周辺— 23—3月24 BSN新潟美術館

## 3 月

- バクダット 国立博物館の秘宝「ティグリス・ユーフラテス文明展」 1—4月14 東京国立博物館  
 大覚寺障壁画と嵯峨流華展 1—24 香川県文化会館  
 桃の節句展 1—31 瀬戸内海歴史民族資料館  
 加賀の職人展 2—24 石川県美術館

- 広島県のやきもの展 2—17 広島県立美術館  
 世界のガラス絵展 3—27 浜松市美術館  
 特別展「沖縄民芸展」 3—6月30 大阪日本民芸館  
 春季展「近世日本の絵画と中国陶磁」 3—7月14 颯川美術館  
 刀剣展 5—31 神戸市立南蛮美術館  
 鍋島藩家展 5—24 佐賀県立博物館  
 解体新書刊行200年記念及びシーボルト長崎開塾150年記念「近代日本のあけぼの」 10—4月14 大阪市立博物館  
 春季展「李朝の陶磁」 15—4月21 白鶴美術館  
 岡山県の歴史と文化 15—10月31 岡山県立博物館  
 特別展「昔の旅」 16—4月14 埼玉県立博物館  
 館蔵名品展「緬文から明治まで」 17—4月16 石川県美術館  
 第38回展「鎖国と西洋」 20—6月29 天理ギャラリー  
 所蔵名品展 20—4月21 大和文華館  
 浮世絵に描かれた神奈川—その昔と今— 21—3月31 神奈川県立博物館  
 芭蕉と奥の細道展 21—4月10 秋田市美術館  
 舞妓の美—日本の抒情と造形— 23—4月29 山種美術館  
 中国古美術名品展 23—5月29 藤田美術館  
 春の特別展「慶長の美」 30—5月12 サントリー美術館

## 4 月

- 日光重宝展 1—6月30 東照宮宝物館  
 装身具と化粧道具 1—5月30 静岡市立登呂博物館  
 久能山の歴史展 1—5月10 久能山東照宮博物館  
 世界のガラス絵展 1—5月12 浜松市美術館

南海の土器と緋 1—15 小原流芸術参考館  
 水墨画と漆芸展 1—9月27 正木美術館  
 新指定国宝・重要文化財特別展観 2—11 東京国立博物館  
 開館十周年記念展 2—6月15 畠山記念館  
 美人画展 2—29 リッカー美術館  
 春期特別展 2—5月26 刀剣博物館  
 発掘された房総—東京湾東岸の古墳— 2—5月19 千葉県立上総博物館  
 春季展観「芭蕉・蕪村展」 2—6月9 逸翁美術館  
 日本の風景—北斎と広重— 4—28 神奈川県立博物館  
 近世日本洋画の流れ「南蛮画と紅毛画」 5—26 神戸市立南蛮美術館  
 特別陳列「瓦と塙」 6—29 京都国立博物館  
 信州の白隠展 7—5月26 長野県信濃美術館  
 館蔵浮世絵版画展 13—5月6 奈良県立美術館  
 中国古陶磁展 16—5月26 出光美術館  
 大工道具展 17—6月17 町田郷土資料館  
 特別展「近江の金工—仏具を中心として—」 17—5月3 滋賀県立琵琶湖文化館  
 日本陶芸の源流—猿投古窯— 20—5月16 石川県美術館  
 但馬の歴史と文化 21—6月2 大阪市立博物館  
 中国陶磁展 21—5月26 BSN新潟美術館  
 岡山県の歴史と文化 22—6月24 岡山県立博物館  
 古美術茶道具展 23—28 三越本店  
 特別展「観音の絵画—その美と歴史—」 25—5月26 大和文華館  
 名刀展—古備前—・文字を中心として— 25—5月14 致道博物館  
 漢代の美術展 27—5月26 大阪市立美術館  
 尾張徳川家の茶道具展 27—6月2 徳川美術館

日本洋画の源点と開化 27—5月19 兵庫県立近代美術館  
 能装束展 27—6月3 岡山美術館  
 兵庫のやきもの—古丹波のながれとしごと— 28—5月19 伊丹市立博物館  
 高松塚古墳壁画模写特別公開 28—5月5 奈良国立博物館  
 春季特別展「仏像と像内納入品展」 28—5月26 奈良国立博物館  
 徳川將軍歴代の遺宝「久能山東照宮展」 28—5月19 鳥根県立博物館

5 月

つれづれ草展 1—30 金沢文庫開館40周年記念展「中国の古陶磁」 1—31 白鶴美術館  
 苗代川焼黒薩摩展 1—31 日本工芸館  
 北の装い展 1—6月30 函館市立函館博物館  
 幕末明治の浮世絵展 2—6月2 リッカー美術館  
 風絵展 2—6月23 山形県立博物館  
 中国陶磁展—漢・唐— 3—26 BSN新潟美術館  
 青梅市の名宝展 11—6月20 青梅市郷土博物館  
 特別陳列「水墨障壁画」 14—6月30 京都国立博物館  
 特別陳列「守屋孝蔵氏蒐集古経」 14—6月30 京都国立博物館  
 特別展「近江先覚者シリーズ4 伝教大師最澄」 14—6月2 滋賀県立琵琶湖文化館  
 中国の陶磁展 16—6月23 五島美術館  
 特別陳列「津軽こぎん」 21—6月23 サントリー美術館  
 特別展「倉吉の古代展」 24—6月23 倉吉市立倉吉郷土館  
 狩野探幽とその周辺展 25—6月16 京都市美術館  
 朝鮮の美術 30—7月21 大和文華館

6 月

芭蕉展 1—30 出光美術館  
 名刀展—古代から現代まで— 1—19 石川県美術館  
 近世百年中国絵画展 1—30 本間美術館  
 中国の漆芸展 6—7月15 岡山美術館  
 特別陳列「小袖と人形」 9—7月10 大阪市立博物館  
 近江のやきもの展 11—7月30 滋賀県立琵琶湖文化館  
 中国陶磁展 16—8月25 逸翁美術館  
 越後の書展 16—7月21 BSN新潟美術館  
 高松塚古墳壁画模写特別展 18—23 仙台市立博物館  
 夏季展「染付・青磁と南画」 20—9月9 金沢市・中村記念館  
 日本陶磁のふるさと「古伊万里展」 23—7月7 佐賀県立博物館  
 ティグリス・ユーフラテス文明展 26—7月12 石川県美術館  
 日本のガラス展—古代から現代まで— 29—7月28 神奈川県立近代美術館

7 月

新収蔵品展 1—13 東京芸術大学  
 古代中国青銅器と鏡展 1—31 寧楽美術館  
 近世中国渡来画人とその影響 1—31 本間美術館  
 高松塚古墳壁画模写特別公開 2—11 東京国立博物館  
 特別陳列「長谷寺展」 2—28 奈良国立博物館  
 狩野派絵画特別展 5—9月29 大倉集古館  
 夏の所蔵品展 5—9月23 高輪美術館  
 特別陳列「ふるさとのこまいぬ展」 10—8月31 京都府立丹後郷土資料館  
 日本と中国—文化交流の2000年— 13—8月11 大阪城天主閣

和鏡展 15—10月31 天理ギャラリー  
山形の戦国時代武将展 17—29 山形美術博物館  
中国の陶磁展 18—9月27 岡山美術館  
足軽胴と陣笠展 20—9月8 埼玉県立博物館  
特別展「古代の東国」 20—8月31 大阪市立博物館  
密教秘宝展 21—8月10 常楽寺美術館  
地図のさまざま展 27—9月8 神奈川県立博物館  
鉄砲と武具展 27—8月29 徳川美術館  
加賀の工芸 27—9月22 石川県美術館  
琉球古紅型展 27—9月1 倉吉市立倉吉郷土館  
明治維新展 28—8月18 函館市立函館博物館  
明治の浮世絵 30—8月18 リッカー美術館  
特別展観「雪村」 31—9月1 東京国立博物館  
信濃の弥生文化展 1—9月1 松本市・日本民俗資料館  
九州の古瓦と寺院 2—10月31 九州歴史資料館  
九州所在中国・朝鮮の仏教美術遺品展 2—9月15 九州歴史資料館  
オリエンタ展 3—9月29 出光美術館  
特別陳列「信濃路」 13—9月23 サントリー美術館  
近代の茶人たち 16—9月29 五島美術館  
特別展「京の社寺名宝」 24—9月23 京都国立博物館  
館蔵東洋陶磁展 29—9月29 徳川美術館

9 月

写経展 1—29 根津美術館  
日本陶磁展 1—10月20 逸翁美術館

第6回日本名刀展 1—23 本間美術館  
広重肉筆・武相名所風景画展 3—29 リッカー美術館  
所蔵名品展 4—10月20 大和文華館  
古墳時代の茨城 5—11月15 茨城県歴史館  
香合展 7—10月27 滴翠美術館  
八幡宮古神宝展 10—22 鎌倉国宝館  
中華人民共和国明清工芸美術展 14—29 三越本店  
早雲寺の遺宝 14—29 神奈川県立博物館  
特別展「木の民具一割りもの・挽きもの・曲げもの」 14—10月27 大阪市立博物館  
中国の青銅器 15—11月24 白鶴美術館  
秋季名品展 15—12月15 香雪美術館  
茶碗の名作と茶箱展 21—11月30 藤田美術館  
南蛮美術展 22—11月24 神戸市立南蛮美術館  
秋にちなんだ江戸時代の絵画と東洋陶磁 22—12月8 颯川美術館  
錦秋美術展「平木コレクション」 24—11月17 千葉県立上総博物館  
京の名工展 25—10月29 京都府立総合資料館  
特別展観「法隆寺宝物館開館十周年記念展示」 26—10月6 東京国立博物館  
東北の原像展—東北人の姿とところ 28—11月10 仙台博物館

10 月

仙厓展 1—24 出光美術館  
秋の特別展「日本のキリシタン美術」 1—11月10 サントリー美術館  
開館十周年記念特別展「雪舟」 1—21 岡山美術館  
邪馬台国時代の島根 1—11月15 島根県立入雲立つ風土記の丘資料館  
沖繩の工芸展 1—11月10 京都国

立近代美術館  
石の系譜展 2—11月20 町田市郷土資料館  
茶器名品展 3—11月3 根津美術館  
和漢朗詠集の古筆 4—11月4 五島美術館  
秋田魁新報創刊100年記念「秋田蘭画展」 4—11月3 秋田市美術館  
瀬戸内名作美術展 5—25 広島県立美術館  
第6回東京美術倶楽部特別展 8—12 東京美術倶楽部  
特別展「岡山県の原始古代」 8—11月17 岡山県立博物館  
中華人民共和国明清工芸美術展 8—13 三越札幌店  
特別展「絵巻」 10—11月24 東京国立博物館  
秋の特別展「神々の美術」 10—11月11 京都国立博物館  
古墳と陵墓展 10—11月18 奈良県立考古博物館  
第5回熱田神宮文化史展 10—11月10 熱田神宮宝物館  
第4回日本文人画展—最盛期— 12—11月10 BSN新潟美術館  
駿府御分物刀剣—一家康の愛刀と戦国武将画像展 16—11月4 徳川美術館  
群馬県立美術館開館記念展「近代日本画秀作展」 17—11月10 群馬県立近代美術館  
秋季特別展「仏教仏画展」 18—11月1 福井県立岡島美術記念館  
特別展「東北の美術」 19—11月17 埼玉県立博物館  
文学のなかの房総展 20—12月1 千葉県立上総博物館  
特別展「京の茶道工展」 20—12月17 京都府立総合資料館  
中華人民共和国明清工芸美術展 22—27 三越仙台店  
第1回双柏文庫展—平安・鎌倉・南北朝の書蹟— 23—12月1 大和文華館  
宝物展 25—30 石上神宮  
南紀寺院の長沢芦雪画—芦雪芸術の実像追求への試み— 26—12月1 和歌山県立博物館

昭和49年主要美術展覧会(古美術—10・11・12月)

日本の陶磁 26—12月25 岡山美術  
館  
 秋季特別展 27—12月15 逸翁美術  
館  
 秋の特別展「正倉院展」 27—11月10  
奈良国立博物館  
 近江の杜—神と人とのまつらいの美  
術— 29—11月24 滋賀県立近江  
風土記の丘資料館  
 鎌倉の在銘彫刻—鎌倉時代編— 30  
—11月24 鎌倉国宝館

11 月

中国古代美術展 1—17 香川県文  
化会館  
 秋季特別展「水指名品展」 2—12月  
1 兵庫県陶芸館  
 特別展「近江文化史シリーズ4 奈  
良時代の文化」 3—24 滋賀県  
立琵琶湖文化館  
 岡田敏雄氏寄贈貨幣コレクション展

3—24 大阪市立博物館  
 大阪にちなむ風俗・風景画展 3—  
24 大阪市立博物館  
 創立十周年記念「滴翠名品展」 3—  
12月22 滴翠美術館  
 北九州市立美術館開館記念「中華人  
民共和国漢唐壁画展」 3—12月1  
北九州市立美術館  
 中華人民共和国明清工芸美術展 5  
—10 三越横浜店  
 秋の優品展 9—12月15 五島美術  
館  
 大名物展 9—12月1 根津美術館  
 北政所350年式年記念特別宝物展  
10—11月30 豊国神社宝物館  
 中華人民共和国明清工芸美術展 13  
—24 三越大阪店  
 第7回日本刀展 15—24 山形県美  
術博物館  
 第40回展「泥娃娃—ふるい中国の子  
授け縁起人形」 16—昭和50年2  
月28 天理ギャラリー  
 新収蔵品を中心にしたサントリー  
75展 10—12月24 サントリー

美術館  
 特別陳列「友禅染」 23—12月25 京  
都国立博物館  
 初期南画の展開 23—12月17 奈良  
県立美術館  
 第4回岩手名刀展 28—12月2 岩  
手県民会館

12 月

私たちの考古学—土器と石器展—  
1—22 大阪市立博物館  
 松永耳庵翁生誕百年記念「松永記念  
館名品展」1—22 椿山荘美術館  
 古丹波と県内陶器展 5—昭和50年  
3月31 兵庫県陶芸館  
 東洋の漆工展 4—昭和50年1月26  
大和文華館  
 金沢文庫と称名寺—絵画— 7—22  
神奈川県立博物館  
 特別陳列「鉄斎」 18—昭和50年2月  
2 京都国立博物館



## 美術文献目録 (昭和48、49年)

## 凡 例

- ここに採録した文献は昭和48、49年中にわが国において発行された定期刊行物、および諸新聞に掲載されたものである。ただし雑誌により年度外が含まれることもある。
- 単行図書の形で刊行されたもののうち多数の論文を集録したものはその内容を定期刊行物中に組み入れた。
- 現代美術文献は明治以後の美術に関するものを、外国美術文献は西洋を主として集めたが、東洋やその古美術に関するものも現代に関わりをもつものだけでなく、新聞紙上に載せられた古美術関係記事も適宜採録した。
- 東洋古美術文献は新聞記事を含まない。
- 建築ならびに工芸の範囲は本文最初の凡例に記した範囲にとどめた。
- 各項目内の配列は、特記したほかは内容別順とした。なお主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。(例えば作家欄において作家名を先に出すなど。)
- 雑誌の号数は主として通巻番号を採用した。なお757~759は757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は14号と15号の合併号を示す。9、1、3、6は昭和48年9月1日、3日、6日の新聞を示す。(5)は昭和48年或いは49年5月号を示す。

## 目 次

## 〔定期刊行物所載文献〕

		48・49年
現代美術・西洋美術		雑誌録……………126・—
	48・49年	東洋古美術
総 説……………	78・149	総 記……………126・202
絵 画……………	79・153	絵 画……………129・204
彫 刻……………	81・155	書 蹟……………133・208
工芸・デザイン・建築……………	81・155	彫 刻……………134・210
作 家(人名別音順)		建築・庭園・石造美術……………135・211
日 本……………	85・158	工 芸……………137・213
外 国……………	97・173	陶 磁 工……………137・213
美術関係者(人名別50音順)……………	100・176	金 工……………139・214
展覧会批評		木 漆 工……………140・215
雑 誌……………	102・177	染 織 工……………140・215
主 要 新 聞……………	108・187	ガラス工・竹・紙その他……………140・215
書 評……………	121・198	考古学関係……………141・216
時評・その他……………	122・198	歴史関係・その他……………142・217
美術館・博物館……………	123・199	
美術市況……………	124・200	
随筆・紀行……………	125・200	

## 〔単行圖書〕

現代美術・西洋美術・東洋古美術……………143・218

昭和48年定期刊行物所載文献

現代美術・西洋美術文献

総説

進歩とは「非文明的社会」の出現	黒川 紀章	日 経	10.19
際限ない欲望を表現 問直すべき物質文明	梅原 猛	朝日夕刊	2.6
Do it yourself	藤枝 見雄	美術手帖	362
Miscellaneous Waters—下書き風 に	東野 芳明	シ	シ
伝統的世界の破壊 (上・下)	谷川 健一	東京夕刊	5.14, 15
芸術家と老年	ケネス・クラーク 訳 高階秀爾	季刊芸術	26
「表現」から「メディア」へ(対談)	桑原甲子雄 鈴木志郎康	美術手帖	367
特集・描かれた終末 表現のうちなる終末と破局	岡田 隆彦	芸術生活	290
リアリズムをどう考 える	西谷本常雄 岩野重義 村松三均 久野和洋	美術ジャーナル復刊	10
日本海文化圏への試 論(上・下)	鈴木 進	東京夕刊	9.20, 21
芸術経済学	大熊 信行	ほざある	1
1. 芸術価値と経済 価値の基本問題			
2. 芸術価値と経済 価値は必ずしも 併行しない		シ	2
芸術における「制度」 の問題Ⅱ	たにあらた	美術手帖	362
実験芸術ワークショ ップ	針生 一郎	朝日夕刊	11.22
芸術作品の消失	ロベール・クライン 訳 高階秀爾	季刊芸術	24
リアリズム再考Ⅱ リアリズムから印象 主義への展開	村木 明	ほざある	2
現代芸術の視野、批 評の可能性(上・下) (共同討議)	粟津 則雄 坂崎 乙郎 遠山 一行	京 都	7.10, 12
無用機械製造工房	中原 佑介	みづゑ	816
1. アーネスト・ト ローヴァー腕の ない男			
2. パナマレンコー 宇宙につかれた 男		シ	817

3. ステファン・フ ォン・ヒューン ：人のいない楽 団	みづゑ	820	
4. エドゥアルド・ パオロツィー 蒐集された世界	シ	821	
5. ジョン・ケイン ：エスケイプ! エスケイプ!	シ	825	
作品と時代	富永 惣一	京 都	3.13
なぜ「美・術」なの か—視覚における「生 存」概念の考察(上・ 下)	伏久田喬行	美術手帖	364, 365
美術の非物質化	ルーシー・ R・リバー 下訳・藤枝 見雄、編集 部	美術手帖	369
「造型」の歩んだ道	岡本 唐貴	美術グラ フ	48—12
特集・怪物画廊		芸術生活	288
怪物論・ルネサン スの自然魔術	渋澤 龍彦	シ	シ
特集・シュルレアリ スム20人		芸術生活	283
終末のあと—偏執 狂的具象派として	出口 裕弘	シ	シ
抽象美術について	小池 賢博	現代の眼	223
バロックと現代	高階 秀爾	日 経	7.20
特集・肖像考	石子順造編 著	芸術生活	282
肖像とはなにか他 バクミンスター・ フラー読本		美術手帖	369
マイケル・ベネー リー(インタビュー)	訳・松岡和 子	シ	シ
WORLD GAMEほ か		シ	シ
デュシャン透視考			
制服について—あ るいは物語「独身 者の機械」	東野 芳明	美術手帖	365
「花嫁」伝説につい て—雌の縊死体テ ンマツ記1		シ	367
「花嫁」伝説につい て—雌の縊死体テ ンマツ記2		シ	369
「母なしで生まれ た娘」について— ピカピアとデュシ ャン		シ	375
地獄くだりの思想を めぐって	鷲巣 繁男	芸術生活	290

美術批評は絶望か、 〈ジャーナル放談〉		美術ジャーナル 復刊	3.
危険な映像の物神化	岡田 隆彦	朝日夕刊	7.3
日本文化研究、追られる“自己存在”の確認	村上 兵衛	京 都	5.20
日本の伝統と自然破壊	筑波 常治	東京夕刊	9.7
化政期の日本と現代	芳賀 徹	朝日夕刊	7.12
特集・日本の近代美術—幕末から現代まで		三 彩	300
(座談会)	匠 秀夫 芳賀 徹他		
論説	細野 正信 佐々木静一 他		
明治文化研究会の五十年	木村 毅	毎日夕刊	1.19
特集・廃仏毀釈の行方		芸術新潮	279
1. 廃仏毀釈の行方—社寺宝物調査の「蜷川日記」から	由水 常雄		
2. 「吹きだまり」の仏たち	丸山 尚一		
3. 日吉社における習合と廃仏	景山 春樹		
4. 畿内における廃仏と毀釈	菅原 明朗		
5. 修験道と廃仏毀釈	村岡 空		
6. 廃仏毀釈偶感	保田興重郎		
戦中時代の「具象」の断面、中本達也、間所紗織、曹良奎にふれて	針生 一郎	美術ジャーナル	12, 13合併号
特集・現代美術'73		美術手帖	375
「繰り返し」と「システム」—「もの派」以後の	峯村 敏明		
私情対話—貧困・被害の美術について	平野 重光		
「時間」へ—モンタージュ風に「批評」から「展覧会記録」から	早見 暁		
芸術を批評する芸術—現代美術とエコロジー	石崎浩一郎		362
国際的立場で活躍する現代作家	瀬木 慎一	日本美術	99
現代日本美術の基底をさぐる		美術手帖	370
体質診断・現代日本美術	李禹煥, 針生一郎(司会) 平井亮一		

閉じられた円環の彼方は—「具体」の軌跡から何を	彦坂尚嘉他		
現代日本美術への一視角	ジョセフ・ラヴ 松岡和子訳	美術手帖	366
特集・今日状況から明日への展望	大島 清次 坂崎 乙郎 乾 由明 日向あき子	日本美術	100
地方美術のために	枝野 茂	美術グラフ	(2)
辺境の近代美術	酒井 忠康	季刊芸術	30
中国文物に見るリアリティ(座談会)	緑川広太郎 吉井 忠 西 常雄	美術ジャーナル復刊	9
中国の科学技術と芸術(座談会)	安藤彦太郎 高橋 暁正 針生 一郎 宇井 純	毎日夕刊	4.12
パキスタンの現代美術	加藤 貞雄	毎日夕刊	12.19
アメリカ現代美術再考	村木 明	芸術生活	284
特集・現代アメリカの一側面—ラディカル・リアリズム		みづゑ	821
1. 物の味方	日向あき子		
2. リアリズム問答	池田満寿夫		

絵 画

絵画鑑賞の実存的性格について—サルトルの芸術論を中心に—	野口 栄子	大手前女子大学論集	7
メタモルフォーゼ頌	中山 公男		
2. 靈感と夢へのいざない		美術手帖	362
3. 怪物たちの論理			365
4. 魔的な生命を与えられた自然			367
5. 歪められた形			369
6. 理想化と醜悪化			371
7. 表現への道			373
行為としての絵画	大西 廣		
6. 結論へむけての断章—近代化批判への視点VI			366
7. 「世」の成立と「私」の領域—掃百態図と北斎漫画			368
浮世絵と印象派	山田智三郎	近代の美術	18
印象派と日本人(印象派100年展)	中山 公男	読 売	7.25
特集・クロード・モネ—印象主義と日本の洋画	吉村 貞司 他	三 彩	302

昭和48年定期刊行物所載文献

パリと日本画壇(近代日本美術史におけるパリと日本展)	三木 多聞	読売夕刊	9.14	1. フェウザン会	馬場京子	萌 春	221
リアリズム再考. I				2. 〃	〃	〃	222
クールベとそのリアリズム	中山 公男	ぼざある	1	3. 大正初期の文展洋画	〃	〃	223
近代日本洋画におけるリアリズム	富山 秀男	〃	〃	4. 日本美術院洋画部	〃	〃	224
リアリズム再考. II				5. 二科会の誕生について	〃	〃	226
黒田清輝とその周辺	原田 実	〃	2	「赤囃会」の思い出	富取 風堂(談)	美術グラフィ	(3)
死角の絵画				国画創作協会	菊地芳一郎	〃	(4)
1. ブラック・オランピア	鈴木 慶則	芸術生活	281	初期前衛美術の背景—未来派・アクション・マウオ	村山 知義	〃	(7)
2. 路上の北斎	〃	〃	282	未来派と竹坡との接点を探る	尾竹 親	〃	(8)
3. 圧縮されたアンリ・ルッソー	〃	〃	283	黒耀会	望月 桂(談)	美術グラフィ	(9/10)
4. ダリとジャスパールの洗濯	〃	〃	284	第一作家同盟(D・S・D)に関して	村雲 毅一	〃	(11)
5. 光琳による屏風ふう屏風	〃	〃	285	現代の具象の姿	日野耕之祐	日本美術	95
6. 宮本二夫の「枯木鳴鶴図」	〃	〃	286	<座談会>	他		
7. 疑似マグリット風絵画「シーン」	〃	〃	287	安井賞にみる現代具象絵画		毎日夕刊	3.2
8. ミケランジェロの変装	〃	〃	288	コンテで描いた十六羅漢(斎藤隆)		芸術新潮	280
9. モネの視線	〃	〃	289	特集・現代の素朴絵画	秦 恒平	芸術生活	284
10. 影の現象学	〃	〃	290	日本の色	田中日佐夫	三 彩	303
11. 手づくりの色彩写真	〃	〃	291	1. 顔料について(対談)	北村 卓也		
12. 虚構の円空	〃	〃	292	日本画の系譜	桑原 住雄	ぼざある	1
私的近代美術史—装飾・象徴・神秘				1. 日本美術院の運命			
1. 宗達	坂崎 乙郎	芸術生活	281	2. 日展・日本画部			
2. 村上華岳	〃	〃	282	日本画はなくなる?!		読売夕刊	6.26
3. 伊藤若冲	〃	〃	283	日本画の伝統を新しく開発する絵画をテーマとしたシェル美術賞展	田中 皓一	萌 春	226
4. 渡辺崋山	〃	〃	288	第2回山種美術館賞の選考をふり返って	佐々木直比古	日本美術	93
5. 池田淑人	〃	〃	289	東京に美術的風土はあるのか<座談会>	小谷津雅美 下田 義寛 他	〃	101
6. 土田麦僊	〃	〃	290	「美術的風土と京都」を語る<座談会>	下保 昭 上村 淳之義 石川 昇 浜田 昇 亀田 正雄 山崎 一芳	〃	100
7. 小林古径	〃	〃	291	アメリカのプリントメーカー(K・T)		日 経	9.14
8. 横山大観	〃	〃	292	銅版の超細密画	木原 康行	芸術新潮	288
特集・六道世界の造形		みづゑ	823	特集・「泰西名画」の再発見:「泰西名画」のすすめ	山田智三郎	芸術新潮	287
幽暗の世界	山本 興二						
亜欧堂田善作「西洋公園図」とジャック・リゴー原画「フォテヌブロー宮」の銅版画	陰里 鉄郎	美術研究	288				
芳屋の写生帳(上)「奈良官遊地取について」	関 千代	〃	286				
明治美術会をめぐる	原田 実	美術グラフィ	(2)				
大正期の洋画	馬場 京子	三 彩	298				
大正期絵画史	〃						

フィレンツェ国立図書館蔵「ヴィスコンティ家の時禱書」	辻 佐保子	芸術新潮	284
ザ・クロイスターズの「メロードの祭壇画」	辻 成史	シ	288
スペイン礼拝堂の壁画—ヴァザーリの示唆と誤謬—	上平 貢	京都工芸繊維大学工芸学部研究報告・人文	21
「聖母の死」のイコノグラフィーとロシヤにおけるその意義	浜田 靖子	美術史研究	10
特集・華麗なる小世界—インド・ミニチュール	真鍋 俊照	みづゑ	817
影像論「埋没してゆく二人」—細密画の発想			
インドの民画・マドフバユ		芸術新潮	281
清末のグラフィック「點石齋画報」	草森 紳一	芸術生活	285
中国画壇の現状	鶴田 武良	東京夕刊	11.20
最後の絵	藤枝 晃雄	季刊芸術	26
空想の詩画集Ⅲ、Ⅳ	渋澤 龍彦	読売	7.16, 30
夢魔について	栗田 亮	ガレリア通信	2
壁画に劣らぬ“神秘の筆”	ラウラ・モーラ	読売	10.17
墨絵の魅力に没頭中	ヘンリー・J、ラデロフ	京都夕刊	11.22
花を描く(上・中・下)	佐藤 達夫	朝日	5.14, 21, 28
描いて楽しむ見て楽しむ<技法入門>			
1. 運筆	円山 二楽	三彩	297
2. 線の種類	シ	シ	298
<b>彫 刻</b>			
円空仏幻想譜	笠原 伸夫	芸術生活	289
抽象彫刻の神道的空間		芸術新潮	286
グラフィックな木彫		シ	287
今日彫刻は存在するか	藤枝 晃雄	美術手帖	366
古都バリエードリード案内—スペインの近世建築と彫刻の町	瀬戸 慶久	萌 春	223
第1回彫刻の森美術館大賞展	藤枝 晃雄	みづゑ	821
特集・現代彫刻と空間		シ	823
1. 野外空間的対話	ジョセフ・ラブ		

2. あなたにとって「空間」とは……—字部、第5回現代日本彫刻展—	飯田善国・一色邦彦・江口週・加藤常明・川口政彦・小清水漸・栄利秋ほか	針生 一郎	毎日夕刊	10.16
彫刻の概念変容への一歩・第2回現代日本彫刻展に寄せて				

**工芸・デザイン**

パッケージ、デザイン、プログラムとノーマ、アップダイク		アイデア	118
すばらしい紙の世界 '73		シ	シ
矢<アイデアのエレメント・16>	福田 繁雄	シ	シ
東商美デザイン・ショウ		シ	シ
シドニー・ロスバーグのパッケージ・デザイン		シ	119
ポール・ピーター・ビーチのグラフィック作品		シ	シ
続・はめ絵	福田 繁雄	シ	シ
日本酒ラベル・化粧箱、びんに関するノート	シーモア・クワスト	シ	シ
<特集>シエルの総合マーケティング、デザイン計画	中井 幸一	シ	120
シルビオ、コッポラー創造領域の多様なグラフィック・デザイン	大智 浩	シ	シ
アンスパック・グロスマン・ポーチュガル社		シ	シ
インドのアーティスト—トースダールシャーン・ディーア	大智 浩	シ	シ
ポール・ジャンパーバとボラロイドのパッケージ	ポール・ジャンパーバ	シ	シ
フリーダー・グリントラーとフォト・モンタージュによる劇的ポスター		シ	121
矢<アイデアのエレメント・23>	福田 繁雄	シ	シ
第18回ニューヨークADCのコミュニケーション会議	虎 新一郎	シ	シ
ジョルジュ・マティウとのインタービュー—現代社会における美術の役割	ジョルジュ・マルティナ	シ	シ

IBM社の経営者向け広告キャンペーンについての一問一答	中井幸一・ジョーゼフ・O・ラフオレット	アイデア	121	禁じられた紅型の授業	山辺 知行	芸術新潮	279
プレイボーイ誌のA・D・アーサー・ポール氏に聞く	日向あき子	〃	〃	スカンジナビアン・ファニチュア・フェア	〃	〃	〃
チェーンレストランにおけるデザイン	今竹 翠	〃	〃	デザインの原画	〃	〃	〃
アメリカの墓碑—復活に関する関心	フランシス・デュバルアイバン・リグビー	〃	〃	スキー標識の出現	〃	〃	〃
日本海博	大智 浩	〃	〃	柳宗理のショールーム	〃	280	〃
アクメ・コミュニケーションズ社	トニー・パラディノ	〃	〃	米国のコミュニケーション・グラフィック	〃	〃	〃
アーノルド・サックス社	〃	〃	〃	食器の組合せ	〃	〃	〃
現代の建築	浜口 隆一	近代の美術	19	菊竹清訓デザインの椅子	〃	〃	〃
家具の歴史館	〃	芸術新潮	277	パリにゆく鎌倉彫	〃	〃	〃
東京讃岐会館	〃	〃	〃	東京都立中央図書館	〃	281	〃
日本オリベッティ・テクニカルセンター	〃	〃	〃	菊竹清訓の「作品と方法」	〃	〃	〃
軍艦旗ビル	〃	〃	〃	新しい科学博物館とデザイン	〃	〃	〃
デパートのカラー・ポリシー	〃	〃	〃	「大小曆」にみるイラストレーションの楽しさ	〃	〃	〃
珍案机	藤本 四八	〃	278	紅型を求めて	鎌倉芳太郎	〃	〃
樺の机	芦原 義信	〃	〃	協同組合京都クラフト	〃	〃	〃
白いリノリューム	清家 清	〃	〃	藤原雄の「うつわ展」	〃	〃	〃
大きくてドッシリした机	北 杜夫	〃	〃	「デザイン」誌の変貌	〃	〃	〃
アメリカの書筒机	河野 国夫	〃	〃	新しい視覚言語の提案	〃	282	〃
黒漆塗の大机	神代雄一郎	〃	〃	建築家の会場構成	〃	〃	〃
紙の造形による遊び	〃	〃	〃	デザイナーたちの書	〃	〃	〃
横浜の地下鉄のデザイン	〃	〃	〃	全国勤労青少年会館という名の	〃	〃	〃
マリメッコの日本進出	〃	〃	〃	定窯の贗物	橋本 文男	〃	〃
千里レジャーセンター・セルシー	〃	〃	〃	タイの水甕	金子 量重	〃	〃
スミソニアン誌のジョージ・ナカシマ	〃	〃	〃	ブリュンメルのパペストリー	〃	283	〃
粟辻博+フジエテキスタイル	〃	〃	279	日本陶芸展の最優秀作品	〃	〃	〃
インター・リュプケに学ぶ	〃	〃	〃	ヘレ・クリントの椅子	〃	284	〃
UNDER THE TABLE	竹山 実	〃	〃	支那の博山ガラス製造	各務 鉦三	〃	〃
机の質感	二川 幸夫	〃	〃	ガラス小鉢	山田 光	〃	〃
明治の人間にとって机を前にして立つということは……	金子 光晴	〃	〃	ガラスの涙壺	福田 蘭童	〃	〃
産褥	清宮 質文	〃	〃	ガラスのしずく	多田 美波	〃	〃
事務所の机	小杉 二郎	〃	〃	ワイングラスでビールをたしなむ	佐藤潤四郎	〃	〃
拾った机	森本 草介	〃	〃	カンビン	神代雄一郎	〃	〃
ルイ16世の机	朝吹登水子	〃	〃	棚上のガラス	豊口 克平	〃	〃
机という名の水平面	黒川 雅之	〃	〃	素朴な沖繩ガラス	堂本 尚郎	〃	〃
				画家の描いた科学啓蒙書	〃	〃	〃
				本の装幀展	〃	〃	〃

殻が独走した貸劇場 (シドニー・オペラ ハウス)	田中 裕	芸術新潮	285	剪紙と切絵の世界	芸術生活	284
住宅に現代壁画を	森 史夫	〃	〃	切絵と私	藤井増蔵他	
シドニー・オペラハ ウスは完成したが	磯崎 新	〃	〃	繊細華麗なる紙の 業	駒田 信三	
私の雑器ガラス	芹沢 銈介	〃	284	組紐、道明勝子	加堂 秀三	〃 〃
自分で作った雑器	淡島 雅吉	〃	〃	特集、人形愛		〃 291
大橋見朗の木地箱		〃	285	秘所から派生した フォルム、シモン	池田満寿夫	
日常茶飯事一めし 碗・しる碗・箸		〃	〃	人形によせて	瀧口 修造	
グラフィック・イ メージ'73展		〃	〃	人形蠲施、四谷シ モン	瀧口 修造	
陶壁	熊倉 順吉	〃	〃	人形愛の形而上学 イメージの解剖 学、ベルメエルに ついて	澁澤 龍彦	
抽象彫刻を思わせる 錠前		〃	〃	人形貴種流離譚、 人形の無垢と無気 味さ	種村 季弘	
面倒で難しい興がっ きない急須作り	島岡 達三	〃	286	からくりの魔性	立川 昭二	
使うのは一つだけ	秋岡 芳夫	〃	〃	くぐつ思想	諏訪 春雄	
番茶土瓶	秋山 正	〃	〃	日本やきもの旅行	太 陽	117
上手な仕事はめった になくなった急須	鈴木 治	〃	〃	九州路	吉田 光邦	
使ってみたい木米の 土瓶	辻 協	〃	〃	有田	立原 正秋	
江戸下町風土瓶	近藤 弘明	〃	〃	山陰	立原えりか 他	
木米の急須	清水九兵衛	〃	〃	特集・ふるさとの伝 統工芸		〃 127
使えれば良いとあき らめ的心境	平野トシ子	〃	〃	アンデスの染織工芸	角山 幸洋	日本美術 工芸 417
土瓶	みのわ 淳	〃	〃	「ポスト・グラフィ ック・スコア」への 試み	一柳 慧	美術手帖 364
コップ百変化	中原 佑介	〃	〃	イメージの集合的無 意識	木村 恒久	〃 365
'73デザイン、 フォーラム寸見		〃	287	虚構に埋没したデザ イナー		〃 〃 366
日本デザインの侮辱	吉田五十八	〃	〃	絵文字—秩序の強要		〃 〃 367
手揚げ弁当	村井 修	〃	〃	記号とメディア	木村 恒久 多木 浩二	〃 〃 368
曼陀羅	横尾 忠則	〃	〃	PFLP=パレスチ ナ人民解放戦線のポ スター	東 庄平	〃 〃
文様	高田 俊男	〃	〃	TOM'S FIG URE—SKETC HING	戸村 浩	
床の間	川崎 春彦	〃	〃	1.ピタゴラスの四 面体		〃 369
民具	入江 泰吉	〃	〃	2.立方体の魔方陣		〃 370
裂織の野良着	小名木陽一	〃	〃	3.憂鬱なマジッ ク・パズル		〃 371
障子	黒田 辰秋	〃	〃	4.地球の剣玉		〃 372
絵画製作分業時代の 作品	小松 均	〃	〃	5.渦		〃 373
江戸のデザイン、マ ニュアル	田中 一光	〃	〃	6.メビウスの夢— 握手しましょう		〃 275
発想の原点	三輪 智一	〃	〃	中国のグラフィズム	村上 善男	〃 370
世界インダストリアル デザイン会議に思 う		〃	288	デザイン0年かデザ イン元年か	木村 恒久	〃 371
幻の民芸館	金原 宏行	〃	〃			
梵鐘のモダン・ア ート		〃	〃			
七三・日本クラフト フェア		〃	〃			
大正の心と美		〃	〃			
日本の染織		〃	〃			

昭和48年定期刊行物所載文献

官製エロ・デザインの出現か	木村 恒久	美術手帖	373	唐津焼	山本 康雄	東京	4.8
第8回世界インダストリアル・デザイン会議	向井周太郎	シ	375	手づくり「村上堆朱」ほか		シ	5.11
カジューホの装飾	小山 清男	萌 春	220	唐棧織		シ	5.20
明治の鎌倉彫について	灰野 昭郎	三浦古文 化	14	小原の工芸和紙		シ	6.3
ピクトリア・アルパート博物館所蔵漆芸品2—マザラン公爵家の櫃	西田 宏子	MUSE UM	263	薩摩焼	中島 良樹	シ	9.30
現代の陶芸—日本、ヨーロッパ、アメリカ	佐藤 雅彦	視 る	72	備前焼	保島 勉	シ	10.7
伝統美を訪ねて—古九谷と現代九谷		ぼざある	2	加賀友禅	永坂 克之	シ	10.14
スノコロクのふるさと(スワンカローク)	山口 修	朝日夕刊	2.20	建築意匠と私	谷口 吉郎	東京夕刊	11.2
発展する陶芸技術—十八年ぶりに中国を旅して	加藤唐九郎	東京夕刊	7.3	世界工業意匠会議		日 経	5.29
現代のレジャー建築	ジョルジュ・カンジリス	日 経	4.13	今に伝える「江戸指し物」	島崎 国治	シ	9.5
トルコ陶磁界の昨今	加藤 賢司	毎日夕刊	5.8	第40回毎日商業デザイン賞		毎 日	1.17
中国陶磁器の旅	加藤唐九郎	シ	6.26	津軽塗りの柴田家		シ	1.31
ウィンドー・イツセルフ		シ	8.7	創意と工夫……よみがえった斜陽の和紙	池田 信一	シ	2.10
環境とデザイン意識	阿部 允	シ	8.22	沖繩の民衆を守って伝統の和紙に生きる和紙にひかれる外人	対談 松岡 英夫 寿岳 文章	シ シ シ	3.7 3.14 3.17
年寄り支える伝統		朝 日	3.23	書誌学からの入門		シ	3.19
両面ゆかた		シ	5.11	残る戸数は八百五十		シ	3.20
ある日あるとき		シ	5.27	各藩の重要財源		シ	3.21
父ありき—道楽にかけては一流	宮入 昭平	シ	8.25	焼物の里 伝統の肥前路をたずねて		毎日夕刊	3.22
工業デザインに新しい波	泉 真也	朝日夕刊	9.25	紙の名のいろいろ	対談 松岡 英夫 寿岳 文章	毎 日	3.23
世界工業デザイン会議に寄せて	川添 登	シ	10.5	経済力と紙の文化		シ	3.24
東京海上ビルと前川国男氏		シ	10.10	奉書紙と杉原紙	対談 松岡 英夫 寿岳 文章	シ	3.26
打ち破れなかった物量思想(世界ID会議)	米倉 守		10.17	生活用具として		シ	3.27
沖繩海洋博のマスコットマーク		京 都	5.11	紙子の美学		シ	3.28
ろくろの里 清水焼		シ	5.30	広がる和紙の用途		シ	3.29
堀川の友禅		シ	7.15	秘法「墨透し」		シ	4.2
すべり出した自転車会議		シ	10.12	本物をつかむこと		シ	4.3
魅せられた比叡つむぎ		シ	10.16	多摩のやきもの<1>— 一万年前の「遺産」も		シ	5.8
小紋染 すたれゆく「古法」再現		シ	10.29	多摩のやきもの<2>— 文様瓦		シ	5.9
現代の名工 技能の日に表彰		シ	11.9	多摩のやきもの<3>— 陶銚子・御嶽神社に 伝わる		シ	5.10
暮らしの意匠 本当のデザインとは何か	秋岡 芳夫	東京	2.15	多摩のやきもの<4>— 玉川焼		シ	5.11
越前漆器	青木 博	シ	3.18	加賀古窯の発見と意義	楢崎 彰一	シ	5.21
				和紙の里の昨今	加藤 陸朗	毎日夕刊	7.6
				毎日広告デザイン賞		毎 日	7.14
				毎日インダストリアル、デザイン賞			
				デザインの心	栄久庵憲司	シ	シ
				家具デザイナー	ジョージ・ナカシマ	毎日夕刊	9.29



インダストリアル・デザイナー	ウォルフガング・シュミッテル	毎日夕刊	10.13
物と心の接点を求めて(世界インダストリアル、デザイン会議)	亀田 正雄 加藤 貞雄	毎 日	10.17
デザイン再考1—42	秋岡 芳夫	読売夕刊	
パロリス陶芸ビエンナーレに参加する清水焼	長谷川 栄	シ	5. 7
中・近世窯業の研究現代を象徴する二つのデザイン会議	村瀬記者	シ	5.12
イタリヤの水が合う? 国際化するデザイナーの活動		シ	9. 8
世界インダストリアルデザイン会議 日本クラフトフェア'73	記者 加納、村瀬	シ	9.21
		シ	10.12

作 家 (日本)

(ア)

アメリカの日本作家・アンケート	巖 嘸	視 る	76
相原求一朗	田近 憲三 相原求一朗	美 術 ジ ャーナ ル	復刊6
ブルターニュ便り	相原求一朗	絵	112
青木繁の芸術についての覚書	中村 義一	宮崎大学 教育学部 紀要	33
青山義雄	小川 正隆	朝日夕刊	8.20
ピカソ「セレスティナ」	秋野 不矩	京 都	5. 5
ポップな抵抗のくわだて	秋山祐徳太 子	美術手帖	366
私が惚れた南画の一幅(浅井周斎)	クルト・ブ ラッシュ	芸術新潮	279
信重院の浅井忠	土居 次義	日本美術 工芸	414
麻生三郎		シ	277
麻生三郎の絵について	菊地 明子	美術グラ フ	(2)
浜口陽三と麻生三郎		三 彩	305
麻田鷹司	桑原 住雄	シ	311
麻田脩二氏		京都夕刊	1.24
二人の洋画家の死・足立源一郎		芸術新潮	281
天野三郎	柳 亮 天野 三郎	美 術 ジ ャーナ ル	復刊10
判決に失望、が再スタートを	マッド・ア マノ	美術手帖	362
歌麿展雑感	新井 深	日本美術	99
荒川豊蔵さん		朝 日	11.17
フィルムによる個展を計画	粟津 潔	美術手帖	370
東京を描く	安西 啓明	日本美術	100

安藤百合子さん		京 都	2.22
	(イ)		
街道の尼僧	飯田 善国	芸術新潮	282
クレール・天使と悪魔の同伴者	シ	シ	283
60年代アメリカ現代美術三つの星	飯田 善国	美術手帖	362
五十嵐威暢とその作品	ミツカタオ カ	アイデア	119
近頃想う事	五十嵐芳三	絵	107
アメリカの日本作家アンケート	池川 司郎	視 る	76
池田武五郎		毎日夕刊	7.20
安土路人		美術手帖	362
吸血考一月岡芳年の正気と狂気	池田 龍雄	みづゑ増 刊	824
池田満寿雄	乾 由明編	みづゑ	815
リアリズム問答	池田満寿夫	シ	821
池田満寿夫の粋な短編		芸術新潮	284
M. C. エッシャーの版画	池田満寿夫	芸術生活	283
アメリカの日本作家・アンケート	シ	視 る	76
池田満寿夫の新作、「七つの大罪」		ぼざある	2
池田淑人	坂崎 乙郎	芸術生活	289
早春写生行	池田 遙邨	日本美術	93
池田遙邨		シ	96
春寒	池田 遙邨	京 都	3.1
竹内栖鳳「斑猫」	シ	シ	8.31
池田遙邨氏		シ	9.17
池水慶一さん		シ	9.17
石井鶴三の死		芸術新潮	281
石井鶴三の遺作芸大へ		シ	285
石井鶴三氏を悼む	中村伝三郎	三 彩	302
石川寒巖	竹山 博彦	萌 春	224
石田豪澄		東 京	11.7
竹久夢二「黒船屋」	石原 薫	京 都	5.25
画家のことはば1~12		芸術新潮	277~288
石本正論	桑原 住雄	三 彩	302
石本正	吉村 貞司	京都夕刊	6.23
石山恵美子	加堂 秀三	芸術生活	292
泉茂	乾 由明編	みづゑ	815
タクシーの眼	泉 真也	朝 日	6.27
建築の解体(上、中、下)	磯崎 新	美術手帖	370~373
プロセスなしの日本都市改造	磯辺 行久	シ	368
ノルマンディー紀行	伊丹 米夫	日本美術	94
伊藤紫虹さん		京 都	10.15

昭和48年定期刊行物所載文献

伊藤芳雄「おおあり くい」	日本美術	103	漆原美代子	毎日夕刊	1.12
アメリカの日本作家 ・アンケート	伊原 通夫	視 る	うんのともえ	〃	11.27
パリのまつり	伊原宇三郎	芸術新潮	(エ)		
井田照一	乾 由明編	みづゑ	人の心と物の世界	栄久庵憲司	東京夕刊 9.24
複製画論(複製画)	井上長三郎	芸術新潮	海老原喜之助、群馬 出勤	谷口 治達	絵 111
井上武吉の舞台装置		芸術新潮	圓鏑勝三、元規		日本美術 95
アメリカの日本作家 ・アンケート	猪熊弦一郎	視 る	(オ)		
うそもまことも「テ レオロジュー」・対談	堀内 正和 狗巻 賢二	美術手帖	多額の罰金	大久保 泰	日本美術 93
今西中通	佐々木静一	三 彩	ピカソの死を悼む	〃	東京夕刊 4.10
今野忠一		日本美術	ベニス通信	〃	〃 9.10
岩織治の絵画世界	田中 修	美術生活	フランス通信	〃	〃 11.6
ポッティチュェリに 魅せられて	岩崎 鐸	読売夕刊	オランダ通信	〃	〃 12.24
岩崎ちひろ		東 京	故大久保(作次郎)さ んの絵	河北 倫明	視 る 78
生きている壁画	岩崎 巴人	芸術新潮	革の旅歩き	大久保 婦久子	日本美術 93
入江比呂への断片	織田 達朗	美術グラ フ	大沢昌助	藤本 韶三	三 彩 306
色は匂えど	岩田専太郎	ぼざある	大島哲以の絵画世界	田中 修	美術生活 285
(ウ)			アメリカの日本作家 ・アンケート	大竹登美江	視 る 76
上野泰郎	桑原 住雄	三 彩	大歳克衛		日本美術 95
エチオピアの岩窟教 会群	上野 泰郎	〃	アンケート、明日の 日本画	大西 弘之	美術グラ フ 1
上原謙二	吉村 貞吉	〃	地獄草紙	大野 侃嵩	京 都 9.28
アンケート、明日の 日本画	上原 二郎	美術グラ フ	アンケート、明日の 日本画	大村 連	美術グラ フ 48—1
上村松園「焰」	上村 松篁 速見 敏子	京 都	ルッソオ招待晩餐会	大森 啓助	絵 107
「鉄斎展」におもう	上村 松篁	芸術新潮	老批評家の昔ばなし	〃	〃 112
上村松篁の花鳥画	多田 信一	三 彩	友情(コロートとド ーミエ)	〃	〃 114, 115
交遊抄	上村 松篁	日 経	アンケート、明日の 日本画	大森 朔衛	美術グラ フ 1
上村松篁		〃	大矢紀		日本美術 97
思考操作としての美 術	宇佐美圭司	美術手帖	大山忠作論	桑原 住雄	三 彩 305
日本人	宇都宮 功	現代の眼	大山忠作	藤本 韶三	〃 〃
三度目の妻と人形	宇野亜喜良	芸術新潮	ボルブドールの旅	大山 忠作	日本美術 99
美少女	〃	美術生活	岡崎忠雄		京 都 9.3
特集・牛島憲之の芽 ばえと展開		三 彩	岡崎紀子さん	〃	〃 1.8
牛島憲之	藤本 韶三	〃	アメリカの日本作家 ・のアンケート	岡田 謙三	視 る 77
白井都	水上 淳 白井 都	美術ジャ ーナル	岡田守巨の絵画世界	田中 修	美術生活 290
中本達也特集・死に 至るまで	白井 都	美術ジャ ーナル	物からの解放1~5	岡本 太郎	朝 日 9.15~ 10.13
古墳の中の太陽	内田 武夫	芸術新潮	特集・小川芋銭		三 彩 297
梅原龍三郎「リーチ の壺」	酒井 億尋	日本美術	芋銭論	鈴木 進	〃 〃
梅原龍三郎氏の仏文 化勲章受章	〃	日 経	短冊一葉(小川芋銭)	北島 織衛	日本美術 93
梅原龍三郎氏		京 都	小倉遊亀さん		日経夕刊 5.25
毎日芸術賞の浦辺鎮 太郎		芸術新潮	「歌道小見」	小倉 遊亀	日 経 2.4
			ティヘッへの手紙	小田 襄	現代の眼 222
			国際タベストリービ ェンナーレ展に参加 して	小名木陽一	毎日夕刊 7.20

小野具定 ケーテ・コルビッツ 版画集「愛と怒り」	桑原 住雄 三 彩 298	笠原吉太郎氏を偲ぶ 他	外山卯三郎 美術ジャーナル 復刊 6
回想断片	小野 具定 日 経 9.7	現代美術七つの大罪 ⑧	柏原えつと 美術手帖 362
尾形光琳「紅白梅図 屏風」	小野 忠重 美術ジャーナル 12, 13合 併号	「了解への幻想」から 「誤解への現実へ」	柏原えつと 366
竹喬画伯のプロフィール	小野 竹喬 京 都 8.17	高松次郎 「THE STORY」	柏原えつと 京 都 3.9
小野木学	仙波 建 三 彩 297	梶山俊夫	3 9.13
奥田元宋	乾 由明編 みづゑ 815	山崎一芳さんの「随 筆」	片柳 忠男 日本美術 100
「国華」<複製画>	(中野 記) 日本美術 93	片柳忠男	3 97
奥村土牛論	奥村 土牛 芸術新潮 281	アンケート、明日の 日本画	桂川 寛 美術グラフ 1
特集・奥村土牛 (鼎談)	細野 正信 萌 春 222	角浩	日本美術 98
	奥村 土牛 三 彩 305	千支の美術—牛	香取 忠彦 3 93
	鈴木 進	ヨーロッパ古美術の たび(上、中、下、 完)	3 94—97
土牛画業の回顧	藤本 昭三	私の歩いた戦後美術	3 100
私の履歴書1~26	菊地芳一郎 美術グラフ 7	香取正彦	3 103
織田一磨	奥村 土牛 日 経 9.11~ 10.7	香野ルミ子	吉村 貞司 三 彩 309
尾長保	三彩別冊 8月	金森世士夫の近作版 画	三宅正太郎 3 302
	日本美術 99	「美少女」	金子 国義 芸術生活 288
	(カ)	金原テルヤの絵画世 界	田中 修 3 287
加倉井和夫	桑原 住雄 三 彩 307	アメリカの日本作 家・アンケート	金光 松美 視 る 77
加倉井和夫	日本美術 96	特集・狩野芳崖、長 府の芳崖年譜	細野正信他 三 彩 306
水上勉著「焚火」	加倉井和夫 日 経 8.3	芳崖の空間把握	吉村 貞司 3 311
複製はあくまで複製 品(複製画)	香月 泰男 芸術新潮 280	フェノロサと芳崖	細野 正信 近代の美 術 17
加藤栄三と横山操の 死	小森 盛 日本美術 97	鑑木清方	菊地芳一郎 美術グラフ 8
加藤寿逸「扁」	麻生 良方 日本美術 103	鎌倉芳太郎さん	読 売 4.1
トルコ陶磁界の昨今	加藤 賢司 毎日夕刊 5.8	鎌田糸平	京 都 6.22
モランディの複製に 兄を偲ぶ	加藤 東一 芸術新潮 280	神成澤	毎日夕刊 7.18
加藤東一	日本美術 99	サインするピカソ	神原 泰 三 彩 303
中国陶磁器の旅	加藤唐九郎 毎日夕刊 6.26	ピカソについての随 筆三題	3 絵 112
十八年ぶりに中国を 旅して	3 東京夕刊 7.3	ピカソの「カンカン」 に就いて	3 113
芳崖の写生帳(上) —奈良官遊地取につ いて—	関 千代 美術研究 286	展览会散策	3 日 経 4.27
加納光於の解覚的な 作品	芸術新潮 288	上矢津	日本美術 101
加山又造のモード	陰里 鉄郎 3 277	上矢津	編 乾由明 みづゑ 815
特集・第5回「日本 芸術大賞」の加山又 造。加山又造論	土方 定一 3 283	烏山の祭り	亀倉 雄策 芸術新潮 277
加山又造	桑原 住雄 三 彩 308	奇遇	3 278
白い林の絶筆	加山 又造 季刊芸術 27	最初の装幀「夜間飛 行」	3 毎 日 2.19
加山又造さん	読 売 6.3	川合玉堂の水墨画	細野 正信 三 彩 307
加山又造氏	東京夕刊 6.13	玉堂先生をしのぶ	坂崎 坦 3 308
加山又造氏	朝 日 7.24	川上澄生	野村 太郎 信 三彩増刊 304
新しい美の選手	加山 又造 京都夕刊 8.9		小野 忠信
葛西四雄	日本美術 95		塚田泰三郎

昭和48年定期刊行物所載文献

同詩文抄、年譜

クラマール今昔(川口軌外)	川口 京村 絵		109, 111
アメリカの日本作家・アンケート	川島 猛 視 る		76
川端龍子「愛染」	馬場 京子 京 都		4. 13
幻の布、河口ミチ子	加堂 秀三 芸術生活		283
河田小童の写生帳から一明治と昭和1~26		京 都	4. 19~ 10. 18

(キ)

平櫛田中先生と東京美術学校	菊地 一雄 現代の眼		220
菊地契月	菊地芳一郎 美術グラフ		102
木澤定一		日本美術	94
木田金次郎のこと	入木 義徳 芸術新潮		279
木下章さん		京 都	10. 29
木下孝則の死		芸術新潮	281
色彩再現の困難(複製画)	木下 義謙 芸術新潮		280
木内克の田舎娘風のマリア		〃	277
机とアクロポリスの丘	木内 克 〃	〃	278
赤い柱	〃 〃	〃	282
安らぎの時	木内 克 読 売		10. 21
ヒンズーの国とイスラムの国	木内 廣 美術ジャーナル		復刊3, 4, 5
アトリエ号進水す	〃 〃		復刊10
彫刻と墓		芸術新潮	283
印刷画(複製画)	木村賢太郎 〃		280
ユーゴスラヴィアの現代美術	木村 光佑 現代の眼		221
第8回東京国際版画ビエンナーレをみて	〃 視 る		69
20年月の国際版画展	〃 毎日夕刊		7. 3
木村忠太	小川 正隆 朝日夕刊		8. 21
日本どうする会符牒講座	木村 恒久 芸術手帖		362
恍惚の万博的世直し	〃 美術手帖		362
アメリカの日本作家・アンケート	木村利三郎 視 る		76
アメリカの日本作家・アンケート	岸 正豊 〃		77
本物の額に入った劉生の模写	稚貝 日郎 芸術新潮		280
岸田劉生筆「麗子微笑」	原田 実 MUSE-UM		272
劉生の「水浴する三人の子供」	土居 次義 日本美術工芸		415
岸田劉生と私	古屋 芳雄 読売夕刊		5. 9
北大路魯山人「備前大手桶」	乾 由明 京 都		7. 13
メキシコの壁画	北川 民次 芸術新潮		285

メキシコと私の絵—北川民次氏に聞く(上、下)		毎日夕刊	6. 4
北川民次の「壁画性」十二展	小川 正隆 朝日夕刊	6. 5	110
城所昌夫の空間	北村 巖 絵	美術グラフ	(7)
清原啓一「異鷄同舎」	菊地 明子	日本美術	103
桐弘史郎の絵画世界	森 治樹 芸術生活		281
儀間比呂志	田中 修 〃		286
沖縄、土着文化守れ	儀間比呂志 毎日夕刊		5. 15

(ク)

粟田神社の宵祭	楠部 弥弼 芸術新潮		277
楠部弥弼氏		京 都	1. 4
楠部弥弼さん		〃	6. 14
工藤哲己がミュンヘン・オリンピックで	斎藤 正治 美術手帳		362
久野真氏		朝 日	7. 10
久保繁造	久保 繁造 美術ジャーナル		復刊5
ユーゴスラヴィアの美術	東宮 七男 美術グラフ		(5)(6)
カタツムリ	倉田 三郎 絵		111
黒崎彰	庫田 發 乾 由明 みづゑ		822
明治の浮世絵—芳年、清親、国周	黒崎 彰 みづゑ増刊		824
幻視者アンソール	〃 視 る		68
特集・黒田清輝	匠 秀夫 三 彩		303
黒田清輝回顧	寺田 透 みづゑ		821
クローデル大使の黒田清輝への弔辞	河村 一夫 日本歴史		305
黒田清輝の風景画	隈元謙次郎 毎日夕刊		7. 22
没後50年の評価(中村彝、黒田清輝、富岡鉄斎)	原田 実 読売夕刊		11. 12
高村光太郎「手」	黒田 辰秋 京 都		10. 26
火焰装飾の深鉢	桑田 道夫 〃		11. 30
アメリカの日本作家・アンケート	桑山 忠明 視 る		76

(ケ)

剣持勇の世界		芸術新潮	283
--------	--	------	-----

(コ)

特集・小泉清 小泉清の日記(1949年1月-5月)他	原田 実 三 彩		298
小出楯重、須田国太郎の芸術継承の周辺にいた頃	田辺彦太郎 絵		109
黒田展、描かれた女展と小出楯重	匠 秀夫 〃		114
小出楯重の思い出	山崎 隆夫 美術ジャーナル		復刊4

詩人小熊秀雄の絵画	壺井 繁治 中野 重治 小田切秀雄	三 彩	306	三社の祭り	五味悌二郎	芸術新潮	277
小熊秀雄美術評論					(サ)		
小合友之助作「綵工」	内山 武夫	視 る	68	天使の舞	齋藤 真一	芸術新潮	283
小坂井良一の絵画世界	田中 修	芸術生活	289	くさむらの地蔵	シ	京 都	1.5
特集・小菅徳二		美術グラ フ	48-3	齋藤真一		毎日夕刊	7.12
小菅徳二の芸術	川原正二他			地獄草紙	齋藤 真成	京 都	9.28
高僧の肖像画を描く	小高 滴齋	芸術新潮	281	「黒」の齋藤隆	草野 守立	芸術新潮	284
小玉光雄		日本美術	96	齋藤嗣火の絵画世界	田中 修	芸術生活	283
小西保文の世界	田中 修	芸術生活	291	ササラの少女	齋藤 長三	芸術新潮	277
肖像	小林 勇	絵	110	齋藤豊作と二科会	松島 光秋	美術グラ フ	12
清親版画の私考	酒井 忠康	みづゑ増 刊	824		(サ)		
小林清親の誕生	佐藤 光信	美術グラ フ	(9)10	特集・齋藤義重		美術手帖	371
小林古径	坂崎 乙郎	芸術生活	291	私と抽象表現	齋藤 義重		
小林古径	倉田 公裕	近代の美 術	14	ゼロリスト随聞記	関根 伸夫		
小林巢居人氏		日 経	7.13	齋藤義重を語る (座談会)	小清水漸他		
小林和作		日本美術	95	齋藤義重氏への手紙	高松 次郎	みづゑ	822
美術回想録	小松 義雄	シ	101	絵の中心は動く、そ うして自由である	坂本 善三	美術ジャ ーナル	復刊3
小松崎邦雄	池辺 一郎	美術グラ フ	(2)	坂本繁二郎の芸術	松永 伍一	ぼざある	2
小牧源太郎	乾 由明	みづゑ	819	窯業共同体の元祖祭	坂倉新兵衛	芸術新潮	277
ダリ「記憶の回執」	小牧源太郎	京 都	4.20	佐伯祐三の墓	足立 巻一	日本美術 工芸	419
小村大雲(放ち銅)	入江 相政	日本美術	93	昭和3年8月16日の 佐伯祐三と九州にあ った古賀春江の新発 見の作品	朝日 晃 絵		117
小室翠雲	菊地芳一郎	美術グラ フ	(5)(6)	パリで発見された佐 伯祐三	シ	芸術新潮	281
児島虎次郎と大原コ レクション	藤田慎一郎	絵	108	佐熊桂一郎の絵画世 界	田中 修	芸術生活	286
旅	児玉 幸雄	絵	118	佐々木泰南、憲章		日本美術	96
高良真木	高良 真木 洲之内 徹 浜田 糸衛	美術ジャ ーナル	復刊3	パリで自覚した絵心	佐藤 亜土	現代の眼	218
昭和3年8月16日の 佐伯祐三と九州にあ った古賀春江の新発 見の作品	朝日 晃 絵		117	佐藤亜土	乾 由明編	みづゑ	815
国領経郎「砂の丘の 若い人」	やなせ、た かし	日本美術	103	作家の記録	佐藤 真一	美術ジャ ーナル	復刊5
製図板をのせる台	河野 鷹思	芸術新潮	279	無名であるというこ と(佐藤清三郎の素 描)	洲之内 徹	美術ジャ ーナル	12, 13合 併号
アメリカの日本作 家・アンケート	近藤 竜男	視 る	76	佐藤大覚	(中野 記)	日本美術	94
アメリカのドローイ ング63-73年展	近藤 竜男	毎日夕刊	8.8	特集、佐藤大覚	シ		98
ホイットニー・ビェ ンナー展	シ	シ	3.22	安らぎの時	佐藤 太清	読 売	10.28
近藤弘明の絵画	串田 孫一	三 彩	301	彫刻家佐藤忠良		芸術新潮	286
覚めてきた近藤弘明		芸術新潮	282	肉体派陶芸家、佐藤 敏	草野 守立	シ	288
近藤弘明	吉村 貞司	京都夕刊	3.24	芸術院賞受賞の佐野 さん(佐野猛夫)		京 都	4.10
後藤純男	シ	シ	6.2	指輪	佐野 めい	芸術新潮	288
後藤よ志子		日本美術	97	山形の神明さま	桜井 浜江	シ	277
				桜田精一、久美		日本美術	102
				里見明正	松永敏太郎 志郎 武久 小比木桂作	美術ジャ ーナル	12, 13合 併号

昭和48年定期刊行物所載文献

写実考	里見 勝蔵	日本美術	93	杉浦幸雄さん		京 都	7.9
澤田政廣		シ	99	抽象表現と私	杉全 直	現代の眼	224
文化功労者に選ばれた沢田政広		芸術新潮	288	杉山寧		芸術生活	292
沢渡寿子	加堂 秀三	芸術生活	290	鈴鹿芳康	乾 由明編	みづゑ	815
	(シ)			鈴木治の青磁のオブジェ		芸術新潮	283
重森三玲氏		京 都	9.10	火焰装飾の深鉢	鈴木 治	京 都	11.30
クラーベの魅力	重野 哲	ぼざある	1	作家の記録	鈴木 保徳	美術ジャーナル	復刊6
抽象表現と私	品川 工	現代の眼	224	中村彝さんのくらしむぎ	鈴木 良三	絵	117
篠田桃紅		芸術新潮	277	中村彝の思い出	シ	美術ジャーナル	復刊3
古代裂	篠田 桃紅	シ	288	関根正二「信仰の悲しみ」	薄田 芳彦	京 都	10.19
篠田守男の空間		シ	277	小出楯重、須田国太郎の芸術継承の周辺にいた頃	田辺彦太郎	絵	109
アメリカの日本作家・アンケート	篠原有司男	視 る	76	須田国太郎先生との思い出	本田たけを 芝田 耕	美術ジャーナル	復刊5
島州一	乾 由明編	みづゑ	815		(セ)		
サンパウロ展に参加して	島 洲一	毎日々刊	11.21	縁起	清家 清	京都夕刊	9.24
島村三七雄		日本美術	103	谷口吉郎氏	シ	新日々刊	11.30
絵画表現の奥儀を演能の心に見た	芝田 耕	美術ジャーナル	復刊5	小笠原、父島写生行	妹尾 正雄	日本美術	94
机	清水 愷	朝日々刊	8.11	関根正二、遺聞	土方 定一	絵	107, 111
清水登之の軌跡	岩崎 吉一	みづゑ	817	関根正二	松永 伍一	芸術生活	282
清水練徳		日本美術	102	関根正二「信仰の悲しみ」	薄田 芳彦 池坊 保子	京 都	10.19
わが道をゆく	清水六兵衛	シ	93	関根伸夫の「変換」彫刻		芸術新潮	281
清水六兵衛の人と芸術	山田 龍平	シ	102	新しい「様式」の模索	関根 伸夫	芸術手帖	366
清水六兵衛先生	新開 寛山	日 経	8.16	都市へのかかわりと提案	クレス・オルデンバーク	シ	371
山越阿弥陀図	志村ふくみ	京 都	11.2		関根 伸夫 東野 芳明		
下谷千壽	乾 由明編	みづゑ	815	(ソ)			
下村善三郎さん		京 都	9.6	中村彝むだばなし	曾宮 一念	絵	116
抽象表現と私	下村良之介	現代の眼	224	夢に思う	シ	朝日々刊	2.23
川端龍子「愛染」	シ	京 都	4.13	年月の化粧	シ	朝 日	9.29
聖なる河ガンジス	シ	シ	9.3	戦中時代の「具象」の一断面(曹良奎にふれて)	針生 一郎	美術ジャーナル	12. 13合併号
アフリカ紀行	シ	毎日新聞	9.5		(タ)		
ドライブ	正田 壤	絵	115	陶丁三年で縄文焼の元祖	高木 和安	日 経	11.8
アメリカの日本作家・アンケート	白井 昭子	視 る	76	高田博厚氏		京 都	1.30
「精神」を追う建築家	白井晟一氏	朝日々刊	2.15	最初に戻る一東西の心もとは	高田 博厚	朝 日	4.28
建築と思想遍歴一白井晟一氏に聞く(上・下)		毎日々刊	7.9, 7.10	ザッキン大回顧展に寄せて	シ	読売夕刊	2.26
吉原治良の墓	白髪 一雄	芸術新潮	283	回想抄筆一安井曾太郎先生のことなど	高田 誠	絵	116
吉原治良の追憶	シ	視 る	73	高田義男		東 京	1.3
吉原治良の円	シ	京 都	6.15				
清水六兵衛先生	新開 寛山	日 経	8.16				
新宮晋のモビール彫刻	新宮 晋	芸術生活	282				
	(ス)						
菅野圭介の絵	吉田 正明	日本美術	98				
凱旋門の落日	菅原 洸人	京 都	12.13				
杉浦康平のインテリア	宮脇 檀	芸術生活	283				

模写支倉常長	高田 力蔵	日 経	2.28	入周年を迎えた明治村	谷口 吉郎	東京夕刊	3.19
キリコ近作の秘密	高橋 秀	芸術新潮	287	谷口吉郎氏		日経夕刊	10.30
N兄へ	ス	現代の眼	218	建築意匠と私	谷口 吉郎	東京夕刊	11.2
高橋由一再考	副島三喜男	絵	107	谷口吉郎氏	篠原 一男	京 都	11.3
高島達四郎	藤本 韶三	三 彩	301	谷口吉郎氏	清家 清	朝日夕刊	11.30
アンデルセン著、森鷗外訳「即興詩人」	高島達四郎	日 経	3.2	谷本義重（安井賞受賞者）		日本美術	96
高間惣七、真理		日本美術	99	安井賞に谷本重義氏		朝日夕刊	5.5
高松次郎「THE STORY」	柏原えつと む 鈴木 建二	京 都	3.9	忘れがたい遠い日のこと	立石 鉄臣	美術ジャーナル	復刊7
机の変身のスケッチ	高松 次郎	芸術新潮	278	建石修志の世界	中井 英夫	芸術生活	286
高松次郎の初原	たにあらた	美術手帖	375	アンケート、明日の日本画	玉置 正敏	美術グラフ	(1)
連載対談・理性、理念、情念、意識他	高松 次郎 李 禹煥	ス	364	丹下建三		京 都	11.4
高村光太郎「手」	大谷紀美子 黒田 辰秋	京 都	10.26	日光街道大内村	近藤善次郎	芸術新潮	282
高森碎巖の画論	竹谷長二郎	萌 春	227	(ツ)			
高山辰雄の屏風「日月星辰」	粟津 則雄	芸術新潮	277	土田麦僊の世界	関 千代	日本美術	100
特集・高山辰雄の芸術		三彩増刊	299	特集・土田麦僊	弦田平八郎 仙波 建夫 内山 武夫	三 彩	307
高山辰雄小論	寺田 千壘	日本美術	95	土田麦僊	坂崎 乙郎	芸術生活	290
高山辰雄「遠野」	各内 六郎	ス	103	土田麦僊作「大原め」	内山 武夫	視 る	75
現代工芸展に思う	高山 辰雄	読売夕刊	4.20	土田麦僊「大原女」	山下 サキ 内山 武夫	京 都	5.11
竹内栖鳳「斑猫」	池田 遙都 藤田 猛	京 都	8.31	麦僊と私	峯 孝	東京夕刊	8.11
アメリカの日本作家・アンケート	竹田鎮三郎	視 る	76	日本画の近代化と麦僊	弦田平八郎	読売夕刊	7.18
森有正著「木々は光を浴びて」	竹谷富士雄	日 経	10.28	アメリカの日本作家・アンケート	土本 真澄	視 る	76
竹久夢二「黒船屋」	石原 薫 平中 歳子	京 都	5.25	辻愛造私論	尾野 正晴	日本美術	103
漂白の詩人画、竹久夢二	村木 明	ぼざある	1	平櫛田中「転生」	辻 晋堂	京 都	8.24
武井武雄		朝 日	6.5	私の歩いた戦後美術	辻 光典	日本美術	100
武井武雄氏		京 都	6.9	辻本千也		毎日夕刊	10.12
田崎広助	藤本 韶三	三 彩	303	津高和一の「わすれもの」		芸術新潮	285
くたばれ、去勢芸術	田島 征彦	読売夕刊	7.24	津高和一	乾 由明	みづゑ	825
田島征三		東 京	11.17	ある流れの中で	津高 和一	美術ジャーナル	復刊4
アフリカを描く—西野久子の絵画世界<芸生ギャラリー>	田中 修	芸術生活	284	移動ゼミナール	津高 和一	毎日夕刊	10.15
アマゾンインディオたち	田畑 弘	日 経	6.4	机辺を語る	津田 青楓	芸術新潮	278
田淵安一	乾 由明	みづゑ	823	津田青楓翁	三宅正太郎	日本美術	95
マンガラの世界	田淵 安一	芸術新潮	288	良寛の書と歌	津田 青楓	朝 日	7.1
田村一男		日本美術	101	堤淑子さん		京 都	1.9
田村文雄	乾 由明編	みづゑ	815	椿貞雄の墨彩画	東 珠樹	三 彩	302
多田美波さん		日 経	11.16	(テ)			
視線1~12	谷川 晃一	美術手帖	362~375	自己の再確認を	寺田 竹雄	日本美術	93
魂の肖像	谷口 吉郎	芸術新潮	283	奇遇	ス	絵	114
谷口吉郎文化勲章受賞		ス	288	坊主頭	ス	毎日夕刊	1.5
				私の地球	寺中 靖直	美術グラフ	(8)
				アニメの新生	手塚 治虫	読売夕刊	11.16

アンケート、明日の日本画 出水 徹 美術グラフィック 48-1

(ナ)

(ト)

東郷青児		日本美術	95	アメリカの日本作家・アンケート	中川 直人	視 る	76
私の歩いた戦後美術	東郷 青児	シ	100	中川ともとその画業	大西 信行	芸術生活	281
東郷青児	藤本 韶三	三 彩	308	アメリカの日本作家・アンケート	中里 齐	視 る	76
ふるさと今昔・伊豆大島	東郷 青児	朝 日	2.18	中島清之、千波		日本美術	100
徳岡神泉の芸術	田中日佐夫	三 彩	306	中島千波	吉村 貞司	三 彩	307
徳岡神泉作「池」	小倉 忠夫	視 る	70	中田世津	加堂 秀三	芸術生活	286
徳岡神泉「狂女」	橋本 喜三 小池 堯子	京 都	6.8	机のない私	仲田 好江	芸術新潮	278
生きていた東海道	徳力富吉郎	朝日夕刊	9.7	私のガラス器	シ	シ	284
利根山光人の石のレリーフ		芸術新潮	282	空地	シ	日本美術	93
ピカソとの会見	利根山光人	三 彩	303	中西夏之の才能		芸術新潮	281
利根山光人氏	シ	日 経	4.13	中西夏之のレリーフ	東野 芳明	芸術生活	285
石影レリーフ「伝統」が完成	シ	日本美術	96	紅茶をのみながら(対談)	金井美恵子 中西 夏之	美術手帖	367
「はにわ」特別展をみて	シ	読売夕刊	3.2	アンケート、明日の日本画	中野 淳	美術グラフィック	1
イラン紀行	シ	朝日夕刊	7.14	中本達也特集・自由美術時代の回想	シ	シ	復刊11
雪と京周辺の街道を取材して	富岡惣一郎	芸術新潮	282	中野嘉之論	吉村 貞司	三 彩	301
TOMS' FIN- GERS TRAVEL ON THE BOX	戸村 浩	美術手帖	362~368	中林忠良	乾 由明編	みづゑ	815
鉄斎展異聞	大川 達雄	芸術新潮	280	中村錦平	乾 由明	シ	820
富岡鉄斎	小高根太郎	三 彩	301	中村大三郎	菊地芳一郎	美術グラフィック	48-11
鉄斎・一代の神韻	村上 一郎	シ	シ	特集・中村彝	保田 龍門 前田 慶蔵 戸張 孤雁	三 彩	309
町人的儒生、鉄斎	加藤 一雄	みづゑ	819	彝の歿後50年の問い		芸術新潮	288
父と鉄斎	小山 敬三	日本美術	94	中村彝むだばなし	曾宮 一念	絵	116
鉄斎作品の賛文並びに印章の解説	小高根太郎	大和文華	57	「無形視覚」の画家中村彝	陰里 鉄郎	シ	117
松山の石崎家と鉄斎	伊藤 敏子	シ	シ	中村彝さんのくらしむき	鈴木 良三	シ	シ
鉄斎と富士山	横内 正弘	京都夕刊	1.13	中村彝展を見て思ったこと	谷川 徹三	シ	118
鉄斎の画囊	松下 隆章	シ	2.19	師「中村彝」の追憶	本郷 惇	美術ジャーナル	復刊3
偉大な芸術家・鉄斎	横内 正弘	シ	4.14	中村彝の思い出	鈴木 良三	シ	シ
ザッキン「三重奏」	富樫 実	京 都	4.27	中村宏「座る女」	金子 良運	日本美術	103
私のなかのベトナム	富山 妙子	朝日夕刊	2.2	中村正義	桑原 住雄	三 彩	309
豊田勝利のこと	河北 倫明	視 る	74	再起を危ぶまれる中本達也		芸術新潮	284
あえぎの歩み展	豊秋 半次	萌 春	219	中本達也君を悼む	今泉 篤男	美術ジャーナル	復刊11
アメリカの日本作家・アンケート	豊田 豊	視 る	76	中本達也	海上 雅臣	シ	シ
アンケート、明日の日本画	鳥居 敏文	美術グラフィック	1	作品集「中本達也一人間讃歌」	小川 栄二	シ	シ
土井俊泰		日本美術	93	映画「中本達也の世界」制作について	吉岡 康弘	シ	シ
堂本尚郎	乾 由明	みづゑ	821	「岩の声」のある場所	高橋 義博	シ	シ
在外生活と日本一堂本尚郎氏にきく	富山 秀男	現代の眼	218	共犯者を喪う	開高 健	シ	シ
堂本印象の京都の性格	田中日佐夫	三 彩	301	中本達也あゝのころ	泉三太郎他	シ	シ
堂本印象小論	藤田 猛	日本美術	97				



戦中時代の「画家」の一断面 (中本達也にふれて)	針生 一郎	美術ジャーナル	12. 13合併号
永井一正のステンレス・レリーフ		芸術新潮	283
初めての壁画製作	永井 一正	ス	285
グラフィックイメーヅ'73	ス	視 る	75
コラージュ	永沢 峻	芸術生活	287
長井雲坪余譚(1)~(6)	高井 蒼風	萌 春	222-227
ブラジルの日系人	長尾みのる	東京夕刊	2.5
長原・藤島両先生回想	小堀 杏奴	絵	110-115 118
「芭蕉の夢」に就て (直原玉清作)	島岡 剣石	萌 春	220
流政之の最近の仕事		芸術新潮	279
抽象表現と私	灘波田竜起	現代の眼	224
難波田史男		日本美術	99
ルドン展をみて	灘波田竜起	東京夕刊	9.18

(二)

未来の国オーストラリア	西 真	京 都	6
西八郎における幻想の意味	三好豊一郎	美術グラフィック	4
アメリカの日本作家・アンケート	ルイス・西沢	視 る	77
自宅個展24時間—西田勝先生		美術ジャーナル	復刊7
西田勝	和田 敏文	ス	復刊9
西野久子さん		毎 日	5.10
西山真一、松生		日本美術	101
パリに思う	西山 松生	ス	103
師弟交遊録—西村五雲氏、山口華陽氏		京都夕刊	2.21
アメリカの日本作家アンケート	新妻 実	視 る	76

(又)

師弟交遊録—沼田一雅氏、八木一夫氏		京都夕刊	5.2
-------------------	--	------	-----

(ノ)

野口弥太郎		日本美術	93
野田哲也	乾 由明編	みづゑ	815
異色画家、野長瀬晩花	仙波 健	三 彩	309
野間仁根		日本美術	101
サンタンブロッショの祭り	野間 佳子	芸術新潮	277
画家の髯	野見山暁治	芸術新潮	277
野村京子さん		京 都	10.1
野村守夫		日本美術	94
野村守夫氏		日 経	8.10
田舎画家	納富 進	絵	114

(ハ)

北鮮の共同墓地	萩原 英雄	芸術新潮	283
橋本閃雪	菊地芳一郎	美術グラフィック	2
円空と橋本平八	木間 正義	近代の美術	16
毛沢東がアカンペーしてなぜ悪い	橋本 勝	美術手帖	362
漫画的なるものをめぐって	ス	ス	366
橋本明治の「竜」		芸術新潮	277
縁の深い壁画	橋本 明治	ス	285
壁画「龍」の完成 (橋本明治作)	藤本 韶三	三 彩	297
長谷川潔作、「狐と葡萄、静物画」	内山 武夫	視 る	69
長谷川昇氏逝く	藤本 韶三	三 彩	308
新発見の長谷川利行作品	宮川 寅雄	ス	307
長谷川利行の三十三回忌	小倉 忠夫	絵	108
畑田国男		毎日夕刊	5.1
浜口陽三と麻生三郎		三 彩	305
林克子さん		京 都	1.4
林一英		日本美術	97
林一英		朝 日	3.20
林秀行作「作品」	鈴木 健二	視 る	79
「瓦の変幻」速水史朗	川島真仁郎	芸術新潮	285
早川義孝		日本美術	102
原健	乾 田明編	みづゑ	815
クラナッハの少女像 (複製画)	原 精一	芸術新潮	280
津田青楓の装幀図案集	原 弘	ス	288
原撫松のこと	千澤 楨治	絵	116
森鷗外と同時代美術中、下(原田直次郎)との交友をめぐって	芳賀 徹	文 学	41-1,3
絵描きを捨てた絵かき	盤若 一郎	美術ジャーナル	復刊4
馬場のぼる		朝 日	5.26
馬場のぼる氏		日 経	6.29
馬場雄二のミラーとミレーヅ	大智 浩	アイデア	118

(ヒ)

平賀敬「H氏の優雅な生活」		日本美術	97
平川勇	南 美恵子	ス	94
私と平川勇さんとの出会い	廣田弘雄談	美術ジャーナル	復刊5
高く売られた絵は死んでいた	平川 勇	ス	ス
菱田春草	中村 溪男	近代の美術	15

昭和48年定期刊行物所載文献

平川敏夫		日本美術	93	私の絵	福山すすむ	美術ジャーナル	復刊7
平櫛田中の彫刻	水井 信一	三 彩	301	福山進さんの変身		〃	〃
特集・平櫛田中翁私の歩いてきた道	平櫛田中他	日本美術	97	スケッチブックを頼りに(堀辰雄と信濃路)	深沢 紅子	太 陽	122
老木彫家の心意気	平櫛 田中	日 経	3.23	ロマンティック時代の藤島武二	中村 義一	宮崎大学教育学部紀要	芸能34
平櫛田中氏		京 都	3.10	長原、藤島両先生回想	小堀 杏奴	絵	110~115, 118
平櫛田中「転生」	高橋 亨	〃	8.24	音と色と現代音楽	藤島 奨	絵	110
平櫛田中の人と作品	本間 正義	ほざある	1	藤田嗣治先生のお墓	高島 文子	〃	114
平田勝規		日本美術	98	藤田嗣治「ネコ」	岡部 三郎 藤川 延子	京 都	6.29
漫画でワッショイ	平野 勲	日 経	6.19	スペインの春(上・中・下)	藤田 吉香	毎 日	1.5~1.7
古代の道	平山 郁夫	芸術新潮	282	余白	〃	京都夕刊	11.1
平山郁夫論	桑原 住雄	三 彩	301	山車の舞	藤松 博	芸術新潮	277
平山郁夫「パーミアンの大石仏」		日本美術	96	藤松博の毛筆デッサン		芸術新潮	284
高松塚古墳壁画のこと	平山 郁夫	京都夕刊	11.8	ヨーロッパの正月	藤本東一良	日本美術	93
アレキサンダー大王の野望の跡を巡る	平山美知子	日 経	7.3	藤好鶴之助のオイル・イラストレーション	宮山 峻	アイデア	102
唐招提寺への道1~6	東山 魁夷	芸術新潮	283~288	パチカンにて	船越 保武	絵	115
東山魁夷「萌春」、「盛秋」		日本美術	95	回顧展を聞く舟越保武さん		毎日夕刊	5.22
私の歩いた戦後美術ザクロを持つ女神像	東山 魁夷	〃	100	ベナンフォ・クロチェッティ	船越 保武	ほざある	2
早春譜	〃	東京夕刊	1.8	安らぎの時	〃	読 売	6.17
東山魁夷さんの礼状	福岡 豊	毎 日	2.4	船坂芳助	乾 由明編	みづゑ	815
アメリカの日本作家・アンケート	樋口 シン	視 る	76	大王の道	古沢 岩美	芸術新潮	282
十二展	広瀬 功	絵	110	模造と偽造(複製画)	古田 紹欽	〃	281
(フ)							
福井良之助		日本美術	97	(ホ)			
「告発」をつづける福井顕男、年子さん		美術ジャーナル	復刊3	堀文子	諸井 誠	日 経	5.1
防弾ガラスで被覆されたステンドグラス	福沢 一郎	芸術新潮	285	ブランクーシの逸話から	堀田 正和	美術手帖	362
特集・福沢一郎	福沢 一郎 佐々木静一	三 彩	305	坐忘録	〃	〃	362~375
福沢一郎の「地獄への誘い」	菊地 明子	美術グラフ	(7)	うそもまことも“テレオロジー”(対談)	堀内 正和 堀内 賢二	〃	368
ボナールのアトリエを訪ねる	福島金一郎	絵	115	抽象表現と私	堀内 正和	現代の眼	224
福島瑞穂		日本美術	103	アメリカの日本作家・アンケート	ポール堀内	視 る	76
美術ブームのなかで	福田 新生	絵	107	堀川公子	田中 皓一	萌 春	225
絵画ブームの果に	〃	〃	113	アンケート、明日の日本画	保科 米三	美術グラフ	(1)
私の絵日記14~23	〃	美術グラフ	(1)~(12)	師「中村彝」の追憶	本郷 惇	美術ジャーナル	復刊3
料理サンプル	福田 繁雄	芸術新潮	288	(マ)			
福田匡伸と土俗的な素材の魅力		アイデア	120	東京海上ビルと前川国男氏		朝日夕刊	10.10
今日この頃	福本 章	絵	109	前田青邨「竹取物語絵巻」	鹿島 卯女	日本美術	98
福本章の作品	村木 明	〃	110	ヒンズー教の神々の画像(複製画)	前田 常作	芸術新潮	281
福本章についての感想	日野耕之祐	〃	〃	私の曼陀羅体験	〃	読 売	6.17
福本章	小川 正隆	朝日夕刊	8.23				

韓国の美術(対談)	朴 栢甫 前田 常作	美術手帖	370
粗悪な複製と著作権法	益田 義信	美術新潮	281
梶田隆一論	吉村 貞司	三 彩	303
松尾敏男の制作	菊地芳一郎	美術グラフ	(7)
松尾敏男	吉村 貞司	京都夕刊	5.1
松岡映丘	菊地芳一郎	美術グラフ	(3)
松樹路人		日本美術	96
松田百合子	加堂 秀三	芸術生活	288
松任谷国子		京都夕刊	11.5
アメリカの日本作家・アンケート	松原 直子	視 る	76
松久明琳さん		京 都	2.26
松久明琳さん		朝 日	4.16
松本曼	乾 由明編	みづゑ	815
松本弘二	藤本 韶三	三 彩	306
松本文子	吉村 貞司	夕	305
「白」の松本文子	川島真仁郎	芸術新潮	287
村上華岳「日高河清姫」	松本 文子	京 都	10.12
特集・間所沙織の遺作	瀬木 情一	芸術生活	289
戦中時代の「具象」の一断面(間所沙織にふれて)	針生 一郎	美術ジャーナル	12. 13合併号
ソヴィエトSF画・ソコロフの世界	直鍋 博	芸術生活	284
特集・人力考—エネルギーの原油を求めて	夕	芸術生活	285
たびたびの旅	夕	朝 日	1.16
アメリカの日本作家・アンケート	マベ・アナブ	視 る	76
丸木俊さん		朝 日	7.29

(ミ)

カラス	三浦 俊輔	芸術新潮	288
画家としてのよろこび	夕	日本美術	100
スパー・リアリズム	三尾 公三	京 都	9.21
絵画で歩く「奥の細道」	三上 正寿	芸術新潮	281
三木富雄の耳・耳・耳...		夕	278
三岸黄太郎	小川 正隆	朝日夕刊	8.24
三岸節子	夕	夕	8.22
三橋国民「鐵の鳥」	磯部 映次	日本美術	103
三輪晃勢「水のほとり」	入江 相政	夕	夕
水谷淳		夕	94
仏像を彫る水野英夫先生		美術ジャーナル	復刊6
緑川廣太郎		夕	復刊10

屋根裏部屋の山水画と竹久夢二(複製画)	緑川 洋一	芸術新潮	281
皆川千恵子さん		京 都	5.14
皆川月華さん	夕	夕	10.15
アメリカの日本作家・アンケート	皆島 万作	視 る	77
屏風ケ浦	宮内 義雄	日本美術	101
宮瀬富之さん		京 都	11.12
宮田洋子	加堂 秀三	芸術生活	289
宮永岳彦		日本美術	95
美少女	宮永 岳彦	芸術生活	288
麦櫻と私	峯 孝	東京夕刊	8.1
セザールとベレコビックの個展をみて	宮崎 進	毎日夕刊	6.20
第8回パリ青年ビエシナーレ	夕	夕	11.8

(ム)

向井久万	藤本 韶三	三 彩	307
よみがえる民家	向井 潤吉	東京夕刊	3.28
オベールノ双墓碑	棟方 志功	芸術新潮	
棟方志功さん		朝 日	12.1
個展を前に	宗重喜久子	絵	108
村岡三郎	乾 由明	みづゑ	817
映像表現 <sup>73</sup> なぜ作家は魅れる	村岡 三郎	京 都	9.7
村山華岳	坂崎 乙郎	芸術生活	282
村上華岳「日高河・清姫」	加藤 一雄 松本 文子	京 都	10.12
村上紀久子さん	夕	夕	1.11
アメリカの日本作家・アンケート	村田 實史雄	視 る	76
アメリカの日本作家・アンケート	村田 博	夕	夕
村松貞次郎		毎日夕刊	11.20
村山槐多6~17	草野 心平	絵	107~118
室井東志生		日本美術	98

(モ)

人材	最上 寿之	芸術新潮	288
須田先生との思い出	奎田たけを	美術ジャーナル	復刊5
お正月と天神様	望月 春江	日本美術	93
望月春江	夕	夕	102
みちくさ	森口 邦彦	視 る	74
若い世代の起爆剤—森島紘一	亀倉 雄策	アイデア	120
特集・森田恒友 森田恒友の素描の世界	隆里 鉄郎	三 彩	309
森田曠平、やすこ		日本美術	97
金重陶陽のぐい呑	森田 曠平	芸術新潮	288
森田曠平	吉村 貞司	京都夕刊	2.24
私と工芸	森野 泰明	視 る	74
森本仁平	森本 仁平 遠山 信男	美術ジャーナル	復刊4

昭和48年定期刊行物所載文献

奈良の今昔	森本 光子	日本美術	96						
陶芸二代八木一舛、一夫	大西 信行	芸術生活	290						
最後の職人八木一舛の死		芸術新潮	286						
櫻の机	八木 一夫	ス	279						
二百五十坪	ス	ス	288						
師弟交遊録—沼田一氏、八木一夫氏		京都夕刊	5.2						
北大路魯山人「備前大手桶」	八木 一夫	京 都	7.13						
そこに壁があるふうな	八十島 稔	美術ジャーナル	復刊8						
聖胎長養の師	矢崎 虎夫	現代の眼	220						
矢柳剛の版画	吉田 光邦	芸術生活	287						
今日の版画状況とその周辺	矢柳 剛	絵	109						
私の歩いた戦後美術	柳原 義達	日本美術	100						
彫刻の魔術師（ジャコモ・マンズー展）	ス	現代の眼	228						
意地で無遅刻、無欠勤	柳原 良平	朝 日	4.15						
卵にかけたイタリア在住の日本作家（山県寿夫）		芸術新潮	280						
平日忌の国	山口 勝弘	美術手帖	362						
晩年の山口薫の作品	麻生 三郎	三 彩	302						
師弟交遊録—西村五雲氏、山口華楊氏		京都夕刊	2.21						
山口長男	乾 由明	みづゑ	816						
山口蓬春の芸術	高尾亮一他	三彩増刊	310						
山崎覚太郎		日本美術	100						
小出楯重の思い出	山崎 隆夫	美術ジャーナル	復刊4						
生活におう髪油の壺	山下 忠平	日 経	2.24						
山下寛のロゴタイプ	稲垣行一郎	アイデア	120						
大阪での個展に思う	山田 新一	日本美術	98						
ウイン・ブダベストそしてベルンへ	ス	ス	101						
山田新一さん		京 都	7.5						
山田申吾	藤本 韶三	三 彩	298						
山田申吾		日本美術	96						
山田文子の絵画世界	田中 修	芸術生活	288						
私の歩いた戦後美術	山室 百世	日本美術	100						
山本衛士		ス	99						
宇部でも大賞受賞「喜び」の山本衛士	編 集 部	美術手帖	375						
山本丘人氏		日 経	8.31						
物置き台と化す	山本 豊市	芸術新潮	279						
		(ユ)							
結城素明	菊地芳一郎	美術グラフィ	(4)						
		(ヨ)							
		日本こそ最も仕事のし甲斐のある位置	横井 礼以	美術ジャーナル	復刊7				
		横尾忠則	乾 由明編	みづゑ	815				
		特集・現代の音霊	横尾 忠則	芸術生活	283				
		日本原景旅行	ス	ス	281~292				
		宇宙とぼく(上・下)	ス	読 売	8.5				
		横尾龍彦の世界	田中 修	芸術生活	292				
		私の交友記録	横堀角次郎	美術ジャーナル	復刊9				
		ふるさと今昔—高和	横山 泰三	朝 日	2.25				
		横山大観	坂崎 乙郎	芸術生活	292				
		横山操の再起	針生 一郎	芸術新潮	280				
		特集・横山操の死	ス	ス	281				
		賢兄・横山操逝く	加山 又造						
		乱世の英雄	針生 一郎						
		豪壮なる危機感	吉村 貞司						
		横山操論	桑原 住雄	三 彩	303				
		横山操追悼	宗 左近	絵	112				
		加藤栄三と横山操の死	小森 盛	日本美術	97				
		横山操をしのぶ	山本 政雄	美術グラフィ	(5)(6)				
		横山操	吉村 貞司	京都夕刊	1.27				
		吉井淳二、浩		日本美術	98				
		アンケート、明日の日本画	吉井 忠	美術グラフィ	(1)				
		土民派の美学	ス	美術ジャーナル	復刊8				
		吉岡堅二	藤本 韶三	三 彩	309				
		吉田克朗	乾 由明編	みづゑ	815				
		吉田岡三さん		京 都	4.5				
		吉原治良の墓	白髪 一雄	芸術新潮	283				
		特集・吉原治良 前衛精神の軌跡	針生 一郎	みづゑ	819				
		吉原治良の追憶	元永 定正	視 る	73				
		吉原治良の円	白髪 一雄	ス					
		吉原治良の人と芸術	紫山 全慶	京 都	6.15				
		吉原英雄	亀田 正雄	毎日夕刊	4.18				
		マンガ文化	乾 由明	みづゑ	818				
		出羽路板谷峠	ヨシトミ・ヤスオ	京 都	3.2				
		淀井敏夫	芳武 茂介	芸術新潮	282				
				日本美術	102				
		(リ)							
		李禹煥	乾 由明編	みづゑ	815				
		バーナード・リーチ氏の講演から		京 都	6.16				
		(ワ)							
		若江漢字	乾 由明編	みづゑ	815				
		若林奮の強烈な造型		芸術新潮	285				

オシップ・ザッキンについて	若林 奮	みづゑ	817	ベルナル・カトランさん	京 都	11, 18
若林奮の水彩デッサン	酒井 忠康	シ	822	カラヴァッジオを追って	若桑みどり	芸術新潮 287
若林奮の経験の集約	土方 定一	三 彩	307	ヘルバシオ・ガリャルド		アイデア 118
傾斜について	若林 奮	シ	307	四大陸で個展を開く	ユ一・ガレラ	日 経 3.14
脇田愛二郎	乾 由明編	みづゑ	815	評価されるカンディンスキー来日のワロージン氏に聞く		毎日夕刊 6.6
脇田愛二郎		日本芸術	102	マッシモ・カンピリ	伊藤 海彦	三 彩 311
脇田和		シ	94	J・カナディとの対話	村木 明	読売夕刊 1.25
天界の図像、渡辺隆次	草野 守立	芸術新潮	286	贋作と格闘するデ・キリコ<真贋・109>	小林 照	芸術新潮 277
渡部正弥さん		美術ジャーナル	復刊5	キリコ近作の秘密	高橋 秀	シ 287
気味が悪い(複製画)	渡辺 優	芸術新潮	281	キリコの神話	笹本 孝	芸術生活 292
和田忠志	和田 忠志	美術ジャーナル	復刊8	特集・ジョルジョ・デ・キリコ		三 彩 311
現代に欠けているもの(座談会)	大沢 昌助 久保 守 庫田 發	シ	シ	キリコ	坂崎 乙郎	美術手帖 373
木下、足立、大久保、石井、矢島諸先生を悼む	長谷川 仁	絵	111	将来の絵画はどうなるか	ジョルジョ・デ・キリコ 訳・編集部	シ 3
追悼の記-石井鶴三、木下孝則、足立源一郎、横山操	藤本 韶三	三 彩	302	クラベの見た日本	石原 優	芸術新潮 277
日本の人脈(日本画)5~32	田中 穰	読 売	11. 21~ 12. 29	スペイン異端の系譜	藪野 健	日本美術 工芸 413, 414
アメリカの京都系作家たち	小倉 忠夫	京 都	9.17	アントニー・クラベ 1, 2	黒田 恭一	季刊芸術 25
作 家 (外国)				マラーとクリムトのこと		287
アンナビア・アントニーニ女史にきく		ガレリア通信	1	はじめてのクリンガ		287
ウォーホル	山口 勝弘 石崎浩一郎 清水 俊彦 金坂 健二 日向あき子 高橋 明子 東野芳明他	美術手帖 増刊	374	ジェームス・クロース	五十嵐威暢	アイデア 118
(座談会)				ベナンツォ・クロチエッティ	船越 保武	ぼざある 2
都市へのかかわりと提案 クレス・オルデンバーグ・関根伸夫	東野 芳明	美術手帖	371	アンドレ・コタボ炎の人ゴッホ		絵 108
ヴァザーリの「チマブーエ伝」について	西山 重徳	美術史研究	10	内部の崖	小川 国夫	太 陽 126
ダ・ヴィンチを尋ねて	羽生 操	美術ジャーナル復刊	3	ワはゴッホになる	棟方 志功	
パウル・ヴンダーリヒ	野村 太郎	芸術生活	284	ゴッホと日本	小川 正隆	
ヴンダーリヒの“黄昏”の女たち		ぼざある	1	近況・ゴッホゆかりの人々	ケン・ウィルキー	
M・C・エッシャー	池田満寿夫	芸術生活	283	南フランスでの想像、ゴッホの耳切り事件	小川 国夫	毎日夕刊 9.13
レイ・エングル	五十嵐威暢	アイデア	118	ゴヤの版画四シリーズ	大高保二郎	芸術生活 286
スペイン異端の系譜アロソン・アーノ1, 2	藪野 健	日本美術工芸	417, 418	ズデニエク・ジグレルとその作品		アイデア 121
				ラウル・L・シェークスピアとその作品		シ 121
				レーモン・ジッドとその作品		シ 118
				特集・シャガールの「聖書」	辻 邦生	芸術新潮 288
				シャガール会見記	林 紀一郎	芸術生活 292

ジャコメッティの現 実性	飯島 耕一	みづゑ	823	ジェームズ・パーク リー	瀬木 慎一	アイデア	118
ジャコメッティの芸 術	小川 正隆	朝日夕刊	9.11	もう一人のジャコモ パツラ	草野 守立	芸術新潮	280
特集・ジャコメッテ ィ	若林 奮 伊藤 海彦 松田美佐子	三 彩	308	パブロ・ピカソ	瀬木慎一他 三 彩	303	
ジャコメッティ	鈴木 隆	美術手帖	373	特集・ピカソ90年	瀬木 慎一 編・解説	芸術新潮	281
ジャコメッティの刻 影	堀内 正和	芸術生活	290	1.プリミティブの 発見			
見つめる(ジャコメ ッティ)	宗 左近	絵	108	2.矛盾の美学— キュビズム			
イヨルク・シュマイ サー	吉村 貞司	三 彩	297	3.ピカソと古典			
ユルク・シュルテス の版画	種村 季弘	みづゑ	816	4.ゲルニカの周辺			
アレン・ジョーンズ	栗田 亮	芸術生活	283	5.オブジェの空間 ・彫刻と陶器			
特集・フランスの女 流素朴画家ラ・ジロ ディエール	渡辺 広士	〃	292	6.「俺はイラスト レーターとして のこる」—版画			
特集・シャイム・ スーチン	里見 達郎	三 彩	298	7.「人間喜劇」			
生皮剥ぎの画家ステ ィース	柳 宗玄	芸術生活	283	8.エロス賛			
ニコラ・ド・スター ルの貼り絵		芸術新潮	287	特集・ピカソ最後の エロチカ		〃	282
セザールとベルコビ ックの個展をみて	宮崎 進	毎日夕刊	6.20	・ピカソ最後のエロ チカ			
セザンヌの素描総目 録	池上 忠治	芸術新潮	288	輝かしきエロチカ	池田満寿夫		
ソヴィエトSF画・ ソコロフの世界	真鍋 博	芸術生活	284	ピカソはキュービス ム	林 武		
ルフィーノ・タマヨ	谷川 晃一	〃	285	エロスに当惑	福沢 一郎		
浮遊するダリの世界	小山 昌生	〃	286	ピカソ万歳	岡本 太郎		
デューラーの風景素 描	下村 耕史	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	4—1	・フランスの反響	江原 順		
マルセル・デュシャ ンへのオマージュ	栗津 則雄	みづゑ	821	・アメリカ・イギリ スの反響	大島 辰雄		
クロヴィス・トルイ ユの世界		芸術生活	285	追悼特集・ピカソ天 才の終焉		芸術生活	286
挑発的な祝祭世界	山口 昌男			ピカソの死	金子 光晴		
クロヴィス・トル ィユの経歴	永沢 峻			英雄ピカソのあがき	内村 剛介		
線描の詩人トレモア ド	アン・ポー ド	〃	292	神話としてのピカソ	宮川 淳		
アーネスト・トロ ヴァ	中原 佑介	みづゑ	816	20世紀のプロテウス	アンドレ・ シャステル		
無用機械製造工房		〃	〃	ピカソの最初の愛人	ミュリエル ・シーガル		
1.アアーネスト・ トロヴァー腕 のない男				ピカソの死	藤枝 晃雄	みづゑ	819
フレッド・トロワラ と機能的なスイス派 デザイン		アイデア	118	ピカソの死	高階 秀雨	読売夕刊	4.9
エドゥアルド・パオ ロツィ	中原 佑介	みづゑ	822	人間ピカソとその死	瀬木 慎一	朝日夕刊	4.10
バナマレンコー		〃	817	ピカソと現代	野間 宏	〃	4.11
				私のピカソ	坂崎 乙郎	京 都	〃
				美術史のなかのピカ ソ	陰里 鉄郎	〃	4.18
				ピカソと見世物芸の 世界	山口 昌男	〃	7.5
				ピカソエロチカ考	(藤)	〃	10.1
				ピカソの芸術(上、 下)	柳 亮	東・夕	5.8, 5.9
				巨星ピカソ	安井 収蔵	毎 日	4.9
				ピカソは死なず	瀬木 慎一	毎日夕刊	〃

果敢な冒険家ピカソの死	中原 佑介	毎日夕刊	4.10	色彩の魔術師ボナール(上・中・下)		京都夕刊	11.12 11.13 11.14
ピカソの絵の値段	宮崎 市定	京都夕刊	7.20	ボナールの芸術	富永 惣一	京 都	11.19
ピカソについての随筆三題	神原 泰	絵	112	マービン・マテルソンの見事なコンセプト		アイデア	118
ピカソの「カンカン」に就いて	ス	絵	113	ロベルト・マッタ	谷川 晃一	みづゑ	819
ステファン・フォン・ヒューン	中原 佑介	みづゑ	820	シエナ派への愛着—	鹿島 卯女	日本美術	93
再評価されたファルジュの世界		芸術新潮	285	日本にやってきたマリメッコ		芸術新潮	286
再発見された民衆派の画家アンリ・ファルジュ	長谷川 栄	美術グラフィ	(9)10	シモーネ・マルティニ		ス	285
アレコス・ファッレアノスにきく	栗田 亮	ガレリア通信	2	回想のマン・レイ展		美術グラフィ	(3)
ジーン・フェデリコの作品	中井 幸一	アイデア	118	フランス・ミンナート氏に尋く		ス	285
美術館所蔵の贋作フェルメール	森口 陽	芸術新潮	286	スペイン異端の系譜	藪野 健	日本美術 工芸	415、416
フォルナセッティの静物画	大智 浩	アイデア	119	ムリーリョ1、2			
見なおしたブルデル	粟津 則雄	芸術新潮	283	オスロ・ビーレ街からフォス街へ— ムンクの旧居探訪覚書 <随筆>	鈴木 正明	芸術新潮	279
ブランクージの逸話から	堀内 正和	美術手帖	362	モネの人と作品	高階 秀爾	読売夕刊	3.28
ブリュゲルとその時代1~4	森 洋子	三 彩	303~311	モネ・その作品の秘密	今泉 篤男	読 売	4.1
ローラン・プリジオ覚書	ロ・デュカ 訳・永沢峻	芸術生活	290	特集・ギュスターヴ・モロー	渋谷 龍彦 中山 公男	みづゑ	822
秘蔵.1				フェリックス・ラビッス「青いパルジエンス」	四谷シモン	芸術生活	281
・ポストン美術館蔵		芸術新潮	283	アントニオ・ベルニ— ラモーナの世界	栗田 亮	ス	287
ブレイクの水彩画「失楽園」	堀岡 智明			スペイン異端の系譜	藪野 健	日本美術 工芸	419~421
・ブレイク再発見	岡本謙次郎			ホセ・デ・リベラ1~3		ス	422、423
特集・ウィリアム・ブレイク		みづゑ	816	スペイン異端の系譜	ス	ス	422、423
1. ヴィジョンのなかの第二の無垢	由良 君美			ルカ1、2			
2. 燃える心で焔を示す	岡田 隆彦	ス	816	特集・六億円のルソ— 「熱帯」の行方	宗 左近	芸術新潮	285
セザールとベルコピックの個展をみて	宮崎 進	毎日夕刊	6.20	ルッソ招待晩餐会	大森 啓助	絵	107
チャーリー・ホワイト	リチャード・マーキン	アイデア	120	特集・オディロン・ルドン	高橋 巖 饗庭 孝男 高橋たか子	三 彩	308
韓国の美術(対談)	朴 栖甫 前田 常作	美術手帖	370	特集・魔性の魅力「ルドン」	栗津 則雄	芸術新潮	286
アーサー・ボールの線描画	日向あき子	アイデア	119	ルドン・1	池辺 一郎	美術グラフィ	(12)
特集・アーノルド・ベックリン	高橋 巖	みづゑ	825	ルドンの夢	坂崎 乙郎	東京夕刊	8.23
ハンス・ベルメール清純な少女	飯島 耕一	芸術生活	282	出版される「流浪の手稿」— レオナルドのコーディネチエ・ア トランティコ	裾分 一弘	朝 日	7.16
ダンス教師ジュール・ペロー(エドガー・ドガ筆)	大島 清次	三 彩	308	レンブラントの「ヤコブの祝福」について	阿天坊 耀	美術史研究	10
ボナール	安井 収蔵	毎 日	8.24	特集・もうひとつのアメリカ— アンドリュウ・ワイエスとその系譜		みづゑ	820

昭和48年定期刊行物所載文献

1. 大自然との交感と調和	桑原 住雄	みづゑ	820	複製について	岡本謙次郎	芸術新潮	281
2. ブランディウィン・ヴァリーの 水車小屋	村木 明			雑感—ソビエト・東欧の旅から	小川 正隆	現代の眼	221
アンドリュウ・ワイエスとの対話	シ	読売夕刊	1.24	サンタクロースの手紙をもらってくれる	甲斐 浩	東京	11.22
日本の心を彫るワグナー氏の生き方	森山 純一	芸術生活	289	町家の保存と都市の環境整備	川上 貢	京都	3.5
フランツ・F・H・ワグナー		アイデア	119	豊かな「スペイン」見聞、世界美術史学会に参加して	神吉 敬三	毎日夕刊	11.2
ロサンゼルス9人の新進デザイナー(ジョン・カサド他)	シ	シ	シ	雑誌「セレクト」について	木村 重圭	絵	117
<b>美術関係者</b>				太宰治と兄	木村 重信	季刊芸術	26
「京都寺史考」を出版	赤松 俊秀	京都夕刊	1.22	西アフリカの干ばつ	シ	毎日夕刊	7.5
親子三代—上野の「アサオ」さん		美術ジャーナル	復刊8	原始岩壁画発見の意味	シ	東京夕刊	7.26
日本最古の豆粒文土器を発掘した	麻生 優	京都	8.21	日本美術誌13~23	栗田 勇	芸術新潮	277~288
ジャンセズネック教授の来日よせて	阿部 良雄	朝日夕刊	11.5	美術書とわたし	向坂 逸郎	朝日	11.22
「あんつぐ」骨董買い美学13~24	安東 次男	芸術新潮	277~288	小嶋勝朗		東京	4.28
景観と絵画	井島 勉	京都夕刊	1.29	古文書の裏に記された数々の手紙・和歌	小松 茂美	日経	12.25
サクラの季節	シ	シ	3.26	骨董百話49~60	小山富士夫	芸術新潮	277~288
これから見る展覧会	シ	シ	6.4	日本人とレジャー	今 和次郎	朝日夕刊	1.6
アマチュア美術活動	シ	シ	9.12	私なりの趣味	シ	東京夕刊	5.8
絵画に触れて想うこと	石垣 綾子	絵	110	父ありき	坂本 勝	朝日	4.21
1メートル16センチと...	石子 順造	美術手帖	371	このごろの新聞を読んで思うこと	佐和 隆研	京都夕刊	10.6
想う(5~8)	出光 佐三	東京夕刊	12.7~12.11	国際会議に自転車利用をまとめた 柴田 献一		京都	1.1
きのう・きょう	シ	シ	3.3	近況	渋谷 秀雄	朝日	5.7
今泉篤男氏				高松塚発見から一年	末永 雅雄	朝日夕刊	4.2
昔の本読み返す	今泉 篤男	朝日	7.2	マンローの考古学見直す	鈴木 重治	朝日夕刊	5.8
にわか画かきの弁	シ	東京夕刊	10.3	窠元巡りある記	鈴木 照男	日経	3.7
洋学史における宇田川榕菴	道家 達将	季刊芸術	24	現代画廊・洲之内徹さん<人・風土>		美術ジャーナル	復刊9
高松塚被葬者に梅原猛氏が仮説		朝日夕刊	2.2	「絵のなかの散歩」の洲之内徹氏		京都	7.30
根本的な問い	梅原 猛	京都夕刊	2.8	家をもろう	洲之内 徹	東京夕刊	8.13
「黄泉の王—私見・高松塚」を書いた梅原猛氏		京都	1.25	近況	瀬木 慎一	朝日	8.20
東京国立博物館支え抜いた人々	江口 正一	日経	1.27	M・ゼントルス女史の思い出		京都	4.17
「城—その伝説と秘話」の江崎俊平さん		読売	5.21	親愛なるマダム	高階 秀爾	日経	1.12
日本人	太田 静六	毎日夕刊	1.25	言語が新たな世界を滝口修造	栗津 則雄	東京夕刊	2.21
こちら精神覚醒科・処方箋	岡田 隆彦	美術手帖	362~375	俵屋宗達・風神雷神図	武田 恒夫	京都	1.19
わが夢「ピュッフェ美術館」	岡野喜一郎	日経	3.3	特集・日本の挑戦<反回想録>	アンドレ・マルロー・竹本忠雄・訳	芸術新潮	277
				特集・ついに実現したマルロー「空想の美術館」			
				文明の裂傷のかなた—アンドレ・マルロー展の示唆するもの	竹本 忠雄	シ	284



マルロー「空想の美術館展」で語る	竹本 忠雄	芸術新潮	285	近況	藤島亥治郎	朝 日	11.26
本あさり虫	田近 憲三	東京夕刊	8.27	幻想と権威と 何デモ屋の弁	読 売	読 売	12.2
フリーア・メダル田中氏に贈られる		朝日夕刊	5.28	視点	藤森 成吉	朝日夕刊	7.12
アメリカ美術館雑感(-)	谷 信一	萌 春	220	放射線・展示品の話し声	本間 正義	毎日夕刊	5.12, 5.19, 6.9, 6.16
戦後美術品移動史	田中日佐夫	芸術新潮	227	教会堂壁画の心を汲むアッシーシの丘の夏	増井 経夫	東京夕刊	8.6
ある老人	筑紫 平蔵	美術ジャーナル	復刊6	七草	松下 隆章	京 都	1.11
尽きぬ魅力・ギリシヤ	富永 惣一	日 経	1.3	鉄斎の画囊	読 売	京都夕刊	2.19
内藤多仲先生	山本 竹司	美術ジャーナル	復刊3	追弟交遊録一大山柏			6.27
中岡吉典さん(東邦画廊主)		美術手帖	364~369	松下隆章	松下 隆章	読 売	7.6
大発明物語4~5	中原 佑介	美術ジャーナル	復刊4	ザクロを持つ少女	読 売	読 売	10.1
中村悦子さん(浜松・なかむら画廊社長)		朝日夕刊	6.30	オーナー博士のこと	三宅正太郎	絵	118
本屋の二階	中山 公男	東京夕刊	7.17	フランス日記抄	三ツ村 繁	読 売	読 売
未来はわれらのもの	花田 清輝	美術手帖	369	雪中裸像	水沢 澄夫	萌 春	217~225
中国で考えたこと	針生 一郎	美術グラフ	(8)	曲りくねった遠い道			
中国の旅から		東京夕刊	2.13	32~38			
きのう・きょう針生一郎氏		朝 日	9.12	このブーム—1970年代には不毛の時代であった	美津島徳蔵 他	美術ジャーナル	復刊6
全日本博物館学会代表になった樋口清之		芸術新潮	277	日本文化研究所の設立を推進し専務理事になった 村上兵衛		京 都	5.28
土方定一のさし絵本		朝 日	10.24	古代への旅・村田数之亮1~6		毎 日	4.4~4.10
菊池寛賞をうける土方定一		京 都	10.24	このごろ・村松貞次郎氏		京 都	10.3
”卓抜な企画力”で第二十一回菊池寛賞を受ける鎌倉近代美術館長 土方定一		東 京	10.25	交遊抄	村松 寛	日 経	9.6
菊池寛賞を受ける鎌倉近代美術館長 土方定一		日野耕之祐	日本美術	東京美術学校カリキュラムと嘱託教員としての森 鷗外(明治24年—32年)	磯崎 康彦	東京芸術大学美術学部紀要	9
韓国美術紀行	日野耕之祐	日本美術	99	森鷗外とキリシタン	宮内 寒弥	東京夕刊	7.11
特集・骨董商、広田不孤齋		芸術新潮	285	登呂の裏方30年	森 豊	毎日夕刊	3.7
1. 寄贈、不孤齋コレクション	林屋 晴三			画壇近代化へメスふるう時	安井 収蔵	日本美術	99
2. 追悼、広田不孤齋名残り惜しい不孤齋君	梅原龍三郎			日本児童文芸家協会の児童文化功労者に推された	梁川 剛一	朝 日	5.9
「大いなる流れ」不孤齋さんの眼	石原 龍一			きのう きょう・柳亮氏		東京夕刊	5.31
若き頃の不孤齋	円城寺次郎			拝啓、藤井新国鉄総裁殿	山岸 信郎	美術手帖	373
3. 半生を偲んで	嶋山 順吉			私のページ	山崎 一芳	日本美術	93~103
中日友好のかけ橋画像石	傳 月華	日 経	4.20	美の理想像	山根 章弘	毎日夕刊	8.4
ある日 あるとき 福島慶子さん		朝 日	6.24	「伝統の色」をまとめた吉岡常雄さん		朝 日	5.21
“美術の秋”を運ぶ	藤井喜久一	日 経	9.21	町なみ保存のこと	吉田 光邦	京都夕刊	10.15
わがペン わが近況 藤沢典明氏		京 都	4.2	最近のチェコ美術界	由水 常雄	日 経	1.26
ほんとの出会い	藤島亥治郎	毎 日	4.9	「ガラスの道」をまとめた由水常雄さん		朝 日	8.6

展覧会批評 (雑誌)

東京ADC、ニュー ヨークADC初の合 同展	アイデア	118	李朝の美・民芸	芸術新潮	280
美術文化協会誌上展	〃	120	初めて開かれた鉄仏展	〃	〃
清水国夫の個展	大智 浩	〃 121	はにわ展	〃	〃
「グラフィック・イ メージ'73」展	中原 佑介	〃 〃	トウキョウの西洋美 術展	〃	〃
昭和会展への期待	絵	108	平櫛田中展	〃	281
「昭和会賞」に寄せて	田中 穰	〃 〃	小泉清展	〃	〃
第8回昭和会展	安井 収蔵	〃 109	角南礼子タビスリー 展	〃	〃
第8回穹展	深谷 徹	〃 〃	モネ展とサンパウロ 美術館展	〃	〃
第8回昭和会展報告	〃	〃	吉原治良展	〃	282
三月会展第3回展は じまる	〃	〃 109	織一もの(小名木陽 一展)	〃	〃
パリ、木村忠太展	〃	〃 110	幽夢譚—わたしの大 雅と鉄斎<真贋114>	宗 左近	〃 〃
第10回「太陽展」	田中穰・安 井収蔵	〃 113	特集、現代美術、二 十年の収穫—現代日 本美術展によせて	北村 由雄	〃 〃
「描かれた女」展を見 て	坂崎 乙郎	〃 114	イサム・ノグチ彫刻 展<美術>	〃	〃
版画グランプリ展・ 昭和会展審査報告	〃	〃 116	現代中国の見る「古 代」—中国出土文物 展によせて	針生 一郎	〃 〃
第4回版画グランプリ 展の審査を終えて	嘉門 安雄	〃 〃	日本の持つ朝鮮絵画 の全貌展	〃	〃
ロビンソン・コレク ションを中心にフラ ンス名作展	〃	〃 117	オリベッティスモ展	〃	〃
黒田展	匠 秀夫	〃 〃	ウインドウ・イッセ ルフ展	〃	〃
没後50年記念—中村 彝展	〃	〃 〃	「彫刻の森」大賞展 <フットライト>	ジョセフ・ ラヴ	〃 283
牛島憲之二十年対比 展	芸術新潮	277	老泥社展	〃	〃
東京国際版画ビエン ナーレ展	〃	〃 〃	二つのガラス展	〃	〃
ドウ・ヴィットのタ ビスリー展	〃	〃 〃	森豪男インテリア・ デザイン展	〃	〃
はじめてのスーテン 展	〃	〃 278	中国出土文物展の日 本向演出	〃	〃
インド細密画展	〃	〃 278	初めて開かれた土俗 面展	〃	〃
第2回山種美術館賞	〃	〃 〃	インテリアのパター ン展	〃	284
井上三綱回顧展	〃	〃 〃	奇才オルデンバーグ の日本個展	〃	〃
先生と弟子展	〃	〃 〃	没後五十年を記念す る黒田清輝展	〃	〃
椀伏の廃止	〃	〃 〃	パリで開かれる鉄斎 展<フットライト>	安岡章太郎	〃 285
南画廊新館の山口長 男展	〃	〃 〃	ふたつのボナール展	〃	〃
外国作家の個展四つ	〃	〃 279	ヴォルテルラで開か れた前衛美術展	小川 照	〃 286
ルイス・カーン展	〃	〃 〃	アメリカのビデオ・ アート	〃	〃
出光孝子と渡辺隆次 のひさびさの個展	〃	〃 〃	重源の幻の寺院発掘	〃	〃
シカゴ美術館蔵の学 世絵名品展	〃	〃 280	ハンナ・ハラグニツ ンツ作陶展	〃	〃
ノウ・アメリカン・ アート展	〃	〃 〃	横山尚人のガラス展	〃	〃
不孤斎のコレクション —東京国立博物館へ 寄贈	〃	〃 〃	村井正誠展	〃	〃

「横山操の回顧」展	芸術新潮	286	田畑和彦展	芸術生活	286
オーストラリアで開かれた現代日本美術展<世界の場>	〃	〃	現代日本美術展	〃	287
珍しいキュビズム展<美術>	〃	〃	木村陽子展	〃	〃
はじめてのジャコメツティ展	〃	〃	今西中通展	〃	288
イタリア・ルネサンスの小彫刻展	〃	〃	谷本重義展	〃	〃
パリと日本展	〃	287	稲山貴一展	〃	289
珍しい鏡像展	〃	〃	竹久夢二展	〃	〃
「アメリカの日本作家」展	〃	〃	富岡鉄斎展	〃	290
みなおされた栖鳳	〃	〃	北美東京展	〃	〃
織田一磨回顧展	〃	〃	マン・レイ展	〃	291
悠々自適の画家(松本忠義)	〃	〃	五味秀夫個展	〃	〃
物故作家小連鎖展(佐分真、青木繁、金山康喜)	〃	〃	織田一磨展	〃	292
ジョージ・ナカシマ展	〃	〃	集団版展	〃	〃
在伊日本デザイナー展(細江勲、高浜和彦他5人)	〃	〃	平櫛田中展について	三木 多聞	現代の眼 219
'73国際ジュウリー・アート展	〃	〃	特集・平櫛田中展		220
'73コンピュータ・アート展	〃	〃	平櫛先生と東京美術学校	菊地 一雄	
世界サイクルデザイン、コンペ	〃	〃	聖胎長養の師	矢崎 虎夫	
「ブラウン社の顔」展	〃	〃	東京芸術大学の「田中記念室」	泉 宏尚	
めずらしい絵入版本展	〃	288	平櫛田中作品の題名解説		
山本衛士個展	〃	〃	ユーゴスラヴィアの現代美術—前衛的な実験、既成への反逆、権威への挑戦	木村 光佑	〃 221
田淵安一と白髪一雄展	〃	〃	現代ユーゴスラヴィア美術展について	本間 正義	〃 〃
宇部市の野外彫刻展	〃	〃	特集・現代ユーゴスラヴィア美術展		222
白い馬のいる風景展	〃	〃	現代ユーゴスラヴィア点描	ドウシャン・リトヴィノヴィッチ	
インド、シンガポール巡回日本現代絵画展	〃	〃	テイヘッへの手紙	小田 襄	
ミロとカルダー展	芸術生活	281	現代ユーゴスラヴィア美術展を観て—今に残るヨーロッパの伝統	安井 収蔵	
山口牧生彫刻展	〃	282	ポーランド巡回「日本現代版画」展の反響	H. T	〃 225
篠田守男個展	〃	〃	特集・近代日本美術史におけるパリと日本(その1)		〃 226
62層「花鳥風月」展	〃	〃	明治洋画とフランス	陰里 鉄郎	
島州一個展	〃	283	「白樺」と西洋美術	高階 秀爾	
小田襄個展	〃	〃	洋行留学	本間 正義	
東京国立博物館所蔵名品展	立原 正秋	284	特集・近代日本美術史におけるパリと日本(その2)		〃 227
レンブラント版画展	〃	〃	「フォーヴィスム」の再考	朝日 晃	
田辺和郎個展	〃	〃	モンパルナスに生きる—藤田嗣治と周辺の人たち	嘉門 安雄	
クロード・モネ展	窪田 般彌	285	ロダンとの出会いそしてロダン以後	原田 実	
国際青年美術家展	〃	〃			
中川木鈴「校舎展」	〃	〃			
古代オリエント・ギリシア展	〃	286			

昭和48年定期刊行物所載文献

特集・ジャコモ・マンズー展、その1	現代の眼	228	院展評	永井 信一	三 彩	308
彫刻の魔術師	柳原 義達		二科展と行動展をみる	原田 実	シ	シ
マンズー芸術との出会い	村上 政之		新制作日本画部	永井 信一	シ	309
マンズーの彫刻に見る鑄造技術について	鈴木 貫爾		新制作展、一水会展、一陽会展	原田 実	シ	シ
特集・ジャコモ・マンズー展、その2		229	ポナール展をみて	伊藤 海彦	シ	シ
マンズー師と共に	千葉 郁世		蓮田脩吾郎展をみて	中村伝三郎	シ	シ
サン・ピエトロ寺院の「死の扉」について	浅野 徹		「キュビズムの画家たち」展	宇佐美圭司	シ	シ
第8回ジャパン、アートフェスティバル	平井 亮一	みづゑ 820	「近代日本美術史におけるパリと日本」展		シ	シ
小倉遊亀展	多田 信一	三 彩 297	日展日本画部	永井 信一	シ	311
中村宏個展	星野 勝成	シ	独立展、二紀展、自由美術展、日展の洋画	原田 実	シ	シ
牛島憲之20年対比展から感じたこと	江川 和彦	シ	佐藤昭雄展、馬越陽子展、沢田哲郎展、司修展、中村直人個展、増田誠展	松 木	日本美術	93
展覧会月評	松原 亮一 平井 源城	シ	井上三綱展		シ	シ
琳派展	哲	シ	三上正寿個展		シ	シ
日本表現派15周年展を見て	江川 和彦	シ	篠田桃紅展	三宅正太郎	シ	シ
山種美術館賞展		シ	第15回日本表現派展	シ	シ	シ
熊谷九寿の「波」		シ	日本画の系譜—先生と弟子展	(か)	シ	94
古代オリエント・ギリシャ展		シ	在欧作家の意味—ヨーロッパの日本作家展によせて	内山 武夫	シ	94
ザッキン大回顧展		シ	西八郎、西さだ子展、佐々木豊展、多賀りや展、三國正太郎展、内山懋個展、萩野康児個展	松 木	シ	シ
「東洋の色絵陶磁」展		シ	津高和一展		シ	シ
カルズー石版画展		シ	中野嘉之展		シ	シ
ピカソ小展覧会		シ	六波羅蜜寺展		シ	シ
第16回京都アンデパンダン展	平井 亮一	シ	関東の鉄仏展		シ	シ
清水登之展	(Y)	シ	スーチン展		シ	シ
シカゴ美術館浮世絵名品展	瀬木 慎一	シ	平櫛田中展	千沢 楨治	シ	95
鍋島紀雄遺作展	江川 和彦	シ	はにわ展	和田 努	シ	シ
下保昭個展	田中日佐夫	シ	小川芋銭展		シ	シ
春陽会創立五十年	藤本 詔三	シ	茂木弘行彫刻展		シ	シ
松尾敏男新作展	永井 信一	シ	「潮」展		シ	シ
京都同時代展について	田中日佐夫	シ	ナウ、アメリカン、アート展		シ	シ
仲田好江展をみて	植村鷹千代	シ	山下清澄個展、ウォーカー・靖子個展、菊地辰幸個展、丸山妙子油絵近作展、山本輝之個展、土井俊泰作品展		シ	96
クレス・オレデンバーグ展	平井 亮一	シ	日本表現派展評	三好豊一郎	シ	シ
池田満寿夫新作版画展より	白石かずこ	シ	ブームの中の安井賞	安井 収蔵	シ	シ
河津光俊(模写画家)の個展	田中日佐夫	シ	国際青年美術家展	岡本謙次郎	シ	シ
居串佳一展	小林 哥子	シ	京の百景展	亀田 正雄	シ	シ
ビエール・ポナール展より	末水 照和	シ				
松尾敏男「日月譜」によせて	鈴木 進	シ				

神護寺寺宝特別公開展		日本美術	96		ディートリッヒ、マロー、ジョセフ・ラブ	美術クラ	48-1
日美の流れ展		〃	〃	審査員の言葉			
一對のこころ展		〃	〃	受賞者の弁	高松 次郎		
矢柳剛版画展		〃	〃	小柳竜児の個展に寄せて	保科 米三	美術グラ	48-2
明日を拓く日本画の創意と課題—春の院展と日本展の若い世代作家を中心に	植村鷹千代	〃	97	巽郁夫の個展に寄せて	〃	〃	〃
古代オリエント、ギリシャ展		〃	〃	豊秋半次、四十年の歩み展から	(芳)	〃	〃
徳岡神楽遺作展を機に	山田 龍平	〃	99	辰雄の日月星辰展	菊地芳一郎	〃	48-3
第2回日本陶芸展を審査して	吉田 耕三	〃	〃	第25回三軌展をみて	三宅正太郎	〃	48-5.6
鎗金と沈金展		〃	〃	我妻碧宇遺作展によせて	菊地芳一郎	〃	48-5.6
現代ユーゴスラヴィア美術展		〃	〃	加倉井和夫展から	〃	〃	〃
ふた昔	入江 相政	〃	100	山田申吾の近作に寄せて	〃	〃	48-7
回想の画家	青山虎之助	〃	〃	山口蓬春遺作展に寄せて	〃	〃	〃
絵描きの絵と作家の作品	木村 東介	〃	〃	奥村土牛展をみて	吉田 耕三	〃	〃
院展、二科展、行動展	嶋岡 晨	〃	101	河津光俊個展に寄せて	菊地 明子	〃	48-8
横山操展、竹内栖鳳展、ルドン展、ふたつのポナール展		〃	〃	三輪晃久展	菊地芳一郎	〃	48-9.10
新制作、一水会、一陽展	嶋岡 晨	〃	102	玉堂、麦樗、紫峰遺作展から	〃	〃	〃
独立展、二紀展、自由美術展	〃	〃	〃	特集、8.15と美術展	〃	〃	〃
近代日本美術史におけるバリと日本展		〃	102	第21回平和美術展から			
「大正の心と美」展		〃	〃	第19回広島市平和美術展			
シニョーリ展		〃	〃	「戦争展」における戦争患について	蔭山 恭一		
個展評		〃	〃	原子雲をつくった男—たべ・けんぞうの表現行為	ヨシダ・ヨシエ		
村谷壮一郎個展、林清納水彩展、田中義昭個展、安倍安人個展、桐生照子展		〃	〃	樹展を顧る	川原 正二	〃	48-11
「大島風景」のころ—歿後50年記念・中村彝展をみて	佐々木静一	〃	103	第58回日本美術院展、第58回二科展、第28回行動展	菊地芳一郎	〃	〃
日展に思う	三好豊一郎	〃	〃	第37回新制作展、第35回一水会展、第41回独立展、第27回二紀展、'73自由美術展、第19回一陽展	〃	〃	48-12
書画一致の方向—書、墨画選抜展	植村鷹千代	〃	〃	高田誠記念展から	〃	〃	〃
展覧会評		〃	〃	展覧会評	菊地芳一郎 菊地 明子 田村 進	〃	48-1~12
大森運夫展、小栗正日本画展、水谷淳油絵個展、平田晴耕近作展、松原亜也個展		〃	103	諸展評・京阪のうごき	田辺 一雄	〃	48-4~8・11
第4回(1972)日展	菊地芳一郎	美術グラ	48-1	第40回独立展、第26回二紀展、72年度自由展	(禾)	美術ジャーナル	復刊3
第8回東京国際版画ビエンナーレ展から		〃	〃	第4回日展、新風土	(禾)	〃	復刊4
				公募展は無用なのだろうか<ジャーナル放談>		〃	〃

昭和48年定期刊行物所載文献

クレジット絵画展	佐藤 記	美術ジャーナル	復刊5	1973「京都ビエンナーレ」	平野 重光	美術手帖	371
問い直される公募展		シ	シ	展評		シ	シ
新聞に見る公募展評 (朝日新聞、日本経済新聞、毎日新聞)		シ	復刊7	東京	峯村 敏明		
白日展、示現会展、三軌会展、光風会展、創立会展、モダンアート展		シ	シ	関西	平野 重光		
第47回国展、第50回春陽展、第39回東光展、第9回主体美術展		シ	復刊8	佐伯祐三—ある画家の生涯と芸術展	匠 秀夫	シ	373
第27回女流画家協会展、新構造展、朱葉会展			復刊9	李禹煥個展から	藤枝 晃雄	シ	シ
第27回新樹会展、第58回院展		シ	復刊10	「瑛九とデモクラート」展	乾 由明	シ	シ
「樹展」—40年もつづく素朴な画家の友情ブリジョー展		シ	シ	「キュビズムの画家たち」展	末永 照和	シ	シ
第28回行動展、第58回二科展		シ	復刊11	第6回現代の造形「映像表現'73」	高橋 享	シ	シ
「カタストロフィー、アート」展	藤枝 晃雄	美術手帖	362	“下敷と創造という課題”—「近代日本美術史におけるパリと日本」展	植村鷹千代	シ	シ
展評		シ	シ	プエノスアイレスでのカタストロフィ・アート展	田中 孝道	シ	シ
東京	峯村 敏明			展評		シ	シ
関西	平野 重光			東京(対談)	平井 亮一 たにあらた		
高松次郎の受賞が意味するもの	乾 由明	シ	364	関西	平野 重光		
展評				第5回現代日本彫刻展	赤根 和生	シ	375
東京	峯村 敏明	シ	シ	展評		シ	シ
関西	平野 重光	シ	シ	東京	平井 亮一 たにあらた		
東京	峯村 敏明	シ	365	関西	郭 徳俊 今井 祝雄 片岡 友和 下谷 千尋 若江 漢字		
関西	平野 重光	シ	シ	特集、第8回パリ国際青年ビエンナーレ		シ	シ
東京	峯村 敏明	シ	366	“芸術”の終焉の黙示録—“ロビンソナード”の夢から	ジャン・ク レール		
関西	平野 重光	シ	シ		狗卷 賢二 河口 龍夫 北辻 良志 菅木 登俊 高山 英俊 長沢 敏明 塚村 (司会)		
関根伸夫個展	藤枝 晃雄	シ	367	隔靴搔痒パリの秋(現地座談会)	峯村 敏明		
1973年京都アンデパンダン展を見て	塚村 敏明 たにあらた 中原 佑介	シ	シ	ある非芸術的なレポート			
展評				橋本明治壁画展		前 春	217
東京	峯村 敏明	シ	シ	常盤大空・菊川多賀・松尾敏男三人展	(光)	シ	シ
関西	平野 重光	シ	シ	諸展観評		シ	シ
東京	峯村 敏明	シ	368	南画院第26回展他			
関西	平野 重光	シ	シ	北沢映月	田中 皓一	シ	シ
日韓現代彫刻展	河口 龍夫	シ	370	高山辰雄「日月星辰」展によせて	細野 正信	シ	219
展評		シ	シ	橋本関雪展によせて	田中 皓一	シ	シ
東京	峯村 敏明			先生と弟子展をみて	大矢 鞆音	シ	シ
関西	平野 重光						

今日の日本画展を見て—第二回山種美術館賞展	田中 皓一 萌 春	219	展評・春の公募展・個展より(2月~4月)	ほざある	1
諸展観評		シ	展評・グループ展、個展(5月~7月)	シ	2
第15回黎会展他			第8回東京国際版画ビュンナーレ展	藤枝 見雄 みづゑ	815
第28回春の院展	田中 皓一	シ	マルチプル・アイ		
根本正・坂本宏二人展	三宅正太郎	シ	平家納経と巖島の秘宝展他		シ
大山魯牛水墨小品展	(光)	シ	海外短信—ピカソ版画展他	村木 明	シ
日春展をみる	大矢 鞆音	シ	海外短信—アメリカン・フォトリアリズム展他	シ	シ
諸展観評			第2回山種美術館賞展他		シ
第7回東方美術展他		シ	不安な野獣の疾駆—スーチン展	粟津 則雄	シ
鈴木竹柏個展他		シ	平榊田中展	三木 多聞	シ
松尾敏男個展	田中 皓一	シ	現代彫刻の巨峰・ザッキン大回顧展	若林 奮	シ
新制作日本画春季展	シ	シ	マルチプル・アイ		
山口蓬春遺作展をみて	三輪 福松	シ	海外短信—ホイットニー・ビュンナーレ展他	村木 明	シ
諸展観評			現代アメリカ彫刻45人展他		シ
第33回日本画院展他		シ	第7回国際青年美術家展	平井 亮一	シ
高頭信子個展	田中 皓一	シ	マルチプル・アイ		
金島桂華素描展	三宅正太郎	シ	海外短信—ジョン・デュビュッフエの大回顧展他	村木 明	シ
第23回新興展評	シ	シ	長谷川潔氏の肖像メダル他		シ
諸展観評			現代ドイツ版画展他		シ
加倉井和夫個展他		シ	海外短信—ジェームズ・アンソールの版画他	村木 明	シ
土田麦穂展をみて	田中 皓一	シ	海外短信—アメリカの印象主義絵画展他	シ	シ
第1回好昭会日本画展		シ	佐伯祐三展他		シ
諸展観評			今西中通遺作展他		シ
20周年記念新美術協会展他		シ	海外短信—ウィンスロー・ホーマーの回顧展他	村木 明	シ
再興第58回院展評	細野 正信	シ	土田麦穂—その人と芸術展	内山 武夫	シ
川合玉堂生誕百年展に想う	大矢 鞆音	シ	斎藤義重展によせてマルチプル・アイ	高松 次郎	シ
諸展観評			海外短信—二つのアンドレ・マルロー展他	村木 明	シ
晴風会第7回展他		シ	現代工芸の鳥瞰他		シ
横山操回顧展	大矢 鞆音	シ	海外短信—アンドリュウ・ワイエスの回顧展	村木 明	シ
榊原紫峰遺作展をみて	田中 皓一	シ			シ
日本美術院同人遺作展・横山操回顧展	大矢 鞆音	シ			シ
第37新制作協会日本画展評	田中 皓一	シ			シ
諸展観評					シ
長流会展(玉堂美術館)他		シ			シ
小野竹齋展		シ			シ
狩野芳崖とフェノロサ展	大矢 鞆音	シ			シ
第5回日展評	細野 正信	シ			シ
広田松繁コレクション展	井上 昇三	シ			シ
諸展観評					シ
蓮田脩吾郎展他		シ			シ

昭和48年定期刊行物所載文献

日本近世の絵画展 他	村木 明	みづゑ	823	現代アメリカ彫刻45 人展	小川 正隆	朝日夕刊	2.5	
第8回パリ、ビエン ナーレ「ドクメン タ5」への落下	ジェラル ・ガシオ ニ タラボ 訳、小川栄 二	シ	825	近代日本版画のあけ ほの展		シ	2.6	
第12回サンパウロ・ ビエンナーレ記	中原 佑介	シ	シ	親鸞聖人展		シ	2.7	
マルチブル・アイ				世界の版画シリーズ 第1回展(レンブラ ント)		シ	2.9	
海外短信一リチャ ード・ハミルトン の回顧展他		シ	シ	木田金次郎回顧展		シ	シ	
第4回中原悌二郎 受賞者他		シ	シ	秋山祐徳太子展、田 辺和郎展、清水光子 展		シ	2.10	
アンソール展を見て	折目 博子 黒崎 彰 鈴木 治	視	る	68	小川芋銭書画展		シ	2.14
第8回東京国際版画 エビナーレをみて	木村 光佑	シ	69	はにわ展		シ	2.16	
シカゴ美術館浮世絵 名品展に寄せて	小林 忠	シ	70	荒土会展		シ	2.17	
グラフィックイメー ジ'73	永井 一臣	シ	75	堀口泰造展、今日の 日本画展		シ	2.21	
「パリと日本」展で感 じたこと	富山 秀男	シ	78	仏跡、ポロブドール 展		シ	2.23	
「近代日本美術史に おけるパリと日本」 展雑感	池上 忠治	シ	79	吉原英雄展、前田齊 展、脇田愛二郎展		シ	2.24	
ファイニンガー回顧 展	宝木 範義	日 経	8.10	平櫛田中展		シ	2.26	
20年目の国際版画展	木村 光佑	毎日夕刊	7.3	ナウ・アメリカン・ アート展	小川 正隆	シ	2.28	
アメリカのドローイ ング63-73年展	近藤 竜男	シ	8.8	潮展、糸園和三郎展、 斉藤隆展		シ	3.3	
<b>展覧会批評 (主要新聞)</b>				シカゴ美術館浮世絵 名品展		シ	3.6	
八樹会展、昭和会受 賞作家展、異色五人 展、因藤寿、山田正 亮、李禹煥展		朝日夕刊	1.10	三月会展、寺島穰展、 二村裕子展		シ	3.7	
スーチン展によせて	小川 正隆	シ	1.13	宗像大社秘宝展		シ	3.8	
先生と弟子展		シ	1.16	ピカソ小展覧会、ル オー展、近代巨匠の 名作展		シ	3.9	
最上寿之彫刻展、津 高一展		シ	1.17	山県寿夫展、上永井 正展、菅創吉展		シ	3.10	
東京国立博物館所蔵 展		シ	1.18	ザッキン大回顧展		シ	3.12	
島田章三展、小田襄 展、二見彰一展		シ	1.20	国際青年美術家展		シ	3.20	
インド細密画展		シ	シ	進藤蕃展、矢柳剛展		シ	3.28	
密教美術名宝展		シ	1.22	小泉清遺作展、小林 勇展		シ	3.30	
アンドレ・コタボ 展、イオス・ガイザ 展ヨーロッパの日本 作家展		シ	1.26	土井俊泰展、閃光会 日本画展、東方美術 展		シ	3.31	
ルイス、カーン展		シ	1.29	春の院展、近藤弘明 展、入江西一郎展		朝 日	4.7	
シャガール版画展 (聖書)		シ	1.31	現代ドイツ版画展		朝日夕刊	4.10	
中国三千年・美の美 展		シ	2.2	春の公募展から(光 風会、創元会、モダ ンアート協会、日本 版画協会)	小川 正隆	シ	4.13	
立軌会		シ	2.3	浜口陽三展、日春展		シ	4.14	
				ユーベル・グロート クラス展		シ	4.17	
				サンパウロ美術館 展、ナイーブ3人展		シ	4.20	
				大沢昌助展、鍋島紀 雄展		シ	4.21	



島内きみ展、デル ヴォー展、西村計雄 展		朝日夕刊	4.25	太陽展		朝日夕刊	7.5
ガベール・レホウ リッチ東京幻想展		〃	4.27	土門拳写真展、須田 寿展		〃	7.7
福本章展、永田力 展、島谷晃展		〃	4.28	池田満寿夫展、清流 会展		〃	7.11
山口蓬春遺作展を見 て	小川 正隆	〃	5.1	岩田専太郎展			7.12
倉石隆展、三雲祥之 助・小川マリニ展、 渡辺武夫展、高橋忠 弥展		〃	5.2	土田表襷展、ワイズ パッシェ展		〃	7.14
春の公募展から(春 陽会、国画会)	小川 正隆	〃	5.4	私の見た中国出土文 物展		〃	7.16~7. 20
セガル彫刻展		〃	5.7	横山泰三展、パイル レ展		〃	7.18
福沢一郎	小川 正隆	〃	5.12	明治浮世絵展		〃	8.1
古代オリエント・ギ リシヤ展		〃	5.15	両角修版画展		〃	8.11
奥村土牛の芸術		〃	5.16	沢野水縷展		〃	8.22
イザベル・ルオーの ステンドグラス		〃	5.22	竹谷富士雄展、のむ ら清六展		〃	8.25
香月奏男展、大島哲 以展、高井貞二展、 山田申吾展		〃	5.19	高井貞二版画展、小 野州一版画展		〃	8.29
新制作日本画春季 展、走泥社展		〃	5.26	シエル美術賞展		〃	8.31
庫田毅展		〃	5.30	樹展、水の展覧会		〃	9.1
現代ユーゴスラビア 美術展	小川 正隆	〃	5.28	現代工芸の鳥瞰展		〃	9.5
佐藤大寛展、松尾敏 男展		〃	6.2	国際形象展		〃	9.8
イサム・ノグチ展	小川 正隆	〃	6.4	キュビズムの画家た ち展、マンレイ展		〃	9.12
女流画家協会展、仲 田好江展		〃	6.6	二つのボナール展		〃	9.13
金島桂華素描展		〃	6.4	ルドン展		〃	9.14
現代ソビエト絵画 展、ポーランド現代 美術の展望展、現代 ユーゴスラビア版画 展		〃	6.8	秋の公募展から(院 展、二科、行動展)	小川 正隆	〃	9.17
描かれた女展、19世 紀フランス絵画展		〃	6.9	朝倉響子展、上矢津 展		〃	9.19
今西中通展、新鋭選 抜展		〃	6.16	フサロ展、クロ チェッティ展		〃	9.21
谷本重義展、大野五 郎展		〃	6.20	横山操の回顧展によ せて	小川 正隆	〃	9.22
相原求一郎展、雨晴 会展、土橋醇展、森 町長子展		〃	6.27	織田一磨展、竹内栖 鳳		〃	9.25
中華人民共和国出土 文物展を見て	関野 雄	〃	〃	イタリア・ルネッサ ンスのブロンズと素 描	摩寿意善郎	〃	9.24
六月のサロン展、 レ・ヌフ・ド・ジュ アン展、間所紗織展		〃	〃	金山康喜遺作展		〃	〃
クレス・オルデン バーグ展	小川 正隆	〃	6.30	春口光義展、井上悟 展		〃	9.26
中本達也展		〃	7.3	日本伝統工芸展		〃	10.2
斎藤義重展、清川泰 次展		〃	7.4	秋の公募展から(新 制作協会、一水会、 一陽会)	小川 正隆	〃	10.4
		〃	〃	近代日本美術史にお けるバリと日本展		〃	10.5
		〃	〃	アイズピリ展、脇田 愛二郎、桑原正昭展		〃	10.6
		〃	〃	文春表紙画展		〃	10.8
		〃	〃	エジプト・レバノン		〃	10.10
		〃	〃	現代美術展、エバ・ ジョン・フックス木 版画展			
		〃	〃	現代彫刻20展、現代 日本彫刻展	小川 正隆	〃	10.13

昭和48年定期刊行物所載文献

白髪一雄展、荻太郎展、小田和典展、ピエール・ブラン展		朝日夕刊	10.17	ベルシヤ陶器の変遷展	京都	1.19
原勝四郎展		夕	10.20	米田哲生、角南礼子、北田孝之、桑野博利各個展	夕	夕
青木大乗展、黒崎彰展、鱸利彦展		朝日	夕	第8回京都日本画総合展	(竜平)	夕 夕
秋の公募展から(独立展、二紀展、自由展)	小川 正隆	朝日夕刊	10.23	世界の染織展	(藤)	夕 夕
田中阿喜良展、田淵安一展		夕	10.27	東洋の漆工展	夕	夕
中川一政展、四谷シモン人形展		夕	11.7	井田彪、久保田繁雄、川辺佳美、中川伊作、上原卓、平川敏夫各個展	夕	夕
キリコ展、カンピリ展	小川 正隆	夕	11.10	近代文学館「雑誌100年の流れ」展	夕	1.31
中村彝展		夕	11.14	竹久夢二展	(藤)	夕 2.2
近代世界彫刻展によせて	小川 正隆	夕	11.17	五山会展	(竜)	夕 2.2
イタリヤ・ルネサンス・ベネチア派名作展		夕	11.19	独立美術京都作家展	(竜平)	夕 2.9
佐藤忠良展		夕	11.20	京都工芸美術展	(竜)	夕 夕
長谷川潔展、カトラン展		夕	11.21	染織グループ「壮」展	夕	夕
福井良之助展、横尾龍彦展		夕	11.24	東京国際版画ビエンナーレ展から	(藤)	夕 2.16
會宮一念書画展		夕	夕	日本伝統工芸京都展	(竜平)	夕 夕
秋の公募展から(日展)	小川 正隆	夕	11.26	柳新也個展	(藤)	夕 夕
フランス名作展		夕	11.27	堂本印象作品展みて	(竜平)	夕 2.3
絹谷幸二展、増田誠展、吉田善彦・麻田鷹司・加倉井和夫三人展		夕	11.28	伊砂利彦展、儀間比呂志展	(藤)	夕 夕
加納光於展		夕	11.30	京都アンデパンダン展	夕	2.27
藤松博展、二見彰一展		夕	12.1	はにわ展、平櫛田中展	(藤)	夕 3.2
ペカリ展		夕	12.3	京都アンデパンダン展	夕	夕
寺田政明展、杉原玲子展、双杉会展		夕	12.5	下保昭展、柏原えつとむ展	夕	夕
タンカ展、中国現代絵画展		夕	12.7	山種美術館展	(藤)	夕 3.9
坂本一道展、西入郎展、宮田農哉展、田辺三重松遺作水彩素描展		夕	12.8	現代アメリカ彫刻45人展	夕	夕 夕
中林忠良展、阪本文男展、藤田清孝展		夕	12.12	高沢志郎、石原薫、斎藤満温各個展	夕	3.9
山下清澄展、飯塚八郎展		夕	12.15	石山寺縁起絵巻展	夕	3.16
小作青史展、島村達彦展、プリマータ展		夕	12.19	京の百景展を見て	(竜平)	夕 夕
ジャコモ・マンズー展	小川 正隆	夕	12.20	高山辰雄、大垣禎造版画、谷田頼郎各個展	(藤)	夕 夕
今井俊満展、下村良之介展		夕	12.22	南画院展	(竜平)	夕 3.23
堂本印象作品展	(藤)	京 都	1.19	ナウ・アメリカ・アート展	(藤)	夕 夕
佐々木邦彦遺作素描展		夕	夕	志村ふくみ、川崎千足、村岡三郎、西田秀雄各個展	夕	夕 夕
				第33回美術文化展	(竜)	夕 3.30
				シカゴ美術館浮世絵名品展	(F)	夕 夕
				京都同時代展	(竜平)	夕 4.6
				女流陶芸展		

上村松篁日本画展、 小名木陽一展		京都	4.6	齋藤博展、貫名獅郎 展	(藤)	京都	6.22
関西二科展から	(竜平)	〃	4.13	現代日本美術展	〃	〃	6.29
新制作春季京都日本 画展	(竜)	〃	〃	位双作品展	(竜平)	〃	〃
吉原英雄、鶴田憲次、 長宗我部友子各個展	(藤)	〃	〃	北川民次回顧展	(藤)	〃	7.6
鉄斎展	(F)	〃	4.20	のんのん展、焱展	(竜平)	〃	〃
パンリアル春季展	(藤)	〃	〃	山田新一展	(竜)	〃	〃
山田新一展	(竜)	〃	〃	主体美術展	(藤)	〃	7.13
25回京都をみて	(竜平)	〃	4.27	堂本印象展	〃	〃	〃
富岡惣一郎展	〃	〃	〃	あすなろ展	(竜平)	〃	〃
上村松篁素描展	(F)	〃	〃	現代工芸の鳥瞰展	(藤)	〃	7.20
佐野賢、山田独行、 齋藤智各個展	(藤)	〃	〃	福田翠光遺作展	(竜平)	〃	〃
スペイン版画の全貌 展	〃	〃	5.5	福沢一郎、金田辰弘 三輪晃久各個展	(藤)	〃	〃
衣笠会展	(竜平)	〃	〃	関西国展	〃	〃	7.27
山口薫、久森俊、岡 崎紀子、石崎朝子各 個展	(藤)	〃	〃	*73関西自由美術展	(潤)	〃	〃
朝鮮の絵画展、経塚 遺宝展、牧人社展、 創元展、新槐樹社京 都展、日春展、小松 均展、吹米の陶芸展	〃	〃	5.11	太平洋関西支部展	(竜)	〃	〃
徳岡神泉遺作展1~ 16	(竜)	〃	5.14~6. 8	志水正明、伊牟田脩 平、広重明、下野正 雄各個展	(藤)	〃	〃
東丘社展	(竜平)	〃	5.18	彫刻の森美術館大賞 展をみて	〃	〃	8.3
光月会展	〃	〃	〃	京都日本画新人展	(竜平)	〃	〃
朴土グループ展、中 国美術名品展、佐伯 祐三展	〃	〃	〃	京都二紀展	(潤)	〃	〃
徳岡神泉遺作展	河北 倫明	〃	5.19	新協京都展	〃	〃	〃
モダンアート展	(藤)	〃	〃	土田麦僊展	〃	〃	8.10
青塔社展	(竜平)	〃	〃	日本近世の絵画展	(F)	〃	〃
東方美術協会展、吉 原治良展、モネ展	〃	〃	5.25	屏風展	(竜平)	〃	〃
モネ展	(藤)	〃	6.1	橋本清孝展、奥村厚 一展	(藤)	〃	〃
甲辰会展	(竜平)	〃	〃	1973京都ビエンナー レ展、アサヒ=ア ート・ナウ '73展	〃	〃	8.17
山田信義、井田照一 庄司達各個展	(藤)	〃	〃	中華人民共和国出土 文物展	〃	〃	8.24
全関西行動美術展	〃	〃	6.8	悠采会日本画展	(竜)	〃	〃
漆、フォルメ展	(竜)	〃	〃	グラフィック・イメ ージ '73展	〃	〃	〃
宇田裕彦展	〃	〃	〃	グラフィック・イメ ージ '73展	(藤)	〃	8.31
クリフトン・カー フ、柳新也、齋藤博、 大林義満各個展	(藤)	〃	〃	京都日本画作家展	(竜平)	〃	〃
古代オリエント・ギ リシャ展	〃	〃	6.15	西岡喬、木下桂通代、 坂爪厚生各個展	(藤)	〃	〃
真魚グループ展	(竜平)	〃	〃	皆川月華展	(竜)	〃	9.7
安井賞展	(藤)	〃	〃	素版展	(F)	〃	〃
晨鳥社展	(竜平)	〃	6.16	新槐樹社京都会員展	(潤)	〃	〃
川端龍子展	(藤)	〃	6.22	森田秀、野村京子、 宇藤英一各個展	(藤)	〃	〃
京都陶芸家クラブ展	(竜平)	〃	〃	映像表現 '73に寄せ て	平野 重光	〃	9.14
				瑛九とデモクラート 展	(藤)	〃	〃
				主体美術関西作家展	(竜平)	〃	〃
				門川昭子、田代幸 俊、幻一展各個展	(藤)	〃	〃

昭和48年定期刊行物所載文献

シェル美術賞展	(竜平)	京都	9.17	津高和一、木村光 佑、荒木信衛各個展	(藤)	京都	11.16
池田淑人個展	坂崎 乙郎	シ	9.21	黒田富紀子展、北辻 良央・川村悦郎展、 グループ版展	(潤)	シ	シ
南林社展	(竜平)	シ	シ	ボナール展	(竜)	シ	11.19
新家展	(藤)	シ	シ	二紀展	(藤)	シ	11.23
橋本典子展	シ	シ	シ	自由美術展	シ	シ	シ
19世紀秘蔵名品展	シ	シ	9.28	グループ濤展	(F)	シ	シ
「アメリカの日本作 家」展を見て	シ	シ	10.5	中路融人展	(竜)	シ	シ
黒田清輝展	(竜)	シ	シ	真野岩夫展	(藤)	シ	シ
野村耕展、映像と影 像展、鈴木治展、北 山善夫、浜中直志展	(藤)	シ	シ	吉田美禰、溝辺行雄、 荒木初恵、吉武賢各 個展	(潤)	シ	シ
浄土教絵画展をみて	シ	シ	10.12	独立美術・十無展	(藤)	シ	11.30
映像と映像展	シ	シ	シ	広重明、本野東一、 福本和子各個展	シ	シ	シ
黒崎彰、中野光雄、 川崎千足各個展	シ	シ	シ	新槐樹社京都会員小 品展、萩原萬寿吉展	(潤)	シ	シ
黒川彰夫展、福島一 二三展	(潤)	シ	シ	二科展、独立展	(竜平)	シ	12.4
橋本関雪名作展	(藤)	シ	10.15	二科、独立両展をみ て	(藤)	シ	12.7
新匠会展	(竜平)	シ	シ	京都二科七人展	(潤)	シ	シ
行動展をみて	(藤)	シ	10.19	森口宏一、富樫実、 高崎元尚、沢居曜子 各個展	(藤)	シ	シ
酒見恒平展	(竜)	シ	シ	上田政一展、寺島広 美展	(潤)	シ	シ
三尾公三、木下 茂 森、石原薫各個展	(藤)	シ	シ	京都彫刻新人展	(藤)	シ	12.14
藤村淳展、田中稔展	(潤)	シ	シ	京都洋画新人展	(竜平)	シ	シ
パンリアル展	(藤)	シ	10.26	下村良之介、関根勢 之助、芥川耿、林俊 治各個展	(藤)	シ	シ
今日の方法11人展	シ	シ	シ	並川誠・若林孝夫展、 小出哲夫展	(潤)	シ	シ
西山英雄展、野田芳 直展	(竜平)	シ	シ	日展京都展をみて	シ	シ	12.21
林剛展、西真展	(藤)	シ	シ	日本画の系譜・先生 と弟子展、今日の日 本画展、長久手会展、 島田章三展	寺田 千壘	東京夕刊	1.19
吹田文明展、五十風 晴夫展	(潤)	シ	シ	アンドレ・コタボ展、 刑部人個展、吉沢照 子展	シ	シ	1.26
野田芳直陶芸展	シ	シ	10.27	イオス・ガイザー展、 マリオ・バカダーレ 展、フランシス・ミ ンナート展	シ	シ	1.30
ジャコメティ展	(藤)	シ	10.29	シャガール銅版画 展、アンドレ・ポー ション展、中國三千 年美の美展	シ	シ	2.2
魁星展	(竜平)	シ	シ	ニューヨークの南蛮 美術展	谷 信一	シ	2.8
新制作油絵展	(藤)	シ	11.2	立軌展、小川芋銭展、 現代アメリカ彫刻45 人展、朱富士会展	寺田 千壘	シ	2.9
京都野外彫刻展	(潤)	シ	シ	スーテン展、梅原龍 三郎・熊谷守一巨匠 二人展、八樹会展	シ	シ	2.12
一水会京都出品者展	(竜平)	シ	シ				
堀内正和、笹尾周平、 吉川迪之各個展	(藤)	シ	シ				
岩見礼花展	(潤)	シ	シ				
新制作日本画展	(竜平)	シ	11.9				
野崎一良展	(藤)	シ	シ				
田島征彦展、佐野賢 展、金清幸男展、つ つみとしこ各個展	(潤)	シ	シ				
昭和期における京都 の日本画と洋画展	(竜平)	京都夕刊	11.12				
香雪美術館開館記念 展		京 都	シ				
近代日本美術史にお けるパリと日本展	(藤)	シ	11.16				
走泥社展	シ	シ	シ				
光風会京都作家展	(竜平)	シ	シ				

はにわ展、ナウ・アメリカン・アート展	寺田 千壘	東京夕刊	2.16	金島桂華展、仲田好江展、描かれた女展	寺田 千壘	東京夕刊	6.8
高山辰雄展、堀口泰造展、荒土会展、今日の日本展画	〃	〃	2.23	高山辰雄・山本丘人・杉山寧展、今西中通遺作展、十柯会展	〃	〃	6.15
平櫛田中展、潮展、南政善展、ピュッフェ展	〃	〃	3.2	大野五郎展、土橋醇展	〃	〃	6.20
ザッキン大回顧展、安井賞展、三月会展、近代巨匠名作展、ルオー展、高田誠展	〃	〃	3.9	中本達也展、雨晴会展、吉田俊雄展	〃	〃	6.29
ブリアンションとその周辺展、山形寿夫展、椿貞雄油彩墨彩展	〃	〃	3.16	クレス・オルデンバーグ展、清川泰次展、刑部人展、須田寿展	〃	〃	7.6
上村松篁展、穹展、神護寺寺宝特別公開展、丸山妙子展	〃	〃	3.23	土田麦僊展、太陽展、日本の画展、清流会展	〃	〃	7.13
小泉清遺作展、進藤審展、日美の流小展、閃光会日本画展	〃	〃	3.30	ワイズバッシュ展、天野三郎展、朝妻治郎展、石崎昭三展	〃	〃	7.20
春の院展、院展同人展、龍胆会展、鷲田新太展、松島正幸展、木本晴三展	〃	〃	4.6	フランス近代美術展、山田嘉彦・二宮正憲展、森本紀久子展	〃	〃	7.27
近藤弘明展、山家初枝彫刻展、入江西一郎展、日春展、川崎小虎展、清水鍊徳近作展	〃	〃	4.13	川合玉堂展、竹久夢二滞欧作品展	〃	〃	8.3
光風、創元、モダンアート展評	柳 亮	〃	4.16	円空・木喰展をみて	永井 信一	〃	8.10
サンパウロ美術館展をみて	坂崎 乙郎	〃	4.18	富岡鉄斎展、新樹会展	寺田 千壘	〃	8.17
鍋島紀雄展、ナイーフ三人展、大沢昌助展	寺田 千壘	〃	4.20	竹谷富士雄展、沢野水縷展、のむら清六展	〃	〃	8.24
山口蓬春遺作展、福本章展、島内きみ展、三雲祥之助・小川マリ二人展	〃	〃	4.27	イタリア・ルネッサンスのブロンズと素描展	〃	〃	8.31
春陽、国展、東光展をみて	植村鷹千代	〃	5.2	ルドンの世界1~6	菊地 一雄 門井 安雄 栗津 哲郎 高橋 則雄 黒江 光彦	〃	9.3~9.10
モネ展	寺田 千壘	〃	5.4	国際形象展、樹展、豊秋半次展、山本勇一展	寺田 千壘	〃	9.7
古代オリエント・ギリシャ展、下保昭展、コンラッド・メイリ遺作展	〃	〃	5.11	二科、行動、院展をみて	植村鷹千代	〃	9.13
大河内信敬回顧展、塩月桃甫遺作展	〃	〃	5.15	ジャコメッティ展、二つのポナール展	寺田 千壘	〃	9.14
奥村土牛展、福沢一郎展、大島哲以展	寺田 千壘	〃	5.18	ルドン展をみて	難波田龍起	〃	9.18
イサム・ノグチ展、鈴木政夫展、庫田發展、山口薫展、加倉井和夫展、カシニユール展	〃	〃	5.25	竹内栖鳳展、キュビズム展の画家たち展、マンレイ展、池田淑人展	寺田 千壘	〃	9.21
雲道人(小林全鼎)展、レジュー展、松尾敏男展、岩松正展、堀川恭展、彩青会展	〃	〃	6.1	クロチュエッティ展、朝倉郷子展、菊地一雄展、高田誠展、マルケ展	〃	〃	9.28
生きてる浮世絵・刺青展に寄せて	宇野 信夫	〃	6.7	新制作、一水、一陽会展をみて	三木 多聞	〃	10.4
				横山操の回顧展、現代彫刻20展、アイズピリ展、桑原正昭展	寺田 千壘	〃	10.5
				織田一磨回顧展	〃	〃	10.9

昭和48年定期刊行物所載文献

シニョーリ展、原勝 四郎展、深沢孝哉展、 柴田賢治郎展	寺田 千壘	東京夕刊	10.19	ザクロを持つ女神 像	G・R・マ イヤー	日 経	4.27
独立、二紀、自由展 を見て	朝日 晃	〃	10.22	シュメール人頭 部	新 規矩男	〃	5.5
沢田政広展、前田青 郎展、田中阿喜良展、 大森運夫展、土田菱 櫻展、小出楯重展、 佐分真展	寺田 千壘	〃	10.26	婦人頭部	富永 惣一	〃	5.25
カンピリ展、鴨居玲 展、中川一政展	〃	〃	11.2	シレニスの浮彫墓 碑	谷口 吉郎	〃	6.8
中村彝展、鈴木千久 馬展	〃	〃	11.9	アッシュール・ナ シルバルⅡ世獅子 狩図浮彫	杉山 二郎	〃	6.15
大正の心と美展	〃	〃	11.14	赤絵式壺(ディノ ス)	上村 松篁	〃	6.22
佐藤忠良展、イタリ ア・ルネッサンス・ ヴェネツィア派名作 展	〃	〃	11.16	立軌展、小川芋銭展	〃	〃	2.9
デ・キリコ展、フラ ンス名作展、近代巨 匠の名作展	〃	〃	11.22	はにわ展、ナウ・ア メリカン・アート展	〃	〃	2.16
日展をみて	中村伝三郎	〃	11.26	坂崎乙郎企画「私の 好きな作品展」	〃	〃	〃
ジャコモ・マンズー 展、福井良之助展、 高橋惟一展	寺田 千壘	〃	11.30	高山辰雄展、荒土会 展、井上長三郎展	〃	〃	2.23
絹谷幸二展、宮田晨 哉展、寺田政明展、 双杉会展、小原稔・ 大歳克衛展	〃	〃	12.7	平楯田中展	〃	〃	3.2
西八郎展、レアリテ 展、藤田清孝展、島 村達彦展	〃	〃	12.14	新桃樹社展、美術文 化展、ザッキン大回 顧展	田近 憲三	〃	3.9
水墨山水画展	〃	〃	12.27	一對のこころ展	〃	〃	3.23
スーテン展、日本画 の系譜・先生と弟子 展	〃	日 経	1.19	美の足跡にふれて (古代オリエント・ ギリシャ展)	辻 邦生 並河 万里	〃	3.30
若き日のシャガール BIBLE展、近代日 本版画のあけぼの展	〃	〃	2.2	古代の美と私(古代 オリエント・ギリシ ャ展)	小坂善太郎 杉山 寧 小山 五郎 大岡 昇平 長谷川周重 佐藤 達夫 根本竜太郎	日経夕刊	4.4 ~4.18
古代オリエント・ギ リシャ展から、獅子 浮き彫り	江上 波夫	〃	2.9	サンパウロ美術館展	〃	日 経	4.6
英雄像	田中美知太 郎	〃	2.16	示現展、白日展、水 彩連盟展、三軌展	田近 憲三	〃	3.30
マルドック・アベ ル、イッディナ王 の境界石	木内 克	〃	3.2	光風会展、日本版画 協会展	〃	〃	4.12
騎馬人物像浮彫墓 碑	村田数之亮	〃	3.9	創元展、モダンア ート展	〃	〃	4.13
黒絵式アンフォラ ー	森 芳雄	〃	3.23	モネ展	〃	〃	4.20
アッシリア精霊頭 部浮彫	杉 勇	〃	3.30	国展、春陽展、東光 展	〃	〃	4.27
カラティスコの踊 り子浮彫	高階 秀爾	〃	4.6	福沢一郎展、香月泰 男展、ベリクレ・フ ァツィーニ展	〃	〃	5.11
トウクルティ・ニ ヌルタⅠ世の祭壇	三上 次男	〃	4.13	新世紀展、主体美術 展、日本画院展	田近 憲三	〃	5.18
タナグラ人形、走 る女子像、女子立 像	沢田 正弘	〃	4.20	日府展	〃	〃	5.25
				日本染織展	〃	〃	5.26
				イサム・ノグチ展	〃	〃	6.1
				女流展、太平洋展	田近 憲三	〃	6.8
				金島桂華素描展、仲 田好江展	〃	〃	6.9
				新興展	田近 憲三	〃	6.15
				黒田清輝展	〃	〃	6.22
				雨晴会展、樗会展、 漆々会展	〃	〃	6.29
				中本達也展、太陽展	〃	〃	7.6

中国出土文物展	日 経	7.13	入樹会展、巨匠二人展(梅原、熊谷)	毎日夕刊	1.10
清流展、池田満寿夫展、ワイズバッシュ展	シ	7.14	ヨーロッパの日本作家展	シ	1.10
土田麦僊展	シ	7.20	山種美術館展	シ	1.11
川合玉堂生誕百年展、円空・木喰展	シ	8.3	橋本関雪遺作展	シ	1.12
鉄斎展、グラフィック・イメージ'73展	シ	8.10	津高和一個展	シ	1.16
榊原紫峰遺作展、新樹会展	シ	8.17	シャイム・スーチン展、作陶展三つ(林孝太郎、江口勝美、加藤留助)	シ	1.17
イタリア・ルネッサンスのブロンズと素描展、竹谷富士雄展	シ	8.24	日本画の系譜・先生と弟子展	シ	1.18
現代工芸の鳥瞰展	シ	8.31	東京国立博物館の「所藏品展」	シ	1.19
日本美術院展	田近 憲三	シ	長久手会展、島田章三展	シ	1.23
二科展、行動美術展	シ	シ	9.7	シ	
ジャコモッティ展、国際形象展	シ	シ	9.8	シ	1.24
二つのボナール展、フサロ展	シ	シ	9.14	シ	1.25
竹内栖鳳展、横山操回顧展	シ	シ	9.21	シ	1.26
オディロン・ルドン展、キュビズムの画家たち展	シ	シ	9.25	シ	1.29
新制作展、一水展、一陽展	田近 憲三	シ	9.28	シ	2.1
近代日本美術史におけるバリと日本展、マルケ展	シ	シ	9.29	シ	2.2
長谷川利行小品展、脇田愛二郎展	シ	シ	10.5	シ	2.5
大正の心と美展、版画グランプリ展、現代彫刻20展	田近 憲三	シ	10.12	シ	2.6
独立展	シ	シ	10.19	シ	2.7
二紀展、自由美術展	田近 憲三	シ	10.25	シ	2.8
沢田政広展	シ	シ	10.26	毎日夕刊	2.10
カンピリ展、中川一政展	シ	シ	11.2	シ	2.12
中村彝展	シ	シ	11.9	シ	2.13
日展(日本画)	田近 憲三	シ	11.16	シ	2.14
日展(洋画)	シ	シ	11.22	シ	2.15
フランス名作展、カトラン展、福井良之助展	シ	シ	11.26	シ	2.17
日展(彫刻・工芸)	田近 憲三	シ	11.27	シ	2.19
日本のうつつわ展	シ	シ	11.29	シ	2.20
ストイロフ展、ペカリ展	シ	シ	12.6	シ	2.21
デ・キリコ展、寺田政明展、双杉会展	シ	シ	12.7	シ	2.22
ジャコモ・マンゾー展、宮田農哉展	シ	シ	12.11	シ	2.24
サントリー'73展、すばらしい紙の世界'73展	毎日夕刊	1.8		シ	2.27
				シ	2.28
				シ	3.5

昭和48年定期刊行物所載文献

八世乾山・山本如仙 作陶展、ザッキン大 回顧展		毎日夕刊	3.6	今村幸生展、能仲ヤ ツヲ展、大庭勝郎展、 島谷見展		毎日夕刊	4.26
平櫛田中展		〃	3.8	西村計雄展、福本章 展		〃	4.27
張遇聖個展		〃	3.9	現代日本美術展	安井 収蔵	毎日	〃
二村裕子展		〃	3.10	山口蓬春遺作展	加藤 貞雄	毎日夕刊	4.28
椿貞雄油彩墨彩展		〃	3.12	春陽会展、国画会展、 東光会展		〃	5.4
東京の具象系新人展 から、松井敏郎展他		〃	3.13	モネ展		〃	5.7
彫刻家と画家の対 話・人物デッサン展		〃	3.14	現代彫刻センター 展、ニューヨークの 日本作家個展(猪熊 弦一郎、高井貞二、 川島猛、古川吉重、 岡田謙三、池田満寿 雄他)		〃	5.9
山県寿夫個展	加藤 貞雄	〃	3.15	現代ユーゴスラヴィ ア美術展		〃	5.10
田中栄作展		〃	3.17	福沢一郎展	加藤貞雄展	〃	5.11
関根伸夫展	安井 収蔵	〃	3.19	鈴木治陶芸展		〃	5.12
中西夏之展		〃	3.20	大島哲以展	安井 収蔵	〃	5.14
一對の心展		〃	3.22	松本奉山展、岩田藤 七展、韓国近代絵画 展、永田一裕展		〃	5.18
ホイットニー・ピエ ンナーレ展	近藤 竜男	〃	〃	奥村土牛展		〃	5.21
上村松篁展		〃	3.23	荒川豊蔵展		〃	5.22
日美の流れ展		〃	3.24	林敬二展、川田恒之 輔展、久保繁造展、 モンタニエ、イザベ ル・ルオ、マネシエ 3人展		〃	5.23
サンパウロ美術館展	安井 収蔵	毎日	〃	イサム・イグチ展		〃	5.24
ロマー・ベアデン展		毎日夕刊	3.26	日本陶芸展	吉田 耕三 乾 由明 水尾比呂志 谷川 徹三	毎日	5.28
小林研三展		〃	3.28	佐熊桂一郎展、田島 征二展		毎日夕刊	5.28
木村嘉子展		〃	3.29	古田紹欽、小山富士 夫二人展		〃	5.29
矢柳剛展、冬青・小 林勇展		〃	3.30	北川民次展、青木正 枝展、田崎広助展		〃	5.30
塩水流功展		〃	4.2	吉田昌功展、岩松正 展		〃	5.31
サンパウロ美術館 (日本初公開の巨匠 たち)1~5	安井 収蔵	毎日	4.3~4.7	描かれた女展		〃	6.1
澄川喜一展、三浦重 雄展		毎日夕刊	4.5	尾崎久弥コレクショ ン展		〃	6.5
現代ドイツ版画展		〃	4.6	日本陶芸展から1~ 4		〃	6.5~6.8
女流陶芸展	亀田 正雄	〃	4.7	次元と状況展		〃	6.6
近藤弘明展、入江西 一郎展		〃	4.9	川端竜子展		〃	6.7
武者小路実篤展、熊 谷守一展、川崎小虎 展、鷺田新太展		〃	4.11	今西中通遺作展		〃	6.9
書蹟と歌切展		〃	4.13	女流画家協会展、中 部国際形象展		〃	6.11
四つの公募展に見る (光風会、創元会、モ ダンアート展、日本 版画協会)		〃	4.16	クメール細密画展、 刺青展、四季展		〃	6.13
常滑造形集団グルー プ展		〃	4.17	中華人民共和国出土 文物展に寄せて	杉村 勇造	〃	〃
金仁承展、菅原安男 展		〃	4.18				
古代オリエント・ギ リシャ展		〃	4.19				
ポール・デルポー版 画展		〃	4.21				
鍋島紀雄展、山口薫 展		〃	4.23				
レホウィッチ展、大 沢昌助展		〃	4.25				



平塚運一版画展	毎日夕刊	6.14	藤飯治平展	毎日夕刊	8.23
'73新鋭選抜展	シ	6.15	塚本快木作陶展	シ	8.25
黒田清輝展によせて	今泉 篤男	シ	沢野水纓展	シ	8.27
谷本重義展	シ	6.19	竹谷富士雄展	シ	8.28
中国清朝名画展、森町町子展、野宮武明展	シ	6.21	イタリア・ルネッサンスのブロンズと素描展、樹展	シ	8.29
オルデンバーグ展	シ	6.23	モダンアート彫刻展	シ	8.31
六月のサロン展	シ	6.27	ローラン・ブリジョー展	シ	9.1
清川泰次展	シ	6.30	現代工芸の鳥瞰展	シ	9.3
中本達也展	シ	7.2	内田光之助展、坂本博昭展	シ	9.5
戦後日本美術の展開展、太陽展	シ	7.4	国際形象展	シ	9.6
田島征彦展	シ	7.5	二科展、院展、行動美術展	安井 収蔵	シ
田中昇個展	シ	7.6	ジャコモメッティ展	シ	9.7
近藤豊作陶展	シ	7.7	横山操回顧展	加藤 貞雄	シ
銚川泰三展	シ	7.9	二つのボナール展	安井 収蔵	シ
坂爪厚生展、四つの風景展	シ	7.11	ジャン・フサロ展	シ	シ
久世建二陶展、桜井晨正展、三島茂司展	シ	7.12	キュビズムとマン・レイ展	加藤 貞雄	シ
ワイズパッシュュ展	シ	7.13	奥田善己展、李禹煥展	シ	9.17
藤沢喬展	シ	7.15	クロチエッティ彫刻展、朝倉響子展	シ	9.18
池田満寿夫新作版画展	シ	7.16	年々盛んになるグループ展(推薦作家展、陶芸燦匠会展、翹会展、緑洋会展、農領会展)	シ	9.19
野口謙蔵回顧展、フランス近代美術展	シ	7.18	竹内栖鳳展	シ	シ
土田麦僊展	シ	7.19	オディロン・ルドン展	シ	9.20
速水史朗展	シ	7.21	井上悟展	シ	9.21
森本紀久子展	シ	7.23	織田一磨展	シ	9.25
円空・木喰展	シ	7.24	アイズビリ展、桑原正昭展	シ	9.29
津神久三個展	シ	7.25	秋の公募展第二陣(新制作展、一水会展、一陽会展)	加藤 貞雄	シ
儀間比呂志展	シ	7.26	セントラル現代陶芸展	シ	シ
相笠昌義展	シ	7.30	雪舟展	佐野 治	シ
明治浮世絵展	シ	7.31	脇田愛二郎展	シ	10.5
小山岑一展、佐藤和彦展	シ	8.1	現代彫刻20展	加藤 貞雄	シ
青木繁・その知られざる世界展	シ	8.2	清水六兵衛展	シ	10.8
川合玉堂回顧展	シ	8.3	荻太郎展	シ	10.9
ヨーロッパ近代彫刻展、グラフィックイメージ'73展	シ	8.4	里中英人展	シ	10.12
鉄斎展	シ	8.9	黒崎彰展	シ	10.15
アンリ・ファルジュ展	シ	8.10	霞節男展	シ	10.16
榊原紫峰遺作展	シ	8.14	大正の心と美展	加藤 貞雄	シ
村井正誠展	シ	8.15	青木大乘展	シ	10.17
新樹会展	シ	8.17	シニョーリ展、西村竜介展、佐分真展、土田麦僊展	シ	シ
高井貞二版画展	シ	8.18		シ	10.18
第1回彫刻の森美術館大賞展	安井 収蔵	シ		シ	10.20
のむら清六展、上田臥牛展	シ	シ		シ	10.22

昭和48年定期刊行物所載文献

狩野芳崖とフェノロサ展	毎日夕刊	10.23	地主梯助展、小原稔・大歳克衛展、西八郎展、阪本文男展	毎日夕刊	12.7		
田中阿喜良展、藤井端子展、加治邦子展	〃	10.24	中林忠良展	〃	12.8		
三つの公募展(独立、二紀、自由美術)	加藤 貞雄	〃	10.25	浮世絵・日本の旅展	〃	12.10	
前田青邨展、沢田政広展	〃	10.26	明治・大正・昭和—三代の秀作展、風日会展、中央公論秋季展、レアリテ展、燦々会展	〃	12.12		
近代日本美術史におけるパリと日本展	〃	10.29	石本正展、ルオー「パッション」「ミゼレーレ」展	〃	12.14		
大森運夫展、山本文彦展	〃	10.30	島村達彦展、油野誠一展	〃	12.17		
平井一男展、大沼映夫展	〃	10.31	立体派展	安井 収蔵	〃		
デ・キリコ展から1~5	安井 収蔵	〃	10.31~11.6	下村良之介展	〃	12.19	
鴨居玲個展	〃	11.1	辻協展、ブリアータ展、レビン展、富永惣一展	〃	12.21		
東山魁夷展	〃	11.2	下川勝展、台湾の民具展	〃	12.26		
中川一政展	〃	11.5	ピカソ・デッサン展	読売夕刊	1.6		
東山魁夷展	〃	11.6	すばらしい紙の世界'73展	〃	1.8		
六彫展、駒井哲郎展、加藤清美展、モーリッツ展、高羽賢一展、小林清子展	〃	11.7	橋本関雪展	〃	1.10		
第8回パリ青年ビュンナーレ	宮崎 進	〃	11.8	梅原・熊谷巨匠二人展、八樹会展	(丈)	〃	1.11
ルネサンス賛(ベネチア派名作展から)1~5	宮本三郎 谷川徹三 落合恵子 辻邦生 高階秀爾	〃	11.8~11.13	スーチン展	〃	1.13	
中村彝展	〃	11.9	先生と弟子展	(丈)	〃	1.17	
近代世界彫刻展	亀田 正雄	〃	11.12	人間と生活空間を考える展	〃	1.18	
渡辺玉花展	〃	11.10	高沢圭一展、長尾みのる展、長久手会展、島田章三展	(丈)	〃	1.20	
高橋秀版画展	〃	11.13	ルイスカーン・スケッチ展	〃	1.22		
鈴木千久馬回顧展、豊田寿生展	〃	11.14	現代アメリカ彫刻45人展	〃	1.26		
イタリア・ルネサンス・ベネチア派名作展	辻 茂	〃	11.15	日本の美人画展	〃	1.27	
斎藤真成・堀内規次・中西勝三人展	〃	11.16	フランシス・ミンナート展・マリオ・バカダーレ展、イオス・ガイザー展	(丈)	〃	1.29	
佐藤忠良展	〃	11.17	中国三千年美の美展、親鸞聖人展、近代日本版画のあけぼの展	〃	〃	2.3	
岡信孝展	〃	11.19	県展選抜展	読 売	2.7		
幸画廊秋季展、近代巨匠の名作展、フランス名作展	〃	11.20	レンブラント版画展、シャガール銅版画展	読売夕刊	2.8		
カトラン展	〃	11.21	清水光子展、出光孝子展	(丈)	〃	2.9	
日展、井上公三展	〃	11.28	回想の清方展(第1回)	〃	2.12		
三栖右嗣展、加藤唐九郎展	〃	11.30	ナウ・アメリカン・アート	(丈)	〃	2.17	
絹谷幸二展	〃	12.3					
シャコモ・マンゾー展	〃	12.4					
寺田政明展、宮田農哉展	〃	12.5					
加藤唐九郎展	河谷 俊也	〃	12.6				

今日の日本画展、荒土会展、高山辰雄「日月星辰」展	(丈)	読売夕刊	2.20	73アート常滑陶芸展		読売夕刊	4.24
脇田愛二郎展、原健版画展、吉原英雄展	〃	〃	2.23	日本美の立場から見たモネ展	吉村 貞司	読 売	〃
ザッキン大回顧展に寄せて	高田 博厚	〃	2.26	森義利展、ポールデルポー展	村木 明	〃	4.26
平櫛田中展	(丈)	〃	2.27	福本章展	〃	〃	2.27
ビュッフエ美術館開館披露展、潮展、形真展	(〃)	〃	3.1	古代オリエント・ギリシャ展		〃	4.28
川島猛新作彫刻展		読 売	3.2	アマア・ナス・セガール展		〃	〃
「はにわ」特別展を見て	利根山光人	読売夕刊	〃	鉄斎展を見て	田中 記者	読売夕刊	5.2
ザッキン大回顧展	(丈)	〃	3.5	山口蓬春遺作展、吉原治良展	村木 明	〃	5.4
シカゴ美術館浮世絵名品展		〃	3.6	インカ帝国の秘宝展		〃	5.7
三月会展、高田誠展	(丈)	〃	3.8	コンラッド・メイリ遺作展		〃	5.8
山県寿夫彫刻展	(〃)	〃	3.10	下保昭展	村木 明	〃	5.10
椿貞雄油彩墨彩展、ブリアンションとその周辺展、松井敏郎展	(丈)	〃	3.14	ファッツィーニ展、英国水彩画展	〃	〃	5.12
第七回国際青年美術家展によせて	植村鷹千代	〃	3.15	永田一脩展		〃	5.14
中西夏之展、関根伸夫展、萩谷巖展	(丈)	〃	3.19	福沢一郎展、香月泰男展	村木 明	〃	5.16
神護寺寺宝特別公開展、上村松篁展、二重作竜夫展	〃	〃	3.24	芸大現職教官作品展、韓国近代絵画展、イザベル・ルオー、マネシエ、モンタニエ3人展、田畑弘展		〃	5.17
20世紀美術のハイライト展		〃	3.29	奥村土牛展、大島哲以展	村木 明	〃	5.18
冬青・小林勇展、矢柳剛展	(丈)	〃	3.30	ピカソ・リノカット展、カシニョール展、久保繁造展、小林哲夫展、川田恒之輔展	〃	〃	5.21
モネ展への招待1～9	小林 勇 安岡 章太郎 嘉門 安雄 東山 魁夷 坂上 次男 安東 慎一 瀬木 久雄 沢野 三郎 宮本	〃	4.2～ 4.14	現代ユーゴスラビア美術展		〃	5.22
塩水流功展、樋口治平展	(丈)	〃	4.3	走泥社展	村木 明	〃	5.23
春の院展	村木 明	〃	4.6	現代日本美術展		〃	5.24
鷺田新太展、フィギェア・73年展、世界版画展第2集「ゴヤ」	〃	〃	4.9	新制作日本画春季展、加倉井和夫展	村木 明	〃	5.25
熊谷守一展、武者小路実篤展、川崎小虎展		〃	4.12	佐藤大寛展		〃	5.28
近藤弘明展、斎藤清墨絵展	村木 明	〃	4.13	イサム・ノグチ展、庫田發展	村木 明	〃	5.29
鍋島紀雄回顧展	〃	〃	4.18	松尾敏男展、岩松正展	〃	〃	6.2
サンパウロ美術館展		〃	4.20	北川民次回顧展	〃	〃	6.5
現代工芸展に思う	高山 辰雄	〃	〃	現代ソ連絵画展		〃	6.6
春陽会50年の歩み展、島内きみ展	村木 明	〃	4.21	描かれた女展	村木 明	読 売	6.7
モネ展を見て	石川 達三	〃	4.23	三栖右嗣個展	〃	〃	6.12
				刺青展		読売夕刊	6.14
				新鋭選抜展、コンバクト・ギャラリー・グループ展	村木 明	〃	6.15
				ピカソ・エロチカ展		〃	6.13
				高山辰雄、山本丘人・杉山寧新作三人展	村木 明	〃	6.18
				肉筆浮世絵展、近代日本画名作展		〃	6.19

昭和48年定期刊行物所載文献

柏原求一郎展	村木 明	読売夕刊	6.23	東京国立近代美術館 収蔵品展示		読売夕刊	9.1
土橋醇展、大野五郎 展	シ	シ	6.21	銀二会展、立軌会 員展、国際形象展	村木 明	シ	9.6
雨晴会展、六月サロ ン展、登竜会日本画 新人展	シ	シ	6.27	ジャコメッティ展	シ	シ	9.10
黒田清輝展	シ	シ	6.29	横山操回顧展	シ	シ	9.12
中本達也展、小玉光 雄展、妹尾正雄展	シ	シ	7.2	現代工芸の鳥瞰展	シ	シ	9.13
芸大彫刻卒業制作の 歴史展	シ	シ	7.4	秋の団体展・院展、 二科、行動展を見て	シ	シ	シ
現代日本の本の装 幀展	シ	読 売	7.5	二つのボナール展	シ	シ	9.17
鮎川泰三展、田中昇 展	シ	読売夕刊	7.7	竹内久一彫刻展	シ	シ	9.19
オルデンバーグ展	シ	読 売	7.9	ビュッフェ展、マン レイ展、キュービス ムの画家たち展、ク ロチュエッティ展	村木 明	読 売	9.20
太陽展、日本の画 展、清流会展	シ	読売夕刊	7.11	竹内栖鳳展	シ	読売夕刊	9.22
池田満寿夫展	シ	シ	7.14	マルケ展を見て	中山 公男	シ	9.25
北山泰斗展、ワイズ パッシュ展、石崎昭 三展	シ	シ	7.19	ルドン展	村木 明	シ	9.27
緒方一成版画展、プ リント・ナイン展	シ	シ	7.23	吉田養生展	シ	シ	9.28
若林奮デッサン彫刻 バリ画壇の新世代展	村木 明	シ	7.25	津田青楓展	村木 明	シ	9.29
竹久夢二滯欧作素描 展		読 売	7.30	長谷川利行小品展、 高田誠記念作品・新 作展、松本忠義展、 桑原正昭展	シ	読 売	10.1
川合玉堂生誕百年記 念展	鈴木 進	読売夕刊	8.2	寄贈・広田松繁コレ クション展		読売夕刊	シ
アンリ・ファルジュ 展		シ	8.4	公募展第二陣（新制 作、一水会、一陽会）	村木 明	シ	10.6
円空・木喰展		読 売	8.5	近世屏風絵展	シ	シ	10.12
グラフィック・イ メージ73展	村木 明	読売夕刊	8.6	版画 グラン・プ リ展、黒崎彰展	村木 明	シ	10.13
北辰会展、晩会展		シ	8.7	田淵安一展、荻太郎 展、西村功展	シ	シ	10.16
富岡鉄斎展	村木 明	シ	8.8	遠藤昭吾展	シ	シ	10.17
青木繁素描展		シ	8.14	織田一磨回顧展	シ	シ	10.19
水井康雄展		シ	8.15	土田麦僊展、佐分真 展、西村竜介展、山 本亜稀展	村木 明	シ	10.22
村井正誠展、浜田泰 介展	村木 明	シ	8.16	現代日本彫刻展	シ	シ	10.24
沢野水縷展、のむら 清六展	シ	シ	8.21	沢田政広展	村木 明	シ	10.25
広重・東海道五十三 次展		シ	8.17	西山英雄「播磨灘物 語」装画原画展	シ	シ	10.26
水の展覧会	村木 明	シ	8.23	独立、二紀、自由美 術展	村木 明	シ	10.27
鏡像と懸仏特別展観 竹谷富士雄展、上田 臥牛展	村木 明	シ	8.25	中川一政展、大森運 夫展	シ	シ	10.29
高井貞二版画展、小 野州一展	シ	シ	8.28	正倉院展への招待	蔵田 蔵	シ	10.31
イタリア・ルネッサ ンスのブロンズと素 描展		シ	8.29	明治・大正・昭和 三代の秀作展	シ	シ	シ
樹展、シュル美術賞 展、彩彫会展	村木 明	シ	8.30	中川紀元遺作展	シ	シ	11.1
ジャコメッティによ せて	矢内原伴作	シ	8.31	カンピリ展	シ	シ	11.6
				東山魁夷展	村木 明	シ	シ
				イタリア・ルネッサ ンス・ヴェネチア派 名作展、カンピリ展	シ	シ	11.7
				加納光於展	村木 明	シ	11.8

特別展「日本の染織」 から	北村 哲郎	読売夕刊	11.10	マリアン・W・スミス編、木村重信、岡村和子訳「部族社会の芸術家」	長島 信弘	芸術生活	286
平田勝規展、高橋義治展、古橋矢須秀展	村木 明	〃	11.13	吉村貞司著「日本神話の原像」読売新聞社刊	日向あき子	三 彩	308
岡信孝展、近代巨匠の名作展、松原也展、田染幸雄展	〃	〃	11.15	鈴木進著「近世異端の芸術」マリア書房刊	佐々木剛三	〃 〃	
日展をめぐって(日本画のゆくえ)	鈴木 進	〃	11.16	森銃三著「黄表紙解題」中央公論社刊、			
カトラン展	村木 明	〃	11.19	林美一著「江戸仕掛木考」有光書房刊	小野 忠重	〃	298
デ・キリコ展	〃	〃	11.21	神奈川県立近代美術館編「神奈川美術風土記、高橋由一展」	原田 実	〃	306
三栖右嗣展	〃	〃	11.27	吉本隆明、北川太一編「高村光太郎選集別巻、造型」春秋社刊	〃	〃	309
ジャコモ・マンゾー展	〃	〃	11.28	ヘンリー・P・ウィ著平野威馬雄訳「日本画の描法」澹書房刊	三宅正太郎	〃	300
福井良之助展、フランス名作展	〃	〃	11.29	恩地孝四郎著「本的美術」出版ニュース社刊	柄折久美子	〃	309
ベカリ展、タンカ(ネパールの仏画)展	〃	〃	12.3	関野準一郎「版画を築いた人々」(自伝的日本近代版画史)美術出版社	酒井 忠康	美術手帖	370
中林忠良展、トビー展	村木 明	〃	12.4	田村隼人著「田村隼人の絵 Say」隼鳥書房刊	藤井 暉久	アイデア	118
中国現代絵画展	〃	〃	12.5	久保尋二「レオナルド・ダ・ヴィンチ研究」	下村寅太郎	美術手帖	362
宮田晨哉展	村木 明	〃	12.6	ヨハン・ホイジンガ歴史画集「祖国の歴史より」河出書房新社刊	高橋 英夫	三 彩	306
現代ソビエト絵画展	〃	〃	〃	小野二郎「ウィリアム・モリス」中央公論社	海野 弘	美術手帖	375
ルオー「パッション」展	〃	〃	12.7	ギュスターヴ・ドレ画エドガー・アランポオ詩日夏耿之介訳「大鴉」薔薇十字社刊	澁澤 龍彦	三 彩	301
寺田政明展、大歳克衛展、阪本文男展	村木 明	〃	12.8	パウエル、クレー、土方定一、菊地英夫、坂崎乙郎「造形思考」新潮社	中原 佑介	美術手帖	371
駒井哲郎展	〃	〃	12.13	エドワード、F、フライ、八重樫春樹訳「キュビズム」美術出版社	末永 照和	〃	375
島村達彦展、藤田清孝展	〃	〃	12.15	シビル、モホリニナギ、下島正夫、高取利高訳「モホリニナギ」	赤根 和生	〃	367
ブリアータ展	〃	〃	12.18	ハインリッヒ・リュッツェラー、西田秀穂訳「抽象絵画一意味と限界」美術出版社	川上 実	〃	373
辻協作陶展、下村良之介展、山根隆展、富永惣一展	〃	〃	12.21				
<b>書 評</b>							
東京国立博物館創立百年史		芸術新潮	286				
ヒューマンライフエンサイクロペディア(20巻)講談社刊	田中 一光	アイデア	119				
中原佑介著「人間と物質の間」田畑書店刊、中原佑介著「見ることの神話」フィルムアート社刊	平井 亮一	三 彩	300				
中原佑介「ナンセンス芸術論」フィルムアート社	寺山 修司	美術手帖	364				
中原佑介著「ナンセンス芸術論」フィルムアート社刊	平 昌司	アイデア	118				
岩山三郎「古代の没落と美術」美術出版社	高味 文雄	美術手帖	371				
岩山三郎著「古代文化の没落と美術」美術出版社	立田 洋司	三 彩	311				

昭和48年定期刊行物所載文献

日向あき子「ポップ文化論」ダイヤモンド社	石子 順造	美術手帖	373	刈とられた草の根	酒井 忠康	三 彩	307
秦恒平「女文化の終焉」(十二世紀美術論)美術出版社	川嶋 至	〃	370	負の扉	〃	〃	308
ユンゲン・クラウス 吉沢謙次、川副富男、有賀健訳「現代芸術の膨張」社会思想社	彦坂 尚嘉	〃	365	切符の話から	〃	〃	309
高田秀利著「京の匠」鹿島出版会	木村 重信	三 彩	302	盗まれた微笑	〃	〃	311
高橋正人著「日本のしるし」岩崎美術社刊	大智 浩	アイデア	121	概念的な美術論の情況	たにあらた	美術手帖	362
坂崎正郎著「象徴の森」		芸術生活	284	どうしてですか	伏久田喬行	〃	364
ブルーノ・ムナーリ著小山清男訳「芸術としてのデザイン」ダヴィッド社刊	平 昌司	アイデア	119	根底なき根底—ドクメンタ展の波紋	たにあらた	〃	365
ジュリア・ヴェロネージ、西澤信彌、河村正夫訳「アール・デュ」美術出版社	海野 弘	美術手帖	364	“もの派”の錯誤	添枝 晃雄	〃	〃
ジュリア・ヴェロネージ著西澤信彌、河村正夫訳「アール・デュ」美術出版社刊	養庭 孝男	三 彩	305	なぜアンパンか	平野 重光	〃	366
G、ファッシュティA、フレッチャー共著「アイデンティティ、キッド」	今竹 翠	アイデア	120	まっ青な頭脳の呪術よ	伏久田喬行	〃	〃
ジョセフ・アルパース著「白石和也訳「色彩構成—配色による創造」ダヴィッド社刊	藤井 暉久	〃	118	第8回「パリ、ピエンナーレ」へ	峯村 敏明	〃	〃
瀬木慎一著「明日をつくるデザイナーたち」誠文堂新光社刊	藤井 暉久	〃	121	メディア論と公共性	たにあらた	〃	367
和田誠著「デザイン街路図」昭文社出版部刊				喰わざるの術	伏久田喬行	〃	368
時 評				武州人王子よりさっそうたる悪意をこめて	〃	〃	370
美術季評	小川 正隆	季刊芸術	24	美術評論、前線の苦悶	たにあらた	〃	371
〃	野村 太郎	〃	25	終末論と表現の危機	〃	〃	373
〃	本間 正義	〃	26	店仕舞棚卸し「困惑する批評」のゆくえ	伏久田喬行	〃	375
〃	藤枝 晃雄	〃	27	ぬけがら作って賞もらう	柳 和暢	〃	〃
<美術時評>	酒井 忠康	三 彩	297	60年代からなにがとり残されたか	ヴラスト・チハーコヴァー	〃	370
「イラストレーションを超えて」展から	藤枝 晃雄	〃	298	日本美術の現状と明日への期待	京 左近	ほざある	1
ハンチクな芸術	〃	〃	300	偏狭で貧しい「美術の時代」	瀬木 慎一	読売夕刊	3.19
なぜ批評家は発狂しないのか	〃	〃	301	続く異常現象の中で一ひとつの「終末」幻想曲	中原 佑介	朝日夕刊	9.1
カントが朝の散歩の時間をおくらせた	酒井 忠康	〃	302	一動きはじめた今年の美術界	瀬木 慎一	日本美術	94
左手のための協奏曲	〃	〃	303	去年今年、美術界の回顧と展望	寺田 千壘 田近憲三他	〃	93
卵と箱と塵	〃	〃	305	*73回顧、内的転換へ曲がり角	(米)	朝日夕刊	12.27
ビューリダンの驢馬	〃	〃	306	美術時代の終わり(ことしの回顧)	村瀬 記者	読売夕刊	12.20
				特集・ことしの美術界を回顧する	瀬木 慎一 坂崎 乙郎 亀田 正雄 日野耕之祐 安井 収蔵 難波専太郎 大島 辰雄 嶋 弘	日本美術	103
				特集、ことしの美術界を回顧する、わたしのベスト、ファイブ	坂崎乙郎他	〃	〃
				<時評>		美術ジャーナル	復刊7
				<時評>		〃	〃 8

<時評>		美術ジャーナル	復刊9	遺跡保存を求める市民運動(上)	鈴木 重治	毎日夕刊	6.21
<時評>		〃	〃 10	木の文化と災害意識	小原 二郎	東京夕刊	8.31
芸術院の新会員		芸術新潮	277	古墳調査とたたり	森 浩一	京都夕刊	5.7
最低の芸術員		〃	281	緊急特集、著作権裁判をこえて、座談会	柳本 尚規 木之下 晃 アンケート 中原佑介他	美術手帖	364
美術評論家連盟の目覚め		〃	279	時代認識に“無知”な判決—アマノ=白川裁判	柳本 尚規	美術手帖	362
行き過ぎたピカソ礼賛	(南)	日 経	8.3	刑法175条をめぐって	川口 裕弘	〃	370
美術界に言いたい放題	小森 盛	日本美術	101	多摩美裁判一応の終止符	宮川 寅雄	〃	368
かちかち山ものがたり	〃	〃	95	複製画の効用	三雲祥之助	芸術新潮	280
管理された「私性」の象徴	木村 恒久	美術手帖	364	社会党の美術政策		美術ジャーナル	復刊4
建築空間論の二律背反	たにあらた	〃	369	文化庁がスポンサーとなって、テレビ「美を求めて」		芸術新潮	284
ハンス、ホラインの「航空母艦都市」	木村 恒久	〃	369	自主ゼミ運動の視点	東京造形大学V D専攻 自主ゼミ運営委員会書 菅委員書 記局	美術手帖	362
電算機の著作権	〃	〃	370	現代絵画の推進役、塾、研究所の実態		ぼざある	2
大衆操作の典型	〃	〃	368	絵画教室とその実態		〃	〃
文字の中性化<Design>	木村 恒久	〃	375	芸術教育は騒音と排気ガスの中で可能か	梅原 猛	京都夕刊	8.28
近代美術館に並ぶ公害告発ポスター		芸術新潮	279	トランソニック・シンボジウム	ジョセフ・ラザ(訳松岡和子)	美術手帖	368
J A F活動の不可解	小川 正隆	朝 日	6.5	コンピューター、アートと“いき”	鎮目 恭夫	〃	375
デパートの仏像展	吉村 貞司	芸術生活	283	美術研究の五輪大会		日 経	7.18
公募展の奇妙な現象	田中日佐夫	毎日夕刊	12.21	バラはバラでもホンコン・フラワー	安井 収蔵	芸術生活	286
コンクール選抜展の功罪	(南)	日 経	7.6	コミック時代というけれど	石川 順造	〃	289
中途半端な安井賞		芸術新潮	280	劇画を支えるもの	尾崎 秀樹	朝 日	2.5
外国へ行く現代日本美術		〃	283	劇画ブームの背景	加太こうじ	東京夕刊	9.29
考古学の国際協力		〃	288	マンガ文化をマン家の責任	ヨシトミヤ スト	毎日夕刊	2.14
国境を越える芸術作品	坂西 志保	京都夕刊	6.11	まず養いたい自分の審美眼	(北)	日 経	8.17
パリと日本	三木 多聞	朝日夕刊	8.9	筆洗		東 京	4.10
ピエンナーレ考「サンパウロ展」を見て	中原 佑介	〃	12.6	美術館・博物館			
ことしのサンパウロ、ピエンナーレ		美術手帖	373	博物館学—その独立へ—	倉田 公裕	朝日夕刊	9.6
第8回パリ青年ピエンナーレを見て	岡田 隆彦	京都夕刊	11.1	アジアの博物館活動—「地域懇談会」に出席して—	嘉門 安雄	読売夕刊	11.28
イタリアの求める日本	井関 正昭	芸術新潮	280	博物館の復権	杉本秀太郎	京都夕刊	5.16
ポルトガルの中の日本	河村 厚	東京夕刊	5.16	特集・東京国立博物館100年の買もの	〃	芸術新潮	277
異色なユーゴの現代美術		芸術新潮	283	一世紀の歩み	三山 進	〃	〃
73年秋ニューヨーク美術界	安井 収蔵	毎日夕刊	11.22				
中国美術の年		芸術新潮	279				
見てきた韓国の現代美術	中原 佑介	美術手帖	367				
国際「盗難名画」	酒井 忠康	芸術新潮	280				

昭和48年定期刊行物所載文献

国家買上げをめぐつて	鈴木 進	芸術新潮	277	メトロポリタン美術館の新収作品	長谷川三郎	日 経	2.23
二つの国立美術館の買物		〃	280	国立ゴッホ美術館	太 陽		126
新収蔵品の紹介(昭和47年度新収作品より)		現代の眼	225	美の府ベルリン博物館	日 経		1.3
前田青邨「郷里の先覚」	青木 勝三			サン・モリッツのセガンチニ美術館	津田 正夫	芸術新潮	285
京近美十週年	河北 倫明	視 る	71	スウェーデン王故グスタフ六世のコレクション	蘭 康彦	〃	287
京都国立近代美術館創設当時の思い出	今泉 篤男	〃	〃	グスタフ・アドルフ六世の思い出	江上 波夫	〃	〃
国立美術センターの構想	益田 義信	芸術新潮	279	バーンズ・コレクション	村木 明	日 経	3.23
美術館の建設と充実をどうなる万博美術館	鈴木 治雄	日本美術	93	<b>美術市況</b>			
国際美術館として生まれかわる万博美術館	吉田 稔郎	美術手帖	371	鑑定・世評の価格へのはね返りかた<真贋・115>	嘉門 安雄	芸術新潮	283
甦る明治の赤煉瓦一近代美術館工芸館の誕生	岡田 謙	現代の眼	219	美術市場の異変と明日への提言		ほざある	1
特集・東京芸大私蔵コレクション		芸術新潮	286	特集・パニックにゆらぐ美術市場「パニック美術市場」のその後		芸術新潮	281, 282
1. 東京芸大私蔵コレクション	大岡 信			絵画パニックの“昨日・今日・明日”	安井 収蔵	芸術生活	288
2. 模写の学習	加山 又造			美術ブームと地方美術	弦田平八郎	読売夕刊	3.7
借りだした古典	平山 郁夫			絵画ブームの周辺	安井 収蔵	毎 日	3.2
師 御舟の遺風	吉田 善彦			絵画ブーム	勝田吉太郎	京都夕刊	4.26
瀬戸内海歴史民俗資料館		〃	287	絵画ブームとやら…	小関 三平	〃	5.8
美術館長の悩み(上・下)	山田智三郎	読 売	5.11・12	特集・沈黙した美術市場		芸術新潮	284
栃木県立美術館の開館	田中 皓一	萌 春	217	特集・絵画ブームの灯は消えた!		日本美術	98
栃木県立美術館	高内 壮介	〃	94	2. 春一朝の夢(美術記者の目)	日野耕之祐		
さわやかな企画と設計一栃木県立美術館	宮脇 檀	芸術生活	282	3. ブームに火をつけたのは誰か(画商の告発・1)	小関 文吾		
浜松市立美術館のガラス絵コレクション	洲之内 徹	芸術新潮	286	4. 偶感一最近の絵画価格の暴落に直面して(画商の告発・2)	中津海 茂		
富士美術館開館		〃	282	美術ブームの火は消えて	安井 収蔵	毎日夕刊	8.29
笠間美術館開館		〃	277	静まった“投機絵画ブーム”		日経夕刊	5.11
画商の建てた美術館開かれた場としての	長谷川 仁	日本美術	93	投機ブーム過熱・試練の年	(北)	日 経	1.26
私の幻の美術館	河野多恵子	ほざある	2	美術市場は立ち直ったか		芸術新潮	287
わが収集小論	服部 敬雄	〃	〃	低迷を続ける美術市場		ほざある	2
不孤齋のコレクション東京国立博物館へ寄贈		芸術新潮	280	特集・ことしの美術界を回顧する		日本美術	103
欧米の美術館について		現代の眼	219	美術市場の動向	嶋 弘		
アメリカ美術館の内情	谷 信一	東京夕刊	3.13	ブームの影と画商展再出発	美津島徳蔵	美術ジャーナル復刊	7
揺れるメトロポリタン美術館		芸術新潮	279		他		
「メトロポリタン美術館」はスキャンダルか	瀬木 慎一	〃	280, 281				



ウィルデンシュタイン・トウキョウとヨシ・パリ	芸術新潮	279	櫻幼稚園附属大学通信講座			
クリスティーズと日本の市場	〃	284	・資本主義リアリズム小史	赤瀬川原平	美術手帖	365
ニューヨークの日本画商<世界の場>	〃	281	・資本主義リアリズムム講座1~6		〃	366~371
女画廊主バリ奮戦記	芸術生活	292	CATASTROPHE. ART	高松次郎他	〃	365
特集・今日と明日の「絵の値段」	芸術新潮	278	街の歩き方、復習編	岡田 隆彦	〃	362
I 狂乱する美術界	安井 収蔵		特集・風呂考	中村国雄他	芸術生活	292
II 私はこう見る	諸 家		やさしい美術講座			
III 画商が語る・絵の値段は異常…<座談会>			1. 反芸術とピカソ	井出 則雄	ほざある	1
絵画と利殖	美術ジャーナル復刊	5	2. 熱い抽象と廃品芸術		〃	2
絵も「買いの芸術」に	読 売	4.22	こどもの絵と心理学	磯貝 芳郎	〃	1
特集・現代陶器の値段一茶盤ベスト・テン	芸術新潮	284	1. 価値観を探る手がかり			
配慮の行きとどいた会場に並ぶプライベート・コレクション(石黒孝次郎)	〃	280	2. 人物画の表現と知的水準	磯貝 芳郎	〃	〃
考える芸術パトロン	〃	277	動く立体機構	高橋 士郎 福田 繁雄 宮木 英幸 伊原 吉春 田中 栄作	芸術生活	282~286
3. 巨視的な夢想家・井上房一郎			北白川思録	岡部伊都子	芸術新潮	277~288
松野奏風「石橋」	鹿内 信隆	日本美術	近 江山河抄6~10(完)	白洲 正子	〃	278~281
画商のモラル・作家のモラル	児島 徹郎	〃	師古山房随記	太田 正文	日本美術	93
この道四十年	土井 憲治	〃	15わが北欧、その6~12			
パリ日動画廊オープニングに参席して	安井 収蔵	絵	22黒田清輝と桜島爆発		〃	100
50年前の画廊	田辺 茂一	ほざある	23女絵、真夏の夜の夢		〃	101
			24画家、仙波均平氏		〃	102
			25白鳥伝説		〃	103
随筆・紀行			文明の曙オリエント	三笠宮崇仁	日 経	1.3
特集・太陽伝説—黄金時代を求めて	種村季弘編著	芸術生活	北ベトナム古代文化の旅	江上 波夫	朝日夕刊	12.8~19
特集・道化考	山口 昌男 戸井田道三 青江舜二郎 虫明亜呂無	〃	北ベトナム古代文化の旅	松本 清張	〃	12. 21. 24. 25
名作に靈感を与えた美女たち(実録、巨匠のモデル)	ミュリエル・シーガル 小山昌生訳	〃	ソ連考古学聞き歩き	加藤 九祚	〃	1.18
特集、ヘアーその象徴する世界		〃	板谷房・パリの十八年	青木 秀	芸術新潮	283
女髪信仰と世紀末芸術	長谷 泰	〃	パリその美感	神谷 次郎	日本美術	103
赤毛の女神たち	森下 高茂	〃	批評の功罪	国行 理果	美術ジャーナル	復刊3
ヒットラーの柔らかない髪	草森 紳一	〃	初心の契め		〃	〃 4
特集・ノンセンスの王国	高橋 康也	〃	道心のすすめ		〃	〃 5
特集・ファンタジーマップ	種村季弘編	〃	時代と美術		〃	〃 6
			死と芸術		〃	〃 7
			美術家と教養		〃	〃 8
			不遇と作家		〃	〃 9
			傷跡		〃	〃 10
			アレティーノの末裔		〃	〃 11
			特集・私の伊勢神宮	白洲 正子	芸術新潮	287

昭和48年定期刊行物所載文献

静かな絵	吉田 富三	絵	108	スペイン美術の研究	日 経	10.6
美術界よ頭を冷やせ	今里 広記	日本美術	93	「ざくろの女神」との旅	ハンス・ブ ッケルバル ツ	3.30
美術と国民生活	武見 太郎	〃	93	リュブリアナ通信 <上><下>	小川 正隆	朝日夕刊 8.2, 3
ふたつの小旅行	平川美穂子	〃	99	パリ通信	〃	7.16, 20, 27
庭訓	山崎 富治	〃	100	ユーゴの素朴派	〃	8.14
うまい絵より面白い 絵を	森 治樹	〃	100	東独をみる	芳仲特派員	朝 日 4.13
北京断想	小山 五郎	〃	100	廃都アンコール紀行 II, III, IV	松原 濠 三 彩	297, 301, 303
夏の小話	井島 勉	京都夕刊	8.1	アメリカ美術の旅から	村木 明	現代の眼 223
マンガ愛好サロン合 評会から	宮内 康	美術手帖	362	北京で感じた中国人 の美意識	むのたけじ	芸術生活 289

雑 録

文化財の美学	今道 友信	京 都	12.11
文化財保存の哲学を	桐敷真次郎	朝日夕刊	11.27
地下と地上の文化財	佐和隆 研	京都夕刊	8.29
生活と調和した遺跡 保存	江坂 輝弥	京 都	
埋蔵文化財保存と文 化財保護法改正	嶋田 暁	読売夕刊	3.26
史跡買上げ地方債方 式に望む		毎 日	9.2
京の川と史跡保存	林屋辰三郎	毎日夕刊	10.4
〃調査される沖縄	野口 武徳	朝日夕刊	2.28
重要文化財「渡辺家」 みごたえある模写 芸大イタリア初期ル ネッサンス壁画学術 調査団の成果		読 売	8.1
アインドホーヴェン で見たカレンダー (複製画)	栗辻 博	〃	281
ピカソの石版画(複製 画)	土門 拳	〃	〃
ゴッホとロードレッ ク(複製画)	宇野 千代	〃	280
仏眼仏母尊図のこと (複製画)	保田與重郎	〃	〃
美術品の再点検	瀬木 慎一	朝日夕刊	2.14
偽善の価値	上田 正昭	京都夕刊	10.31
日本列島の原風景	川口 久雄	朝日夕刊	12.1
世界の絵末 1~8	松居 直	東 京	5.16~27
感動薄い複製の氾濫	渋澤 龍彦	朝日夕刊	2.20
悪魔からよろしくわ が古い骨牌	寺山 修司	芸術生活	287
美術の大衆化に思う	金子 寛	日本美術	96
トーテムの霊	大庭みな子	芸術新潮	283
ピラミッド方位角ず れに地殻移動説		読売夕刊	3.7

《外 国》

インダスのほとり	村瀬 記者	読売夕刊	11.21, 22, 24, 27
アイコン・その整然と した印象	小川 国夫	毎日夕刊	12.10

東洋古美術

総 記

文化庁と文化財保護	安達 健二	月刊文化財	117
新指定の文化財	文化庁文化財保護部	〃	116, 123
史跡保存における理 想と現実	北村 文治	日本歴史	305
公害による文化財の 被害調査	門倉 武夫	保存科学	11
仙台市博物館におけ る湿度	板橋 静男	仙台市博物館年報	1
奈良市における大気 汚染が文化財に及ぼ す影響	保存科学研 究室	元興寺仏教民俗資料研究所年報	6
油絵の保存について 1	見城 敏子	保存科学	11
国宝・重文建造物の 蟻害緊急調査一千葉 県蟻害調査を中心に	森 一郎 他	〃	〃
出羽三山神社合祭殿 内板戸彩色保存処置	茂木 曙	〃	〃
中尊寺金色堂漆芸部 材の修復(上)	中里 寿克	〃	〃
文化財保存に於ける 人工木材の応用	岩崎 友吉	〃	10
木造建造物化粧部材 の保存と修復におけ る合成樹脂の応用	樋口 清治	〃	〃
重要文化財旧富貴寺 羅漢堂と国宝如庵の 木質部材保存修復に おける合成樹脂応用 の開発	関野 克	〃	〃
国宝如庵及び法隆寺 旧富貴寺羅漢堂のX 線による調査	石川 陸郎 登石 健三	〃	〃

重要文化財旧富貴寺 羅漢堂の保存処置に 関する計画・算定	茂木 曙	保存科学	10	中川忠順(人・1)	丸尾彰三郎	月刊文化 財	114
旧富貴寺羅漢堂遺材 の科学保存処置	中里 寿克	シ	シ	関野貞(人・4)	大岡 実	シ	117
国宝如庵移築に伴う 部材保存処置	中里 寿克 樋口 清治	シ	シ	伊東忠太(人・6)	田辺 泰	シ	119
考古遺物の変壊生成 物	江本 義理	シ	11	黒板勝美(人・7)	和田 軍一	シ	120
傾斜地古墳内での流 水に関する考察	登石 健三	シ	シ	岡倉天心(人・8)	隈元謙次郎	シ	121
松林山古墳出土鉄器 の保存処置と考古学 上の新発見について	青木 繁夫	ミュージ アム	273	特集 不孤齋さんを 偲ぶ	陶 説		248
青銅器の科学的鑑識	石川 陸郎 登石 健三	考古学雑 誌	59-3	特集 骨董商広田不 孤齋	長谷部楽爾 他	芸術新潮	285
				広田不孤齋翁その業 績	井上 昇三	古美術	43
正倉院の怪(真贋 119)	由水 常雄	芸術新潮	287	美と芸術に就いての 一試論	浅岡 潔	人文論究	22-4
東大寺献物帳と検珍 財帳	柳 雄太郎	南都仏教	31	フェノロサの「美術 真説」をめぐる	佐々木静一	三 彩	300
史料公刊4~6 壬 申検査「古器物目録」 壹之巻		ミュージ アム	263,264 266,	写生と写実	原 随園	日本美術 工芸	418
東京国立博物館の百 年	山口 正彦	国立博物 館ニュー ス	308~310	わびと日本人の美意 識 上, 下	多田道太郎 富士正晴 村井康彦	淡 交	27-3,4
東京国立博物館百年 の買もの		芸術新潮	277	日本の象徴美 上, 下-「わび」の周辺-	西田 正好	シ	27-7,8
一世紀の歩み	三山 進			日本の色 1	田中 日佐夫 北村 卓也	三 彩	303
国家買上げをめぐ って	鈴木 進			茶道の色彩 上, 下	満岡 忠成 元井盛輝 長崎	淡 交	27-5,6
皇室博物館時代の陳 列品収集(歴史関係)	尾崎 元春	ミュージ アム	262	現代美術史学の課題 (2)	中村 二柄	美 学	95
第二次大戦以前の館 における美術品の収 集について	飯島 勇	シ	シ	日本文化史講座		月刊文化 財	
国立移管後の陳列品 収集について	江口 正一	シ	シ	11. 鎌倉時代の彫刻	毛利 久		112
考古列品収集の梗概	三木 文雄	シ	シ	12. 鎌倉時代の建築	伊藤 延男		113
松平直亮氏寄贈品に ついて	竹内 高次	シ	シ	13. 鎌倉時代の絵画	梅津 次郎		114
松方浮世絵コレクシ ョン	菊地 貞夫	シ	262	14. 鎌倉時代の工芸	岡田 譲		115
浜松市立美術館のガ ラス絵コレクション	州之内 徹	芸術新潮	286	15. 室町時代の庭園	森 蘊		117
高島コレクション	角井 博	ミュージ アム	262	16. 室町時代の彫刻	上原 昭一		119
松永コレクション書 跡の中から二つ	堀江 知彦	シ	シ	17. 室町時代の建築	大森 健二		120
横河コレクション	林屋 晴三	シ	シ	18. 室町時代の工芸	守田 公夫		121
坂本キク氏寄贈殿周 青銅器	藤田 国雄	シ	シ	美術史雑記			
戦後美術品移動史				9. 日本画の骨法用 筆 10. 正倉院樹下美 人図の源流 11. 日本 美術史における浮世 絵(錦絵以前) 12. 宝 相華文様の源流とそ の展開 13. 日本の宗 教美術 1 神道の美術 14. 同 2 仏教の美術 15. 日本美術として の建築	源 豊宗	日本美術 工芸	413, 414, 416, 418, 420~422
1 疎開と戦災 2 戦 災で失われた美術品 3 法隆寺金堂壁画の 焼失 4~8 鈍翁・ 益田孝の蒐集品 9 ~12 三溪・原富太郎 の蒐集品	田中日佐夫	芸術新潮	277~288	日本美術誌13~23	栗田 勇	芸術新潮	277~280 282~288

昭和48年定期刊行物所載文献

失なわれたものとの対話 5~16	吉村 貞司	日本美術 工芸	412~423	仏教美の世界(2)一試 論見えざるものと表 現以前一	真鍋 俊照	季刊芸術	23
本的美術史 12~15	小野 忠重	三 彩	297, 305, 306, 311,				
三竹園漫録1. 小林逸 翁のこと 2. 涅槃図 あれこれ 3. 信重院 の浅井忠 4. 劉生の 「水浴する三人の子 供」 5. 法衣屋さんの 水彩画家 6. 胡夷先 生のこと 7. ふたりの 禅僧 8. 9. 思い出 の美術書上下 10. 興 以あれこれ 11. 瀧・ 藤懸両博士の画事 12. 関雪画伯のこと	土居 次義	日本美術 工芸	412~423	「さとりのがた」に 埋蔵された多彩な発 想一密教美術名宝 展一	D. デュル ト G. ローゼ ンフィール ド 山本 智教 真鍋 俊照	芸術新潮	282
骨董百話 49~60	小山富士夫	芸術新潮	277~288	「さとりのがた」に 埋蔵された多彩な発 想一密教美術名宝 展一	真鍋 俊照	みづゑ	816
あんつぐ骨董買い美 学 13~24(完)	安東 次男	〃	〃	禅林美術史稿一曹洞 宗教団(永平本山 [A])の美術につい て一	竹内 尚次	ミュージ アム	264
干支の美術一牛一	香取 忠彦	日本美術	93	仏教美術品と茶道	望月 信成	茶道雑誌	37-11
空海の寺と密教	佐和 隆研	仏教美術	92	廃仏毀釈の行方	由水 常雄	芸術新潮	279
文化財集中地区特別 総合調査報告一滋賀 県湖東地区一	鷲塚 泰光	月刊文化 財	119	1. 社寺宝物調査の 「麓川日記」から	丸山 尚一		
石山寺の歴史と文化 財	佐和 隆研	仏教芸術	94	2. 「吹きだまり」の 仏たち	景山 春樹		
石山寺所蔵の国宝・ 重文目録	〃	〃	〃	3. 日吉社における 習合と廃仏	菅原 明朗		
いつきべの神の小島 (竹生島)	景山 春樹	日本美術 工芸	420	4. 識内における廃 仏毀釈	村岡 空		
東寺の歴史と美術	佐和 隆研	仏教芸術	92	5. 修験道と廃仏毀 釈	保田與重郎		
空海と最澄一高雄山 寺をめぐる	赤松 俊秀	〃	〃	6. 廃仏毀釈偶感			
弘法大師空海と東大 寺	堀池 春峰	〃	〃	琳派の特色について	千沢 楨治	萌 春	218
大安寺と弘法大師	河野 清晃	〃	〃	琳派と近世文化	谷 信一 寺田 透 加藤 周一 広末 保	文 学	41-2
唐招提寺への道 1 ~6	東山 魁夷	芸術新潮	283~288	琳派私観	芳武 茂介	国 華	958
薬師寺論争の問題点	町田 甲一	萌 春	225	琳派と装飾造型	水尾比呂志	文 学	41-2
法隆寺諸芸術空間論 1~4	下店 静一	史迹と美 術	431, 433, 435, 438	本阿弥行状記とにき はひ草	横田 信義	国学院雜 誌	74-7
高野山の開創と平安 期美術の周辺	田村 隆照	仏教芸術	92	光悦の刀剣観 1	樋口信山	刀剣美術	193
南紀の美術一自然・ 信仰・文化一	田中日佐夫	古 美 術	42	本阿弥光悦年表	源 豊宗	墨 美	227
熊野三山の歴史と信 仰	五来 重	〃	〃	文様の世界	元井 能	美 学	95
忘れられた熊野一熊 野大辺地筋に残る矢 倉神社の群落	宮本 誼一	〃	〃	東亞文様・意匠の源 流とその展開 1. 青 海波 2. 七宝つなぎ 3. 4. 亀甲文 5. 渦 巻水波文 6~8 唐 鏡背文のペルシア風 構成 9. 魚子地 10. 直弧文 11. 植 物的装飾のある動物	江上 綏	日本美術 工芸	412~421 423
島の旅		月刊文化 財		1. 荏巖 2. 聖樹 1	林 良一	仏教芸術	91, 93
7. 淡路巡礼	地主 喬		112	イスラム装飾文様の 源流 1~4ービザン ツ・ササン朝イラ ン・その他一		カラーデ ザイン	19-7 ~ 9, 12
8. 種子島・屋久島	下野 敏見		113				
9. 奄美諸島	小野 重朗		114				
10. 五島列島	小野 博司		115				

伝レイ出土「雙孔雀 円文錦」について— イスラム装飾文様 に関する一考察	道明美保子	国華	962	日本	石山寺の絵画	平田 寛	仏教美術	94
貝貨—双魚文—	白川 一郎	萌春	223	近世芸術家師友録 1. 等伯 2. 三統院 3. 光琳 4. 春信 5. 若冲 6. 歌麿 7. 呉 春 8. 大雅 9. 木米 10. 広重 11. 竹田 12. 蓮月	赤井 達郎	淡 交	27—1~ 12	
衣類にほどこされた アイヌ紋様とその色 彩1	荒井 純子	東京家政 大学研究 紀要	13	反骨のモダニズム	細野 正信	三 彩	300	
北京故宮博物館 文 化大革命下の発掘文 物	宮川 寅雄	太 陽	116	異端について 前, 後(座談会)	鈴木 進 瀬木 慎一 中村 正義	ア ー ト	21—1, 2	
随想中国美術 1. 長 沙遺物に想う 2. 大 陸文化の始り 3. 龍 山文化と殷文化 4. 中国の神話 5. 清 雅の人々 6. 華麗と 素朴の美	杉村 勇造	淡 交	27—1~ 6	高松塚古墳壁画調査 結果について	文化庁文化 財保護部美 術工芸課	月刊文化 財	122	
中華人民共和国出土 文物展特集		国立博物 館ニュー ス	313, 314	高松塚古墳壁画考 1, 2	石田 尚豊	ミュージ アム	263, 264	
日中国交正常化記念 中華人民共和国出土 文物展	藤田 国雄	月刊文化 財	118	高松塚古墳の壁画と 人麻呂の世界	渡瀬 昌忠	日本文学 研究	12	
現代中国の見る「古 代」—中国出土文物 展によせて	針生 一郎	芸術新潮	282	章懐・懿徳両太子唐 墓壁画と高松塚古墳 壁画	上原 和	古 美 術	42	
中華人民共和国出土 文物展を見て	貝塚 茂樹	国立博物 館ニュー ス	314	密教五彩感得	真鍋 俊照	芸術新潮	278	
中国出土文物展によ せて	宮川 寅雄	古 美 術	42	「法華経の美術特別 展観」法華経絵	神山 登	仏教芸術	93	
中国人の美意識—中 国出土文物展の特性 と問題点	杉山 二郎	シ	42	京都国立博物館特別 展「浄土教絵画」	山本 興二	月刊文化 財	121	
永遠なる生を求めて —古代中国人の死生 観	小杉 一雄	小原流挿 花	23—9	阿弥陀三尊像(上杉 神社)	有賀 祥隆	仏教芸術	91	
バリの中国文物展	由水 常雄	芸術新潮	284	ボストン美術館所蔵 新羅明神を協侍とす る弥勒如来像	亀田 孜	シ	90	
日本の中の古代朝鮮 文化	金 達寿	小原流挿 花	23—5	仲猷祖闍・無逸克動 の来朝とその著賛作 品	海老根聡郎	美術研究	287	
ポロブドゥル大塔の 意義について	千潟 龍祥	日本学士 院紀要	29—1	六道世界の造形 幽 暗の世界—現世の投 影と想像	山本 興二	みづゑ	823	
魔都・アンコール紀 行 2~4(完)	松原 濠	三 彩	297, 301, 303	曼茶羅		カラーデ ザイン	19—3	
インドス文明研究の 現状	M・R・ム ガール 三笠宮崇仁	オリエン ト	16—1	修復なった最古の敷 曼茶羅	真鍋 俊照	芸術新潮	285	
エローラの石窟寺院 2~6	佐藤宗太郎	三 彩	298, 302, 305, 307, 309	両界曼茶羅図(文化 庁保管)	石田 尚豊	仏教芸術	91	
ハッダ最近の発掘に 関する問題	桑山 正進	東方学報	45	両界曼茶羅	白畑 よし	古 美 術	43	
小アジアの遺産 1~ 6	立田 洋司	三 彩	305~309 311	新国宝(両部大経感 得図)の思い出	柳沢 孝	芸術新潮	281	
古代オリエント・ギ リシア展出陳作品を めぐって	杉 勇	ミュージ アム	265	日野原家本大仏頂曼 茶羅について		シ	美術研究 285	
正倉院の美女たち— 樹下美人の系譜	林 良一	小原流挿 花	23—10	当麻曼茶羅	河原 由雄	古 美 術	42	
				ボストン美術館本春 日神社社景図につい て	B・ダーリ ング	シ	41	
				立山曼茶羅と姥神信 仰	川口 久雄	日本海域 研究所報 告	5	
				古史料にみる大安寺 七重塔壁画の諸問題	服部 匡延	美術史研 究	10	
				法隆寺金堂壁画新研 究1	下店 静市	帝塚山大 学論集	5	

昭和48年定期刊行物所載文献

富貴寺大堂壁画の研究(上)	田口 栄一	国 華	957	日本絵画にみる風土の視座—雪舟を軸とする山水画の達成のなかで	むしゃこうじ みのる	文 学	41—6
宇佐神宮の神輿障子絵について	関口 正之	美術研究	289				
ボストン美術館蔵白描図像について	堀岡 智明	仏教芸術	90	日本の水墨山水	寺田 透	国立博物館ニュース	319
金沢文庫本「別尊要記」と師説の研究2	眞鍋 俊照	金沢文庫研究紀要	10	玉腕梵芳筆蘭石図(鹿王院蔵)	海老根聡郎	国 華	955
熱海美術館蔵覚禅鈔仁王経法について	中野 玄三	金沢文庫研究	208	真芸筆観瀑図(重文)	眞保 享	月刊文化財	119
十九観について—不動明王図像との関連において—	庄子 晃子	〃	203	伝賢江祥啓筆江上清遊図	金沢 弘	古 美術	41
十六羅漢像について—称名寺本のために	渡辺 明義	〃	211	賢江祥啓筆渡唐天神図	衛藤 駿	〃	42
				松谿筆白衣観音図	〃	〃	〃
物語文学とやまと絵	白畑 よし	小原流挿花	23—4	汝南慧徹筆蘿菴図	中村 溪男	〃	40
絵巻入門23~32	宮 次男	日本美術工芸	412, 413, 415, 416, 418~423	雪舟等楊—その放浪と孤独について	吉村 貞司	三 彩	308
説話と絵巻	〃	小原流挿花	23—4	古典・雪舟・琳派(対談)	高松 次郎 李 禹煥	美術手帖	368
信貴山縁起見聞考記	下店 静市	帝塚山大学論集	4	日本両国語の誤達	谷 信一	日本歴史	296
伴大納言絵巻の再検討—その成立事情についての一仮説—	竹居 明男	文化史学	29	雪舟を想わせた山水図屏風	徳川 真通	芸術新潮	287
「平治物語」諸本中における平治物語絵巻の位置	宮 次男	美術研究	289	新出の雪村筆瀟湘八景中軸図巻模本について	中村 溪男	ミュージアム	270
「平治物語絵巻」三条殿夜討の巻について	秋山 光和	仏教芸術	90	鉄舟徳濟筆蘭竹石図	〃	古 美術	40
御物伏見天皇宸翰伊勢物語について—原家旧蔵伊勢物語絵巻の断簡—	田村 悦子	美術研究	288	ボストン美術館所蔵狩野派作品について	辻 惟雄	仏教芸術	90
石山寺縁起絵巻	切畑 健	仏教芸術	94	古狩野四季山水図屏風	〃	国 華	963
奈良絵本冊子考1~3	小野 忠重	萌 春	218~220	新発見の風俗屏風「朝儀図」	土居 次義	芸術新潮	286
お伽草子—奈良絵本の楽しさ	飯沢 匡	小原流挿花	23—11	四季耕作図屏風	楢崎 宗重	国 華	963
肖像画の諸問題1、2(日本古典美術の系譜1、2)	鈴木 進	アートト ップ	17, 18	真設印帝鑑図屏風と狩野甚丞について	武田 恒夫	〃	956
「似絵詞」について	米倉 迪夫	国 華	960	信楽院の高田敬輔上、下(古美術研究ノート5、6)	土居 次義	ア ー ト	21—2, 3
三論祖師の画像—伝統の継承—	平田 寛	南都仏教	29	長谷川等伯<下>—金碧画と水墨画—	遠藤 悟空	美術グラフィ	22—4
大覚禅師像について	渡辺 明義	三浦古文化	14	曾我二直庵筆老松群鷹図	望月 信成	古 美術	41
新発見・法然上人の「夢の善導像」	徳永 弘道	芸術新潮	284	尼崎本興寺の紹興画	大橋 乗保	日本美術工芸	419
絵系図と絵系図まいり	村井 康彦	日本美術工芸	419	播州路の蕭白画 II	松尾 勝彦	古 美術	40
細川幽斎像(竹原立路筆 細川家蔵)	佐藤 寒山	刀剣美術	195	曾我蕭白とボストン美術館	マネー・ヒ ックマン	仏教芸術	90
ボストン美術館所蔵室町水墨画	金沢 弘	仏教芸術	90	海北友松筆人物図屏風	土居 次義	国 華	960
				海北友雪筆徒然草絵巻	宮 次男	古 美術	40
				伊藤若冲(私的)日本美術史3)	坂崎 乙郎	芸術生活	283
				伊藤若冲の衝立絵(古美術研究ノート4)	土居 次義	ア ー ト	21—1

伊藤若冲筆樹下雄鶏図 下	小林 忠	国 華	955	浮世絵ニュース版画 および風刺版画	高橋誠一郎	日本学士 院紀要	29-3
宗達(私的 日本美術 史1)	坂崎 乙郎	芸術生活	281	シカゴ美術館の浮世 絵	D・ジェン キンス	古 美 術	41
依屋宗達と その一派	村重 寧	小原流挿 花	23-2	アメリカにもある春 峯庵の浮世絵(真贋 117)	仁科 又亮	芸術新潮	285
依屋宗達から法橋宗 達へ一横図屏風を めぐって一	水尾比呂志	国 華	958	特集・歌麿の世界		太 陽	115
松島図屏風について (座談会)	秋山 光和 田中 一松 水尾比呂志	シ シ		清長研究覚え書—そ の謎とされる問題点 を中心として	溝口 康磨	浮世絵芸 術	37
横楓図屏風	水尾比呂志	シ	960	「しだれ柳」と清信の 「姐妓面蝶」の比較研 究	D・ジェン キンス	シ	36
二つの「横楓図」屏風	山川 武	日本美術	102	国芳画「源頼光公館 土蜘蛛妖怪図」と民 衆	南 和男	日本歴史	302
群菊図屏風	水尾比呂志	国 華	962	月斎峨眉丸の研究	出井 祐治	浮世絵芸 術	37
藤袴図屏風	シ	シ	955	東州斎写楽筆嵐龍藏 の奴なみ平	山口桂三郎	国 華	964
尾形光琳・その人と 芸術	小林 忠	小原流挿 花	23-2	東州斎写楽筆二世市 川高麗藏の弥陀次郎 実は相模次郎	シ	シ	シ
尾形光琳取材ノート				勝川春章筆美人間娛 図	楡崎 宗重	シ	956
1.光琳「中町簾内町」 屋敷 2.中村内蔵助 の手下・光琳 3.遠 廓亭と習静堂 4.銀 座欠所目録 5.文様 師・蒔絵師光琳	白崎 秀雄	日本美術 工	419~423	西川祐信筆婦女納涼 図	小林 忠	シ	961
屈曲初知レ用一光琳 屏風展雑感一	山川 武	芸術新潮	277	宗理研究の基礎資料 雪舟流画流 提等淋	永田 生慈	北斎研究	5
早春の画家一渡辺始 興展一	シ	みづゑ	818	豊信とヴェニス	仁科 又亮	シ	4
渡辺始興筆「真写鳥 類図巻」について (上)	河野 元昭	美術研究	290	絵本解説	岡野 圭一	ミュージ アム	272
住吉広行(伝記研究) 一屋代弘賢撰「道の 幸」と関連して一	横田 忠司	美術史研 究	10	広重(日本の巨匠12)	赤井 達郎	日本美術 工芸	415
源氏絵屏風	楡崎 宗重	古 美 術	40	新発見広重の「絵日 記」(真贋113)	仁科 又亮	芸術新潮	281
伝岩佐勝以筆歌仙図 屏風	シ	シ	41	一筆斎文調筆汐汲み 松風	山口桂三郎	浮世絵芸 術	35
岩佐勝以筆天狗草子 絵(大英博物館蔵)	シ	国 華	955	北斎の父系と母系	由良 哲次	シ	シ
岩佐勝以筆西行図	シ	シ	960	春朗考	シ	北斎研究	4
西林坊智照とはいか なる人物であったか	高道 正信	若越郷土 研究	18-2	北斎の研究と絵本	永田 生慈	シ	3
近世洛中洛外図屏風 の景観類型一新出図 の考察を契機として	内藤 昌	国 華	959	絵本解説	福田 信夫 他三名	シ	シ
祇園祭礼図屏風	楡崎 宗重	シ	シ	房総の旅客葛飾北斎	永田 生慈	浮世絵芸 術	シ
初期浮世絵版画につ いて	岩佐 真	古 美 術	41	北斎と房総旅行	仁科 又亮	北斎研究	3
嘉永期の浮世絵と江 戸の評判	南 和男	浮世絵芸 術	36	房総における北斎と 広重 付・広重房総 関係作品一覽	吉田 漱	シ	シ
「浮世絵類考」論究15 ~22	北小路 健	萌 春	219~223 225~227	北斎が滞在した水野 家の周辺	高崎 繁雄	シ	シ
絵画資料に見る初期 歌舞伎の芸態—若衆 歌舞伎—	諏訪 春雄	国語と国 文学	50-5	北斎とカピタン	永田 生慈	シ	5
風俗図屏風(諸戸清 六氏蔵)	楡崎 宗重	浮世絵芸 術	36	北斎・江戸情緒		太 陽	124
				新発見北斎絵馬をめぐ って(真贋110)	瀬木 慎一	芸術新潮	278
				「桜花ノ図」絵額	永田 生慈	北斎研究	4
				北斎主要文献目録下	高根千意子 福田 信夫	シ	シ

昭和48年定期刊行物所載文献

井坂氏昔咄一北齋門人北里について一	永田 生慈	北齋研究	5	立圃の「山の井」について	野間 光辰	国語国文	42—2
駿東原宿植松家所蔵の書簡について一円山四条派資料拾遺一	佐々木丞平	三浦古文文化	13	蘭医フェイルケの富士山の図	片桐 一男	日本歴史	298
円山応挙筆東山三絶図補考	河野 元昭	国 華	963	キリシタン関係銅版画	菅野 陽	美術研究	285
長沢蘆雪の貼交屏風	佐々木剛三	芸術新潮	286	石川大浪筆ヒボクラテス像をめぐる一江戸洋風画とヨーロッパ版画一	陰里 鉄郎	ミュージアム	268
蘆雪翁追薦展観画録	河野 元昭	美術研究	288	秋田蘭画の表現技法について	武埴林太郎	秋田大教育学部研究紀要	23
銅雲泉筆墨竹図	脇田秀太郎	国 華	960	東北の洋風画絵馬二題	成瀬不二雄	日本美術工芸	423
渡辺華山(私的日本人美展4)	坂崎 乙郎	芸術生活	288	江戸時代「世界人物図」訂正論	鶴田 忠正	長崎市立博物館報	13
結論へむけるの断章(行為としての絵画6)	大西 広	美術手帖	366	「寛永長崎図」考	越中 勇	長崎県立美術館研究紀要	1
<世>の成立と<私>の領域 一掃百態図と北齋漫画(行為としての絵画7)	〃	〃	368	結縁の楽書	中村 直勝	月刊文化財	114
渡辺華山筆重文・絹本著色游魚図	佐々木丞平	月刊文化財	118	中国・その他			
岸駒筆孔雀図	鈴木 進	古美術	42	高句麗の古墳壁画		カラーデザイン	19—1
帆足杏雨筆山水図(野口信作蔵)・墨竹図(荻野休次郎蔵)	吉沢 忠	国 華	955	朝鮮の絵画一大和文華館一	吉田 宏志	日本美術	97
桑山玉州筆山水図	脇田秀太郎	〃	962	重文指定の中国画		芸術新潮	281
岡本秋暉筆岩上鷲鳥図	鈴木 進	古美術	40	中国の絵画1, 2	嵯峨 道人	茶道雑誌	37—3, 10
私が惚れた南画の一幅	クルト・ブラッシュ	芸術新潮	279	茶席における唐絵の鑑賞	衛藤 駿	〃	37—8
松丘筆紫陽花図	脇田秀太郎	国 華	956	中国絵画意外史 2 酒と海 3 波の行方 4 赤と黒	古原 宏伸	日本美術工芸	415~417
仙厓三題	吉田 紹欽	出光美術館報	17	東アジアにおける群像表現(1)	米沢 嘉圃	国 華	963
不審庵初釜酒席の仙厓禅画について	淡川 康一	茶道雑誌	37—2	長沙馬王堆一号墓出土の帛画	林 巳奈夫	ミュージアム	267
池大雅筆層巒積翠図	鈴木 進	古美術	41	新発見の唐墓壁画	新藤 武弘	芸術新潮	279
幽夢譚一わたしの大雅と鉄斎	宗 左近	芸術新潮	282	ポストン美術館蔵「北斎校書図巻」とその創作背景	呉 同	仏教芸術	90
対山の南遊をめぐる人びと	冠 豊一	萌 春	217	瀟湘臥遊図巻について 上	鈴木 敬	東洋文化研究所紀要	61
両替町の対山とその周辺	〃	〃	220	清明上河図 上, 下	古原 宏伸	国 華	955, 956
日根対山の青年期補遺	〃	〃	222	馬遠筆寒江独釣図について	堂谷 憲勇	古美術	40
柳馬場時代の対山とその周辺 前, 後	〃	〃	226, 227	伝顔輝筆猿猴図	江藤 駿	〃	〃
小林竹溪筆王昭君図	星野 鈴	国 華	963	銭穀筆山水図	宮崎 英誠	国 華	961
長町竹石筆墨竹図	脇田秀太郎	〃	960	曾鯨筆蘇軾採芝図	〃	〃	963
竹洞画論	細野 正信	ミュージアム	266	中国山水画に関する一考察一清朝山水画に即して	山岡 泰造	美 学	95
山本梅逸筆四季山水図	鈴木 進	古美術	40	八大山人水墨画冊について	堂谷 憲勇	古美術	43
十時梅屋の長島出仕と長崎行	冠 豊一	萌 春	224	明朝遺民興賢	佐々木剛三	〃	〃
興謝燕村筆百老図	鈴木 進	古美術	42				
岡田米山人筆瑤池消息図(荻野氏蔵)	吉沢 忠	国 華	964				
岡田米山人筆瑤池消息図(笠井氏蔵)	〃	〃	〃				



沈南蘋研究(1)—略歴と作品リスト—	安永 幸一	長崎県立美術博物館研究紀要	1	新たに見出された虎関国師の墨蹟	田山 方南	古美術	42
中国古代版画に於ける技術面	徳力富吉郎	大和文華	58	性海霊見の墨蹟	〃	〃	40
蘇州版画試論	成瀬不二雄	〃	〃	鴻池伝来の一休墨蹟	〃	〃	43
「棧道蹟雪図」の二三の問題—蘇州版画の構図法—	古原 宏伸	〃	〃	近世能書銘々伝 1. 光悦 2~4. 光悦書流周辺の人々 上~下 5. 建部伝 内尹 6. 遠州 7. 信 尹 8. 昭乗 9~ 11. 黄檗の三筆周辺 上~下 12. 後水尾 天皇	綾村 坦園	淡 交	27-1~ 12
ギメ—美術館の敦煌画	R. J. ブーザル	芸術新潮	288	光悦の書風とその展開 1~3	源 豊宗	墨 美	227, 229, 232
敦煌本幡画伝図考(下)	上野 アキ	美術研究	286	本阿弥光悦筆進学解	〃	〃	227
マンダラの世界—はじめてのタンカ展によせて—	田淵 安一	芸術新潮	288	光悦の下絵和歌巻について	中田勇次郎	日本美術 工芸	412
閻曼徳曼茶羅について	真鍋 俊照	古美術	41	陰者・白幽子考(眞贋116)	伊藤 和男	芸術新潮	284
インド・ラージプト絵画の宗教性	佐藤 靖子	日本美術 工芸	422	慈雲尊者と梵学・梵字	岡村 圭真	墨 美	228
華麗なる小世界—インド・ミニアチュール影像論「埋没してゆく二人」細密画の発想	真鍋 俊照	みづゑ	817	慈雲尊者梵書解説	堀内 寛仁	〃	〃
				続女人の書 3~14	前田 詠子	日本美術 工芸	412~423
				茶人と花押 10~14	十和田湖月	茶道雑誌	37-2~4 6, 12
				近江の金石文 8~11	景山 宇野 稲田 春樹 知彦	考古学雑 誌	58-4 59-1~3

書 蹟

書の芸術	杉村 勇造	出光美術館館報	16	中国			
書の鑑賞 133~136	綾村 坦園	茶道雑誌	37-2,4, 10, 11	書論通観	山本 空外	墨 美	231
遺偈	今枝 愛真	墨 美	233	書論を読む	松下 散人	書 品	235
禅僧の遺偈 I	〃	〃	〃	法書要録注釈(2)	杉村 邦彦	書 論	2
〃 II	林 雪光	〃	〃	章草と今草	目賀田明子	美 学	93
その他の宗派の遺偈	宮崎円遵他	〃	〃	撥墨とヴァルール	甲木 永二	書 論	2
一般の辞世・絶筆	〃	〃	〃	漢の小隷について(1)	牛丸 好一	〃	〃
仏鑑聖一仏通の遺偈	福島 俊翁	〃	〃	漢・趙寛碑小考	伏見 冲敬	書 品	238
日本				文人の原形—蔡邕—	丹羽 兎子	書 論	2
奈良時代民間写経についての二・三の問題	鬼頭 清明	南都仏教	31	六朝時代における芸術ジャンルの成立(2)	上田 早苗	〃	〃
石山寺の写経・聖教三跡以後	田中 稔	仏教芸術	94	魏・三體石経	伏見 冲敬	書 品	233
元暦校本万葉集と藤原顕家	春名 好重	墨 美	230	宋拓天発神識碑	伊藤 伸	〃	235
西大寺所蔵三月十九日付の叡尊書状について	辻 彦三郎	国語と国文学	50-9	王羲之試論	杉村 邦彦	書 論	3
尊円親王撰往生至要抄について—筆蹟と思想と—	湯山 賢一	三浦古文化	14	王羲之の真相	中田勇次郎	〃	〃
古田忠氏蔵古写本「こわたの時雨」公刊下	多賀 宗準	日本歴史	298	石崇と王羲之	興 膳宏	〃	〃
御物伏見天皇宸翰伊勢物語について—原家旧蔵伊勢物語絵巻の断簡	田村 悦子	美術研究	287	米芾書史所載王羲之帖考	中田勇次郎	大手前女子大学論集	7
	〃	〃	288	蘭亭論争をめぐって	小南 一郎	書 論	3
				張金界奴本について	西川 寧	書 品	238
				容庚輯「蘭亭集刻十種」序	藤原 有仁	書 論	3
				大正癸丑の京都蘭亭会について	須羽 源一	〃	〃
				書譜三事	西川 寧	書 品	231
				孫過庭小考	松井 如流	〃	〃

昭和48年定期刊行物所載文献

米菴における奇行と探求	杉村 邦彦	書 論	2	二昧の愛染明王坐像	上原 昭一	古美術	41
東福寺の禪院額字	木下 政雄	墨 美	236	関東の鉄仏	林 宏一	〃	40
仲猷祖闡・無逸克勤の来朝とその著賛作品	海老根聡郎	美術研究	287	埼玉における一木造りの展開(下)	〃	埼玉文化史研究	2
董其昌とその時代2	藤原 有仁	書 論	2	埼玉の定朝様彫刻上	〃	〃	5
黄檗僧帶來の明書1, 2	林 雪光	墨 美	234, 235	横浜市北部における鎌倉地方仏師の活動	秋山 一雄	鎌 倉	21
鄧石如の絶筆一涇県学宮礼器碑と詩評十屏一	西川 寧	書 品	232	安曇野の仏像	久野 健	芸術新潮	278
呉大澂・安西頌	伊藤 伸	〃	234	北陸・越後に遺る金銅仏	鷲塚 泰光	仏教芸術	91
				伊豆善名寺の仏像	〃	三浦古文化	14
				石山寺の彫刻	榊原 吉郎	仏教芸術	94
				京畿仏像抄 1.2. 皇慶伝説の仏像 3. 雙栗神社周辺の仏像			
				4. 飯道山の本地仏 5. 三つの毘沙門天像 6. 童顔の仏菩薩 7. 摂津安岡寺の千手観音像 8. 報恩寺(京都)の檀龕像 9. 報恩寺の厨子入千体地藏尊像 10. 藤原彫刻のプロポジションについて 11. 焼失千生地蔵尊 12. 横川中堂の聖観音像			
				国東半島の古彫刻	久野 健	国 華	954
				仏の光(光背)	光森 正士	日本美術工芸	414
				日本の仏教彫刻中の獅嚙みとメドゥーサの源流	たなかしげひさ	仏教芸術	91
				愛染明王像の獅子冠の源流	〃	史迹と美術	432
				四天王像と四天王形二天像の獅嚙みを調べ四天王寺孝徳朝創建説を駁す	〃	聖徳太子研究	7
				木造飛天像	上原 昭一	古美術	43
				円覚寺正伝庵の明岩正因像	清水 眞澄	鎌 倉	21
				《唐面》の熱田大明神像	三山 進	陶 説	245
				東大寺大仏の鑄造及び補修に関する技術的研究 6 (A) 仏身に於ける創建時の残存部の調査及び創建期造像の経過と技術の説明 附 白毫・両眼についての補足的報告	前田 泰次 他7名	東京芸大美術学部紀要	9
				脱乾漆彫刻の技法とその表現効果について	西村 公朝	美術院紀要	3
				彫像の玉眼法について一木彫像技法研究ノートから一	西川杏太郎	仏教芸術	91
				木造仏の修理雑記から	酒依清太郎	美術院紀要	3
<b>彫 刻</b>							
<b>日 本</b>							
ボストン美術館の日本彫刻	西川杏太郎	仏教芸術	90				
変化に富む仏像彫刻の蔵品一高輪美術館一	三山 進	日本美術	95				
東京国立博物館の“飛鳥仏”(真贋120)	佐藤 昭夫	芸術新潮	288				
飛鳥仏へのいざない	〃	日本美術工芸	413				
観心寺の平安初期仏像について	久野 健	国 華	961				
平安末期における造像について一「久寿二年・丈六阿弥陀像支度注文案」の場合	清水 善三	美 学	95				
鎌倉彫刻史の基本的問題 上, 下	中野 忠明	史迹と美術	433, 434				
笠間時朝の作善とその背景 上, 下	川勝政太郎	〃	436, 437				
中世塑像に就ての一考察一大休正念の語録を中心に一	三山 進	金沢文庫研究	210				
金銅四十八躰仏考5 細部篇一持物	千沢 楨治	ミュージアム	265				
法隆寺伝来の小金銅仏と辛亥年銘観音菩薩立像について	町田 甲一	国 華	964				
東国の清涼寺式釈迦如来像	猪川 和子	三浦古文化	14				
嘉暦二年銘如来立像と康暦元年銘懸仏	久野 健	史迹と美術	434				
齒吹如来像の表現とその意義	金沢 邦夫	美術史研究	10				
茨城薬師寺の薬師三尊像について	後藤 道雄	仏教芸術	91				
金銅弥勒仏坐像	上原 昭一	古美術	43				
紀三井寺護国院と観心寺の観音立像	猪川 和子	美術研究	287				
京都宝積寺の十一面観音立像	清水 眞澄	ミュージアム	272				
行田市常慶院の地藏坐像	川勝政太郎	史迹と美術	439				

群馬県・不動寺の石仏修理について	小野寺久幸	美術院紀要	3	陽明門大修理完成に寄せて	関野 克 伊藤 延男 川副 郁夫	大日光	40
古色施工における問題点	高橋 俊夫	シ	シ	貫前神社の本殿と仮殿 前、後	井上 充夫	日本建築学会論文報告集	203, 204
引懸について	毛利 久	史迹と美術	439	浦和の神社建築について 上、下	青木 義脩	埼玉文化史研究	3, 4
播磨浄土寺史料の再検討	田中 淡	仏教芸術	93	中世の春日社神宮寺修造と常住神殿守元伊勢をめぐる(真贋111)	秋元 信英	日本歴史	298
円空仏の謎を解く(真贋118)	五来 重	芸術新潮	286	入幡宇佐宮本殿について	川添 登	芸術新潮	279
埼玉における円空作役行者像	宮内 正勝	埼玉文化史研究	3	入幡宇佐宮本殿について	土田 充義	日本建築学会論文報告集	204
埋もれている仮面	後藤 淑	日本美術工芸	414	入幡宇佐宮応永造替の本殿	シ	シ	211
日本の土俗面	福永 重樹	日本美術	98	平安浄土教建築についての序論 1.常行堂と阿弥陀堂 2.九体堂と一間四面堂 3.法華堂について	清水 拡	シ	206~208
近世蜂屋の仁治在銘石仏	川勝政太郎 佐野知三郎	史迹と美術	432	鎌倉時代寺院建築における寸法関係について 1~5	岩橋 保	シ	203 206~209
大和郡山城の両面石仏	清水 俊明	シ	433	室町時代寺院建築における寸法関係について 1~3	シ	シ	211~213
大阪近郊の石製狛犬の研究(第3報)	木村 茂	大阪教育大紀要	21	塔の軒について	浜島 正士	シ	208
率川神社狛犬・大御輪寺印仏・普門院不動明王像について	池田 末則 大矢 良哲	大 美 和	45	武蔵国分寺跡の重要性	大場 磐雄	考古学ジャーナル	87
中国・その他				武蔵国分寺跡の保存運動	梶 国男	シ	シ
韓国の仏像を訪ねて	田辺三郎助	月刊文化財	117	武蔵国分寺跡の破壊問題	坂詰 秀一	シ	87
石にみる韓国の心	金 両基	芸術生活	283	武蔵国分寺跡問題その後の経過	中村 威	シ	シ
隋造像様式成立考一とくに北周庾仏と関連して一	松原 三郎	美術研究	288	円応寺について	岩元由美子	鎌倉	21
釈迦・多宝仏像	シ	国 華	962	称名寺の発掘について	荒木 伸介	三浦古文化	13
ボストン美術館蔵陝西派石仏三体について	松原 三郎	仏教芸術	90	史跡公園・信濃国分寺跡	原 昌孝	考古学ジャーナル	87
岡倉覚三、早崎梗吉と洛陽白馬寺の石造菩薩	J・フォン テーン	シ	シ	信濃国分寺跡回想	坂詰 秀一	シ	シ
カジュラーホの装飾	小山 清男	萌 春	221	旧中宮寺跡の発掘と現状	稲垣 晋也	日本歴史	299
死んだ女が子を産んだ話一新出土のガンダーラ石彫(2)一	小谷 仲男	大手前女子大学論集	7	斑鳩古塔の発掘と修理	鈴木 嘉吉	シ	297
建築・庭園・石造美術				法起寺三重塔の修理	奈良県文化財保存事務所	月刊文化財	123
日本				難波宮と四天王寺 上、中	藪田嘉一郎	史迹と美術	435, 439
トノ・オオトノ・ミアラカ	木村 徳国	建築史研究	39	播磨国分僧寺 上、下	浅田 芳朗	考古学ジャーナル	88, 89
日本古代建築寸法計画の解析的研究 その1	石井 邦信	日本建築学会論文報告集	214	播磨浄土寺史料の再検討	田中 淡	仏教芸術	93
律令国家における正倉建築の機能	富山 博	シ	シ	富貴大堂	工藤 圭章	国 華	957
建築に於ける近代	佐藤 彰	建築史研究	39	飛鳥藤原における最近の発掘	横山 浩一	日本歴史	301
陽明門の建築について	大河 直躬	大日光	40	難波宮と四天王寺 上、中	藪田嘉一郎	史迹と美術	435, 439

昭和48年定期刊行物所載文献

鳥羽離宮跡の発掘調査	川又 正智	考古学ジャーナル	84	横川の石幢一叡山考古一	服部 清道	史迹と美術	440
平安京の発掘調査一都市再開発地域における調査の実情一	浪貝 毅	日本歴史	307	横川の石造遺物一叡山考古一	〃	〃	434
中世城館遺跡の開発と保存	石丸 熙	〃	304	紀伊の石造遺物(熊野路)	巽 三郎	〃	432, 438
一乗谷朝倉氏遺跡の保存と展望	河原 純之	若越郷土研究	18-3	不食供養の研究上〜下	奥村 隆彦	〃	437~439
太宰府・水城の現状と保存対策	田村 円澄	考古学ジャーナル	89	丹波の石造美術・庭園一海老坂峠一	佐々木利三 林 泉	246	
国府跡研究のこれから一古代から中世への変遷を主にして一	木下 良	史学雑誌	82-12	板碑研究入門	岩村 清	考古学ジャーナル	86
重文旧江戸城田安門櫓門板扉	浜島 正士	月刊文化財	119	板碑の起源	服部 清道	〃	〃
米沢城下絵図について一地図史的考察の試み一	矢守 一彦	史 林	56-2	板碑の名称	久保 常晴	〃	〃
近世初期(慶長期)武家屋敷の一例について一熊本城内加藤平左エ門屋敷の場合	北野 隆	日本建築学会論文報告集	213	板碑研究の課題	坂詰 秀一	〃	〃
東北の民家一東北民家の魅力	伊藤ていじ 蘭部 澄	小原流挿花	23-10	板碑と宗教史研究	千々和 到	〃	〃
京の町屋見たまま11	近藤 豊	史迹と美術	436	初発期板碑の検討	鶴岡 静夫	日本歴史	303
伝統と創造のノート 1. 如庵の再生 2. 松花堂の保存 3. 生活のモジュール・畳 4. 壺中の天地 5~7. 数寄屋の普請上〜下 8. 茶の家元 9. 数寄屋師の残像 10. 時の賞瓶一花と茶一	中村 昌生	日本美術工芸	412~417 419, 420 422, 423	東国における仏教の中世的展開1、2一板碑研究の序説として一	千々和 到	史学雑誌	82-2, 3
「佗び」の造形	〃	茶道雑誌	37-4	北海道応永板碑考	白山 友正	考古学ジャーナル	86
有楽苑あれこれ	堀口 捨己	S D	102	北海道応永板碑は関東型である	久保 常晴	〃	89
なぜ空間構成か	大江 宏 神代雄一郎	〃	〃	十三世紀前半在銘の板石塔婆二基一福島県大光寺と宮城県極楽寺の遺品一	京田 良志	史迹と美術	436
棟札考	福山 敏男	月刊文化財	113	武蔵北部の文永・嘉元の板碑二基	佐野知三郎	〃	431
建具の変遷	杓 正夫	〃	119	東京世田谷発見の板碑	江坂 輝弥	考古学ジャーナル	86
窓の意匠 1~12	木村 重信	淡 交	27-1~12	四国阿波板碑考	沖野 舜二	〃	〃
中井家文書の研究	平井 聖	日本建築学会論文報告集	208	豊後成吉の永仁銘板碑	永松 郁朗	史迹と美術	431
「舜旧記」にみえる「大工行次」	天岸 正男	史迹と美術	434	永祿銘の自然石板碑	永松 郁朗	〃	〃
瓦の伝来	稲垣 晋也	茶道雑誌	37-10	青石塔婆形式の源流について	京田 良志	考古学ジャーナル	86
埼玉古瓦図録3、4	青木 忠雄	埼玉文化史研究	2	南部利康供養塔の銘文	天岸 正男	日本歴史	304
神事と庭園	佐々木利三	林 泉	236	浦和市所在中世在銘石造塔婆	青木 義脩	埼玉文化史研究	2
心字池 1~4	〃	〃	239, 240, 242, 243	一石五輪塔雑感上、下	赤松 秀雄	史迹と美術	431, 432
丹波の石造美術・庭園一海老坂峠一	〃	〃	246	一石五輪の一手法	〃	〃	440
				北條実時石造宝篋印塔について	前田 元重	金沢文庫研究紀要	10
				石造新見二件	佐々木利三	林 泉	245
				鬼面鎮護の造塔一宝篋印塔建立の一つの場合一	瓦釜雷鳴子	史迹と美術	432
				高野山御所芝の宝篋印塔一付・軍配文様のある五輪塔残欠一	愛甲 昇寛 太田 光元	〃	433
				播磨土山の元亨三年宝篋印塔	田岡 香逸	〃	440
				手水鉢通説 16~18	川勝政太郎	茶道雑誌	37-5, 9, 11

跣踏の造型 1~12 辻 晋堂 淡 交 27-1~12  
 大防府下の道標 2 大阪市立博物館研究紀要 5

中国・その他

規矩考「周礼考工記」より考察(補遺) 高田 克己 大手前女子大論集 7  
 中国の石幢小史 村田 治郎 仏教芸術 93  
 大康十年銘多宝千仏石幢に関する基本的問題について 井上 正 〃 〃  
 南インドのヒन्दウ-教石窟 肥塚 隆 〃 〃  
 サルタナット期デリーのイスラム建造物におけるドーム構築法について 月輪 時房 考古学雑誌 59-1  
 アバダーナを考える 伊藤 義教 オリエント 16-1

工 芸

工芸史雑筆 1. 中国陶磁とヨーロッパ 2. 「遠西奇器図説」をめぐって 3. うんすんカルタとタロット 5. 「万金産業袋」のこと 6. 貴金属の美 7. 桃山美術の本質 9. 出土文物展 10. 鍔金術と鍔丹術 11. 縄文と弥生 吉田 光邦 日本美術工芸 412~418 420~423

琳派の工芸デザイン 岡田 謙 小原流挿花 23-2  
 唐物から和物へ 満岡 忠成 茶道雑誌 37-8  
 信長・秀吉と堺の名物狩 〃 〃 37-1  
 添状と名器 1. 馬蝗絆 2. 早船 3. 雁取 4. 猿若 5. 餓鬼腹 6. 挽木鞘 7. 桂川籠 8. 園城寺 9. 遼馬 10. 飛鳥川 11. 時鳥 12. 遊撃割高台 高原 杓庵 淡 交 27-1~12  
 花入の鑑賞 1~12 熊沢 五六 〃 〃  
 華 光森 正士 日本美術工芸 415  
 梵音 〃 〃 416  
 オリエントにおけるリュートの形式と用法について 林 良一 オリエント 16-1

陶 磁 工

陶磁の道 1~3 黒田 辰男 陶 説 238~240

海のシルクロード 三杉 隆敏 小原流挿花 23-1  
 染付と海のシルクロード 〃 古美術 40  
 「芙蓉手染付」の試論 坂野 清夫 陶 説 245  
 南蛮の芙蓉手 松見 守道 〃 〃  
 東洋の色絵陶磁展を見て 清原 邦武 〃 241  
 ヨーロッパ古陶磁見聞録 3~5 今泉 元佑 〃 240~242  
 陶磁に見る中国と日本 上, 下 佐藤 雅彦 淡 交 27-1, 2  
 八木 光邦  
 ギリシア陶器と日本-古代中近東・地中海考古と美術展に触れて- 沢柳大五郎 陶 説 242  
 茶事懐石の妙味-陶磁器を中心に- 十和田湖月 茶道雑誌 37-9  
 茶碗とカイラギ 中村万次郎 陶 説 249  
 油壺の魅力 小川 啓司 日本美術工芸 421

(日 本)

アメリカにおける日本陶磁展 倉田 文作 月刊文化財 114  
 津軽・持子窯跡の第2次調査 坂詰 秀一 考古学ジャーナル 89  
 岩手県金ヶ崎町出土の古式須恵器 伊藤 陽夫 伊藤 博幸 〃 〃  
 埼玉県内における瓦塔、上、下 石村 喜英 埼玉文化史研究 4, 5  
 九州地方の瓦器碗について-型式分類と編年試案- 森田 勉 考古学雑誌 59-2  
 房総における奈良平安土器について 西野 元 三浦古文化 14  
 美濃の山茶碗概観 田口 昭二 考古学ジャーナル 85  
 中世の陶磁-神奈川県立博物館展観の講演から- 楢崎 彰一 陶 説 239  
 中世の陶器展をみる 岡田 宗叡 〃 〃  
 中世の陶器展 沢田 由治 〃 〃  
 中世のやきもののみち 村上 正名 〃 〃  
 茶陶の究明 1. 藤堂伊賀と祥瑞焼成の年代 2. 伯庵茶碗の作者と名称に就て 小田 栄作 〃 247, 249

陶郷旅日記 1. 益子焼 2. 相馬焼と切込焼余聞 3. 石見の窯業 4. 朝日焼	村上 正名	陶 説	243, 244 246, 249	有田天狗谷古窯調査報告書を読んで一製作年代判定に異議あり	山下 朔郎	陶 説	238
賤機焼	浜田 斉	シ	241	古伊万里赤絵	野村 泰三	シ	241
瀬戸の窯業—その生産の工程と用具—	宮石 宗弘	月刊文化財	120	中近東帰り「古伊万里乳瓶」旅の幻想	永野 蔵一	シ	246
手塩皿考	小野 正人	陶 説	243	平戸藩中野焼と三川内焼	馬場 強	長崎県立美術博物館研究紀要	1
手塩皿と見こう見	佐々木芳人	シ	245	歴史の中の九州茶陶	永竹 威	日本美術工芸	418
織部陶		カラーデザイン	19—12	唐津焼発祥の周辺	岡田 宗叡	茶道雑誌	37—6
内海焼考	上床 亨	陶 説	248	御朱印船と唐津陶	井垣 春雄	陶 説	245
常滑・越前の交換展	沢田 由治	シ	244	茶陶唐津	満岡 忠成	茶道雑誌	37—6
お山焼について	大川民治郎	シ	240	茶陶唐津について	中里太郎右衛門	シ	シ
古九谷の謎	井垣 春雄	シ	241	中里太郎右衛門父子が語る唐津焼	中里 宗白 中里太郎右衛門	シ	シ
サントリー美術館特別展「染付の道」日本の染付・藍九谷に就いて	今泉 元佑	シ	239	叩き黒唐津天正廿年銘三ツ耳付茶壺	中里太郎右衛門	日本美術工芸	421
加賀国本江窯の研究	加賀古窯研究所	シ	240	陶片に聞く一上野高取茶古窯の陶片に思う一	高鶴 元	陶 説	243
加賀国松山窯の研究		シ	242	豊前小倉焼	久我五千男	日本美術工芸	423
古万古と古安東	満岡 忠成	シ	241	佐土原焼の研究	小田 省三	陶 説	249
京焼—逸翁美術館—	安川 剛	日本美術	100	江戸幕末における京都大阪地方の陶磁器の値段について	三好 一	シ	247
京焼—滴翠美術館藏品— 1. 仁清・乾山 2. 修学院焼・野神焼と仁清茶入・古清水 3. 頼川・木米と仁阿弥・保全	満岡 忠成 小田 栄一	陶 説	243, 244 246,	中国・その他			
仁清の色絵月梅図茶壺に想う	三山 進	シ	240	「韓国美術二千年展」の叢陶	岡田 宗叡	シ	245
楽焼きの成り立ち	堀口 捨己	茶道雑誌	37—7	高麗茶碗 1~12	藤岡 了一	淡 交	27—1~12
楽茶碗の魅力	十和田湖月	シ	シ	韓国の古窯址を巡る 1~4	香木不苦治	陶 説	246~249
楽代々略歴	磯野風船子	シ	シ	私の手控帖 13, 14 陶枕雑話15~17 殿周の施釉陶 18. 唐代耀州窯の黒花文合子	藤岡 了一	日本美術工芸	412~417
長次郎の茶碗	満岡 忠成	シ	シ	漢の土偶—正木美術館—	梶本千恵子	日本美術	99
丹波焼の時代別特長	橋本 武治	陶 説	249	漢代の家型明器	稲葉 和也	古美術	42
赤膚焼	満岡 忠成	茶道雑誌	37—10	三国両管の古越磁について	長谷部楽爾	ミュージアム	267
奈良風炉襍記		シ	37—11	唐三彩鳳首パルメット文の水注とその周辺—唐三彩の性格に関する一考察	三上 次男	国 華	960
紀伊国広入幡神社藏南紀男山焼狛犬について	田中 重雄	陶 説	240	唐三彩馬	小山富士夫	古美術	42
播州相生市の古池焼	土井 静雄	シ	シ	唐三彩		カラーデザイン	19—8
萩の茶碗	満岡 忠成	茶道雑誌	37—5	五代宋初の「官」字銘白磁について—定州静志寺舍利塔墓納入品に関連して—上、下	矢部 良明	ミュージアム	267, 270
萩焼を語る(座談会)	坂高麗左衛門他	シ	シ				
「古萩名品展」から(座談会)	吉賀大眉他	陶 説	238				
毛利輝元と茶道および陶芸 上、下	田中 助一	茶道雑誌	37—5, 6				
土佐の仏阿弥窯に付いて	常石 英明	陶 説	240				
有田天狗谷古窯址群	三上 次男	古美術	43				
天狗谷古窯址をめぐる新課題	永竹 威	シ	シ				

褐釉插座柳斗文小壺について	矢部 良明	ミュージアム	268	鏡像と懸仏主要文献目録	ミュージアム	269
九州出土の宋・元代陶磁器の分析—太宰府出土品を中心として—	亀井 明德	考古学雑誌	58—4	東北地方の鏡像と懸仏	鈴木 友也	シ
洪武宮址出土の陶磁一元青花磁器の焼造年代についての一問題—	矢部 良明	古美術	43	線刻十一面千手観音鏡像那智経塚出土	香取 忠彦	シ
釉裏紅牡丹唐草文瓶	シ	シ	シ	九州の懸仏—北部九州の群集遺品を中心—to	岡崎 譲治	シ
青花花果文輪花鉢	長谷部楽爾	シ	41	嘉暦二年銘如来立像と康暦元年銘懸仏	久野 健	史迹と美術
明末芙蓉手染付	斎藤菊太郎	淡交	27—6	葛川明王院と懸仏	景山 春樹	ミュージアム
清朝のやきもの—中国陶磁史上の位置—	杉村 勇造	陶説	238	シートル美術館蔵懸仏二面について—木彫懸仏を中心に—	郷家 忠臣	シ
8~17世紀ペルシア陶器	シ	カラデザイン	19—2	密教法具について	岡崎 譲治	金沢文庫研究
ペルシア・サファヴィ朝藍彩草花文大鉢について	三上 次男	古美術	43	銅板法華経・附銅宮板	田口 栄一	国華
<b>金 工</b>				梵鐘雑記 2	坪井 良平	史迹と美術
青銅器の科学的鑑識	石川 陸郎 登石 健三	考古学雑誌	59—3	日向の梵鐘覚書—古文化財の史的考察の一例として	永井 哲雄	宮崎県総合博物館研究紀要
殷周時代の青銅器—白鶴美術館—	田村 敏雄	日本美術	101	拓本と鐘銘遺文	熊谷幸次郎	日本歴史
寿県蔡侯墓銅器の製作時期をめぐって	西田 守夫	ミュージアム	267	鐘銘遺文にあらわれた人名綜覧稿	シ	学術研究
古式銅鼓の変遷と起源	今村 啓爾	考古学雑誌	59—3	新指定の重要文化財について	広井 雄一	刀剣美術
慶州発見の新羅初期金冠	岡内 三真	考古学ジャーナル	78	七支刀研究の歩み	神保 公子	日本歴史
岡山県下市瀬遺跡出土の小型銅鐸について	新東 晃一	考古学雑誌	59—2	刀鍛冶の氏姓の考証	池辺 善盛	刀剣美術
鳥取県東郷町出土の小銅鐸	名越 勉 甲斐 忠彦	シ	シ	「長曾祢才市のこと」訂正	小笠原信夫	シ
道教における鏡と剣—その思想の源流—	福永 光司	東方学報	45	鶴見の刀工跡をたずねて	安田 菅緒	シ
漢鏡の図柄二、三について	林 巳奈夫	シ	44	鎌倉鍛冶—その成立について—	広井 雄一	三浦古文化
ボストン美術館蔵日本出土の細線式獸帯鏡	樋口 隆康	仏教芸術	90	佐久間象山と山浦真雄—事蹟考1, 2—	花岡 忠男	刀剣美術
奈良時代における出土・伝世唐式鏡の基礎資料および同范鏡の分布とその製造技術	中野 政樹	東京国立博物館紀要	8	大和守安定の出身地	小笠原信夫	シ
三角縁神獸鏡の仿製について	近藤 喬一	考古学雑誌	59—2	出羽大掾国路に関する一私考	シ	ミュージアム
多鈕細文鏡の初鑄と後鑄	中口 裕	考古学ジャーナル	78	丹州定正について	高田 守	刀剣美術
嵯峨清涼寺の釈迦如来像胎藏の鏡	塚本 善隆	国立博物館ニュース	315	陸奥大掾源繁榮の墓と暗い霧の丹波史	奥田 順一	シ
中国宋時代の鏡像	中野 政樹	ミュージアム	269	井上真改の研究 6, 7	中島新一郎	シ
鏡像と懸仏	香取 忠彦	日本美術	101	撮要録所載の刀剣関係の記録	三浦 正雄	シ
				長船小反り剣工と細工原	岡崎 譲	シ
				童子切安綱と大包平	佐藤 寒山	国立博物館ニュース
				応永年紀の則光	天野 美実	刀剣美術
				伯耆弓削鍛冶 1, 2	乾 敏彦	シ

昭和48年定期刊行物所載文献

後藤家の研究 8~18	福士 繁雄	刀剣美術	192~201 203	法隆寺献納宝物(重文) 広東小幡について	木内 武男 沢田むつ代	ミュージアム	268
画題事典 95~106	沼田 鎌次	〃	192~203	伝レイ出土「雙孔雀円文錦」について—イスラム装飾文様に関する一考察—	道明三保子	国 華	962
尾張則亮再考—初代則亮の年紀をめぐって—	杉戸 伸光	〃	203	蟹絵袍	今永 清士	〃	958
天正拵の模作について	小山前田 山田	金波 幸作 芳幸	〃 202	高野山天野社伝来の舞楽装束	西村 兵部	元興寺仏教民俗資料研究所年報	6
中世における甲冑の構成美について—考察—工芸史における「日本のかたち」の項より—	佐藤 武郎	大分県立芸術短大研究紀要	10	よく残されている江戸時代の能装束—大倉集古館—	山辺 知行	日本美術	94
三余不空 30~41	若山 泡沫	刀剣美術	192~203	染織における江戸初期—慶長繡箔考—	北村 哲郎	ミュージアム	271
名倉砥に関する文献	竹内 孝一	〃	194	吉川家伝来「山道草花鶴亀文繡箔胴服」について	神谷 栄子	美術研究	286
古芦屋真形釜の造形と図文	細見古香庵	茶道雑誌	37—9	慶長小袖と寛文小袖—時代が生む様々な美	北村 哲郎	日本美術	102
古芦屋真形釜	〃	〃	37—12	相応寺屏風にみる小袖意匠 上	橋本 澄子	ミュージアム	273
仙台藩初期の鑄工	白石 和己	仙台市博物館年報	1	野村コレクション「時代小袖雛形屏風」	〃	〃	271
<b>木 漆 工</b>				近世装飾における流行の性格	小池 三枝	美 学	95
青森県亀ヶ岡遺跡出土の漆器について	藤村 東男	史 学	45—3	琉球紅型攷	鎌倉芳太郎	古 美 術	41
橋夫人念持仏厨子の復原試案—その龕軸部の考察—	村野 浩	仏教芸術	91	沖繩の心と紅型	外間 正幸	〃	〃
公験唐櫃と東大寺文書	皆川 完一	東京大学史料編纂所報	7	紅型概論	辻合喜代太郎	〃	〃
蒔絵屋について 上, 下	鈴木 規夫	史迹と美術	435, 436	今日の紅型	富山 弘基	〃	〃
高台寺蒔絵	荒川 浩和	小原流挿花	23—9	都留市の山車飾幕修理記	山辺 知行	月刊文化財	122
近世の蒔絵—文房具展について—	阪井 卓	美をつくし	75	衣服にほどこされたアイヌ紋様とその色彩 1	荒井 純子	東京家政大学研究紀要	13
舞楽蒔絵硯箱について	荒川 浩和	ミュージアム	266	<b>ガラス工・竹・紙・その他</b>			
沈金経箱との出会い	岡田 謙	国立博物館ニュース	312	ガラス・夢を呼ぶ世界	由水 常雄	小原流挿花	23—11
鎌倉彫	郷家 忠臣	小原流挿花	23—12	ペルシア・青色銀化切子ガラスの筒形器	三上 次男	古 美 術	41
伝統の木工芸上, 下	福岡縫太郎	月刊文化財	120~122	佩玉と綬	林 巴奈夫	東方学報	45
<b>染 織 工</b>				竹の茶道具 1	岡田 喜一	茶道雑誌	37—12
鑑賞と研究・染織入門 1~9	北村 哲郎	国立博物館ニュース	311~319	和紙の黎明	町田 誠之	百 万 塔	36
東京国立博物館特別展「日本の染織」	今永 清士	月刊文化財	121	文学に現われた紙—古典篇—	民法 正晴	〃	〃
中国の染織	杉村 勇造	出光美術館報	17	溜漉と流漉	山田 誠一	〃	〃
東京国立博物館所蔵上代綾の織文について—綾裂発生から山形・菱・亀甲文に至るまで— 上, 下	沢田むつ代	ミュージアム	271, 272	修善寺紙の系譜—近世染色紙と三桎紙など—	相原 隆三	〃	35
				紙の博物館所蔵資料紹介 19.チリメン絵とチリメン本 20. 曆(こよみ)	青木千代麿	〃	35, 36
				日本の楽器	小島 美子	月刊文化財	118



考 古

ニューアーキオロ ジイ素描—アメリカ エール大学に留学し て	鈴木 公雄	考古学ジ ャーナル	77
丑の考古学	大場 磐雄	日本歴史	296
丑・牛(考古随想)	ス	考古学ジ ャーナル	77
<1972年の考古学界 の動向>特集	江坂 輝弥 他	ス	81
バイポーラーテクニ ックについて—実験 的方法からの研究	小林 博昭	ス	78
放射性炭素測定年代 報告2	中国科学院 考古研究所 実験室	ス	79
室蘭市本輪西遺跡調 査概報	関直良 正 信夫	ス	84
下北半島大平D地点 遺跡	工藤 竹久	ス	83
多賀城内発見の竈穴 住居について—多賀 城の発掘調査—	西脇 俊郎	考古学雑 誌	59—2
群馬県北橘村分郷八 崎弥生住居跡	相沢 貞順 中村 富夫	ス	59—1
千葉県南大溜袋遺跡 の調査	戸田 哲也	考古学ジ ャーナル	78
千葉県粟島台遺跡の 調査	井村 光晴 安藤 文	ス	88
千葉県小見川町白井 大宮台貝塚	斎木 勝	考古学雑 誌	59—1
小笠原諸島の遺跡分 布調査	永峯 光一 他	考古学ジ ャーナル	77
伊豆大島からグアム 島まで—南の島々の 考古学調査の展望—	江坂 輝弥	ス	ス
和同開珎を出土した 住居跡横浜市港北区 森戸原遺跡略報	神原 松司 石川 和明	考古学雑 誌	59—1
山梨県における緊急 発掘とその問題点	山本寿々雄	考古学ジ ャーナル	82
伊場遺跡—その保存 を訴える	佐々木虔一	ス	79
新潟県寺地硬玉遺跡	寺村 光晴	月刊文化 財	121
富山県不動堂遺跡発 見の大住居跡	小島 俊彰	考古学ジ ャーナル	85
伊勢湾地方の弥生時 代の集落	伊藤 禎樹	考古学雑 誌	59—3
正道遺跡の調査	高橋美久二	日本歴史	306
誉田白鳥遺跡の調査	野上 文助	ス	ス
小型銅鐸を出土した 岡山県下市瀬遺跡	岡山県教育 委員会	月刊文化 財	118
福山市草土千軒町遺 跡	河瀬 正利	ス	119
長崎県根獅子遺跡の 発掘調査	坂田 邦洋	考古学ジ ャーナル	79

長崎県諫早市周辺の 遺跡	橋本 幸男	長崎県立 美術博物 館研究紀 要	1
沖繩主要遺跡におけ るC <sup>14</sup> 年代の検討	国分 直一 三島 格	考古学ジ ャーナル	83
墓制を通じてみた古 代の日本・朝鮮関係	斉藤 忠	朝鮮学報	68
発掘後の古墳保存の 現状と将来	新井 英夫	考古学雑 誌	58—4
群集墳形成の一視点	佐田 茂	史 淵	110
関東にもあった装飾 古墳	大塚 初重	芸術新潮	287
日野市梵天山横穴墓 の調査	坂詰 秀一	考古学ジ ャーナル	82
東京・等々力溪谷3 号横穴の調査—墓道 をもつ横穴の一例—	菊池 徹夫 十菱 駿武	ス	83
晩期古墳の基礎的考 察—特に大和中尾山 古墳を中心にして—	藤井 利章	龍谷史壇	66, 67
国宝・文祿麻呂墓出 土品—奈良県宇陀郡 榛原町八滝出土 前、後	奥村 秀雄	ミュージ アム	270, 273
続・私見・高松塚被 葬者は誰か 下—1、 2	梅原 猛	芸術新潮	277, 278
特集・天皇陵を推理 する(対談)	江上 波夫 松本 清張	ス	277
福岡県感田横穴群の 調査	上野 精志	考古学ジ ャーナル	79
宮崎郡田野町灰ヶ野 地下式横穴	田中 茂	宮崎県総 合博物館 研究紀要	1
琴柱形石製品考	亀井 正道	東京国立 博物館紀 要	8
諏訪湖岸前田遺跡出 土の大岩板	中村 龍雄	考古学ジ ャーナル	79
奈良県御所市鴨都波 遺跡出土の石戈	堤 賢昭 菅谷 文則 吉村 雅博 吉田 二良	考古学雑 誌	59—3
神戸市垂水区青谷遺 跡出土の石戈1—弥 生社会流通経済の一 試論—	赤松 啓介	ス	ス
局部磨製石器鏃につ いて—長崎県佐世保 市岩下洞穴出土資料 をとりあげて—	下川 達弥	長崎県立 美術博物 館研究紀 要	1
肥後江田船山と筑後 岩戸山に遺存の石造 品	梅原 末治	史迹と美 術	431
松林山古墳出土鉄器 の保存処置と考古学 上の新発見について	青木 繁夫	ミュージ アム	273
縄文土器・土偶—古 代人のこころとくら し	上野 佳也 坂本 万七	小原流挿 花	23—5

昭和48年定期刊行物所載文献

山形県における縄文草創期文化の研究1	佐々木洋治	山形県立博物館研究報告	1
勝坂式蛇体装飾と人体装飾土器	江藤 昭	考古学ジャーナル	84
千葉県香取郡向油田貝塚出土土器	西村 正衛	学術研究	21
千葉県松戸市通源寺貝塚採集の中期縄文土器	湯沢喜代治 塚田 光	考古学雑誌	59-1
弥生土器		考古学ジャーナル	
九州 2~6	小田富士雄		77, 79 82~84
四国 1, 2	岡本 健児		88, 89
スタンプ施文土器の新例	名越 勉 甲斐 忠彦	考古学雑誌	58-4
墨書人面土器について	田中 勝弘	シ	シ
馬の線刻画土器	末木 健	考古学ジャーナル	88
土器片利用の土板	町田 信	シ	78
埴輪研究の課題	川西 宏幸	史 林	56-4
はにわ随想	三木 文雄	月刊文化財	113
茨城県における埴輪製作址の破壊	郡司 良一	考古学ジャーナル	84
大宮・中郷古墳出土の人物埴輪二例	下村 克彦	埼玉文化史研究	4
奈良国立博物館新館落成記念一経塚遺宝展	蔵田 蔵	月刊文化財	115
中世における埋経の展開とその基調	小原 仁	日本歴史	307
相知町セセリ谷経塚出土遺物		佐賀県立博物館報	13
考古学から見た伽耶と伽耶文化の一考察—日本とかかわりをもつ高霊伽耶を中心として—	北野 耕平	神戸商船大紀要第一類文科論集	21
朝鮮支石墓の編年	甲元 真之	朝鮮学報	66
金海良洞里出土遺物について	岡内 三真	史 林	56-3
慶古墳における最近の発見	岡内 三真 渡辺 (訳)	考古学ジャーナル	87
百済武寧王陵について	金 元龍	朝鮮学報	68
シンボジウム 百済武寧王陵をめぐる		シ	シ
高麗大学校博物館所蔵の経筒	江坂 輝弥 他	考古学ジャーナル	86
中国考古見学記	林 巳奈夫	シ	84
馬王堆一号漢墓について—中国における最近の研究の紹介	土居 淑子	古美術	42

北燕・馮素弗墓の提起する問題	穴沢 味光 馬目 順一	考古学ジャーナル	85
永孟銘考	伊藤 道治	神戸大文学部紀要	2
蒙古ノイン・ウラ匈奴墳墓の墳形について	鈴木 治	朝鮮学報	66
ソ連の仏教研究と中央アジアにおける最近の考古学的発掘	B. レーヴィン	仏教芸術	93

歴史関係・その他

火をとる鏡	松本 信広	考古学ジャーナル	84
「漢委奴国王」印について	三木 太郎	日本歴史	297
日本古代銭貨出土一覧表および附表	柴原永逸男	続日本紀研究	169
道の古代史 7~17	上田 正昭	淡 交	27-1~ 7, 9~12
公卿平氏と武家平氏の諸流と遺跡	たなかしげ ひさ	日本歴史	304
蒙古襲来と中世文学	川添 昭二	シ	302
足利直冬の花押—南北両朝の文化—	中村 直勝	史迹と美術	434
日記のなかの中世と近世 12	筒井 絃一 熊倉 功夫	日本美術工芸	412
鉢型周辺の戦国文化とその前段階—仏教資料を中心に—	宮内 正勝	埼玉文化史研究	5
散所と河原者	豊田 武	日本歴史	300
隠遁と芸能—その一面—	桜井 好郎	国語と国文学	50-4
古文書学と歴史学との間	石井 進	史学雑誌	82-3
内家私印について	服部 匡延	古文書研究	6
石山寺所蔵の角筆点資料について	小林 芳規	仏教芸術	94
石山寺経蔵の古点本類について	築島 裕	シ	シ
「靈異記」と「三宝絵」をめぐる	神野志隆光	国語と国文学	50-10
住吉物語と源氏物語	土居 光知	日本学士院紀要	31-2
仁勢物語の形態と成立—「近世伊勢物語版本考」の一章として	片桐 洋一	国語国文	42-6
戯作者恋川春町新資料	広瀬 朝光	国語と国文学	50-3
四国へんろの本	近藤 喜博	仏教芸術	92
本院所蔵キリシタン史料について1~3、追加篇	大類 伸	日本学士院紀要	27-3 28-2, 3 29-3
沖縄の古書	大山 仁快	月刊文化財	121

仏身観の思想的展開	山口 益	日本学士院紀要	30-3	禅僧列伝 1.達磨 2.六祖 3.臨濟 4.圓悟 5.栄西 6.道元 7.夢窓 8.大燈 9.一休 10.沢庵 11.白隠 12.仙厓	芳賀幸四郎 淡 交	27-1~12	
メシア思想と未来仏弥勒の信仰について	千潟 龍祥	元興寺仏教民俗資料研究所年報	31-1	一休「風流」の意味するもの	岡松 和夫 国語と国文学	50-4	
わが国における仁王経受容過程の一考察その1	難波 俊成	仏教史学	6	称名寺の基礎的研究 2-世代を中心として	納富 常夫 金沢文庫研究紀要	10	
本地垂迹説	大山 公淳	立正史学	16-1	茶会記について	永島福太郎 茶道雑誌	37-8	
唐代五代鎮州(正定)に於ける臨濟禪一鎮將王並びに五台山文殊信仰との関連を中心の一	金井 徳幸	立正史学	37	茶のすがた考一伝古薩摩茶碗「蛤」7~15	倉沢 洋行	37-2~5, 7, 9~12	
南宋後期禪宗の動向一虎丘派下の社会的立場を中心として一	阿部 肇一	仏教史学	16-1	千利休(日本の巨匠11)	村井 康彦 日本美術工芸	412	
十牛図私解 1~10	浜本 宗俊	淡 交	27-1~10	宗旦のわび茶	淡 交	27-11	
鞍部多須奈の出家について	日野 昭	龍谷史壇	66, 67	宗旦伝とその資料 “わが友宗旦”と光悦はよぶ	永島福太郎 吉村 貞司		
既戸王の系譜と膳三穂娘の再論一前川明久氏の駁論「聖徳太子妃立妃の史的背景」に答える一	たなかしげ ひさ	史迹と美術	437	宗旦の手紙 18~26	清瀬ふさ子 曾我部陽子 茶道雑誌	37-2, 4, 5 7~12	
物部戦争と太子・四天王寺	今井 啓一	日本歴史	299	細川三斎の手紙 1~4	細川 護貞	37-5~8	
編年 四天王寺史料稿 7	川岸 宏教	聖徳太子研究	7	酒井宗雅の茶 8~12	粟田 添星	37-2~4, 9, 12	
聖徳太子伝の推移一「伝暦」成立以前の諸太子伝一	飯田 瑞穂	国語と国文学	50-10	任那日本府と倭について一井上秀雄氏の近業によせて一	山尾 幸久 史 林	56-6	
日本書紀と聖徳太子伝	坂本 太郎	南都仏教	29	好太王碑文「改削」説の批判一李進熙氏「広開土王陵碑の研究」について一	古田 武彦 史学雑誌	82-8	
聖徳太子信仰の展開一特に法隆寺を中心として一	高田 良信	聖徳太子研究	7	中国古代史の時代区分の問題	郭 沫若 古美術	43	
法隆寺怨霊寺説について	坂本 太郎	日本歴史	300	中国出土文物展以後 郭沫若氏論文訳によせて	宮川 寅雄	土居 淑子	
石山寺・保良宮と良弁	福山 敏男	南都仏教	31	漢代長沙王國年表 敦煌曆日譜	宮崎 市定 史 林	56-2	
山城近江における良弁僧正関係の古寺について	川勝政太郎	シ	シ	故大谷勝真氏の敦煌写本調査ノート	藤枝 晃 東方学報	45	
良弁僧正の墓所について	筒井 寛秀	シ	シ	積石一所謂海西陸道におけるセム語系隊商都市文化一	上山 大峻 人 文	6	
				インド古代史と貨幣	相馬 隆 ミュージアム	263	
					山崎 元一 国学院雑誌	74-3	

単 行 図 書

総 記

ヘーゲル全集20a・美学3の上	ヘーゲル 竹内敏雄訳	岩波書店
日本思想大系23・古代中世芸術論	林屋辰三郎	シ
美と美術一その思考と論理	井上 章	家政教育社

美について	今道 友信	講談社
現代芸術の心理	ウィンクラ一(フルター)	小見山実訳 金剛出版
現代造形の哲学	河本 敦夫	岩崎美術社
芸術の原理	コリングウッド(R.G)	勁草書房
	近藤重明訳	

昭和48年単行図書

美の哲学	斎藤忍随、伊藤勝彦編	学文社	モホリ=ナギ=総合への実験	モホリ=ナギ(シビル)下島正夫・高取利尚訳	ダヴィッド社
美学的空間	中井 正一	新泉社	受胎告知	矢代 幸雄	新潮社
日本美は可能か—美意識と倫理	日本文化会議編	研究社出版	仏教美術文献目録 1960~1969	ユネスコ東アジア文化研究センター編	中央公論美術出版
見えざるものの形	リード(ハーバート)長谷川鑛平訳	法政大学出版部	今日の美術	リード(ハーバート)増野正衛・多田稔訳	新潮社
芸術への道—芸術の基礎	リュッツェラー(ハインリッヒ)川上 実訳	美術出版社	Art and Life in Polynesia	Barrow (T)	C. E. Tuttle Co.
古代の没落と美術—ミイラ肖像画とその時代	岩山 三郎	美術出版社	装飾と非装飾	大岡 信	晶文社
インド美術論考	上野 照夫	平凡社	日本美の探求	北川 桃雄	法政大学出版局
日本の伝統	岡本 太郎	講談社	幽玄美の美学	草薙 正夫	塙書房
神道美術	景山 春樹	雄山閣出版	芸術の論理	熊谷 孝	三省堂
エジプトの壁画と素描	キシケヴイッツ(ハンネローア)、能城ブラスタ竹田裕子訳	岩崎美術社	芸術と神話	グラッシ(エルネスト)榎本久彦訳	法政大学出版局
岡倉天心	木下 長宏	紀伊国屋書店	恍惚の王国—宗左近芸術論集	宗 左近	朝日出版社
レオナルド研究寄与	児島喜久雄	座右宝刊行会	文化革命の方へ—針生一郎芸術論集	針生 一郎	シ
中国文様史の研究—殷周時代爬虫文様展開の系譜	小杉 一雄	新樹社	「反逆から様式」へ—イギリス・ポップ芸術論	メリー(ジョージ)三井 徹訳	音楽之友社
ルーヴルの戦い	サイモン(マティラ)関口英男訳	徳間書店	富山県芸術文化年鑑 1	北日本出版社編	北日本出版社
中国美術史	サリバン(マイケル)新藤武弘訳	新潮社	アサヒ芸術年鑑 1973年版	産報編	産報
インドネシアの遺跡と美術	佐和隆研編	日本放送出版協会	日本美術年鑑 47年版	東京国立文化財研究所編	大蔵省印刷局
信濃の美 4	信濃毎日新聞社編	信濃毎日新聞社	芸術教育の基本原理	リード(ハーバート)小野修訳	紀伊国屋書屋
人類の美術—ギリシア・クラシック美術	シャルボノー(ジャン)他 村田数之亮訳	新潮社	文化大革命中の中国出土文物	朝日新聞社編	朝日新聞社
部族社会の芸術家	スミス(マリアン・W)編 木村重信・岡村和子訳	鹿島研究所出版会	フィレンツェの美術 3、6	小学館編	小学館
東洋美術論考	谷口 鉄雄	中央公論美術出版社	奈良六大寺大観 14 西大寺	奈良六大寺大観刊行会編	岩波書店
原始芸術論	外山卯三郎	造形美術協会出版局	日本仏教美術秘宝	望月 信成	三彩社
ブラド美術館の三時間	ドールス(エウヘーニオ)神吉敬三訳	美術出版社	大系世界の美術	1. 先史・アフリカ・オセアニア美術	木村重信編 学習研究社
ルネサンスの春	パノフスキー(アーウィン)中森義宗・清水忠訳	思索社	4. 古代地中海美術	新規矩男編	シ
ポップス文化論	日向あき子	ダイヤモンド社	7. 古代アメリカ美術	増田義郎他編	シ
図説マドンナ美術史	三浦 建堂	聖母美術院	15. ルネサンス美術 3 北方ルネサンス	嘉門安雄編	シ
現代美術の東と西	三宅正太郎	造形社	19. 近代美術 2	高階秀爾編	シ
			中国美術	1. 絵画 1	鈴木 敬・秋山光和編 講談社
				2. 絵画 2	鈴木 敬編
				4. 銅器・玉	樋口隆康編

5. 陶磁	長谷部楽爾編	講談社	現代日本美術全集	
奈良の寺			1. 富岡鉄斎	小高根太郎 集英社
5. 法隆寺夢殿観音と百済観音	久野健 辻本米三郎	岩波書店	6. 福田平八郎	矢内原伊作 竹田道太郎
11. 興福寺八部衆と十大弟子	毛利久 辻本米三郎	岩波書店	13. 竹内栖鳳・上村松園	竹内逸 倉田公裕
16. 東大寺法華堂と戒壇院の塑像	倉田文作 入江泰吉	シ	15. 前田青邨	久富貢
19. 唐招提寺金堂の仏像	田辺三郎助 米田太三郎	シ	16. 浅井忠・黒田清輝	鈴木健二 隈元謙次郎
日本の美術			17. 中村彝・須田国太郎	三木多聞 岡部三郎
4. 南都六宗の建築	浅野清	小学館	日本の画家—近代洋画	原田実 保育社
8. 密教の建築	伊藤延男	シ	竹久夢二	細野正信
26. 池大雅	吉沢忠	シ	鉄斎	朝日新聞社編 朝日新聞社
28. 茶陶	満岡忠成	シ	日本の名画	
29. 色絵磁器	藤岡了一	シ	1. 雪舟等楊	中島純司 講談社
新纂仏像図鑑	国訳秘密儀軌編纂局編	国書刊行会	4. 俵屋宗達	水尾比呂志
無形文化財記録工芸技術編			5. 尾形光琳	河野元昭
4. 蒔絵			6. 円山応挙	山川武
重要文化財	文化庁編	第一法規出版	7. 池大雅	小林忠
2. 彫刻Ⅱ	毎日新聞社編	毎日新聞社	8. 浦上玉堂	鈴木進
3. 彫刻Ⅲ	シ	シ	17. 菱田春草	細野正信
7. 絵画Ⅰ	シ	シ	18. 上村松園	内山武夫
8. 絵画Ⅱ	シ	シ	19. 鍋木清方	竹田道太郎
12. 建造物Ⅰ	シ	シ	20. 小林古径	河北倫明
13. 建造物Ⅱ	シ	シ	21. 土田麦僊	弦田平八郎
無形文化財要覧 48年版	無形文化財保持者会	芸艸堂	24. 徳岡神泉	岩崎吉一
明治の骨董	料治熊太	光芸出版	26. 前田青邨	飯島勇
			31. 藤島武二	岡畏三郎
			32. 青木繁	河北倫明
			34. 萬鉄五郎	陰里鉄郎
			38. 安井曾太郎	原田実
			44. 霽光	宮川寅雄
			46. 梅原龍三郎	益田義信
			47. 岡鹿之助	大岡信
			48. 林武	小川正隆
絵画			俳画の美—蕉村・月溪	岡田利兵衛 豊書房
絵のわかる本	麻生良方	祥伝社	浮世絵の幽霊	粕三平 芳賀書店
造形思考 上・下	クレー(パウ)土方 定一他訳	新潮社	日本の地獄絵	宮次男編
愛蔵普及版・現代日本美術全集			北斎読本挿絵集成 2馬琴下	
1. 富岡鉄斎	小高根太郎	集英社	5 芍薬亭長根	葛飾北斎 美術出版社
3. 菱田春草・今村紫紅	吉村貞司 中村溪男	シ	平凡社ギャラリー	
6. 福田平八郎	矢内原伊作 竹田作太郎	シ	1. 宗達	加藤周一 平凡社
7. 青木繁・藤島武二	河北倫明 嘉門安雄	シ	4. 南蛮屏風	大岡信
8. 岸田劉生	岡畏三郎	シ	6. 写楽	瀬木慎一
11. 坂本繁二郎	小倉忠夫	シ	7. 劉生	粟津則雄
13. 竹内栖鳳・上村松園	竹内逸 倉田公裕	シ	伊東深水	河北倫明編 日本経済新聞社
17. 中村彝・須田国太郎	三木多聞 岡部三郎	シ	浮世絵	菊地貞夫 保育社
			近世風俗図巻 1 江戸風俗	菊地貞夫他編 毎日新聞社
			渡辺華山—思想と芸術—	藏原惟人 新日本出版社

昭和48年単行図書

画聖菅橋彦名作大成 I 額装編 II 図録編	菅橋彦顕彰 会編	菅橋彦顕彰会	17. ピカソ	遠山 一孝 中山 宏男 野間 重樹 入重 春樹	中央公論社
近世異端の芸術—若冲・蕭 白・芦雪—	鈴木 進	マリア書房	18. ブラックとキュビズム	安岡 章太郎 千足 信行	シ
画狂人北斎	瀬木 慎一	講談社	19. ルソーとシャガール	大原 富枝 峯村 敏明	シ
水墨画の周辺	坪内節太郎	三彩社	20. ユトリロとモディリ アーニ	村野 四郎 東野 芳明	シ
門前小僧	中川 一政	求龍堂	21. キリコとデュシャン	加山 又造 岡田 隆彦	シ
在外秘宝欧米収蔵浮世絵集 成	榎崎宗重編	学習研究社	22. エルンストとダリ	吉行 淳之介 坂崎 乙郎	シ
5. 歌川広重	シ	シ	23. クレー	中村 眞一郎 中原 祐介	シ
6. 喜多川歌麿	林 美一	三崎書房	24. モンドリアンと抽象絵 画	山崎 正和 富山 秀男	シ
枕絵の巨匠たち	東山 魁夷	集英社	世界の名画(カンヴァス)	平山 郁夫 大岡 信	シ
東山魁夷画集 古都を描く 画集 白い馬の見える風景	シ	新潮社	7. ルノワール	司馬 遼太郎 粟津 則雄	シ
秘巻肉筆浮世絵	福田和彦編 述	芳賀書店	10. ゴーギャン	岩田 礼	新人物往来社
水墨画 3	田中一松・ 戸田禎佑・ 中島純司編	毎日新聞社	11. ゴッホ	梅原龍三郎	求龍堂
山口蓬春作品集	山口 春編	朝日新聞社	坂本繁二郎	川島理一郎	日動出版
伊勢物語色紙歌留多帖	吉田光邦編 森下 忠雄 写真	芸艸堂	画集 北京—梅原龍三郎第 三部—	ガロディ (ロジエ) 末永照和訳	審美社
元禄のエロス 1 師宣艶 本集・青春篇	レイン(リ チャード) 編	画文堂	川島理一郎画集	北川 晃二 木村 重信	講談社
Zen Art For Meditation	Holmes (Stewart W)・Hor- ioka (Ch- imyō)	C. E. Tuttle Co.	ピカソ—反抗の弁証法—	清川 泰次	プロネート
浮世絵大系	小林忠解説	集英社	青木繁 その愛と彷徨	熊谷 九寿	美術出版デザ インセンター
2. 春信	菊地貞夫解 説	シ	モダン・アートへの招待	グォディ ョール(ホ セ) 神吉 敬三 坂本 満	小学館
5. 歌麿	山口桂三郎 解説	シ	清川泰次画集—白の世界—	小泉 清	求龍堂
6. 歌麿・栄之	シ	シ	熊谷九寿画集 3	小磯 良平	シ
7. 写楽	戸田 禎佑	講談社	ゴヤ<巨匠の世界>	近藤 昭	岩崎美術社
水墨美術大系	田中 一松 中村 溪男	シ	小泉清画集	坂崎 乙郎	読売新聞社
3. 牧谿・玉潤	武田 恒夫	シ	小磯良平パステル素描12葉 クールベ	佐藤 弘	栄光出版社
7. 雪舟・雪村	飯島 勇 鈴木 進	シ	象徴の森—神秘と幻想の画 家たち—	春陽会編	三彩社
9. 等伯・友松	小林 忠 辻 惟雄	シ	佐藤弘素描画集	裾分 一弘	岩崎美術社
12. 大雅・蕉村	山川 武	シ	春陽会画集	上平 貢	シ
14. 若冲・蕭白・蘆雪	古原 宏伸	明德出版社	ミケランジェロの素描	浜谷 勝也	シ
画論	江藤 淳 穴沢 一夫	中央公論社	フィレンツェの壁画	瀬木 慎一	日本放送出版 協会
世界の名画	福永 武彦 西沢 信弥	シ	ポッティチュェルリの素描	瀬木 慎一	読売新聞社
12. ロートレックとボナール	中島 建蔵 野村 太郎	シ	人間ピカソ	セリユラス (M)解説 高島正明訳	美術出版社
13. ムンクとルドン	渡辺 淳一 池上 忠治	シ	ピカソ(改訂版)—二十世紀 美術の象徴—	田中阿喜良	読売新聞社
14. カンディンスキーと表 現主義	遠藤 周作 小川 正隆	シ	ドラクロワ	原 勝四郎	原勝四郎画集 刊行会
15. マティス			生きる・田中阿喜良画集		
16. ルオーとフォーヴィス ム			原勝四郎画集		

ルネ・マグリット 骰子の7の目	バスロン (ルネ) 巖谷国土訳	河出書房新社	99. サザランド	針生一郎解説	平凡社
マックス・エルンスト 骰子の7の目	アレクサン ドリアン (サラース) 大岡 信訳	シ	100. ド・スタール	大島辰雄解説	シ
キュビスム	フライ (エドワード・F) 入重櫻春樹訳	美術出版社	絵画材料事典	ゲッテンス (R・J) スタウト (G・L) 森田恒之訳	美術出版社
マニエリスムとバロックの成立	フリードレン ダー (ヴァルター) 齋藤 稔訳	岩崎美術社	全訳 芥子園画伝	小杉放庵註解	アトリエ出版 社
レーピン—19世紀ロシアの画家—	モスクヴィ ノフ他 本田純一編 訳	美術出版社	3. 山石譜	公田連太郎 訳文	シ
現代の絵画			4. 人物屋宇譜	シ	シ
7. 19世紀の夢と幻想	ブリガンテ イ (ジュア ーノ) 高階秀爾訳	平凡社	6. 蘭譜	シ	シ
10. モディリアアーニとモン パルナス	ギンデルタ ール (ロジ ュ・ヴァン) 粟津則雄訳	シ	7. 竹譜	シ	シ
11. マティスとフォヴィス ム	ネグリ (レ ナータ) 吉川逸治訳	シ	8. 梅譜	シ	シ
16. ダダ運動と画家たち	サヌイユ (ミシエル) 滝口修造訳	シ	9. 菊譜	シ	シ
19. ロシア・ソヴィエトの 前衛絵画	グェルチョ (アントニ オ・デル) 木村 浩訳	シ	10. 草蟲花卉譜・上	シ	シ
20. 現代のイギリス絵画	クリスボル ティ (エン リコ) 中原佑介、 川名公平訳	シ	11. シ	シ	シ
22. 今日のアメリカ絵画	ハンター (サム) 東野芳明訳	シ	12. 翎毛花卉譜・上	シ	シ
ファブリ世界名画集			13. シ	シ	シ
65. ヴァン・デル・ウエイ デン	黒江光彦解 説	シ	絵画技法百科	レイドマン 美術出版社 編	美術出版社
69. ベリーニ	辻 茂解説	シ	Japanese Brush Pain- ting in Color	Aida (Ko hei)	Japan Pu- blications
71. ギルランダイヨ	高階秀爾解 説	シ	劇画の思想	石子 順造 菊地浅次郎 権藤 晋	太平出版社
72. カルパッチョ	目形照解説	シ	楽天漫画集大成 大正編	北沢 楽天	グラフィック 社
78. ティントレット	坂本満解説	シ	年鑑日本のイラストレー ション'72	講談社編	講談社
79. ハルス	渡辺守章解 説	シ	日本の漫画	佐藤 忠男	評論社
81. ムリリョ	嘉門安雄解 説	シ	戦後気儘画帳	武井 武雄	筑摩書房
82. シャルダン	井上究一郎 解説	シ	戦中気儘画帳	シ	シ
88. ホイッスラー	田中英道解 説	シ	漫画の戦後思想	鶴見 俊輔	文芸春秋
97. グリス	東野芳明解 説	シ	ビゴ—画集	ビゴ— 酒井忠康解 説	岩崎美術社
			絵本とは何か	松居 直	日本エディタ ースクール出 版部
			書 蹟		
			書道芸術		
			別巻3 中国書道史	中田勇次郎 編	中央公論社
			別巻4 日本書道史	シ	シ
			中国書人伝	シ	シ
			中国書道史序説	石橋啓十郎	角川書店
			日本書道大系5 平安4	講談社編	講談社
			見ぬ世の友	是沢恭三	平凡社

昭和48年単行図書

鉄斎尺牘 鉄斎尺牘積文

中川一政監修 求龍堂

葡萄弾一遍在方位について  
版画を築いた人々

加納光於 美術出版社  
関野準一郎

彫刻

彫刻の思索と体験

阿部米蔵 杉山書店  
ハート(F) 美術出版社  
久保尋二訳

デューラー版画集

デューラー 日本経済新聞社  
前川誠郎解説

ミケランジェロ彫刻

ドナテルロ  
棟方志功一その画魂の形成  
浜口陽三  
駒井哲郎一銅版画作品集  
南桂子の世界一空・鳥・水

浜谷勝也 岩崎美術社  
小高根二郎 新潮社  
乾由明 講談社  
駒井哲郎 美術出版社  
南桂子

ファブリ世界彫刻集

穴沢一夫解説 平凡社

工芸

2. ミケランジェロ

遠山一行解説

李朝の美=民芸

岡本太郎 毎日新聞社  
浜口良光  
趙子庸

4. カルポー

寺田透解説

現代の伝統工芸

日本工芸会編 講談社

6. プールデル

宇佐見英治解説

陶器講座13 クメール・安南・タイ

東義国 雄山閣出版

8. ドガ

東野芳明解説

瀬戸の古陶磁

瀬戸青年会 光琳社出版  
議所編

素描ロダン・プールデル・マイヨル

高田博厚監修・解説 岩崎美術社

日本古陶銘款集

陶陶全集刊行会 平安堂書店

造型

高村光太郎 春秋社

日本の磁磁 1, 2

林屋晴三編 中央公論社

私の歩いてきた道

平櫛田中 日本美術社

ペルシアのガラス

深井晋司 淡交社  
高橋敏

日光東照宮と左甚五郎

松村善平 濃飛出版

古唐津 上, 下  
ガラスの道

水町和三郎 平凡社  
由水常雄 徳間書店

日本彫刻史基礎資料集成  
平安時代 重要作品篇 1

丸尾彰三郎 中央公論美術出版  
他編

陶磁大系

平凡社ギャラリー  
2. 織部

鎌倉彫

後藤俊太郎 主婦と生活社

2. 弥生

坪井清足 毎日新聞社  
榎崎彰一

仏像の印相をたずねて

秋山正美 文進社

5. 三彩 緑釉 灰釉

沢田由治 小学館編  
桂又三郎

平凡社ギャラリー

井上靖 平凡社

7. 常滑 越前

永竹威 芸艸堂  
満岡忠成

3. 十一面観音

木村重信 平凡社  
片山撰三

10. 備前

河原正彦 人文書院  
杉村勇造

9. 豊後の石仏

賀川光夫 木耳社  
藤田晴一写真

19. 伊万里

加藤唐九郎 平凡社

大分石仏行脚

川勝政太郎 朝日新聞社

24. 乾山

北条明直 毎日新聞社  
柳橋真

石造美術の旅

小竹隆夫 造形社

26. 京焼

漢唐の染織—シルクロード  
の新出土品— 小学館編  
正倉院事務所編 平凡社

千光寺・円空

佐久間阿佐緒 鹿島研究所出版会

46. 清の官窯

西村兵部編 芸艸堂  
保坂三郎 人文書院

東京の石仏

棚橋一晁 平凡社

平凡社ギャラリー  
2. 織部

川口陟 歴史図書社

木喰仏 1

谷口順三 求龍堂  
後藤英夫写真

正倉院の組紐

島田貞良 雄山閣出版  
福士繁雄  
関戸健吾

円空

大護入郎 木耳社

中国の染織 上, 下

和鏡 鹿島研究所出版会  
定本日本刀剣全史 1, 2, 5, 6, 8

私の石仏地図手張 3

町田甲一 秋田書店  
入江泰吉編

刀装金工後藤家十七代

若山泡沫 平凡社

日本仏像100選

松久朋琳 日貿出版社

刀装小道具講座 4, 5, 6

小原二郎編 鹿島研究所出版会

京仏師六十年

蔵田蔵解説 求竜堂  
飯沢匡 筑摩書房

インテリアデザイン 1, 2

アデマール(ジャン) 筑摩書房  
坂本満  
吉川逸治編

仏像彫刻のすすめ

東大寺大仏蓮辨拓本 乞食円空

版画

世界版画大系 3~8



建築・庭園

現代日本建築家全集 24	12,	栗田勇監修	三一書房
平凡社ギャラリー8 神宮	伊勢	川添登 渡辺義雄	平凡社
明治初期の洋風建築		堀越三郎	南洋堂書店

日本の倉

角屋

数寄屋聚成	7, 9~13
ヨーロッパの名園	
日本庭園史大系	1, 5, 12, 14, 19, 21, 22, 24

伊藤ていじ	淡交社
文高井潔写真	
藤岡通夫	毎日新聞社
恒成一訓	
北尾春道編	叢文社
岡崎文彬	朝日新聞社
重森三玲	社会思想社
重森充途	

昭和49年定期刊行物所載文献

現代美術・西洋美術

総説

視知覚的事象学 (Visual perceptionology)	川島重治	武蔵野美術大研究紀要	8
現代美術史学の課題 (完)	中村二柄	美学	96
世界芸術の運命<対談>	アンドレ・マルロー 岡本太郎	芸術新潮	289
「もの論」	大木武男	九州産業大芸術学部研究報告	5-1
美術と民族性		日経	10.30
政治の耽美主義を憂う	針生一郎	朝日夕刊	5.16
シーニュとしての芸術	多木浩二	美術手帖	382
シーニュとしてのレトリック、芸術のカタログ化の理論的前提			
視覚芸術とレトリック<座談会>	宇波多木針生 彰二 浩二 一郎 勝弘 山口		380
だれのための芸術か<対談>	木村中村 恒久 卓馬		383
なぜ<芸術>にこだわるか	磯崎宇波多木針生 彰二 浩二 一郎 勝弘 山口		
美術の効用	井島勉	京都夕刊	5.15
書表現の心理について1、2	禰津和彦	書論	4.5
美術教育の総合性を考える	高脇理	ぼざある	3
造型教育の現状と問題点	藤沢典明		
美術教育の諸問題			
3. 児童美術の内と外	森桂一		

4. 思春期の美術教育

森桂一	ぼざある	4
-----	------	---

子供の絵と心理学

3. 子どもの描画の色と感情、性格

磯貝芳郎	3
------	---

4. 上手な絵と下手な絵

3	4
---	---

意味作用か社会的才能か

針生多木 磯崎宇波 山口 勝弘	美術手帖	379
-----------------	------	-----

特集=現代美術と公共性—表現のシステムと大衆化の構造

峯村敏明	美術手帖	380
------	------	-----

現代美術の風

栗田亮	読売夕刊	12.6
-----	------	------

生きられるシステム 状況への一視点

たにあらた	美術手帖	379
-------	------	-----

オカルティズムを超えてあるいは都市の中の原始主義

日向あき子	芸術生活	301
-------	------	-----

コンピューターによる画像情報の変換処理

下村千早	武蔵野美術大学研究紀要	8
------	-------------	---

要素的分解の危機—あるいは「思考操作としての美術」について

たにあらた	美術手帖	376
-------	------	-----

テレビと美術

高階秀爾	東京夕刊	1.25
------	------	------

現代美術とリアリズム、機械の眼、人間の眼

石崎浩一郎	みづゑ	832
-------	-----	-----

あなたにとって<リアリズム>とは

巖相笠昌義他		
--------	--	--

特集=芸術とリアリズム

さまざまなトロンブレイユ、ニューリアリズムと第11回日本国際美術展

島本融	美術手帖	383
-----	------	-----

変貌したリアリズムをめぐる

三木多聞		
------	--	--

リアリズム再考Ⅲ

世紀末の芸術の様相

中山公男	ぼざある	3
------	------	---

大正期における洋画の諸問題

匠秀夫		
-----	--	--

昭和49年定期刊行物所載文献

リアリズム再考Ⅳ					メタモルフォーズ類 (9)生成するリズムへの同化	中山 公男	美術手帖	380
フォープと表現主義	中山 公男	ぼざある	4					
1930年協会とその周辺	原田 実	シ	シ		メタモルフォーズ類 (10)モナ・リザをめぐる		シ	382
東京ジュンナーレにおける「今日のリアリズム」	小島 信夫	芸術新潮	295		メタモルフォーズ類 (11)レダの旋律		シ	385
講演「空想美術館」こそ復活の場	A. マルロー	朝日夕刊	2.5		メタモルフォーズ類 表現と方法(12)		シ	387
特集・見えるもの消去—あるいは無いモニュメント	宮川 淳	美術手帖	376		美の翳りの部分			
映像とイメージ	澁澤 龍彦	朝日夕刊	1.22		I. 美術におけるエロス、アンチ・エロス、非エロス	岩井 寛	VISION	4—4
特集・美術作品と註釈	中原 佑介	美術手帖	382		II. 宇宙經由の人工美学	松岡 正剛	シ	4—5
着衣の作品—美術作品の註釈をめぐる					III. 不安の中の美	中野 久夫	シ	4—6
偏見の不在—批評における「帝国主義的」傾向	藤枝 晃雄	シ	382		IV. アンチ・ヒューマンの美	高見堅志郎	シ	4—7
特集・プリティンク・アート、物体の記号化—刷ることの欲求	岡田 隆彦	シ	378		V. 美の分裂	村田 経和	シ	4—8
	齋 要津	嘔 深			VI. 美の悲哀	霜山 徳爾	シ	4—9
特集・グラフィズムのなかの〈版〉座談会	木村 光	千尋	シ		VII. ビザンチン的無時間性の美学(月の精の画家ゾンネンシュターンの場合)	徳田 良仁	シ	4—11
	下谷 針生(司)	一郎(会)	シ		趣向と自然	秦 恒平		
					1. 美術における日本人好み	芸術生活		293
美術における右と左	中森 義宗	成城大学 文芸学部 短大部創 立20周年 記念論文 集			2. 人と自然	シ		294
芸術における西欧と日本	対談・加藤周一、A. マルロー	朝 日	5.23		3. 趣向と伝統	シ		295
日本美術と国際化	小倉 忠夫	読売夕刊	1.22		4. 宗達礼讃	シ		296
美の世界に国境はない	ウエルナー・シュミット	日 経	8.10		5. 我が中世	シ		279
カナダに見る東西文化の交流	中村 元	読売夕刊	3.11		6. 買いかぶられた鎌倉美術	シ		298
東と西—そのところと美術〈座談会〉	ヴラスト・チハーコヴァー、ジョゼフ・ラヴ、李 禹煥	美術手帖	376		7. 秀れた原点南北朝美術	シ		299
江戸後期文化の再認識	瀬木 慎一	朝日夕刊	6.5		8. 禅趣味のゆくえ	シ		300
美術史の空白—庶民東京の事跡を追って	シ	シ	3.9		9. 雪舟、日本画の誕生	シ		301
ヨーロッパに於ける東洋趣味の展開	深川 正	陶 説	260		10. 渦巻く陽気十六世紀の美術	シ		302
政治に利用された芸術	村上 昌	芸術生活	299		11. 中世と現代	シ		303
団体と芸術創造	坪井 繁幸	シ	302		12. 花鳥	シ		304
メタモルフォーズ類(8)ヴォージュの生成と表現	中山 公男	美術手帖	376		迷宮としての世界	森本 哲郎		
					1. サハラ岩のアトリエ	芸術生活		293
					2. ニジェール木彫の仮面	シ		294
					3. クノッソス宮殿の牡牛	シ		295
					4. モヘンジョダロの司祭像	シ		296
					5. インダスの踊り子	シ		298

6. タントラの不思議な宇宙	芸術生活	299	照明の美2				
7. ハリー、ハラーの夢	〃	300	現代あかり考	多田 美波	ほざある	3	
8. ダリウスの獅子	〃	301	エジプトユルカス遺跡の第3次発掘調査	川村 喜一	考古学ジャーナル	97	
9. イースター島の幻	〃	302	エジプトとメソポタミア	矢島 文夫	東京夕刊	2.19	
10. 「世界のへそ」の巨石像	〃	303	復原されたアブ・シンヘル神殿をたずねて	橋本 文男	芸術新潮	298	
11. ノアメンの都の柱	〃	304	エジプト彩色階段の発掘(上・中)	川村 喜一	読売夕刊	3.18 3.19	
美の変奏			古代美術館3、エトルスク	大岡 昇平	芸術新潮	300	
1. 貌；肖像について	宝木 範義	日本美術工芸	小アジアの遺跡				
2. 曇；風景画について	〃	428	VII、＜ヘレニズム時代の美術II＞	立田 洋司	三 彩	312	
3. 戈；戦争画について	〃	429	VIII、＜ローマ時代の小アジア＞	〃	〃	313	
4. 寂；宗教画について	〃	430	K、＜小アジアのビザンチン美術I＞	〃	〃	315	
5. 器；静物画について	〃	431	X、＜ビザンチン美術II＞	〃	〃	316	
6. 娟；女性像について	〃	432	XI、＜その十→オスマン帝国とイスラム文化＞	〃	〃	317	
7. 構；描かれた建築	〃	433	XII、＜トプカプ、サライ博物館の陶磁コレクション＞	〃	〃	318	
8. 稠；細密画について	〃	434					
435							
芸術経済学			ミリーヌス発見のコレとクーロス	友部 直	芸術新潮	300	
III. 諸価値の評価における一文化は可能か	大熊 信行	ほざある	ニケの翼	高橋 英夫	読売夕刊	11.5	
IV. 欲望より能力こそが現代の問題	〃	4	第二の「ボンベイ」一新発見のオプロンティス荘とユリウス、ポリビウスの家	青柳 正規	芸術新潮	290	
やさしい美術講座			ドナテルロと古代美術	浜谷 勝也	美術史研究	11	
3. シュールレアリスムの方法	井手 則雄	〃	十字架降下についてII	長塚 安司	美術史	87	
4. ネオ、イマジズムとポップ・アート	〃	4	国際ゴシック様式生と死のメルヘン	木間瀬精三	みづゑ	835	
日本文化史にみるバロック	武田 勝彦	日 経	ドレスデンの美と精神(ヨーロッパ絵画名作展)	高橋 巖	〃	836	
特集＝芸術のレクチュールワークショップにむけて・現代美術の新しい広場を求めて	針生 一郎	美術手帖	表現形式にみるドイツ＝ロマン主義美術の三つの相一F. シュレーゲルの芸術論とナザレ派、Ph. O. ルンゲ、C. D. フリード化	風巻 孝男	愛知教育大学研究報告	23-3	
ベルリン実験芸術ワークショップへの提案	ホルヘ・グ ルースベルグ	美術手帖	明治美術におけるイギリス19世紀美術思潮特にプレラフェライティズムの移入と影響について	中村 義一	宮崎大学教育学部紀要	33	
われわれにとってデッサンとは(座談会)		美術ジャーナル	近代美術としてのプレラフェライティズム	〃	〃	32	
東洋画の空間構造	川原 正二	美術グラフィ					
色感の変遷にみる美意識の空白	鈴木 均	毎日夕刊					
平面と立体	〃	〃					
照明の美1							
灯火具の変遷	岡田 謙	ほざある					

昭和49年定期刊行物所載文献

切られた首—世紀末想像力の一側面	高階 秀爾	季刊芸術	30	開かれた世界の回路(大地への祈り、宇宙への祈り)		芸術生活	293
日本の世紀末、その一面	岡田 隆彦	季刊芸術	28	現代メキシコ美術の歴史その行政機構など	フローレンス・サンチエス氏にきく	現代の眼	239
<ラファエル前派>		美術手帖	386	現代メキシコ美術の風土	本間 正義	視る	91
魂の自然主義	潮江 宏三			現代メキシコ美術の風土	〃	現代の眼	238
ラファエル前派その詩と別離	酒井 忠康			メキシコの旅でみた現代美術における断層の印象	植村鷹千代	〃	239
ラファエル前派交遊録	吉田 正俊			近代日本美術における転換期	田中日佐夫	成城大学文芸学部短大部創立20周年記念論文集	
世紀末のプレラファエリズム				「日本美術」昭和五十年の盛衰		芸術新潮	300
オフィーリアの幻影—ラファエロ前派を中心として	堀切 直人	芸術生活	304	1.近代主義と伝統主義の循環	針生 一郎		
西欧の没落—印象派とその批評	岡谷 公二	美術手帖	384	2.シュルレアリスムと日本的幻想絵画	宗 左近		
特集・印象派100年	末永 照和	〃	384	3.日本画にみる現代の衰退	田中日佐夫		
印象主義、白昼の美学				特集・愛される反逆者たち、異端について	坂崎 乙郎	日本美術	105
印象派外伝—周辺交遊録	大島 清次	〃	〃	日展の歴史		美術グラフィ	23—1
印象派からはなれていった画家たち	永田 力	美術手帖	384	特集・団体展を再考する、私と公券展	磯谷 精一 越中屋清信 田中 茂生 伊牟田経正 小谷津雅美 後藤 寿眼	日本美術	107
居直った印象派—日本の受容にふれて	高見堅志郎	〃	〃	特集・団体展を再考する、体験的団体論	日野耕之祐	〃	〃
セザンヌと日本	池上 忠治	読売夕刊	3.20	槐樹社の画家たち	松島 光秋	美術グラフィ	23—2
ポール・セザンヌと現代美術<対談>	中原 佑介 高松 次郎	みづゑ	829	文相にきく—今後の文化政策は	奥野 誠亮 福岡 晟	VISON	4—2
シュルレアリスム宣言から50年	巖谷 国土	朝日夕刊	10.12	日本美術の展望	鈴木 進	日本美術	104
特集・描かれた自由	宗 左近	芸術新潮	297	転形期の美術—日本美術の今後の課題など—	植村鷹千代	絵	123
ダリの近作「不死の秘法十番」	東野 芳明	〃	297	時代と観衆の間の場—北欧の日本美術展をみて—	東野 芳明	朝日夕刊	10.5
原点の再確認へ見直されるキュブヒム	小川 正隆	朝日	11.13	70年代美術と国際展土着性と国際性の問—アジア・太平洋の現代版画—	峯村 敏明	美術手帖	383
抽象表現の展開と多様化	原田 実	読売夕刊	7.13	国際美術市場進出への課題	乾 由明	現代の眼	240
ホモ・ファベル的人間観	木村 重信	毎日	2.26	アメリカの美術状況と日本作家たち	日向あき子	日本美術	105
日本人の美的選択	松下 隆章	京都夕刊	8.22	文化交流その片貿易の実態	鈴木 進	絵	120
文化・この不可解なもの(上・下)	原田 統吉	東京夕刊	4.10,11				
特集・われわれにとって木とは何か?		S D	1				
木の文化	神代雄一郎						
日本における木の信仰	松本 勝邦						
如何なる人びとが伊勢の洗練を磨き出したのか	横山 正						
木とつきあってきた日本人	秋岡 芳夫						
木は生きている	ジョージ・ナカシマ						
大江宏の作品をめぐって	神代雄一郎						
古代美術館(2) 装飾古墳	松本 清張	芸術新潮	299				

ポップ文化とアレ ン・ジョーンズ	東野 芳明	芸術生活	296
ピンナップ極私的な 風景—日本人の性的 イメージの源泉—	石子 順造	ス	295
ソビエトの地下芸術 と公認芸術	針生 一郎	報日夕刊	10.8
ソ連美術界の<雪ど け>と<凍てつき>	木村 浩	美術新潮	292

絵 画

極私的「スーパーリ アリズム」観覧記	鈴木志郎康	美術手帖	383
特集・絵? 写真? アメリカ・ニューリ アリズム		芸術生活	299
時間をもたぬ宝石 地続きでない風景	宗 左近 高梨 豊		
特集・ピンナップ		ス	295
独身者の花嫁—絵 画からピンナップ への過程	種村 季弘		
視姦のありか—ピ ンナップ・ガール の変遷	中田 耕治		
ひとりみあげる	鈴木いづみ		
特集・ロック+イラ ストレーション		ス	302
異次元空間への旅 —ロック世代の表 現	石崎浩一郎		
座談会・絵画に於け る新しさ	山口 長男 津高 和一 乾 由明 本田 泰士 村田 好夫	美術ジャ ーナル	24
水墨画の可能性	三宅正太郎	萌 春	230
「新しいイメージ」の 画家たち	ローランド ・ペンロー ズ	季刊芸術	31
発言'74=日本画		みづゑ	826
現代日本画について	佐々木静一	ス	
特集・日本画の問題 (対談)	佐々木 直比古 大島 辰雄	日本美術	108
新人への期待と注 文	三宅正太郎		
「日本画」における今 日的課題	早見 堯	美術手帖	379
院展礼讃	竹田道太郎	萌 春	236
日本画の系譜3. 新制 作協会日本画部	桑原 住雄	ぼざある	3
日本画と洋画	石川 達三	ス	4
特集・山の美学		日本美術	111
描かれた山—なぜ 山を描かねばなら なかったのか	坂崎 乙郎		

なぜ山を描くのか	田村 一男 佐藤 大寛 足立真一郎 春日部 たすく		
日本の中の印象派	乾 由明	みづゑ	834
油絵初学明治14.5年	青木 茂	絵	126
油絵初学明治16年	芳賀 咲二	ス	124
油絵再検討のとき 上・下	柳 亮	東京夕刊	3.22, 3.23
近代の肖像画・この 未完のもの	安東 次男	芸術新潮	298
特集・自画像		日本美術	109
「自画像」への断想	宮川 寅雄		
自画像・考	瀬木 慎一		
自画像にみる心理 学的探求	中野 久夫		
特集・虎よ、虎よ	草野 紳一	芸術新潮	294
南蛮絵画—西洋との 邂逅	福永 重樹	みづゑ	828
特集・秋田蘭画		三 彩	323
秋田蘭画—鎖国下 の洋風画	武埴林太郎		
秋田蘭画の終焉	太田 桃介		
西洋銅版画と秋田 蘭画	成瀬不二雄		
年表			
秋田蘭画のロマネス クな背景	飯島 耕一	美術手帖	388
本居宣長の「江戸絵」 評	大西 廣	ス	384
唐太絵巻	網淵 謙錠	太 陽	132
夏目漱石の「文人画」	寺田 透	芸術新潮	299
現代中国美術—年画 の伝統について	鄧 健吾	萌 春	230
中国の業余画家	吉田 光邦	読売夕刊	8.2
ポーランドの版画と ポスター展	黒崎 彰	みづゑ	835
特集・現代版画の魅 力		日本美術	113
芸術として如何に 可能か	安井 収蔵		
第5回 版画グラ ン・プリを審査し て思う	吹田 文明		
作家の証言	坂瓜 厚生 上矢 津裕 高柳 裕新 多賀 漢字 若江 暎 海老原 暎 野田 哲也 青山 光佑		
現代版画の100人		芸術新潮	299
版画ブーム	岡田 隆彦		
現代版画への深い 関心	飯島 耕一		
版画コレクション 案内	ポール渡辺		

昭和49年定期刊行物所載文献

ジンプリティシスムの世界	海野 弘	ガレリア通信	3	13. 明朗展の思い出	樋口 英雄		23-6
版画散歩3、4	坂本 満	シ	3, 4	14. ホクト社と玉村方久斗	山本 政治 大路孫三郎 陸口 孝		23-7
アジアとオーストラリアの現代版画	乾 由明	視 る	87	15. 「歷程」の思い出	船田 玉樹 山本 政雄 菊地 明子		23-9
好企画相次ぐ版画展特集・挿絵の黄金時代		日 経	11.7	「歷程」をどうみるか	山本 政雄 丹生 公男	シ	シ
大衆文芸の挿絵	八木 昇			自由に飄う潮の作家たち(女流座談会)	鈴木 進 野田 好子 郷倉 和子 片岡 福球子	日本美術	107
一場のドラマとしての挿絵	石子 順造			「新制作」日本画部の脱退		芸術新潮	295
小村雪岱の意匠術	草森 紳一			マルカタ遺跡の彩色階段一新発見のエジプト絵画	川村 喜一	シ	294
竹中英太郎小論	竹中 芳			サン・サヴァン修道院教会堂の聖サヴァンと聖シブリアン殉教伝図絵の壁画について	吉川 逸治	東海大学 教養学部 紀要	5
憂国の絵師・伊藤彦造	石子 順造			コンデ美術館蔵「ペリー公のいとも豪華なる時禱書」	大島 辰雄	芸術新潮	291
高島華宵の人と作品	渡辺 圭二			爆撃から甦ったピサのフレスコ奇蹟の修復日記	P・サンハ オレージ 小野迪孝訳	シ	283
少年の日は永遠なり	鹿野 琢見			ラブレターの物語の挿絵について	渡辺 一夫	シ	294
近代挿絵評判記一挿絵における美人画の系譜	落合 清彦			アナトミア図をめぐる		美術手帖	384
最後の浮世絵師・神保明世	越野 周二			モナリザの解剖学	佐藤 泰司		
若い頃好きだった挿絵	森 茉莉			解剖図—イラストレーションとしての解剖の地図	鈴木 慶則		
僕は鞍馬天狗が好きだった	加藤 泰			ロシアの探険家・クルーゼンシュテルンの世界周航図録	羽仁 五郎	芸術生活	293
挿絵文化に関する文献	大久保久雄編			フォービスムと現代美術(マチスと野獣派展)	瀬木 慎一	読 売	8.15
大衆文芸挿絵略年表	八木 昇編			色彩の道—アンリ・マチスのことば	大森 啓助	絵	124
戦後マンガの行方—清水崑の死を機に考える	石子 順造	東京夕刊	4.3	カリタス・ローマナ—授乳をめぐるロマンチックな幻惑	ロバート・ローゼンブラム 小山昌生訳	芸術生活	303
江戸の漫画—日本人の笑いの再発掘	林 美一	シ	294	アメリカン・ポップ・アートの再評価		読売夕刊	7.11
大幸館と那些人々	山田 晩春	絵	120	ソ連現代絵画の紹介		日 経	10.14
大正絵画史	馬場 京子	萌 春	228	私にとっての安井賞	田中 岑 近岡善次郎 藤田 吉香 谷本 重義	日本美術	107
6. 二科会の活動(上)				安井賞が意味するもの	植村鷹千代	シ	シ
7. 初期文展終了まで				テムペラのブレパレション	津田 周平	京都市立 芸大研究 紀要	18
8. 大正期の日本画							
9. 草土社(前)							
10. 大正期の日本画(二)							
フェウザン会について	岡 畏三郎	絵	126				
誌上回顧展							
10. 新光洋画会から桃樹社へ	高間 惣七	美術グラフ	23-2				
11. プロレタリア美術追想	須山 計一		23-3				
12. 洪原会からNOVA美術協会へ	鶴岡 政男 大竹 久一 関川 護		23-5				

絵画のX線診断—X線によるレオナルド派作品展から	朝 日	6.13	
石膏デッサン上達法	西村 愔定	アトリエ	563
クローキーのてほどき	寺田 竹雄	シ	564
花と果物の描き方	金子 博信	シ	565
細密画の描き方	立石 鐵臣	シ	566
山岳画の描き方		シ	567
絵画の発想から完成まで	木内 廣	シ	568
人物デッサン上達法	西村 愔定	シ	569
植物画の描き方	太田 洋愛	シ	570
風景スケッチの実技	松田 博	シ	571
アクリル絵具の使い方		シ	572
油絵技法ハンドブック	佐田 勝	シ	573
新しい版画の作り方	小口 益一	シ	574
舞妓の画	北原 志緒	日本美術	110

彫 刻

特集・現代美術と彫刻の概念<定形>から<非定形>彫刻へ	中原 佑介	美術手帖	376
特集・現代彫刻と環境		シ	388
都市環境へのアプローチ	赤根 和生		
上昇する空間	堀内 正和		
彫刻の一領域について	小田 襄		
都市環境と彫刻	土方 定一	朝日夕刊	2.5
感想(野外彫刻について)	小川 正隆	VISION	4—3
都市環境の中の彫刻		芸術新潮	299
野外彫刻と環境(第4回神戸須磨離宮公園現代彫刻展)	高橋 亨	みづゑ	836
都市と彫刻	本間 正義	毎日新聞	9.10
第5回日本現代彫刻展に寄せて	針生 一郎	毎日夕刊	10.16
長野市の野外彫刻賞		芸術新潮	291
環境の中の彫刻—ニューヨーク「サイト」グループの試み		読売夕刊	4.2
バリ青年野外彫刻展		シ	7.3
明治中期における博物館の彫刻模造事業について	佐藤 昭夫	ミュージアム	277
ポリュクレイトスに関するプリニウスの記述について	尾子 隼人	美術史研究	11
戦士の像	三輪 福松	古美術	44

「ロンダニーニのピエタ」の欠損像が発見された?	菅原 明朗	芸術新潮	298
キュビスムの彫刻—自然の分解と再構成	建畠 覚造	芸術生活	304
カヴァリエレの“植物彫刻”		芸術新潮	298
私の円空	飯決 匡	読売夕刊	9.10
日々の構図—円空像		シ	3.17
仏像刻み放浪の旅	藤森 栄一	朝 日	2.26
羅漢の表情	森田拾史郎	芸術生活	297
日々の構図—日光彫		読 売	2.10
現代の立木観音		芸術新潮	298
多彩な「東南アジア立体仏展」	宮坂 宥勝	シ	293
ポロブドールの石仏と浮彫	並河 亮	毎日夕刊	2.19
日々の構図—神話の彫刻 海神・塩土老翁と山彦		読 売	10.27
日々の構図—海神の木彫		シ	5.19
カナダ・エスキモー美術協会のあつめたエスキモーの彫刻	大庭みな子	芸術新潮	300
アルミ製の“もぐら”		シ	291
森口宏一のケース入り彫刻		シ	295
速水史朗の雌型彫刻		シ	297
斎場を装飾する石彫		シ	296
光のミニチュア・オブジェ		シ	298
文化勲章受賞者の大量販売彫刻		シ	289
山村の野外モビール展		シ	300
“彫刻”が共演する実験劇		シ	シ
銀行ホールの金属レリーフ		シ	シ
モンブランにいどむ彫刻	長谷川 栄	毎日夕刊	6.8
雲水群像バりに建つ		VISION	4—1
小豆島のモニュメント・石の波		読売夕刊	11.8

工芸・デザイン・建築

デザインと工学的設計との関連についての考察	飯岡 正麻	九州産業大芸術学部研究報告	5—1
民間工芸運動論の研究1. 山本鼎の「農民美術」について	都築 邦春	秋田大学教育学部研究紀要	24
クリストファー・ドレッサーと日本	鈴木 博之	日本建築学論報	226

昭和49年定期刊行物所載文献

デザイナーの生き残る道	細江 勲夫	S D	5	陶芸家河本五郎のインテリア陶芸	芸術生活	301
日本伝統工芸の現状と将来	今泉 篤男 岡田 謙	月刊文化財	122	陶芸技法入門	田村 耕一	別冊アトリエ 118
九州のクラフト展望Ⅱ	辻 公也	九州産業大芸術学部研究報告	5-1	古代ガラス破片雑考	石黒孝次郎	陶 説 256
工芸史雑筆	吉田 光邦	日本美術工芸		ガラスをめぐって	由水 常雄	美術手帖 385
4. フランス・百科全書のこと			415	日本のガラス	池内 紀	
8. テオフィルス「各種の工芸技術」			420	びいどろ変化		
11. 家具をめぐって			424	特集・日本のガラス工芸	日本美術	110
17. 好奇と異国			430	現代のガラス工芸雑感	前田 泰次	
19. オカルトとアールヌーボー			432	私とガラス	各務 満 佐藤潤四郎 淡島 雅吉 岩田 久利	
21. ピューター物語			434	ガラスのポエジー	嶋岡 晨	
22. 風見の歴史			435	日本のガラス展を見る	大矢 鞆音	萌 春 235
鉤の原理—道具と人間のかわりあいについての考察	山永 耕平	九州産業大芸術学部研究報告	5-1	益田芳徳の“吹きガラス”		芸術新潮 295
唐草の源流を求めて	橋本 文男	読売夕刊	6.12	表現性に富む岩田糸子デザイングループ展		芸術生活 301
現代陶芸における赤絵の諸問題(座談会)	藤本 能道 川瀬 順一 吉川 水城 古川 隆久 杉本浩太郎 伊志良 光	陶 説	255	染織による日本美の再発見		芸術新潮 289
ヨーロッパの柿右衛門と様式その展開	由水 常雄	古美術	46	染と織のふるさと		太 陽 139
日本やきもの旅行		太 陽	130	草木染植物図譜	吉岡 常雄	芸術新潮 295
やきものの美と観照	吉村 財司	読売夕刊	10.22	津軽こぎん		芸術新潮 295
伝統美を訪ねて		ほざある		芭蕉布	鈴木 尚夫	視 る 89
古備前と現代備前焼			3	紫草を追って五十年	久下 司	太 陽 139
萩の窯			4	敷物一支那絨毯のこと	堀口 捨己	芸術新潮 300
天狗谷古窯発掘の成果	三上 次男	朝日夕刊	5.11	琉球の紅型に魅せられて	辻合喜代太郎	日 経 3.25
美濃焼の古窯跡を保存する	古川 庄作	日 経	3.29	浜谷明夫のテキスタイル・オブジェ		芸術新潮 291
グラフィックな陶芸		芸術新潮	289	江戸・明治の看板	石子 順造	太 陽 138
洒落た実用陶芸		シ	290	沖繩の伝統工芸	南 邦男	視 る 90
陶芸によるブラック・ユーモア		シ	295	沖繩の環境と色彩展		芸術新潮 291
手と心が綾なす美展		シ	295	故宮博物院と明清工芸	土居 淑子	美術手帖 387
ベージュ・カラー・タイル展		シ	297	韓国工芸の旅	外村吉之介	朝日夕刊 6.15
広崎裕哉の白磁・青磁展		シ	298	特集・フィンランド・デザイン—自然と人とのふれあい		S D 12
ヘンリ・ミトワの洒脱な陶芸		シ	299	フィンランド・デザインについて		
国際陶芸展に出品される清水焼		芸術生活	295	テキスタイル・デザイン		
伝統的な“かたち”の再発見—清水九兵衛展		シ	301	クッカブーロにおけるデザインの方法他		
				社会主義国のデザイン	栄久庵憲司	毎 日 11.18
				貨幣デザインの歴史		芸術新潮 290
				文と写真による家具の歴史館		シ 292



英国中世陶器の魅力	前田 正明	陶 説	255	グラフィック4展	芸術新潮	294
ポートランドの壺と ウェッジウッド	〃	〃	256	デザイナーらによる 人形展	〃	289
アール・ヌーボーの 柔らかい宝石細工	Rovert Melville	S D	6	木製おもちゃの創造 性(クルト・ネフ)	〃	〃
リパティ社の金属製 品	Shirley Bury	〃	〃	ラインとドットによ る表現	〃	290
イタリアのアール・ ヌーボー	Manfredi Nicoletti	〃	12	素木のモノ展	〃	291
特集・アーキズーム の全仕事	〃	〃	9	秋田のクラフト展	〃	292
仕立屋ズーム	磯崎 新	〃	〃	立方体と取り組む吉 本直貴	〃	〃
アーキズームの背 景	エットレ・ ソットサス	〃	〃	秋田杉卓展	〃	295
裸のデザイン	有馬 宏明	〃	〃	永原浄の照明展	〃	298
量産化と手仕事の充 足を試みる—マルチ ブル・アート展より	乾 由明	〃	3	デザイン・フォーラ ム'74展に思う	〃	299
特集・インテリアデ ザインは建築の土台 である—ウォーレン ・プラットナーの近 作2題	〃	〃	〃	コンピューター・ アートと桑原盛行の 作品	〃	〃
増殖する家具・細江 勲夫の世界	〃	〃	〃	大江宏の毎日芸術賞 受賞	〃	290
特集・現代の食器	〃	〃	5	公共福祉のための広 告デザイン賞	〃	291
		芸術新潮	291	PR誌の好企画	〃	290
	別府 得三 福田 浩 北川 靖 海上 雅臣 安部 公房 志の島 忠 福知 千代 小山富士夫 下村良之介 保田與重樹 稲塚 英樹			オリエント美術ラ リー	佐藤 雅彦	毎日夕刊 1.23
私の食器				ローカル・カラーの 復権	海上 雅臣	〃 1.28
				“未来への発言”育て たい	長谷川 栄	毎日 6.18
				海洋博と国際立公園	勝見 勝	〃 〃
				二つ国際デザイン・ ビエンナーレ	〃	読売夕刊 9.13
				<建築>		
				明治の洋風建築	村松貞次郎	近代の美術 20
				日本文化史講座26— 近代の建築	〃	月刊文化財 135
				第三世代の建築につ いて	河辺 聡	人文 22
				生活学の提唱	川添 登	朝日夕刊 4.5
				フランク・ロイド・ ライトの呪術—内蔵 空間の破れ目	草森 紳一	芸術生活 303
				復活するライト		芸術新潮 291
				“古い町並み”は生 きつづけられるか— 歴史的環境保存の問 題	那谷 敏郎	芸術生活 298
				都心の保存		芸術新潮 294
				超高層ビル群の環境		〃 292
				ネオンの消えた街		〃 289
				都市と田舎の対話	関野 克	東京夕刊 9.6
				自然と集落のかかわ り	原 広司	読売夕刊 8.28
				遺跡巡礼哀感—パル ミラ	相馬 隆 萌 春	234
スカンジナビアン・ ファニチュア・フェ ア		〃	〃			
テーブル・アートの 美		芸術生活	299			
椀と盆		芸潮新潮	289			
イタリアの陶芸—カ ルソーとザウリーの 周辺	里中 英人	毎日夕刊	3.6			
アメリカの陶工 ラ リー・エルスナの陶 芸展		芸術新潮	295			
エンゾ・マリの磁器 展		〃	300			
ブルノー・マッソ ンのクラフト		〃	298			
エロチックなインテ リア・オブジェ		〃	289			
平松保城の“針金オ ブジェ”		〃	299			
インテリア・デザイ ン入門	松浦雅デザ イン研究所	別冊アト リエ	117			
新しい字体デザイン		芸術新潮	295			
意見広告は是非か	奥山 太平	美術手帖	388			

昭和49年定期刊行物所載文献

ギリシア神殿の過渡期的形態(続)—Peristeros 出現の意味	綱本 義弘	九州産業大芸術学部研究報告	5-1	福田たね、青木繁とのロマンと情熱の生涯	矢口 国夫	三 彩	322
サン・サヴァン教会堂における尺度用法	藤本 康雄	人 文	22	青木繁、愛と放浪の生涯		太 陽	137
アルベルティの建築理論	相川 浩	美 学	98	未完成の美	近藤啓太郎		
聖パウロ教会のインテリア		芸術新潮	292	青木繁の風土と内景	松永 伍一		
ホテル・オークラの別館落成		〃	289	小説「繁」に憑かれた男	矢代 静一		
落成した最高裁新庁社		〃	295	青木繁のロマンティズムとその位置	陰里 鉄郎		
倉敷に出来たアイビー・スクエア		〃	296	絵の友達青木繁	熊谷 守一		
ノア・ビル		〃	〃	父、青木繁と「幸彦像」	福田 蘭童		
エレガントな群馬県立近代美術館		〃	298	青木繁絶筆「須崎海岸」みつかる		東京夕刊	8.19
迎賓館と現代建築	伊藤ていじ	読売夕刊	4.11	パリ画学生時代	青山 義雄	日 経	8.22
建築家よ故郷をふり返れ	中村 敏男	読 売	2.12	びいぶる一盆	赤地 友哉	芸術新潮	298
新しいイメージ建築のニューヨーク州大パーチェス分校		読売夕刊	7.15	びいぶる一弁当箱	秋岡 芳夫	〃	297
石壁の住宅		芸術新潮	294	旅の一時	秋葉 長生	VISION	4-6
集合住宅「パサディナ・ハイツ」		〃	300	逝つた星、宮本三郎	秋保 正三	〃	4-12
ノルウェーの木造ブレハブ		〃	294	特集・木内克	朝井閑 右衛門	〃	4-11
「字と空間展」に思う		〃	292	びいぶる一庭の片隈	〃	芸術新潮	295
多田美波の「光と造形」展		〃	290	びいぶる一扉	朝倉 撰	〃	294
篠原一男の新作		〃	289	私の手染め	〃	太 陽	139
原栄三郎の「写真リサイタル」		〃	299	浅羽保治		VISION	4-10
堀口捨己作品集・家と庭の空間構成		〃	290	麻生三郎	桑原 住雄	みづゑ	828
ルイス・カーンの死	中村 敏男	美術手帖	382	セザンヌの球体表現	麻生 三郎	朝日夕刊	4.12
ジョージ・ナカシマの講演会		芸術新潮	294	自作に寄せて	麻田 弁次	美術グラフ	23-8
ルドルフ・シュタイナー論		〃	299	吾妻兼治郎	桑原 住雄	みづゑ	832
ブルース・ガフ来日		〃	295	吾妻兼治郎		毎日夕刊	5.7
				吾妻兼治郎		朝 日	5.12
				山のいざない	足立真一郎	日本美術	111
				阿部乙人		VISION	4-7
				阿部展也	針生 一郎	みづゑ	832
				有賀紀典		VISION	4-9
				有島生馬先生	小山 敬三	絵	129
				追悼、有島生馬	小木曾 進	三 彩	326
				有島生馬先生をいたむ	池上 忠治	読売夕刊	9.17
				粟津潔		朝 日	10.1
				近況	粟津 潔	〃	10.21
				視点	〃	毎日夕刊	10.5, 26, 11.2, 9, 11.30, 12.7, 14, 21, 28
				粟津潔氏		日 経	11.5
				一枚のレコード	粟津 潔	読 売	11.17
				近況	安斎 重男	美術手帖	385
				川端龍子先生	安西 啓明	VISION	4-11
作家 (日本)							
(ア)							
Tさんへ、日本人教養説明教訓主義のことなど	震 嘔	現代の眼	230				
あなたにとつて<リアリズム>とは	〃	みづゑ	832				
あなたにとつて<リアリズム>とは	相笠 昌義	〃	〃				

## (イ)

飯田操朗の生涯と芸術上、下	木村 重圭	日本美術	104, 105
書棚・名案なし	飯田 善国	芸術新潮	293
ヘンリー・ムアによるヘンリー・ムア展から	〃	美術手帖	383
彫刻のわかりすぎた男、アレキサンダー・アーキベンコ	〃	みづゑ	831
わたしの正月	飯塚小珣齋	日本美術	104
野の人、森田恒友考	飯野農夫也	美術グラフィック	23-4
染物と心	飯村 沙里	VISION	4-8
ステンドグラスの池内紀子さん	五十嵐芳三	〃	4-1
美の殿堂巡礼 1~12	池田満寿夫	東京	9.3
ラ・ジョコンド嬢に関するもう一つの物語	池田満寿夫	芸術生活	293~304
わがコラージュ	〃	〃	379
池田満寿夫の休日	松岡 和子	〃	〃
イースト・ハンプトンの芸術家たち	池田満寿夫	読売夕刊	5.22
池田満寿夫氏	〃	日経	7.12
池田満寿夫のデッサンの世界	小川 正隆	朝日夕刊	11.5
池田宗弘の「暇つぶし機械」	〃	芸術新潮	293
わたしの正月	池田 遙邨	日本美術	104
恵俊彦	〃	東京	11.13
石井秀隣	〃	VISION	4-10
石川欽一郎先生の画信と俳句	石川 清一	絵	129
昭和ひとけた、東京美術学校の頃	石川 滋彦	〃	〃
石川澄	〃	VISION	4-10
石川晴彦	〃	〃	4-4
書くことの美しさは書かないこと	石川 律	日本美術	104
発言'74—日本画	石黒 直子	みづゑ	826
石黒黙の絵画世界	田中 修	芸術生活	293
豚と真珠と星	泉 茂	視る	84
わが「解体以後」	磯崎 新	美術手帖	387
磯村敏之	〃	美術ジャーナル	22.23
発言'74—日本画	稲垣 三郎	みづゑ	826
稲垣稔次郎「青楓の図屏風」	堤 淑子	視る	89
稲垣敏之	〃	美術ジャーナル	25, 26合併号
井手宣通	〃	VISION	4-6

ポール・セザンヌ考	井上長三郎	美術グラフィック	23-4
井上肇氏の「軍服」で考える	洲之内 徹	芸術新潮	293
人と作品—清水六兵衛	井上 治男	VISION	4-11
穴十空間	井上 武吉	美術手帖	883
井上洋介の墨筆とその狂肆	草森 紳一	芸術生活	293
猪熊弦一郎	〃	日本美術	108
猪原大華さん	〃	読売	4.16
恩賜賞を受賞して	猪原 大華	VISION	4-6
今井繁三郎	〃	〃	4-10
今井ロチン	〃	〃	4-4
シックな贈りもの	今関 一馬	絵	121
伊丹米夫	〃	日本美術	112
びいぶる一日、月(藤島武二の日の出)	伊原宇三郎	芸術新潮	289
あなたの<リアリズム>とは	伊牟田経正	みづゑ	832
びいぶる一盆	入江 泰吉	芸術新潮	298
入江西一郎	〃	VISION	4-10
人間、脇田和	岩崎 鐸	〃	4-12
仏伝画の可能性とインド	岩崎 巴人	三彩	317
岩崎巴人の日本寺壁画完成	〃	芸術新潮	290
インドで発見した星座の中の刻線	岩崎 巴人	〃	294
雲行仏国土絵巻	〃	日本美術	107
岩崎巴人	〃	〃	112
社交ということ	岩田 糸子	東京	4.27
岩田専太郎氏をしのぶ	尾崎 秀樹	東京夕刊	2.20
岩田専太郎年少の日々	川口松太郎	読売夕刊	2.23
岩田藤七	〃	日本美術	110
岩田藤七	〃	VISION	4-12
岩田正己	藤本 韶三	三彩	312

## (ウ)

びいぶる一瞑想の場	宇佐美圭司	芸術新潮	292
宇佐美圭司	東野 芳明	みづゑ	829
近況	宇佐美圭司	美術手帳	388
あなたにとって<リアリズム>とは	上田 薫	みづゑ	832
発言'74—日本画	上野 泰郎	〃	826
上原重和	〃	VISION	4-8
フォービズムと私たちの絵	上原 二郎	美術グラフィック	23-9
上村松園	菊地芳一郎	〃	23-3

昭和49年定期刊行物所載文献

上村松篁、淳之父子		VISION	4-10	岡鹿之助小論	寺田 千壑	三 彩	321
人と作品—清水六兵衛	上村 松篁	シ	4-11	再構築された岡鹿之助の世界	朝日 晃	日本美術	109
上村松篁と私	井上 靖	ほざある	4	岡鹿之助の音楽と釣り	新井 深	シ	シ
内島淑行		VISION	4-10	岡鹿之助ノオト	結城 信一	みづゑ	832
パリで認められた若い彫刻家(内田和孝、成田武羅)		読 売	11.16	岡さんのヒント	安井 収蔵	VISION	4-7
ぴいぶる一庭の片隅	内田 武夫	芸術新潮	295	リトグラフの色(岡鹿之助)	清岡 卓行	朝日夕刊	11.19
落葉の里	内山 雨海	日本美術	114	がらくたに生命あり	岡 信孝	日 経	7.8
墨でなければ描けない何かを	内山 岳羊	シ	104	岡崎勇次		VISION	4-9
北京の素描など	梅原竜三郎	三 彩	317	荒磯、鶴	岡崎 勇次	シ	4-12
映画「梅原竜三郎・北京」		読売夕刊	3.16	岡田謙三の新作壁画		芸術新潮	294
梅原竜三郎		毎日夕刊	12.26	岡田謙三「入江」	加藤 類子	視 る	88
				岡田高平		VISION	4-3
				あなたにとってくりアリズムとは	岡田 博	みづゑ	832
				ぴいぶる一扉	岡本謙次郎	芸術新潮	294
				岡本太郎の「若い泉」		シ	299
				二十歳の原点—あのころの私	岡本 太郎	日本美術	112
				空を流れる無邪気な空想(飛行船)	シ	日 経	1.4
				かの子をしのぶ集	シ	東京夕刊	2.23
				パリ国際センターの円卓会議	シ	読売夕刊	4.5
				夏の味と私—トマト	シ	朝 日	7.10
				有吉対岡本一家		東京夕刊	7.19
				太郎氏悲しむ(万博太陽の塔)		毎日夕刊	12.17
				岡本太郎氏の華麗な飾り額		朝日夕刊	シ
				岡本博の日本画	菊地 明子	美術グラ ラ	23-4
				人間、脇田和	荻 太郎	VISION	4-12
				奥田元宋の山水画	藤本 韶三	三 彩	324
				特集・奥田元宋		VISION	4-2
				人間奥田元宋	安井 収蔵		
				奥田元宋氏とその作品	田近 憲三		
				奥田元宋と語る			
				奥津国道	水上 杏平	シ	4-12
				奥村土牛の素描	藤本 韶三	三 彩	315
				ぴいぶる一庭の片隅	小川 マリ	芸術新潮	295
				果報者	小倉 遊亀	シ	326
				小倉遊亀	中河 与一	VISION	4-8
				小倉遊亀さん		毎 日	11.18
				ワイエス展を見て	小野 末	現代の眼	234
				徳岡神泉君の思い出	小野 竹喬	シ	235
				加藤栄三君の思い出	シ	三 彩	319
				田中恭吉、その人と作品	小野 忠重	芸術生活	297
				特集・平塚運一	シ	三 彩	316
				小野具定	吉村 貞司	シ	317

(エ)

(オ)

発言 '74—日本画	小野 具定	みづゑ	826
ヘンリー・ムアに寄せて	小田 襄	美術手帖	383
彫刻の一領域について	ス	ス	388
織田一磨小論	丹尾 安典	萌 春	228
織田広喜		日本美術	112
織田広喜	小川 正隆	VISION	4—12
緒方洪章		毎日夕刊	5.14
旅にしあれば	荻野 康児	VISION	4—4

(カ)

母の声	鹿児島寿蔵	読 売	2.24
鹿児島寿蔵氏		毎 日	11.4
下北半島縦断計画	葛西 四郎	VISION	4—2
笠洋一		ス	4—6
額椽の中	風間 完	季刊芸術	28
風間完氏		日 経	6.28
近況	柏原えつと	美術手帖	383
梶原緋佐子		日本美術	107
山になにをみるか	春日部たすく	ス	111
人間、脇田和	ス	VISION	4—12
香月泰男先生、いまも	長谷川智恵子	絵	122
特集・香月泰男の死		芸術新潮	293
香月泰男の思い出	福島 慶子		
「画家のことば」を読んで	長谷川四郎		
香月泰男		VISION	4—4
香月泰男さんの死	小川 正隆	ス	
香月泰男さんを悼む	佐々木静一	読売夕刊	3.9
香月泰男を悼む	土方 定一	毎日夕刊	3.11
香月泰男「シベリアシリーズ」山口県に寄贈		朝日夕刊	11.7
片岡球子		日本美術	113
発言'74—日本画	片岡 球子	みづゑ	826
私の近況	片谷 美香	芸術生活	298
特集・山崎覚太郎	勝 正弘他	VISION	4—10
加倉井和夫(作家訪問)		ス	4—3
びいぶる一日、月	桂 ゆき	芸術新潮	289
桂ゆきの「増殖」		ス	293
桂ゆきさん		読 売	3.4
加賀見政之		朝 日	5.31
加治朱美子	草野 守立	芸術新潮	289
加藤栄三		三彩増刊	319
マチュールの話など(対談)	岡 鹿之助 加藤 栄三		
加藤栄三君の思い出	小野 竹喬		

学生時代の栄三君	橋本 明治		
加藤さんを想う	杉山 寧		
加藤さんの人柄	高山 辰雄		
加藤栄三君を語る(座談会)	鈴木 進 中村勝五郎 山田 申吾		
折々のこと、加藤栄三文抄			
絵にかけた命	森 尚		
栄三先生と書	日比野親一		
栄三先生と高山	長縄 土郎		
兄栄三の思い出	加藤 東一		
加藤栄三年譜	岡田春生編		
加藤栄三遺作展に寄せて		日本美術	109
花の生命を描く	鈴木 進		
加藤栄三を偲ぶ	荒垣 秀雄		
あゝ遺作展、加藤栄三を悼む	竹田道太郎	萌 春	233
加藤東一		VISION	4—9
加藤東一		ぼぞある	3
警官と加藤唐九郎氏		朝 日	1.7
士一父と子(加藤唐九郎、嶺男、重高)		毎 日	10.16
近況	加藤 好弘	美術手帖	386
加納光於氏		京 都	2.3
「雪舟」随想	加山 又造	太 陽	129
発言'74—日本画	ス	みづゑ	826
角浩		VISION	4—4
門脇俊一(対談)	門脇 俊一 三宅正太郎	ス	ス
金子国義の「アリス」の絵本		芸術新潮	300
追悼金島桂華	山田 竜平	三 彩	326
金松宣正		VISION	4—11
びいぶる一扉	金森 馨	芸術新潮	294
金山平三作「発荷の旧道より」	下山 肇	視 る	80
鎗木清方1~3	井上るり子	萌 春	233, 235 236
鎗木清方さん設計の茶室公開		読売夕刊	9.2
かば焼きの縁で海外個展	鎌田 糸平	日 経	1.15
神山利夫		VISION	4—5
びいぶる一扉	亀倉 雄策	芸術新潮	294
鴨居玲	ルネ・パロット	絵	124
鴨居玲	アンドレ・パリーノ	ス	127
川上澄生、その遊びの純粋性について	大島 清次	季刊芸術	29
川上澄生	浅香 公紀	萌 春	229
川上澄生	原田 実	みづゑ	827
川上澄生の詩情	清岡 卓行	朝日夕刊	11.30

昭和49年定期刊行物所載文献

川口精六		VISION	4-4	びいぶる一柱	木内 克	芸術新潮	290
びいぶる一扉	川田喜久治	芸術新潮	294	特集・木内克		三 彩	322
特集・高山辰雄	川崎 小虎	VISION	4-9	飛天眼前	木内 克		
コンピューターは人類の敵	川崎 鈴彦	シ	4-7	木内克のしごと	原田 実		
ニコライ・N・ジュ いコフ画伯との出会い	川崎ノリオ	シ	シ	木内克		日本美術	112
川添登氏		日 経	2.8	特集・木内克		VISION	4-11
回想わがバリ時代	川端弥之助	京 都	8.24	木内克	小川 正隆		
川端龍子の芸業	河北 倫明	VISION	4-11	木内さん	朝井閑右衛門		
川端龍子先生	安西 啓明	シ	シ	デッサンの思い出。 木内克と語る	水上 杏平		
川村憲邦		シ	4-8	彫刻六十年	木内 克	毎日夕刊	9.19
河口竜夫	東野 芳明	みづゑ	833	セザンヌの栄光	木内 広	美術ジャ ーナル	22, 23 合 併号
河瀬道雄		VISION	4-7	芸術院賞を受賞して	木下 繁	VISION	4-6
びいぶる一弁当箱	河本 五郎	芸術新潮	297	びいぶる一形見(昭和 9年の二科展目録)	木下 義謙	芸術新潮	296
(キ)				アレン・ジョーンズ 一奇妙な女そして脚	木村 光佑	芸術生活	296
びいぶる一扉	菊竹 清訓	芸術新潮	294	木村忠太の世界	中河 与一	絵	122
菊竹清訓氏		日 経	11.1	木村忠太氏と私	吉田 亮	シ	124
菊池辰幸		VISOIN	4-3	木村武山	藤本 陽子	三 彩	324
菊地正男		シ	4-1	(ク)			
劉生個展をめぐるミ ステリー	瀬本 慎一	絵	123	楠瀬盛一		VISION	4-8
岸田劉生、ある日本 回帰のみちすじ	浅野 徹	芸術学研究	1	楠部彌弼		毎日夕刊	4-18
「劉生の会」が発見し た劉生		芸術新潮	299	迎賓館へ彩誕花瓶収 める(楠部弥弼)		京 都	11.23
岸本謙仁		VISION	4-8	工藤甲人	桑原 住雄	三 彩	313
北久美子		日本美術	113	工藤哲己の作品註釈	中原 佑介	シ	381
九谷の魯山人(北大 路)	須田 菁華	芸術新潮	292	レジスタンス、工藤 哲己の、工藤哲己へ の	アラン・ジ ュフロワ	シ	シ
びいぶる一柱	北川 民次	シ	291	象牙の塔から	工藤 哲己	美術手帖	386
北川民次の「エロチ カ」		シ	292	雑感国吉康雄	酒井 忠康	三 彩	321
びいぶる一敷物	北川 民次	シ	300	国吉康雄展今昔	寺田 透	みづゑ	834
シケイロスとの交友	シ	東京夕刊	1.14	久保田政子		VISION	4-4
版画集「バツタの哲 学」刊行(北川民次)		朝日夕刊	3.1	画家のこぼれ1~6	熊谷 守一	芸術新潮	289~294
ぼく的美術論	北川 民次	毎日夕刊	4.17	絵の友達青木繁	シ	太 陽	137
北村西望		日本美術	108	熊谷守一	中河 与一	VISION	4-9
喜多村知		美術ジャ ーナル	18, 19合 併号	熊谷榎		シ	4-12
特集・鬼頭鍋三郎		VISION	4-3	びいぶる一椅子	久里 洋二	芸術新潮	299
舞妓にみる鬼頭芸 術の真髄	安井 収蔵			私の近況	シ	芸術生活	297
鬼頭さんのこと 鬼頭鍋三郎と語る	田村 一男			久里洋二		朝 日	8.30
絹谷幸二氏		日本美術	107	これからの仕事	久里 洋二	毎日夕刊	10.2
絹谷幸二にきく		VISION	4-4	黒崎彰	川島真仁郎	芸術新潮	300
絹谷幸二		毎日夕刊	3.6	黒崎彰の木版画		ぼざある	3
桜谷の絵のことなど (木島)	加藤 一雄	視 る	86	版画の変貌、CCA C・ワールド・プリ ント・コンペ'73	黒崎 彰	みづゑ	828
				黒田清輝もう一つの 「朝妝図」	副島三喜男	絵	126

## (ケ)

剣持勇の孤独な闘い 宮脇 檀 芸術生活 296

## (コ)

信州に眠る「東京百景」(小泉癸巳男) 朝日夕刊 6.15  
 小泉画伯の筆塚できる(小泉清) 朝 日 2.18  
 人間、脇田和 小磯 良平 VISION 4-12  
 赤坂離宮を飾る小磯氏の「音楽」 朝日夕刊 3.26  
 小熊秀雄のこと 秋山 清 三 彩 316  
 わたしの正月 小島 丹彦 日本美術 104  
 発言・74-日本画 小島 悠司 みづゑ 826  
 特集・小杉放庵 三 彩 322  
 放庵の南画の世界 吉村 貞司  
 随想(放庵画集より) 小杉 放庵  
 モンパルナスのキキ 小杉小二郎 〃 318  
 小杉小二郎 美術ジャーナル 22, 23合併号  
 小西保文 日本美術 112  
 小林哲夫 VISION 4-3  
 小林美奈子 東 京 6.21  
 びいぶる一日、月 小林 和作 芸術新潮 289  
 びいぶる一弁当箱 〃 297  
 小林和作 日本美術 107  
 山脇信徳君の「カブリ島風景」について 小林 和作 〃 〃  
 天地豊麗(小林和作画集) 東山 魁夷 〃 111  
 小林和作画集「天地豊麗」に寄せて 谷川 徹三 〃 112  
 特集・追悼小林和作 〃 114  
 追憶 谷川 徹三  
 (座談会) 日野耕之祐田近憲三他  
 小林和作さんを悼む 里見勝蔵他  
 小林和作芸術の秘密 妹尾 正雄  
 小林和作遺稿  
 小林和作語録  
 特集・小林和作とその愛蔵コレクション VISION 4-12  
 小林さんの死を悼む 福岡 晟 〃 〃  
 小林和作の随筆  
 故小林和作氏との邂逅 土居 次義 京 都 11.23  
 小松均の水墨 吉村 貞司 三 彩 324

わたしの正月 小松 均 日本美術 104  
 美術随想 小松 義雄 VISION 4-10  
 夢二とカンディンスキー 〃 〃 4-11  
 コモ湖紀行 〃 〃 4-12  
 びいぶる一柱 小松崎邦雄 芸術新潮 291  
 小山オサム 〃 4-9  
 有島生馬先生 小山 敬三 絵 129  
 びいぶる一庭の片隅 〃 芸術新潮 295  
 小山松隆 日本美術 112  
 児島虎次郎の友情「山本朋の手紙」拾遺 小崎 軍司 絵 122  
 児山重芳 美術ジャーナル 16, 17合併号  
 びいぶる一柱 河野 鷹思 芸術新潮 291  
 香野ルミ子の絵 藤堂 司郎 三 彩 322  
 ある実話 国領 経郎 VISION 4-9  
 芸大に版画科を 駒井 哲郎 読売夕刊 3.25  
 古茂田守介の死 佐伯 隆敏 美術ジャーナル 20  
 近藤弘明 桑原 住雄 三 彩 312  
 社と寺-三井寺 近藤 弘明 読 売 4.21  
 私の近況 近藤 竜男 芸術生活 295  
 近況 〃 美術手帖 381  
 「在外」について 〃 現代の眼 230  
 郷倉千鶴、和子父娘 アレン・ジョーンズ 一路可の部屋で 合田佐和子 芸術生活 296  
 合田佐和子の作品世界 石子 順造 〃 299  
 近況 合田佐和子 美術手帖 382  
 あなたにとって<リアリズム>とは 〃 みづゑ 832

(サ)

力と名と顔 雑賀 紀光 VISION 4-1  
 如何に見るか サイタ 亨 〃 4-11  
 「絵」を紡ぐ斎藤逸郎 斎藤和雄 芸術新潮 293  
 斎藤和雄 VISION 4-2  
 斎藤和雄その「反絵画」について 州之内 徹 芸術新潮 295  
 瞽女まんだらの静劇(斎藤真一) 大島 辰雄 芸術生活 294  
 私のじょんから節 斎藤 真一 〃 〃  
 私の近況 斎藤 隆 〃 302  
 発言'74-日本画 〃 みづゑ 826  
 斎藤与里と槐樹社 松島 光秋 絵 119  
 三枝茂雄 美術ジャーナル 22, 23  
 あなたにとって<リアリズム>とは 五月女幸雄 みづゑ 832  
 びいぶる一盆 坂倉新兵衛 芸術新潮 298

昭和49年定期刊行物所載文献

坂本繁二郎が「会心の作」といった唯一の絵	二宮 冬鳥 絵	123	あなたにとつてくりアリズムとは	鳴 剛 みづゑ	832
坂本繁二郎	岸田 勉 近代の美術	21	びいぶる一庭の片隅	島田 謹介 芸術新潮	295
想い出のシェルブール	坂本 益夫 VISION	4-10	島田鮎子	VISION	4-8
左近聖章	〃	4-4	島田章三の絵画世界	原田 実 三 彩	315
左近聖章	〃	4-10	発散	島田 章三 VISION	4-12
佐伯祐三	村木 明 ほごある	3	びいぶる一敷物	清水九兵衛 芸術新潮	300
びいぶる一庭の片隅	佐熊桂一郎 芸術新潮	295	清水崑氏を悼む	石塚 友二 朝日夕刊	3.30
発言'74—日本画	佐々木裕久 みづゑ	826	特集・清水登之	三 彩	315
佐々木正芳	宮城 輝夫 美術グラフィ	23-10	清水登之、その評伝的試論	矢口 国夫	
佐藤清三郎の周辺	州之内 徹 芸術新潮	289	清水登之の年譜		
聖なる浄境	佐藤 大寛 日本美術	111	清水六兵衛作「古稀彩菖蒲水指」	藤本 韶三 〃	326
佐藤大寛	VISION	4-9	人と作品—清水六兵衛	VISION	4-11
佐藤武造の芸術	高井 蒼風 萌 春	236	清水六兵衛とその作品	田近 憲三	
発言'74—日本画	佐藤 多持 みづゑ	826	友人清水六兵衛	上村 松篁	
びいぶる一柱	佐藤 忠良 芸術新潮	291	師を語る	井上 治男	
特集・ジャコモ・マンズーと佐藤忠良(座談会)	中村伝三郎 三 彩	312	清水六兵衛氏に聞く		
佐藤忠良の軌跡(対談)	佐藤 忠良 美術ジャーナル	14, 15合併号	志村貞雄	VISION	4-4
お座敷アトリエからはお座敷彫刻しか生まれない	佐藤 忠良 毎日夕刊	1.7	志村ふくみさん	日経夕刊	8.30
字とデザイン	〃 〃	3.6	下川勝	草野 守立 芸術新潮	299
身辺雑記	佐藤 囃夫 VISION	4-2	下田義寛氏	日 経	2.15
イタリアの陶芸、カルソーとザウリーの周辺	里中 英人 毎日夕刊	3.6	びいぶる一日、月	下村良之介 芸術新潮	289
フェエンツァ国際陶芸展での造反	〃 〃	10.2	びいぶる一椅子	〃 〃	299
びいぶる一庭の片隅	里見 勝蔵 芸術新潮	295	下村良之介	源城 政好 三 彩	318
里見勝蔵	日本美術	104	発言'74—日本画	下村良之介 みづゑ	826
三岸節子の芸術	里見 勝蔵 VISION	4-9	荘司福	日本美術	114
自記八十年1~3	〃 〃	4-9~4-11	社と寺—東楽寺	荘司 福 読 売	7.21
沢オイ	毎 日	10.11	白根美代子	美術ジャーナル	16, 17合併号
沢田政広の彫刻	永井 信一 萌 春	229	城景都	草野 守立 芸術新潮	297
	(シ)		新海竹蔵さんについて	三木 多聞 現代の眼	232
びいぶる一盆	塩出 英雄 芸術新潮	298	新海竹蔵、福田豊四郎	多田 信一 三 彩	317
伊豆を訪ねて	篠崎 之男 VISION	4-5	二つの礼拝堂	新宮 晋 読売夕刊	5.2
日本無宿マンハッタン無頼控	篠原有司男 芸術生活	294	海と汽車と小さな美術館	〃 〃	5.9
東洋とぼく	〃 現代の眼	230	新道繁	VISION	4-7
近況	〃 美術手帖	376			
びいぶる一柱	篠原 一男 芸術新潮	291			
設楽章	VISION	4-10			
浅澤脚	日本美術	111			
	(ス)				
			ヘンリー・ムアに寄せて	菅 木志雄 美術手帖	383
			菅木志雄(対談)	平野 重光 〃	386
			菅木志雄論	峯村 敏明 〃	〃
			菅井汲のランプカード	〃 芸術新潮	290
			杉本鷹の日記帖から	洲内 徹 〃	298



加藤さんを想う	杉山 寧	三 彩	319	現代メキシコ美術展 ・展覧会に出品する 作家	高橋 清	現代の眼	239
文化勲章喜びの人々 (杉山寧、橋本明治)		日本美術	114	高橋節郎		日本美術	105
特集・杉山寧		VISION	4-7	私の趣味	高橋 澄爽	VISION	4-6
杉山寧氏とその作 品	田近 憲三			高橋三加子さんにつ いて	長谷川龍雄	美術グラ フ	23-5
杉山寧と語る				高橋由一再論1, 2	高階 秀爾	季刊芸術	28, 31
セザンヌの世界9	杉山 寧	読売夕刊	4.18	高橋由一	青木 茂	近代の美 術	24
杉山、橋本氏の文化 勲章に寄せて	小川 正隆	朝日夕刊	10.26	高橋由一「東北地方 風景画」の位置	細野 正信	ミュージ アム	278
杉山寧さん	田中 穰	読 売	10.29	高橋力雄		VISION	4-8
ピーニングアートと スズカワ	安井 収蔵	毎日夕刊	9.2	華宵好みの君もゆく (高島)	鹿野 琢見	日 経	3.8
わたしの正月	鈴木 青々	日本美術	104	一枚の写真	高島達四郎	VISION	4-8
鈴木勉		朝 日	6.5	高間惣七先生を惜し む	長谷川 仁	絵	121
アナトミア図をめぐ って解剖図	鈴木 慶則	美術手帖	384	高間惣七先生を偲ぶ	堀田 清治	〃	128
鈴木治「馬」	鈴木 健二	視 る	87	高松次郎の「影」の部 屋		芸術新潮	292
鱧利彦		VISION	4-3	書籍戦争	高松 次郎	〃	293
びいぶる一日、月	勝呂 忠	芸術新潮	289	ポール・セザンヌと	〃	みづゑ	829
		(セ)		現代美術(対談)	中原 佑介		
びいぶる一柱	清家 清	芸術新潮	290	あなたにとって<リ アリズム>とは	高松 次郎	〃	832
びいぶる一椅子	〃	〃	299	遺作展を前に、中村 研一先生を思う	高光 一也	絵	126
社と寺—上野東照宮	〃	読 売	4.28	高光一也		VISION	4-12
わたしの正月	妹尾 正彦	日本美術	104	びいぶる一日、月	高山 辰雄	〃	319
小林和作芸術の秘密	〃	〃	114	加藤さんの人柄		VISION	4-9
五年目ごとの自画像	関野準一郎	〃	109	魂の告白、高山絵 画によせて	小川 正隆		
「関野五十三次」好評 (関野準一郎)		朝日夕刊	12.11	我々の前に道はな い	鈴木 進		
書棚の硝子が泣いて いる	関野準一郎	芸術新潮	293	情念と表現性	村木 明		
関根正二の芸術	宮嶋 美明	VISION	4-9	光と翳の領域	水上 杏平		
朱い彗星、関根正二	松永 伍一	ぼさある	4	高山辰雄の思い出 インタビュー	川崎 小虎		
びいぶる一日、月	関根 伸夫	芸術新潮	289	びいぶる一桂	滝口 修造	芸術新潮	290
ヘンリー・ムアに寄 せて	〃	美術手帖	383	故竹内画伯(竹内栄 三郎)	荘村 義雄	日 経	4.1
		(ソ)		栖霞とその周辺(竹 内)	岡部 三郎	近代の美 術	22
蟬	曾宮 一念	朝日夕刊	8.13	私にとって日本画と は	竹内 真理	日本美術	108
		(タ)		竹田鎮三郎木版画集	久保貞次郎	芸術生活	299
高桐禎雄		日本美術	110	ホセ・グァダルーベ・ ボサダの木版画	竹田鎮三郎	〃	304
高瀬哉仲		VISION	4-10	竹谷富士雄		日本美術	104
高田博厚		日本美術	112	竹久夢二	小倉 忠夫	近代の美 術	23
パリにて	高田 博厚	朝日夕刊	10.28	竹久夢二と関東大震 災	秋山 清	芸術生活	302
高野涼堂		VISION	4-6				
高橋秀のフランクな 銀行インテリア		芸術新潮	299				

昭和49年定期刊行物所載文献

竹久夢二、善意の敗北者	酒井 忠康	美術手帖	380	谷川晃一	川島真仁郎	芸術新潮	296
夢二のおんな	横尾 忠則	〃	〃	新春対談	谷口 吉郎 岡田 謙	眼代の眼	231
あなた、夢二、大正の家	長谷川 堯	〃	〃	私の履歴書1~26	谷口 吉郎	日 経 読 売	2.1~2.26 6.2
夢二とカンディンスキー	小松 義雄	VISION	4-11	湖畔の碑	〃	VISION	4-8
不可思議な夢二の人氣		朝日夕刊	1.11	女人高野	谷野 圭一	日本美術	107
新風土記一岡山・夢二1~11		〃	7.11~7.23	私にとっての安井賞	谷本 重義	美術グラ フ	23-10
武井篤胤		VISION	4-9	ホクト社と玉村方久斗		朝 日	6.30
びいぶる一形見	田坂ゆたか	芸術新潮	296	丹下健三		(チ)	
田崎広助		日本美術	105				
一枚の写真	田崎 広助	VISION	4-9	わたしの正月	近岡善次郎	日本美術	104
田島征三さんが画文集「土の絵本」				私にとっての安井賞	〃	〃	107
田島なす美	田中 皓一	萌 春	229			(ツ)	
故田中恭吉氏の芸術に就いて	萩原朔太郎	芸術生活	297				
田中恭吉、その人と作品	小野 忠重	〃	〃	中村彝先生を想い、長谷川仁氏に呈する書	塚本 茂	絵	126
田中信太郎		みづゑ	835	特集・芳年、狂気の構造		美術手帖	387
私にとっての安井賞	田中 岑	日本美術	107	時代の暗転と伝統	橋本 治		
田辺武	安井 収蔵	毎日夕刊	5.15	<悲劇>の傍観者	松田 修		
豊富な金髪の美女のむれ	田淵 安一	季刊芸術	28	芳年、その振りとなぎ	粕 三平		
死と生殖	〃	〃	31	辻葦夫		VISION	4-4
噫、辻永先生	田村 一男	絵	127	秋に寄せて	辻 葦夫	〃	4-11
高原の画家、田村一男	久富 貢	三 彩	324	辻晋堂の「粘土細工」		芸術新潮	300
高原への執着	田村 一男	日本美術	111	びいぶる一弁当箱	辻 清明	〃	297
鬼頭さんのこと	〃	VISION	4-3	噫、辻永先生	田村 一男	絵	127
宮本三郎を惜しむ	田村孝之介	絵	130	亡き父、辻永を偲ぶ	辻 朗	VISION	4-9
田村孝之介	藤本 詔三	三 彩	313	95歳の春、津田青楓氏に聞く	堀 利貞	毎日夕刊	3.4
宮本君と私	〃	〃	314	私財を投じ「青楓美術館」		朝 日	10.15
田村孝之介		VISION	4-2	透明の美術館	津田 鉄夫	VISION	4-10
びいぶる一柱	多賀谷伊徳	芸術新潮	291	アンドリュウ・ワイエス氏の婦納法	高津 和一	視 る	86
多賀谷伊徳の磁器板レリーフ		〃	296	土田麦穂「海女」	内山 武夫	〃	85
多田昌平		VISION	4-6	びいぶる一瞑想の場	土谷 武	芸術新潮	292
ヘンリー・ムアに寄せて	多田 美波	美術手帖	383	堤淑子	川島真仁郎	〃	〃
夜空にシャンデリアビル(多田美波)		読売夕刊	2.1	旅の思い出と決意と	常岡卯三郎	日本美術	111
銀座リービル(多田美波)		朝日夕刊	3.7	びいぶる一桂	坪内節太郎	芸術新潮	291
アメリカの詩情(A・ワイエス展から)	多田 美波	日経夕刊	4.16			(テ)	
橘天敬		日本美術	113	作った緞帳、はや千点	寺石 正作	日 経	4.9
世界における日本の絹織物	竜村 平蔵	太 陽	139	寺島稜		美術ジャ ーナル	21
キュービズムの彫刻	建畠 覚造	芸術生活	304	中近東旅行記	寺田 竹雄	絵	124
あなたにとって<リアリズム>とは	〃	みづゑ	832				

浜辺 寺田 政明 VISION 4-9  
 作家の記録(対談) 寺田 政明 美術ジャーナル 25, 26合併号  
 吉井 忠

(ト)

ほんとの絵かき(宮本三郎) 東郷 青児 三 彩 314  
 東郷青児、東郷たまみ 日本美術 104  
 特集・徳岡神泉遺作展 現代の眼 235  
 神泉の芸術 河北 倫明  
 徳岡神泉君の思い出 小野 竹喬  
 徳岡神泉先生の思い出 山岸 純 現代の眼 235  
 父神泉を憶う 徳岡 房子  
 徳岡神泉先生の思い出 山田 龍平 〃 236  
 徳岡神泉と現代美術 久富 貢 読売夕刊 6.11  
 びいぶる一弁当箱 利根山光人 芸術新潮 297  
 利根山光人の陶板壁画 〃 〃  
 メキシコというところ 利根山光人 現代の眼 298  
 鉄斎鑑定会控え 大川 達雄 芸術新潮 293  
 鉄斎の「北遊日記」から 伊藤 敏子 日本美術工芸 432  
 あすへの話題一絵もまた人(富岡鉄斎) 宮道 大五 日経夕刊 5.8  
 特集・富田溪仙 三 彩 321  
 近代の非合理・矛盾を描いた溪仙(座談会)「無用の用」抜萃 佐々木静一 菊池隆志 西上 昇  
 富永太郎伝への追加 大岡 昇平 朝日夕刊 11.21  
 戸井昌造、秩父を描く第1回展 東京 11.24  
 M・C・エッシャーのリトグラフ 戸村 浩 みづゑ 837  
 豊秋半次 日本美術 111  
 豊福孝行 美術ジャーナル 18, 19合併号  
 ロマネスクの犬 豊福 知徳 芸術新潮 291  
 内なる日本への回帰 〃 毎日夕刊 12.12  
 土井虎賀寿、素描と放浪と狂気と 洲之内 徹 芸術新潮 297  
 今秋バチカン美術館に収蔵の堂本印象「母と子」公開 京都 7.21  
 堂本印象、ローマ教皇庁の「大十字騎士章」を授与 〃 〃 11.29

(ナ)

直原玉青氏と「双傑対陣」 田近 憲三 萌 春 231  
 びいぶる一椅子 仲田 好江 芸術新潮 299  
 モロッコから南仏へ 〃 日本美術 104  
 仲田好江 〃 110  
 仲田好江さん 日経夕刊 5.17  
 パリの数日 中川 一政 読売夕刊 4.12  
 中川直人「白い天使」 小倉 忠夫 視 る 90  
 中畠一字 VISION 4-12  
 画家の近況 中林 忠良 芸術生活 293  
 近況 〃 美術手帖 376  
 中林松太郎 水上 杏平 VISION 4-12  
 中堀愛作 〃 4-10  
 びいぶる一庭の片隅 中村 銀平 芸術新潮 295  
 遺作展を前に、中村研一先生を思う 高光 一也 絵 126  
 中村忠二の風変りな生活と意見 大西 信行 芸術生活 293  
 中村彝先生を想い、長谷川仁氏に呈する書 塚本 茂 絵 126  
 中村彝覚書 宮川 寅雄 美術手帖 376  
 びいぶる一柱 中村 宏 芸術新潮 291  
 私の近況 〃 芸術生活 304  
 擬主体ゼロ所見 〃 美術手帖 383  
 中村正義 桑原 住雄 みづゑ 834  
 中村百合子 VISION 4-10  
 長井雲坪余譚 高井 蒼風 萌 春 228  
 遠い花火 長繩 士郎 VISION 4-8  
 追憶から追憶へ、長原、藤島両先生回想 小堀 杏奴 絵 120  
 永井都 VISION 4-9  
 二十歳の原点一若き日の交友 永瀬 義郎 日本美術 112  
 びいぶる一扉 永田 力 芸術新潮 294  
 びいぶる一瞑想の場 流 政之 〃 292  
 流政之 土方 定一 〃 295  
 流政之の彫刻「風の石笛」 読売夕刊 2.6  
 流政之のモニュメント 小川 正隆 朝日夕刊 6.1  
 シルクロード写真展 並河 万里 読売夕刊 5.27  
 並木義治 VISION 4-4  
 パリで認められた若い彫刻家二人(成田武羅、内田和孝) 読売夕刊 11.16  
 びいぶる一形見 灘波田龍起 芸術新潮 296  
 私の近況 〃 芸術生活 299  
 灘波田竜起 日本美術 111  
 七彩工芸グループ 安井 収蔵 毎日夕刊 5.17

(ニ)

発言'74—日本画	西 真	みづゑ	826
西川ひろみ	川島真仁郎	芸術新潮	298
墨彩への道、西野新川の場合		萌 春	231
私の趣味	西山 真一	絵	124
西山翠嶂	菊地芳一郎	美術グラフィック	23—2

(ホ)

雑感	根上 富治	VISION	4—4
----	-------	--------	-----

(ノ)

野口彌太郎	中河 与一	VISION	4—10
セザンヌの世界8	野口弥太郎	読売夕刊	4.17
びいぶる—数物	野田 哲也	芸術新潮	300
野田哲也	乾 由明	美術手帖	388
僕の最近の日常生活	野田 哲也	シ	シ
野中ユリの“絵本、		芸術新潮	291
漂白の画家(のむら清六)の描くシヨナラの石像		シ	296
書棚	野見山暁治	シ	293

(ハ)

人間、脇田和	芳賀 力	VISION	4—12
びいぶる—一庭の片隅	裁原 英雄	芸術新潮	295
橋本関雪の素描	村越 英明	美をつくし	76
学生時代の榮三君	橋本 明治	三 彩	319
橋本芸術を礼讃する	竹田道太郎	シ	324
橋本明治		日本美術	108
文化勲章喜びの人々(橋本明治、杉山寧)		シ	114
彩影	橋本 明治	日 経	1.1
杉山、橋本氏の文化勲章に寄せて(橋本明治)	小川 正隆	朝日夕刊	10.26
1枚の写真	橋本八百二	VISION	4—12
長谷川彰一		ぼざある	3
長谷川利行「酒祭り・花鳥喜世子」	洲之内 徹	芸術新潮	290
長谷川利行と歌人金沢種美をめぐる謎	ワシオ・ナシヒコ	美術グラフィック	23—7
長谷川昇先生の思い出	渡辺祐一郎	絵	125
林の中で	埴 賢二	VISION	4—12
林健造		シ	4—4

まぼろしの名作二件  
「出獄の日のO氏」  
「野童女」(林俊衛)

私的の日本美術史—12 速水御舟	坂崎 乙郎	芸術生活	296
海の墓	速見 史朗	シ	299
特集・芸術とリアリズム—写真に慣らされた眼	浜岡 昇	美術手帖	383
浜田観、昇児父子		VISION	4—9
新たに誕生する濱田庄司の「益子参考館」	金子 量重	芸術新潮	294
益子五十年、浜田庄司氏に聞く		毎日夕刊	1.7
浜田庄司		朝 日	3.4
私の履歴書1—29	浜田 庄司	日 経	4.24~5.23
美德	浜田 台児	VISION	4—3
二十才の原点—みちのくの冬	浜田 知明	日本美術	112
古画の心を模写	林 司馬	日 経	12.2
私の近況	原 健	芸術生活	300
原賢司		VISION	4—11
原撫松	丹尾 安典	萌 春	237, 238
原田直次郎の牡丹	三宅正太郎	S D	1
早川義孝		VISION	4—6
針生乾馬		シ	4—10

(ヒ)

稗田一穂氏		日 経	10.18
唐招提寺への道7—15	東山 魁夷	芸術新潮	289~298
北国にひかれる心	シ	日本美術	109
東山魁夷		VISION	4—6
久田弘		美術ジャーナル	25.26合併号
秀島由紀男の銅版の抒情詩		芸術新潮	294
京都のエミリオ・グレコ	日野耕之祐	VISION	4—1
平岩洋彦		日本美術	105
平川敏夫	桑原 住雄	三 彩	315
私の近況	平賀 敬	芸術生活	301
平沢喜之助		VISION	4—11
平田晴耕	菊地 明子	美術グラフィック	23—3
特集・平塚運一		三 彩	316
ウソのようなホントの話	平塚 運一		
若き日の回想	小野 忠重		
びいぶる—弁当箱	平野トシユ	芸術新潮	297
平野敏三		東 京	12.21
骨董夜話	平山 郁夫	太 陽	128~133

パチカソへ寄贈の日本画完成(平山郁夫、前田青邨)	(三)	日本美術	114
発言'74—日本画	平山 郁夫	みづゑ	826
日本の心を模写(高松塚古墳壁画)	〃	日 経	1.9
高松塚古墳の壁画模写を終えて	平山 郁夫	読売夕刊	3.23
忘れ得ぬ日	〃	読 売	7.28
高松塚古墳壁画を模写して	〃	朝日夕刊	8.21
広本季与丸		VISION	4—3
日和崎尊夫		芸術新潮	291

(フ)

深沢紅子		VISION	4—4
第5回版画グラン・プリを審査に思ふ	吹田 文明	日本美術	113
特集・福井良之介		VISION	4—8
福井良之介の眼	桑原 住雄		
友人福井良之介	児島 徹郎		
福井良之介と語る			
書棚	福沢 一郎	芸術新潮	293
私の地獄絵、福沢一郎氏に聞く	堀 利貞	毎日夕刊	7.8
福士朋石		VISION	4—10
思い出あれこれ	福島金一郎	絵	130
表紙によせて	福田 繁雄	現代の眼	240
福田繁雄	安井 収蔵	毎日夕刊	5.18
第5回ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレを見て	福田 繁雄	朝日夕刊	8.27
私の絵日記24〜32	福田 新生	美術グラフィック	23—1〜23—9
宮本三郎君を悼む	〃	〃	23—10
1枚の写真	〃	VISION	4—11
福田たね、青木繁とのロマンと情熱の生涯	矢口 国夫	三 彩	322
福田豊四郎	武埴林太郎	現代の眼	232
福田豊四郎、新海竹蔵	多田 信一	三 彩	317
福田平八郎の死		芸術新潮	293
福田平八郎氏を悼む	藤本 韶三	〃	〃
	池田 遙邨		
追悼・福田平八郎先生	佐々木直比古	日本美術	107
	河北 倫明		
福田平八郎回想	今泉 篤男	東京夕刊	3.25
福田平八郎氏を悼む	久富 貢	読売夕刊	〃
福田平八郎の画業	吉村 貞司	京 都	3.26
福田平八郎さんを悼む	小川 正隆	朝日夕刊	〃
福田平八郎さんを悼む	亀田 正雄	毎日夕刊	4.1

福田平八郎氏の名作発見		每 日	7.2
福地敬治		美術ジャーナル	20
腕一本で陶芸修業(藤井恵美)		朝 日	4.21
びいぶる一庭の片隅	藤島亥治郎	芸術新潮	295
追憶から追憶へ、長原、藤長両先生回想	小堀 杏奴	絵	120
藤島作品と日動画廊	日吉 功	〃	124
藤田喬平の手吹きガラス		美術グラフィック	23—8
藤田喬平		VISION	4—9
藤田嗣治「日本脱出」の手紙	朝日 晃	芸術新潮	290
私にとっての安井賞	藤田 吉香	日本美術	107
暮末の志士、藤本鉄石の絵	吉田 正明	〃	105
描かれた風景	藤本東一良	絵	123
窓の眺め	〃	〃	129
ノルマンディの港	〃	VISION	4—3
二重作龍夫の世界	〃	〃	〃
二重作龍夫の作品	植村鷹千代		
二重作龍夫の気迫	三宅正太郎		
ベニスに想ふ	二重作龍夫		
(対談)	中河 与一		
びいぶる一形見	舟越 保武	芸術新潮	296
特集・古川龍生		三 彩	318
古川龍生	竹山 博彦		
古川龍生制作日記より			

(ホ)

細野尚志		VISION	4—9
びいぶる一盆	細見古香庵	芸術新潮	298
高間惣七先生を偲ぶ	堀田 清治	絵	128
堀田清治		日本美術	105
たつまき	堀田 清治	VISION	4—2
びいぶる一形見	堀内 正和	芸術新潮	296
円空随筆、果敢即決の形	〃	太 陽	136
特集・現代美術と彫刻の概念、堀内正和		美術手帖	376
透明な形の受刊者	赤塚 行雄		
摩訶止観	最上 寿之		
僕のこと	堀内 正和		
早く歩きすぎたアルキベンコ	〃	〃	382
他山の岩—ヘンリー・ムーア	〃	毎日夕刊	5.29
先生やめると人相よくなる	〃	〃	7.31

JINのアートエアメ  
ール 焔 一人 VISION 4-1

本郷新 日本美術 112  
旅すずり

(マ)

発言 '74-日本画 前沢 幸三 みづゑ 826  
前田謙太郎さん 東京 9.17

パチカンへ寄贈の日本画完成(前田青邨、平山郁夫) 日本美術 114

京都芸大の模写したイタリア中世フレスコ画 前田 常作 芸術新潮 295

びいぶる一形見 296

社と寺一大岩山日石寺 読 売 10.6

前林章司 VISION 4-3

牧野邦夫 ほざある 3

楨文彦氏 日 経 5.10

松井叔生 美術ジャーナル 24

松岡正 VISION 4-4

わが熱帯を求めて 松岡 達英 芸術生活 298

随筆 松岡 政信 VISION 4-11

松岡吉一 水上 杏平 4-12

松崎鐘美 日本美術 108

松沢宥小論 たにあらた 美術手帖 378

近況 松沢 宥 386

斎藤与里と槐樹社 松島 光秋 絵 119

びいぶる一盆 松田 権六 芸術新潮 298

松原直子作「寂寥」H・Dソロの“ウォールデン”による版画集 小倉 忠夫 視 る 83

松本静太郎 VISION 4-10

松本哲男 上野 憲示 萌 春 236

びいぶる一瞑想の場 松本富太郎 芸術新潮 292

発言 '74-日本画 松本 文子 みづゑ 826

松山清一 東京 12.19

書の伝統の意義 町 春草 ほざある 3

丸木位里 日本美術 109

「原爆の図」その後、丸木位里、俊夫妻に聞く 毎日夕刊 8.1

丸木夫妻の「原爆の図美術館」 東京夕刊 8.5

ゴンとアア 丸木 位里 毎日夕刊 10.3

二十歳の原点一いまに伝わる熱情 丸谷 瑞堂 日本美術 112

丸山司瑠 VISION 4-11

(ニ)

三浦俊助 日本美術 106

私の近況 三尾 公三 芸術生活 296

三尾公三 桑原 住雄 みづゑ 830

特集・三上誠 三 彩 312

出会いがたきひと 針生 一郎

三上誠「断層の化石A」 木村 重信 視 る 82

三上正寿 VISION 4-10

三岸さんの人と作品 扇谷 正造 日本美術 109

三岸節子 211

表紙のことば 三岸 節子 213

炎の女流画家・三岸節子 VISION 4-9

三岸節子の芸術と近作について 匠 秀夫

花と三岸さん 水上 杏平

三岸節子の芸術 里見 勝蔵

好きな絵 芝木 好子

インタビュー

三岸節子さん 毎日夕刊 5.22

びいぶる一柱 三雲祥之助 芸術新潮 290

ティグリス・ユーフラテス文明展をみて 3 東京夕刊 3.9

モナリザの前で 朝日夕刊 5.2

三栖右嗣 ほざある 4

びいぶる一柱 三輪 龍作 芸術新潮 291

三輪良平 VISION 4-5

びいぶる一敷物 水谷 淳 芸術新潮 300

水船六洲 VISION 4-10

皆川月華 日本美術 113

特集・山崎覚太郎 皆川 月華 VISION 4-10

人間、脇田和 南 政善 4-12

宮下泉 4-6

関根正二の芸術 宮嶋 美明 4-9

わたしの正月 宮之原 謙 日本美術 104

宮本三郎を惜しむ 田村孝之介 絵 130

宮本三郎 三彩増刊 314

宮本三郎文抄

宮本三郎さんとカメラ 金丸 重嶺

ほんとの絵かき 東郷 青児

宮本君と私 田村孝之介

宮本三郎の世界 三宅正太郎

宮本三郎年譜

追悼、宮本三郎 藤本 韶三 三 彩 326

宮本三郎君を悼む 福田 新生 美術グラフ 23-10

逝った星、宮本三郎 VISION 4-12

宮本三郎、追悼 やりきれぬ寂しさ	三宅正太郎 田村孝之介		
宮本三郎先生と私 画家の生き方	大久保実雄 山本 文彦		
休むことを知らな かった画家	秋保 正三		
巨匠失う、宮本三郎 さんの死	田中 穰	読売夕刊	10.14
びいぶる一椅子	宮脇 檀	芸術新潮	299

(ム)

びいぶる一柱	向井 潤吉	芸術新潮	290
びいぶる一弁当箱	〃	〃	297
びいぶる一柱	向井 良吉	〃	291
向井久万の仏画	藤本 韶三	三 彩	315
画家のこぼれ話1~6	棟方 志功	芸術新潮	295~300
私の履歴書1~28	〃	日 経	9.17~ 10.15
びいぶる一日、月 1枚の写真	村井 正誠	芸術新潮	289
特集・村上華岳	〃	VISION	4-10
村上華岳の世界	木村 重圭	三 彩	320
村上華岳主要文献			
華岳随想	佐々木直比 古	みづゑ	829
村山槐多18~29	草野 心平	絵	119~130
生涯中の絵を	村上 知義	ぼざある	4

(モ)

特集・堀内正和	最上 寿之	美術手帖	376
最上寿之	中原 佑介	〃	387
世界に最初の感覚を 持った人が生まれる	最上 寿之	〃	〃
望月春江		VISION	4-8
私の地誌	木山 唯雄	絵	122
あなたにとって<クリ アリズム>とは	森 秀集	みづゑ	832
森島八洲樹		VISION	4-11
森田恒友	倉田 三郎	美術グラ フ	23-4
野の人、森田恒友考	飯野農夫也	〃	〃
回想対談	森野 嘉光 菊地芳一郎	〃	23-8
近況	森山 大道	美術手帖	382
両角修	草野 守立	芸術新潮	295

(ヤ)

時差のあなたの「死」 尻切れの中近東紀行	八木 一夫	〃	290
-------------------------	-------	---	-----

キリシタン美術の再 発見一西洋との出会 い	〃	美術手帖	379
妻を語る	〃	京 都	1.21
安井曾太郎の「安倍 先生像」のことにふ れて	稲田 正義	絵	128
安田侃	川島真仁郎	芸術新潮	294
安田鞆彦		三彩増刊	326
高麗山(歌集より)			
美のこころ(対談)	安田 鞆彦 河北 倫明		
山のいただき	入江 相政		
草子洗い	高尾 亮一		
そこはかとなく	水沢 澄夫		
芸代時代の安田先 生	羽石 光志		
果報者	小倉 遊亀		
安田鞆彦先生断想	吉田 善彦		
入門の頃	森田 曠平		
美の探求者	縣 治朗		
安原善明の陶芸		美術グラ フ	23-8
ジャコモ・マンズー	保田 春彦	〃	826
保田春彦	桑原 住雄	みづゑ	836
二十歳の原点—おの れの生の証し	柳原 義達	日本美術	112
柳原義達		京 都	10.11
あなたにとって<クリ アリズム>とは	矢野 正治	みづゑ	832
人間、脇田和	矢橋 六郎	VISION	4-12
私の近況	矢柳 剛	芸術生活	303
特集・現代版画の魅 力—矢柳剛		日本美術	113
山口壯夫	藤本 韶三	三 彩	315
鳥居派浮世絵、老い の筆にすがる(山川 勝三郎)		朝 日	5.13
徳岡神泉先生の憶い 出	山岸 純	現代の眼	235
びいぶる一扉	山口 勝弘	芸術新潮	294
あなたにとって<クリ アリズム>とは	〃	みづゑ	832
山口勝弘	安井 収蔵	毎日夕刊	5.13
映画の原点を問い直 す	山口 勝弘	〃	8.8
びいぶる一柱	山口 長男	芸術新潮	291
わたしの正月	〃	日本美術	104
二十歳の原点—絵画 への滲透	〃	〃	112
やまとなでしこは武 画両道	山口 民子	日 経	5.11
特集・山崎覚太郎		VISION	4-10
現代漆工芸と山崎 さん	安井 収蔵		





渡辺武雄	VISION	4-4	カンディンスキー描象絵画の成立	西田 秀穂	みづゑ	837
視点	渡辺 力	毎日夕刊 4.4, 4.1 8, 4.25, 6.27	デ・キリコの“男っぽさ”	匠 秀夫	視 る	81
偶感	渡辺祐一郎	絵 122	パリ時代のキリコ(回想記より)		ゝ	81
長谷川昇先生の思い出	ゝ	ゝ 125	チャック・クロース	安井 収蔵	毎日夕刊	5.10
私の放浪戦記	渡辺 幸雄	VISION 4-9	クラナハの女たち	柴田 翔	美術生活	302
ザ・プレイ	東野 芳明	みづゑ 837	エミリオ・グレコ「うずくまる女」	下山 肇	視 る	91
作 家 (外国)			京都のエミリオ・グレコ	日野耕之祐	VISION	4-1
アーキペニコの回顧展		芸術新潮 293	ゴヤの版画研究覚え書	遠藤 恒雄	愛知県立芸大紀要	4
アーミテージのアップ・ホームな近作		ゝ 299	シケイロスを追想して	石垣 綾子	絵	21
アーミテージの彫刻の素描	酒井 忠康	みづゑ 837	シケイロスの人と芸術	瀬木 慎一	京 都	1.11
一ウィリアム・アーレンの世界一	日向あき子	芸術生活 293	シャガールの銅版画	川端香男里	みづゑ	833
黒の魔術師マリオ・アパチ		ぼざある 4	挿絵「死せる魂」			
早く歩きすぎたアルキペニコ	堀内 正和	美術手帖 382	シュネイデルを訪ねて	小川 正隆	VISION	4-6
彫刻のわかりすぎた男＝アレキサンダー・アーキペニコ	飯田 善国	みづゑ 831	特集・アレン・ジョーンズ		芸術生活	296
特集・アンディ・ウォーホル		芸術生活 304	路可の部屋で	合田佐知子		
ウォーホルの「悲しみ」	清水 哲男		奇妙な女そして脚	木村 光佑		
アンディ・ウォーホル・ミステリー	日向あき子		遅まきの作家	栗田 亮		
ウォーホルに関する若干の資料	松崎 彰編	ゝ ゝ	・アレン・ジョーンズ(インタビュー)女・脚・ハイヒール		美術手帖	379
ウォーホル論を複製する試み	寺山 修司	みづゑ 836	切り裂きジャックへの生け贄	日向あき子		
ウォーホル＝その逆説	松本 俊夫	ゝ ゝ	フランシスコ・スニガ氏とその作品	倉沢 実	現代の眼	239
剽窃の美学・ヴァンダーリヒのマニエリスム	坂崎 乙郎	芸術生活 303	アントニオ・セギの“政治諷刺”		芸術新潮	297
ヴァンダーリヒの女たち	ゝ	日本美術 112	セザンヌ事始め	村瀬 雅夫	絵	122
M. C. エッシャーのリトグラフ	戸村 浩	みづゑ 837	画家が語るセザンヌ	村山 槐多 前田 寛治 万 鉄五郎 坂本繁二郎 林 武	ゝ	292
描線の美ハンス・エルニの版画	花田 学	芸術生活 295	ポール・セザンヌ考	井上長三郎	美術グラフィ	23-4
マックス・エルンストとルネ・シャールの詩画集「素早い歯」	出口 裕弘	みづゑ 835	セザンヌの栄光	木内 広	美術ジャーナル	22.23
フリダ・カロの生涯と作品	千野 境子	芸術生活 301	セザンヌ「サント・ヴィクトワール山」に関して	丹尾 安典	萌 春	231
ポーランドの画家ガーベルの「東京幻想」	ブラスタ・チハーコヴァ	ゝ 298	ポール・セザンヌと現代美術(対談)	中原 佑介 高杉 次郎	みづゑ	829
カルステンス《夜とその子ら》	風巻 孝男	芸術学研究Ⅰ	セザンヌ・美の殉教者		読 売	3.29
ブラジル人画家U. ガレラと「書」	藤 昇一	芸術生活 296	セザンヌの球体表現(セザンヌ展から)	麻生 三郎	朝日夕刊	4.12

昭和49年定期刊行物所載文献

セザンヌの世界1～10	辻野多恵子 脇田和 富村惣一 河村盛隆 丸谷好蔵 野口才一 杉山太郎 田中寧江	読売夕刊	4.2～22	デューラーの遍歴時代	下村 耕史	九州産業 大芸術学 部研究報 告	5-1
セザンヌ・人と芸術 特集・天界からの予 言ゾネンシュター ン	高階 秀爾	シ	4.30	ジョージ・トゥー カー	日向あき子	みづゑ	829
芸術裏街道の孤高 聖者	ハンス・ベル ムール 訳・種村季 弘	芸術生活	301	ドミエと七月王政	アーネス ト・サトウ	美術手帖	378
ベルリンの予言者	エドゥアル ト・ロディ テイ 種村季弘			ローラン・トポール 近作版画集	栗田 亮	芸術生活	294
抗議からの出発	ウィーラン ト・シュミ ート 岡部仁			エミール・ノルデ ニ	土肥 美夫	みづゑ	830
余はなにゆえに絵 を描くか	フリードリ ッヒ・シュ レーダー・ ゾネン シュター ン 訳・種村季 弘			ペーター・パウルの リトグラフ	野村 太郎	シ	828
フリードリヒ・シ ュレーダー・ゾ ネンシュター ン展 歴書(1892～1955)	種村 季弘			ジョセフ・ヒーブの 時計彫刻	藤 昇一	芸術生活	301
ゾネンシュター ン探訪記	種村 季弘			ピカソの第五次元	柳 亮	絵	123
ゾネンシュター ン道化術	巖谷 国土	みづゑ	834	ピカソ回想<黒曜石 の頭蓋>より1～5	アンドレ・ マルロー 訳・竹本忠 雄	芸術新潮	296～300
神聖詐欺師ゾネ ンシュター ン	種村 季弘	シ	シ	J・H・フュッスリ ニ悪魔主義の象徴	由良 君美	みづゑ	827
モーリス・ルイス、 アントニオ・タピ エス2人展		読売夕刊	8.22	出光美術館とサム	サム・フラ ンシス	芸術新潮	291
イヴ・タンギー	吉増 剛造	シ	837	サム・フランシスの 色と空間	ジョセフ・ ラヴ	美術手帖	378
ダド=甘い殺戮の跡	與謝野文子	シ	826	フリートリヒ、爆発 的な人気		読売夕刊	11.19
ダリの近作「不死 の秘法十番」	東野 芳明	芸術新潮	297	フンデルトワッサー の“箱”		芸術新潮	291
特集 ワラス・ティ ンの新作				ヴァザレリの空間— バッハのバルティ ータのための版画—	宇佐見英治	シ	296
内なる女を求める 風狂の画家ワラス ・ティン	日向あき子	芸術生活	298	ヴィクトル・ヴァザ ルリニバッハ頌	小川 栄二	みづゑ	833
デスピオの初個展		芸術新潮	295	ディドロのプーシェ 批評	野口 栄子	大手前女 子大学論 集	8
デュシャン透視考 10～13	東野 芳明	美術手帖	379, 383, 384, 386	トム・ブラックウェ ル	安井 収蔵	毎日夕刊	5.11
デュシャン展をみて 考えたこと	藤枝 晃雄	みづゑ	828	ブリュッゲルとその 時代V～X	森 洋子	三 彩	313～326
マルセル・デュシャ ン	東野 芳明	毎日夕刊	5.24	ピーター・ブレイク の“Alice in Won derland”より	野村 太郎	芸術生活	302
				八十五歳の女流ハン ナ・ヘッヒの日本展		芸術新潮	294
				ハンナ・ヘーヒのコ ラージュ	野村 太郎	芸術生活	297
				ハンナ・ヘーヒ	針生 一郎	みづゑ	830
				ハンナ・ヘッヒとベ ルリン・ダダ	土肥 美夫	視 る	83
				豚と真珠と星(ハン ナ・ヘッヒ展)	泉 茂	シ	84
				ハンナ・ヘッヒのフ ォト・モンタージュ	池田 弘	シ	シ
				今度のヘッヒ展を見 て	原田 平作	シ	シ

ヴォルフガング・ペトリック	野村 太郎	みづゑ	831	近況	李 禹煥	美術手帖	384
ベント・ベックマンの世界	池内 紀	ゝ	835	モーリス・ルイス、アントニオ・タビエス2人展		読売夕刊	8.22
ホガース ブラック・ユーモアの画家	森 洋子	美術手帖	379	アンリ・ルソー論	木島 俊介	みづゑ	833
イギリス王室のホルペイン	ロバート・マックワースヤングオリヴァー・ミラー	芸術新潮	289	想像の密林の安らぎ ビエール・ルシュールの魅力	米倉 守 絵		123
ホセ・グァダルーベ・ボサダの木版画	竹田鎮三郎	芸術生活	304	ルシュール	マルセル・ブリオン	ゝ	124
ミノタウロスへの愛の唄(ドン・ボッツについて)	日向あき子	ゝ	296	アンリ・ルソーとその時代	長谷川四郎	みづゑ	833
マチスと野獣派	千足 伸行	美術手帖	385	ルドン・展覧会の散歩2〜5	池辺 一郎	美術グラフィ	23-7~ 23-10
力学は数理学の楽園である	リチャード・マックラナサン	ゝ	381	モナ・リザ変色の謎	大森 啓助 絵		122
清楚なマンゾーの展示室		芸術新潮	296	モナ・リザの構図の謎	大河原 元	ゝ	123
ジャコモ・マンゾーと佐藤忠良<座談会>	中村 伝三郎、佐藤忠良、村上政之	三 彩	312	モナ・リザをめぐる愛憎の歴史1、2	針生 一郎	芸術生活	298, 299
ジャコモ・マンゾー同居する神性と俗性	保田 春彦	みづゑ	826	特集・レオナルド・ダ・ヴィンチ		美術手帖	381
特集 マーレヴィッチ				レオナルド頌一纏りのない断章	澤柳大五郎		
白の逆説	中原 佑介	美術手帖	385	美術家レオナルド・ダ・ヴィンチ	久保 尋二		
受容から孤立へ	多木 浩二	ゝ	ゝ	もうひとりのレオナルド	東野 芳明		
虚ろな鏡	藤枝 見雄	ゝ	ゝ	好奇心と美に憑かれて	岡田 隆彦		
非対象へのパースペクティヴ	V・チハーコヴァー	ゝ	ゝ	パロックの六	塚本 邦雄		
マレーヴィッチのノートから	訳・高見堅志郎	ゝ	ゝ	ラ・ジョコンド嬢に関するもう一つの物語	池田満寿夫		
ホアン・ミロの衝撃一بارりで回顧展を見て	小川 正隆	朝日夕刊	8.12	力学は数理学の楽園である	リチャード・マックラナサン		
断版ヘンリー・ムア	酒井 忠康	三 彩	320	特集・レオナルド・ダ・ヴィンチ		芸術新潮	293
他山の岩一ヘンリー・ムア	堀内 正和	毎日夕刊	5.29	レオナルド年代記	久保 尋二		
ラスムス・メイア・コレクションのムック	鈴木 正明	芸術新潮	297	レオナルド学事始	杉浦 明平		
フィリップ・モーリッツの銅版画	池内 紀	みづゑ	827	廃墟とレオナルド	田中 英道		
ギュスターヴ・モローの象徴的世界	ルネ・ユイグ 訳・渡辺守章	芸術生活	298	レオナルドはかく語られた	スタンダー、ゲーテほか		
ギュスターヴ・モロー	アンドレ・ブルトン	美術手帖	382	モナ・リザの謎一その文明史	針生 一郎		
モンドリアン=自然から抽象へ(モンドリアン語録)	赤根和生・訳編	みづゑ	831	レオナルド・ダ・ヴィンチ年譜			
ユトリロとラバン・アジェル	今道 潤三	日本美術	105	モナ・リザをめぐって	中山 公男	美術手帖	382
(びいぶる)一日・月	李 禹煥	芸術新潮	289	レオナルド・ダ・ヴィンチ1、2	田中 英道	季刊芸術	30、31
				ダ・ヴィンチ・ノート(モナ・リザ展を機会に)	藤森 成吉 萌 春		233
				発明家レオナルド	中原 佑介	みづゑ	831
				からくりとの対話(科学者レオナルド・ダ・ヴィンチ展から)1〜3		朝日夕刊	4.22~ 4.25

昭和49年定期刊行物所載文献

レオナルドとパチオーリの出会い	裾分 一弘	朝日夕刊	2.5	稲田清助		読 売	1.4
モナリザの前で	三雲祥之助 辻 邦生	ス	5.2	モナ・リザ私見	井上 靖	京 都	4.30
レオナルドとその時代		毎 日	4.20	井上靖		朝 日	7.4
ダ・ビンチを迫る—モナリザに見たいまひとつのナゾ	吉田 喜重	日 経	1.5	視点	上原 昭一	朝日夕刊	4.5, 4.12, 5.10, 5.17
「モナ・リザ」アンケート		日本美術	109	肉筆浮世絵に魅せられ	氏家 武雄		
レンブラントの《マノアの供物》の制作年について	阿天坊 輝	芸術学研究	1	京都市立芸術大の学長になった梅原 猛		毎日夕刊	7.4
偽作として展示されたレンブラントの老人		芸術新潮	290	額縁造り一代	小野田兼太郎	絵	130
アンドリュー・ワイエス	田村 祥蔵	絵	122	芦 苺	加藤 一雄	三 彩	315, 316, 320, 322, 324
ワイエスがもたらすもの	三木 多聞	ス	123	輝く成果、早大エジプト調査隊長	川村 喜一	毎日夕刊	3.12
特集・アンドリュー・ワイエス				エジプト新遺跡発見の早大調査隊長	ス	朝 日	3.13
反都市的の理念の画家	桑原 住雄	芸術生活	297	ダビンチ研究六十年の	加茂 儀一	ス	4.25
アンドリュー・ワイエスの日本展		芸術新潮		伊場遺跡保存に執念を燃やす	菊地 康明	読 売	4.12
アンドリュー・ワイエスの人と作品	村木 明	現代の眼	233	「伊場遺跡を守る会」の事務局長	ス	東 京	7.25
ワイエスの写真主義	坂崎 乙郎	ス	234	研究ノート	小池藤五郎	朝日夕刊	8.27
ワイエスとフェルナール	谷川俊太郎	ス	ス	わが人生のとき	今 日出海	毎 日	10.14
アンドリュー・ワイエスの世界	桑原 住雄	三 彩	316	あてちがいの秋	小高根二郎	東京夕刊	10.16
アンドリュー・ワイエス	瀬木 慎一	美術グラフィ	23—5	現代の名刀工出現を信じる	佐藤 貫一	毎日夕刊	2.27
アンドリュー・ワイエス至高の沈黙	藤枝 晃雄	美術手帖	381	「モナ・リザ」展を指揮する文化庁の	鹿海 信也	日 経	4.22
<座談会>ワイエス・二つの論評		美術ジャーナル	20	万七さんの写真(坂本万七)	上原 昭一	毎日夕刊	4.26
アンドリュー・ワイエスの世界	本間 正義	ぼざある	4	迎賓館長になった島津久大		読 売	5.5
A・ワイエスとアメリカン・リアリズム	村木 明	ス	ス	ベルリン国立博物館	ジュテフィ ・シュミット	ス	10.20
リアリズムについて(A・ワイエス展)	中村 敬治	視 る	85	東洋美術館副館長	洲之内 徹	芸術新潮	289~300
ワイエスのパケツ	八尋 不二	ス	86	気まぐれ美術館1~12	洲之内 徹	芸術新潮	289~300
A・ワイエス氏の帰納法	津高 和一	ス	ス	社と寺—常照皇寺	鈴木 進	読 売	6.23
ワイエス展を見て	三尾 公三	ス	ス	関西学術交流訪朝団名誉団長としてあす平壤へ出発する	住各 悦治	ス	8.2
アンドリュー・ワイエス—アメリカの心(上、中、下)		日 経	3.21~ 3.24	林忠正遺聞	瀬木 慎一	絵	120
ヨーロッパ絵画名作の巨匠たち1~8		ス	8.29~ 9.8	古建築の復原で日本建築学会賞を受けた関野克		朝 日	5.25
				美術の神話の崩壊	瀬木 慎一	読売夕刊	12.28
				特集、二十歳の原点	宗 左近	日本美術	112
				骨董夜話	谷川 徹三	太 陽	134~139
				あすへの話題	高階 秀爾	日経夕刊	1.8~6.25
				日本の人脈720~724	田中 稔	読 売	1.4~1.9
				ファウバ遺跡、発掘の成果	高山 純	東京夕刊	3.14
				一枚のレコード	高階 秀爾	読 売	4.7
				想う1~18	高橋誠一郎	東京夕刊	5.6~ 5.27
美術関係者							
相沢忠洋		毎 日	8.14				
張り切る淡川さん		京 都	1.7				

奈良のマルロー	高階 秀爾	読売夕刊	5.31
文化財保安官に任命された田中清		毎日夕刊	9.5
想う1~11	各山 徹三	東京夕刊	9.9
狩猟伝承と岩壁の刻画	千葉 徳爾	朝 日	9.10
寺尾勇		夕	10.21
近況	粟津 潔	夕	10.21
マルセル・デュシャン	東野 芳明	毎 日	
古代地中海の船	友部 直	朝日夕刊	4.8
びいぶる、魔法の絨毯	中山 公男	芸術新潮	300
金閣寺や法隆寺の建築図画公開	中村 順平	朝日夕刊	5.28
北魏の漆画に興味	長広 敏雄	朝 日	9.9
研究5年、安土城のナゾを解明	内藤 昌	東 京	10.20
安土城の構造を解明した	夕		12.21
日記から	西山 勿三	朝日夕刊	6.21~ 6.29
“幻の齊王官”の試掘調査に着手	西村 義張	東 京	10.17
花田清輝の死	針生 一郎	美術手帖	388
パロリス国際展への集団参加	長谷川 栄	毎日夕刊	2.6
岡倉天心とナショナルリズム	原田 実	朝日夕刊	5.11
私と日本研究	ジョン・F・ハウズ	毎 日	5.21
日動画廊社長夫妻祝賀会	長谷川 仁	絵	130
茶の間	長谷川 仁	毎日夕刊	9.24
花田清輝	野間 宏	京 都	9.27
中国の考古学と日本	原田 淑人	毎日夕刊	11.5
塔のうた	藤島亥治郎	読 売	1.27~ 3.10
ラピス・ラズリの魅力	深井 晋司	東京夕刊	4.11
わが人生のとき	藤島亥治郎	毎 日	8.13
ソ連で開いた日本美術展	福永 重樹	毎日夕刊	9.13
日ソ会館を建設	堀江 邑一	読売夕刊	11.25
イタリア初期ルネサンス壁画を調査した	摩寿意善郎	朝 日	1.5
受胎告知の天使の「右と左」	松本富士男	朝日夕刊	1.12
マルロー氏、大いに語る		朝 日	5.15
私の「モナリザ観」	マルロー	朝日夕刊	5.25
マルロー		朝 日	5.26
社と寺—高野山親王院	真鍋 俊照	読 売	8.11
「楽浪漢墓第一冊」刊行にこぎつける	町田 章	朝日夕刊	9.2

視点	水尾比呂志	毎日夕刊	7.6~ 9.28
国際交流基金のシルクロード研究で帰国した	モタメデイ・遙子	朝 日	10.12
茶の間	柳 宗玄	毎日夕刊	9.18
東京都心の戦前建築	山口 広	朝日夕刊	9.3
山口広		朝 日	9.17
特集・二十歳の原点—絶望的青春論	ヨシダ・ヨシエ	日本美術	112
近況	夕	美術手帖	378
社と寺—禅林寺	吉村 貞司	読 売	4.7
吉川逸治氏と教練合宿の光明寺で	中村 光夫	東京夕刊	5.6
セリグラフ展をブラジルで開いて	ヨシダ・ヨシエ	朝日夕刊	6.22
ブラジルでセリグラフ展を主宰した	夕	朝 日	8.4
正倉院の瑠璃器を点検した由水常雄		毎日夕刊	11.13

## 展覧会批評 (雑誌)

第9回昭和会を迎えて		絵	120
具象絵画の新世代と「穹」展の課題	植村鷹千代	夕	夕
昭和会展随感	田中 穰	夕	121
最近の展覧会をみて	植村鷹千代	夕	124
第11回太陽展		夕	125
新しい第一歩	長谷川 仁		
太陽展雑考	野口 達彌		
今年の太陽展を注視			
木内克彫刻展によせて		夕	127
「女」を生む彫刻家	加藤 貞雄		
水戸での木内克さん	相田 公平		
ある彫刻家の目	酒井 忠康		
東京国際具象絵画ビエンナーレ展・海外作家の場合	藤枝 晃雄	夕	夕
日本作家たち	小川 正隆	夕	夕
第5回版画グラン・プリ展の審査に参加して	吹田 文明	夕	128
第1回東京国際具象絵画ビエンナーレ展	小川 正隆	夕	夕
国際審査の私的報告			
日動展の前に	長谷川 仁	夕	129
はじめてのマンズー回顧展		芸術新潮	289
街路におかれたカルダー		夕	夕
佐藤忠良の回顧展		夕	夕

昭和49年定期刊行物所載文献

野崎一良の鉄彫刻	芸術新潮	289	岡鹿之助展	芸術新潮	295
棟方志功の「華厳」展 吉村 貞司 (展覧会から)	シ	シ	山崎省三のはじめての回顧展	シ	シ
三つの独創的空間、藤松持、加藤清美、横尾竜彦	シ	シ	リラン個展	シ	シ
第6回ジャパン・アート・オークション解説	シ	シ	ワラス・ティンの個展	シ	シ
今井俊満の展開	シ	290	異色のフランス文明展	シ	シ
小野木学の「風景」	シ	シ	国吉康雄の里帰り展	シ	シ
第四回フランス・ヴァロリス国際陶芸ビエンナーレ	シ	シ	猪熊弦一郎の「ランドスケープ」	シ	296
石本正の舞妓、風景、静物十景	シ	シ	難波田龍起の自選回顧展	シ	シ
加藤唐九郎の新作展 白井 久夫	シ	シ	流政之の作品展示	シ	シ
虹の画家幾幅の新作展	シ	291	舟越保武彫刻デッサン展	シ	シ
あいつぐ古代アメリカ展 寺田 和夫	シ	シ	古川龍生回顧展	シ	シ
池田満寿夫のコラージュ展	シ	シ	誕生した二つのグループ展—从展遊星展	シ	シ
モローとその弟たち	シ	292	スイスで開かれた「世界の画商」展	シ	シ
ティグリス・ユーフラテス文明展	シ	シ	真鍮のアクセサリー展(高松利子)	シ	シ
新鮮なクラヴァエ	シ	シ	印象派百年はただの印象派展	シ	297
東京ビエンナーレ	シ	シ	清水九兵衛のアルミ彫刻	シ	シ
近藤竜男の個展	シ	シ	珍しい戸張孤雁展	シ	シ
特集、はじめての「セザンヌ展解説」	シ	シ	グラフィック・イメージ'74展	シ	シ
①セザンヌへの接近 粟津 則雄	シ	シ	青春のフォーヴァー「マチスと野獣派展」によせて	シ	シ
②冷静な熱狂 小川 国夫	シ	シ	はじめてのダーシルヴァ展	シ	シ
夭折した大正の「傷める芽」(田中恭吉遺作展)	シ	シ	ゾンネンシュターンの個展	シ	298
斎藤真一の「じょんがら節」展	シ	シ	「現代彫刻20」展	シ	シ
「北関京美術展」の発足	シ	シ	第一回東京具象絵画ビエンナーレ展	シ	シ
奇様な「幼想楽器」展	シ	シ	ドレスデン美術館の所蔵品展	シ	シ
吾妻兼治郎久々の個展	シ	294	埋もれた「自画像の画家の」遺作展	シ	シ
科学者レオナルド・ダ・ヴィンチ展	シ	シ	青木繁、福田たねのロマン展	シ	シ
清水多嘉示回顧展	シ	シ	現代メキシコ美術展	シ	299
パリの中川一政展	シ	シ	創画会発足第一回展	シ	シ
河部展也回顧展 中原 佑介	シ	シ	山口長男、津高一二人展	シ	シ
初めてのザウリ陶彫展	シ	シ	ヘンリー、ミトワの酒脱な陶芸デザインフォーラム'74展に思う	シ	シ
久里洋二の“寄生虫オブジェ”	シ	シ	コンピュータアートと桑原盛行の作品	シ	シ
ヘンリー・ムアの自選展	シ	295	平松保城の針金オブジェ	シ	シ
三岸節子久々の個展	シ	シ			
デスビオの初個展	シ	シ			

豊福知徳の回顧展	芸術新潮	300	友永昭三の“人形の国、	芸術生活	298
パリの異色画廊の十五年展	〃	〃	民族性豊かな仏像展	〃	〃
三分でみたウォール展	富岡多恵子	〃	吾妻兼次郎十八年目の里帰り展	〃	〃
佐藤忠良、加納光裕、高橋秀個展	芸術生活	293	阿部展也、香月泰男瑛九、リラン展他	針生 一郎	299
大森運夫展	〃	〃	能仲ヤツヲ展	〃	〃
マッシモ、カンピリ展	〃	〃	今井由緒子展	〃	〃
絹谷幸二、阪本文男、渋川育田、藤松博展	〃	294	アステカ文明展	〃	〃
ジャコモ・マンズー展	〃	293	初めてのデスピオ展	〃	〃
飯塚八朗展	〃	294	難波田龍起、森芳雄猪熊弦一郎、木村光佑展他	針生 一郎	300
桑山忠明展	〃	〃	結城栄三展	〃	〃
九谷興子陶芸展	〃	〃	荘司福展	〃	〃
大沢昌助、元永定正、野中ユリ、山下清澄展地	針生 一郎	295	土井典子人形典	〃	〃
中村憲之、今井祝雄展	〃	〃	土俗的な強靱さ・江口遇の木彫	〃	〃
棚瀬修次個展	〃	〃	漆で描いた田中通孝の抽象	〃	〃
造形作家のおモチャ展	〃	〃	若い作家の用を捨てた“泥のオブジェ”	〃	〃
田中恭吉、秋山祐徳太子、響嘯、アンセルモ、アンセルミ展	〃	296	版画家木村光佑のオブジェ	〃	〃
三浦哲生個展	〃	〃	辻本和之、木村利三郎、原健、清水九兵衛展他	針生 一郎	301
渡部伸彦写真展	〃	〃	夏目利政遺作展	〃	〃
動き出した日本のマルチプル・アート	〃	〃	小泉紀子展	〃	〃
陶芸家と建築家の実験展	〃	〃	日本ジュウリー展の秀作	〃	〃
楽しい能山忠宗の“私の部屋”展	〃	〃	「グラフィック・イメージ」十五人の写真家展他	針生 一郎	302
小山田二郎、横尾忠則、近藤竜男、佐藤慶次郎展他	針生 一郎	〃	西村功個展	〃	〃
松本曼個展	〃	297	中谷温男個展	〃	〃
川井昭一展	〃	〃	光とひかり展	〃	〃
高の高かった北関東美術展	〃	〃	室内のための布展	〃	〃
品川工のモビールとプリント、ミラー	〃	〃	洋学二百年展	〃	〃
アーキペンコの彫刻	〃	〃	久里洋二展	〃	〃
吾妻兼治郎、アーキペンコ、三尾公三	〃	〃	現代彫刻20、漢九、平賀敬、粟津潔展他	針生 一郎	303
版画？陶器？彫刻？三島喜美代展	〃	〃	今村猛個展	〃	〃
<芸生プリズム>首像で綴った交友録	〃	〃	石原百合子個展	〃	〃
高田博厚展	〃	〃	西欧版、日本アジア古地図展	〃	〃
鳴剛、久里洋二展他	〃	298	恩田静子プラスチック彫刻展	〃	〃
宮崎静夫展	〃	〃	湯原和夫展	〃	〃
安藤和美個展	〃	〃	アrik・カバリエ展	〃	〃
森国宏一の彫刻オブジェ	〃	〃	現代彫刻二十人展	〃	〃
			二つの木内克展	〃	〃

昭和49年定期刊行物所載文献

脇田和、吉井忠、千葉勝、佐々木豊、清水見展他	芸術生活	304			二科展、行動展	多田 信一	現代の眼	323
田島征彦個展	〃	〃			秋の団体展Ⅱ			
下川勝個展	〃	〃			第1回創画展	永井 信一	〃	324
モダン・ジュウリー二人展	〃	〃			新制作展、一水会展、一陽会展	多田 信一	〃	〃
近代日本の文人画展	〃	〃			秋の団体展Ⅲ			
矢柳剛のタイル・オブジェ	〃	〃			日展日本画部をみて	永井 信一	〃	326
大林義満石彫展	〃	〃			二紀展、独立展、日展洋画部	多田 信一		
「アメリカの日本作家」展、補遺	小倉 忠夫	現代の眼	230		ジャコモ、マンズー展		日本美術	104
ワイエスの世界	桑原 住雄	〃	233		中国現絵画展		〃	〃
ワイエス断想	嘉門 安雄	〃	234		サム、フランシス展		〃	105
ワイエス展を見て	小野 末	〃	〃		マヤ文明秘宝展		〃	〃
十五人の写真家のプロフィール	桑原甲子雄	〃	237		富岡鉄斎展		〃	〃
第九回東京国際版画ビエンナーレ展による	小川 正隆	〃	240		竹久夢二の世界展			
<紹介>第九回東京国際版画ビエンナーレ展	藤井 久栄	〃	〃		第5回入樹会展	太田 正文	〃	〃
第九回東京国際版画ビエンナーレ展を見て	岡本謙次郎	〃	241		描線の美展		〃	106
豊秋半次水墨画展	鈴木 進	三 彩	312		ハンス、エルニー版画展		〃	〃
山根隆個展	陰里 鉄郎	〃	〃		九木位里水墨展		〃	〃
モローとその弟子たち個展		〃	317		第9回昭和会展	安井 収蔵	〃	〃
表現派展	三宅正太郎	〃	〃		特集、団体展を再考する—美術文化展、新桃樹社展、一線展、新協展—	村木 明	〃	107
ティグリス、ユーフラテス文明展		〃	〃		第17回日本表現派展評	三好豊一郎	〃	〃
向井潤吉環流展	藤本 韶三	〃	〃		特集、日本画の問題			
セザンヌ展随想	大森 啓助	〃	〃		<春の院展、日春展評>	小森 盛	〃	108
加藤栄三遺作展		〃	〃		光風会展、創元会展、モダンアート、版画展—類型化してきた多くの作品	村木 明	〃	〃
第九回日春展感想	田中日佐夫	〃	318		舞妓の美展、屏風と大作展、アンドリュウ・ワイエス展、アーキペンコ展		〃	〃
光風会60回展	多田 信一	〃	〃		モローとその弟子達展セザンヌ展		〃	〃
舞妓展を顧みて	佐々木直比古	〃	〃		春陽展、国展、東光展、主体美術展、新世紀展、日本画院展、朔日会展			
広瀬楚庵水墨画展	中村 凌男	〃	320		マーキュリー展	三好豊一郎	〃	〃
ジャパンアート・フェスティバル	平井 亮一	〃	〃		最後の「新制作日本画春季展」	小森 盛	〃	〃
三岸黄太郎展		〃	321		日府展、第一展、旺女展、太平洋展、女流画家協会展、光陽会展、新興展	村木 明	〃	110
日本国際美術展	早見 堯	〃	〃		国吉康雄展、古川竜生展、難波田竜起自送展、清水九兵衛展		〃	〃
座談会、ある日の座敷<三岸節子展>	三岸 節子 匠 秀夫 藤本 韶三	〃	322		新美術協会展、創造展、現展、新構造展、現美展		〃	111
オリエント美術展		〃	〃					
中村研一遺作展		〃	323					
マチスと野獣派展		〃	〃					
ヨーロッパ絵画名作展	千足 伸行	〃	〃					
秋の団体展Ⅰ								
院展	永井 信一	〃	〃					



春の公募展総群	日本美術	111	第1美術展、太平洋展、女流画家協会展、旺玄会展ほか	美術グラ フ	23-7	
マチスと野獸派展	〃	〃	加藤栄三遺作展によ せて	菊地芳一郎	〃 〃	
松本陽子展	〃	〃	楠部弥弍展から	〃	〃	
美術月評絵と斬りむ すんで	〃	〃	向井潤吉環流展	〃	〃	
院展、二科展、行動 展	〃	112	難波田龍起自選展	川原 正二	〃 23-8	
日ポ交換展開かれる	〃	〃	日本水彩、現展、新 構造展、朱葉会展	菊地芳一郎 田村 進 菊地 明子	〃 〃	
中村研一遺作展、現 代彫刻20展、ソッネ ンシュターン展、ピ ーイング、アート展	〃	〃	日本美術院展、二科 展、行動展、一水会 展、20周年記念一陽 会展ほか	〃	23-9	
日本伝統工芸展、潮 音会展	〃	113	清水六兵衛作陶50年 記念新作展	菊地芳一郎	〃 23-10	
新制作協会展、創画 展、一水会展、一陽 展、二紀展、独立展、 自由美術展	村木 明	〃	橋本明治自選展によ せて	〃	〃	
川端竜子展、小泉癸 己男、昭和大事京百 図絵版画展、現代メ キシコ展	〃	〃	創画会展、独立美術 展、二紀展、自由美 術展ほか	〃	〃	
第6回日展評	鈴木 史楼	〃	114	座談会、第5回日展 を語る	植村鷹千代 田近 憲 日野耕之祐 大島 隆一 鈴木 史楼	VISION 4-1
日本中国彩墨画三人 展	小森 盛	〃	〃	東山魁夷、小野竹喬、 宮之原謙、佐藤忠良、 福井良之介、岡信孝、 日野耕之祐、郡山三 郎、輪遠宣和、森清 治各個展	〃 〃	
第8回創展	〃	〃	〃	中国現代絵画展を見 て	〃 4-2	
川上澄生名作展、麻 田浩展、アンディ・ ウォーホル展、東京 国際版画ビエンナー レ展	〃	〃	〃	児玉幸雄、小原稔、 大歳克衛、橋本克衛、 橋本太久磨、五十嵐 浩巳、高良真木、松 本孝之、平権、伊藤 誠二、浜田庄司、島 岡達三各個展	〃 〃	
美術月評、おさらば 画家天国篇	小森 盛	〃	〃	永瀬義郎、渡辺恂三、 山田耕三各個展	〃 4-3	
第5回日展	菊地芳一郎	美術グラ フ	23-1	第14回日本南画院展	水上 杏平	〃 4-4
沢田政広展をみて	〃	〃	23-2	第13回大調和展	〃	〃
歳晩から新春へ、団 体展、グループ展、 個展	田村 進 菊地 明子	〃	〃	西野新川、三上隆彦、 大貫松三、百々茂貫、 松本瑠璃、高田博厚 各個展	〃 〃	
日本南画院展、大調 和展、日本アンデパ ンダン展ほかグルー プ展、個展	菊地芳一郎 田村 進 菊地 明子	〃	23-3	西野新川展	水上 杏平	〃 4-5
寺田政明展	高橋 新吉	〃	23-4	新槐樹社	〃	〃
美術文化展、一線美 術展、新槐樹社展他 グループ展、個展	〃	〃	〃	新協展、一線美術、 水彩連盟展	〃	〃
新協展、三帆会展、 モダンアート展、日 本版画協会展、白日 会展、水彩連盟展、 示現会展ほか	〃	〃	23-5	平城春秋、堀史明展、 林心耳、山田新一、 広瀬通秀、岩井滋郎、 栗村今朝男、池昭二、 山崎ノリオ、石本泰 子、草深黎子、林田 重正、大橋文子、中 里重利、菊地晃作各 個展	〃 〃	
大須賀力彫刻展をみ て	山本 稚彦	〃	〃	〃	〃	
創元展、記念光風会 展、春陽展、図画会 展、40周年展、新世 紀展、東方美術展、 日本画院展、日本水 墨画協会展ほかグル ープ展、個展	菊地芳一郎 田村 進 菊地 明子	〃	23-6	〃	〃	

昭和49年定期刊行物所載文献

セザンヌ展を見て (里見勝蔵先生へ)	野村 泰之	VISION	4-6	伊藤豊成、大橋 義男、神谷敬真、田所義信、有海庄門、江藤昭、金子滋、多島真須美、万代進各個展		VISION	4-10
光風会展、第33回創元展、モダンアート展	水上 杏平	シ	シ	光陽会、東京東支部展、集団版展、飛鳥展、等廻会展		シ	シ
浜田昇児、小野具定、岡崎邦領、斎藤清、堤輝雄、郷田寛三、東郷たまみ、井上治男、各個展、三彩会展		シ	シ	橋本明治自選展より	小川 正隆	シ	4-11
ワイエス、ダ・ヴィンチ展を見て(里見勝蔵先生へ)	野村 泰之	シ	4-7	創画会展、新制作協会展、一水会展、一陽展	植村鷹千代 日野耕之祐	シ	シ
春陽展、国展、東光展、亜細亜現代美術展、日府展、改組5周年記念第一展、主体美術展、新世紀展、朔日会展、日本画院展、写実画壇展、柳田弘義、正木茂、井上市三郎、宮沢義郎、星野和雄、斎藤良夫、原弘、中村次雄、宮忠子、京極高竝各個展		シ	シ	吉城弘、三芳梯吉、日塔笑子、高野 春人、山口海一、佐藤事、大木利昭各個展		シ	シ
旺玄展、光陽会展、新興展、創型会彫塑展、日本水彩展、新象展、新美術展、現美展		シ	4-8	第一回彩美路明侃展 独立美術展 二紀展 自由美術展	三宅正太郎 植村鷹千代 水上 杏平	シ	4-12
宮下寿紀、丸山妙子、末永胤生、塚田とほる、林喜市郎、三岸黄太郎、宮本朝子、古田千鶴子、関路子、安藤文高、渡辺良子、山波明子、高山晃、幅田从、村山鎮雄、熊沢厚子各個展		シ	シ	安倍修三郎、宮 俊彦、佐藤義雄、国松登、中村一良、吉川修平各個展		シ	シ
第27回晨鳥社展		シ	シ	第2回好想会展	佐々木直比古 田中 皓一	萌 春	228
徳岡神泉遺作展、夏目利政遺作展		シ	シ	岡信孝個展	大矢 鞆晋	シ	シ
新構造展、現展		シ	シ	中国現代絵画展、浮世絵日本の旅展		シ	シ
横地康国、岡本公夫、遠峰健、絹笠省三、小川哲郎、三森孝、佐藤深春、遠藤妙子、加藤直子、松井享、上條明吉、南部正美、鈴木弘子、佐々亮暎各個展		シ	シ	<諸展観評>東山魁夷「白い馬の見える風景」展他		シ	シ
サロン・ド・ゲン展、もーぶ展、遊星展、新心象美術創立展、金旺会展		シ	4-9	小栗正展		シ	シ
第59回院展を見て	中河 与一	シ	4-10	竹内広吉展		シ	シ
二科展を観た感想	竹田道太郎	シ	シ	無礙会展、池辺安民展		シ	シ
第29回行動美術展	水上 杏平	シ	シ	創作画人協会展		シ	シ
第一回野辺山会展		シ	シ	凱風会		シ	シ
				第1回錦葉会展		シ	シ
				藍の会		シ	シ
				渡辺玉花四象会展		シ	シ
				山田土筆		シ	シ
				“且”四人展		シ	シ
				丹阿弥岩吉展		シ	シ
				新月会展		シ	シ
				小野竹喬素描展	田中 皓一	シ	229
				<諸展観評>上條静光展		シ	シ
				押田翠雨展		シ	シ
				太平華泉展		シ	シ
				青令会展		シ	シ
				知求会展		シ	シ
				秋季新興展		シ	シ
				伊藤誠二展		シ	シ
				水島裕展		シ	シ
				白寿会展		シ	シ

展覧会名	主催者	期	頁	展覧会名	主催者	期	頁
好青会展		萌	春 229	第1回曉星会展		萌	春 231
玄覧会展		〃	〃	第9回日春展	大矢 頼音	〃	〃
双杉会展		〃	〃	第29回春の院展評	田中 皓一	〃	232
美苗会展		〃	〃	「舞妓の美」展によ せて	〃	〃	〃
中央公論秋季展		〃	〃	楠部弥弼彩誕展	井上 昇三	〃	〃
朱門会展		〃	〃	<諸展観評>東方美 術展		〃	〃
埋火会展		〃	〃	堀史明展		〃	〃
渡辺玉花展		〃	〃	銀玲会展		〃	〃
九谷陶芸展		〃	〃	女流日本画創作会展		〃	〃
富岡鉄斎展	大矢 頼音	〃	230	安西啓明展		〃	〃
<諸展観評>飴会展	〃	〃	〃	牧進展		〃	〃
橙黄会展		〃	〃	松声会展		〃	〃
彩壺会展		〃	〃	日本の四季展	小野 竹喬 山本 丘人	〃	〃
櫛会日本画展		〃	〃	馥会展		〃	〃
三溪洞新築記念特別 展		〃	〃	新鋭八人展		〃	〃
悠々会展		〃	〃	松籟会展		〃	〃
紫雲会展		〃	〃	春信会展		〃	〃
奥村土牛展		〃	〃	京風会展		〃	〃
川崎小虎展		〃	〃	新制作日本画春季展	田中 皓一	〃	〃
藜会展		〃	〃	井上治男作陶展	井上 昇三	〃	〃
日展日本画受賞作家 新作展		〃	〃	<諸展観評>日本画 院展		〃	〃
女流日本画創作会小 品展		〃	〃	三多圭会展		〃	〃
日本画七人展		〃	〃	墨の美展		〃	〃
川崎鈴彦展		〃	〃	小野具定展		〃	〃
神奈川生々会展		〃	〃	林拓翠展		〃	〃
創造美術日本画展		〃	〃	浜田昇児展		〃	〃
福田豊四郎回顧展を 見て	田中 皓一	〃	231	水戸童展		〃	〃
上野の森85年展をみ て	大矢 頼音	〃	〃	北条峰子展		〃	〃
根本正、坂本宏二人 展	三宅正太郎	〃	〃	安西啓明展		〃	〃
第6回総合美術展、 潮		〃	〃	三珠会展		〃	〃
<諸展観評>日本南 画院展		〃	〃	第一回暢哉会展		〃	233
木村琢一展		〃	〃	輝風会展		〃	〃
百々茂貫第1回個展		〃	〃	令月会展		〃	〃
中央公論新人展		〃	〃	精彩会展		〃	〃
向井久万展		〃	〃	第一回蒼丘会展		〃	〃
月耀会展		〃	〃	春風会展		〃	〃
戸田康一展		〃	〃	竹窓会展		〃	〃
雄翔会展		〃	〃	新興展評	三宅正太郎	〃	234
昭彩会展		〃	〃	徳岡神泉遺作展	上野 憲示	〃	〃
第1回辛夷会展		〃	〃	第七回全日本水墨画 展、知求会五月展、 石田武展		〃	〃
春鶯会展		〃	〃	<諸展観評>晨鳥社 展		〃	〃
潮会展		〃	〃	日本の四季展(堅山 南風、郷倉千靱)		〃	〃
春暉会展		〃	〃	二十五日会展		〃	〃
第1回郁友会展		〃	〃	花岡朝生、越中各寿 生展		〃	〃

昭和49年定期刊行物所載文献

		萌	春	234			萌	春	236
江川鈴子展		〃	〃		第一回爽風会展		〃	〃	
飯田満佐子展		〃	〃		翠巒会展		〃	〃	
武関富美子展		〃	〃		九阜会展		〃	〃	
加藤美代展		〃	〃		嶋風会展		〃	〃	
深見実郎展		〃	〃		74リュミエール展		〃	〃	
藍の会		〃	〃		銀二会展		〃	〃	
東煌会展		〃	〃		九月会に期待する	田近 憲三	〃	〃	
翔爽会展		〃	〃		第一回創画展	上野 憲三	〃	〃	
玄輝会展		〃	〃		橋本明治自選展をみて	三輪 福松	〃	〃	
美櫻会展		〃	〃		<諸展観評>長流会展		〃	237	
二瑛会第1回展		〃	〃		栗原慶果展		〃	〃	
陽和会展		〃	〃		川村憲邦展		〃	〃	
第1回冊交会		〃	〃		福井宗之助展		〃	〃	
雨暗会展		〃	〃		関口雄揮展		〃	〃	
栲会展		〃	〃		五人展		〃	〃	
第一回遊星展によせて	細野 正信	〃		235	益田春光展		〃	〃	
荘司福新作展を見る	竹田道太郎	〃	〃		新星路会展		〃	〃	
<諸展観評>新美術協会展		〃	〃		浅井秀水展		〃	〃	
霹靂展		〃	〃		青丹会展		〃	〃	
創造美術展		〃	〃		創風会展		〃	〃	
直原玉青展		〃	〃		坪内滄明展		〃	〃	
鴉の会展		〃	〃		采友会展		〃	〃	
白晴会展		〃	〃		工芸采匠展		〃	〃	
日本の四季展(高田誠、浜田台児)		〃	〃		町田曲江遺作展を観る	高井 蒼風	〃	238	
安原喜明展		〃	〃		川端龍子展	田中 皓一	〃	〃	
土窯グループ展		〃	〃		六第回日展評		〃	〃	
工彩会展		〃	〃		第六回四象会展		〃	〃	
燦人会展		〃	〃		獏黙庵子作品展		〃	〃	
轟会展		〃	〃		佐多芳郎第四回個展		〃	〃	
中央公論春季展		〃	〃		<諸展観評>小林草月展		〃	〃	
彩潮会展		〃	〃		日本の四季展(4)		〃	〃	
上原卓展		〃	〃		水田舜人展		〃	〃	
尚美日本画展		〃	〃		奥田徒己、中山千翠展		〃	〃	
翠松会展		〃	〃		百合会展		〃	〃	
日本画小品展		〃	〃		青炎会展		〃	〃	
好昭会展		〃	〃		竹内広吉展		〃	〃	
北沢映月展	田中 皓一	〃	〃		木村琢一展		〃	〃	
<諸展観評>麻田弁次展		〃		236	岡村春谿展		〃	〃	
華墨会展		〃	〃		川合修二展		〃	〃	
草土展		〃	〃		高山辰雄、山本丘人、杉山寧展		〃	〃	
青明会展		〃	〃		日和会展		〃	〃	
新世美術会第15回記念展		〃	〃		横尾芳月展		〃	〃	
轍会展		〃	〃		冊会展		〃	〃	
女流日本画創作会展		〃	〃		日本の四季展(5)		〃	〃	
三上正寿展		〃	〃		好古会展		〃	〃	
金耀会同人展		〃	〃						

秋の公募展前半	三浦 三郎	美術ジャーナル	24	P. ヴンダーリッヒ展	池内 紀	美術手帖	380
秋の春陽会々展にて	O. M	シ	シ	展 評 (関西)	平野 重光	シ	シ
ジャコモ・マンズー展	三木 多聞	美術手帖	376	展 評 (東京)			
今日の作家'73年展	東野 芳明	シ	シ	建島朔弥展、永松勇三展、剣持和夫展、唐沢静男展、森田秀展、鷗木栄一展、加藤義郎展、大原憲夫展	対談 平井 亮一 たにあらた	シ	381
白髪一雄展	乾 由明	シ	シ	シ (関西)			
打てど響かぬ「サンパウロ」	柏原えつとむ	シ	シ	野島二郎展、平田洋一展、木下佳通代展、現代美術、73→74展	高橋 亨 平野 重光	シ	シ
展評 (東京)		シ	シ	「セザンヌ」展とセザンヌ	越 宏一	シ	シ
清水誠一展、和田守弘展、鈴木清「共同主観的存在構造」	対談 平井 亮一 たにあらた			モローとその弟子	千足 伸行	シ	シ
シ (関西)				阿部長也回顧展	酒井 忠康	シ	シ
高田和廣展、森口宏一展	高橋 亨	シ	シ	ハンナ・ヘッヒの芸術	小倉 忠夫	シ	シ
アメリカの日本作家展	平野 重光	シ	シ	第四回神戸須磨離宮公園現代彫刻展	乾 由明	シ	シ
川上澄生一その全貌から	竹山 博彦	シ	378	展 評 (東京)			
「アメリカの日本作家」展	小倉 忠夫	シ	シ	高橋雅之展、田窪恭治展、矢田アキ展、狗巻賢二展、本田真吾展、成田克彦展	対談 平井 亮一 たにあらた	シ	シ
中国現代美術展	酒井 忠康	シ	シ	シ (関西)			
二つの東洋宗教画展		シ	シ	元永定正展、山田信義展	高橋 亨	シ	シ
展評 (東京)				「表現と現代映像」展	平野 重光	シ	シ
創持和夫展、新里陽一展、川村悦郎展、岩野弘之展 (関西)	対談 平井 亮一 たにあらた	シ	シ	東京国際具象絵画ビエンナーレ展へ	藤枝 晃雄	シ	382
浮川秀信展、沢居曜子展、高崎元尚展	高橋 亨	シ	シ	「All Over & over all」展	峯村 敏明	シ	シ
北辻良央、川村悦郎二人展、田島廉仁展	平野 重光			ヘンリー・ムーアによるムーア展	匠 秀夫	シ	シ
「TOYTOYS展」と「100人一現代作家油絵展」	赤塚 行雄	シ	379	展 評 (東京)			
キリシタン美術の再発見一西洋と日本の出会い	八木 一夫	シ	シ	和田守弘、ステファン・ザイマ、山下一郎、田島廉仁、紫沢勝造、岡部公英、中野薫、鴨剛、山本圭吾、嶋屋征一、松本曼各個展	対談 平井 亮一 たにあらた	シ	シ
野中ユリ展	巖谷 國士	シ	シ	シ (関西)			
展評 (東京)				「いま Printing のなかで」	平野 重光	シ	シ
栗原公展、真板雅文展、原口典之展、フィルム・メディア・イン・タムラ73展、豊島弘尚展	対談 平井 亮一 たにあらた	シ	シ	植松奎二展	高橋 亨		
シ (関西)				デュッセルドフでの「日本一伝統と現代展」	山岸 信郎	シ	383
下谷千尋展、村岡三郎展	高橋 亨 平野 重光	シ	シ	「科学者レオナルドダ・ヴィンチ」展	平田 寛	シ	シ
村上華岳展から	秦 恒平	シ	380	「日本洋画の原点と開花」展	増田 洋	シ	シ
虹のZ旗一アイオー展	小川 栄二	シ	シ	岡鹿之助展	植村鷹千代	シ	シ
記録 Happening The Play ソクザ・プレイ> 七年の軌跡	赤根 和生	シ	シ				

昭和49年定期刊行物所載文献

「ヘンリー・ムアによるヘンリー・ムア」展から

酒井 忠康  
飯田 善國 美術手帖 383

展評(東京)

片瀬和夫、高木修、若江漢子、馬場幸子、池村清治、森口宏一、伊藤純子、今井由緒子、内藤晴久、高森登志雄各個展

対談  
平井 亮一  
たにあらた

シ(関西)

北辻良央展、小倉寛昭展

高橋 亮

柏原えつとむ展、田島廉仁展、入田淳展

平野 重光

第9回JAF展

峯村 敏明

徳岡神泉遺作展

佐々木直比古

十五人の写真家展

三木 多聞

「日本におけるフランク・ロイド・ライトの建築展」

谷川 正己

ヴィクトル・ヴァザレリの新作から

近藤 基吉  
萩原 朔美

展評(東京)

田代幸俊、池田勇夫、川上左池子、郡司朋夫、篠原隆各個展、U-2展

対談  
平井 亮一  
たにあらた

シ(関西)

沢居曜子展、木村秀樹展

高橋 亨

金寄泰二、綿谷恭治郎、竹中基博3人展

平野 重光

北欧の日本美術展(ルイジアナ美術館)

東野 芳明

雪村展

赤沢 英二

展評(東京)

清水誠一、渡辺恵利世、羽生真、稲憲一郎、石邑育夫、武田友孝、砥上賢治、稲山貴一各個展、イメージ'74展(今井祝雄)

対談  
平井 亮一  
たにあらた

シ(関西)

第1回「7/7/7」展

高橋 亨

菅木志雄展

平野 重光

現代メキシコ美術展

木間 正義

グラフィック、イメージ展'74展

小川 栄二

東京国際具象派絵画ビエンナーレ展その後

藤枝 晃雄

「明治の追憶、青木繁、福田たねのロマン」展

古島 哲夫

ヨーロッパ絵画名作展から北方イタリヤ絵画の巨匠たち

森 洋子 美術手帖 386

展評(東京)

川村悦郎、高見沢文雄、小岩勝己、たべけんぞう、李禹煥、続谷奈津子、松本陽子各個展、遠藤利克、長嶋富士夫展

対談  
平井 亮一  
たにあらた

シ(関西)

松岡三郎展

高橋 亨

ビデオ・コミュニケーション、「京都平野重光9072時間」展

平野 重光

第9回東京版画ビエンナーレ展

藤井 久栄

現代版画の展望、日本の28人展

魚津 章夫

マイヨール展

中島 徳博

若きドイツの画家たち展

峯村 敏明

川端竜子・その人と芸術

佐々木直比古

キュビズムの彫刻展

鈴木 隆

現代メキシコ美術展

小池 賢博  
竹田鎮三郎  
木島 俊介

展覧会評(東京)

柏原えつとむ、高山登、倉重光則、田辺和郎、石井恵美子、角田磨瑠子各個展、複数による「複数展」

対談  
平井 亮一  
たにあらた

展覧会評(関西)

高崎光尚展、若江漢字展

高橋 亨

今日の方法'74展

平野 重光

栃木県立美術館の彫刻シンポジウム展

飯田 善国

東京国立博物館の特別展「絵巻」

村重 寧

日本キリシタン美術展

福永 重樹

ルイジアナの日本展

岡田 隆彦

アンディ・ウオーホル展から

藤枝 晃雄

秋田蘭画展から

細野 正信

秋田蘭画と洋風画

飯島 耕一

秋田蘭画のロマネスクな背景

飯島 耕一

展評(東京)

「展それぞれ展、伊藤久、木下佳通代、須賀昭初、戸谷成雄、流巽、深沢秀樹各個展

対談  
平井 亮一  
たにあらた

展評(関西)

小林伸雄、三宅章介2人展

高橋 亨

花岡篤夫展	平野 重光	美術手帖	388	クラベ展、ハンス エルネー展、アンル モ・アンセルミ展	朝日夕刊	2.16
展評・秋の公募展よ り		ぼざある	3			
展評・個展、グルー プ展より		シ	シ	モローとその弟子た ち展	シ	2.18
展評・グループ展、 11月～1月	加藤 貞一 米倉 守 村瀬雅夫他	シ	4	中川一政展	シ	2.19
「デュシャン展」を見 て考えたこと	藤枝 見雄	みづゑ	828	北関東美術展	小川 正隆	シ 2.20
第1回北関東美術展 をめぐって、美術 <地域>	平井 亮一	シ	830	田中恭吉展	シ	2.22
ドレスデンの美と精 神(ヨーロッパ絵画 名作展)	高橋 巖	シ	836	三島喜美代展、吉本 直貴展、二村裕子展	シ	2.23
第4回神戸須磨離宮 公園現代彫刻展	高橋 亨	みづゑ	826	上野の森85年の歩み 展	シ	2.25
アート・クロニクル	岡田 隆彦 高橋 亨 三木 多聞 編集部	シ	826~837	加藤昭男展、田原良 作展、斎藤寿一展	シ	2.27
「キリシタン美術の 再発見」展見て	坂本 満 視	る	80	潮展、ジャン・ジャ ンセム展	シ	3.2
ワイエス展を観て	三尾 公三	シ	86	ピカソ「アルルカン」 展	シ	3.5
「グラフィック・イ メージ」の出発点	小川 玉隆	シ	88	横尾忠則展、近藤竜 男展	シ	3.6
春陽会と国画会	三浦 三郎	美術ジャ ーナ ル	18,19合 併号	ハンガリー絵画展	シ	3.8

展覧会批評 (主要新聞五十音順)

大沢昌助展、野中ユ リ展、八樹会展		朝日夕刊	1.9	安井賞展	シ	3.9
富岡鉄斎展		シ	1.12	デュフィ展、シャ ガール展	シ	3.13
彩壺会展、元永定正 展、多田美波展		シ	1.16	近代作家の回顧—新 海竹藏・福田豊四郎 展	シ	3.14
アメリカの日本作家 展		シ	1.16	デルヴォー展、木村 光佑展、香月泰男 「北海道」展	シ	3.16
岡本唐貴展		シ	1.18	アレン・ジョーンズ 展	シ	3.19
池田満寿夫カラー ジュ展、吉田穂高版 画20年20点展、廖修 平展		シ	1.19	黎の会展、島村三七 雄展、三月会展	シ	3.23
奥村土牛素描展		シ	1.21	ダリ・日本の民話シ リーズ展	シ	3.27
島田章三展、長久手 会展、渡辺恂三の小 宇宙展		シ	1.23	佐藤慶次郎展、矢柳 剛展	シ	3.30
小野木学展、木内克 展、昭和会受賞作家 展		シ	1.26	春の院展、伊藤彬展、 山田新一展	シ	4.6
現代ソビエト絵画展		シ	1.28	ティグリス・ユーフ ラテス文明展	小川 正隆	シ 4.10
斎藤カオル展、海老 原映展		シ	1.30	日本の四季展(小野 竹喬・山本丘人)牧 進展、小杉小二郎展	シ	4.13
丸木位里欧州水墨画 展		シ	1.31	春の公募展から(光 風会、創元会、モダ ンアート、日本版画 協会)	小川 正隆	シ 4.15
昭和会展		シ	2.6	現代彫刻10人展	シ	4.16
襲嘯展、ヴァンダー リッヒ展		シ	2.9	サムフランス展、 ブラジリエ展	シ	4.17
斎藤真一展、立軌展		シ	2.13	吾妻兼治郎展、アー キベンコ展	シ	4.20
		シ		日本現代工芸展、日 春展	シ	4.22
		シ		秀島由己男展、南大 路一展	シ	4.24
		シ		清水多嘉示展、小野 具定展	シ	4.27

昭和49年定期刊行物所載文献

ブリジット・ライリ ー展		朝日夕刊	5.1	利根山光人展		朝日夕刊	7.3
現代イタリア彫刻 展、現代イタリア彫 刻の11人展		夕	5.4	飯田善国展(ニュー ヨーク)		朝 日	7.4
春の公募展から(春 陽会、国画会)	小川 正隆	夕	5.6	村上善男展、富岡惣 一郎展、日本の四季 展(高田誠・浜田台 児)		朝日夕刊	7.6
詩情漂うワイエスの 世界	夕	夕	5.8	太陽展		夕	7.8
向井潤吉環流展、加 藤栄三遺作展、香月 泰男展		夕	5.13	原健展、清水九兵衛 展		夕	7.10
岡鹿之助東京展に寄 せて	小川 正隆	夕	5.15	今関驚人展、次元と 状況展		夕	7.13
山崎省三回顧展		夕	5.17	戸張孤雁展		夕	7.17
ルシュール展、リラ ン展、船井裕展		夕	5.18	逸翁美術館名品展、 古川龍生回顧展		夕	7.19
日本画10人展		夕	5.23	北沢映月展、山田信 義展		夕	7.20
トウキョウ・ビエン ナーレ		夕	5.24	クラクフ、ファイレン ツェ両ビエンナーレ 報告(上・下)	小川 正隆	夕	7.22、7. 23
三岸節子展、島田し づ展		夕	5.25	速見史朗展、辻本和 之展		夕	7.27
ジュッセルドルフの 近代日本美術展	三木 多聞	夕	5.27	印象派百年展		夕	8.1
ボナール・ヴィヤール ・ルーセル展		夕	5.28	グラフィック・イ メージ'74展		夕	8.3
鈴木信太郎展、藤本 東一良展、石田武展		夕	5.29	雪村展		夕	8.7
現代ソビエト絵画展		夕	5.31	新樹会展		夕	8.10
ジャパン・アート・ フェスティバル展、 池田宗弘展		夕	6.1	シュル美術賞展		夕	8.17
荻太郎自選展、日本 の四季展(堅山南風・ 郷倉千鶴)		夕	6.5	三代の秀作展		夕	8.20
ヘンリー・ムアによ るヘンリー・ムア展	小川 正隆	夕	6.6	マチスと野獣派展		夕	8.22
近代巨匠の名作展・ 臼井都展		夕	6.8	上野省策・森本仁平 2人展、久里洋二展、 ピガ展		夕	8.24
徳岡神泉遺作展		夕	6.12	第5回ワルシャワ国 際ポスター・ビエン ナーレを見て	福田 繁雄	夕	8.27
加山四郎遺作展		夕	6.14	加藤土師崩展、中村 研一遺作展		夕	8.28
从展、今日の版画65 人展		夕	6.15	小松均自選展		夕	8.31
猪熊弦一郎展、バザ レリ展		夕	6.19	樹展、平賀敬展		夕	9.4
ダビンチ展		夕	6.21	中林忠良展・堀井英 男展		夕	9.7
セリグラフ展をブラ ジルで開いて	ヨシダ・ヨ シエ	夕	6.22	国際形象展、現代彫 刻20展		夕	9.9
荘司福展、上村淳之 展、轟会展、西山真 一展		夕	6.22	東京国際具象絵画ビ エンナーレ展	小川 正隆	夕	9.11
佐々木孔展		夕	6.24	司修展、粟津潔展		夕	9.12
国吉康雄展、木村光 佑展		夕	6.26	橋本明治自選展	小川 正隆	夕	9.14
アンリ・カルチュエ= プレッソン展		夕	6.27	秋の公募展から(院 展、二科展、行動展)	夕	夕	9.17
難波田龍起展、青木 義雄展、日和崎尊夫 展		夕	6.29	ポーランドの伝絶と 栄光展		夕	9.19
				明清工芸美術展、中 国古代美術展		夕	9.20
				ゾネンシュターン 展		夕	9.21
				ふたつの木内克展		夕	9.24



広重・武相名所年鑑展		朝日夕刊	9.26	楠部弥弋展、小山富士夫展		朝日夕刊	11.21
法隆寺宝物館開館十周年記念展		〃	9.27	秋の公募展から(日展)	小川 正隆	〃	11.26
湯原和夫展、田村一男展、北村益展		〃	9.28	篠田守男展、宇佐美圭司展		〃	11.27
秋の公募展から(一水会、新制作協会、一陽会、創画会)	小川 正隆	〃	9.30	川上澄生展		〃	11.28
コントウリー展		〃	10.1	柳原義達展、白根光夫展、平川敏夫展、田島なす美展		〃	11.30
キュービズムの彫刻展、フサロ展		〃	10.2	佐藤達展、瓦林睦生展、シノダ・ユウ展		〃	12.11
川端龍子—その人と芸術展		〃	10.3	兵藤和男展、清水光子展、双杉会展		〃	12.14
潮音会展、日本の四季展(川本末雄・工藤甲人)		〃	10.5	岡本信治郎展、久里洋二展、井公三展		〃	12.18
版画گران・プリ展		〃	10.8	モルトシュタイン展、小作青史展		〃	12.21
千葉勝展、マックス・ビル展		〃	10.9	日和崎尊夫自選展		〃	12.25
佐々木豊展、矢柳剛展、佐藤亜土展		〃	10.12	第15回堂本印象作品陳列	京 都		1.12
ジモン展、ボンボワ展、クリスタン展		〃	10.16	井沢元一、村岡三郎、池田淑人、小柳晟各個展	(藤)	〃	〃
近代日本の文人画展		〃	10.17	森本紀久子、久保田繁雄、木下佳通代各個展	(藤)	〃	1.19
脇田和展	小川 正隆	〃	10.19	儀間比呂志展、安田謙展	(潤)	〃	〃
絵巻特別展をみて	秋山 光和	〃	10.22	京都日本画総合展	(竜平)	〃	1.26
高山辰雄・山本丘人・杉山寧展、野口弥太郎展、岡鹿之助展		〃	10.23	白髪一雄、大野俊嵩、李禹煥各個展	(藤)	〃	〃
秋の公募展から(独立展、二紀展、自由美術展)	小川 正隆	〃	10.24	皆川月華展	(竜)	〃	〃
飯田善国展、大内青圃展		〃	10.26	小倉亨展	(潤)	〃	〃
正倉院展に寄せて	岡崎 譲治	〃	10.28	小寺伸夫展、伊藤純子展	(藤)	〃	〃
北川民次展、織田広喜展		〃	10.30	村上華岳展	〃	〃	2.2
ヴラマンク展		〃	10.31	山鹿清華展	(竜平)	〃	2.9
神戸須磨離宮公園現代彫刻展に寄せて	小川 正隆	〃	〃	京都工芸美術展	(藤)	〃	〃
神下雄吉展、藪野健展、木村利三郎展		〃	〃	重達夫展	(竜)	〃	〃
アンディ・ウォーホル展	(米)	〃	11.7	牛島義弘展	(潤)	〃	〃
麻田浩展、矢崎虎夫展、星野真吾展		〃	11.9	高間惣七をしのぶ油絵展		〃	2.16
漢唐壁画展を見て	岡崎 敬	〃	11.12	大野俊明展、現代美術'73-'74展	(藤)	〃	〃
パチカン寄贈作品(前田青邨・平山郁夫)国内展示		〃	11.15	示現会5人展、日浅和美展、田村幸子展	(潤)	〃	〃
日動展、脇田和展、川崎春彦展		〃	11.16	川口軌外展	(藤)	〃	2.23
林司馬展		〃	11.19	京都近代工芸秀作展	(竜平)	〃	3.9
ヨーロッパ絵画名作展を見る	小川 正隆	〃	〃	ハンナヘッヒの芸術	(藤)	〃	4.6
福沢一郎展、大伴二三弥展、宮下勝行展		〃	11.20	同時代展	(竜平)	〃	〃
		〃	〃	浜田台児展	(竜)	〃	〃
		〃	〃	浜谷明夫、高橋勲、福本美津子各個展	(藤)	〃	〃
		〃	〃	大阪芸大阪画7人展	(潤)	〃	〃
		〃	〃	加藤土師萌展、一陽会、京都作家展		〃	4.13

昭和49年定期刊行物所載文献

中村彝展	(藤)	京 都	4.13		深井 晋 板倉 勝 松谷 敏 杉 和彦 黒田 勇 杉山 二郎 江上 波夫 小川 英雄 新 規矩 平山 郁夫	東京夕刊	2.26~3.19
東方美術展	(竜平)	シ	シ				
伊谷賢蔵、長谷川真、 All Dver& Over All又は回顧展		シ	シ	オリエントの秘宝 (ティグリス・ユー フラテス展から) 1 ~15			
池田文一展、古村清 子展	(潤)	シ	シ				
加藤栄三遺作展を見 る	吉村 貞司	シ	5.17	潮展、彫刻50年高 田博厚展、上野の森 85年の歩み展、ジ ャン・ジャンセム 展、田原良作展	寺田 千壘	シ	3.1
東丘社展、衣笠会展	(竜平)	シ	5.18				
船坂芳助、宮崎又行、 植村奎二、美和晋、 高井道夫、進藤博子 各個展、元永定正・ 柳莫山展	(藤)	シ	シ	ピカソ「アルルカン」 展示		シ	3.5
田中貞一・村田千秋 殿浦伸明・竹内三雄 展	(潤)	シ	シ	ティグリス・ユーフ ラテス文明展を見て (対談)	江上 波夫 森岡 妙子	東 京	3.7
晨鳥社展	(竜平)	シ	6.15	近代作家の回顧展 新海竹蔵・福田豊四 郎、安井賞展	寺田 千壘	東京夕刊	3.8
あすなろ展	シ	シ	7.27				
京都日本画新人展	(藤)	シ	8.10	ティグリス・ユーフ ラテス文明展をみて	三雲祥之助	シ	3.9
ニューヨークの池田 満寿夫展		シ	11.7	向井潤吉環流展、デ スビオ展	寺田 千壘	シ	3.10
現代メキシコ美術展	(藤)	シ	11.30	加藤栄三遺作展、香 月泰男遺作展		シ	3.13
大沢昌助展、入樹会 展、彩壺会展	寺田 千壘	東京夕刊	1.11	穹展、椿会美術展、 山本正展、西野新川 展	寺田 千壘	シ	3.15
川崎小虎展、長久手 会展、渡辺恂三の小 宇宙展、長崎幸雄展	シ	シ	1.18	埋もれた秘宝(ティ グリス・ユーフラテ ス展に寄せて) 1~ 10		シ	3.19~4.2
木内克テラコッタ展 島田章三展、池田満 寿夫コラージュ展、 白根美代子展	シ	シ	1.25	島村三七雄・若き日 のバリ展		シ	3.19
アメリカの日本作家 展		シ	1.28	平塚運一展、黎の会 展、小山田二郎水彩 展、任直淳展、ボウ ル・デルボウ展	寺田 千壘	シ	3.22
丸木位里水墨展、小 野木学展、刑部入展 齊藤カオル展、柏木 俊秀展	寺田 千壘	シ	2.1	春の院展と同人小品 展、形真展、屏風と 大作展、吉田博展		シ	4.5
昭和会展、江藤哲展	シ	シ	2.8	モローとその弟子た ち展、アーキベンコ 展、牧進展		シ	4.12
回想の清方展(第二 回)		シ	2.12				
齊藤真一展、立軌展 クラブ展	寺田 千壘	シ	2.15	光風会、創元会、モ ダンアート、日本版 画協会展をみて	朝日 見	シ	4.13
中川一政書展		シ	2.18	セザンヌ展を見て	坂崎 乙郎	シ	4.16
文明事始(ティグリス ・ユーフラテス展 に寄せて) 1~10		シ	2.18~ 3.3	吾妻兼治郎展、南大 路一展、横井礼以 展、日本の四季展、 小杉小二郎展	寺田 千壘	シ	4.19
北川民次「バッタの 哲学」刊行記念展、 加藤昭男展、真下慶 治展、両角修展	寺田 千壘	シ	2.22	アンドリュー・ワイ エス展		シ	5.2
ティグリス・ユーフ ラテス展に寄せて	谷川 徹三	シ	シ	岡鹿之助展、ピエー ル・ルシュール展、 藤川叢三展		シ	5.17
ティグリス・ユーフ ラテス文明展	杉山 二郎	東 京	シ	日本染織展		東 京	5.20
描線の美展		東京夕刊	2.25	三岸節子展、現代日 本画の10人展、藤本 東一良展	寺田 千壘	東京夕刊	5.24

日本民芸館・染織展		東 京	5.25	一水、一陽、新制作、 創画会展をみて	植村鷹千代	東京夕刊	10.5
世界絵本作家原画展 を見て	津田 櫓冬	〃	6.6	近代日本の文人画 展、潮音会展、吹田 文明展、前田利昌展	寺田 千壘	〃	10.11
近代巨匠の名作展、 寺田竹雄展、中村直 人展、吉田清志展、 雨晴会展、日本の四 季展(堅山南風・郷 倉千鶴)	寺田 千壘	東京夕刊	6.7	小川哲男展		東 京	10.16
加山四郎遺作展、荻 太郎自選展、三岸黄 太郎展、'74新鋭選抜 展、从展	〃	〃	6.14	奥村土牛展、野口弥 太郎展、脇田和展、 石崎昭三展	寺田 千壘	東京夕刊	10.18
6月のサロン展、轟 会展、西山真一展、 川原竜三郎展	〃	〃	6.21	高山辰雄・山本丘 人・杉山寧展、マル セル・ジモン展、原 勝四郎展、現代メキ シコ美術展	〃	〃	10.25
国吉康雄展、青山義 雄展、森芳雄展、上 村淳之展	〃	〃	6.28	独立、自由、二紀展 をみて	陰里 鉄郎	〃	10.26
小島真次郎展		東 京	7.3	神下雄吉展、日本の 四季(池田遙邨)展、 藪野健展、織田広喜 展	寺田 千壘	〃	11.1
難波田龍起展、日本 の四季展(高田誠・ 浜田台兒)、太陽展、 遊星展	寺田 千壘	東京夕刊	7.5	ヨーロッパ絵画名作 展	〃	〃	11.8
藤田喬平展		東 京	7.9	六影展、桜田精一展、 二宮正憲展、川崎春 彦展、林司馬展	〃	〃	11.15
小杉放庵展、徳岡神 泉遺作展、今関驚人 展、張大千展	寺田 千壘	東京夕刊	7.12	原勝郎展、福沢一郎 展	〃	〃	11.22
古川龍生回顧展、渡 辺武夫展、日本のガ ラス展	〃	〃	7.19	小松誠展		東 京	〃
日本のガラス展から		東 京	7.25	村上元彦展、宮田あ や展		〃	11.24
北沢映月展、西村功 展、三代の秀作展	寺田 千壘	東京夕刊	7.26	日展	寺田 千壘	東京夕刊	12.2
印象派100年展	〃	〃	8.2	織部三人展		東 京	12.3
新樹会展、雪村展	〃	〃	8.9	清水喜美展		〃	12.6
中村研一遺作展	〃	〃	8.30	柳原義達展、レアリ テ展、熊谷守一展、	寺田 千壘	東京夕刊	〃
現代彫刻20展、国際 形象展、樹展、シェ ル美術賞展	〃	〃	9.6	若尾和呂展、双杉会 展、極光会展、清水 光子展、加藤達美展	〃	〃	12.18
預言の画家(ゾネン ンシュターン展から) 1~6	種村季弘他	〃	9.9~ 9.14	白樺派とその周辺 展、東京国際版画ヴ ェンナーレ展、芳哉 会展	〃	〃	12.20
ゾネンシュターン 展に寄せて	坂崎 乙郎	〃	9.12	アメリカの日本作家 展、大沢昌助展		日 経	1.12
東京国際具象絵画ピ エンナーレ展、小松 均展、佐田勝展、大 内田茂士展	寺田 千壘	〃	9.13	奥村土牛展		〃	1.18
二科、行動、院展を みて	朝日 晃	〃	9.14	シャガール展、水墨 山水画展		〃	1.25
正藍染色展		東 京	9.20	丸木位里水墨展、小 野木学展		〃	2.1
マチスと野獣派展、 カヴァリエレ展	寺田 千壘	東京夕刊	9.20	描線の美展、饗嘯展 クラベ展、立軌展		〃	2.8
彩土会		東 京	9.26	上野の森85年の歩み 展、回想の清方・そ の二展		〃	2.15
二つの木内克展、田 村一男展	寺田 千壘	東京夕刊	9.27	高田 博厚展、ジャ ン・ジャンセム展		〃	2.22
川端龍子—その人と 芸術展、四方田草炎 展、フサロ展、日本 の四季展(川本末雄・ 工藤甲人)、清水六兵 衛展	〃	〃	10.4	美術文化展、新槐樹 社展	田近 憲三	〃	3.1
				ティグリス・ユーフ ラテス展、横尾忠則 展		〃	3.8
						〃	3.15

昭和49年定期刊行物所載文献

アンドリュウ・ワイエス展から	嘉門安雄他	日 経	3.15~ 5.24	ヨーロッパ絵画名作展から	山田智三郎 他	日 経	7.26~ 12.6
若き日のバリ展		シ	3.20	印象派100年展		シ	8.2
平塚運一展		シ	3.21	雪村展、回想の画家展		シ	8.9
白日展、示現展	田近 憲三	シ	3.24	オリエント美術展		シ	8.16
梅原竜三郎・北京展		シ	3.25	マチスと野獣派展、ピガ展		シ	8.23
水彩連盟展	田近 憲三	シ	3.29	中国明清工芸展	小山富士夫 岡田 譲	シ	8.30
舞妓の美展、屏風と大作展		シ	4.5	中村研一遺作展、小松均展		シ	シ
アメリカの詩情(アンドリュウ・ワイエス展から)	吉田喜重 江崎真澄 庄野潤三 谷村裕 多田美波 三木淳 堤清二 一柳 慧	日経夕刊	4.8~ 4.19	国際形象展、東京国際具象絵画ビエンナーレ展		シ	9.12
創元展、モダンアート展	田近 憲三	日 経	4.9	二科展、行動美術展		シ	9.13
光風展、版画展		シ	4.12	中国明清工芸美術展から	岡田 譲他	シ	9.13~ 11.9
モローとその弟子たち展		シ	4.19	橋本明治自選展		シ	9.17
清水多嘉示展、吾妻兼治郎展、ブラジリエ展		シ	4.26	明清の華・この一点(中国明清工芸美術展)	楠部弥次他	日経夕刊	9.17~ 9.21
国展	田近 憲三	シ	5.2	二つの木内克展、ゾンネンシュタール展		日 経	9.20
春陽展、東光展		シ	5.3	一水展、一陽展	田近 憲三	シ	9.27
セザンヌ展		シ	5.10	この一枚(ヨーロッパ絵画名作展から)	東山魁夷他	シ	10.1~ 10.11
加藤栄三遺作展、向井潤吉展		シ	5.11	新制作展、創画展	田近 憲三	シ	10.4
立体美術展、新世紀展、日本画院展	田近 憲三	シ	5.17	川端龍子展		シ	10.11
三岸節子展、藤本東一良展、三浦巖展		シ	5.24	独立展	田近 憲三	シ	10.18
日府展	田近 憲三	シ	5.27	二紀展、自由美術展		シ	10.25
日本画の10人展		シ	5.28	絵巻展、野口弥太郎展		シ	11.1
ヘンリー・ムア展、鈴木信太郎展、須田寿展		シ	5.30	日展(日本画)	田近 憲三	シ	11.8
徳岡神泉遺作展、日本の四季展(堅山南風・郷倉千観)、雨晴会展		シ	6.5	日展(洋画・工芸)		シ	11.15
女流展、太平洋展	田近 憲三	シ	6.7	川上澄生展、福田一郎展、利根山光人展		シ	11.22
寺田竹雄展、中村直人展、荻太郎自選展		シ	6.8	東京国際版画ビエンナーレ展、松本夔介遺作展		シ	11.29
新興展、十柯会展	田近 憲三	シ	6.14	日本の四季展(山種美術館)、佐藤達展		シ	12.6
神戸須磨離宮公園現代彫刻展		シ	6.20	ピメノフ展		シ	12.13
猪熊弦一展、森芳雄展、西山真一展		シ	6.21	白樺派書画展、アトリエC-126版画展		シ	12.20
国吉康雄展、難波田龍起展		シ	6.28	日本画の新春展		毎日夕刊	1.7
青山義雄展、古川竜生回顧展		シ	7.5	大沢昌助展		シ	1.8
ロートレック展、戸張孤雁展		シ	7.12	元永定正展		シ	1.14
三代の秀作展、北沢映月展		シ	7.26	岡本唐貫の旧作復元展		シ	1.18
				木内克展		シ	1.28
				潮戸浩展、小野木学展		シ	2.8
				鬮囀展		シ	2.13
				斉藤真一展		シ	2.14
				にっぽん百鬼夜行展		シ	2.15
				児山重芳展		シ	2.16

北川民次刊行記念展 中川一政書展	毎日夕刊	2.18	石川寅治展、国吉康 雄展	毎日夕刊	4.22
加藤昭男展	シ	2.20	ハンナ・ヘッヒ展	亀田 正雄	シ 4.23
クラベ展、アンセ ルミ展、シャガール 展	シ	2.21	ブラジリエ展		シ 4.24
三島嘉美代展、田中 美知幻想楽器展	シ	2.25	南大路一展、横田 善夫展		シ 4.25
描線の美展	シ	シ	小野具定展		シ 4.26
高田博厚展	シ	3.4	現代イタリア彫刻展		シ 5.1
坂本好一展、斉藤寿 一展	シ	3.5	国展、春陽展、東光 展		シ 5.4
今関一馬展	シ	3.6	益田芳徳展	加藤 貞雄	シ 5.6
近藤竜男展	シ	3.7	高柳裕展		シ 5.7
横尾忠則展	シ	3.9	キリスト教美術展		シ 5.8
北関東美術展	シ	3.14	第11回日本国際美術 展	安井 収蔵	シ 5.9
近代作家の回顧展 (新海竹蔵・福田豊四 郎)	シ	3.16	加藤栄三遺作展		シ 5.10
アレン・ジョーンズ 展、ポール・デルボ ウ展	シ	3.19	日本国際美術展への 招待1~7	安井 収蔵	シ 5.10~5.18
瀬戸の陶芸5人展	シ	3.20	森口宏一展、船井裕 展		シ 5.11
島村三七雄「若き日 のバリ」展	シ	3.22	靱山七重展、丹羽和 子展、片谷美香展		シ 5.13
桂ゆき展	シ	3.23	ビエール・ルシュ ール展		シ 5.15
サルバドール・ダリ 展	シ	3.25	第11回日本国際美術 展を見て	三木 多聞	シ 5.17
木村光佑展、井田照 一展	シ	3.26	向井潤吉環流展、岡 鹿之助展		シ 5.17
黎の会展	シ	3.27	デスビオ展		シ 5.18
三芳悌吉展、芝田米 三展	シ	3.28	ヘンリー・スギモト 展		シ 5.20
舞妓の美展	シ	3.30	多賀新展、清塚紀子 展		シ 5.21
形真展	シ	4.1	山崎省三展		シ 5.22
モローとその弟子た ち展	シ	4.2	トゥキョウ・ビエン ナールを見て	東野 芳明	シ 5.24
アーキペンコ展	毎日	4.3	フレスコ壁画模写展		シ 5.27
山下忠平展、山田新 一展、村岡平蔵展	毎日夕刊	シ	ジョン・マーティン 展		シ 5.27
屏風と大作展	加藤 貞雄	シ 4.6	石田武展、小嶋悠司 展		シ 5.28
ザウリ陶彫展		シ 4.9	近代日本画名作特別 展		シ 5.29
サンタンドレ展、小 杉小二郎展		シ 4.10	須田寿展、鈴木信太 郎展、藤本東一良展		シ 5.30
60回記念光風会展、 モダンアート展、日 本版画協会展	安井 収蔵	シ 4.12	ムアのアトリエの内 と外	土方 定一	シ 5.31
司修展、四人の道化 師展	加藤 貞雄	シ 4.13	江口週展		シ 6.3
日本の四季展(小野 竹喬・山本丘人)	シ	シ 4.16	池田宗弘展		シ 6.5
久里洋二展		シ 4.17	女流陶芸展	亀田 正雄	シ 6.7
三尾公三展		シ 5.1	寺田竹雄展、萩太郎 展		シ 6.7
アンドリュウ・ワイ エス展	安井 収蔵	シ 4.19	日本の四季展(堅山 南風・郷倉千靱)		シ 6.8
吾妻兼治郎展、清水 多嘉示展		シ 4.20	近代巨匠の名作展		シ 6.11
			从会展		シ 6.12

昭和49年定期刊行物所載文献

ジャコメッティ・終りなきパリ展	毎日夕刊	6.12	川村憲邦展	毎日夕刊	8.5
伊東傀展、川原竜三郎展	〃	6.13	中国展に見る現代中国	竹内 実	〃
,74新鋭選抜展	毎日	6.14	人類の映像展		〃 8.6
猪熊弦一郎展	毎日夕刊	6.18	回想の画家展		〃 8.9
加藤達次・武腰敏昭展	〃	6.19	OFF CRITICS 展		〃 8.10
遺作・土井虎賀寿素描展	〃	〃	雪村展		〃 8.12
西山真一展、三岸黄太郎展、森芳雄展、倉田三郎展	〃	6.20	入尾武郎展、中谷温男展		〃 8.14
荘司福展、轟会展、上村淳之展	〃	6.21	久里洋二展		〃 8.24
アナトミア展、ダットン展	〃	6.26	加藤士師萌展		〃 8.26
川端実展、飯田善国展(ニューヨーク)	〃	6.27	中村研一遺作展、石川重信遺作展		〃 8.28
坂本好一展、日和崎尊夫展	〃	6.29	マチスと野獸派展		〃 8.30
太陽展	〃	7.3	ビーイングアートとスズカワ	安井 収蔵	〃 9.2
古川龍生展	〃	〃	チェコのガラス彫刻とタピストリー展から		〃 9.3
美濃・瀬戸陶芸5人展	安井 収蔵	〃 7.5	粟津潔展、平賀敬展		〃 9.7
青山義雄展、富岡惣一郎展、横地康国展、日本の四季展(浜田台児・高田誠)	〃	7.8	国際形象展、カナダ絵画展	安井 収蔵	〃 9.9
イメージ'74展(今井祝雄・中村憲之・戸正田寿)	〃	7.10	現代彫刻20展		〃 9.11
日本のガラス展	〃	7.11	東京国際具象絵画ビエンナーレ展		〃
清水九兵衛展	〃	7.12	橋本明治自選展		〃 9.13
木村利三郎展	〃	7.13	二科展、院展、行動美術展		〃 9.14
麻田辯次展	〃	7.15	オリエント展		〃 9.18
逸翁美術館名品展	〃	7.17	広重肉筆・武相名所風景画展		〃
今関鶯人展	〃	〃	ガブリエレ彫刻展、湯原和夫展		〃 9.20
アントニン・レイモンド展	〃	7.18	現代の日本陶芸展	吉田 耕三	〃
渡辺武夫展、中野四郎遺作展、夏目利政遺作展	〃	7.19	明清工芸美術展、中国古代美術展		〃
辻本和之展	〃	7.20	デザインフォーラムグラフィックス'74展		〃 9.21
北沢映月展	〃	7.22	田村一男展、日本の四季展(仲田好江・福王寿法林)、法隆寺宝物館開館10周年記念特別展		〃 9.25
三代の秀作展	〃	7.24	フサロ展、コントウリー展		〃 9.28
中本達也展	〃	7.25	清水六兵衛展		〃 10.1
西村功展	〃	7.27	入江一子展他		〃 10.2
印象派100年展	〃	7.30	開国美術展	細野 正信	〃
メンギーニ展、阿部隆行展	〃	7.31	一水会、新制作協会、一陽会	安井 収蔵	〃 10.4
狩野派の巨匠をしのぶ特別展	〃	8.1	版画گران・プリ展		〃 10.5
桜井農正展、松本陽子展、内田信展	〃	8.2	川端龍子—その人と芸術展		〃 10.8
グラフィック・イメージ'74展	〃	8.3	佐々木豊展、焰一人展		〃 10.9
			佐藤亜土展、マックス・ビル展		〃 10.12

エディション展		毎日夕刊	10.15	日展	安井 収蔵	読売夕刊	11.26
横尾忠則・千年王国への旅展	安井 収蔵	シ	シ	辻司展、平川敏夫展		シ	11.27
千葉勝展、吹田文明展		シ	10.16	アーミテージ展		シ	11.29
現代メキシコ美術展	安井 収蔵	シ	10.17	荒川修作展、池田満寿夫、井田昭一展、新妻実展(ニューヨーク)		シ	11.30
近代日本の文人画展		シ	シ	ペカリ展		シ	12.1
ヨーロッパ絵画名作展	安井 収蔵	シ	10.18	三栖右嗣展		シ	12.3
石崎昭三展、中島虎威展		シ	10.21	柳原義達展、女性を描く三人展、田島なす美展		シ	12.4
脇田和展、吉井忠展、野口弥太郎展		シ	10.22	熊谷守一展		シ	12.5
日本のクリシタン美術展		シ	10.23	若尾和呂展、藤飯治平展		シ	12.9
織田広喜展、林清納展		シ	10.24	ピメノフ展		シ	12.10
二紀、独立、自由三展から	安井 収蔵	シ	10.25	小野木学・関根美夫展、五つの人間風景展、グループ'40展、燦々会展		シ	12.12
絵巻展		シ	10.26	加藤達美展、原清展、寺池陶煖展、陶芸秀作展、新生九谷10人展		シ	12.13
近代日本の陶芸権巨匠12人展、加藤嶺男展、小山富士夫、岑一展、熊本喜一展、小野珀子展		シ	10.28	井上公三展、岡本信治郎展、阪本文男展		シ	12.14
北川民次展		シ	10.29	デ・キリコ展		シ	12.18
マルセル・ジモン展		シ	10.30	日本の四季展(山種美術館)		シ	シ
藪野健展、田村文雄展		シ	10.31	坂東壯一展、小作青史展		シ	12.20
中華人民共和国漢唐壁画展	谷口 鉄雄	シ	11.1	島州一展		シ	12.23
池田満寿夫デッサン展		シ	11.2	東京国際版画ビエンナーレ展	安井 収蔵	シ	12.24
伊勢正義自選展、大自然の中でムア展		シ	11.5	日和崎尊夫自選展、田淵安一展		シ	12.25
神下雄吉展、石川滋彦展、三宅輝夫展		シ	11.6	梅原龍三郎花と裸婦展	安井 収蔵	毎日	12.31
池田遙郎展、鼎会展		シ	11.6	川崎小虎展、大沢昌助展	(文)	読売夕刊	1.16
現代彫刻展	安井 収蔵	シ	シ	エル・ドラーダ展、マヤ文明の秘宝展		シ	1.14
正倉院展をみて	阿部 牧郎	シ	シ	渡辺栂三の小宇宙展	(文)	シ	1.18
緒方洪章展		シ	11.8	池田満寿夫カラージュ展	シ	シ	1.21
アンディ・ウォーホル展	安井 収蔵	シ	11.9	岡本唐貴展		シ	1.23
楠部弥次展、荻焼現代秀作展、加藤留助展、沢田重雄展		シ	11.11	素木のモノ展		シ	1.24
現代版画の展望—日本の28人展		シ	11.12	現代ソビエト絵画展	(文)	シ	1.26
麻田浩展、星野真吾展		シ	11.13	島田章三展、丸木位里展	シ	シ	1.28
金子千恵子展、山田文子展、湯沢正臣展、二宮正憲展、幸島龍一展、日動展		シ	11.15	野村コレクション展(小袖類)		シ	1.30
川崎春彦展、大田歳展、上村松篁展、林司馬展		シ	11.16	御正伸歌無伎絵展、秋野克彦展		シ	2.1
福沢一郎展	加藤 貞雄	シ	11.18	ハンス・エルニー展、ヴァンダーリッヒ展	(文)	シ	2.8
中村正義展		シ	11.20	襲囀展		シ	2.9
				描線の美展	(文)	シ	2.13

昭和49年定期刊行物所載文献

立軌展		読売夕刊	2.14	アステカ文明展		読売夕刊	5.7
「ドロップとしたものをカラッと描く」展、クラーベ展		〃	2.18	「明治時代を中心とする近代美術」展		〃	5.8
田中恭吉展	(丈)	〃	2.20	向井潤吉環流展	(丈)	〃	5.10
モローとその弟子たち展		〃	2.22	古伊万里展		〃	5.11
上野の森85年の歩み展		〃	2.25	香月泰男展、加藤栄三遺作展	(丈)	〃	5.13
寺山修司・幻想写真館・大神家の人々展、三島喜美代展	(丈)	〃	2.26	大工道具展		〃	5.14
アンセルモ・アンセルミ展		〃	2.27	現代日本画の10人展、デスピオ展	(丈)	〃	5.15
潮展、ジャンセム展	(丈)	〃	2.28	岡鹿之助展	〃	〃	5.16
ピカソ「アルルカン」展示		〃	3.1	ルシュール展、リラン展	〃	〃	5.18
高田博厚彫刻五十年展		〃	3.2	中村順平日本古典建築図画展		〃	5.20
斎藤寿一展	(丈)	〃	3.5	日本国際美術展		〃	5.21
ハンガリー絵画展	〃	〃	3.7	三岸節子展	(丈)	〃	5.23
横尾忠則展、近藤竜男展	〃	〃	3.13	石田武展	〃	〃	5.25
アレン・ジョーンズ展		〃	3.14	藤本東一郎展、須田寿展	〃	〃	5.28
近代作家の回顧—新海竹藏・福田豊四郎展		〃	3.15	ナビ派3人展(ポナール、ヴィヤール、ルーセル)		〃	5.30
ルーブル美術館カルコグラフィエ・ムラージュ展、平塚運一展、島村三七雄展		〃	3.23	島田しづ展、国領経郎展、鈴木信太郎展	(丈)	〃	5.31
ティグリス・ユーフラテス文明展		〃	3.26	現代ソビエト絵画展	〃	〃	6.1
セザンヌ展		〃	3.29	江口遇展、長崎莫人展		〃	6.3
近代木彫史展		〃	〃	雨晴会展、日本の四季展(壺山南風・郷倉千靱)、寺田竹雄展	(丈)	〃	6.5
セザンヌ展に寄せて	山田智三郎	〃	4.1	ヘンリー・ムアによるヘンリー・ムア展		〃	6.6
形真展、芝田米三展	(丈)	〃	4.3	近代巨匠の名作展	(丈)	〃	6.7
春の院展、屏風と大作展	〃	〃	4.6	林功展、岩田専太郎遺作展		〃	6.8
舞妓の美展		〃	4.8	徳岡神泉と現代美術	久富 貢	〃	6.11
60回記念光風会展	(丈)	〃	4.10	三岸黄太郎展、从展	(丈)	〃	6.13
現代彫刻10人展		〃	4.13	パロリス国際陶芸ビエンナーレ	長谷川 栄	〃	6.14
アンドリュウ・ワイエス展	(丈)	〃	4.16	ブルース・ガフ展		〃	6.18
ブラジリエ展	〃	〃	4.18	棟方志功展、荻太郎展、猪熊弦一郎展	(丈)	〃	6.19
サム・フランシス展、ガベール展		〃	4.19	内藤四郎・新村撰吉・山脇洋二展		〃	6.20
吾妻兼治郎彫刻展、南大路一展、樋口治平展	(丈)	〃	4.20	川原竜三郎展、木村光佑展、ヴァザレリ展	(丈)	〃	〃
日本現代工芸展		〃	4.22	西山真一展、荘司福展、上村淳之展、六月のサロン展、轟会展	(丈)	〃	6.24
阿部展也回顧展		〃	4.24	国吉康雄展	〃	〃	6.27
秀島由己男展	(丈)	〃	4.25	難波田龍起展	〃	〃	6.29
小野具定展	〃	〃	4.26	青山義雄展	〃	〃	7.4
現代イタリア彫刻展、現代イタリア彫刻の11人展		〃	5.4	太陽展、日本の四季展(高田誠・浜田台児)	(丈)	〃	7.5



富岡惣一郎展、小杉放庵展、佐藤大寛展	(丈)	読売夕刊	7.5	一水会、新制作、一陽会、創画会	(丈)	読売夕刊	10.2
古川童生回顧展		シ	7.8	清水六兵衛展、コントリー展	シ	シ	10.4
逸翁美術館名品展		シ	7.19	川端龍子展	シ	シ	10.11
並河万里・シルクロード写真展		シ	7.22	今なお息づく二千年の文化(セーヌの流れとバリ物語展)	中山 公男	読 売	10.15
北沢映月展	(丈)	シ	7.23	石崎昭三展、中村直人展、クリスタン展	(丈)	読売夕刊	10.16
西村功展	シ	シ	7.25	ヨーロッパ絵画名作展		シ	10.18
宇野信夫小品展		シ	シ	近代日本の文人画展		シ	10.19
三代の秀作展		シ	7.26	岡鹿之助展、野口弥太郎展、脇田和展	(丈)	シ	10.21
印象派の誕生100年展によせて	村木 明	シ	8.11	高山辰雄・山本丘人・杉山寧展	シ	シ	10.23
OFF CRITICS展		シ	8.7	菅野矢一展、織田広喜展、小川イチ展、林清納展		シ	10.25
15人の写真家展	渡辺 勉	シ	8.8	絵巻展によせて	吉田 善彦	シ	10.26
グラフィックイメーヂ'74展、小口一郎展		シ	8.9	北川民次展	シ	シ	10.29
岩崎鐸展		シ	8.16	戴野健展、神下雄吉展	シ	シ	10.31
帷子と単衣展		シ	8.20	池田満寿夫デッサン展	(丈)	シ	11.5
久里洋二展		シ	8.21	正倉院展		シ	シ
マチスと野獣派展から1~6	今泉 篤男 中村 正義 大岡 信 大久保 泰 庄司 薫 里見 勝蔵	シ	8.20~ 8.28	森田曠平展、鼎会展、池田遙邨展		シ	11.7
青木繁・福田たねのロマン展		シ	8.27	矢崎虎夫展、豊福知徳展、石川滋彦展		シ	11.9
中村研一展、石川重信展、瑛九展		シ	8.29	中華人民共和国漢唐壁画展をみて	加納 記者	シ	11.11
オリエント美術展		シ	8.30	楠部弥弋展		シ	11.12
韓国現代書画展、カナダ絵画展、若きドイツの芸術家たち展		シ	9.3	パーヴェット・シェルト展		シ	11.13
小松均展、益田春光展		シ	9.4	新しい時迎える日展	(丈)	シ	11.14
中林忠良展、樹展、シエル美術賞展	(丈)	シ	9.5	神沢一郎展	シ	シ	11.18
現代彫刻20展		シ	9.6	林司馬展		シ	11.20
広重・武相名所手鑑展		シ	9.9	利根山光人展、平川敏夫展	(丈)	シ	11.22
際際形象展、東京国具象絵画ビエンナーレ展		シ	9.10	篠田守男展、宇佐美圭司展		シ	11.26
ダリ版画展		シ	9.11	杉山有展、アイズベリ・カシニユール・織田広喜展	シ	シ	11.29
若きドイツの芸術家たち展	坂崎 乙郎	読 売	シ	柳原義達展		シ	12.3
マチスと野獣派展	(丈)	読売夕刊	9.12	東京芸大陳列館改装記念所蔵品展		シ	12.4
橋本明治自選展		シ	9.14	李朝の民画展		シ	12.5
そら・みつあき展		シ	9.18	鶴田吾郎展		シ	12.6
グラフィックス'74展		シ	9.19	渡辺隆次展、若尾和呂展	(丈)	シ	12.7
ゾンネンシュターン展		シ	9.24	扇面画展、加藤達美展	シ	シ	12.12
木内克展、キュービズムの彫刻展、カヴァリエレ展	(丈)	シ	9.25	清水光子展、ピメノフ展	シ	シ	12.14
田村一男展	シ	シ	9.27	松本夔介遺作展		シ	12.16

白樺派とその周辺展	読売夕刊	12.17	ゲオルグ・ジメンル 「レンブラント」高橋 義孝訳、岩波書店		美術手帖	385
加山又造回顧展	〃	12.28	E、ドールス「ブラ ド美術館の三時間」	中山 公男	〃	379
<b>書 評</b>						
海野弘「装飾空間論」	石崎浩一郎	美術手帖	378	「ブラド美術館の三 時間」エウヘーニオ ・ドールス著、神吉 敬三訳	藤田 吉香	芸術生活 296
戸村浩「基本形態の 構造」	宇波 彰	〃	384	堀田善衛「ゴヤース ペイン、光と影」	末永 照和	美術手帖 381
オットー・シュテル ツァー「写真と芸術」	松岡 正剛	〃	386	モスクヴィノフ、モ ルクツワニルドニツ カヤ「レービン—19 世紀ロシアの画家」	松下 裕	〃 376
福井信雄、池田香代 子訳				最新のムンク教程、 ニック、スタング 「評伝エドワルド、 ムンク」	鈴木 正明	〃 384
R. アルンハイム 「視覚的思考—創造 心理学の世界」関計 夫訳	宇波 彰	〃	387	「クレーの絵画」マッ クス・フケグラー 著、土肥美夫訳	末永 照和	三 彩 317
「見えざるものの形」 ハーバード著、長谷 川鉦平訳	宇佐見英治	三 彩	313	ルネ・パスロン「ル ネ・マグリット」	岡田 隆彦	美術手帖 376
針生一郎「文化革命 の方へ」	終 光紡	美術手帖	379	カーンワイラー、瀬 木慎一、松尾国彦訳 「わたしの画廊わた しの画家」	古賀 孜	〃 387
坂崎乙郎氏の「終末 と幻想」を読んで	大矢 鞆音	萌 春	233	「狐の大旅行」正、 純、桂ゆき著	西江 雅之	芸術生活 299
宮川淳「紙片と眼差 とのあいだに」	前田 耕作	美術手帖	382	中村宏「呪物記」	中原 佑介	〃 380
彦坂尚嘉「反覆—新 興芸術の位相」	上野 昂志	〃	380	「暗中模索中」横尾忠 則著	松原 泰道	〃 294
「ポップ文化編」日向 あき子著	寺山 修司	芸術生活	294	「インテリア・アキ テクチュア」環境構 成の基礎、A. フ リードマン、J. F. パイル、F. ウィル ソン共著、漆原美代 子訳	山本 祐弘	三 彩 317
水谷不倒著作集、中 央公論社刊	小野 忠重	三 彩	312			
新刊紹介、細野正信 者「司馬江漢」	丹尾 安典	萌 春	234			
「石の小仏たち」森田 捨史郎編著	伊藤 信吉	芸術生活	297			
<本の紹介>西欧と の出会いのドキュメ ント—二つの画集の 刊行によせて「村井 正誠画集」定本・木 内克」	原田 実	三 彩	321			
矢野文夫「長谷川利 行」美術出版社	ヨシダ・ヨ シエ	美術手帖	386			
天地豊麗、小林和作 画集	藤本 韶三	三 彩	322			
「前衛王国」田中穰著	吉村 貞司	〃	321			
ギリシア美術、村田 数之亮著	立田 洋司	〃	324			
「ルネッサンスの春」 アーウィン・パノフ スキー著、中森義 宗、清水忠訳	若桑みどり	〃	313			
P・クロソウスキー 「ディアナの水浴」 宮川淳、豊崎光一訳	出口 裕弘	美術手帖	388			
ルネ・ユイグ「モナ、 リザ」、中山公男「モ ナ、リザ—永遠の女 性の謎」	久保 尋二	〃	383			
「レンブラント」ゲオ ルク、ジメル著、 高橋義孝訳	森 洋子	芸術生活	300			
				<b>時 評</b>		
				美術季評	寺田 千壘	季刊芸術 28
				〃	坂崎 乙郎	〃 29
				〃	小川 正隆	〃 30
				〃	三木 多聞	〃 31
				美術論壇時評		
				「記憶」の終末論的 地平	早見 堯	美術手帖 376
				方法の美術と美術 の方法	〃	〃 378
				反<近代>による <近代>超克の論 理	〃	〃 380
				<批判>=<見る こと>の成立の契 機	〃	〃 381
				表現における「具 体性」と「具体性」 の批評	〃	〃 382
				<独楽>と<放 蕩>	〃	〃 383

メディア的変質と 叙述の思想	早見 堯	美術手帖	384	モナリザの微笑も苦 笑にかわる日本の美 術界	野末 和彦	シ	3
自立思想的欠如を 越えるもの	シ	シ	385	モナリザと冷静な大 衆	東野 芳明	京 都	5.9
青春の蹉跎	シ	シ	386	モナリザのうす笑い	原 眩也	美術ジャー ーナル	25、26合 併号
アイロニカルな気 分	シ	シ	387	セナリザ展	米倉 守	朝日夕刊	4.16
仮装に関わるもの としての美術への 問い	シ	シ	388	抵抗する 画家たち 〈美術月評〉	小森 盛	日本美術	110
話題、ふるいたて、 万国のプロレタリ アーティストよ、 コンピュータ、ア ートのこれから	幸村真佐男	シ	380	相手は無数こちらは 一人〈美術月評〉	シ	シ	112
東京ビエンナーレ 今年の場合、いま 流行のニュー・リ アリズム	安井 収蔵	シ	380	生の実質の証あるも の〈美術月評〉	シ	シ	113
スーパー・リアリ ズムは、“前衛の免 罪符か？”	峯村 敏明	シ	381	リアリズムをめぐっ て	国行 理果	美術ジャー ーナル	14、15合 併号
シンボジウム「芸術 は変わったか」	李 禹煥	シ	386	伝統美の崩れ	シ	シ	16、17
美術時評	酒井 忠康	三 彩	312~315	嫌われる絵を	シ	シ	18、19
管理と美術のあいだ —表現主体と位相—	平井 亮一	シ	324	薄命の作家	シ	シ	20
管理と美術のあいだ —表現主体の位相—	シ	シ	326	画家仲間	シ	シ	21
“ニューリアリズム” の今日的意味	安井 収蔵	日本美術	104	無冠の帝王	シ	シ	24
第九回東京国際版画 ビエンナーレ展、審 査経過	東野 芳明	現代の眼	241	画家と留学地	日 経	10.26	
特集、安井賞—こと しの安井賞選考—	安井 収蔵	日本美術	107	浮世絵に暗い危機 (米)	朝日夕刊	11.25	
美術ジャーナル賞展 の意味	シ	美術ジャー ーナル	18、19合 併号	転機の中の混迷 74 文化状況回顧	毎日夕刊	12.26	
混迷の美術界に脱出 路はあるか	針生 一郎	芸術生活	302	沖縄の開発と文化財 破壊	当真 嗣一	読売夕刊	7.16
美術界の沈滞破るも の	瀬木 慎一	読売夕刊	4.13	<b>美術館・博物館</b>			
ことしの美術界	村瀬 記者	シ	12.11	話題、新都美術館の 構想にひとこと	小川 正隆	美術手帖	376
情感的なこの一年	日野耕之祐	絵	130	都立新美術館に対す る我々の提案と要求	美術ジャー ーナル	25、26合 併号	
芸術院問題をめぐっ て	麻生 良方	日本美術	108	東京都立新美術館問 題対策協議会	東京都美術館	原 眩也	シ
芸術院会員問題に思 う	小川 正隆	VISION	4—5	東京都美術館	村瀬 記者	読売夕刊	9.19~9. 21
位階勲等を喰う	小森 盛	日本美術	110	団体展時代と新・都 美術館 上・中・下	岡田 修一	現代の眼	231
デュッセルドルフで 開かれる現代日本美 術展	シ	芸術新潮	293	分室(工芸館)の建設	小川 正隆	美術手帖	378
ジャパン・アート・ フェスティバル	小川 正隆	VISION	4—7	話題、地方美術館の 問題点	(米)	朝日夕刊	11.15
東京具象ビエンナー レによせて	シ	シ	4—10	地方公立美術館への 提言	田中日佐夫	シ	2.23
美術の話題	木村 明也	みづゑ	826~837	博物館の体制に問題	稲垣 栄三	シ	4.19
広島県展に見る地方 美術の現況	シ	ほざある	3	脱皮したい博物館主 義	梅沢 重昭	シ	388
				群馬県立近代美術館 完成	小川 正隆	VISION	4—12
				群馬県立近代美術館 の誕生にふれて	美術ジャー ーナル	16、17合 併号	
				北関東美術展を企画 した栃木県立美術館	芸術新潮	290	
				大島清次氏、矢口国 夫氏にきく	河北 倫明	朝日夕刊	3.14
				私的コレクションと 公立美術館の役割	三木 多聞	毎日夕刊	3.15
				美術館のあり方			

ルポルタージュ、哀しき「地方美術館」				モダン・アートと住居の空間	矢幡陽太郎	芸術新潮	295
富本憲吉記念館誕生美術館めぐり	日 経	11.25		現代美術へのわが愛憎	西 達男	〃	〃
1. 西洋美術館	VISION	4-1		オノサトと私	藤岡 時彦	〃	〃
2. 国立近代美術館	〃	4-2		今西中通さんとの巡り会い	後藤 甚助	〃	〃
3. 上野の森美術館	〃	4-3		空間的思考へのアプローチ	猪股 正哉	〃	〃
4. 東京国立博物館(その1)	〃	4-4		香月に惚れる	小横 俊一	〃	〃
5. 東京国立博物館(その2)	〃	4-5		あるコレクターの思い出(蟹江孝平さん)	栗田 玲子	ガレリア通信	3
6. ブリジストン美術館(その1)	〃	4-6		ルッソー「熱帯」購入騒動顛末記	安井 収蔵	美術手帖	376
7. ブリジストン美術館(その2)	〃	4-7		YEN. と「熱帯」(抄訳) ロンドン・ボスト1973年11月20付	ドン・オーベルドーフ	絵	122
8. サントリー美術館	〃	4-8		一点の名画と日本の文化風土	米倉 守	〃	119
9. 礫山美術館	〃	4-9		画商への私の期待	小川 正隆	〃	119
11. 大倉集古館	〃	4-10		絵画ブームが残したもの	〃	VISION	4-2
12. 大原美術館	〃	4-12		秘蔵10. ダンバートン・オークスの古代アメリカ美術コレクション	エリザベス・ベンスン	芸術新潮	292
グレコ・ガーデンとアート・ホール完成(彫刻の森美術館)	日本美術	110		真贋・西洋骨董買い手鑑		〃	300
妙高高原に建った私設美術館	芸術新潮	297		真贋・鑑定所見聞録	宗 左近	〃	295
地方美術の旅・安芸周防路にそって	山沢 章三	ぼざある	4	真贋・エトルスクの贋作工房	小川 熙	〃	289
古代美術館1. アクロポリスの丘	小川 国夫	芸術新潮	298				
新たに開館したJ. ホール・ゲッティ美術館	脇村義太郎	〃	295				
ハーシホーン美術館	S D	1					
ヴェチカンが蒐めた現代宗教美術	芸術新潮	298					
ルーブルの裏方	長谷川 栄	毎日々刊	4.24				
真贋123. ルーブルの「写し、にせもの…」展	都城 範和	芸術新潮	291				
<b>美術市況</b>				<b>随筆・紀行</b>			
ルポルタージュ・はじめて関西で開かれた公開オークション	芸術新潮	290		崩れゆく古都			
市場再建への再提案	ぼざある	4		1. 桂とその周辺	西川 幸治	芸術新潮	291
現代美術の値段	瀬木 慎一	芸術新潮	294	2. 宇治醍醐	〃	〃	292
美術と投資	稲田 正義	絵	119	3. 嵯峨野	〃	〃	293
「愛するから買う」現代美術の小コレクターたち	芸術新潮	295		4. 東山	〃	〃	294
幾何学的抽象への誘い	小川 耕一			5. 白河、六波羅	〃	〃	295
イタリア彫刻への志向	横田 昭男			6. 山科	〃	〃	296
デュシャンに魁せられて	笠原 正明			7. 長岡、鳥羽	〃	〃	297
フックスの版画とともに	木下 龍児			8. 東大寺、興福寺	〃	〃	298
				9. 平城宮跡とその周辺	〃	〃	299
				10. 飛鳥と今井	〃	〃	300
				美を求めて	芝木 好子	芸術生活	293
				1. 美のコレクション	〃	〃	293
				2. 歌舞伎の美	〃	〃	294
				3. 創造の花	〃	〃	295
				4. 秋篠寺の技芸天	〃	〃	296
				5. 杏の花	〃	〃	297
				6. 人形と私	〃	〃	298
				7. 花の旅	〃	〃	299
				8. ヴェネチアの絵	〃	〃	300

9. ガラスの夢	芸術新潮	301	鏡のテオーリア	多田智満子	芸術生活	299~304	
10. 染色美	〃	302	1~6				
11. 髪飾り	〃	303	名作に靈感を与える美女たち	M. シーガル			
12. 日本画にみるもの	〃	304					
十一面観音巡礼	白州 正子		8. ロダン50年のモデル遍歴		〃	293	
①聖林寺から観音寺へ	芸術新潮	289	9. 洗濯女から画家になったユトリロの母		〃	294	
②こもりくの泊瀬	〃	290	10. 絵の中だけの“社交界の名花”キャスリーン・ニュートン夫人		〃	295	
③幻の寺	〃	291	11. 王子の眼を捉えた二人の女リリー・ラングトリとオルガ・アルバータ		〃	296	
④木津川にそって	〃	293	最終回、キキ・モンパルナスのヴァーナス		〃	297	
⑥奈良のお水取	〃	294	人形一秘められた歴史19~23	斎藤 悦子	〃	293~297	
⑦水神の里	〃	295	江戸の見世物	藤井 宗哲	〃	299	
⑧秋篠のあたり	〃	296	江戸の裏文化史				
⑨登美の小河	〃	297	五浦訪問記				
⑩龍田の川上	〃	298	一日本美術院ゆかりの地	中野 中	日本芸術	111	
⑪姨捨山の月	〃	299	山荘記	州之内 徹	芸術新潮	299	
⑫市の聖	〃	300	続、山荘記	〃	〃	300	
言わぬが花<私の美学、2>	神谷 次郎	日本芸術	110	会話について	〃	日本芸術	113
選ぶということ<私の美学、3>	日高 てる	〃	111	芸術とは決して気ままな遊びではない	麻生 良方	ぼざある	3
無表情にみる美意識<私の美学、6>	白畑 よし	〃	114	反文化的汎神論者<ずいひつ>	小森 盛	日本美術	105
遙かな美の周辺				<ずいひつ>あべこべ物語	〃	〃	107
1. 山田寺跡に立ちて	宮川 謙一	VISION	4-2	なつかしい思い出	山崎 玲子	〃	104
2. さわび頌歌	〃	〃	4-3	日曜画家の夢	麻生 良方	〃	111
3. 入相ざくら頌歌	〃	〃	4-4	一全国日曜画家大展会開く			
4. ゆく春の夕あかり	〃	〃	4-5	世にもたくましい日本人アーティストの夫人たち	安井 収蔵 絵		121
5. 二つの触れ合い	〃	〃	4-6	美的感覚を定着させたい	竹井 博友	〃	119
南窓雑記(四)	藤本 韶三	三 彩	312	思い出すままに昭和十年前後のこと	岡山 東	〃	121
〃 (六)	〃	〃	315	絵具のない明日に	加藤 貞雄	〃	125
〃 (八)	〃	〃	321	人生の画集	佐藤 忠雄	〃	〃
〃 (七)	〃	〃	323	昨年の笠間の美術講習	グループRの一会員	〃	126
文化庁長官最近のメモから				不毛のガン、不治の病と芸術	米倉 守	〃	127
5. 東アジア著作権セミナー開催そしてヨーロッパへ	安達 健二	VISION	4-2	絵のある日	石原慎太郎	〃	128
6. 文化庁の新予算	〃	〃	4-3	美術と山と作庭と	寺田 千壘	〃	130
7. 国宝、重要文化財のデパート展禁止をめぐる	〃	〃	4-4	美術の秋を謳う	〃	〃	〃
8. モナ・リザ展	〃	〃	4-5	画廊祭の一夜			
9. 大阪国立図書館	〃	〃	4-6				
10. アンドレ・マルロー氏の来日	〃	〃	4-7				
11. モナ・リザ展終る	〃	〃	4-8				
12. ラスコ洞窟見学	〃	〃	4-9				

昭和49年定期刊行物所載文献

美術学校紹介・太平洋美術学校		V I S I O N	4—6	文化財保存修復に於ける二三の根本的問題	岩崎 友吉	保存科学	13
明治初期の写真	円藤 正敏	現代の眼	237	高松塚古墳壁画の模写と公開	文化庁美術工芸課	月刊文化財	127
とりあえずは開眼レフで	中平 卓馬	〃	〃	木の文化の保存と修復—旧富貴寺羅漢堂と如庵—	関野 克	〃	130
精確であるよりも自己の現在を撮る	岡田 隆彦	〃	〃	建造物修理用材需給の現状	服部 文雄	〃	135
美術映画と映画美術格調高い好番組・NHK「近代絵画の巨匠」シリーズ	赤坂 長義	日本美術	108	腐朽木材に科学的処理を加えて耐用化し再使用することによる古建築復原の一連の業績	関野 克	建築雑誌	1083
植村鷹千代	美術手帖	379					
<<外国>>							
パーゼルのクラナッハ展から	栗田 亮	ガレリア通信	4	建造物等の修復における合成樹脂処置一覽	岩崎 友吉 中里 寿克	保存科学	13
海外短信	村木 明	みづゑ	826~837	重要文化財新潟県議会旧議事堂中心飾りの保存処置	樋口 清治 中里 寿克	〃	〃
パーゼルの国際美術見本市	小川 正隆	朝日夕刊	7.24	中尊寺金色堂漆芸部材の修復下	中里 寿克	〃	〃
中国書画評鑑学会について—中華民国書画壇の新しい風	柯 傳	日本美術	109	にかわの劣化と顔料の変褪色	見城 敏子	〃	12
アジアの民俗玩具をたずねて	横山宗一郎	芸術生活	296	胡粉盛り上げ彩色の剝離	登石 健三	〃	〃
シギリヤ・レディの微笑—スリランカの旅から—	那谷 敏郎	〃	295	書院内の保存環境について	石川 陸郎	〃	〃
カトマンズ盆地の美生きつづける中世的風物詩	〃	〃	297	京都寺院障壁画彩色の現状	中里 寿克	〃	〃
シルクロード上の考古学的新発見	加藤 九祚	毎日夕刊	12.10	障壁画彩色層の変質について	江本 義理	〃	〃
海外美術の旅(上)ナショナルギャラリー第八室D	林紀 一郎	ぼざある	3	障壁画の環境に及ぼす汚染空気の影響	門倉 武夫 江本 義理	〃	〃
18日間ヨーロッパ美術旅行		〃	4	障壁画等の剝落どめについて	岩崎 友吉	〃	〃
風に吹かれて上・下(スウェーデン無宿晰)	宗 左近	読売夕刊	5.17, 5.18	障壁画の合成樹脂による剝落どめ処置の問題点	樋口 清治	〃	〃
ヨーロッパ美術の旅から上・下	小川 正隆	朝日夕刊	8.5, 8.6	書院造り建造物中の障壁画に対する合成樹脂等による剝落どめの処置歴及び現状	茂木 曙	〃	〃
ソビエト美術の旅1~8	田中 稷	読売夕刊	8.20~28	障壁画保存環境の微生物	新井 英夫	〃	〃
ヨーロッパ雑感上・下	粟津 則雄	〃	10.22, 10.23	重要民俗資料 荒川神社船絵馬及白山媛神社船絵馬保存処置	茂木 曙	〃	13
<b>東洋古美術</b>				彫刻修復技術研究序説—伝統技法と科学技術—	西川杏太郎	〃	〃
<b>総記</b>				金属製品のクリーニングにおけるエアブラッシュの応用—鉄錆で隠された銀象嵌の露出処置	樋口 清治 青木 繁夫	〃	〃
歴史的記念物の保存について	黒板 昌夫	日本歴史	318	観音山古墳出土金属製品の保存処置について	〃	〃	〃
発掘に際しての科学的心がまえ	登石 健三	考古学雑誌	60—3	出土鉄器の保存処置	小林 幸雄 三野 紀雄	北海道開拓記念館調査報告	6
未発掘古墳内の微生物学的研究	新井 英夫	〃	59—4				
装飾古墳内の微生物調査 福岡県王塚古墳・熊本県チブサン古墳	江本 義数 江本 義理	保存科学	12				

占陶磁の機器分析について	向井 繁正	陶 説	252	戦後美術品移動史			
町田郷土資料館におけるバイケン燻蒸	森 八郎 新井 英夫	保存科学	12	13. 三溪・原富太郎の蒐集品 14. 消えた美術館 15. 長尾美術館 16. ~19. 寺院からの流出 20. 海外への流出 21. 海外への流出 21. ~23. 岡田世界救世教教祖の蒐集 24. 天理教二代真柱中山正善の蒐集	田中日佐夫	芸術新潮	289~300
畏敬の美—東洋的美意識の一考察—	片岡 義道	京都市立芸術大学研究紀要	19	骨董百話 61~72	小山富士夫	〃	〃
仏教美術の研究	小谷 仲男	聖徳太子研究	8	骨董勉強ノオト1~12	藪山 康彦	〃	〃
地藏菩薩の展開	佐和 隆研	仏教芸術	97	趣向と自然	秦 恒平	芸術生活	293~304
重文指定地藏菩薩像目録		〃	〃	マルローとともに日本美術をみる	竹本 忠雄	芸術新潮	295
大威徳明王像の騎牛の源流 上, 下	たなかしげ ひさ	史迹と美術	442, 443	対馬・老岐の文化財所在資料編		仏教芸術	95
不動明王雑考	佐和 隆研	仏教芸術	99	対馬・老岐の美術調査について	谷口 鉄雄	〃	〃
神々の美術	景山 春樹	月刊文化財	133	古代の老岐・対馬	川添 昭二	〃	〃
日本の「神々の美術」(対談)	梅原 猛 景山 春樹	芸術新潮	299	対馬・老岐仏教美術略年表		〃	〃
キリシタン美術私見(真贋126)	吉田小五郎	〃	294	新指定の文化財	文化庁文化財保護部	月刊文化財	124, 128
仏教美術の装飾文様 3. 聖樹 2 4. 5. 蓮華	林 良一	仏教芸術	96, 98, 99	新指定「国宝・重要文化財」	鈴木 進	芸術新潮	293
「獅子狩文様」の歴史上, 中, 下	鈴木 博子	史迹と美術	448~450	御物について	谷 信一	淡 交	28-8
干支の美術<寅>	香取 忠彦	日本美術	104	法隆寺献納宝物の由来	石田 茂作	ミュージアム	282
東西比較デザイン論 3—色彩感覚の伝統	白石 和也	九州産業大芸術学部研究報告	5-1	史料公刊7~9 壬申検査「古器物目録」巻之式		〃	275, 277, 278,
日本文化財講座		月刊文化財		通済愛蔵古美術品—公益法人に寄贈される菅原通済コレクション		日本美術	106
19. 室町・桃山時代の絵画	辻 惟雄		124	琳派の流れ	水尾比呂志	別冊太陽	6
20. 桃山時代の建築	平井 聖		125	琳派の表現—日本の装飾美の典型—	吉田 光邦	〃	〃
21. 桃山時代の工芸	中川 千咲		126	琳派の土壌—京都文化試論—	森谷 尅久	〃	〃
22. 江戸時代の建築	大河 直躬		127	琳派随想		〃	〃
23. 江戸時代の芸能	郡司 正勝		130	魔性の美	加山 又造		
24. 江戸時代の工芸	田沢 坦		132	近世の三大詩人	秦 秀雄		
25. 江戸時代の絵画	武田 恒夫		134	華麗なる音楽	友竹 正則		
美術史雑記 16. 17. 日本の工芸 18. 日本の庭園様式 19. 宗達とその周辺 20. 21. 日本の書の芸術	源 豊宗	日本美術工芸	424, 425, 427~430	古都の美のただよい	中村 弘子		
日本美術史 24. 浄土のイメージの変貌 25. 浄土式庭園・情念のロマネスク 26. 平安の華・中尊寺	栗田 勇	芸術新潮	289~291	水くぐりの梅	小原 豊雲		
失なわれたものとの対話 17~28	吉村 貞司	日本美術工芸	424~435	意匠としての琳派(対談)	水尾比呂志 田中 一光	〃	〃
本の美術史16~20	小野 忠重	三 彩	312, 315, 317, 324, 326	光悦と茶の湯	横田 信義	国学院雑誌	75-4
				関西の中国古美術展	陳 舜臣	芸術新潮	295
				漢代の鬼神の世界	林 巳奈夫	東方学報	46
				蘇東坡の芸術論	中田勇次郎	書 論	5





社寺縁起と絵巻物一 北野天神縁起を中心 に一	桜井 好朗	文 学	42-3	肖像画の諸問題 3. 明恵上人樹上坐禅像 を中心に 4.花園天 皇像を中心に	鈴木 進	ア-ト ト ップ	
源氏物語絵巻への道 一吹抜屋台の構図を めぐって一	清水 好子	シ	シ	私の選ぶ一点 花園院像	寺田 透		芸術新潮 298
「信貴山縁起」の絵と 詞と	むしゃのこ うじみのる	シ	シ	細川昭元夫人像	白畑 よし		
十二世紀末の美と思 想一地獄草紙一	笠原 伸夫	シ	シ	逸翁美術館豊公像 (三竹園漫録13)	土居 次義	日本美術 工芸	424
地藏靈験記絵巻につ いて	宮 次男	仏教芸術	97	薬山和尚李翺禅師問 答之図	中村 溪男	古美術	45
新出の弘安本十牛図 巻	真保 亨	シ	96	啓孫筆虎溪三笑・山 水図	シ	シ	46
浄土五祖絵(藤田美術 館蔵)について	シ	ミュージ アム	285	室町文化と同朋衆 一阿弥派の芸術を中 心に一	安藤直太郎	椋山女子 学園大学 研究論集	5
「鳥獸戯画」甲巻の復 原	上野 憲示	美術研究	292	大仙院室中の瀟湘入 景図襖絵一相阿弥の 史的位置についての 一考察	太田 孝彦	美術史	86
「鳥獸戯画」甲巻の残 欠二種一新出本と益 田家旧蔵本一	秋山 光和	シ	シ	伝相阿弥筆林泉図	衛藤 駿	古美術	46
天神縁起絵初期の問 題一メトロポリタン 美術館本道賢巡歴の 巻をめぐって一	吉田 友之	ミュージ アム	284	雪舟の花鳥画(座談 会)	田中 米澤	一松 嘉圃 他	国 華 970
泣不動縁起絵巻	白畑 よし	国 華	967	雪舟・漂泊の画家 周耕筆芦葉達磨図	中村 溪男	古美術	44
年中行事絵巻の一写 本について	重田 正夫	埼玉県立 博物館だ より	8	人間雪村周継	シ	萌 春	236
伴大納言絵詞の説話	藤田 経世	文 学	42-3	雪村の花鳥画	衛藤 駿	ミュージ アム	281
「平治物語絵詞」の構 縁	永積 安明	シ	シ	雪村関係資料一資料 から見た雪村のおも かげ	中村 溪男	シ	シ
東京国立博物館保管 法然上人絵伝	関 忠夫	ミュージ アム	275	海外における雪村画 蝦蟇が踊るとき一雪 村の妖怪未成熟論	中島 純司	みづ 丞	835
知恩院蔵 法然上人 絵伝(四十八巻本)に ついて	村重 寧	シ	シ	雪村筆呂洞賓図遺聞 雲谷等顔について	中村 溪男 河合 正朝	三 彩 美 学	323 99
法然上人絵伝の画中 画一とくに水墨障屏 画とその特色につ いて	中村 溪男	シ	シ	最近寓目の等伯画	土居 次義	日本美術 工芸	433
紫式部日記絵詞の成 立年代一詞書書風の 立場から一	松原 茂	シ	276	利休と長谷川等伯 「等伯画説」の一節を めぐって	吉村 貞司 今泉 淑夫	淡 交	28-3 316
竹崎季長おぼえがき	工藤 敬一	日本歴史	317	長谷川等伯(私的日 本美術史11)	坂崎 乙郎	芸術生活	295
神護寺蔵「山水屏風」 一やまと絵山水画の 展開一	村重 寧	東京国立 博物館紀 要	9	長谷川等譽の作品 海北友松における人 物画体	河野 元昭 武田 恒夫	国 華 美 学	968 99
十四世紀における絵 所預の系譜	宮島 新一	美術史	88	會我二直庵雜記(古 美術研究ノート9)	土居 次義	ア-ト	22-4
日本の肖像画	栗田 勇	芸術新潮	298	月次景物図	武田 恒夫	日本美術 工芸	424
日本の自画像一その 系譜	桑原 住雄	日本美術	109	犬追物図に關する 一考察一新出小西家 蔵犬追物図屏風紹介 に際して	安達 啓子	国 華	972
浄土教肖像画小稿一 法然上人御影を中心 として一	竹内 尚次	ミュージ アム	277	富嶽図屏風	土居 次義	シ	938
続・浄土教の肖像画 小稿	シ	シ	278	大原御幸図屏風	水尾比呂志	シ	966

昭和49年定期刊行物所載文献

日本とアメリカに別れた一双の初期風俗屏風(秘蔵17)	矢幡陽太郎	芸術新潮	299	渡辺始興筆「真写鳥類図巻」について	河野 元昭	美術研究	291
桜下遊楽図	楢崎 宗重	古美術	45	宗理筆三幅対「竹の図」「寿老図」「月に梅花の図」	永田 生慈	北斎研究	6
遊楽図屏風	楢崎 宗重	浮世絵芸術	42	酒井抱一筆十二ヶ月短冊	中村 溪男	古美術	44
相応寺屏風にみる小袖意匠(下)	橋本 澄子	ミュージアム	277	岩佐又兵衛(謎の画人1)	瀬木 慎一	日本美術工芸	428
享保改革下の中京演劇一享元絵巻考一	諏訪 春雄	国語と国文学	51-10	絵暦から錦絵へ「工」に関する一考察	屋根優美子	浮世絵芸術	41
白梅図屏風と牡丹・芍薬に孔雀図屏風(古美術研究ノート7)	土居 次義	アート	22-1	草双紙年代記(1)	小野 忠重	萌 春	238
風流陣図屏風	武田 恒夫	国 華	973	天保改革と浮世絵	南 和男	国学院雑誌	75-10
大徳寺方丈の探幽筆方丈画(三竹園漫録15)	土居 次義	日本美術工芸	426	浮世絵の模倣と類型前・後	狩野 博幸	日本美術工芸	425, 426
加藤遠沢の琴棋書画図屏風(古美術研究ノート8)	シ	アート	22-3	「浮世絵類考」論究23~33	北小路 健	萌 春	228~238
久隅守景筆山水図	吉沢 忠	国 華	972	江戸時代の風景版画論	加藤 好夫	浮世絵芸術	39
伝土佐光元筆源氏物語画帖	白畑 よし	シ	965	小島烏水著「浮世絵と風景画」をめぐって	手塚 実	シ	38
法明院の応挙襖絵(三竹園漫録14)	土居 次義	日本美術工芸	425	浮世絵に描かれた藤沢宿	阿部 征寛	シ	42
応挙と芦雪	松尾 勝彦	古美術	46	江戸の漫画 日本人の笑いの再発掘	林 美一	芸術生活	294
芦雪(謎の画人4)	瀬木 慎一	日本美術工芸	431	浮世絵研究会経過報告と鳥文斎栄之の過去帳紹介	鈴木 浩平	浮世絵芸術	39
大なる絵師一宗達と光悦一	保田与重郎	別冊太陽	6	二代戴斗への疑問	黒田 精治	北斎研究	8
伝宗達筆伊勢物語図色紙について	山根 有三	大和文華	59	宮川長春の業績と地位	楢崎 宗重	アートトップ	25
伝宗達筆伊勢物語図色紙の詞書について	伊藤 敏子	シ	シ	歌川豊国筆御殿山観桜図	小林 忠	国 華	965
宗達筆歌仙絵	村重 寧	古美術	44	豊春とヴェニス	岡野 圭一	浮世絵芸術	38
琳派の工房一俵屋宗達の周辺一	シ	別冊太陽	6	春信(謎の画人6)	瀬木 慎一	日本美術工芸	433
喜多川相説筆秋草図屏風	水尾比呂志	国 華	969	北斎と広重	シ	日本美術	111
四季草花図屏風	シ	シ	シ	広重二つの新事実	仁科 又亮	芸術生活	301
緒方深省覚書一乾山と光琳一	シ	別冊太陽	6	広重道祖神幕その後	遠藤 楳雄	浮世絵芸術	40
光琳抄 6. 世之助と扮う鶯児光琳 7. 新町二条下ル町屋敷 8. 国宝「紅白梅図」の水流の明と暗 9. 正徳萩原事件の怪 10. 謎の銀座事件顛末 11. 光琳は誰に奉仕したか 12. 光琳・乾山相違とかかわり 13. 色と欲の大失敗 14. 光琳と茶道具 15. 16. 光琳と三越 17. 光琳の末裔	白崎 秀雄	日本美術工芸	424~435	広重の「東海道五十三次」	太 陽	芸術新潮	296
尾形乾山筆四季花鳥図屏風	水尾比呂志	国 華	974	広重・火消しの絵師	坂崎 乙郎	小原流挿花	24-3
				葛飾北斎	シ	芸術生活	293
				葛飾北斎(私的「日本美術史」9)	瀬木 慎一	日本美術	111
				北斎と広重	後藤 清和	北斎研究	8
				馬琴日記にみえる北斎・葛飾派の人々1	シ	シ	6
				北斎関西旅行第一次調査報告	永田 生慈	シ	シ
				北斎名古屋に行きてその画業と生活			

北斎の信州小布施旅行	由良 哲次	北斎研究	8	如意道人蒐集書畫帖について	吉沢 忠 国 華	975
北斎の小布施遺作の文献的実証的研究	〃	浮世絵芸術	39	立原杏所筆葡萄図	〃 〃	967
北斎絵本の研究 1	永田 生慈	北斎研究	8	山東京伝筆出代り図	河野 元昭	975
北斎の黄表紙3一時太郎可候の研究	安田 剛蔵	浮世絵芸術	42	山東京伝筆高輪海浜図	〃 〃 〃	
永楽屋概論—北斎と永楽屋に就いて	永田 生慈	北斎研究	7	浦上玉堂筆雲烟模糊図・夏雲欲晴図・長相思詩図・醉月狂花行図	小林 忠	969
永楽屋宛北斎書簡解説	〃	〃	〃	浦上玉堂筆急湍泛舟図	吉沢 忠	975
名古屋書肆永楽屋について	片野東四郎	〃	〃	浦上玉堂筆奇峰連聳図	〃 〃 〃	
北斎晩年の謎をとく手紙(真贋128)	瀬木 慎一	芸術新潮	296	浦上玉堂筆惜別江山谷幹々筆金魚図	細野 正信 古美術	46
工芸界に於ける北斎絵本の位置1、2	黒田 精治	北斎研究	6,7	木村兼葭堂筆彩竹図	河野 元昭 国 華	975
葛飾北斎の自筆芸術	青木進三朗	三 彩	313	高森碎巖の画論「自知斎文稿」2~5	〃 〃 〃	
北斎の描いた点印	福由 信夫	〃	7	青木夙夜筆雪裡山家図	竹谷長二郎 萌 春	228~231
シーボルトの持ち帰った北斎画	W・V・グーリック	芸術新潮	289	浦上春琴筆桃源舟行図	星野 鈴 国 華	975
葛飾斎画「不動明王」画稿	〃	北斎研究	8	画家大岡春卜のこと	〃 〃 〃	974
北泉画「神功皇后の図」絵馬について	福由 信夫	〃	6	松花堂昭乗の画事「松花堂画帖」の渡唐天神像図	吉田 友之 日本美術 工芸	431
杉村治兵衛論	堀岡 智明	浮世絵芸術	40	山中信天翁筆松石靈芝図	土居 次義 茶道雑誌	38—8
奥村政信の初期の版画	R・ベルジェス	〃	42	佐竹蓬平	矢崎 格 日本美術 工芸	428
伝菱川師宣筆「大江山酒吞童子図」	菊地 貞夫	ミュージアム	279	佐竹蓬平 年譜	脇田秀太郎 国 華	966
東海道分間絵図	樋口 秀雄	〃	277	大雅堂と玉瀾一画冊について	子母平正樹 三 彩	317
馬琴日記・書簡にみえる二代柳川重信に就いて	後藤 清和	北斎研究	7	大雅と玉瀾 年譜	〃 〃	
無款「観月図」解説(宍戸正考氏蔵)	檜崎 宗重	浮世絵芸術	39	大雅筆蘭亭図扁額と草稿	中川 一政 古美術	44
牛島神社「須佐之男命厄神退治ノ図」大絵額への危惧	永田 生慈	北斎研究	7	池大雅筆飲中八仙図屏風	鈴木 進 〃 〃	
瀧沢馬琴水滸画伝「校定原本」著録の刊本二種	白木 直也	東方学	47	対山晩年の作品と門下	藪本 公三 〃 〃	
仙厓さんの寒山拾得一思いつくままに一風外筆群仙図屏風	古田 紹欽	出光美術館報	20	対山五十才の年	吉沢 忠 国 華	974
若冲(謎の画人3)	淡川 康一	古美術	44	鳥羽臺麓筆石図	冠 豊一 萌 春	229, 230
曾我蕭白について	瀬木 慎一	日本美術工芸	430	長町竹石筆墨竹図・墨梅図双幅	〃 〃 237, 238	
曾我蕭白(謎の画人2)	松尾 勝彦	美 学	99	幕末の志士藤本鉄石の絵	河野 元昭 国 華	975
放蕩無頼の絵画—日本南画の主流として—	瀬木 慎一	日本美術工芸	429	岡田半江筆淀川舟遊図	脇田秀太郎 〃	973
文人の交遊	日野 龍夫	〃	42—4	岡田半江筆莊子夢蝶図	吉田 正明 日本美術	105
				岡田半江筆月下美人図	吉沢 忠 国 華	969
				丹後時代の蕪村作品の特輯にあたって	〃 〃	975
				丹後時代の蕪村	鈴木 進 古美術	45
					吉沢 忠 国 華	971
					佐々木丞平 〃 〃	



鳥毛立女屏風下貼文書の研究—買新羅物解の基礎的考察—	東野 治之	史 林	57—6	秀吉自筆の消息 秀吉略年譜	原田 伴彦	墨 美	238
正倉院蔵鳥兜残欠より発見された奈良時代の文書と墨画	〃	ミュージアム	278	最初の徳川家康文書	新行 紀一	日本歴史	317
最澄伝受 順暁阿闍梨付法印信	大山 仁快	仏教芸術	96	徳川家康筆茶壺の覚	徳川 義宣	古美術	44, 46
河嶽英霊集について	太田晶二郎	国語国文	43—8	三輪信仰と寛永の三筆	池田 末則	大 美 和	47
装飾経にみる美と信仰	宮 次男	小原流挿花	24—1	如意道人菟集書画帖について	吉沢 忠	国 華	975
古筆の料紙について	上田 星邨	茶道雑誌	38—6	細井平州筆題書	〃	〃	〃
続女人の書 15, 16	前田 映子	日本美術工芸	424, 425	慈雲飲光筆和歌書	〃	〃	〃
うたぎれと女性	〃	茶道雑誌	38—6	皆川淇園筆五言絶句書	〃	〃	〃
歌切と茶道	綾村 坦園	〃	〃	百万塔陀羅尼	石塚 晴通	墨 美	241
歌切鑑賞の起原	木下 政雄	〃	〃	平安～鎌倉期出版関係者一覽(稿)2～完	白石 克	金沢文庫研究	213～216
色紙・短冊 1. 升色紙 2. 堺色紙大色紙 3. ～5. 色紙貼交屏風 6. 小倉色紙 7. 短冊のおこり 8. 歌会短冊 9. 蓮月一貼交屏風 10. 武将と連歌師 11. 短冊手鑑 12. 名筆の鑑賞	前田 映子	淡 交	28—1～12	越前朝倉版「俗解八十一難経」の版木	岩治 勇一	若越郷土研究	19—5
和歌の短冊	春名 好重	墨 美	244	九重の守と福德寺の版木	川勝政太郎	史迹と美術	447
手紙の歴史	〃	淡 交	28—7	周防安養寺の三重塔版木	内田 伸	〃	450
蓬来切	財津 永次	茶道雑誌	38—6	初期キリシタン版—キリシタン版書誌1	海老沢有道	史 苑	34—1
元永本古今集	古谷 稔	ミュージアム	279	近江の金石文12～15	景山 春樹 宇野 健一 稲田 和彦	考古学雑誌	50—4 ～ 60—3
定家の小倉の色紙	沢田 章	陶 説	260	中国・その他			
新出の定家本是則集	古谷 稔	ミュージアム	276	漢の小隸について2 刑徒磚 3 前漢の刻石	牛丸 好一	書 論	4, 5
熊野懐紙	田中 塊堂	茶道雑誌	38—3	隸書—史書—史書	伏見 冲敬	書 品	239
紫式部日記絵詞の成立年代—詞書書風の立場から—	松原 茂	ミュージアム	276	飛白の沿革	藤原 有仁	書 論	5
恵信尼文書について	宮崎 円遵	墨 美	237	法書要録注釈3	杉村 邦彦	〃	〃
恵信尼消息积文	〃	〃	〃	米芾書史所載法書考	中田勇次郎	大手前女子大論集	8
音読無量寿経积文	〃	〃	〃	居延漢簡の集成 1 破城子(ム・ドルベルジン)出土簡 2 破城子出土の定期文書	永田 英正	東方学報	46, 47
二階堂貞藤の一書状	多賀 宗準	金沢文庫研究	214	「孫子」残簡等を出土した中国山東臨沂の古墳	川又 正智 (訳)	考古学ジャーナル	99
夢窓国師草書詩幅	田山 方南	古美術	45	長沙馬王堆出土竹簡	伏見 冲敬	書 品	243
茶人と花押 15～19	十和田湖月	茶道雑誌	38—2～4, 9, 12	王羲之の蘭亭修禊詩について	杉村 邦彦	書 論	4
茶人の消息	永島福太郎	淡 交	28—7	書聖王羲之「蘭亭序」偽作説(眞贋122)	鈴木 史樓	芸術新潮	290
光悦の手紙と本阿弥行状記	横田 信義	日本歴史	314	由王謝墓誌的出土論到蘭亭的眞偽	郭 沫若 (今井凌雪訳)	書 品	243
松花堂と光悦の書	津財 永次	茶道雑誌	38—8	北齊・朱墨思等造塔記	西川 寧	〃	242
伝宗達筆伊勢物語図色紙の詞書について	伊藤 敏子	大和文華	59	瘞鶴銘ノ一ト	森田 子龍	墨 美	246

昭和49年定期刊行物所載文献

トルファン出土唐永淳元年泥徳達告身と令書式について	中村 裕一	大手前女子大論集	8	対馬・杵岐の朝鮮系彫刻	菊竹 淳一	仏教芸術	95
智永の書学と後世への影響	台 静農 (大野脩作訳)	書 論	5	杵岐・対馬の木造彫刻	八尋 和泉	シ	シ
宋代士大夫と書一歐陽脩を例として一	石田 肇	シ	4	対馬・法清寺の木彫群	錦織 亮介	シ	シ
欧陽脩と蘇東坡一交遊・李北海・進者之戒一	シ	シ	5	法隆寺献納宝物 金銅四十八体仏中の在銘像について	佐藤 昭夫	ミュージアム	282
蘇東坡の書	中田勇次郎	シ	シ	金銅四十八体仏考 6.細部篇頭部(A) 如来の頭髮	千沢 慎治	シ	274
蘇适墓誌をめぐる	足立 豊	シ	シ	清凉寺式积迦如来像 現存一覽表	前田 元重	金沢文庫研究紀要	11
仏鑑禪師の墨蹟	財津 永次	茶道雑誌	38-10	平安期における造仏の一例一「久寿二年、丈六阿弥陀仏像支度注文案」一	清水 善三	仏教芸術	98
楚石梵琦の墨蹟	シ	シ	38-11	仙台阿弥陀寺の阿弥陀如来像	山田 泰弘	史迹と美術	450
元朝書人伝 1.趙孟頫・附管夫人 2.巖巖	福本 雅一	書 論	5	阿弥陀如来立像一軀一三郷市玉蔵院本尊の調査一	宮内 正勝	埼玉文化史研究特別号	1
董其昌とその時代 3	藤原 有仁	シ	4	教恩寺阿弥陀三尊立像に就て	皆川 祥子	鎌 倉	23
費隠書開示語卷	林 雪光	墨 美	243	比叡山常行堂の阿弥陀像一近江国梵釈寺像を中心として一	宇野 茂樹	仏教芸術	96
許友とその書	中田勇次郎	シ	239	広隆寺講堂阿弥陀如来坐像の造立年代について	浅井 和春	国 華	974
趙之謙篆書・説文解字序積文	シ	書 品	239	天台の薬師像	清水 善三	日本美術工芸	435
篆刻攷 1.篆刻と書の関係 2.3.篆刻の歴史 4.呉昌碩の篆刻 5.書画作品における篆刻の歴史 6.現代中国の書・篆刻	梅 舒適	日本美術工芸	426~431	西光寺薬師如来像について	小川 知二	茨城県歴史館報	1
モンゴリア出土五銖銭の突厥文字銘文考	護 雅夫	考古学ジャーナル	92	鎌倉初期彫刻の一断面一宝城坊の丈六像とくに薬師如来坐像を中心に	佐藤 昭夫	金沢文庫研究	221
<b>彫 刻</b>							
<b>日 本</b>							
天平仏と唐様式上、下	松原 三郎	国 華	967,969	京都高田寺薬師如来像と藤原実方の歌	猪川 和子	美術研究	294
日本の鉄仏	佐藤 昭夫	日本美術工芸	425	古美術店でみつけた国宝元興寺薬師仏の背板	木戸 敏郎	芸術新潮	290
ナタボリ仏の背景と展開 上、下	中野 忠明	史迹と美術	442,443	「植槻道場縁起」と薬師寺講堂三尊	佐藤 靖子	芸術学研究	1
院政期の造像銘記をめぐる二・三の問題	水野敬三郎	美術研究	295	飛鳥仏問題の再吟味 その本尊を中心として	F・ベルチェ	仏教芸術	96
禅利仏殿本尊像小考	三山 進	三浦古文化	16	飛鳥大仏について一ベルチェ氏の批判にこたえる一	町田 甲一	シ	98
北総のかくれた平安仏	むしゃのこうじみのる	古 美術	45	飛鳥寺本尊・山田寺仏頭の実測調査と推定復原	美術工芸研究室	奈良国立文化財研究所年報	1973
上野村向屋出土の彫刻画のある石	外山 和夫	群馬県立博物館報	17	広隆寺聖観音像の制作年代	伊東 史朗	仏教芸術	96
大宮市二ツ宮阿弥陀堂の仏像と板碑	青木 忠雄	埼玉文化史研究	6	京都草堂行願寺千手観音立像	猪川 和子	史迹と美術	448
下総神崎神宮寺の古仏群	むしゃのこうじみのる	国 華	965	聖林寺十一面観音立像光背残欠の復原	池田久美子	仏教芸術	99
千葉県君津市と富津市の彫刻	鷲塚 泰光 松島 健	三浦古文化	16				
埋蔵されていた川原寺の仏たち	網干 善教	芸術新潮	296				
中部地方の古代銅像	久野 健	美術研究	291				
杵岐の仏像	菊竹 淳一	日本美術工芸	432				

豊前大興善寺如意輪 観音像とその周辺	入尋 和泉	美 学	99	中国・その他			
地藏菩薩像の形相	毛利 久	仏教芸術	97	中国古代の人像の問題	谷口 鉄雄	九州産業 大芸術学 部研究報 告	5-1
旧法願寺地藏堂木造 地藏菩薩坐像とその 造立背景	青木 忠雄	埼玉文化 史研究特 別号	1	中国仏像様式の南北 一再考一	松原 三郎	美術研究	296
松伏無量寿院の衣文 垂下地藏像について	〃	埼玉文化 史研究	6	「雲岡石窟」解禁		芸術新潮	291
浄瑠璃寺旧蔵十二神 将像 円成寺四天王 立像	松島 健	仏教芸術	96	1. 回想の雲岡石窟 調査	長広 敏雄		
天部形立像	上原 昭一	古 美術	45	2. 雲岡石窟雑感	宮川 寅雄		
沼津霊山寺の在銘反 花座	佐藤 郁太	史迹と美 術	444	3. 雲岡石窟を訪ね て	吉田 実		
日本における地藏信 仰	日野西真定	仏教芸術	97	優填王所造栴檀積迦 瑞像歴記 附西郊清 涼寺瑞像流記	平林 盛得	書陵部紀 要	25
石造地藏 付石造地 蔵主要遺品一覽表	川勝政太郎	〃	〃	金銅二仏並坐像	松原 三郎	古 美術	44
敦賀の石仏二体	増永 常雄	史迹と美 術	448	ヒマラヤを越えてき た埴仏	森川 章二	芸術新潮	297
湖北黒山道の二体地 蔵石仏	川端 菊夫	〃	444	迦畢試国出土の仏教 彫刻の製作年代につ いて	田辺 勝美	東大総合 研究資料 館業績集	6
大和神末柚谷の石仏	清水 俊明	〃	442				
丹波屋賀の石仏	佐々木利三	林 泉	248, 250				
丹後の建永在銘童子 像石仏	川勝政太郎	史迹と美 術	443				
尾張・三河の仏足石	加藤 諄	美術史研 究	11				
時宗の肖像彫刻	山田 泰弘	仏教芸術	96				
覚園寺の肖像彫刻	〃	鎌 倉	22				
長楽寺の時宗肖像彫 刻	毛利 久	仏教芸術	96				
東大寺俊乘堂重源上 人像とその造像の背 景	金子 啓明	ミュージ アム	274				
藤原様式と定朝様	清水 善三	美 学	98				
東漸寺の薬師如来坐 像一東国における初 期運慶様の一例一	清水 真澄	三浦古文 化	16				
仏師院広とその作例 一14世紀における院 派仏師の動向をめぐ って一	〃	国 華	973				
岩槻市谷下久伊豆神 社の円空仏	林 宏一	埼玉文化 史研究特 別号	1				
円空・放浪の仏師		太 陽	136				
仏像修理の想い出 1. 三十三間堂の千手 観音 2. 願成就院の 本尊 3. 仏の魂一福 岡県大悲王院の本尊 4. 仏像と虫一福島県 大蔵寺の十一面千手 観音	西村 公朝	日本美術 工芸	432~435				
				建築・庭園・石造美術			
				日 本			
				日本古代建築寸法計 画の解析的研究 2. 柱間の内法・心々・ 外法の関係 (ICO 型分類) 3. ICO型 分類による層塔柱間 構成の解析	石井 邦信	日本建築 学会論文 報告集	215, 219,
				伝統と創造のノート 13. 14. 曲尺割と木割	中村 昌生	日本美術 工芸	426, 427
				律令国家における正 倉建築の規格と実体	富山 博	日本建築 学会論文 報告集	215
				室町時代寺院建築に おける寸法関係につ いて4. 和様建築にお ける寸法比例の研究 (実測数値による統 計学的研究14)	岩橋 保	〃	〃
				福岡・湯納遺跡出土 の建築材	浅野 清	仏教芸術	96
				福岡県湯納遺跡の発 掘と出土建築材	栗原 和彦 澤村 仁	月刊文化 財	126
				古い町並は生きつづ けられるか	那谷 敏郎	芸術生活	298
				東照宮の建築雑感	日名子元雄	大 日 光	42
				東照宮建築の装飾文 様	田沢 坦	〃	〃
				東照宮の文様につ いて	河原 正彦	〃	〃
				日光の装飾文様	吉原 北幸	〃	〃
				鶴岡八幡宮別当坊・ 供僧坊私考	鈴木 千歳	鎌 倉	22
				信濃両羽神社の正慶 二年石造神殿	田岡 香逸	史迹と美 術	446
				佐伎治神社について	桜井 帯刀	若越郷土 研究	19-1

昭和49年定期刊行物所載文献

春日神社旧殿処分の 慣行と春日造社殿の 分布について	佐藤 正彦	日本建築 学会論文 報告集	224	近世村方文書よりみ た相模国三浦郡木古 庭村の屋敷と家屋 1, 2	山田 弘康	日本建築 学会論文 報告集	221, 222
中世春日社境内末社 の造替について	〃	〃	221	城下町をたずねて		月刊文化 財	
中世春日社付属殿舎 の造替について	〃	〃	222	1. 弘前	森山泰太郎		130
熊野造り雑考	坂田 泉	東北大学 建築学報	15	2. 山口	臼杵 華臣	〃	131
会津八葉寺の五輪塔 奉納の風習	岩崎 敏夫	月刊文化 財	135	3. 金沢	下田 積与	〃	132
藤原京薬師寺宝塔の 形態と平城京移建一 葉師寺宝塔の研究上	宮上 茂隆	日本建築 学会論文 報告集	226	4. 高梁	谷口 澄夫	〃	133
法輪寺塔基壇の発掘 調査	建造物研究 室	奈良国立 文化財研 究所年報	1973	5. 松江	道重 哲男	〃	134
中宮寺考	大橋 一章	美術史研 究	11	6. 丸亀	武田 明	〃	135
金剛三昧院多宝塔 (堂内気象の観測15)	永田 四郎	元興寺仏 教民俗資 料研究所 年報	7	茅壁の民家	工藤 圭章	〃	130
道元開創の興聖寺と その寺跡	守屋 茂	史迹と美 術	441	京の町見たまま12	近藤 豊	史迹と美 術	441
堺大安寺開山堂と北 村六右エ門	泉 澄一	〃	442	中世村落の考古学的 研究—高槻における 二・三の遺跡調査か ら	橋本 久和	大阪文化 誌	1—2
近世における如意輪 堂と法華堂	鈴木 千歳	鎌 倉	23	中世都市長崎の研究	安野 真幸	日本歴史	310
武蔵国分尼寺跡の保 護について	岩永 蓮代	考古学ジ ャーナル	92	鹿児島県の民家調査	建造物研究 室	奈良国立 文化財研 究所年報	1973
追記武蔵国分尼寺跡 の保護	〃	〃	93	能と能舞台	横道萬里雄	月刊文化 財	124
越前国分尼寺の位置 について	斉藤 嘉造	若越郷土 研究	19—3	利休以前の茶座敷	中村 昌生	茶道文化 研究	1
飛鳥発掘の記録 1. 埋もれていた宮と寺 と墓 2. 飛ぶ鳥の明 日香の宮跡	網干 善教	日本美術 工芸	434, 435,	利休の茶室	〃	淡 交	28—1
飛鳥藤原宮跡の発掘 調査	平城京跡発 掘調査部	奈良国立 文化財研 究所年報	1973	天明大火前の千家の 建物について	〃	茶道雑誌	38—5
難波小郡宮について	押部 佳周	続日本紀 研究	173	織部座敷	〃	〃	38—1
平城京跡とその周辺 の発掘調査	平城京跡発 掘調査部	奈良国立 文化財研 究所年報	1973	三斎の茶室	〃	〃	38—2
平安初期における平 安宮内裏の修造につ いて1	鈴木 亘	日本建築 学会論文 報告集	218	少庵の茶室	〃	淡 交	28—2
推定平安宮内膳司地 域内発掘調査報告	上野 渡辺 片岡 鈴木	平安博物 館研究紀 要	5	宗旦の茶室	〃	〃	28—3
大宰府條坊の調査	横田, 高橋 石丸,	考古学雑 誌	60—3	仙叟の茶室	〃	〃	28—4
鎌倉に於ける武家屋 敷の研究の内鎌倉幕 府の東西南北の四御 門と畠山重忠邸の考 察	八幡 義生	金沢文庫 研究	213	一澄の茶室	〃	〃	28—6
				玄々斎の茶室	〃	〃	28—9
				實際庵寸見	伊藤ていじ	茶道雑誌	38—3
				草庵茶室の美	伊藤ていじ	淡 交	28—6
				北野大茶会の草庵	中村 昌生	茶道雑誌	38—10
				松花堂と茶室	〃	〃	38—8
				近代住宅に於ける小 壁・天井意匠の研究 1. 内裏の小壁仕様 について 2. 仙洞御所 女院御所の小壁仕様 について	後藤久太郎	日本建築 学会論文 報告集	221, 222
				北海道西部の鬼面鬼 瓦について	松下 亘	開拓記念 館調査報 告	6
				同範軒平瓦について —下野薬師寺と播 磨溝口院寺—	岡本 東三	考古学雑 誌	60—1



出雲枳梁神社出土の銅瓦当	瓦釜雷鳴子	史迹と美術	443
藤原時代の瓦文様	難波田 徹	日本美術工芸	428
庭園の美 1. 枯山水の美 2. 枯山水と砂紋 3. 立石石組の妙 4. 石立僧と庭園	西ヶ谷恭弘	日本美術	110~113
巨石材の切り出し	関 忠夫	大日光	43
石灯笼型石幢の成立	京田 良志	史迹と美術	444
大蔵派石大工と関係遺品	川勝政太郎	〃	449
藤沢敵御方供養塔の銘文について	〃	〃	444
石の近江路一近江の石造美術をたずねて	田中日佐夫	小原流挿花	24-3
近江朝国の宝篋印塔など	大鳥居総夫	史迹と美術	443
三浦半島における石塔群と「やぐら」	服部 清道	三浦古文化	16
大和額安寺の宝篋印塔	清水 俊明	史迹と美術	446
紀伊の石造遺物(有田川流域)	巽 三郎	〃	447
白豪寺の中心飾付格狭間の石造宝篋印塔	佐々木利三	林 泉	249, 250
丹波海老坂の応安宝篋印塔	川勝政太郎	史迹と美術	445
丹波威音寺の宝篋印塔その他	大鳥居総夫	〃	〃
丹後の上山寺・同平の常徳寺	佐々木利三	林 泉	251
但馬の温泉寺ほかの宝篋印塔	〃	〃	253
讃岐白峯の十三重石塔ほか	〃	〃	257
瀬戸内生口島光明三昧院の十三重石塔考	たなかしげひさ	史迹と美術	445
小田原市の自然石板碑について	中村 進	〃	442
神南辺隆光の建碑	天岸 正男	〃	441

中国・その他

中国古代の木材について	杉本 憲司	東方学報	46
漢代の倉庫について	秋山 進午	〃	〃
新羅皇龍寺九層塔の利柱本記	黄 寿永	仏教芸術	98
インドで発見した星座の中の刻線	岩崎 巴人	芸術新潮	294
南インドのヒンドゥー教石窟 続	肥塚 隆	仏教芸術	98
タキシラ仏寺の伽藍構成	桑山 正進	東方学報	46
アルタール(イラク)の岩面美術	木村 重信	京都市立芸大美術学部研究紀要	19

工 芸

日本工芸の美	富永 惣一	月刊文化財	135
工芸史雑筆 12. 塗るという伝統 14. コンドルの日本庭園論 15. 文人と工芸 16. 工芸と貿易 18. からくりのこと 20. 魔鏡随想	吉田 光邦	日本美術工芸	425, 427~429, 431, 433
伝統と創造のノート 11~12. 茶の工房	中村 昌生	〃	424, 425
工芸界に於ける北斎絵本の位置 1, 2	黒田 精治	北斎研究	6, 7
当麻曼茶羅厨子扉交名中の藤原時朝など	川勝政太郎	史迹と美術	441
北京・故宮博物院の思い出—「中華人民共和国明清工芸展」をみて—	杉村 勇造	芸術新潮	299
故宮博物院と明清工芸	土居 淑子	美術手帖	387
ソウル・権王淵氏の「李朝の民芸」コレクション(秘蔵11)	田中 幹弘	芸術新潮	293

陶 磁 工

茶碗の美学	鈴木 哲雄	陶 説	254
大名物展抄釈	小田 栄一	〃	261
箱根美術館の茶碗	中村 昌生	茶道雑誌	38-11
史譜・東西窯芸の交流	永竹 威	古美術	46

日 本

土師器と須恵器の起源について	金 延鶴	史 学	46-1
小動物付きの須恵器	森 浩一	芸術新潮	292
鳥付装飾須恵器について—広島県山県郡千代田町第2号古墳出土—	河瀬 正利	考古学雑誌	59-4
富山県立山古窯跡群	藤田富士夫	考古学ジャーナル	97
猪口・差味皿雑考	三好 一	陶 説	259
懐石用の陶磁器	岡田 宗叡	茶道雑誌	38-12
カイラギについて	大川民次郎	陶 説	254
茶陶に関する一つの見方	鈴木 哲雄	〃	250
陶郷旅日記 5. 姫路東山焼 6. 膳所焼と近江路 7. 幻の月山城下町 8. 大宰府と上野焼	村上 正名	〃	250, 251, 252, 258
茶陶の究明 3. 志野焼の名称と鑑賞の推移 4. 蕎麦と伊羅保の茶碗 5. 御本の作者(七作と言う諺) 6. 魚屋茶碗の時代と種類 7. 割高台茶碗	小田 栄作	〃	251, 253, 255, 259, 261



夔鳳鏡の鑄造と紙型法	中口 裕	考古学ジャーナル	102	関戸氏の赤坂鏡についての論文に答えて 1、2	丸山 栄一	刀剣美術	212, 213
満州鞍山附近に於て発掘せる古代の鉄具類	俵 国一	刀剣美術	210	方形目釘孔についての考察	馬場 一弥	ス	210
韓国出土の円形青銅器	江坂 輝彌	考古学ジャーナル	93	<b>木 漆 工</b>			
新羅皇龍寺九層木塔の舍利具	黄 寿永	仏教芸術	99	中世漆工生産の基礎的資料—荘園の文書を中心として—	小松 大秀	ミュージアム	285
朝鮮金鼓について	坪井 良平	ス	98	椿文鎌倉彫笈について	青木 義脩	埼玉文化史研究	6
天理参考館蔵イラン銀装短剣と慶州出土金装短剣について—アキナケスの系譜—	鈴木 治	朝鮮学報	71	蒔絵聖龕と輸出漆器	岡田 譲	国 華	966
銀の馬の話	石黒孝次郎	芸術新潮	290	近世蒔絵資料—釈奠器の蒔絵を中心として	荒川 浩和	東京国立博物館紀要	9
法隆寺献納宝物—金銅透彫灌頂幡の規格性と尺度	中野 政樹	ミュージアム	282	楼閣人物堆黒盆	西岡 康宏	ミュージアム	274
法隆寺の佐波理遺品	坂田 宗彦	ス	280	龍鳳鳳彫彩漆盆	ス	古 美術	44
七支刀研究の略史	佐藤 興治	日本美術工芸	434	<b>染 織 工</b>			
妙心寺の銅鐘	佐々木利三	林 泉	254	近世辞書類に採録された染色・文様関係語彙に関する研究—「節用集」類を中心として—	中町 京子	和洋女子大学紀要	18
沓岐金藏寺鐘	坪井 良平	史迹と美術	446	光琳文様と染織	太田 英蔵	別冊太陽	6
衝角付冑の系譜	村井 崑雄	東京国立博物館紀要	9	工芸技術記録映画—「有職織物」	高田 俊男	月刊文化財	128
長湍西古墳出土短甲の保存修理と復原模造について	青木 繁夫 小沢 正美	ミュージアム	285	正倉院蒔絵の版型について	松本 包夫	書陵部紀要	25
兜の貴重な資料	長谷川 武	刀剣美術	206	法隆寺献納宝物染織品の調査と修理	沢田むつ代	ミュージアム	282
翁草に見える武器類のこと	三浦 正雄	ス	204	上杉家伝来・鍛下着・着込み・頭巾等四領二個—伝上杉謙信・景勝所用服飾類調査報告6 上, 下	神谷 栄子	美術研究	291, 294
日本刀工住地調査対照目録1~6	石井 昌国	ス	206~211	相応寺屏風にみる小袖意匠 下	橋本 澄子	ミュージアム	277
青江刀工の研究	加島 進	ミュージアム	280	衣類にほどこされたアイヌ紋様とその色彩 2 紋様表現の形態と色彩	荒井 純子	東京家政大学研究紀要	14
井上真改の研究	中島新一郎	刀剣美術	204, 213	漢代衣服史小考	相川佳予子	東方学報	47
初代兼元について	鈴木 卓夫	ス	212	ジャワバティック染織の研究 1 染色材料	ト部 澄子	東京家政大学研究紀要	14
丹州住定正とその周辺	高田 守	ス	205	<b>ガラス工・竹・紙・その他</b>			
防州岩国藩阿部一派の刀工系譜について	井野 博允	ス	211, 212	ガラスの言葉の交渉史	由水 常雄	陶 説	256
播磨物の研究 9 赤松政則1~5	小山 金波	ス	205~209	日本のガラス—起源から江戸末期まで	ス	美術手帖	385
金剛兵衛盛高右銘刀の研究	小此木忠七郎	ス	205	日本ガラス工芸小史	ス	日本美術	110
春明法眼と東龍齋清寿の子弟関係は存在しなかった	福士 繁雄	ス	214	正倉院のガラス	林 良一	ス	ス
守国と蕉雨	山田 芳次	ス	209	藤原時代のガラス(瑠璃)	河田 貞	日本美術工芸	429
三余不空 42~52	若山 泡沫	ス	204~214				
鐔		カラーデザイン	20-2				
画題事典 107~117	沼田 鎌次	刀剣美術	204~214				
赤坂鏡について 1. 「赤坂鏡工録」を中心として 2. 赤坂六代忠時・前銘忠好	関戸 健吾	ス	214				

昭和49年定期刊行物所載文献

薩摩切子	由水 常雄	芸術新潮	297	茨城県勝田市虎塚古墳の第一次調査	大塚 初重	考古学ジャーナル	91
法隆寺献納宝物 竹厨子	木内 武男	ミュージアム	282	虎塚古墳とその壁画	シ	月刊文化財	125
茶道具にみる銘の変遷	満岡 忠成	淡 交	28—2	房総の装飾古墳	中村 恵次	考古学ジャーナル	91
銘の文化的価値	源 豊宗	シ	シ	相模・真土大塚山古墳の再検討	木村 豪章	考古学雑誌	60—1
銘一覽(花入・茶入・茶杓・茶碗)		シ	シ	手繰城山古墳について	山本 昭治	若越郷土研究	19—2
茶杓銘と茶人	高原 杓庵	シ	シ	大和の前方後方墳	置田 雅昭	考古学雑誌	59—4
硯	杉村 勇造	出光美術館報	19	異例の前方後円墳	浅田 芳明	考古学ジャーナル	102
「ひとがた」について	弓場 紀知	シ	20	出雲文化にみるマージン・エリア	佐野 正巳	人文学研究所報	8
書籍の装幀	山岸 徳平	国文学研究資料館報	3	美作・津山市兼田丸山古墳出土遺物の研究	本村 豪章	ミュージアム	285
<b>考 古</b>				豊前・宇佐地方における古式古墳の調査	小田 富士雄 真野 和夫 小倉 正五	考古学雑誌	60—2
北海道埋蔵文化財の課題	藤本 英夫	日本歴史	311	装飾古墳にみる「倭人伝」	松本 清張	芸術新潮	299
アイヌ文化の源流特にオホツク文化との関係について	渡辺 仁	考古学雑誌	60—1	東国装飾古墳関係文献目録抄		考古学ジャーナル	91
縄文世界における土器の廃棄について	小林 達雄	国 史 学	93	人物埴輪に見える衣服の形式	佐田 茂	史 淵	111
縄文時代における蛇の信仰 1, 2	斎藤 文子	考古学ジャーナル	92, 93	福岡県遠賀川発見の土馬	中山 清隆	考古学ジャーナル	98
北日本縄文式早期編年に関する一試考—青森県三戸町寺の沢遺跡出土遺物について	名々井広明	考古学雑誌	60—3	飛鳥地域出土の古式土師器	安達 厚三 木下 正史	考古学雑誌	60—2
茨城県茨城町発見の土偶	郡司 良一	考古学ジャーナル	93	中九州における古式土師器の新資料	松本 健郎	シ	60—3
山梨県道志村神地出土の顔面把手	中村 日男 奥 隆行	シ	92	土師器と須恵器の起源について	金 延鶴	史 学	46—1
近畿地方における押型文土器文化について	片岡 肇	平安博物館研究紀要	5	古墳時代鉄製工具の研究—短冊形鉄斧を中心として	古瀬 清秀	考古学雑誌	60—2
高知県片箱遺跡出土の土器	木村 剛朗	考古学ジャーナル	96	長瀬西古墳出土短甲の保存修理と復原構造について	青木 繁夫 小沢 正実	ミュージアム	285
いわゆる広瀬上層式土器について	シ	シ	102	宇和奈辺陵墓参考地陪家高塚(大和六号墳)出土鉄鋌の金属考古学的調査	窪田 蔵郎	書陵部紀要	25
弥生土器—四国 3~5	岡本 健児	シ	90, 92, 93	初期鉄製品をめぐる二・三の問題—福岡県吉ヶ浦遺跡出土の鉄器を中心にして—	橋口 達也	考古学雑誌	60—1
シカの絵のある弥生式土器	潮見 浩	考古学雑誌	60—2	飛鳥川原寺裏山遺跡と出土遺物	網干 善教	仏教芸術	99
甕棺に関する民族学的考察	大間 茂	考古学ジャーナル	95	大宰府史跡発掘調査		九州歴史資料館年報	47年度
宮崎市穂遺跡出土の小児棺の新例	田中 茂	考古学雑誌	60—2	最近の一乗谷朝倉氏遺跡の調査	河原 純之	月刊文化財	124
東国の装飾古墳	斎藤 忠	考古学ジャーナル	91				
宮城県の装飾横穴	氏家 和典	シ	シ				
福島県鳥羽山装飾横穴の調査	渡辺 一雄	シ	シ				

朝倉氏遺跡本館跡外濠の調査	水野 和雄	考古学雑誌	60—1	北野大茶湯の時・所・人	林屋辰三郎	茶道雑誌	38—10
その後の馬王堆漢墓	土居 淑子	古美術	44	八幡名物考1～3	栗田 添星	≒	38—8～10
長沙馬王堆一号墓副葬の食物	林 巳奈夫	ミュージアム	280	八幡蔵帳の茶道具	十和田湖月	≒	38—8
漢代南越国墓葬考	町田 章	東方学報	46	八幡蔵帳について	矢崎 格	≒	≒
韓国慶州皇南洞155号墳の発掘	穴沢 咏光	考古学ジャーナル	93	了々斎茶会記—紀州家御成道具附—	久田 宗也	茶道雑誌	38—5
西アジア農耕文化の起源—洪積世末以降の文化的変遷	安斎 正人	考古学雑誌	59—4	キリスト教と茶道の触発	坂部 慶夫	淡 交	28—12
イラク・カルバラ遺蹟について	榊原 吉郎	京都市立芸大研究紀要	19	茶のすがた考—伝古薩摩茶碗「蛤」16～21	倉沢 行洋	茶道雑誌	38—2～11
歴史関係・その他				宗旦の手紙 27～35	清瀬ふさ子 曾我部陽子	≒	38—1～12
				茶人の足跡 1. 細川三斎 2. 井伊直弼 3. 立花実山 4. 田能村竹田 5. 小堀遠州 6. 岡倉天心 7. 御茶壺道中 8. 高山右近 9. 松尾芭蕉 10. 宗旦四子 11. 近衛豫楽院 12. 千利休	村井 康彦	淡 交	28—1～12
西王母と七夕伝承	小南 一郎	東方学報	46	古田織部の人間像—松井家文書を通してみた—	林屋辰三郎	茶道雑誌	38—1
幻想の浄土	五来 重	金沢文庫研究	212	大名と茶	林屋辰三郎	墨 美	245
出雲国玉作の系譜—出雲国風土記所載の「忌玉作故之忌部」をめぐる—	寺村 光晴	和洋女子大学紀要	18	細川三斎の茶道具	細川 護貞	茶道雑誌	38—2
白鳳時代の年号の復元的研究	重松 明久	日本歴史	319	細川三斎を想う	中村 直勝	≒	≒
初期大乘仏教における菩薩信仰—普門品にみられる称名信仰と観世音菩薩	辻村 泰彦	元興寺仏教民俗資料研究所年報	7	三斎公物語生花秘書四十三ヶ条	重森 三玲	≒	≒
わが国における仁王経受容過程の一考察2	難波 俊成	≒	≒	松平不味—茶禅一味に生きる	古田 紹欽	≒	38—11
編年四天王寺史料稿8	川岸 宏教	聖徳太子研究	8	松花堂昭乗と茶道交友	井川 定慶	≒	38—8
難波宮と四天王寺下	藪田嘉一郎	史迹と美術	448	松花堂昭乗の遺跡を訪ねて	邑木 千以	≒	≒
「上宮聖徳法王帝説」裏書の浄土寺・山田寺別寺説	たなかしげひさ	仏教芸術	99	江戸の史跡	児玉 幸多	月刊文化財	131
薬師寺東塔擦銘元明太上帝説に対する疑問	小山 満	東洋学術研究	13—1	魏晋思想と初期中国仏教思想—序	荒牧 典俊	東方学報	47
称名寺の基礎的研究3—第二代鈿阿を中心として	納富 常天	金沢文庫研究紀要	11	ロブ・ノール考	長沢 和俊	東洋学術研究	13—2
初期の茶湯における唐絵	望月 信成	茶道雑誌	38—7	古代インド史研究と伝説—アショーカ王伝説を例として	山崎 元一	国学院雑誌	75—3
北野大茶湯の唐絵	源 豊宗	≒	≒	インドのこころとインドネシアのこころ—文化の伝播と受容の立場から—	別技 篤彦	史 苑	34—2
北野大茶会記	永島福太郎	≒	≒				

単行図書

総記

美と芸術の理論	シラー 草薙正夫訳	岩波書店	終末と幻想—絵画の想像力 紙片と眼差とのあいだに	坂崎 乙郎 平凡社 宮川 淳 エバーヴ
美学入門	スリョ(エ チエンス) 古田 幸雄 池部雅英訳	法政大学出版 局	寓意と象徴—絵画の眼に映 る世界と映らない世界	渡辺 健治 森重出版
美と生命の法則	渡辺 俊男	泰流社	指定文化財総合目録—史跡 名勝天然記念物重要民俗 資料編	文化庁編 第一法規出版
美学事典	竹内敏雄編	弘文堂	無形文化財要覧	重要無形文 化財保持者 会 芸艸堂
比較芸術学研究 1. 芸術と 人間像	山本正男監 修	美術出版社	重要文化財	毎日新聞社 毎日新聞社
近代の芸術論	山崎正和編	筑摩書房	4. 彫刻 4	
芸術・文学論		大月書店	5. 彫刻 5	
			9. 絵画 3	
			10. 絵画 4	
			14. 建造物 3	
			15. 建造物 4	
1. 基礎理論	マルクス、 エンゲルス マルクスニ エンゲルス 全集刊行委 員会訳		神社の文化財 京都	京都府神道 青年会編 京都府神道青 年会
2. 文学史 1	シ		日本美術史概説	脇田秀太郎 明治書院
美術史学の課題	中村 二柄	岩崎美術社	沈黙の日本美	吉村 貞司 毎日新聞社
芸術創造の精神力学	ロイナー (バーバラ) 福原嘉一郎 訳	紀伊国屋書店	現代日本における伝統文化	ユネスコ・ アジア文化 センター編 伝統と現代社
視覚的思考—創造心理学の 世界	アルンハイ ム(ルドル フ) 関 計夫訳	美術出版社	高松塚論批判	網干善教他 創元社
古代の芸術と祭祀	ハリソン (ジェーン・ エレン) 星野 徹訳	法政大学出版 局	銅鐸の謎	大羽 弘道 光文社
芸術の隠された秩序	エーレンッ ヴァイク (アントン) 岩井宏他訳	同文書院	縄文の幻想	宇佐美英治 田枝幹宏写 真 淡交社
人物画への性格投影	マコーパー 深田尚彦訳	黎明書房	芸術の伝統と創造	永井 潔 大月書店
色彩の心理—子どもの絵の 心理的記録	久保貞次郎 編	文化書房博文 社	筑前平田窯跡<考古学調査 報告>	坂詰秀一編 雄山閣出版
シュルレアリスムと性	ゴーチェ (グザヴィ エル) 三好郁朗訳	朝日出版社	大和文華館所蔵品図版目録 1	大和文華館 大和文華館
芸術と遊び	永井 康視	バツカイ舎	日本美術名品選	文化庁編 小学館
現代芸術の冒険	ビハリ・メ リン(O) 坂崎乙郎、 宝木範義訳	鹿島研究所出 版会	法界寺	中野 玄三 中央公論美術 出版
現代美術と文化の死滅	ロークマー カー(R・H) 由水常雄訳	すぐ書房	仏教美術 四国2	奈良国立博 物館編 小学館
原太郎芸術論集 1	原 太郎	未来社	鞍馬寺宝物図鑑	三杉隆敏編 鞍馬弘教総本 山鞍馬寺出版 部
反覆—新興芸術の位相	彦坂 尚嘉	田畑書店	元離宮二条城	小学館編 小学館
			醍醐寺	清水 善三 中央公論美術 出版
			桂離宮・修学院離宮	京都新聞社 編 鹿島研究所出 版会
			京都御所・仙洞御所	シ
			日本美術年鑑 昭和48年版	東京国立文 化財研究所 編 大蔵省印刷局

- |                         |                                 |          |                      |                |                |
|-------------------------|---------------------------------|----------|----------------------|----------------|----------------|
| 美術名家鑑 昭和49年版            | 清水澄、清水治編                        | 美術倶楽部出版部 | 14. 中尊寺              | 大岡 実<br>米田太三郎  |                |
| 美術名典 1974               | 芸術新聞社編                          | 芸術新聞社    | 20. 京都御所             | 北小路功光          |                |
| 美術名鑑 1974年版             | 美術公論社編                          | 美術公論社    | 24. 出雲大社             | 東野 芳明<br>植田 正治 |                |
| 美術年鑑 1974               | 美術年鑑社編                          | 美術年鑑社    | 25. 宝生寺              | 円地 文子<br>入江 泰吉 |                |
| 小林太市郎著作集                | 小林太市郎                           | 淡 交 社    | 27. 平等院              | 小松 茂美<br>米田太三郎 |                |
| 2. 北斎とドガ (東洋と西洋篇1)      |                                 |          | 古美術拾遺亦楽              | 安東 次男          | 新 潮 社          |
| 3. 禅月大師の生涯と芸術 (中国芸術論編1) |                                 |          | シルクロード史考察            | 森 豊            | 六 興 出版         |
| 4. 王維の生涯と芸術 (中国芸術論編2)   |                                 |          | 4. ぶどう唐草幻想           |                |                |
| 5. 大和絵史論 (日本芸術論篇)       |                                 |          | 2. 花喰鳥文様展開           |                |                |
| 6. 光琳と乾山 (日本芸術論篇2)      |                                 |          | 3. 樹下美人図考            |                |                |
| 7. 仏教芸術の研究 (宗教芸術篇1)     |                                 |          | 中国の美術                | 小杉 一雄          | 社会思想社          |
| 8. 支那陶器図説 (陶器論篇1)       |                                 |          | 韓国の古美術               | 大韓民国文化公報部編     | 淡 交 社          |
| 奈良の寺                    |                                 | 岩 波 書 店  | 現代美術小事典              | PARCO 出版局編     | PARCO 出版局      |
| 1. 法隆寺 西院伽藍             | 浅野 清<br>渡辺 義雄                   |          | 日本近代美術発達史 明治編        | 浦崎 永錫          | 東京美術           |
| 2. 法隆寺 東院伽藍と諸堂          | 鈴木 嘉吉<br>渡辺 義雄                  |          | 日本美術院史               | 斎藤 隆三          | 中央公論美術出版       |
| 3. 法隆寺 金堂釈迦三尊           | 水野敬三郎<br>米田太三郎<br>辻本米三郎         |          | 日本の近代美術              | 三彩社編           | 三 彩 社          |
| 4. 法隆寺 五重塔の塑像           | 長広 敏雄<br>坂本 万七<br>辻本米三郎         |          | 日本の名匠伝               | 土門 挙蔵<br>草柳 大蔵 | 駁々堂出版          |
| 7. 法隆寺 小金銅仏             | 石田 尚豊<br>米田太三郎                  |          | へそ人生一画廊一代記           | 長谷川 仁          | 読売新聞社          |
| 9. 薬師寺 金堂薬師三尊と聖観音       | 長谷川 誠<br>入江 泰吉                  |          | 私の美術遍歴               | 武者小路実篤         | 〃              |
| 10. 薬師寺 東塔              | 沢村 仁<br>渡辺 義雄<br>入江 泰吉          |          | 絵 画                  |                |                |
| 13. 興福寺 北円堂と南円堂の諸像      | 西川杏太郎<br>辻本米三郎                  |          | 平家納経                 | 京都国立博物館編       | 光琳社出版          |
| 14. 東大寺 大仏と大仏殿          | 前田 泰次<br>渡辺 義雄<br>入江 泰吉<br>箇部 澄 |          | 倭寇図巻 東京大学史料編纂所蔵複製版   |                | 近藤出版社          |
| 15. 東大寺 法華堂の乾漆像         | 町田 甲一<br>入江 泰吉<br>渡辺 義雄         |          | 芦手絵歌合                | 白畑よし序          | 八 宝 堂          |
| 18. 唐招提寺 金堂と講堂          | 工藤 圭章<br>渡辺 義雄<br>箇部 澄          |          | 本朝画史                 | 狩野 永納<br>檜山義慎編 | 国書刊行会          |
| 21. 西大寺 舍利塔十二天          | 岡田 譲<br>永野 太造                   |          | 古絵画のみかた              | 真保 亨           | 第一法規出版         |
| 日本の美術                   |                                 | 小 学 館    | 近世風俗図巻 2 諸国風俗        | 菊地貞夫他編         | 毎日新聞社          |
| 6. 正倉院                  | 土井 弘                            |          | 日本の美術 9 仏画           | 高田 修<br>柳沢 孝   | 小 学 館          |
| 34. 南蛮美術                | 坂本 満<br>吉村 元雄                   |          | 光琳派画集 1~4            | 光村推古書院編        | 光村推古書院         |
| 平凡社ギャラリー                |                                 | 平 凡 社    | 讃岐金刀比羅宮の障壁画<br>文人画粹編 | 土居 次義          | マリア書房<br>中央公論社 |
|                         |                                 |          | 12. 池大雅              | 寺田 透<br>細野 正信  |                |
|                         |                                 |          | 13. 与謝蕪村             | 安岡章太郎<br>佐々木丞平 |                |
|                         |                                 |          | 14. 浦上玉堂             | 石川 淳<br>鈴木 進   |                |
|                         |                                 |          | 20. 富岡鉄斎             | 桑原 武夫<br>小高根二郎 |                |

単行図書

全訳 芥子園画伝	アトリエ出版社	14. 安田鞞彦	
1. 総説	小杉放庵注 解、公田連 太郎訳文	15. 前田青邨	
5. 摹倣名画画譜	シ	16. 浅井忠・黒田清輝	
日本の美術 24 写楽	楢崎 宗重	18. 万鉄五郎・熊谷守一	
東海道五十三駅続画	歌川 広重	国宝絵巻	奥平 英雄 保 育 社
水墨美術大系		日本の画家 近代洋画	原田 実 シ
2. 李唐・馬遠・夏珪	鈴木 敬	日本の画家 近代日本画	細野 正信 シ
5. 可翁・黠庵・明兆	田中 一松	京の寺	岡部伊都子 シ
6. 如拙・周文・三阿弥	松下 隆章 玉村 竹二	司馬江漢	細野 正信 読売新聞社
8. 元信・永徳	土居 次義	若冲	辻 惟雄 美術出版社
15. 近代の墨絵	河北 倫明	渡辺華山一優しい旅人	芳賀 徹 淡交社
平凡社ギャラリー		大津絵	小野 忠重 造形社
10. かきつばた光琳	水尾比呂志	浮世絵版画の鳥	内田清之助 楢崎 宗重 芸 艸 堂
11. 若冲	利根山光人	名所江戸百景	一立斎広重 渋井清解説 集 英 社
15. 洛中洛外図	花田 清輝	英泉	福田和彦編 述 芳 賀 書 店
18. 英泉	金子 光晴	国芳	シ
19. 地獄絵	渋沢 龍彦	浮世絵大系	集 英 社
21. 豊国祭礼図	武田 恒夫	1. 師宣	橋崎 宗重
22. 華山 四州真景	芳賀 徹	3. 春章	シ
23. 北斎漫画	坂本 満	8. 北斎	岡 畏三郎
28. 鉄斎	寺田 透	10. 国貞・国芳・英泉	鈴木 重三
29. 源氏物語絵巻	秋山 光和	11. 広重	山口圭三郎
日本の名画		12. 清親	高橋誠一郎 漱 徳 問 書 店
2. 狩野永徳	武田 恒夫	おもちゃ絵	飯沢 匡 広瀬辰五郎
3. 長谷川等伯	橋本 綾子	鳥海青児の芸術	三彩社編 三 彩 社
8. 与謝蕪村	安東 次男	天地豊麗	小林 和作 求 龍 堂
11. 葛飾北斎	辻 惟雄	宮本三郎	三彩社編 三 彩 社
12. 歌川広重	岡 畏三郎	村井正誠作品集	村井 正誠 美術出版社
14. 富岡鉄斎	富岡益太郎	古沢岩美画集	古沢 岩美 シ
16. 横山大観	吉沢 忠	森芳雄画集	森 芳雄 日本経済新聞社
23. 村上華岳	河北 倫明	画家の記録 田中岑	佐々木静一 編 三 彩 社
25. 安田鞞彦	水沢 澄夫	中畠一字画集 1973	中畠 一字 シ
27. 福田平八郎	今泉 篤男	富岡鉄斎画集	富岡 鉄斎 歴史図書社
29. 杉山寧	小川 正隆	原爆の図	丸木 位里 丸木 俊 角 川 書 店
35. 鳥海青児	土方 定一	四季	東山 魁夷 毎日新聞社
33. 坂本繁二郎	河北 倫明	加藤栄三	三彩社編 三 彩 社
39. 岸田劉生	東 珠樹	高山辰雄	シ
41. 国吉康雄	富山 秀男	三上誠画集	三上誠画集 編集委員会 編 シ
43. 関根正二	土方 定一	画集 京の四季	河北倫明編 淡 交 社
45. 海老原喜之助	松下 博	画集 城下町津和野	古館 充臣 西日本教育図書
現代日本の美術 5 東山魁夷	桑原住雄解説	岩田専太郎名作画集	岩田専太郎 毎日新聞社
現代日本美術全集超ワイド版	座右宝刊行会編	武井武雄作品集	武井 武雄 筑 摩 書 房
14. 安田鞞彦	シ		
18. 万鉄五郎・熊谷守一	シ		
現代日本美術全集愛蔵普及版	シ		



単行図書

1. 童画

2. 版画

3. 刊本作品

国際版 初山滋作品集	初山 滋	講談社
日本画の内景	桑原 住雄	三彩社
大観伝	近藤啓太郎	中央公論社
春秋九十五年	津田 青楓	求龍社
牛のあゆみ	奥村 土牛	日本経済新聞社
一政印譜 上・下	中川 一政	求龍堂
長谷川利行	矢野 文夫	美術出版社
画家のことば	香月 泰男	新潮社
近作画集と歎異鈔ノート	高光 一也	六芸書房
楽天漫画集大成 明治篇	北沢楽天 彰会編	グラフィック社
草絵 嬢田圭子作品集	嬢田 圭子	柏書房
近代中国絵画	鶴田 武良	角川書店

版 画

日本銅版画の研究 近世	菅野 陽	美術出版社
近代日本の版画	小野 忠重	三彩社
現代の版画	ブディ(ガ ストン) 子安三喜男 訳	講談社
版画—制作と鑑賞のすすめ	徳力富三郎	日貿出版社
湧然する棟方志功	小高根二郎	新潮社
織田一磨 石版画全作品集	織田 一磨	三彩社
川上澄生作品集	川上 澄生	朝日新聞社
えげれすいろは人物	シ	済書房
川上澄生	三彩社編	三彩社
沖繩—儀間比呂志の版画	儀間比呂志	講談社
My imagination map (未発表デッサン 1956~ 65)	池田満寿夫	シ
思考する魚	シ	番町書房

彫 刻

日本古代彫刻史概説	町田 甲一	中央公論美術出版
鎌倉彫刻史の研究	渋江 二郎	有隣堂
運慶の彫刻	久野 健 田枝幹宏写 真	平凡社
近江路の彫像—宗教彫刻の 展開	宇野 茂樹	雄山閣出版
仏像に想う 上、下	梅原 猛 岡部伊都子	講談社
摺仏印仏	太田 古朴	綜芸舎
地方仏	丸山 尚一	鹿島研究所出版会
円空風土記	シ	読売新聞社

奇僧円空	棚橋 一見	人間の科学社
円空の旅	毎日新聞社編	毎日新聞社
木喰仏のふる里	木喰会編	甲陽書房
古美術ガイド仏像	久野 健編	美術出版社
私の石仏地図帳 4、5	大護 入郎	木耳社
石仏の解体	佐藤宗太郎	学芸書林
石仏幻想	井口 正夫	木耳社
石仏の大和路	杉本 苑子 川勝政太郎	朝日新聞社
大和の石仏	清水 俊明	創元社
大和の石仏鑑賞	太田 古朴	綜芸舎
石の小仏たち	森田拾史郎 編	芳賀書店
信州ショナラの石像	のむら清六	甲陽書房
石の民芸	池田三四郎	文化出版局
平凡社ギャラリー	平 凡 社	

13. 阿修羅

17. 能面

日本の美術 35 円空と木喰	今泉 篤男 入江 泰吉	小学館
清水多嘉示作品集	観世 寿夫 石本 泰博	光琳社出版
ポロブドール石仏	本間 正義	大池 誠一 千原大五郎
中華人民共和国河南省碑刻 画像石	成田安賢他 編	共同通信社
新羅の石仏	黄岩宮 崔 寿永 武二 元伍	朝日新聞社

書 蹟

支那墨蹟大成 1~8	河井荃盧監 修	国書刊行会
日本書道大系 6 鎌倉・室 町・桃山	講談社編	講談社
王羲之	中川勇次郎	シ
日本書人伝	中川勇次郎 編	中央公論社

工 芸

工芸志科	黒川 真頼 前田泰次校 注	平凡社
初期有田と古九谷	今泉 元佑	雄山閣出版
加藤土師萌作品集	加藤土師萌 加藤千代編	朝日新聞社
宋瓷名品図録	学習研究社 編	学習研究社
南宋官窯		
竜泉窯哥窯		
季朝乃陶磁	金元龍他編	中央公論社
金襴手名品集	小山富士夫	芸艸堂

単行図書

東洋陶磁大観5 大英博物館	小山富士夫 監修 ボーブ (ジョン・ A)	講談社	美術の歩み 下	ゴンブリッチ(E・H) 友部直訳	美術出版社
高麗李朝の陶磁	崔淳雨 長谷部楽爾 林屋晴三編	毎日新聞社	美術アカデミーの歴史	ベヴスナー (N) 中森義宗、 内藤秀雄訳	中央大学出版部
盛期の伊万里	山下 朔郎	徳間書店	随筆ヴィナス	矢代 幸雄	朝日新聞社
日本の陶磁 原色愛蔵版 1~14	林屋晴三編	中央公論社	十二人の芸術家	高階 秀爾	講談社
平凡社ギャラリー		平凡社	イタリア美術鑄物	中牟田佳彰	東京美術
12縄文土器	針生 一郎 田枝 幹宏		キッチュの聖と俗	石子 順造	太平出版社
26埴輪	谷川 徹三		フィレンツェの美術 1	吉川逸治、 摩寿意善郎 編	小学館
中国陶磁—トブカブ・サ ライ・コレクション—	三上 次男 並河万里写真	シ	原色世界の美術普及愛蔵版 16. メキシコ・ペルー	座右宝刊行 会編	シ
新訂陶磁用語辞典	雄山閣編集部編	雄山閣出版	レンブラント—芸術哲学的 試論	ジンメル (G) 高橋義孝訳	岩波書店
陶磁大系		平凡社	ブリューゲル全版画	ブリューゲル ベルギー王 立図書館編	シ
3埴輪	小林 行雄		絵画の父ブッサン	近藤 昭	新潮社
23仁清	中川 干咲		ラス・メニーナス	ラセーニュ (ジャック) 大島清次訳	美術出版社
38天目	小山富士夫		カルロス四世の家族	井上 靖	中央公論社
39磁州窯	長谷部楽爾		ゴヤ—スペイン・光と影	堀田 善衛	新潮社
40遼の陶磁	杉村 勇造		絵画への愛—ゴヤ・ピカソ の世界	ロワ(クロ ード) 山口三夫、 松原雅典訳	法政大学出版 局
41元の染付	矢部 良明		レオナルド・ダ・ヴィンチ	ヴァザーリ (ジョルジ オ)	岩崎美術社
小袖模様雛形本集成1~4	上野佐江子	学習研究社	レオナルド・ダ・ヴィンチ	裾分一弘訳	
朝鮮鐘	坪井 良平	角川書店	レオナルド・ダ・ヴィンチ	クラーク (ケネス) 加茂儀一訳	法政大学出版 局
和鏡の研究	広瀬 都巽	シ	モナリザの秘密—レオナル ド・ダ・ヴィンチの生涯	加茂 儀一	日本経済新聞 社
日本の美術39 金工	蔵田 政樹 中野	小学館	レオナルド・ダ・ヴィンチ 考	山岸 健	日本放送出版 協会
<b>建築・庭園</b>			ダ・ヴィンチの生涯	ニューコム (コーヴェ ル) 南 清訳	二見書房
日本住宅の歴史	平井 聖	日本放送出版 協会	モナ・リザ論考	下村寅太郎	岩波書店
数寄屋聚成15, 16, 20	北尾春道編	叢文社	モナ・リザ—レオナルド・ ダ・ヴィンチ	ユイグ(ル ネ) 高階秀爾訳	美術出版社
日本建築史基礎資料集成20 茶室	太田博太郎 他編	中央公論美術 出版	モナ・リザ—永遠の女性の 謎	中山 公男	シ
江戸建築と本途帳	西 和夫	鹿島研究所出 版会	モナ・リザ—AからZまで	シ	朝日ソノラマ
古建築装飾文様集成風月編	近藤 豊	光村堆古書院	ゴーガンの生涯	ベリュシヨ (アンリ) 窪田般弥訳	紀伊国屋書店
造園大系1, 3, 4, 6, 7	上原 敬二	加島書店	ゴッホの生涯	ベリュシヨ (アンリ) 森 有正、 今野一雄訳	シ
日本庭園史大系2, 4, 6, 13 16, 18, 26, 30	重森 三玲 重森 完途	社会思想社			
日本庭園歴覧辞典	重森 三玲	東京堂出版			
<b>西洋美術</b>					
人類の美術		新潮社			
ローマの美術	ピアンキニ バンディネ ルリ 吉村忠典訳	シ			
古代末期の美術		シ			
ギリシア美術	村田数之亮				

評伝エドワード・ムンク	スタング (ニック) 稲富正彦訳	筑摩書房	8. ブリュエゲル	
ルドンの素描と版画	駒井哲郎編	岩崎美術社	10. レンブラント	
クロード・モネー印象派の歩み	ジュフロフ (ギユスターブ) 黒江光彦訳	東京美術	15. セザンヌ	
クレーの絵画	フッグラ (マックス) 土肥美夫訳	紀伊国屋書店	16. モネ	
ブルガリア版画	岩淵正嘉編	造形社	18. ゴーギャン	
アンドレ・マッソン版画作品集	バスロン (ロジェ) 粟津則雄訳	美術出版社	19. ゴッホ 1	
百頭女	エルンスト (マックス) 巖谷国土訳	河出書房新社	20. ゴッホ 2	
イカロスの墜落—パブロ・ピカソ	ピコン(ガ エタン) 岡本太郎訳	新潮社	21. ロートレック	
ピカソ—生と創造の冒険者	宮川 淳	平凡社	23. ピカソ	
大系世界の美術		学習研究社	ムンク	メサー(T) 匠 秀夫訳 美術出版社
6. ローマ美術	辻 茂編		ヴィヤール	プレストン (S) 木島俊介訳 新潮社
10. 初期ヨーロッパ美術	柳 宗玄編		新潮美術文庫	
世界版画大系 9	アデマール (ジャン) 坂本 満、 吉川逸治編	筑摩書房	アングル	坂崎 乙郎
世界版画大系 10	シ	シ	コロ	坂本 満
西洋木版画	ルムベン (ハインリッ ッヒ)	美術出版社	ユトリロ	千足 伸行
版画入門	川合昭三訳		ゴッホ	高階 秀爾
リトグラフィ	小野 忠重	大日本図書	レオナルド・ダ・ヴィンチ	東野 芳明
鑄造彫刻	ロッシュ (ルネ) 川合昭三訳	美術出版社	セザンヌ	中原 佑介
グランド世界美術	ハウザー (クリステ イアン) 川合昭三訳	シ	モディリアーニ	中山 公男
11. ダヴィンチとミケランジェロ	高階秀爾編		ムンク	野村 太郎
17. ゴヤとドラクロワ	坂崎乙郎編		ゴーギャン	宮川 淳
20. ルノワールとドガ	富永 惣一		モネ	峯村 敏明
21. セザンヌ・ゴッホ・ゴーガン	池上忠治編		現代の絵画	シ
23. ピカソとマチス	中原佑介編		2. 印象派の画家たち	ダミジュール ラ(アンナ・ マリア) 池上忠治、 中江 杉訳
ファブリ世界名画集		平凡社	3. セザンヌと後期印象派	マルティ ニ(アルベ ルト) ネグリ(レ ナータ) 富永惣一訳
63. フラ・アンジェリコ	養庭 孝男		4. ラファエル前派	バリルリ (レナート) 高階秀爾訳
66. マサッチョ	摩寿意善郎		6. フランスにおける象徴主義	バリルリ (レナート) 宮川 淳訳
75. ジョルジョーネ	今泉 篤男		8. ボナールとナビ派	ネグリ(レ ナータ) 若桑みどり 訳
世界美術全集リッツォーリ版	座右宝刊行 会編	集英社	9. ユトリロとモンマルトル	クールティ オン(ピエ ール) 粟津則雄訳
3. レオナルド			12. ドイツ表現主義	ラトケ(エ ーヴァルト) 遠山一行訳
4. ミケランジェロ				

単行図書

13. カンディンスキーと青騎士  
 オルランデ  
 イーニ (マ  
 リサ・ヴォ  
 ルビ)  
 乾 由明訳  
 マルティ  
 ニ (アルベ  
 ルト)  
 宮川 淳訳

現代世界美術全集

22. アンソール・マグ  
 リット  
 25. ダリ

座右宝刊行 集英社  
 会編

叢書骰子の7つの目

3. ハンス・ベルメール  
 4. クロヴィス・トルイ  
 ユ  
 5. ポール・デルヴォー

河出書房新社

アレクサン  
 ドリアン  
 (サラヌ)  
 渋沢龍彦訳  
 シャルメ  
 (レイモン)  
 種村秀弘訳  
 テラス (ア  
 ントワー  
 ス) 与謝野  
 文子訳

「物故者」 ページ (225～287 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.225-287)

Cut for protection of the personal information

印刷 昭和51年3月20日  
発行 昭和51年3月25日

日本美術年鑑

昭和49・50年版

編集者 東京国立文化財研究所美術部  
(美術研究所)

発行所 東京国立文化財研究所  
東京都台東区上野公園13-27  
電話 (823) 2241

印刷所 大蔵省印刷局  
東京都港区赤坂葵町2番地  
電話 (582) 4411